

<b>【学級活動の目標】</b>	
学級や学校での生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成し、役割を分担して協力して実践したり、学級での話し合いを生かして自己の課題の解決及び将来の生き方を描くために意思決定して、実践したりすることに、自主的、実践的に取り組むことを通して、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを旨とする。	
<b>【学級活動において育成を目指す資質・能力】</b>	
○ 学級における集団活動や自律的な生活を送ることの意義を理解し、そのために必要となることを理解し身に付けるようにする。	
○ 学級や自己の生活、人間関係をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。	
○ 学級における集団活動を通して身に付けたことを生かして、人間関係をよりよく形成し、他者と協働して集団や自己の課題を解決するとともに、将来の生き方を描き、その実現に向けて、日常生活の向上を図ろうとする態度を養う。	
<b>【中学校の指導の重点】</b>	
○ 自分たちできまりをつくって守ろうとする態度。目標をもって諸問題を解決しようとする態度。自己のよさや可能性に自信をもち集団活動を行おうとする態度。（道徳との関連を図る）	
<b>【学級活動の内容】</b>	
○ 学級活動（1） 「学級や学校における生活づくりへの参画」	ア 学級や学校における生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図り、実践すること イ 学級生活の充実や向上のため、生徒が主体的に組織をつくり、役割を自覚しながら仕事を分担して、協力し合い実践すること ウ 生徒会など学級の枠を超えた多様な集団における活動や学校行事を通して学校生活の向上を図るため、学級としての提案や取組を話し合って決めること
○ 学級活動（2） 「日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全」	ア 自他の個性を理解して尊重し、互いのよさや可能性を發揮しながらよりよい集団生活をつくること イ 男女相互について理解するとともに、共に協力し尊重し合い、充実した生活づくりに参画すること ウ 心や体に関する正しい理解を基に、適切な行動をとり、悩みや不安に向き合い乗り越えようとする事 エ 節度ある生活を送るなど現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守り安全に行動すること オ 給食の時間を中心としながら、成長や健康管理を意識するなど、望ましい食習慣の形成を図るとともに、食事を通して人間関係をよりよくすること
○ 学級活動（3） 「一人一人のキャリア形成と自己実現」	ア 現在及び将来の学習と自己実現とのつながりを考えたり、自主的に学習する場としての学校図書館等を活用したりしながら、学ぶことと働くことの意義を理解して学習の見通しを立て、振り返ること イ 社会の一員としての自覚や責任をもち、社会生活を営む上で必要なマナーやルール、働くことや社会に貢献することについて考えて行動すること ウ 目標をもって、生き方や進路に関する適切な情報を収集・整理し、自己の個性や興味・関心と照らして考えること

【学級活動「(1)学級や学校における生活づくりへの参画」評価規準】

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
学級や学校の生活上の諸問題を話し合っ解決することや他者と協働して取り組むことの大切さを理解している。 合意形成の手順や活動の方法を身に付けている。	学級や学校の生活をよりよくするための課題を見いだしている。 課題解決に向け、話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協働して実践している。	学級や学校における人間関係を形成し、見通しをもった振り返りながら、他者と協働して日常生活の向上を図ろうとしている。

議題例	指導上の留意点	目指す生徒の姿	円滑な接続のための留意事項
<b>【1学期】</b>	<b>＜話し合い活動＞</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学級スタートの会をしよう</li> <li>○ 学級組織をつくろう</li> <li>○ 校外学習のしおりを作ろう</li> <li>○ 生徒総会に提案しよう</li> <li>○ 体育祭を成功させるための作戦を立てよう</li> <li>○ 1学期を振り返る会をしよう</li> </ul>	◎小学校における学級活動(1)の話し合いの経験を基に、以下のような流れを参考に組み組めるようにする。		
	<b>事 前</b>	<b>本時（話し合い）</b>	<b>実 践</b>
	<p>＜計画委員会の組織＞ 司会（2名）、ノート記録（1名）、黒板記録（2名）、提案者（複数でもよい）</p> <p>＜議題の選定＞ 学級や学校での生活上の問題から共通して取り組むべき課題を生徒自らが見だし「議題」として提案する。その中から、学級の全員で話し合うべきものを計画委員で選定し、学級全員で決定する。</p> <p>＜事前の準備＞ 【計画委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 提案者の思いを生かして、提案理由を練り上げる。</li> <li>・ 提案理由には、①現状の問題 ②考えられる解決の方法 ③解決後のイメージを入れる。</li> <li>・ 活動後の姿をイメージし、提案理由を基に話し合いのめあてを設定する。</li> <li>・ 話し合うこと（何をするか、どのようにするか、役割分担）を決定する。</li> <li>・ 決まっていることを確認する。</li> <li>・ 計画委員の役割を分担する。</li> <li>・ 計画委員会で話し合いの展開について予想し、意見の分類の仕方や話し合いの進め方等について考える。</li> <li>・ 事前に議題や提案理由、話し合うことなどを全体に知らせ、共通理解を図る。</li> </ul> <p>【学級全員】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学級会ノートに、自分の考えを記入する。</li> </ul>	<p>＜話し合いの内容（例）＞</p> <p><b>議題</b> 学級スタートの会をしよう</p> <p><b>提案理由</b> 違う小学校から来てよく知らない人も多いので、楽しい集会を開くことで互いのことがよく分かり仲よくなれると思うから。</p> <p><b>話し合いのめあて</b> 違う小学校から来た人とも友達になれるような内容を決めよう</p> <p><b>決まっていること</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ○月○日の学活の時間に教室で行う。</li> <li>・ ゲームは2つ。</li> </ul> <p><b>話し合うこと</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 何のゲームをするか</li> <li>2 お互いをよく知る工夫</li> </ol> <p>＜話し合いの流れ（例）＞</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① はじめの言葉</li> <li>② 計画委員会の紹介</li> <li>③ 議題の確認</li> <li>④ 提案理由の確認</li> <li>⑤ 決まっていることの確認</li> <li>⑥ 教師の話（補足説明等）</li> <li>⑦ 話し合い</li> <li>⑧ 決定したことの確認</li> <li>⑨ 教師の話</li> <li>⑩ 終わりの言葉</li> </ol>	<p>＜集会の流れ（例）＞</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① はじめの言葉</li> <li>② めあて発表</li> <li>③ ゲーム1</li> <li>④ ゲーム2</li> <li>⑤ 感想発表</li> <li>⑥ 先生の話</li> <li>⑦ 終わりの言葉</li> </ol> <p>＜役割分担（例）＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 司会</li> <li>・ めあて発表</li> <li>・ ゲーム説明</li> <li>・ 感想発表</li> <li>・ はじめの言葉</li> <li>・ おわりの言葉</li> <li>・ プログラム作成</li> </ul>
<b>振り返り</b>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動全体の振り返りを行うことで、話し合いが実践の場に生かされたことを実感できるようにするとともに、実践を通して見いだした課題を、今後の学校生活の向上や次の実践に生かすことができるようにする。</li> </ul>

ここに記載するものは「予想される議題例」であり、これらすべてを議題としてとりあげるものではない。  
(1)の計画時数の中で、各学級で議題を選定し、話し合いや決まったことの実践を行う。

議題例	目指す生徒の姿		円滑な接続のための留意事項	
<b>【2学期】</b> ○ 学級の問題を解決しよう ○ 合唱祭を成功させるための計画を立てよう ○ 学級生活を見直そう～生活向上キャンペーン～ ○ 学級組織を見直そう ○ 2学期を振り返る会をしよう	<b>&lt;話し合い活動&gt;</b>		◎ 複数の小学校から入学していることから、年度当初に担任がオリエンテーションを行うのが望ましい。  ◎ 1学期当初の学級会では、同小学校単位で計画委員を組み、話し合うことも考えられる。それぞれの学校の学級会のスタイルのよさを見付け、中学校の学級会のスタイルを築くことにつなげる。  ◎ 中学校の教師が小学校の学級会の授業を参観するなど、小学校での話し合いの経験を中学校につなげることができるようにする。	
<b>【3学期】</b> ○ 生徒会誌の作成に取り組もう ○ 「3年生を送る会」の出し物を考えよう ○ □組を思い出に残す工夫を考えよう(球技大会・文集など) ○ 1学年のまとめの会をしよう	<b>計画</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画委員を中心に適切な議題を自分たちで選択できるようにする。</li> <li>・ 計画委員会で、話し合うことや順序などについて計画を立てることができるようにする。</li> <li>・ 提案理由を共有化し自分の考えをもつなど、話し合いの準備ができるようにする。</li> </ul>		<b>【思】</b> 議題について自分の考えをもち、計画委員会の運営や話し合いの活動計画について考え、準備している。  <b>【主】</b> 学級や学校生活の充実と向上に関心をもち、計画委員会の活動や話し合いの準備などに自主的に取り組もうとしている。
	<b>話し合い</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 理由を明確にして、自分の言葉で話すようにする。</li> <li>・ 建設的な意見をもつことができるようにする。</li> <li>・ 意見の発表方法を工夫する。</li> <li>・ 多様な意見のよさを積極的に生かすようにする。</li> </ul>		<b>【知】</b> 計画委員会の役割や話し合い活動の準備の仕方など、効率的な進め方を理解している。  <b>【思】</b> 活動計画に基づき、よりよい学級や学校の生活づくりに向けて考え、判断し、建設的な意見を述べている。
	<b>実践</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実践につながる活動を計画的に行えるようにする。</li> <li>・ 決定したことについて、みんなで協力して実践することができるようにする。</li> </ul>	<b>【思】</b> 自他の役割、創意工夫などについて考え、信頼し支え合って実践している。  <b>【主】</b> 実践についての成果と課題を振り返り、自他のよさに気付いたり次の活動に生かしたりしようとしている。	◎ 話し合いや実践の中で、互いのよさや頑張り認め合う場を設けることで、学級の仲間としての絆を深めたりよりよい人間関係を築いたりできるようにする。  ◎ 学級生活の充実や向上のための組織づくりについては、よりよい学級・学校生活をつくるために、生徒が創意工夫を凝らしながら取り組むことのできる係や委員会などの組織をつくとよい。  ◎ 学校生活の向上を図るための学級としての提案や取組の話し合いについては、学校生活における課題を自ら見付け、その解決方法について学級で意見をまとめ、生徒総会に向けて提案できるとよい。

第1学年 学級活動(2)「日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全」

10 時間

【学級活動(2)「日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全」評価規準】

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
自己の生活上の課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解している。 適切な意思決定を行い実践し続けていくために必要な知識や行動の仕方を身に付けている。	自己の生活や学習への適応及び自己の成長に関する課題を見いだしている。 多様な意見をもとに自ら意思決定して実践している。	他者への尊重と思いやりを深めてよりよい人間関係を形成しようとしている。 他者と協働して自己の生活上の課題解決に向けて、見通しをもったり振り返ったりしながら、悩みや葛藤を乗り越え取り組もうとしている。 自他の健康で安全な生活を構築しようとしている。

第1学年 学級活動(3)「一人一人のキャリア形成と自己実現」

6 時間

【学級活動(3)「一人一人のキャリア形成と自己実現」評価規準】

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していくことの意義を理解している。 現在の学習と将来の社会・職業生活とのつながりを考え、自分らしい生き方の実現を図るために、必要な知識及び技能を身に付けている。	自分らしい生き方の実現に向け、現在の学習や将来の進路についての課題を見いだしている。 主体的に学習に取り組み、働くことや社会に貢献すること、自己の将来について、適切な情報を収集して考え、意思決定して実践している。	将来の生き方を見通したり、現在の生活や学習を振り返ったりしようとしている。 働くことと学ぶことの意義を意識し、社会的・職業的自立に向けて自己実現を図ろうとしている。

月	題材	(2)	(3)	指導のねらい	目指す生徒の姿	円滑な接続のための留意事項
4月	中学生になって キャリア・パスポートの活用		ア	<ul style="list-style-type: none"> <li>中学校の学校生活について見通しをもち、学習や生活についての自己の目標を設定し、目標に向かって取り組むことができるようにする。</li> </ul>	<p>【知】 中学生として、学級や学校の生活上の心構えをもつことや、自分のめあてに向かって努力することの意義を理解している。</p> <p>【思】 なりたい中学生としての姿を明確にし、そのために必要なことについて考え、自分が実践することを意思決定している。</p> <p>【主】 新しい生活や学習への見通しをもち、意思決定して実践したことを振り返り、これからの中学校生活に生かそうとしている。</p>	<p>← もうすぐ中学生(小6)</p> <p>→ 中堅学年になって(中2)</p> <p>◎ 中学校生活への不安を解消し、期待感を高めることを目指し、「目指す生徒像(学校教育目標)」を踏まえ、「理想の学級生活」について考えた上で、生徒が自己の努力目標を設定できるようにする。</p>

月	題材	(2)	(3)	指導のねらい	目指す生徒の姿	円滑な接続のための留意事項
5月	中学校の学習 キャリア・パスポートの活用		ウ	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在及び将来と中学校での学習とのつながりを考えながら、自分に合った学習の方法について話し合い、自分に合ったためあてを立てて実践できるようにする。</li> </ul>	<p>【知】 主体的に学習に取り組むことの意味を理解し、自分に合った学習をするための知識や行動の仕方を身に付けている。</p> <p>【思】 自分の将来と中学校での学習とのつながりを考え、自分に合った学習の方法を意思決定し、実践している。</p> <p>【主】 中学校での学習への見通しをもち、意思決定して実践したことを振り返り、これからの学習の仕方に生かそうとしている。</p>	<p>← 進んで取り組む自主学習（小6）</p> <p>→ 学ぶことの楽しさ（中1）</p> <p>→ 学習環境の整備（中2）</p> <p>◎ キャリア・パスポートを活用し、小学校から現在までの自らの学びの過程を振り返り、自分に合った学習方法について考えることができるようにする。</p>
6月	ストレスを上手に発散しよう ※「いのちの支え合い」を学ぶ授業		ウ	<ul style="list-style-type: none"> <li>ストレスをためてしまうことが心の健康に影響を与えることを知り、自分に合った方法でストレスを発散することができるようにする。</li> </ul>	<p>【知】 ストレスが心の健康に与える影響を理解し、ストレスを発散するための知識や行動の仕方を身に付けている。</p> <p>【思】 ストレスを発散するための方法を考え、自分に合った方法を意思決定し、実践している。</p> <p>【主】 自分の生活における心の健康の保ち方について見通しをもち、自己の課題を改善しようとしている。</p>	<p>← 「いのちの支え合い」を学ぶ授業～友達の良い相談相手になろう（小→6）</p> <p>「いのちの支え合い」を学ぶ授業～心だつて風邪をひく（中2）</p>
7月	薬物乱用の防止		エ	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な薬物とその乱用による健康への害を知り、薬物に手を出さないという決意をし、自分で気を付けることを決定し、実践することができるようにする。</li> </ul>	<p>【知】 様々な薬物とその乱用による健康への害を理解し、薬物に手を出さないために必要な知識や行動の仕方を身に付けている。</p> <p>【思】 薬物の乱用を防止するための具体策について考え、自分に合った方法を意思決定し、実践している。</p> <p>【主】 今後の生活において様々な薬物と関わる可能性について見通しをもち、健康で安全な生活を送るため、責任ある行動をとろうとしている。</p>	<p>→ 薬物乱用の防止（中2）</p> <p>◎ 養護教諭、保健センター等と連携し、豊富な資料に基づき考え、具体的な意思決定ができるようにする。</p>

月	題材	(2)	(3)	指導のねらい	目指す生徒の姿	円滑な接続のための留意事項
8月	2学期の見通し キャリア・パスポートの活用		ア	<ul style="list-style-type: none"> <li>1学期や夏休みの生活を振り返り、自己の課題を踏まえて2学期の生活や学習に意欲をもって取り組めるようにするために、具体的な行動目標を決定し、実践することができるようにする。</li> </ul>	<p>【知】 見通しをもって取り組むことの意味を理解し、充実した2学期にするために必要な知識や行動の仕方を身に付けている。</p> <p>【思】 充実した2学期の学習や生活に取り組むための具体的な行動目標について考え、自分に合った取組を意思決定し実践している。</p> <p>【主】 1学期や夏休みの自己の生活について振り返り、意思決定して実践したことを、これからの2学期の生活に生かそうとしている。</p>	<p>→ 2学期の見通し(中2)</p> <p>◎ 生活記録ノートやキャリアパスポート等を活用し、自ら課題を見付け、具体的な意思決定に生かすことができるようにする。</p> <p>◎ 2学期の日程や行事の予定等を全員で確認し、見通しをもったうえで考えることができるようにする。</p>
9月	学ぶことの楽しさ		ア	<ul style="list-style-type: none"> <li>学ぶことの楽しさや喜びを知り、目的をもって学習に取り組めるようにするための学習方法を考え意思決定し、実践することができるようにする。</li> </ul>	<p>【知】 学ぶことの意味や楽しさを理解し、目的をもって学習に取り組めるようにするための知識や行動の仕方を身に付けている。</p> <p>【思】 目的をもって学習に取り組めるようにするための学習方法を考え、意思決定し、実践している。</p> <p>【主】 意思決定して実践したことを振り返り、これからの自らの学習に生かそうとしている。</p>	<p>← 自主学習への取り組み方(小6)</p> <p>◎ 学ぶことの意味を、働くことの意味とも関連させながら考えることができるようにする。</p>
	自己の安全確保  防		エ	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己の安全確保のために必要なことを理解し、自然災害等の緊急事態発生時に取るべき行動を考え、実践できるようにする。</li> </ul>	<p>【知】 自然災害等の緊急事態発生時の安全に対する心構えを理解し、自己の安全確保のための知識や行動の仕方を身に付けている。</p> <p>【思】 自然災害等の緊急事態発生時における安全確保のための行動の仕方について考え、意思決定し、実践している。</p> <p>【主】 自然災害等の緊急事態発生時の安全確保について見通しをもち、自己の課題を改善しようとしている。</p>	<p>← 身の守り方(小6)</p> <p>→ 身の安全の守り方(中2)</p> <p>◎ 「ヒヤリ、ハット」の体験発表や、ロールプレイング等を取り入れる。</p> <p>◎ 安全担当との連携を密にする。</p>

月	題材	(2)	(3)	指導のねらい	目指す生徒の姿	円滑な接続のための留意事項
10月	インターネットの利用の仕方	エ		<ul style="list-style-type: none"> <li>インターネットの利便性とともその危険性や弊害を理解し、安全に情報を活用するために気を付けるべきことを考え、日常生活において実践できるようにする。</li> </ul>	<p>【知】 インターネットの利用に伴う危険性や弊害を理解し、安全に活用するための行動の仕方を身に付けている。</p> <p>【思】 安全にインターネットを活用するための方法や約束を考え、意思決定し、実践している。</p> <p>【主】 インターネットの利用について見通しをもったり振り返ったりして、自らの生活の改善に生かそうとしている。</p>	<p>← メディアとのかかわり方 (小5)</p> <p>→ 様々なメディアとのかかわり方 (中◎3)</p> <p>情報教育担当と連携し、インターネット等による具体的な事例を活用し、自分事として考えることができるようにする。</p>
	身近な人の職業		イ	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な人たちの職業を調べ、通して、様々な役割や職業が社会を支えていることを理解し、学級や学校における自分にふさわしい貢献の仕方を考え、実践できるようにする。</li> </ul>	<p>【知】 働くことの意義と、それぞれの能力や特性を生かした貢献の仕方を理解している。</p> <p>【思】 働くことの意義について考え、自分にできる行動を考え、意思決定し、実践している。</p> <p>【主】 学級・学校内での自らの役割について見通しをもったり振り返ったりして、自らの生活に生かそうとしている。</p>	<p>← 最上級生としての役割 (小6)</p> <p>→ 社会人としてのマナー (中2)</p> <p>◎ 職業調べを通して、保護者や卒業生、身近な社会人や地域の職業人の講話等を取り入れる。</p> <p>◎ 進路指導主事との連携を密にする。</p>
11月	学校図書館の意義とその利用		ア	<ul style="list-style-type: none"> <li>自主的な学習の場、様々な情報が得られる場としての学校図書館の役割を知り、自主的な学習を深めるために積極的に活用することができるようにする。</li> </ul>	<p>【知】 学校図書館の意義と利用の仕方を理解している。</p> <p>【思】 学校図書館の役割を知り、自己の学習を深めるための活用方法を考え、意思決定し、実践している。</p> <p>【主】 学校図書館の利用の仕方について見通しをもったり振り返ったりして、積極的な活用につなげようとしている。</p>	<p>← 図書館の上手な使い方 (小5)</p> <p>◎ 学校図書館司書と連携を図り、具体的な活用方法や学校図書館の役割など、必要な情報を提示できるようにする。</p>
	生活習慣の見直し	エ		<ul style="list-style-type: none"> <li>自己管理を行うことの意義やそのために必要となることを理解し、心身の健康を保持増進するために、自らの生活習慣を改善することができるようにする。</li> </ul>	<p>【知】 自己管理を行うことの意義やそのために必要となることを理解している。</p> <p>【思】 健康を保持増進するための生活習慣の改善方法について考え、意思決定し、実践している。</p> <p>【主】 自らの生活習慣について見通しをもったり振り返ったりして、自己の生活の改善に生かそうとしている。</p>	<p>← 夏休みを有意義に (小6)</p> <p>◎ 個々の状況や家庭環境等に違いがあることに十分留意する。</p> <p>◎ 養護教諭と連携し、生活習慣の改善の必要性について実感できるようにする。</p>

月	題材	(2)	(3)	指導のねらい	目指す生徒の姿	円滑な接続のための留意事項
12月	心の健康	ウ		<ul style="list-style-type: none"> <li>思春期の心の特徴を理解し、自己の心の健康を保つために、悩みや不安を解消することができるようにする。</li> </ul>	<p>【知】 思春期の心の特徴や心の健康を保つことの大切さを理解している。</p> <p>【思】 自己の悩みや不安を解消し乗り越える方法について考え、意思決定し、実践している。</p> <p>【主】 自らの心の健康について見通しをもったり振り返ったりして、悩みや不安の解消に生かそうとしている。</p>	<p>← 悩みと上手に付き合おう（小5）</p> <p>→ 心だって風邪をひく（中2）</p> <p>◎ 個人の内面にかかわる内容については、十分配慮する。</p> <p>◎ さわやか相談員等との連携を密にする。</p>
1月	男女の相互理解	イ		<ul style="list-style-type: none"> <li>男女の身体面や精神面の違いを理解し、男女の望ましい人間関係の在り方について考え、実践できるようにする。</li> </ul>	<p>【知】 男女の身体面、精神面の違いと、男女の望ましい人間関係の在り方について理解している。</p> <p>【思】 性別に関係なく相互理解を図るための方法について考え、意思決定し、実践している。</p> <p>【主】 男女の人間関係の在り方について見通しをもったり振り返ったりしながら、自己の生活の改善に生かそうとしている。</p>	<p>← 自己のよさの伸長（小6）</p> <p>→ 人権の尊重と男女平等（中2）</p> <p>◎ 学級での問題点について話し合ったり、新聞等の資料を基に考えたりできるようにする。</p>
	望ましい食習慣	オ		<ul style="list-style-type: none"> <li>中学校という発達の段階における摂食の在り方を知り、望ましい食習慣を身に付けることができるようにする。</li> </ul>	<p>【知】 中学校という発達の段階における摂食の在り方を理解している。</p> <p>【思】 望ましい食習慣を身に付けるための方法について考え、意思決定し、実践している。</p> <p>【主】 自らの食習慣について見通しをもったり振り返ったりしながら、自己の課題の解決に生かそうとしている。</p>	<p>← 朝食と生活リズム（小6）</p> <p>→ 糖分のとり方（中2）</p> <p>◎ 授業のねらいや事後の取組など、家庭との連携を図り、効果を高める。</p> <p>◎ 給食担当、養護教諭、栄養教諭等との連携を密にする。</p>
2月	性についての理解	ウ		<ul style="list-style-type: none"> <li>性に関する正しい知識を理解し、責任をもって行動することができるようにする。</li> </ul>	<p>【知】 性に対する正しい知識をもつことが、責任ある行動につながることを理解している。</p> <p>【思】 責任をもった行動について考え、意思決定し、実践している。</p> <p>【主】 学習した内容を、これからの自己の生活に生かそうとしている。</p>	<p>→ 性についての正しい理解（中3）</p> <p>◎ 内容、方法等は保護者の理解を得られるようにする。</p> <p>◎ 養護教諭等との連携を密にする。</p> <p>◎ 保健体育の学習内容との関連を図る。</p>



月	題材	(2)	(3)	指導のねらい	目指す生徒の姿	円滑な接続のための留意事項
2月	自分の長所と短所	ア		<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の長所や短所を理解し、自分の個性を生かして集団の一員として協力して生活することができるようにする。</li> </ul>	<p>【知】 自分の個性を生かして、集団の一員として協力して生活することの意義を理解している。</p> <p>【思】 自分の個性とその生かし方について考え、集団の一員として協力して生活している。</p> <p>【主】 学習した内容を、これからの学級での生活に生かそうとしている。</p>	<p>← 自己のよさの伸長（小6）</p> <p>→ 個性の伸長と生活の充実（中2）</p> <p>◎ 養護教諭やさわやか相談員、スクールカウンセラー等と連携し、教育相談やカウンセリングの手法を活用しながら考えることができるようにする。</p>
3月	進路計画の必要性と立て方 キャリア・パスポートの活用		ウ	<ul style="list-style-type: none"> <li>将来の夢や希望の実現のためには計画を立てることが大切であることを理解し、暫定的な進路計画を立てることができる。</li> </ul>	<p>【知】 進路計画を立てることの意義や必要性を理解している。</p> <p>【思】 将来の夢や希望の実現に向けて自分を見つめ、自己の具体的な進路計画を考え、実践している。</p> <p>【主】 自己の生活や学習について見通しをもったり振り返ったりしながら、自主的に将来の自分の姿について考えようとしている。</p>	<p>→ 進路計画に向けて（中2）</p> <p>◎ 夢や希望の実現に向け、共に考え、具体的な進路計画を立てることができるようにする。</p> <p>◎ 進路指導主事との連携を密にする。</p>

※（2）の内容ア～オ及び（3）の内容ア～ウが、必ず取り扱われるようにする。

※「『いのちの支え合い』を学ぶ授業」については、2学期末までに実施する。

(2) ア 2  
イ 1  
ウ 3  
エ 4  
オ 1  
計 10

(3) ア 3  
イ 1  
ウ 2  
  
計 6

<p><b>【学級活動の目標】</b>                  学級や学校での生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成し、役割を分担して協力して実践したり、学級での話し合いを生かして自己の課題の解決及び将来の生き方を描くために意思決定して、実践したりすることに、自主的、実践的に取り組むことを通して、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを旨す。</p>	
<p><b>【学級活動において育成を目指す資質・能力】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学級における集団活動や自律的な生活を送ることの意義を理解し、そのために必要となることを理解し身に付けるようにする。</li> <li>○ 学級や自己の生活、人間関係をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。</li> <li>○ 学級における集団活動を通して身に付けたことを生かして、人間関係をよりよく形成し、他者と協働して集団や自己の課題を解決するとともに、将来の生き方を描き、その実現に向けて、日常生活の向上を図ろうとする態度を養う。</li> </ul>	
<p><b>【中学校の指導の重点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分たちできまりをつくって守ろうとする態度。目標をもって諸問題を解決しようとする態度。自己のよさや可能性に自信をもち集団活動を行おうとする態度。（道徳との関連を図る）</li> </ul>	
<p><b>【学級活動の内容】</b></p>	
<p>○ 学級活動（1）                  「学級や学校における生活づくりへの参画」</p>	<p>ア 学級や学校における生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図り、実践すること                  イ 学級生活の充実や向上のため、生徒が主体的に組織をつくり、役割を自覚しながら仕事を分担して、協力し合い実践すること                  ウ 生徒会など学級の枠を超えた多様な集団における活動や学校行事を通して学校生活の向上を図るため、学級としての提案や取組を話し合って決めること</p>
<p>○ 学級活動（2）                  「日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全」</p>	<p>ア 自他の個性を理解して尊重し、互いのよさや可能性を發揮しながらよりよい集団生活をつくること                  イ 男女相互について理解するとともに、共に協力し尊重し合い、充実した生活づくりに参画すること                  ウ 心や体に関する正しい理解を基に、適切な行動をとり、悩みや不安に向き合い乗り越えようとする事                  エ 節度ある生活を送るなど現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守り安全に行動すること                  オ 給食の時間を中心としながら、成長や健康管理を意識するなど、望ましい食習慣の形成を図るとともに、食事を通して人間関係をよりよくすること</p>
<p>○ 学級活動（3）                  「一人一人のキャリア形成と自己実現」</p>	<p>ア 現在及び将来の学習と自己実現とのつながりを考えたり、自主的に学習する場としての学校図書館等を活用したりしながら、学ぶことと働くことの意義を理解して学習の見通しを立て、振り返ること                  イ 社会の一員としての自覚や責任をもち、社会生活を営む上で必要なマナーやルール、働くことや社会に貢献することについて考えて行動すること                  ウ 目標をもって、生き方や進路に関する適切な情報を収集・整理し、自己の個性や興味・関心と照らして考えること</p>

【学級活動「(1)学級や学校における生活づくりへの参画」評価規準】

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
<p>学級や学校の生活上の諸問題を話し合っ解決することや他者と協働して取り組むことの大切さを理解している。 合意形成の手順や活動の方法を身に付けている。</p>	<p>学級や学校の生活をよりよくするための課題を見いだしている。 課題解決に向け、話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協働して実践している。</p>	<p>学級や学校における人間関係を形成し、見通しをもったり振り返ったりしながら、他者と協働して日常生活の向上を図ろうとしている。</p>

議題例	指導上の留意点	目指す生徒の姿	円滑な接続のための留意事項
<p>【1学期】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学級スタートの会をしよう</li> <li>○ 学級組織をつくろう</li> <li>○ 充実した校外学習にしよう</li> <li>○ 生徒総会に提案しよう</li> <li>○ 体育祭を成功させよう</li> <li>○ 1学期を振り返る会をしよう</li> </ul>	<p>事前の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学級や学校での生活上の問題から共通して取り組むべき課題を生徒自らが見出し「議題」として選定できるようにする。</li> <li>・ 実践までの見通しをもち、話し合いの計画を立てることができるようにする。</li> <li>・ 提案理由を全体で共有し、自分の考えをもつなど話し合いの準備ができるようにする。</li> </ul>	<p>＜話し合い活動＞</p> <p>【思】 議題について自分の考えをもち、計画委員会の運営や話し合いの活動計画について考え、準備している。</p> <p>【主】 学級や学校生活の充実と向上に関心をもち、計画委員会の活動や話し合いの準備などに自主的に取り組もうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 話し合いや実践の中で、互いのよさや頑張りを認め合う場を設けることで、学級の仲間としての絆を深めたりよりよい人間関係を築いたりできるようにする。</li> <li>◎ 学級生活の充実や向上のための組織づくりについては、よりよい学級・学校生活をつくるために、生徒が創意工夫を凝らしながら取り組むことのできる係や委員会などの組織をつくるとよい。</li> </ul>
<p>【2学期】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生徒会役員選挙に向けて話し合おう</li> <li>○ 合唱祭を成功させよう</li> <li>○ 学級の問題を解決しよう</li> <li>○ 生活向上キャンペーンをしよう</li> <li>○ 学級組織を見直そう</li> <li>○ 2学期を振り返る会をしよう</li> </ul>	<p>本時の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 理由を明確にして、自分の言葉で話すようにする。</li> <li>・ 建設的な意見をもつことができるようにする。</li> <li>・ 意見の発表方法を工夫する。</li> <li>・ 多様な意見のよさを積極的に生かすようにする。</li> </ul>	<p>【知】 計画委員会の役割や話し合い活動の準備の仕方など、効率的な進め方を理解している。</p> <p>【思】 活動計画に基づき、よりよい学級や学校的生活づくりに向けて考え、判断し、建設的な意見を述べている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 学校生活の向上を図るための学級として提案や取組の話し合いについては、学校生活における課題を自ら見つけその解決方法について学級で意見をまとめ、生徒総会に向けて提案できるとよい。</li> </ul>
<p>【3学期】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「自然の教室」の計画を立てよう</li> <li>○ 3年生に喜んでもらえるような「3年生を送る会」を開こう</li> <li>○ 一年間のまとめの会をしよう</li> </ul>	<p>事後の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実践につながる活動を計画的に行えるようにする。</li> <li>・ 決定したことについて、みんなで協力して実践することができるようにする。</li> <li>・ 活動全体の振り返りを行うことで、今後の学校生活の向上や次の実践に生かすことができるようにする。</li> </ul>	<p>【思】 自他の役割、創意工夫などについて考え、信頼し支え合って実践している。</p> <p>【主】 見通しをもって、決定したことについて自主的に準備や計画に取り組もうとしている。</p>	

第2学年 学級活動(2)「日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全」

9 時間

【学級活動(2)「日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全」評価規準】

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
自己の生活上の課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解している。 適切な意思決定を行い実践し続けるために必要な知識や行動の仕方を身に付けている。	自己の生活や学習への適応及び自己の成長に関する課題を見いだしている。 多様な意見をもとに自ら意思決定して実践している。	他者への尊重と思いやりを深めてよりよい人間関係を形成しようとしている。 他者と協働して自己の生活上の課題解決に向けて、見通しをもったり振り返ったりしながら、悩みや葛藤を乗り越え取り組もうとしている。 自他の健康で安全な生活を構築しようとしている。

第2学年 学級活動(3)「一人一人のキャリア形成と自己実現」

8 時間

【学級活動(3)「一人一人のキャリア形成と自己実現」評価規準(例)】

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していくことの意義を理解している。 現在の学習と将来の社会・職業生活とのつながりを考え、自分らしい生き方の実現を図るために、必要な知識及び技能を身に付けている。	自分らしい生き方の実現に向け、現在の学習や将来の進路についての課題を見いだしている。 主体的に学習に取り組み、働くことや社会に貢献すること、自己の将来について、適切な情報を収集して考え、意思決定して実践している。	将来の生き方を見通したり、現在の生活や学習を振り返ったりしようとしている。 働くことと学ぶことの意義を意識し、社会的・職業的自立に向けて自己実現を図ろうとしている。

月	題材	(2)	(3)	指導のねらい	目指す生徒の姿	円滑な接続のための留意事項
4月	中堅学年になって キャリア・パスポートの活用		ア	<ul style="list-style-type: none"> <li>2年生の学校生活について見通しをもち、中堅学年の役割を意識しながら学習や生活についての自己の目標を設定し、目標に向かって取り組むことができるようにする。</li> </ul>	<p>【知】 中堅学年としての心構えをもつことや、自分のめあてに向かって努力することの大切さを理解している。</p> <p>【思】 理想の中堅学年としての姿を明確にし、その実現に向けて必要なことについて考え、自己の努力目標を設定している</p> <p>【主】 新しい生活や学習への期待と自分を向上させようとする意欲をもち、思いをふくらませている。</p>	<p>← 中学生になって(中1) → 最上級生になって(中3)</p> <p>◎ 「キャリア・パスポート」の活用を図る。</p> <p>◎ 新しい学年への不安を解消し、期待感を高めることを目指し、「目指す生徒像(学校教育目標)」を踏まえ、「理想の学級生活」について考えた上で、生徒が自己の努力目標を設定できるようにする。</p>

月	題材	(2)	(3)	指導のねらい	目指す生徒の姿	円滑な接続のための留意事項
5月	学習環境の整備 キャリア・パスポートの活用		ア	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習環境を整備することの重要性を理解し、自分にふさわしい学習方法や学習計画を考え、主体的に学習に取り組むことができるようにする。</li> </ul>	<p>【知】 主体的に学習に取り組むために、学習環境を整備することの大切さを理解している。</p> <p>【思】 話し合いを通して、自分にふさわしい学習方法について考え、学習計画を作成し、実践している。</p> <p>【主】 自らの学習環境について見通しをもったり振り返ったりしながら、これからの生活に生かそうとしている。</p>	<p>◎ 1年生の時の学習状況を踏まえ、学習効果を高めるためには、どのような条件が必要かを考える。</p>
6月	心だって風邪をひく ※「いのちの支え合い」を 学ぶ授業		ウ	<ul style="list-style-type: none"> <li>深く悩むことは特別なことではないことや、友達が深く悩んでいる時には大人に知らせることが大切であることを理解し、自分に合った解決方法について考え、心の健康を保つことができるようにする。</li> </ul>	<p>【知】 大人に相談することも含めて、悩みへの様々な対処方法があることを理解している。</p> <p>【思】 自分に合った悩みの解決方法について考え、判断し、実践している。</p> <p>【主】 悩みの解決のために意思決定し実践したことを振り返り、心の健康を保つために生かそうとしている。</p>	<p>← ストレスを上手に発散しよう（中1）</p> <p>← 心の健康（中1）</p> <p>→ なりたい自分になるために（中3） 個人の内面にかかわる内容について</p> <p>◎ は、十分配慮する。 スクールカウンセラー等との連携を</p> <p>◎ 密にする。</p>
	働くことの目的や意義		イ	<ul style="list-style-type: none"> <li>集団の一員として働くことの目的や意義について考え、集団の中で自らを生かした責任ある行動を取ることができるようにする。</li> </ul>	<p>【知】 集団の一員として働くことの目的や意義を理解している。</p> <p>【思】 集団の一員として働くことの目的や意義について考え、実践している。</p> <p>【主】 意思決定し実践したことを振り返り、自分のよさを生かして自己の在り方を主体的に改善しようとしている。</p>	<p>← 身近な人の職業（中1）</p> <p>→ 働くことと生きがい（中3）</p> <p>◎ 様々な役割や職業がどのように社会を支えているのかに気付くことができるようにする。</p> <p>◎ 「さいたまエンジン」との関連を図る。</p>

月	題材	(2)	(3)	指導のねらい	目指す生徒の姿	円滑な接続のための留意事項
7 月	ボランティア活動の意義		イ	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティア活動の意義を理解して、積極的に活動に取り組むことができるようにする。</li> </ul>	<p>【知】 ボランティア活動の意義や基本的性格、参加の仕方を理解している。</p> <p>【思】 身近にできるボランティア活動について考え、自分に取り組めることを意思決定し、実践している。</p> <p>【主】 自らの能力や適性を生かして、自分にできる活動に取り組もうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ ボランティア活動に携わっている人を招いての講話や体験等を取り入れる。</li> <li>◎ ボランティア活動を通して、協力や奉仕、仕事の責任感を身に付けることができるようにする。</li> </ul>
	学ぶための制度と機会①		ウ	<ul style="list-style-type: none"> <li>中学校卒業後の進路についての情報を理解し、自分の目指すべき将来像を思い描くことができるようにする。</li> </ul>	<p>【知】 中学校卒業後の進路や社会生活についての情報を収集し、理解している。</p> <p>【思】 収集した情報を活用し、自分の目指すべき将来像を思い描いている。</p> <p>【主】 自分の将来に向けての見通しをもち、これからの生活に生かそうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>→ 学ぶための制度と機会②（中2）</li> <li>◎ 中学校卒業後の進路や社会生活についての情報の収集に当たっては、インターネット等を効果的に活用する。</li> <li>◎ 進路指導主事との連携を密にする。</li> </ul>
8 ・ 9 月	2学期の見通し キャリア・パスポートの活用		ア	<ul style="list-style-type: none"> <li>1学期や夏休みの自分の取組を振り返ることで2学期の活動への見通しをもち、目標をもって行動することができるようにする。</li> </ul>	<p>【知】 明確な目標を立てることが、今後の学校生活の向上につながることを理解している。</p> <p>【思】 充実した2学期にするために、振り返ったことを生かしながら自分の目標を考え、意思決定している。</p> <p>【主】 実践を振り返り、将来に向けての学校生活や日常成果に生かそうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>← 2学期の見通し（中1）</li> <li>→ 2学期の見通し（中3）</li> <li>◎ 生活記録ノートを活用する。</li> <li>◎ 話合いから課題を見付け、決意を表明できるようにする。</li> </ul>

月	題材	(2)	(3)	指導のねらい	目指す生徒の姿	円滑な接続のための留意事項
9月	薬物乱用の防止	エ		<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な薬物とその乱用による健康への害を知り、薬物に手を出さないという決意をし、自分で気を付けることを意思決定し実践できるようにする。</li> </ul>	<p>【知】 様々な薬物とその乱用による健康への害を理解し、薬物に手を出さないために必要な知識や行動の仕方を身に付けている。</p> <p>【思】 薬物の乱用を防止するための具体策について考え、自分に合った方法を意思決定し、実践している。</p> <p>【主】 今後の生活において様々な薬物と関わる可能性について見通しをもち、健康で安全な生活を送るため、責任ある行動をとろうとしている。</p>	<p>← 薬物乱用の防止（中1） → 薬物乱用の防止（中3）</p> <p>◎ 養護教諭、保健センター等と連携し、豊富な資料に基づき考える。</p>
10月	学ぶための制度と機会②		ウ	<ul style="list-style-type: none"> <li>上級学校についての情報を収集・活用して進路に関する理解を深め、自己の将来像の実現に向けての行動を考え、実践できるようにする。</li> </ul>	<p>【知】 上級学校についての情報を収集・活用し、卒業後の進路について理解している。</p> <p>【思】 収集した情報を活用し、自己の将来像の実現に向けての行動を考え、実践している。</p> <p>【主】 自分の将来に向けての見通しをもち、これからの学校生活、日常生活に生かそうとしている。</p>	<p>← 学ぶための制度と機会①（中2）</p> <p>◎ 進路情報の収集に当たっては、インターネット等を効果的に活用する。</p> <p>◎ 進路指導主事との連携を密にする。</p>
10月	身の安全の守り方 <div style="text-align: center;">防</div>	エ		<ul style="list-style-type: none"> <li>安全確保のために必要な知識や技能を身に付け、災害等の発生時に落ち着いて適切に対処することができるようにする。</li> </ul>	<p>【知】 安全確保のために必要な知識や技能を身に付けている。</p> <p>【思】 災害等の発生時に落ち着いて対処するための心構えや行動の仕方について考え、意思決定し、実践している。</p> <p>【主】 安全確保のための行動について見通しをもちたり振り返ったりしながら、災害等の発生時に生かそうとしている。</p>	<p>← 自己の安全確保（中1） → 自他の安全（中3）</p> <p>◎ 「ヒヤリ、ハット」した体験の発表、ロールプレイング等を取り入れる。</p> <p>◎ 安全担当との連携を密にする。</p>

月	題材	(2)	(3)	指導のねらい	目指す生徒の姿	円滑な接続のための留意事項
11月	社会人としてのマナー		イ	<ul style="list-style-type: none"> <li>「さいたまエンジン」に向け、働くことの意義を理解するとともに社会人としてのマナーを身に付け、適切な行動をとることができるようにする。</li> </ul>	<p>【知】 働くことの意義を理解し、社会人としてのマナーを身に付けている。</p> <p>【思】 「さいたまエンジン」に向けて、適切な行動をとることができるよう、自らの目標を考え、実践している。</p> <p>【主】 「さいたまエンジン」等に向けての見通しをもち、意思決定し実践したことを振り返り、自らの生活に生かそうとしている。</p>	<p>→ 社会人として生きる（中3）</p> <p>◎ あいさつなど社会人としての基本的なマナーの必要性を考える。</p> <p>◎ 「さいたまエンジン」との関連を図る。</p>
	糖分のとり方		オ	<ul style="list-style-type: none"> <li>おやつや飲み物等に含まれる糖分について理解し、健康に生活するために適切な量を摂取することができるようにする。</li> </ul>	<p>【知】 おやつや飲み物等に含まれる糖分や、適切な量を取るための大切さについて理解している。</p> <p>【思】 健康に生活するために適量の糖分を摂取できるよう、自分が気を付けることを考え、意思決定している。</p> <p>【主】 意思決定し実践したことを振り返り、これからの生活の改善に生かそうとしている。</p>	<p>← 望ましい食習慣（中1）</p> <p>→ 食事のとり方（中3）</p> <p>◎ 家庭との連携を図り、効果を高める。</p> <p>◎ 給食担当、養護教諭、栄養教諭、学校栄養職員等との連携を密にする。</p>
12月	進路選択に向けて		ウ	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己の特性や適性について考え、これまでの学習や経験を基に、進路選択を自分事として捉え、自己実現のための努力目標を明確にすることができるようにする。</li> </ul>	<p>【知】 卒業後の進路選択の問題が、自分自身の課題であることを理解している。</p> <p>【思】 将来の目標となる夢や希望とのつながりを見通し、幅広く進路選択の問題について考えている。</p> <p>【主】 自己の特性や適性について考えたことを、自分のこれからの進路選択に生かそうとしている。</p>	<p>← 進路計画の必要性と立て方（中1）</p> <p>→ 自分のめざす進路（中3）</p> <p>◎ 放課後の進路相談など、個別指導の場面との関連を図る。</p> <p>◎ 三者面談の際にも、自分事として問題を捉え、自己実現に向けた努力目標等を考えることができるようにする。</p>



月	題材	(2)	(3)	指導のねらい	目指す生徒の姿	円滑な接続のための留意事項
1 月	「さいたまエンジン」の 学びの生かし方  キャリア・パスポートの活用	ウ		<ul style="list-style-type: none"> <li>「さいたまエンジン」で学んだことをこれからの生活に生かすことができるようにする。</li> </ul>	<p>【知】 体験したことと照らし合わせて働くことの意義を理解している。</p> <p>【思】 「さいたまエンジン」で学んだことを、自分のこれからの学校生活に生かすための方法を考え、意思決定し、実践している。</p> <p>【主】 「さいたまエンジン」での学びをこれからの自分の生活に生かそうとしている。</p>	<p>← 身近な人の職業（中1）</p> <p>→ 社会人として生きる（中3）</p> <p>◎ 進路指導主事と連携を図る。</p> <p>◎ 総合的な学習の時間にまとめたレポート、キャリア・パスポートなどを効果的に活用できるようにする。</p>
	人権の尊重と男女平等	イ		<ul style="list-style-type: none"> <li>望ましい人間関係を築く上でのルールやマナーを理解し、性別に関係なく互いの人権を尊重した行動ができるようにする。</li> </ul>	<p>【知】 望ましい人間関係を築くためにはルールやマナーが必要であることを理解している。</p> <p>【思】 互いの人権を尊重した行動について考え、意思決定し、主体的に実践している。</p> <p>【主】 意思決定し実践したことを、これからの日常生活に生かそうとしている。</p>	<p>← 男女の相互理解（中1）</p> <p>→ 男女共同参画社会と自分の在り方（中3）</p> <p>◎ 人権教育担当と連携し、男女共同参画社会の在り方について知ることができるようにする。</p>
2 月	個性の伸長と生活の充実	ア		<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の個性や適性、長所と短所などを理解し、今後の学校生活の充実を図ることができるようにする。</li> </ul>	<p>【知】 自分の個性や適性、長所と短所などを理解している。</p> <p>【思】 自分の個性や適性、長所と短所について考え、学校生活の充実を図るために取り組むことを決め、実践している。</p> <p>【主】 意思決定し実践したことを、これからの生活の充実に生かそうとしている。</p>	<p>← 自分の長所と短所（中1）</p> <p>→ 理想の実現（中3）</p> <p>◎ 友達への励ましなどを文章で表現し伝え合う活動等を取り入れる。</p> <p>◎ カウンセリング等の手法を活用する。</p>

月	題材	(2)	(3)	指導のねらい	目指す生徒の姿	円滑な接続のための留意事項
3月	希望の実現 キャリア・パスポートの活用		ウ	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの学びや経験を基に、自分の希望の実現に向けて、今の自分に必要なことを考え実践できるようにする。</li> </ul>	<p>【知】 希望の実現に向けて努力目標を定めることの意義を理解している。</p> <p>【思】 先輩の進路決定状況やこれまでの進路学習を基に、自己の希望の実現に向け、今自分にできることを考え、意思決定し、実践している。</p> <p>【主】 自ら意思決定し実践したことを振り返り、自己の希望の実現に生かそうとしている。</p>	<p>→ 理想の実現（中3）</p> <p>◎ 進路に関する様々な資料を集め、有効に活用する。</p> <p>◎ キャリア・パスポートを活用し、自分のよさや可能性を生かしながら自分の希望の実現に向けてできることを考えることができるようにする。</p>

※（2）の内容ア～オ及び（3）の内容ア～ウが、必ず取り扱われるようにする。

※「『いのちの支え合い』を学ぶ授業」については、2学期末までに実施する。

(2) ア 3  
イ 1  
ウ 2  
エ 2  
オ 1  
計 9

(3) ア 1  
イ 3  
ウ 4  
計 8

<b>【学級活動の目標】</b>	
学級や学校での生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成し、役割を分担して協力して実践したり、学級での話し合いを生かして自己の課題の解決及び将来の生き方を描くために意思決定して、実践したりすることに、自主的、実践的に取り組むことを通して、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	
<b>【学級活動において育成を目指す資質・能力】</b>	
○ 学級における集団活動や自律的な生活を送ることの意義を理解し、そのために必要となることを理解し身に付けるようにする。	
○ 学級や自己の生活、人間関係をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。	
○ 学級における集団活動を通して身に付けたことを生かして、人間関係をよりよく形成し、他者と協働して集団や自己の課題を解決するとともに、将来の生き方を描き、その実現に向けて、日常生活の向上を図ろうとする態度を養う。	
<b>【中学校の指導の重点】</b>	
○ 自分たちできまりをつくって守ろうとする態度。目標をもって諸問題を解決しようとする態度。自己のよさや可能性に自信をもち集団活動を行おうとする態度。（道徳との関連を図る）	
<b>【学級活動の内容】</b>	
○ 学級活動（1） 「学級や学校における生活づくりへの参画」	ア 学級や学校における生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図り、実践すること イ 学級生活の充実や向上のため、生徒が主体的に組織をつくり、役割を自覚しながら仕事を分担して、協力し合い実践すること ウ 生徒会など学級の枠を超えた多様な集団における活動や学校行事を通して学校生活の向上を図るため、学級としての提案や取組を話し合って決めること
○ 学級活動（2） 「日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全」	ア 自他の個性を理解して尊重し、互いのよさや可能性を発揮しながらよりよい集団生活をつくること イ 男女相互について理解するとともに、共に協力し尊重し合い、充実した生活づくりに参画すること ウ 心や体に関する正しい理解を基に、適切な行動をとり、悩みや不安に向き合い乗り越えようとする事 エ 節度ある生活を送るなど現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守り安全に行動すること オ 給食の時間を中心としながら、成長や健康管理を意識するなど、望ましい食習慣の形成を図るとともに、食事を通して人間関係をよりよくすること
○ 学級活動（3） 「一人一人のキャリア形成と自己実現」	ア 現在及び将来の学習と自己実現とのつながりを考えたり、自主的に学習する場としての学校図書館等を活用したりしながら、学ぶことと働くことの意義を理解して学習の見通しを立て、振り返ること イ 社会の一員としての自覚や責任をもち、社会生活を営む上で必要なマナーやルール、働くことや社会に貢献することについて考えて行動すること ウ 目標をもって、生き方や進路に関する適切な情報を収集・整理し、自己の個性や興味・関心と照らして考えること

【学級活動「(1)学級や学校における生活づくりへの参画」評価規準】

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
学級や学校の生活上の諸問題を話し合っ解決することや他者と協働して取り組むことの大切さを理解している。 合意形成の手順や活動の方法を身に付けている。	学級や学校の生活をよりよくするための課題を見いだしている。 課題解決に向け、話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協働して実践している。	学級や学校における人間関係を形成し、見通しをもった振り返ったりしながら、他者と協働して日常生活の向上を図ろうとしている。

議題例	指導上の留意点	目指す生徒の姿	円滑な接続のための留意事項
<b>【1学期】</b> ○ 学級(学年)スタートの会をしよう ○ 学級組織をつくろう ○ 修学旅行を成功させよう ○ 生徒総会に提案しよう ○ 学級の問題を解決しよう ○ 体育祭を成功させよう ○ 1学期を振り返ろう	事前の活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>学級や学校での生活上の問題から共通して取り組むべき課題を生徒自らが見だし「議題」として選定できるようにする。</li> <li>実践までの見通しをもち、話し合いの計画を立てることができるようにする。</li> <li>提案理由を全体で共有し、自分の考えをもつなど話し合いの準備ができるようにする。</li> </ul>	<b>＜話し合い活動＞</b> <b>【思】</b> 議題について自分の考えをもち、計画委員会の運営や話し合いの活動計画について考え、準備している。 <b>【主】</b> 学級や学校生活の充実と向上に関心をもち、計画委員会の活動や話し合いの準備などに自主的に取り組もうとしている。	◎ 話し合いや実践の中で、互いのよさや頑張り認め合う場を設けることで、学級の仲間としての絆を深めたりよりよい人間関係を築いたりできるようにする。 ◎ 学級生活の充実や向上のための組織づくりについては、よりよい学級・学校生活をつくるために、生徒が創意工夫を凝らしながら取り組むことのできる係や委員会などの組織をつくとよい。 ◎ 学校生活の向上を図るための学級としての提案や取組の話し合いについては、学校生活における課題を自ら見つけその解決方法について学級で意見をまとめ、生徒総会に向けて提案できるとよい。
<b>【2学期】</b> ○ 合唱祭を成功させよう ○ 生活向上キャンペーンをしよう ○ 学級の問題を解決しよう ○ 学級組織を見直そう ○ 2学期を振り返ろう	本時の活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>理由を明確にして、自分の言葉で話すようにする。</li> <li>建設的な意見をもつことができるようにする。</li> <li>意見の発表方法を工夫する。</li> <li>多様な意見のよさを積極的に生かすようにする。</li> </ul>	<b>【知】</b> 計画委員会の役割や話し合い活動の準備の仕方など、効率的な進め方を理解している。 <b>【思】</b> 活動計画に基づき、よりよい学級や学校の生活づくりに向けて考え、判断し、建設的な意見を述べている。	
<b>【3学期】</b> ○ 卒業までの計画を立てよう ○ 卒業文集を作ろう ○ 学級お別れ会を開こう	事後の活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>実践につながる活動を計画的に行えるようにする。</li> <li>決定したことについて、みんなで協力して実践することができるようにする。</li> <li>活動全体の振り返りを行うことで、今後の学校生活の向上や次の実践に生かすことができるようにする。</li> </ul>	<b>【思】</b> 自他の役割、創意工夫などについて考え、信頼し支え合って実践している。 <b>【主】</b> 見通しをもって、決定したことについて自主的に準備や計画に取り組もうとしている。	

第3学年 学級活動(2)「日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全」

9 時間

【学級活動(2)「日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全」評価規準】

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
自己の生活上の課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解している。 適切な意思決定を行い実践し続けていくために必要な知識や行動の仕方を身に付けている。	自己の生活や学習への適応及び自己の成長に関する課題を見いだしている。 多様な意見をもとに自ら意思決定して実践している。	他者への尊重と思いやりを深めてよりよい人間関係を形成しようとしている。 他者と協働して自己の生活上の課題解決に向けて、見通しをもったり振り返ったりしながら、悩みや葛藤を乗り越え取り組もうとしている。 自他の健康で安全な生活を構築しようとしている。

第3学年 学級活動(3)「一人一人のキャリア形成と自己実現」


6 時間

【学級活動(3)「一人一人のキャリア形成と自己実現」評価規準】

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していくことの意義を理解している。 現在の学習と将来の社会・職業生活とのつながりを考え、自分らしい生き方の実現を図るために、必要な知識及び技能を身に付けている。	自分らしい生き方の実現に向け、現在の学習や将来の進路についての課題を見いだしている。 主体的に学習に取り組み、働くことや社会に貢献すること、自己の将来について、適切な情報を収集して考え、意思決定して実践している。	将来の生き方を見通したり、現在の生活や学習を振り返ったりしようとしている。 働くことと学ぶことの意義を意識し、社会的・職業的自立に向けて自己実現を図ろうとしている。

月	題材	(2)	(3)	指導のねらい	目指す生徒の姿	円滑な接続のための留意事項
4月	最上級生になって キャリア・パスポートの活用		ア	<ul style="list-style-type: none"> <li>3年生の学校生活について見通しをもち、最上級生としての役割を意識しながら、学習や生活についての自己の目標を設定し、目標に向かって取り組むことができるようにする。</li> </ul>	<p>【知】 最上級生として、学級や学校の生活上の心構えをもつことや、自分のめあてに向かって努力したりすることの大切さを理解している。</p> <p>【思】 最上級生としての自覚をもち、理想の学級生活について考え、自己の努力目標を設定している。</p> <p>【主】 新しい生活や学習への見通しをもち、意思決定して実践したことを振り返り、これからの学校生活に生かそうとしている。</p>	<p>← 中堅学年になって(中2)</p> <p>◎ 「キャリア・パスポート」の活用を図る。</p> <p>◎ 最上級生としての自覚をもち、互いに協力し合って集団生活の向上を図るよう様々な考えを出し合い、話し合う。</p>

月	題材	(2)	(3)	指導のねらい	目指す生徒の姿	円滑な接続のための留意事項
5月	学習計画の作成		ア	<ul style="list-style-type: none"> <li>学ぶことと自己実現のつながりを考え、1年間の長期的な展望にたって計画的な学習計画を作成し、実践することができるようにする。</li> </ul>	<p>【知】 主体的に、長期的な展望にたって、学習に取り組むことの大切さや、自分にふさわしい学習方法を理解している。</p> <p>【思】 他の生徒の学習方法に学びながら、自分にふさわしい学習方法について考え、長期的な展望にたって学習計画を作成し、実践している。</p> <p>【主】 家庭や学校での自分の学習方法を振り返り、これからの学習に生かそうとしている。</p>	<p>← 中学校の学習（中1）</p> <p>◎ 不得意教科の克服方法等について話し合う中で、自分にふさわしい学習計画を立てることができるようにする。</p>
6月	なりたい自分になるために ※「いのちの支え合い」を学ぶ授業 キャリア・パスポートの活用		ウ	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たな進路情報を収集、活用して、自分の将来の希望や夢を実現するためにふさわしい進路を選択決定することができるようにする。</li> </ul>	<p>【知】 「なりたい自分」になるための意義や現在の自分を見つめた上での具体的な取組が、自己実現につながることを理解している。</p> <p>【思】 「なりたい自分」に近づくための取組が適切であるかを判断し、より適切な方法を考え、意思決定している。</p> <p>【主】 意思決定したことに粘り強く取り組み、これからの自己の生活に生かそうとしている。</p>	<p>← 希望の実現（中2）</p> <p>← 心だって風邪をひく（中2）</p> <p>◎ 進路情報の収集に当たっては、インターネット等を効果的に活用する。</p> <p>◎ 進路指導主事との連携を密にする。</p>
7月	卒業生から学ぶ		ア	<ul style="list-style-type: none"> <li>先輩の体験から、学ぶことと働くことの意義を学び、自己の進路について深く考えることができるようにする。</li> </ul>	<p>【知】 学ぶことの意義や働くことの意義について理解している。</p> <p>【思】 卒業生の体験談から、自分の進路選択を真剣に考え、実践している。</p> <p>【主】 卒業生の体験談から、今後の自分の進路について深く考えようとしている。</p>	<p>◎ 卒業生の講話、インタビュー等を取り入れる。</p> <p>◎ 進路指導主事との連携を密にする。</p>
7月	薬物乱用の防止		エ	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な薬物とその乱用による健康への害を知り、薬物に手を出さないという決意をし、自分で気を付けることを意思決定し実践できるようにする。</li> </ul>	<p>【知】 様々な薬物とその乱用による健康への害を理解し、薬物に手を出さないために必要な知識や行動の仕方を身に付けている。</p> <p>【思】 薬物の乱用を防止するための具体策について考え、自分に合った方法を意思決定し、実践している。</p> <p>【主】 今後の生活において様々な薬物と関わる可能性について見通しをもち、健康で安全な生活を送るため、責任ある行動をとろうとしている。</p>	<p>← 薬物乱用の防止（中2）</p> <p>◎ 養護教諭、保健センター等と連携し、豊富な資料に基づき考える。</p>

月	題材	(2)	(3)	指導のねらい	目指す生徒の姿	円滑な接続のための留意事項
8・9月	2学期の見通し キャリア・パスポートの活用	ア		<ul style="list-style-type: none"> <li>1学期や夏休みの自分の取組を振り返ることで2学期の活動への見通しをもち、目標をもって行動することができるようにする。</li> </ul>	<p>【知】 明確な目標を立てることが、今後の学校生活の向上につながることを理解している。</p> <p>【思】 充実した2学期にするために、振り返ったことを生かしながら自分の目標を考え、意思決定している。</p> <p>【主】 実践を振り返り、将来に向けての学校生活や日常生活に生かそうとしている。</p>	<p>← 2学期の見通し（中2）</p> <p>◎ 生活記録ノートを活用する。</p> <p>◎ 話合いから課題を見付け、決意を表明できるようにする。</p>
9月	自他の安全 	エ		<ul style="list-style-type: none"> <li>自分や周りの人の命を助けるために必要な知識や技能を身に付け、緊急事態発生時に自助や共助の心構えをもって行動することができるようにする。</li> </ul>	<p>【知】 自分や周りの命を助けるために必要な知識や技能を身に付けている。</p> <p>【思】 緊急事態発生時に自分や周りの人の命を助けるために必要な行動の仕方について考え、意思決定し、実践している。</p> <p>【主】 意思決定し実践したことを振り返り、これからの生活に生かそうとしている。</p>	<p>← 身の安全の守り方（中2）</p> <p>◎ 「ヒヤリ、ハット」した体験の発表、ロールプレイング等を取り入れる。</p> <p>◎ 安全担当との連携を密にする。</p>
10月	社会人として生きる		イ	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会生活上のルールやモラルについて理解し、社会人としての自覚をもって責任ある行動をとることができるようにする。</li> </ul>	<p>【知】 社会生活上のルールやモラルを身に付けることの意義を理解している。</p> <p>【思】 社会人としての責任ある行動について考え、意思決定し、実践している。</p> <p>【主】 社会人としての責任ある行動について見通しをもち、意思決定し実践したことを振り返り、自らの行動の改善に生かそうとしている。</p>	<p>← 身近な人の職業（中1）</p> <p>← 社会人としてのマナー（中2）</p> <p>◎ 自分の役割を自覚し、責任を果たしながら、学級内で必要に応じた行動を進んで行う。</p>

月	題材	(2)	(3)	指導のねらい	目指す生徒の姿	円滑な接続のための留意事項
11月	自分の目指す進路		ウ	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の目指す将来の姿の実現に向けて、自分に合った進路希望先を考え、進路希望先を絞り込むことができるようにする。</li> </ul>	<p>【知】 自分の目指す将来の姿の実現のために、自分に合った進路希望先を絞り込むことの意義や必要性を理解している。</p> <p>【思】 自分で収集した情報やこれまでの進路計画を参考にしながら、自分に合った進路希望先を考え、絞り込んでいる。</p> <p>【主】 これまでの学習や進路計画を振り返り、これからの自らの生き方に生かそうとしている。</p>	<p>← 進路選択に向けて（中2）</p> <p>◎ 個別の進路相談との関連を図る。</p> <p>◎ 進路指導主事、生徒指導担当、学習担当との連携を密にする。</p>
	様々なメディアとのかかわり方		エ	<ul style="list-style-type: none"> <li>自身の健康を保持しながら、有効に様々な情報メディアとのかかわることができるようにする。</li> </ul>	<p>【知】 自分の健康のために、様々な情報メディアと節度をもってかかわることの大切さを理解している。</p> <p>【思】 自身の健康を保持しながら、有効に様々な情報メディアとのかかわっていくために必要なことを考え、意思決定し、実践している。</p> <p>【主】 自らの情報メディアとのかかわり方について見通しをもったり振り返ったりしながら、これからの自己の生活の改善に生かそうとしている。</p>	<p>← 情報社会におけるモラル（中1）</p> <p>◎ 養護教諭と連携し、ネット依存やゲーム依存などの問題にも触れることができるようにする。</p> <p>◎ 情報メディアの有用性についても確認する。</p>
12月	食事のとり方		オ	<ul style="list-style-type: none"> <li>1日の生活の中での適切な食事の内容や時間について理解し、健康な生活を送るための食事のとり方について考え、意思決定し、実践している。</li> </ul>	<p>【知】 1日の生活の中での適切な食事の内容や時間について理解している。</p> <p>【思】 間食や夜食も含めた適切な食事のとり方について考え、意思決定し、実践している。</p> <p>【主】 自らの食事のとり方について見通しをもったり振り返ったりしながら、食生活の課題を改善しようとしている。</p>	<p>← 糖分のとり方（中2）</p> <p>◎ 家庭との連携を図り、効果を高める。</p> <p>◎ 個々の生徒の事情に十分配慮する。給食担当、養護教諭、栄養教諭、学校栄養職員等との連携を密にする。</p>



月	題材	(2)	(3)	指導のねらい	目指す生徒の姿	円滑な接続のための留意事項
12月	働くことと生きがい		イ	<ul style="list-style-type: none"> <li>職業や社会的な役割等について理解し、目標をもち生きがいのある人生を築いていくことができるようにする。</li> </ul>	<p>【知】 人生100年時代の中での働くことの目的や意義を理解している。</p> <p>【思】 生きがいのある人生を築いていくために、これからの自分の目標を考え、意思決定し、実践している。</p> <p>【主】 意思決定し実践したことを振り返り、これからの人生の中で生かそうとしている。</p>	<p>← 働くことの目的や意義（中2）</p> <p>◎ 地域の社会人や職業人の講話を取り入れる。</p> <p>◎ 進路指導主事との連携を密にする。</p> <p>◎ 地域の方に話を聞く会を通して、働くことの意義について考える。</p>
1月	性についての正しい理解		ウ	<ul style="list-style-type: none"> <li>性に関する正しい知識を理解し、責任をもって行動することができるようにする。</li> </ul>	<p>【知】 性に対する正しい知識をもつことが、責任ある行動につながることを理解している。</p> <p>【思】 責任をもった行動について考え、意思決定し、実践している。</p> <p>【主】 学習した内容を、これからの自己の生活に生かそうとしている。</p>	<p>← 性についての理解（中1）</p> <p>◎ 内容、方法等は保護者の理解を得られるようにする。</p> <p>◎ 養護教諭等との連携を密にする。</p> <p>◎ 性については、個々の生徒の発達段階や置かれた状況の差異が大きいことから、事前に生徒の実態をよく把握しておく。</p>
	不安の解消		イ	<ul style="list-style-type: none"> <li>誰もが焦りや不安を抱える時期であることを理解し、不安の解消方法について話し合い、進路決定期における焦りや不安を乗り越えることができるようにする。</li> </ul>	<p>【知】 誰もが焦りや不安を抱える時期であることや様々な不安の解消方法があることを理解している。</p> <p>【思】 不安の解消方法について話し合い、自分に合った方法を意思決定し、実践している。</p> <p>【主】 意思決定し実践したことを振り返り、進路決定に向けたこれからの生活に生かそうとしている。</p>	<p>← 心だっけ風邪をひく（中2）</p> <p>◎ 進路決定期の焦りや不安について、素直に語り合い、共に考えることができるようにする。</p> <p>◎ さわやか相談員や養護教諭と連携を図ることができるようにする。</p>

月	題材	(2)	(3)	指導のねらい	目指す生徒の姿	円滑な接続のための留意事項
2 月	男女共同参画社会と自分の在り方	イ		<ul style="list-style-type: none"> <li>男女共同参画社会における生き方について理解し、男女の望ましい人間関係の在り方を考えて行動することができるようにする。</li> </ul>	<p>【知】 男女共同参画社会において、望ましい人間関係を築くことが必要であることを理解している。</p> <p>【思】 男女の望ましい人間関係の在り方を考えた行動の仕方について考え、意思決定し、実践している。</p> <p>【主】 周囲とのかかわり方に見通しをもったり振り返ったりしながら、これからの生活に生かそうとしている。</p>	<p>← 人間の尊重と男女平等（中2）</p> <p>◎ 人権教育担当等と連携し、豊富な資料に基づき考える。</p>
	理想の実現 キャリア・パスポートの活用		ウ	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの学びや経験を基に、自分の理想の実現にむけて、これからの自分にとって必要なことを考え、意欲的に実践できるようにする。</li> </ul>	<p>【知】 理想の実現に向け、努力目標を定めることの意義を理解している。</p> <p>【思】 自らの理想の実現に向け、これからの自分にとって必要なことは何かを改めて考え、残りの学校生活における目標を考え、意思決定し、実践している。</p> <p>【主】 自ら意思決定して取り組んだことを振り返り、現在および将来に向けての学校生活や日常生活に生かそうとしている。</p>	<p>← 希望の実現（中2）</p> <p>◎ キャリア・パスポートを活用し、自分のよさや可能性を生かしながら自分の理想の実現に向けてできることを考えることができるようにする。</p>

※（2）の内容ア～エ及び（3）の内容ア～ウが、必ず取り扱われるようにする。

※「『いのちの支え合い』を学ぶ授業」については、2学期末までに実施する。

(2) ア 2  
イ 2  
ウ 1  
エ 3  
オ 1  
計 9

(3) ア 2  
イ 2  
ウ 2  
  
計 6

令和5年度 総合的な学習の時間 究めタイム 全体計画 さいたま市立岸中学校

○日本国憲法 ○教育基本法 ○学校教育法 ○中学校学習指導要領 ○さいたま市学校教育ビジョン ○さいたま市中学校教育課程編成要領  
○さいたま市の学校教育推進の指針・指導の努力点 ○さいたま市「小・中一貫教育」カリキュラム

**生きる力の育成** ①生きて働く「知識・技能」の習得 ②未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成 ③学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養

<p><b>地域・生徒の実態</b></p> <p>＜地域の実態＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保護者の教育に対する関心が高く、PTA活動等にも協力的である。</li> </ul> <p>＜生徒の実態＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>明るく素直で、誠実に生活している生徒が多いが、自分の考えを表現することや、自らの意思で主体的に行動することに関して課題がある。</li> </ul>	<p><b>学校教育目標</b></p> <p><b>真理・感性・実践</b></p> <p>「世界と向き合い 未来の創り手として輝き続ける力をはぐくむ学校を目指す」</p>	<p><b>保護者・教師の願い</b></p> <p>＜保護者の願い＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現代社会に生きるための力（判断力・思考力・自己表現力）を身に付けてほしい。</li> <li>豊かな人間性を養ってほしい。</li> </ul> <p>＜教師の願い＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>意欲的に学び、深く考え、豊かに表現できる生徒</li> <li>思いやりの心をもつ生徒</li> <li>正しい判断により主体的に行動する生徒</li> <li>自他の良さをみつけられる生徒</li> </ul>
<p><b>他校や関連施設との連携</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>近隣の保育園、幼稚園、小・中・高等学校、大学との連携</li> <li>学校区内やその他の消防署や警察署などの連携</li> <li>地域の公共施設（博物館、図書館、公民館、区役所等）や自治会等との連携</li> </ul>	<p><b>岸中学校究めタイムの目標</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>探求的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、「世界と向き合う」こと、つまり世界（地球上）にはさまざまな問題があることを知り、「自分ごと」としてとらえる視点を身につける。</li> <li>「未来の創り手として輝き続ける力」をはぐくむために、持続可能な社会の必要性を学び、創造力を磨くスキルを身につけ、見出した課題や問題点の解決に主体的かつ協働的に取り組む。</li> <li>よりよい自己の生き方や今後の地球環境、経済、社会の在り方について自ら考え、実践力を身につける。</li> </ol>	<p><b>社会の要請</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国際化、情報化などの社会の変化への対応</li> <li>いじめや不登校などの問題行動の解消</li> <li>生涯学習・地球市民教育の推進</li> </ul>

岸中学校究めタイムの内容									
<p><b>探究課題</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>SDGs を通して、Think Globally Act Locally の視点で進めていく。 <ul style="list-style-type: none"> <li>地域を災害から守ろう（防災）</li> <li>地域の働く人から学ぼう（職業や自己の将来）</li> <li>持続可能な地域づくり（地域）</li> </ul> </li> <li>「STEAMS TIME」 <ul style="list-style-type: none"> <li>プログラミング的思考をはぐくむ内容</li> <li>創造性をはぐくむPBL</li> </ul> </li> </ol>	<p><b>探究課題の解決を通して育成を目指す資質・能力</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>知識及び技能</th> <th>思考力、判断力、表現力等</th> <th>学びに向かう力、人間性等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域のSDGsの課題に関わる探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けているとともに、地域の特徴やよさが分かり、それらが人々の努力や工夫によって支えられていることを理解している。</td> <td>地域のSDGsの課題に関わる問いを見だし、その解決に向けて仮説を立てたり、調査して得た情報を基に考えたりする力を身に付けているとともに、考えたことを、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付けている。</td> <td>地域のSDGsの課題についての探究的な学習に主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いのよさを生かしながら、持続可能な社会を実現するための行動の仕方を考え、自ら社会に参画しようとしている。</td> </tr> </tbody> </table> <p>○実社会につながる問題発見・解決能力 ○問題を分析する力 ○論理立てて主張をまとめる力 ○情報手段の基本的な操作 ○プログラミング的思考 ○芸術的な感性も生かし心豊かな生活や社会の価値を創り出す創造性 ○グローバル化に対応した多様性の尊重 ○あきらめないで挑戦する力</p>			知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等	地域のSDGsの課題に関わる探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けているとともに、地域の特徴やよさが分かり、それらが人々の努力や工夫によって支えられていることを理解している。	地域のSDGsの課題に関わる問いを見だし、その解決に向けて仮説を立てたり、調査して得た情報を基に考えたりする力を身に付けているとともに、考えたことを、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付けている。	地域のSDGsの課題についての探究的な学習に主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いのよさを生かしながら、持続可能な社会を実現するための行動の仕方を考え、自ら社会に参画しようとしている。
知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等							
地域のSDGsの課題に関わる探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けているとともに、地域の特徴やよさが分かり、それらが人々の努力や工夫によって支えられていることを理解している。	地域のSDGsの課題に関わる問いを見だし、その解決に向けて仮説を立てたり、調査して得た情報を基に考えたりする力を身に付けているとともに、考えたことを、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付けている。	地域のSDGsの課題についての探究的な学習に主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いのよさを生かしながら、持続可能な社会を実現するための行動の仕方を考え、自ら社会に参画しようとしている。							

学習活動（単元） ※SDGsの視点を基盤に自己の生き方と未来の創造について3年間を通して学習していく。		
<p>第1学年「防災」 2.4時間</p> <p>◇ 地域を災害から守ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■micro:bit でプログラミングを体験しよう</li> <li>□自然災害への備え</li> <li>・福島×SDGs</li> </ul>	<p>第2学年「職業や自己の将来」 5.3時間</p> <p>◇地域の働く人から学ぼう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎さいたまエンジン</li> <li>■micro:bit でオリジナル作品をつくろう</li> <li>□学校紹介CMをつくろう</li> <li>・長野×SDGs</li> <li>・上級学校調べ</li> </ul>	<p>第3学年「地域」 5.3時間</p> <p>◇持続可能な地域づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■統計データを分析して未来の日本を考えよう</li> <li>□卒業研究の取り組みをPBLの視点で</li> <li>・修学旅行×SDGs</li> <li>・卒業研究「○○×SDGs＝幸せ」</li> <li>・卒業論文</li> </ul>

■プログラミング的思考をはぐくむ内容 □創造性をはぐくむPBL

指導体制	指導方法	学習評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>運営委員会における校内の連絡調整と指導体制の確立</li> <li>地域教育力の人材バンクの登録と効果的運用</li> <li>全教職員による指導体制の確立</li> <li>司書教諭、学校図書館司書との連携</li> <li>学校地域連携コーディネーターとの連携</li> </ul>	<p>課題の設定 → 情報の収集 → 整理・分析 → まとめ・表現 の各過程で以下を意識する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の課題意識を連続発展させる支援</li> <li>協働的な学習活動の充実</li> <li>諸感覚を駆使する体験活動の重視</li> <li>教科との関連を重視した指導</li> <li>ICTの活用</li> <li>言語活動による体験の意味の自覚化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ポートフォリオを活用した評価の充実</li> <li>観点別学習状況を把握するための評価規準の設定</li> <li>個人内評価の重視</li> <li>指導と評価の一体化の充実</li> <li>学期末、学年末における指導計画の評価の実施</li> <li>授業分析による学習指導の評価</li> </ul>

月	単元名、目標	時数	学習内容(時数)	評価規準			円滑な接続のための留意事項 ◎特に留意する点 ◇道徳教育の指導の内容 ☆参考にした学習コンテンツ
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
1 学期	(単元名) 「地域を災害から守ろう」防 ・福島×SDGs <防災> (24時間) (単元の目標) ○災害時に関わる探究的な学習を 通して、過去の災害状況、災害時 に必要な知識・技能、地域の防 災、防災と福祉の関係の重要性に ついて知り、「みんなの町を災害 から守るために何をすべきか」に ついて考えとともに、自らの生 活や行動に生かすことができるよ うにする。	2	<b>【課題の設定(2)】</b> ○総合的な学習の時間の目的について 理解する。(オリエンテーション) ○自然災害発生メカニズムに関する DVDを視聴し、その恐ろしさを知 る。 ○災害時の身の回りの人や物につい て、グループで考える。 ・「災害時に心配な人や物」 ・「災害時に役立つ人や物」など ○共通体験を通して課題を設定する。	<b>①知識</b> 自然災害発生メカニズムと、そ の恐ろしさを理解し、災害時に心 配な人や物、役に立つ人や物につ いて理解していることが、地域を 災害から守るために大切であるこ とを理解している。 [観察 ワークシート]	<b>①「課題の設定」</b> 地域を災害から守るために、体験 活動の中から、地域に関心をも ち、疑問や問題点を見付け、課題 を発見し、設定している。 [観察 ワークシート]	<b>②主体性・協調性</b> 自分の疑問や問題点から自分なり の課題を設定し、課題解決への手 順が分かり、自分なりの学習計画 を立てようとしている。 [観察 ワークシート]	◎中学校3年間を見直し、小学校で学習 した基礎・基本から応用力の養成を図 る指導をする。 →第1期(小3～小4) ・問題状況の中から教師や友達と相談を して課題を発見し、設定する。 ・解決の方法や手順を身に付け、それら に沿った計画を立てる。 第2期(小5～中1) ・問題状況の中から自ら課題を発見し、 設定する。 ・解決の方法や手順を考え、見直しを もって計画を立てる。 →第3期(中2～中3) ・複雑な問題状況の中から適切に課題を 設定する。 ・仮説を立て、検証方法を考え、計画を 立案する。 ◎体験的・探究的な活動を通して、地域 の自然環境、災害や防災について理解を 深め、地域や身の回りの防災上の課題を 自ら見いだせるようにする。 ◇D[感動、畏敬の念]
		3	<b>【情報の収集(3)】</b> ○課題に基づき、体験者の話を聞いたり、 図書資料やインターネットで調べ たりして、全国の過去の災害状況を知 る。 ○災害時に必要な様々な知識・技能を 知る。 (・災害時の疑似体験) (・心肺蘇生法講習) (・AED講習) (・ライフライン代用品)の作成 ・避難訓練 など ○地域の防災組織(消防署など)の人 から話を聞き、地域の防災について の実情を知る。 ○災害時要援護者体験をしたり、福祉 ボランティアの人の話を聞いたりし て、防災と福祉の関係の重要性を知 る。		<b>②「情報の収集」</b> 地域を災害から守るために、必要 な情報を多様な方法で収集し、蓄 積している。 [観察 ワークシート ポート フォリオ]	<b>①自己理解・他者理解</b> 地域を災害から守るために、積極 的に地域の人に質問し、他者の考 えや意見を受け入れて尊重しよ うとしている。 [観察 ワークシート]	→第1期(小3～小4) ・情報の収集の仕方を身に付け、情 報を収集する。 ・多様な体験等を通して得られたこ との中から必要な情報を選択・収集 し、特徴を調べる。 第2期(小5～中1) ◎課題解決に必要な情報を収集する ようにする ・学校地域連携コーディネーターの 活用を図る。
		2	<b>【整理・分析(2)】</b> ○地域を災害から守るために必要 な情報を整理・分析する。	<b>②技能</b> 活動を通して調べたり考えたりし たことについて、相手意識や目的 意識を明確にしながらまとめる方 法がわかっている。[観察 ワ ークシート]	<b>③「整理・分析」</b> 地域を災害から守るために、異 なる情報の共通点や差異点を見付 け、関係や傾向を明らかにしてい る。[観察 ワークシート]	<b>①自己理解・他者理解</b> 地域の防災マップづくりに向け、 異なる意見や他者の考えを受け入 れて尊重しようとしている。 [観察 協働学習ソフト]	◎様々な考えがあることを知り、自 分の考えを提案させる。 →第1期(小3～小4) ・異なる意見があることや他者の考 えを知る。 第2期(小5～中1) ・異なる意見や他者の考えを受け入 れる。 →第3期(中2～中3) ・異なる意見や他者の考えを受け入 れ尊重する。
2 学期		3	<b>【まとめ・表現(3)】</b> ○地域を調べ、地域の防災マップ をつくる。 ○作成したマップに基づき、地域 や校内に掲示する。 ・「危険な場所」 ・「安全な場所」 など	<b>③探究的な学習のよさの理解</b> 地域の防災への理解の深まりは、 地域を災害から守るために、探究 的に学習してきたことの成果であ ることに気付いている。[観察 自己評価]	<b>④「まとめ・表現」</b> 自分たちで地域を災害から守るた めに、相手や目的、場所に 応じて効果的な表現をしている。 [観察 制作物]	<b>③将来展望・社会参画</b> 地域や社会の一員としての自覚を 持ち、地域を災害から守るた めに、自分事として取り組んでい る。[観察 自己評価]	

月	単元名、目標	時数	学習内容(時数)	評価規準			円滑な接続のための留意事項 ◎特に留意する点 ◇道徳教育の指導の内容 ☆参考にした学習コンテンツ
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
		2	<b>【課題の設定(2)】</b> ○これまでの学習や体験に基づき、「みんなの町を災害から守るために何をすべきか」について、避難所HUGを行いさらに探究したい課題を各自が設定する。 ○学習計画を立てる。  ・福島×SDGs 福島の特徴をSDGsの視点から分析する	<b>①知識</b> 地域の災害について、防災、減災には様々な方法があり、自ら課題意識をもって取り組むことや、地域の人とのつながりが大切であることを理解している。 [観察 ワークシート]	<b>①「課題の設定」</b> これまでの学習や体験に基づき、みんなの町を災害から守るために何をすべきかについて疑問や問題点を見付け、課題を発見し設定している。 [観察 ワークシート]	<b>②主体性・協調性</b> 自分の疑問や問題点から自分なりの課題と学習計画を設定しようとしている。 [観察 ワークシート]	<b>【STEAMS TIMEについて】</b> ◎創造性をはぐくむPBL(10時間) STEAMS教育との関わり (Technology, Engineering, Art)  ◎創造性をはぐくむPBLとして、 ・「避難所HUG」を行い、解決できなかったことを分析し、課題を設定する。 ・自分たちの分析した内容や活動提案(進度によっては学習のまとめ)について、地域の人からフィードバックをもらう。(地域施設、オンライン活用等) ・フィードバックをもとに活動計画や提案を修正し、まとめる。 ※各過程において、話し合い活動を取り入れる。 ☆生徒が自らコンテンツを選択する。
		8	<b>【情報の収集(8)】</b> ○図書資料やインターネット、関係諸機関への訪問などを通じて調べる。	<b>②技能</b> 地域の防災について必要な情報を捉えるために、体験およびインターネットや文献、訪問先の関係者から必要な情報を選択、収集している。 [観察 ポートフォリオ]	<b>②「情報の収集」</b> みんなの町を災害から守るために、必要な情報を多様な方法で収集し、蓄積している。 [観察 ポートフォリオ]		
		2	<b>【整理・分析(2)】</b> ○調べた情報を整理・分析し、防災対策をグループで考える。  ○避難所で役立つための仕組みの一つとしての「情報版」を、プログラミングを体験しながら知る。 「STEAMS TIME」		<b>③「整理・分析」</b> 防災対策について、必要な情報を比較したり関連付けたりして、確かな対策を確立している。 [観察 ワークシート]	<b>①自己理解・他者理解</b> 地域を災害から守るために、積極的に地域の人に質問し他者の考えや意見を受け入れて尊重しようとしている。 [観察 ワークシート]	<b>【STEAMS TIMEについて】</b> ◎プログラミング的思考をはぐくむ内容(3時間)  ◎プログラミング的思考をはぐくむ内容として、以下を行う。 1.防災のための仕組みの一つとしての「情報版」について知る。 2.micro:bitを使用しながら、避難所で効果的な警告表示を作成する。 ☆micro:bitでプログラミングを体験しよう！
3 学期		2	<b>【まとめ・表現(2)】</b> ○これまでの学習を振り返り、災害発生時や事後に、自分たちが、地域のためにできることをまとめる。 ○地域を災害から守るために学び、考えたことを、学校区内の小中学生や保護者、地域の人に、様々な方法で発信する。	<b>③探究的な学習のよさの理解</b> 過去の災害状況、災害時に必要な知識・技能、地域の防災、防災と地域の人々との関係の重要性についての理解は、探究的に学習してきたことの成果であることに気付いている。 [観察 自己評価]	<b>④「まとめ・表現」</b> 地域を災害から守るために学んできたことを、相手や、相手が地域を災害から守るという目的に応じて効果的な表現で伝えている。 [観察 制作物 他者評価]	<b>②主体性・協働性</b> 自分や周囲の生活を見つめ直し、自分が地域のためにできることに取り組もうとしている。 [観察 ワークシート ポートフォリオ]  <b>③将来展望・社会参画</b> 地域や社会の一員としての自覚をもち、地域の防災のために、積極的に地域や社会に貢献していこうとしている。 [観察 ワークシート 自己評価]	←第1期(小3～小4) ・課題の解決に向けて地域の活動に参加する。 第2期(小5～中1) ・課題の解決に向けて社会活動に参加する。 →第3期(中2～中3) ・課題の解決に向けて社会活動に参画する。 ◎探究的な学習を行いながら解決策について調べ、発表する活動を通して、人の命、地域とのかかわり、人の絆などの大切さについて実感し、普段の生活の中で実践できることを行えるようにする。 ◎協働的な活動を通して、地域の中で協力して防災に取り組もうとする態度を育てる。 ◇C[社会参画、公共の精神]

授業時数合計 24

国の標準授業時数 24

授業時数チェック ○

月	単元名、目標	時数	学習内容(時数)	評価規準			円滑な接続のための留意事項 ◎特に留意する点 ◇道徳教育の指導の内容 ☆参考にした学習コンテンツ	
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
1 学期	(単元名) 「地域の働く人から学ぼう」 ・上級学校調べ ・長野×SDGs ・さいたまエンジン <職業や自己の将来> (5 3 時間) (単元の目標) ○地域の仕事や、その仕事に取り組む人々に関する探究的な学習を通して、働くことの意味と、自分自身の生き方との関わりを理解し、働くことの意味を自分との関わりで考えるとともに、今後の学習や生活の在り方に積極的に活かすことができるようにする。	2	<b>【課題の設定(2)】</b> ○総合的な学習の時間の学習のテーマについて理解する。(オリエンテーション) ○上級学校調べ ○長野×SDGs	<b>①知識</b> 上級学校の意味について、理解し、自分の意志で決定することの重要性を理解している。 [ワークシート]	<b>①「課題の設定」</b> 上級学校の意味について、自分たちの考えと現実の隔たりから、自分自身で課題を設定し、見通しを持っている。 [ワークシート]	①自己理解・他者理解 地域に関する新聞の内容や、地域の人々の意見や考えを受け入れて尊重しようとしている。 [観察 ワークシート]	・問題状況の中から、自ら課題を発見し、設定する。 ・解決方法や手順を考え、見通しをもって計画を立てる。 ←第3期(中2～中3) ・複雑な問題状況の中から適切に課題を設定する。 ・仮説を立て、検証方法を考え、計画を立案する。 ◎責任を持って課題設定を行うよう指導することで、主体的に取り組めるようにする。 ←第2期(小5～中1) ・目標を設定し、課題解決に向けて計画的に行動する。 ←第3期(中2～中3) ・目標を明確にし、課題の解決に向けて計画的に行動する。	
		7	<b>【情報の収集(7)】</b> ○興味のある上級学校について、様々な角度から調べる。 ○情報交換を通して、さらに必要な情報を収集する。  ○長野の特徴について様々な角度から調べる。 ○他の地域の実態を調査し比較することで、地域の特色を明確にする。(長野市の実地調査を基に比	<b>②技能</b> 様々な上級学校について知るための調査を行い、様々な方法で情報収集している。[観察、ワークシート]  ○長野の特徴について様々な方法で情報収集している。	<b>②「情報の収集」</b> インタビューで実際にそこに通っている人の話を聞いたり、興味のある特色について、インターネットや書籍を活用したり、様々な方法で情報を収集している。[ワークシート]			
		2	<b>【整理・分析(2)】</b> ○調べた学習の中で、必要な情報を分類したり、より分かりやすく伝えられるように工夫している。 ○レポートを作成する。		<b>③「整理・分析」</b> 友人に自分の考えが伝わるように、目的に合わせて情報を分類したり、自分との関わりにつながるものとして整理したりしている。 [レポート 振り返りシート KJ法での制作物]			
2 学期		3	<b>【まとめ・表現(3)】</b> ○小グループでのまとめ発表を行い、互いの考えを共有し、自らの考えを発展させ、今後の活動の見通しをもつ。	<b>③探究的な学習のよさの理解</b> 上級学校調べを通して、進学することの意味、自分の意志で決定する意味、自分自身の生き方に関わりが気付いている。 [SCSさいたま市キャリアパスポート レポート]	<b>④「まとめ・表現」</b> 友人に自分の考えが伝わるように、効果を意識して適切に表現している。 [レポート 観察]	①自己理解・他者理解 課題解決に向けて見通しをもち、粘り強く取り組み、次時の活動に生かそうとしている。 [振り返りシート]	◎仲間と協働して活動することで、異なる意見や他者の考えを受け入れ、尊重することができる。	
		2	<b>【課題の設定(2)】</b> ○さいたまエンジンについて理解する。(オリエンテーション) ①学校を使ってビジネスをつくらう！	<b>①知識</b> 働くことの意味について、収入を得るため以外にも、自分自身や他人のためになっていること、地域社会のためになっていること、それらは、自己の成長とともに見いだすことができることを理解している。 [ウェビングマップ ワークシート]	<b>①「課題の設定」</b> 地域の「人・もの・こと」との関わりに関心を持ち、働くことの意味について、自分たちの考えと実際に働いている人々との考えの隔たりから、自分自身で課題を設定し、見通しを持っている。 [ワークシート]		・問題状況の中から、自ら課題を発見し、設定する。 ・解決方法や手順を考え、見通しをもって計画を立てる。 ←第3期(中2～中3) ・複雑な問題状況の中から適切に課題を設定する。 ・仮説を立て、検証方法を考え、計画を立案する。 ◎責任を持って課題設定を行うよう指導することで、主体的に取り組めるようにする。 ←第2期(小5～中1) ・目標を設定し、課題解決に向けて計画的に行動する。 ←第3期(中2～中3) ・目標を明確にし、課題の解決に向けて計画的に行動する。	

月	単元名、目標	時数	学習内容(時数)	評価規準			円滑な接続のための留意事項 ◎特に留意する点 ◇道徳教育の指導の内容 ☆参考にした学習コンテンツ
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
		7	<b>【情報の収集(7)】</b> ②アイデアを企画にする ③クラスグランプリを決定しよう! ④地元企業を選ぶ ⑤リソースを発見する ⑥リソースの使い方を考える ⑦中間共有 ⑧あなたが暮らすまちのリソース	<b>②技能</b> 地域イノベーターとして、地域にイノベーションを起こす企画を考える調査を行い、様々な方法で情報収集している。[観察、ワークシート]	<b>②「情報の収集」</b> 地域イノベーターとして、実際にそこで働く企業の人の話を聞いたり、質問をしたりし、インターネットや書籍を活用したり、ものづくりに関する職業を体験したりして、様々な方法で情報を収集している。[ワークシート]	<b>③将来展望・社会参画</b> 仕事と自分との関わりに関心を持ち、今後の学習や生活の在り方を積極的に考えようとしている。	
		7	<b>【整理・分析(7)】</b> ⑨まちのリソースの可能性を探る ⑩企画にまとめる ⑪企画の可能性を探究する ⑫「提案書」をつくる ⑬プレゼンテーションにまとめる		<b>③「整理・分析」</b> 友人に自分の考えが伝わるように、目的に合わせて情報を分類したり、自分との関わりにつながるものとして整理したりしている。[ワークシート]		
		3	<b>【まとめ・表現(3)】</b> ⑭プレゼンテーション ⑮すべてを振り返る	<b>③探究的な学習のよさの理解</b> 地域の仕事や、その仕事に取り組む人々の夢や願いを通して、働くことの意味と、自分自身の生き方の関わり方に気付いている。 [SCSさいたま市キャリアパスポート レポート]	<b>④「まとめ・表現」</b> 友人に自分の考えが伝わるように、効果を意識して適切に表現している。 [レポート 観察]	<b>①自己理解・他者理解</b> 課題解決に向けて見直しをもち、粘り強く取り組み、次時の活動に生かそうとしている。 [振り返りシート]	◎仲間と協働して活動することで、異なる意見や他者の考えを受け入れ、尊重することができる。
3 学期		4	<b>【課題の設定(4)】</b> ○さいたまエンジンで学んだことをもとに新たな課題を設定する。 STEAMS TIME ☆micro:bitでオリジナル作品をつくろう  STEAMS TIME ☆君も未来のCMプランナー! 学校紹介CMをつくろう		<b>①「課題の設定」</b> 今までに地域の人から学んだことを、自分たちの将来に結び付けることを通じて、自分が社会に対し貢献できることに関する課題をつくり、見直しをもって計画を立てている。[SCSさいたま市キャリアパスポート ワークシート]		<b>【STEAMS TIMEについて】</b> プログラミング的思考をはぐくむ内容(4時間)  ◎プログラミング的思考をはぐくむ内容として、以下を行う。 1.自分の生活の課題を解決するための成果物をデザインする。 2.micro:bitを使用して、自分の生活の課題を解決する成果物を作成する。 ☆micro:bitでオリジナル作品をつくる
		3	<b>【情報の収集(3)】</b> ○図書資料や身近な人へのインタビュー調査やアンケートなどを通じて、課題解決に迫るための情報を収集する。 ○情報収集に当たっては、書籍に加え、写真やインタビュー動画等の幅広い手段から選択し、収集する。	<b>②技能</b> 決めたテーマに応じた情報を、効率的に収集する手段を選択して収集する。[観察、ワークシート]	<b>②「情報の収集」</b> 決めたテーマに応じた情報を効率的に収集する手段を選択している。 [ワークシート]		←第2期(小5~中1) ・自らの生活の在り方を見直し、実践する。 ←第3期(中2~中3) ・自らの生活の在り方を見直し、日常的に実践する。 ◎自分の考えを整理し、まとめることで、自らの生活の在り方を見直し、それを日常的に実践できるようにする。 ◇C[社会参画、公共の精神]  <b>【STEAMS TIMEについて】</b> 創造性をはぐくむPBL(9時間) STEAMS教育との関わり (Technology、Engineering、Art)  ◎創造性をはぐくむPBLとして、以下を行う。 1.自分たちの探究の成果を発表会で伝えるために、動画を通じた効果的な表現方法について考え、計画を立てる。 2.計画に基づき、動画を作成する。 ※各過程において、話し合い活動を取り入れる。

月	単元名、目標	時数	学習内容(時数)	評価規準			円滑な接続のための留意事項 ◎特に留意する点 ◇道徳教育の指導の内容 ☆参考にした学習コンテンツ
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
		4	<p>【整理・分析(4)】</p> <p>○収集した情報整理・分析し、分かったこと、事前に調べたことを比較・検討し、課題の解決に迫る。</p> <p>○グループディスカッションを通じて、他者の考えを知り、自分の課題解決に生かす。</p>	<p>①知識</p> <p>自分の将来の夢や願いを実現するには、地域や社会が持つ願いや思いについて理解し、自ら考え、取り組んでいくことが必要であることを理解している。</p> <p>[観察、ワークシート]</p>	<p>③「整理・分析」</p> <p>事前に生徒や地域の方に行ったアンケートから得た情報を分類、整理、比較、分析して、関係や傾向を明らかにしている。</p> <p>[観察]</p>	<p>①自己理解・他者理解</p> <p>グループ学習を通して、異なる意見や他者の考えを受け入れたり、尊重しようとしている。</p> <p>[ワークシート 他者評価]</p>	<p>・多様な情報の中にある特徴を見つけられる。</p> <p>・問題状況に応じて、事象間の因果関係を分析したり、推論したりする。</p> <p>→第3期(中2~中3)</p> <p>複雑な問題状況における事実や関係を把握し、自分の考えをもつ。</p> <p>・視点を定めて多様な情報を分析する。</p> <p>・課題解決を目指して事象を比較したり、因果関係を推測したりして考える。</p> <p>◎自らの課題を明確にすることで、多様な情報を、視点を定めて分析できるようにする。</p> <p>◎グループ学習の意義を説明することで、異なる意見や他者の考えを受け入れ</p>
		9	<p>【まとめ・表現(9)】</p> <p>○地域で働く人々、地域の姿、地域と学校と自分の未来の姿について伝える動画を作成し、発表し合うことで、共通点や特徴を整理して地域のよさや課題の理解を深める。「STEAMS TIME」</p> <p>○今後の自分と地域社会とのかかわりを考え、発信したり行動したりする。</p>	<p>③探究的な学習のよさの理解</p> <p>地域の仕事や、その仕事に取り組む人々の夢や願いを通して、働くことの意味と、自分自身の生き方の関わりに気付いている。</p> <p>[SCSさいたま市キャリアパスポート 制作物]</p>	<p>④「まとめ・表現」</p> <p>学習の成果から自分の生活を振り返り、課題を踏まえて望ましい生活の在り方を考え、実践しようとしている。</p> <p>[ワークシート 観察]</p>	<p>③将来展望・社会参画</p> <p>学習の成果から、自分の考えを整理し、まとめることで、自らの生活の在り方を見直し、日常的に実践しようとしている。</p> <p>[パフォーマンス 制作物]</p>	

授業時数合計 53

国の標準授業時数 53

0

授業時数チェック



月	単元名、目標	時数	学習内容(時数)	評価規準			円滑な接続のための留意事項 ◎特に留意する点 ◇道徳教育の指導の内容 ☆参考にした学習コンテンツ
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
1 学期	(単元名) 「持続可能な地域づくり」 ・修学旅行×SDGs ・卒業研究「〇〇×SDGs=幸せ」 ・卒業論文 <地域> (5 3時間) (単元目標) ○地域の歴史、伝統、文化、産業、福祉などに関わる探究的な学習を通して、地域に関する課題の解決に必要な知識及び技能を理解し、課題の中から問いを見だし、課題の解決に向けての提案を学校の内外に発信したり、実施するなどして、実社会や実生活の問題の解決に、自分のこととして取り組む。	6	【課題の設定 (6)】 ○これまでの学習や体験を生かし、「持続可能な地域づくり」がテーマであることを理解する。(オリエンテーション) ○新聞を活用して、さいたま市に関する様々な分野の情報を集める。 ○<共通体験>地域のボランティア団体の人を招き、話を聞いたり、体験活動を行ったりする。 ○これまでの学習や体験に基づき、地域のよさや特色を見付けるために、環境、福祉、国際理解、歴史、伝統文化、芸能、観光、防災などの様々な視点から探究したい課題を各自が設定する。 ○学習計画を立てる。	①知識 地域に貢献するには、これまでの学習や体験を生かし、取り組むことが必要であることを理解している。 [観察 ワークシート]  ②技能 さいたま市のよさや特色を見付けるための課題設定のために、新聞を活用したり、地域のボランティア団体の人を招き、話を聞いたり、体験活動を行い情報を収集している。 [観察 ポートフォリオ]	①「課題の設定」 地域に貢献するために、地域の「もの・ひと・こと」の関わりに関心を持ち、地域に関わる課題を発見し、設定する。 [観察 ワークシート]  ○地域に貢献するための、手順を考え、確かな見通しをもって計画を立てている。 [観察 ワークシート]	①自己理解・他者理解 地域に関する新聞の内容や、ボランティアの人々の意見や考えを受け入れて尊重しようとしている。 [観察 ワークシート]  ②主体性・協働性 さいたま市に対する自分の疑問や問題点から、追究の視点を明確にした課題を設定して取り組もうとしている。 [観察 ワークシート]	・第2期 (小5～中1) ・問題状況の中から自ら課題を発見し、設定する。 ・解決の方法や手順を考え、見直しをもって計画を立てる。 第3期 (中2～中3) ・複雑な問題状況の中から適切に課題を設定する。 ・仮説を立て、検証方法を考え、計画を立案する。 ◎第3期では自己の生き方につながるような、的確な課題を設定するとともに、自分の経験や知識、技能を活用し、よりよい課題解決のために試行錯誤しながら粘り強く探究することが求められるため、より具体的に多角的に迫ることのできる課題を設定させる。 ・第2期 (小5～中1) ・目標を設定し、課題の解決に向けて計画的に行動する。 第3期 (中2～中3) ・目標を明確にし、課題の解決に向けて計画的に行動する。 ◎計画表の作成を行うことで、目標を明確にし、課題の解決に向けて計画的に行動する能力を養う。 ◇[郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度]
2 学期		12	【情報の収集 (1 2)】 ○課題について、インターネットなどを活用して調べる。 ○他の地域の実態を調査し比較することで、地域の特色を明確にする。 (修学旅行での京都市や奈良市の実地調査を基に比較する。) ○訪問調査、インタビュー、アンケート調査、実地調査、体験活動などを通して情報の収集をする。	①知識 地域に貢献するためには、地域のよさや特色について、知ることが必要であると理解している。 [観察 ワークシート]  ②技能 さいたま市や京都・奈良のよさや特色について知るために、インターネットの利用や、他の地域の実態を調査、訪問調査、インタビュー、アンケート調査、実地調査、体験活動などを通して比較検討するための情報を適切に収集している。 [観察 ポートフォリオ]	②「情報の収集」 地域のよさや特色について知るために、必要な調査方法を選択し、情報を収集し、蓄積している。 [観察 ポートフォリオ]	①自己理解・他者理解 地域のよさや特色について知るために、積極的に地域の人に質問し他者の考えや意見を受け入れて尊重しようとしている。 [観察 ワークシート]	・第2期 (小5～中1) ・手段を選択し、情報を収集する。 ・必要な情報を、見直しをもって収集し、分析する。 第3期 (中2～中3) ・目的に応じて手段を選択し、情報を収集する。 ・必要な情報を収集し、多角的に分析する。 ◎図書館や関係諸機関の活用を促すことで、目的に応じて手段を選択し、情報を収集する能力を養う。 ・第2期 (小5～中1)
		4	【整理・分析 (4)】 ○現地調査や体験活動で分かったことと、事前に調べたことを比較・検討し、課題の解決に迫る。		③「整理・分析」 地域のよさや特色を知るために、収集した情報を分類、整理、比較、分析して、関係や傾向を明らかにしている。 [観察]		・問題状況における事実や関係を把握し、理解する。 ・多様な情報の中にある特徴を見付ける。 ・問題状況に応じて、事象間の因果関係を分析したり、推論したりする。 第3期 (中2～中3) ・複雑な問題状況における事実や関係を把握し、自分の考えをもつ。 ・視点を定めて多様な情報を分析する。 ・課題解決を目指して事象を比較したり因果関係を推測したりして考える。 ◎収集した情報を活用しやすいうようにまとめることで、複雑な問題状況における事実や関係を把握し、自分の考えをもてるようにする。 ◎収集した情報を比較化、分類化、序列化、関連付けなどしてまとめることで、課題解決を目指して事象を比較したり、因果関係を推測したりして考える能力を養う。

月	単元名、目標	時数	学習内容(時数)	評価規準			円滑な接続のための留意事項 ◎特に留意する点 ◇道徳教育の指導の内容 ☆参考にした学習コンテンツ
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
		6	<p><b>【まとめ・表現（6）】</b></p> <p>○調べて分かったことをまとめ、クラス内で発表し、様々な角度からさいたま市の特色や課題をつかむ。</p>	<p><b>③探究的な学習のよさの理解</b></p> <p>クラス内での発表を通して、さいたま市のよさや特色について理解することは、探究的に学習してきたことの成果であることに気付いている。 [観察 ワークシート]</p>	<p><b>④「まとめ・表現」</b></p> <p>さいたま市のよさや特色について相手に伝えるために、効果的な表現をしている。 [観察 プレゼンテーションソフト]</p>	<p><b>①自己理解・他者理解</b></p> <p>さいたま市のよさや特色についての、他の意見や考えを積極的に受け入れ、課題解決のために生かそうとしている。 [観察 自己評価 他者評価]</p>	<p>◎他者の発表を情報収集の場としてとらえさせ、新たに得た知識や感じたことを記入させることで、異なる意見や他者の考えを受け入れ尊重したり、互いの特徴を生かし、協働して課題を解決したりする能力を養う。</p> <p>→第2期（小5～中1） ・異なる意見や他者の考えを受け入れる。 第3期（中2～中3） ・異なる意見や他者の考えを受け入れ尊重する。</p>
		2	<p><b>②【課題の設定（2）】</b></p> <p>○これまでの学習や体験に基づき、「持続可能な地域づくりにとって、何が大切なのか」「○○×SDGs = 幸せ」について、さらに探究したい課題を各自が設定する。 ○学習計画を立てる。</p>		<p><b>①「課題の設定」</b></p> <p>これまでの学習や体験に基づき、持続可能な地域づくりに貢献するために、何をすべきかについて疑問や問題点を見付け、課題を発見し設定している。 [観察 ワークシート]</p> <p>持続可能な地域づくりに貢献するための、手順を考え、確かな見通しをもって計画を立てている。 [観察 ワークシート]</p>	<p><b>②主体性・協働性</b></p> <p>自分の疑問や問題点から自分なりの課題を設定しようとしている。 [観察 ワークシート]</p> <p>課題解決への手順が分かり、自分なりの学習計画を立てようとしている。 [観察 ワークシート]</p>	<p>→第2期（小5～中1） ・問題状況の中から自ら課題を発見し、設定する。 ・解決の方法や手順を考え、見通しをもって計画を立てる。 第3期（中2～中3） ・複雑な問題状況の中から適切に課題を設定する。 ・仮説を立て、検証方法を考え、計画を立案する。 ◎第3期では自己の生き方につながるような、的確な課題を設定するとともに、自分の経験や知識、技能を活用し、よりよい課題解決のために試行錯誤しながら粘り強く探究することが求められるため、より具体的に多角的に迫ることのできる課題を設定させる。</p> <p>→第2期（小5～中1） ・目標を設定し、課題の解決に向けて計画的に行動する。 第3期（中2～中3） ・目標を明確にし、課題の解決に向けて計画的に行動する。 ◎計画表の作成を行うことで、目標を明確にし、課題の解決に向けて計</p>
		7	<p><b>⑦【情報の収集（7）】</b></p> <p>○課題について、インターネットなどを活用して調べる。 ○他の地域の実態を調査し比較することで、地域の特色を明確にする。 ○訪問調査、インタビュー、アンケート調査、実地調査、体験活動などを通して情報の収集をする。</p>	<p><b>①知識</b></p> <p>持続可能な地域づくりに貢献するためには、地域のよさや特色について、知ることが必要であると理解している。 [観察 ワークシート]</p> <p><b>②技能</b></p> <p>地域のよさや特色について知するために、インターネットの利用や、他の地域の実態を調査、訪問調査、インタビュー、アンケート調査、実地調査、体験活動などを通して比較検討するための情報を適切に収集している。 [観察 ポートフォリオ]</p>	<p><b>②「情報の収集」</b></p> <p>持続可能な地域づくりよさや特色について知するために、必要な調査方法を選択し、情報を収集し、蓄積している。 [観察 ポートフォリオ]</p>	<p><b>①自己理解・他者理解</b></p> <p>地域のよさや特色について知するために、積極的に地域の人に質問し他者の考えや意見を受け入れて尊重しようとしている。 [観察 ワークシート]</p>	<p><b>【STEAMS TIMEについて】</b></p> <p>プログラミング的思考をはぐくむ内容（3時間）</p> <p>◎プログラミング的思考をはぐくむ内容として、以下を行う。 「統計データを分析して未来の日本を考えよう。」に取り組む</p>

月	単元名、目標	時数	学習内容(時数)	評価規準			円滑な接続のための留意事項 ◎特に留意する点 ◇道徳教育の指導の内容 ☆参考にした学習コンテンツ
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
3 学期		8	<b>【整理・分析（8）】</b> ○集めた情報を整理・分析し、地域の人のニーズをつかみ、課題の解決にせまる。 ○自分の考えを伝え、他の人の意見を取り入れながら、課題の解決の探究を深める。		<b>③「整理・分析」</b> 地域住民が求めることについて、収集した情報を分類、整理、比較、分析することにより明らかにし、地域のために自分にできることについて考えている。 [観察 協働学習ソフト]	<b>②主体性・協働性</b> 地域のために自分にできることについて、自分や地域の人のよさを生かしながら協力して問題の解決に取り組もうとしている。 [観察 協働学習ソフト]	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <b>【STEAMS TIMEについて】</b>                          創造性をはぐくむPBL（16時間）                          STEAMS教育との関わり                          (Technology, Engineering, Art)                     </div> ◎創造性をはぐくむPBLとして、 【整理・分析】【まとめ・表現】を通じて以下を行う。 1.地域住民からの情報をもとに、地域のニーズを分析し、自分たちはどんな貢献ができるか考える。 2.自分たちの分析した内容や活動提案（進度によっては学習のまとめ）について、地域の人からフィードバックをもらう。（地域施設、オンライン活用等） 3.フィードバックをもとに活動計画や提案を修正し、まとめる。 ※各過程において、話し合い活動を取り入れる。 ☆生徒が自らコンテンツを選択する。
		8	<b>【まとめ・表現（8）】</b> ○具体的に地域に役立つ活動を計画し、実践する。 ○これまでの学習を振り返り、自分の生き方と地域との関わり方を見つめ、行動につなげる。	<b>③探究的な学習のよさの理解</b> これまでの学習を振り返り、自分の生き方と地域との関わり方を見つめ、行動につなげることは、探究的に学習してきたことの成果であることに気付いている。 [観察 制作物]	<b>④「まとめ・表現」</b> 地域のために自ら貢献するために、効果的な表現をしている。 [観察 インターネット]	<b>③将来展望・社会参画</b> 地域に貢献するために、実社会や実生活の問題の解決に自分のこととして取り組もうとしている。 [観察 制作物]	

授業時数合計 53

国の標準授業時数 53

授業時数チェック ○

**目標** 子供たちの人間関係を構築する際に必要なスキル（技能）を身に付けさせる授業を、各学期の初めに実施する。併せて、学校における様々な場面においてスキルの定着をはかり、生徒の人間関係を構築する能力を高める。

## 指導計画

	学習の内容	時数	合計	
1 学 期	(ア)「学級に温かな人間関係をはぐくむ」	・自己開示、自己表現、自己主張及び仲間同士のふれあいを推進する。	1	3
	(イ)「会話において必要となる基本的な技術の習得」	・相手からの働きかけに対して、適切に対応する言葉の使い方や態度を身につける。	1	
	(ウ)「相手とトラブルなく円滑に自分の意志を伝える技術の習得」	・自分も相手も大切にしたい自己表現をするための言語的・非言語的行動を身につける。	1	
2 学 期	(ア)「学級に温かな人間関係をはぐくむ」	・自己開示、自己表現、自己主張及び仲間同士のふれあいを推進する。	1	3
	(イ)「会話において必要となる基本的な技術の習得」	・相手からの働きかけに対して、適切に対応する言葉の使い方や態度を身につける。	1	
	(ウ)「相手とトラブルなく円滑に自分の意志を伝える技術の習得」	・自分も相手も大切にしたい自己表現をするための言語的・非言語的行動を身につける。	1	
3 学 期	(ア)「学級に温かな人間関係をはぐくむ」	・相手からの働きかけに対して、適切に対応する言葉の使い方や態度を身につける。	1	3
	(イ)「会話において必要となる基本的な技術の習得」	・相手からの働きかけに対して、適切に対応する言葉の使い方や態度を身につける。	1	
	(ウ)「相手とトラブルなく円滑に自分の意志を伝える技術の習得」	・自分も相手も大切にしたい自己表現をするための言語的・非言語的行動を身につける。	1	

# 国語科・シラバス

## 目 標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を養う。

## 授業の取り組み方

- ◎授業準備をして授業に参加しましょう。(教科書・ノート・辞書・その他)
- ◎「話し合い」の機会を設けます。自分の考えを適切に相手に伝え、相手の意見を正確に聞きましょう。
- ◎授業に集中し、大切なことはメモをとりましょう。
- ◎読書・新聞を進んで読み、宿題・自主学習を主体的に行いましょう。

### 1年生 (週：4時間)

話の聞き取り方・話し合いの仕方・司会の仕方等を学ぶ。  
いろいろな形式の文章を書くことに慣れる。  
説明的文章・文学的文章を読み、筆者の考え・思いを理解する。  
古典に関する基礎的知識を学ぶ。  
百人一首を学ぶ。(百首を読む。決まり字を覚える。カルタ競技ができる。)  
読書を積極的に行う。(読書記録ノート百冊読書を目指す。)  
漢字・語句等は検定4・5級程度を目指す。

### 2年生 (週：4時間)

身につけた話し合いや発表の能力を発揮する。  
表現の仕方を工夫していろいろな文章を書く。  
様々な文章を読み、内容・表現について自分の考えを持ち、他と感想を交流する。  
古典に関する知識を広げる。  
百人一首を深める。(好きな歌を暗記する。決まり字を暗記する。カルタ競技を楽しむ。)  
読書の幅を広げ、新聞・インターネットを活用する。(読書記録ノート百冊読書を目指す。)  
漢字・語句等は検定4級程度を目指す。

### 3年生 (週：3時間)

話し合いや発表の能力を社会生活に生かす。  
目的に応じた文章を書く。  
様々な文章を読み、内容表現について批評・比較して読む。  
古典に関する知識を深める。  
百人一首を極める。(好きな歌を増やして暗記する。カルタ競技をすすんで楽しむ。)  
社会に出ても継続できる読書力をつける。(読書記録ノート百冊読書を目指す。)  
漢字・語句等は検定3級の力をつける。

## 国語科・評価・観点

### 【知識・技能】

- ★定期テスト・漢字小テスト
- ★百人一首・古典の暗唱
- ★書写（硬筆・書きぞめ）
- ★文法・言語事項の理解
- ★文章の読解

など

### 【思考・判断・表現】

- ★定期テスト
- ★発表活動（スピーチ・群読）
- ★作文（感想文・意見文）
- ★読書記録ノート

など

### 【主体的に学習に取り組む態度】

- ★学習の用意がすべて揃っており、授業で忘れ物がない。
- ★積極的に発言し、授業に参加しようとしている。
- ★提出物・課題をしっかりと出そうとする意志が見られる。
- ★読解が必要な問題でもあきらめずに取り組むだけでなく、他から多くを吸収しようという態度が見られる。
- ★漢字や文法など、国語の知識に関する事項を粘り強く学習し、身に着けようとしている。
- ★読書を積極的に行い、多くの本に触れている。（読書記録ノートの記入）
- ★話し合いの場面で、話す時と聞く時、それぞれの役割を果たそうとする姿が見られる。
- ★百人一首を覚えようとし、多くの札がとれるよう努力する。
- ★書写に真摯に取り組み、能力を向上させようとしている。

など

1 中学校第1学年の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(知識及び技能) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。

(思考力、判断力、表現力等) 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにするようにする。

(学びに向かう力、人間性等) 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

2 中学校第1学年の評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにしていく。	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを確かなものにしたししながら、言葉がもつ価値に気付こうとしているとともに、進んで読書をし、言葉を適切に使用している。

3 単元の指導と評価の計画

月	指導時間数		単元名	単元の目標	単元で扱う言語活動の例	単元で扱う教材名	○主な学習活動・学習内容	単元の評価規準	円滑な接続のための留意事項
	単元の指導時間数	単元名							
月									
4	3	3	自己紹介文を書こう～国語学習オリエンテーション～	<p>(知識及び技能) (1)ウ 事象や行為、心情を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。</p> <p>(思考力・判断力・表現力等) B(1)ア 目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。</p> <p>(学びに向かう力、人間性等) 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。</p>	<p>※学習指導要領に示されている「内容」の指導事項から、単元の目標として適切な「事項」を選択して転記する。</p>	言葉の地図	<p>○小学校で学習したことを振り返り、中学校国語科の学習の目標、進め方について確認する。</p> <p>・中学校国語科の目標、学習の進め方</p> <p>○小学校時代に自分を成長させたことやもの、人の中から題材を集め、自己紹介文を書く。</p> <p>・日常生活で直接体験したことをはじめ、他教科等で学習したこと、友人や家族から聞いたこと、興味や関心をもったことなどから課題を決めること</p> <p>○グループで自己紹介文を読み合う。</p> <p>・事象や行為などを表す多様な語句について理解を深めるとともに、話や文章の中の語彙について関心をもつこと</p>	<p>【知・技】(1)ウ 事象や行為、心情を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>【思・判・表】B(1)ア 「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。</p> <p>【主】 積極的に小学校で学んだことを生かして、自己紹介文を書こうとしている。</p>	※本単元と他学年等の関連を示す。
4	3	3	詩を読んで感想を交流しよう～描かれたイメージを想像する～	<p>(知識及び技能) (1)オ 比喻、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使うことができる。</p> <p>(思考力・判断力・表現力等) C(1)オ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにするようにすることができる。</p> <p>(学びに向かう力、人間性等) 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。</p>	<p>詩を読み、考えたことなどを伝え合う活動</p> <p>C(2)イ</p>	ふしぎ 四季の詩	<p>○詩の情景や人物の心情を考え、読み取ったことを踏まえて朗読する。</p> <p>・朗読の工夫</p> <p>○詩に関連した身の周りの出来事を挙げたり、小学校での学習を振り返って詩の作者について知っていることを話し合ったりする。</p> <p>・自分の体験を踏まえて詩の内容を理解すること</p> <p>・作者についての知識</p> <p>○話し合いを踏まえて、感想を書く。</p> <p>・感想の書き方</p> <p>○P238を読み、詩を創作する。</p> <p>・詩の創作の仕方</p> <p>・詩の表現技法</p>	<p>【知・技】(1)オ 比喻、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。</p> <p>【思・判・表】C(1)オ 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。</p> <p>【主】 進んで文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えを確かなものにし、学習課題にそって考えたことを伝え合おうとしている。</p>	

月	指導時間数				単元名	単元の目標	単元で扱う言語活動の例	単元で扱う教材名	○主な学習活動・学習内容	単元の評価規準	円滑な接続のための留意事項
4	4	4			知識・技能 クラス応援旗の原案を作ろう ～字形を整えて楷書で書く～	(知識及び技能)(3)エ(7) 字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書くことができる。 〔思考力・判断力・表現力等〕A(1)ア 目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討することができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にしたいや考えを伝え合おうとする。	応援旗の案について伝えたいことを話したり、それらを開いて質問したり意見などを述べたりする活動 A(2)ア	文字で心を伝えよう	○中学校書写の学習の進め方を知る。 ・中学校書写の学習の進め方 ○体育祭に向けて、クラス応援旗に書くメッセージ案を出し合う。 ○A5サイズの画用紙に、字形や配列に注意しながら、選んだメッセージを書く。 ・書くこうとする文字の字形を整えること	【知・技】(3)エ(7) 字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書いている。 【話】A(1)ア 「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 【主】 積極的に字形や配列に注意しながら、選んだメッセージを書こうとしている。	(特別活動)
4	3	1		2	知識・技能 読むこと 心に残った本を紹介しよう ～表現の効果を探す～	(知識及び技能)(3)オ 読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解することができる。 〔思考力・判断力・表現力等〕C(1)エ 文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にしたいや考えを伝え合おうとする。	学校図書館などを活用し、多様な情報を得て、考えたことを報告する活動 C(2)ウ	桜蝶	○文学作品の構成について理解し、『桜蝶』AとBを読み、構成や展開、描写の仕方についての違いがあるかを考える。 ○学校図書館オリエンテーションを行い、これまで読んだ本(文学作品)の中から、構成や展開、描写の仕方に魅力を感じたものを選ぶ。 ・学校図書館の利用の仕方 ○選んだ本について紹介する内容をまとめる。 ○選んだ本について、グループで紹介し合い、物語と小説の違いや小説を読む時にどのような点に注目すべきかについて自分なりに考えたことを話し合う。	【知・技】(3)オ 読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。 【思・判・表】C(1)エ 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。 【主】 積極的に根拠を明確にして考え、学習の見通しをもって多様な情報を得て考えたことを伝え合おうとしている。	学校図書館の活用 中2『タオル』
5	3		3		話すこと・聞くこと お気に入りの一品を紹介しよう ～表現を工夫して伝える～	(知識及び技能)(1)ウ 事象や行為、心情を表す語句の量を増し、話の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 〔思考力・判断力・表現力等〕A(1)ア 目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討することができる。 〔思考力・判断力・表現力等〕A(1)ウ 相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にしたいや考えを伝え合おうとする。	紹介を通して伝えたいことを話したり、それを聞いて質問したり意見などを述べたりする活動 A(2)ア	お気に入りの一品を紹介する 言葉と社会 1言葉とコミュニケーション	○「お気に入りの一品」を決め、話す内容を考える。 ○スピーチを行い、何回かペアを替えて評価をし合う。 ・うなずきや表情などという聞き手の反応から、話の受け止め方や理解の状況をとらえて話すこと ・話す速度や音量、言葉の調子や間の取り方、語句の選択、言葉遣いについての知識を生かして話すこと ○スピーチについてアドバイスし合い、内容や表現の修正をする。 ○発表をグループで行う。 ○話し手・聞き手それぞれの立場から表現の工夫について気付いたことを記入する。	【知・技】(1)ウ 事象や行為、心情を表す語句の量を増し、話の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思・判・表】A(1)ア 「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 【思・判・表】A(1)ウ 「話すこと・聞くこと」において、相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫している。 【主】 進んで自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫し、見通しをもってお気に入りの一品を紹介しようとしている。	
5	2	2			知識・技能 言葉の単位について理解しよう	(知識及び技能)(1)エ 単語の類別について理解することができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にしたいや考えを伝え合おうとする。	文法の小窓1 言葉の単位 文法(解説)1 言葉の単位	○言葉が様々なまとまりに分かれることを理解し、ノートにまとめる。 ・単語の文法的な役割や品詞と文の成分の関係 ・言葉の単位や性質、文節や単語 ○様々な文例を基に、単語に分けたり、表にまとめたります。 ・単語の分類 ・表のまとめ方	【知・技】(1)エ 単語の類別について理解している。 【主】 積極的に言葉の単位について理解するとともに、見通しをもってその役割を考えようとしている。		
5	4			4	読むこと 筆者の考えをまとめよう ～文章の中心的部分に着目して内容を捉える～	(知識及び技能)(2)ア 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。 〔思考力・判断力・表現力等〕C(1)ア 文章の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握することができる。 〔思考力・判断力・表現力等〕C(1)ウ 目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈することができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にしたいや考えを伝え合おうとする。	説明的な文章を読み、自分の脳を知っていますか 言葉と社会2 イメージを言葉にする C(2)ア		○全文を通読し、クッキーを使った二つの実験の説明によって、筆者が伝えようとする内容を捉える。 ○他教科の教科書から、箇条書きを探し、箇条書きの特徴についてグループで話し合う。 ○教科書教材に書かれている内容を箇条書きで書く。 ・大まかに内容をつかんだり、人に紹介したりするなど、目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりすること ○箇条書きにしたものをグループで読み合い、本文の段落構成や内容と比べる。 ・事象や行為などを表す多様な語句について理解を深めるとともに、話や文章の中の語彙について関心をもつこと ・本文の段落構成や内容の理解 ○整理したことを踏まえて、筆者の考えを文章にまとめる。	【知・技】(2)ア 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 【思・判・表】C(1)ア 「読むこと」において、文章の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。 【思・判・表】C(1)ウ 「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。 【主】 積極的に必要な情報に着目して要旨を捉えるとともに、学習課題にそって文章にまとめようとしている。	中2『日本の花火の楽しみ』『水の山富士山』



月	指導時間数				単元名	単元の目標	単元で扱う言語活動の例	単元で扱う教材名	○主な学習活動・学習内容	単元の評価規準	円滑な接続のための留意事項
5	3		3		知識・技能 硬筆展に向けて練習しよう～硬筆～	(知識及び技能)(3)エ(7) 字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書くことができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。		楷書で書こう	○手本の文章を読み、楷書で書かれた文章の特徴をつかむ。 ・書こうとする文字の字形を整えること ・紙面全体に対して文字の大きさや書くべき位置を考えて調和的に割り当てること ○手本を見ながら丁寧に写す。 ・文字と文字との間の空け方や行の中心の取り方に注意すること	【知・技】(3)エ(7) 字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書いている。 【主】 積極的にペンの使い方や字形、文字の大きさなどの書き方を確認しようとしている。	
6	6			6	書くこと 資料から意見を書こう～考えの中心を明確にして段落構成を考える～	(知識及び技能)(1)イ 学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読むことができる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 (知識及び技能)(2)イ 比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使うことができる。 〔思考力・判断力・表現力等〕B(1)イ 書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えることができる。 〔思考力・判断力・表現力等〕B(1)ウ 根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	資料から文章や図表などを引用して説明したり記録したりするなど、事実やそれを基に考えたことを書く活動 B(2)ア	資料から得た根拠を基に意見を書く 漢字の広場1 漢字の部首	○日常生活や自分自身の興味・関心を基に取り上げる話題と主張したいことを決める。 ○自分が取りあげた話題について調査した資料を比較して、共通点や相違点を整理する。 ・資料の整理の仕方 ○整理した共通点や相違点を基に、根拠を明確にして文章の構成を考える。 ・文章の構成の仕方 ○構成に従って文章を書く。 ・論理的な文章の書き方 ○根拠と主張のつながりに注意して推敲する。 ・根拠と主張のつながりを踏まえた推敲の仕方 ・漢字の使い方 ○生徒同士で書いたものを交流し、資料の読み取りや構成の工夫について確認し合う。 ・交流の仕方 ・資料の読み取り ・構成の工夫	【知・技】(1)イ 学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。 【知・技】(2)イ 比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。 【思・判・表】B(1)イ 「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。 【思・判・表】B(1)ウ 「書くこと」において、根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 【主】 粘り強く引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、学習課題にそって図表などを引用して考えたことを書こうとしている。	小6『自分の考えを発信しよう』 中2『新聞の投書を書く』
6	4		4		話すこと・聞くこと 未来の自分を説明しよう～話す内容を整理して表現する～	(知識及び技能)(1)ア 音声の働きや仕組みについて、理解を深めることができる。 (知識及び技能)(2)イ 比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使うことができる。 〔思考力・判断力・表現力等〕A(1)ア 目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討することができる。 〔思考力・判断力・表現力等〕A(1)ウ 相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	互いの考えを伝えるなどして、少人数で話し合う活動 A(2)イ	内容を整理して説明する 言葉の小窓1 日本語の音声 言葉(解説)1 日本語の音声	○「未来の自分がどうありたいか」を具体的にイメージし、その過程でどんなことで迷ったり悩んだりするかを考える。 ○その悩みを乗り越えるような「名言」や「印象深い言葉」の情報を集める。 ・情報の集め方 ○ワークシートに「名言」や「印象深い言葉」を記入し、自分の具体的な計画を考え、説明する手順を整理する。 ・具体的な自分の計画を踏まえて、情報を整理すること ○自分の計画を分かりやすく説明し、聞き手の反応を見ながら話す内容や順番を変える。 ・説明の仕方の工夫 ・日本語の「子音」と「母音」の違い ・アクセントやイントネーション ○互いの発表についてよかった点や改善点を話し合い、よりよい話し方、聞き方について学び合う。 ・効果的な話し方と聞き方 ○内容を整理して説明するために、「関係付ける」ことについて理解する。	【知・技】(1)ア 音声の働きや仕組みについて、理解を深めようとしている。 【知・技】(2)イ 比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。 【思・判・表】A(1)ア 「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 【思・判・表】A(1)ウ 「話すこと・聞くこと」において、相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫している。 【主】 粘り強く相手の反応を踏まえながら表現を工夫するとともに、学習課題にそって伝えたいことを話そうとしている。	中2『説得力のある提案をする』

月	指導時間数				単元名	単元の目標	単元で扱う言語活動の例	単元で扱う教材名	○主な学習活動・学習内容	単元の評価規準	円滑な接続のための留意事項
6	5	2		3	知識・技能 読むこと 本のポップを作る ～本から情報を集めて活用する～	〔知識及び技能〕(2)イ 比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方、引用の仕方 や出典の示し方について理解を深め、それらを使うことができる。 〔知識及び技能〕(3)オ 読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解することができる。 〔思考力・判断力・表現力等〕C(1)ウ 目的に応じて必要な情報に着目して要約したり、場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして、内容を解釈することができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	学校図書館などを利用し、多様な情報を得て、考えたことなどを報告したり資料にまとめたりする活動 C(2)ウ	ペンチ	○「ペンチ」を読み、本のポップ作りにつなげるテーマを考える。 ○本や文章などからの必要な情報の集め方について知る。 ○学校図書館でテーマに関連した本を読み紹介したい内容や自分の考えをまとめる。 ・本の紹介に必要な情報を読み取ること ○読んだ作品のポップを作り、グループで交流する。 ・話や文章の中の語彙について関心をもつこと ○これから読みたい本のブックリストを作る。	〔知・技〕(2)イ 比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方、引用の仕方 や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。 【知・技】(3)オ 読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。 【思・判・表】C(1)ウ 「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約したり、場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして、内容を解釈している。 【主】 進んで読書が考えを広げることに関与することを理解し、学習の見直しをもって考えたことを提案しようとしている。	学校図書館の活用
6	3		3		知識・技能 楷書と仮名を調和させて書く ～毛筆～	〔知識及び技能〕(3)エ(7) 字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書くことができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	楷書と仮名を調和させて書く	○毛筆の用具の基本的な使い方について理解する。 ・毛筆の用具の使い方 ○手本を見て、字形や点画に注意しながら丁寧に視写する。 ・書くこととする文字の字形を整えること ・紙面全体に対してそれぞれの文字の大きさや書くべき位置を考えて調和的に割り当てること ・文字と文字との間の空け方や行の中心の取り方に注意すること ・行と行の間の空け方に注意すること	【知・技】(3)エ(7) 字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書いている。 【主】 積極的に筆遣いや字形について確認しながら書くこととしている。		
7	3			3	読むこと 写真を編集しよう ～必要な情報から内容を解釈する～	〔知識及び技能〕(2)イ 比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方、引用の仕方 や出典の示し方について理解を深め、それらを使うことができる。 〔思考力・判断力・表現力等〕C(1)ウ 目的に応じて必要な情報に着目して、内容を解釈することができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	写真から、理解したことを考えたことを文章にまとめる活動 C(2)ア	全ては編集されている 写真で「事実」を表現する	○「全ては編集されている」を読み「編集」されているものについて考えた後、写真を見る観点について理解する。 ・写真を見る観点の理解 ○「何を切り取るか」から、対象の写真が何を切り取っている写真なのか考える。 ・編集者の意図 ○「写真の情報を整理する」から、写真の題名を考える。 ・効果的な題名の付け方 ○「写真を組み合わせる順序を考える」から、短い物語を完成させる。 ・写真を踏まえた物語の書き方	【知・技】(2)イ 比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方、引用の仕方 や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。 【思・判・表】C(1)ウ 「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して、内容を解釈している。 【主】 粘り強く情報の整理の仕方についての理解を深めるとともに、学習課題に沿って考えたことをまとめようとしている。	中2『脚本で動きを説明する』
7	5			5	書くこと 案内文を書く ～伝えたいことを明確にする～	〔知識及び技能〕(1)イ 学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読むことができる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 〔知識及び技能〕(2)イ 比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使うことができる。 〔思考力・判断力・表現力等〕B(1)ア 目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	行事の案内の文章を書くなど、伝えるべきことを整理して書く活動 B(2)イ	材料を整理して案内文を書く 漢字の広場2 画数と活字の字体	○誰に何を案内するのかについて考え、必要な情報を整理する。【例：合唱祭】 ○案内文の構成を考え、相手や目的を意識しながら書く。 ○推敲して清書する。 ・誰に何を案内するのかが正確に書けているか ・相手にとって必要な情報がそろっているか ・文や段落の長さ及び文や段落の接続の関係などが適切であるか ・文字や表記が正しいか、漢字と仮名の使い分けが適切か、語句の選び方や使い方が的確であるか ・相応しい字体 ・国語辞典、漢和辞典の活用 ○グループで案内文を読み合う。	【知・技】(1)イ 学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。 【知・技】(2)イ 比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。 【思・判・表】B(1)ア 「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。 【主】 進んで集めた情報を整理し、学習の見直しをもって案内文を書くこととしている。	小6『パンフレットで知らせよう』 中2『構成を明確にして手紙を書く』

月	指導時間数				単元名	単元の目標	単元で扱う言語活動の例	単元で扱う教材名	○主な学習活動・学習内容	単元の評価規準	円滑な接続のための留意事項
7	1			1	書くこと 「1学期の国語学習を振り返ろう」	〔知識及び技能〕(1)エ 単語の類別について理解するとともに、指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めることができる。 〔思考力・判断力・表現力等〕B(1)ウ 根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	1学期の各単元の振り返りとして、伝えるべきことを整理して書く活動 B(2)イ		○1学期の各単元の学習を振り返り、自己評価を基に文章にする。 ・自己評価の方法 ・読み手に対して、どの部分が根拠であるかが明確になるような表現上の工夫をすること ・「このように」、「そういう」、「あのよう」、「どういう」など代名詞や連体詞などを併せて全体として指示語の機能をもつ語の働き ・「以上(は)」、「前者(は)」、「右(の)」など指示語と同じような働きをもつ語句の働き	〔知・技〕(1)エ 単語の類別について理解するとともに、指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。 【思・判・表】B(1)ウ 「書くこと」において、根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫し、 【主】 積極的に自分の考えが伝わる文章になるように工夫し、今までの学習を生かして文章を書こうとしている。	
8	3			3	話すこと・聞くこと 持続可能な社会の実現に向けて話し合おう ～自分の課題を見つけて検討する～	〔知識及び技能〕(2)イ 比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使うことができる。 〔思考力・判断力・表現力等〕A(1)ア 目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討することができる。 〔思考力・判断力・表現力等〕A(1)オ 話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめることができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	互いの考えを伝えるなどして、少人数で話し合う活動 A(2)イ	持続可能な未来を創るために 人の暮らし方を考える 「エシカル」に生きよう	○ブローグを読み、「地球規模の課題」を考える。 ・「問い」の内容を的確に理解すること ○『「エシカル」に生きよう』を読み、身のまわりの「ごみ」について考え、自分ができることについて話し合う。 ・話し合いの仕方 ○話し合いを踏まえて、「なぜ、人間だけがごみを出すのか」ということについて自分の考えをまとめる。 ・話し合ったことを踏まえて、自分の考えを整理しながらまとめること	〔知・技〕(2)イ 比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。 【思・判・表】A(1)ア 「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 【思・判・表】A(1)オ 「話すこと・聞くこと」において、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめている。 【主】 粘り強く目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討し、今までの学習を生かして話し合おうとしている。	
9	4			4	読むこと 筆者の問いに対する答えを見つけよう ～論理の展開を捉えて読む～	〔知識及び技能〕(2)ア 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。 〔思考力・判断力・表現力等〕C(1)エ 文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができる。 〔思考力・判断力・表現力等〕C(1)オ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かかなものにするすることができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	説明的な文章を読み、理解したことや考えたことを文章にまとめる活動 C(2)ア	森には魔法つかいがある	○「森には魔法つかいがある」全文を通読し、論理の展開を捉え、問いに対する答えを見付ける。 ・問題に対する、筆者の解決法を整理すること ○P88L1～P92L4までの内容について、重要な語句を取り出したり、分からないことを調べたりして理解を深める。 ・キーワードを探し、キーワードの意味や使い方について理解すること ○P92L5～P96L7までの内容について、重要な語句を取り出したり、分からないことを調べたりして理解を深める。 ・キーワードを探し、キーワードの意味や使い方について理解すること ○「森には魔法つかいがある」の筆者が見つけた答えに対する自分の考えを書く。	〔知・技〕(2)ア 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 【思・判・表】C(1)エ 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。 【思・判・表】C(1)オ 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしている。 【主】 積極的に文章の構成について考え、学習課題にそって文章を読んで考えたことを書こうとしている。	小6『雪は新しいエネルギー』 中2『紙の建築』
9	3	3			知識・技能 文の成分の役割について理解しよう	〔知識及び技能〕(1)エ 単語の類別について理解することができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	文法の小窓2 文の成分 文法(解説)2 文の成分	○主語・述語、修飾語などの役割について理解する。 ・単語のもつ文法的な役割や品詞と文の成分の関係 ○文の成分の組み立てについて理解する。	〔知・技〕(1)エ 単語の類別について理解している。 【主】 積極的に文の成分について理解するとともに、見直しをもってその役割を考えようとしている。		

月	指導時間数				単元名	単元の目標	単元で扱う言語活動の例	単元で扱う教材名	○主な学習活動・学習内容	単元の評価規準	円滑な接続のための留意事項
9	5			5	書くこと 自分の考えが伝わる意見文を書こう ～根拠を明確にして文章を工夫する～	(知識及び技能) (2)イ 比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使うことができる。 〔思考力・判断力・表現力等〕 B (1)ウ 根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。 〔思考力・判断力・表現力等〕 B (1)オ 根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすことができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	本や資料から文章や図表などを引用して説明したり記録したりするなど、事実やそれを基に考えたことを書く活動 B(2)ア	根拠を明確にして意見文を書く	○日常生活の中から課題を見つけ、伝えたいテーマを選ぶ。 ○選んだテーマについて客観性のある根拠を考えたり自分の主張を明確にするための資料を収集したりする。 ○根拠を明確にして文章を書く。 ・自分の体験 ・統計資料や新聞等 ○書き上げた意見文を推敲し、書き直す。 ・文や段落の長さ及び文や段落の接続の関係などが適切であるか ・文字や表記が正しいか、漢字と仮名の使い分けが適切か、語句の選び方や使い方が的確であるか ○グループで読み合い、文章に対する感想を交流し、自分の文章のよいところを見つける。	【知・技】(2)イ 比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。 【思・判・表】 B (1)ウ 「書くこと」において、根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 【思・判・表】 B (1)オ 「書くこと」において、根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。 【主】 進んで根拠が明確な文章になるように工夫し、学習課題にそって自分の考えたことを書こうとしている。	中2『根拠をもとに意見文を書く』
9	3			3	読むこと 広告を作成しよう ～必要な情報に着目して内容を解釈する～	(知識及び技能) (2)イ 比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使うことができる。 〔思考力・判断力・表現力等〕 C (1)ウ 目的に応じて必要な情報に着目して、内容を解釈することができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	広告を読み、理解したことや考えたことを文章にまとめる活動 C(2)ア	広告の情報を考える	○広告を見て、広告の「工夫」について考える。 ・広告の特徴を理解すること ○広告を比べて、広告を構成する要素を具体的にあげ、共通点や相違点を整理し、広告の「工夫」について理解を深める。 ・広告の構成、工夫点 ○写真を基に、商品やメッセージを伝えるためのポスターを作成する。作ったポスターを見せ合い、「工夫」について確認し合う。 ・効果的なポスターの作り方	【知・技】(2)イ 比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。 【思・判・表】 C (1)ウ 「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して、内容を解釈している。 【主】 積極的に目的に応じて必要な情報に着目して、内容を解釈し、学習の見通しをもって伝えるべき事を整理してまとめようとしている。	中2『映像作品の表現を考える』
10	2	2			知識・技能 昔話を紹介しよう ～古典の様々な作品を知る～	(知識及び技能) (3)イ 古典には様々な種類の作品があることを知ることができる。 (知識及び技能) (3)ウ 共通語と方言の果たす役割について理解することができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕〔思考力・判断力・表現力等〕 C (1)イ 場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えることができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	古典を読み、考えたことなどを伝え合う活動 C(2)イ	昔話と古典 一箱に入った桃太郎一 言葉の小窓3 方言と共通語 言葉(解説)3 方言と共通語	○柳川や昔話を読み、古典には様々な種類があることを知る。 ○小学校から親しんできた古典の作品や自分の生活の中で昔話を讀んだり聞いた経験や話をシェアで話し合う。 ○方言で語られた昔話を紹介する。 ・方言の歴史や様々な方言 ・方言と共通語の果たす役割の違い	【知・技】(3)イ 古典には様々な種類の作品があることを知っている。 【知・技】(3)ウ 共通語と方言の果たす役割について理解している。 【思・判・表】 C (1)イ 「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。 【主】 進んで古典には様々な種類の作品があることを知り、これまでの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。	(社会科歴史的分野)
10	4	3		1	知識・技能 読むこと 古典のおもしろさを発見しよう ～古典の世界に親しむ～	(知識及び技能) (3)ア 音読に必要な文語のままりを知り、古文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しむことができる。 〔思考力・判断力・表現力等〕 C (1)イ 場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えることができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	古文を読み、考えたことなどを伝え合う活動 C(2)イ	物語の始まり 一竹取物語一	○小学校の学習経験について、また、今まで絵本などで知っていた『かぐや姫』の物語と『竹取物語』との違いについて話し合う。 ○冒頭部分を視写し、古文と現代文の対応に注意しながら、歴史的仮名遣いや古語についてワークシートにまとめる。 ・歴史的仮名遣いや現代の口語と異なる古文特有のままり ○現代語訳と合わせながら、『竹取物語』を音読する。 ・言葉を手掛かりにしながら文脈をたどり、文章の中の時間的、空間的な場面の展開、登場人物の心情や行動、情景描写などに視点を定めて読むこと ・古典の文章を繰り返し音読して、その独特のリズムに気付くこと ○教科書巻末の『蓬萊の玉の枝と偽りの苦心談』もあわせて読み、『竹取物語』のおもしろさについてグループで話し合う。	【知・技】(3)ア 音読に必要な文語のままりを知り、古文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。 【思・判・表】 C (1)イ 「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。 【主】 積極的に古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しみ、学習の見通しをもって作品について考えたことを伝え合おうとしている。	

月	指導時間数				単元名	単元の目標	単元で扱う言語活動の例	単元で扱う教材名	○主な学習活動・学習内容	単元の評価規準	円滑な接続のための留意事項
10	3	3			知識・技能 漢文を音読しよう ～古典の世界に親しむ～	(知識及び技能) (3)ア 音読に必要な文語のきまりや訓読の仕方を知り、漢文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しむことができる。 (思考力・判断力・表現力等) C(1)イ 場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えることができる。 (学びに向かう力、人間性等) 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。	漢文を読み、考えたことなどを伝え合う活動 C(2)イ	故事成語 ー中国の名言ー	○「矛盾」をノートに書き写し、訓読の決まりを知る。 ・歴史的仮名遣いなど現代の口語と異なる古文特有のきまり ・返り点、送り仮名など漢文の訓読に必要な基礎的な事項 ○「矛盾」を音読し、おもしろさについて話し合う。 ・古典の文章を繰り返し音読して、その独特のリズムに気付くこと ○他の故事成語を調べ、グループで紹介し合う。	【知・技】(3)ア 音読に必要な文語のきまりや訓読の仕方を知り、漢文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。 【思・判・表】C(1)イ 「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。 【主】 進んで音読に必要な訓読の仕方を知り、学習の見通しをもって文章を読んで考えたことを伝え合おうとしている。	
10	3	3			知識・技能 楷書と仮名を調和させて書こう ～毛筆～	(知識及び技能) (3)エ(7) 字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書くことができる。 (学びに向かう力、人間性等) 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。		楷書と仮名を調和させて書こう	○手本を見て、字形や点画に注意しながら丁寧に視写する。 ・書こうとする文字の字形を整えること ・紙面全体に対して文字の大きさや書くべき位置を考えて調和的に割り当てること ○文字と文字との間の空け方や行の中心の取り方について、グループでアドバイスし合う。	【知・技】(3)エ(7) 字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書いている。 【主】 積極的に筆遣いや字形について確認しながら書こうとしている。	
11	3	1		2	知識・技能 読むこと 近代の小説を読もう ～読書で自分の考えを広げる～	(知識及び技能) (3)オ 読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解することができる。 (思考力・判断力・表現力等) C(1)イ 場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えることができる。 (学びに向かう力、人間性等) 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。	小説を読み、考えたことなどを伝え合う活動 C(2)イ	蜘蛛の糸	○「蜘蛛の糸」を読み、感想をもつ。 ○他の近代の小説を読む。 ○他の近代小説について、グループで紹介し合う。 ・自分の考えを広げること	【知・技】(3)オ 読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。 【思・判・表】C(1)イ 「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。 【主】 進んで読書が考えを広げることに役立つことを理解し、今までの学習を生かして小説を読んで考えたことを伝え合おうとしている。	学校図書館の活用
11	4			4	読むこと 詩を朗読しよう ～場面と描写を結びつける～	(知識及び技能) (1)オ 比喻、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使うことができる。 (思考力・判断力・表現力等) C(1)イ 場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えることができる。 (学びに向かう力、人間性等) 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。	詩を読み、考えたことなどを伝え合う活動 C(2)イ	河童と蛙	○「河童と蛙」を音読し、詩の内容や表現について、小グループで話し合う。 ・言葉を手掛かりしながら文脈をたどり、文章の中の時間的、空間的な場面の展開、登場人物の心情や行動、情景描写などに視点を定めて読むこと ○詩から得たイメージを基に童話を作成する。 ・比喻や反復、省略、倒置、対句などの名称と表現の技法の意味や用法 ○朗読用シナリオを作成する。 ・シナリオの作り方 ○グループで朗読する。 ・場面を考えながら工夫して朗読すること	【知・技】(1)オ 比喻、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。 【思・判・表】C(1)イ 「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。 【主】 進んで表現の技法を理解し、学習の見通しをもって詩を読んで考えたことを朗読により伝えようとしている。	中2『虹の足』『豚』
11	5			5	読むこと 物語を探究しよう ～作品の表現の効果について理解する～	(知識及び技能) (1)オ 比喻、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使うことができる。 (思考力・判断力・表現力等) C(1)エ 文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができる。 (学びに向かう力、人間性等) 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。	小説を読み、考えたことなどを記録したり伝え合ったりする活動 C(2)イ	オツベルと象	○作品のあらすじを捉え、展開や表現の特徴について課題をもつ。 ・比喻や反復、省略、倒置、対句などの名称と表現の技法の意味や用法 ○課題に沿って人物像や出来事についてまとめる。 ・思考の流れや登場人物の心情の変化に沿って展開を把握すること ・文章の種類による叙述の特徴や、構成や展開、表現の特徴を分析的に捉え、その工夫や効果について自分の考えをもつこと ○課題ごとにグループを作り、文章の展開や表現の特徴について話し合う。 ○課題に対する自分の考えをまとめる。	【知・技】(1)オ 比喻、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。 【思・判・表】C(1)エ 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。 【主】 粘り強く表現の効果について根拠を明確にして考えとともに、小説を読んで考えたことを伝え合おうとしている。	小6『きつねの窓』 中2『夏の群像』

月	指導時間数				単元名	単元の目標	単元で扱う言語活動の例	単元で扱う教材名	○主な学習活動・学習内容	単元の評価規準	円滑な接続のための留意事項
11	2		2		知識・技能 行書で書こう～毛筆～	(知識及び技能)(3)エ(4) 漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書くことができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。		行書で書いてみよう	○楷書と行書の違い、行書の点画の特徴などをワークシートにまとめる。 ・行書では、直線的な点画で構成されている漢字の、点や画の形が丸みを帯びる場合があること ・行書では、点や画の方向及び止めや払いの形が変わる場合があること ・行書では、点や画が連続したり省略されたりする場合があること ・行書では、筆順が変わる場合があること ○点画の形の変化と筆順の連続に注意して練習する。	【知・技】(3)エ(4) 漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書いている。 【注】 積極的に行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を書こうとしている。	
12	5			5	書くこと 随筆を書こう～叙述の仕方を確かめて文章を整える～	(知識及び技能)(1)イ 学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読むことができる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 〔知識及び技能〕(1)ウ 事象や行為、心情を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 〔思考力・判断力・表現力等〕B(1)エ 読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	感じたことや考えたことを随筆として書く活動 B(2)ウ	随筆を書く 言葉の小窓2 日本語の文字 言葉(解説)2 日本語の文字	○随筆の題材となる体験を集める。 ○書きたいことを「時間」「場所」「事実」「意見、感想」などに区別して、ワークシートにまとめる。 ・書く目的や意図に応じて集めた材料を取捨選択したり、関連を考えて分類したり、時間的な推移や因果関係などに基づいて整理したりすること ○構成を考えて、600字程度の文章にまとめる。 ・書こうとする事柄のまとまりや順序を明確にした上で、段落の役割を考えて文章の構成を考えること ○作品を読み返し、推敲する。 ・文や段落の長さ及び文や段落の接続の関係などが適切であるか ・文字や表記が正しいか、漢字と仮名の使い分けが適切か、語句の選び方や使い方が的確であるか ・漢字、片仮名、平仮名の成立、ローマ字の適切な活用 ○グループで共有する。	【知・技】(1)イ 学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。 【知・技】(1)ウ 事象や行為、心情を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思・判・表】B(1)エ 「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えている。 【注】 粘り強く叙述の仕方などを確かめ、学習の見直しをもって随筆を書こうとしている。	
12	3		3		知識・技能 書きぞめ展に向けて練習しよう～毛筆～	(知識及び技能)(3)エ(4) 漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書くことができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。		書きぞめを書く	○手本に習い視写する。 ・書こうとする文字の字形を整えること ○字形を整え、文字の大きさ、配列、配置を意識して練習する。 ・紙面全体に対してそれぞれの文字の大きさや書くべき位置を考えて調和的に割り当てること ・文字と文字との間の開け方や行の中心の取り方に注意すること	【知・技】(3)エ(4) 漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書いている。 【注】 積極的に行書の特徴などに注意して書こうとしている。	
12	6		3	3	話すこと・聞くこと 読むこと 質問しながら話し合おう～共通点や相違点を踏まえて考えをまとめる～	(知識及び技能)(2)イ 比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使うことができる。 〔思考力・判断力・表現力等〕A(1)エ 必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点を踏まえて、自分の考えをまとめることができる。 〔思考力・判断力・表現力等〕C(1)オ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かめるものに行うことができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	互いの考えを伝えるなどして、少人数で話し合う活動 A(2)イ 学校図書館などを利用し、多様な情報を得て、考えたことを報告したり資料にまとめる活動 C(2)ウ	子どもの権利 調べた内容を聞く	○『子どもの権利』を通読し、大体的内容を捉える。 ○筆者の主張の視点を整理し、本文の展開を確認し、筆者の説明の仕方の特徴を理解する。 ・筆者の説明の特徴について理解すること ○筆者の主張を踏まえたうえで、知識を学ぶことや教育を受ける権利について本やインターネットから調べたことを基に考える。 ・本や文章などから必要な情報を集めるための方法を身に付けること ○グループごとに「調べたこと」と「考えたこと」を整理して課題を確認し、解決方法と結果を予想する。 ○グループ内で報告し合い、グループの考えをまとめる。 ・話し合いの仕方 ○他のグループの報告を聞き、記録したり質問したりして共通点や相違点を見つける。 ・共通点や相違点の整理の仕方 ・他のグループの報告に対して的確に記録したり質問したりすること ○グループの考えをまとめ、考えがどのように変わったかを考える。 ・考えの変化を捉えること	【知・技】(2)イ 比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。 【思・判・表】A(1)エ 「話すこと・聞くこと」において、必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめている。 【思・判・表】C(1)オ 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かめるものに行っている。 【注】 積極的に共通点や相違点を踏まえて考えをまとめ、学習の見直しをもって報告を聞いて話し合おうとしている。	小6『地域の防災について話し合おう』 中2『観点を明確にして伝える』 『ガイアの知性』 学校図書館の活用

月	指導時間数				単元名	単元の目標	単元で扱う 言語活動の例	単元で扱う 教材名	○主な学習活動・学習内容	単元の評価規準	円滑な接続のための留意事項
12	1			1	書くこと  「2学期の国語学習を振り返ろう」	(知識及び技能) (1)エ 単語の類別について理解するとともに、指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めることができる。 (思考力・判断力・表現力等) B (1)ウ 根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。 (学びに向かう力、人間性等) 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	2学期の各単元の振り返りとして、伝えるべきことを整理して書く活動 B(2)イ		○2学期の各単元の学習を振り返り、自己評価を基に文章にする。 ・文章の中の自分の考えや気持ちについての根拠が明確に書かれているかどうかを常に吟味すること ・読み手に対して、どの部分が根拠であるかが明確になるような表現上の工夫をすること ・順接、逆接、並立、累加、対比、選択、転換などの接続詞の働き	【知・技】 (1)エ 単語の類別について理解するとともに、指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。 【思・判・表】 B (1)ウ 「書くこと」において、根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 【注】 積極的に自分の考えが伝わる文章になるように工夫し、今までの学習を生かして文章を書こうとしている。	

月	指導時間数	単元名	単元の目標	単元で扱う言語活動の例	単元で扱う教材名	○主な学習活動・学習内容	単元の評価規準	円滑な接続のための留意事項
1	4	読むこと  文章に対する確かな考えを持つ ～問いと答え、事実と意見の関係に注意して読む～	〔知識及び技能〕(1)イ 学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読むことができる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 〔知識及び技能〕(2)ア 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。 〔思考力・判断力・表現力等〕C(1)ア 文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握することができる。 〔思考力・判断力・表現力等〕C(1)オ 文章を読んで理解したことに基いて、自分の考えを確かなものにする。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	説明的な文章を読み、理解したことや考えたことを文章にまとめる活動 C(2)ア	言葉がつながる世界遺産  地域から世界へ～ものづくりで未来を変えよう～  漢字の広場3 漢字の音と訓	○『言葉がつながる世界遺産』を読み、内容の大体を捉える。 ・漢字の音と訓に留意する ○問いと答え、事実と意見の関係を探え、筆者の意見を理解し、自分の考えをもつ。 ・問いと答え、事実と意見の関係の理解 ○「伝統的な技術の継承や発展」について、『言葉がつながる世界遺産』と『地域から世界へ』を読んだことから考える。 ○考えたことについてグループで話し合う。	【知・技】(1)イ 学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。 【知・技】(2)ア 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 【思・判・表】C(1)ア 「読むこと」において、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。 【思・判・表】C(1)オ 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基いて、自分の考えを確かなものにしていく。 【主】 進んで文章を読んで理解したことに基いて、自分の考えを確かなものにし、課題に沿って考えたことを文章にまとめようとしている。	小6『あなたはどう感じる？』『ぼくの世界、君の世界』  中2『学ぶ力』



月	指導時間数					単元名	単元の目標	単元で扱う言語活動の例	単元で扱う教材名	○主な学習活動・学習内容	単元の評価規準	円滑な接続のための留意事項
2	3	3				知識・技能 自立語と付属語、活用の有無など分類の基準について理解しよう	〔知識及び技能〕(1)エ 単語の類別について理解するとともに、指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めることができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。		文法の小窓3 単語のいろいろ 文法(解説)3 単語のいろいろ	○「自立語」と「付属語」がそれぞれ、「活用のある単語」と「活用のない単語」に分かれることを理解する。 ・単語がその性質から自立語と付属語とに大別されること ○活用のない単語について、実際の文章の中で分析し理解する。 ・単語が品詞に分類されること ○活用のある単語について、実際に文を分けて理解し、最後に分類表を確認する。 ・単語のもつ文法的な役割や品詞と文の成分の関係	【知・技】(1)エ 単語の類別について理解するとともに、指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。 【主】 進んで単語の類別について理解を深め、今までの学習を生かして言葉に分けて考えることの大切さを理解しようとしている。	
2	5		5			話すこと・聞くこと 発言を結び付けて話し合おう ～互いの発言を結び付けて考えをまとめよう～	〔知識及び技能〕(2)ア 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。 〔思考力・判断力・表現力等〕A(1)ア 目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討することができる。 〔思考力・判断力・表現力等〕A(1)オ 話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめようとする。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	互いの考えを伝えるなどして、少人数で話し合う活動 A(2)イ	発言を結び付けて話し合う	○グループで意味を定義する言葉を決め、文例を探したり作ったりする。 ・例文の作り方 ○似た意味の文例同士をグループでまとめ、意味を結び付けて整理し、見出しとしてまとめる。 ・目的を意識した話し合いの仕方 ・総括の仕方 ○それぞれの見出しをさらに一つに整理し、グループの言葉の定義とする。 ・意見の整理の仕方 ○言葉の定義が、これまで話し合った内容と合致したものとなっているかをグループで確認する。	【知・技】(2)ア 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 【思・判・表】A(1)ア 「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 【思・判・表】A(1)オ 「話すこと・聞くこと」において、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめている。 【主】 進んで互いの発言を結び付けて考えをまとめ、学習の見直しをもってそれぞれの立場から考えを伝えようとしている。	小6『「うれしさ」って何？—哲学対話をしよう』 中2『相違点を明確にして聞く』
2	3			3		読むこと 漫画の表現の特徴について考えよう ～場面と描写を結び付けて内容を解釈する～	〔知識及び技能〕(2)イ 比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使うことができる。 〔思考力・判断力・表現力等〕C(1)ウ 目的に応じて必要な情報に着目して要約したり、場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして、内容を解釈することができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	漫画を読み、考えたことなどを記録する活動 C(2)イ	漫画で「物語」を表現する	○実際の漫画を基に、漫画の表現方法の工夫について理解する。 ・漫画には様々な表現の工夫がされていること ○漫画のコマの並び方の効果を確かめる。 ○漫画の絵柄や言葉と比較し、作品の解釈や読み手への意識と漫画の絵柄や言葉との関係について考える。 ・作品の解釈の仕方	【知・技】(2)イ 比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。 【思・判・表】C(1)ウ 「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約したり、場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして、内容を解釈している。 【主】 進んで必要な情報に着目して内容を解釈するとともに、学習課題にそって集めた情報を活用しようとしている。	
2	2		2			知識・技能 行書で書こう ～硬筆～	〔知識及び技能〕(3)エ(4) 漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を書き書くことができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。		行書で書いてみよう	○楷書と行書の違い、行書の点画の特徴などをワークシートにまとめる。 ・行書では、直線的な点画で構成されている漢字の、点や画の形が丸みを帯びる場合があること ・行書では、点や画の方向及び止めや払いの形が変わる場合があること ・行書では、点や画が連続したり省略されたりする場合があること ・行書では、筆順が変わる場合があること ○点画の形の変化と筆脈の連続に注意して練習する。	【知・技】(3)エ(4) 漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を書き書いている。 【主】 積極的に行書の特徴などに注意して書こうとしている。	

月	指導時間数						単元名	単元の目標	単元で扱う言語活動の例	単元で扱う教材名	○主な学習活動・学習内容	単元の評価規準	円滑な接続のための留意事項
3	5					5	読むこと  登場人物の思いを考えよう～登場人物の心情の変化を描写から捉える～	(知識及び技能) (1)ウ 事象や行為、心情を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 〔思考力・判断力・表現力等〕 C(1)イ 場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えることができる。 〔思考力・判断力・表現力等〕 C(1)オ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすることができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	小説を読み、考えたことなどを記録したり伝え合ったりする活動 C(2)イ	少年の日の思い出	○『少年の日の思い出』を読み、展開と人物像を捉え、気付いたことや知りたくなったことをまとめる。 ・語り手の言葉、登場人物の言動、情景の描き方など様々な形で表れている、書き手のものの見方や考え方について、自分の考えをもつこと ○「ぼく」と「エーミール」の嫌に対する考え方の違いを捉えてノートにまとめる。 ○気付いたことや知りたくなったことを基に、登場人物の気持ち等について考える。 ○グループごとに、考えを交流する。 ・疑問をもつこと、批判することなどを通して、新たなものの見方や考え方を発見したり、様々な視点から物事について考えられるようになったりするなど、読み手としてのものの見方や考え方を広げること ○グループからの報告を受けて気付いた、新たな見方や考え方について文章にまとめる。 ・事象や行為、心情を表す語句の理解	【知・技】(1)ウ 事象や行為、心情を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思・判・表】C(1)イ 「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。 【思・判・表】C(1)オ 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしている。 【注】 粘り強く登場人物の心情の変化などについて捉えたとともに、学習の見直しをもって小説を読んで考えたことを記録しようとしている。	小6『川とノリオ』  中2『走れメロス』 (道徳科 A 自主、自律、自由と責任)
3	1					1	書くこと  「3学期の国語学習を振り返ろう」	(知識及び技能) (1)エ 単語の類別について理解するとともに、指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めることができる。 〔思考力・判断力・表現力等〕 B(1)ウ 根拠を明確にししながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	3学期の各単元の振り返りとして、伝えるべきことを整理して書く活動 B(2)イ		○3学期及び第1学年の各単元の学習を振り返り、自己評価を基に文章にする。 ・自己評価の方法 ・読み手に対して、どの部分が根拠であるかが明確になるような表現上の工夫をすること ・指示語の働き	【知・技】(1)エ 単語の類別について理解するとともに、指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。 【思・判・表】B(1)ウ 「書くこと」において、根拠を明確にししながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 【注】 積極的に自分の考えが伝わる文章になるように工夫し、今までの学習を生かして文章を書こうとしている。	
計	140	20	20	18	33	49							

【年間授業時数 内訳】

〔知識・技能〕 40時間  
 (書写) (20)  
 〔思考力、判断力、表現力等〕  
 話すこと・聞くこと 18時間  
 書くこと 33時間  
 読むこと 49時間

国語合計 140時間

140時間

1 中学校第2学年の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (知識及び技能) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
- (思考力、判断力、表現力等) 論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広めたり深めたりすることができるようにする。
- (学びに向かう力、人間性等) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

2 中学校第2学年の評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広めたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを広めたり深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、読書を生活に役立て、言葉を適切に使おうとしている。

3 単元の指導と評価の計画

月	指導時間数					単元名	単元の目標	単元で扱う言語活動の例	単元で扱う教材名	○主な学習活動・学習内容	単元の評価規準	円滑な接続のための留意事項
	単元	知識・技能	(書き)	話すこと・聞くこと	書くこと							
4	1			1		※取り上げる言語活動と資質・能力を併せて表記している。 ※学習指導要領に示されている「内容」の指導事項から、単元の目標として適切な「事項」を選択して転記する。	※学習指導要領上の言語活動例を基にして具体的な言語活動について記述する	※この単元で用いる具体的な教材名を示す。	○「言葉の地図」を読み、第2学年の国語学習の目標、進め方について確認する。 ・第2学年国語学習の目標、学習の進め方 ・ファイルやノートの使い方 ○1年生の国語の学習を振り返り、2年生の国語で努力したいことをテーマに自己紹介文を書き、書き上がった自己紹介文をグループで読み合う。 ○事実や事柄、意見や心情が相手に効果的に伝わるようにするために、分かりやすい説明や具体例を加えて書く。 ○事実や事柄、意見や心情が相手に効果的に伝わるようにするために、表現しようとする内容にもっともふさわしい語句を選んで描写を工夫したりする。 ○相手や目的に応じて、話や文章の形態や展開に違いがあることを理解し、整理する。	【知・技】(1)エ 抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 【思・判・表】B(1)ア 目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	※指導と評価が一致するように、目標の文末表現を「～している。」にして単元の評価規準とする。	※本単元と他学年等の関連を示す。
4	2			2		(知識及び技能)(1)エ 抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】C(1)イ 登場人物の言動の意味などについて考え、内容を解釈することができる。 【思考力、判断力、表現力等】C(1)オ 文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	詩歌を読み、引用して解説したり、考えたことを伝え合う活動 C(2)イ	虹の足 豚	○「虹の足」「豚」を読み、言葉の意味や表現の効果について捉える。 ○比喻などの表現方法について確認する。 ○詩を読んだ感想や表現方法等について考えたことを交流する。 ○朗読の工夫点をワークシートに記入する。 ・心情を表す語句と作品の内容等との関わり ・朗読の工夫の理解 ○二人一組で朗読し合い、朗読の工夫点とその理由について話し合う。	【知・技】(1)エ 抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思・判・表】C(1)イ 「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考え、内容を解釈している。 【思・判・表】C(1)オ 「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。 【主】 積極的に理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりし、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。	中1『河童と蛙』 中3『初恋』	

月	指導時間数				単元名	単元の目標	単元で扱う言語活動の例	単元で扱う教材名	○主な学習活動・学習内容	単元の評価規準	円滑な接続のための留意事項
4	2		2		話しこと・聞くこと 質問して正解に近づこう～伝え合う内容を検討する～	(知識及び技能) (1)イ 話し言葉と書き言葉の特徴について理解することができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕 A(1)ア 目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討することができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	説明や提案など伝えたいことを話したり、それらを聞いて質問する活動 A(2)ア	質問する力をつける	○三名程度のグループをつくり、自分の好きなもの一つ、紙に書いて封筒に入れる。 ○順番に質問し、質問された人は「はい」か「いいえ」のいずれかで答える。 ○どんな質問をすれば正解に近づけるかを話し合う。 ・伝え合う内容の検討	【知・技】 (1)イ 話し言葉と書き言葉の特徴について理解している。 【思・判・表】 A(1)ア 「話しこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 【主】 進んで異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討し、今までの学習を生かしてよりよい質問をしようとしている。	
4	3		3		知識・技能 行書で書こう～硬筆～	(知識及び技能) (3)ウ(7) 漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく書くことができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。		行書で書こう	○行書と楷書の違いを理解し、行書の点画の特徴などを確認する。 ○行書の点画の省略と筆順の変化の中から自己の課題を決め、練習する。 ・漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方の理解	【知・技】 (3)ウ(7) 漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書いている。 【主】 積極的に字形、文字の大きさなどを理解して文字を書こうとしている。	
5	5		5		読むこと 小説を読んで座談会をしよう～登場人物の言動の意味について考え内容を捉える～	(知識及び技能) (1)エ 抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕 C(1)ア 登場人物の設定の仕方などを捉えることができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕 C(1)イ 目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈することができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	小説を読み、引用して解説したり、考えたことを伝え合ったりする活動 C(2)イ	タオル	○『タオル』を通読し、特徴のある表現を抜き出す。 ○文学的な文章において、情景や人物の描写が文章全体の雰囲気をつくりあげる効果について考える。 ○描かれた登場人物の描写と少年の心情の変化についてまとめる。 ○文学的な文章において、登場人物の言葉や行動が、話の展開や作品全体に表れたもの見方などにどのようにかわっているかを考える。 ○内容の解釈 ○同じ作家の書いた作品を読み、感想を交流する。 ○文章に示されている作者のものの見方や考え方を自分の考えと対比し置き換えたりする。	【知・技】 (1)エ 抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思・判・表】 C(1)ア 「読むこと」において、登場人物の設定の仕方などを捉えようとしている。 【思・判・表】 C(1)イ 「読むこと」において目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈している。 【主】 進んで登場人物の言動の意味などについて考え、内容を解釈し、今までの学習を生かして感想を交流して考えを深めようとしている。	中1『桜餅』 中3『私』 学校図書館の活用
5	2	2			知識・技能 活用のない自立語について学ぼう	(知識及び技能) (1)オ 単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解するとともに、話や文章の構成や展開について理解を深めることができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。		文法の小窓1 文法(解説)活用 のない自立語	○名詞の種類と用法についての理解を深める。 ・単語の活用 ・名詞の種類と用法 ○連体詞、副詞、接続詞、感動詞の種類や用法について、理解を深める。 ・連体詞、副詞、接続詞、感動詞の種類や用法	【知・技】 (1)オ 単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解しているとともに、話や文章の構成や展開について理解を深めている。 【主】 積極的に多くの文例を基に、活用のない自立語の種類や用法について理解を深めようとしている。	
5	4		4		知識・技能 硬筆展覧会に向けて練習しよう～硬筆～	(知識及び技能) (3)ウ(4) 目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書くことができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。		学習活動や日常生活に生かして書く	○手本の文章を読み、横書きの楷書で書かれた文章の特徴をつかむ。 ○手本を見ながら丁寧に視写する。 ・社会生活における文字を書く目的や必要に応じて、その書体や筆記具を選択しつつ効果的な文字の書き方を工夫すること	【知・技】 (3)ウ(4) 目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書いている。 【主】 進んで字形や、文字の大きさなどを理解して文字を書こうとしている。	

月	指導時間数	単元名	単元の目標	単元で扱う言語活動の例	単元で扱う教材名	○主な学習活動・学習内容	単元の評価規準	円滑な接続のための留意事項
6	5	書くこと  新聞の投書を書く ～社会生活に目を向けて課題を設定する～	〔知識及び技能〕(1)ア 言葉には、相手の行動を促すはたらきがあることに気付くことができる。 〔知識及び技能〕(1)ウ 第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕B(1)ア 書くことにおいて目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕B(1)イ 伝えたいことが分かりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫することができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	新聞の投書として、伝えたいことを相手や媒体を考慮して書く活動 B(2)イ	新聞の投書を書く  漢字の広場1 ましがえやすい漢字	○様々なメディアを通して得た情報について「誰に」「何を」提言するかをはっきりさせて、新聞の投書に関する自分の課題を設定し、課題についての材料を集める。 ○取りあげる問題や課題に対する賛否や解決方法などについて、自分の考えを明確にし、その立場を表明する部分を文章のどこに置くかを決める。 ・構成の検討 ○意見を述べた文章において、自分の立場を支える根拠として伝えたい事実や事柄を明確にして書く。 ・読み手の意図や目的を意識して、伝えたい事柄等にふさわしい語句や文の使い方になっているか、段落の設け方、段落相互の関係は適切か、全体と部分の関係はどのようになっているかなどについて検討すること ・ましがえやすい漢字に留意すること ○書き終えたら作品を読み返し、表現の効果や投書に対する自分の意見の書き方について推敲する。 ○書いた文章を読み合い題材の選び方等について感想を交流する。	〔知・技〕(1)ア 言葉には、相手の行動を促すはたらきがあることに気付いている。 〔知・技〕(1)ウ 第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。 【思・判・表】B(1)ア 書くことにおいて目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。 【思・判・表】B(1)イ 伝えたいことが分かりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。 【主】 進んで社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、学習の見直しをもって文章を書くとしている。	中1『資料から得た根拠をもとに意見を書く』 中3『具体例をもとに説明文を書く』 学校図書館の活用 (社会科公民的分野) 新聞を活用した教育活動との関連
6	6	読むこと  説明文を読み比べる ～情報と情報との関係について理解する～	〔知識及び技能〕(2)ア 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕C(1)エ 「読むこと」において観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えることができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕C(1)オ 文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	説明的な文章を読み、理解したことや考えたことを説明したり文章にまとめたりする活動 C(2)ア	日本の花火の楽しみ 水の山 富士山	○『日本の花火の楽しみ』、『水の山 富士山』二つの文章の範疇を聞き、考えを書く。 ○『日本の花火の楽しみ』、『水の山 富士山』の説明の仕方に注目しながら内容を捉える。 ○『日本の花火の楽しみ』、『水の山 富士山』の説明の仕方について読み比べる。 ・情報と情報との関係の理解 ○文章を読み比べたことについて自分の意見をもち、その根拠を具体的に説明する。 ○同じ比較の観点を選んだ者同士の小グループで、互いの考えを伝え合い、各グループの代表生徒の発表を聞く。 ○筆者が自分の考えに対する読み手の理解をどのように促しているか「筆者の意図」を考え、文章にまとめる。	〔知・技〕(2)ア 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 【思・判・表】C(1)エ 「読むこと」において観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。 【思・判・表】C(1)オ 「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。 【主】 粘り強く情報と情報との関係について理解し、学習課題に沿って考えたことを説明しようとしている。	中1『自分の脳を知っていますか』 中3『AIは哲学できるか』
6	5	話すこと・聞くこと  説得力のある提案をしよう ～根拠の適切さに注意して話の構成を工夫する～	〔知識及び技能〕(2)ア 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕A(1)イ 自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫することができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	提案として伝えたいことを話したり、それらを聞いて質問や助言などをしたりする活動 A(2)ア	説得力のある提案をする	○社会生活における問題の中から、課題意識をもって取り組みたいことを考え、提案内容を定める。 ○防災マップなど実際のリーフレットを集める。 ・話したり話し合ったりするための材料を、本、新聞・雑誌、テレビや情報通信ネットワークなどメディアの様々な情報手段を活用した取材を通して集めること ・話したり話し合ったりするための材料を整理し、自分の考えや意見を明確にすること ○効果的に伝えるための文章構成を決め、スピーチ原稿を作成する。 ○グループ内で交代して発表を行う。 ・効果的に伝えるために、主張と根拠を伝える構成を考えること ・話の要点を明らかにし聞き手に分かりやすくするため、資料やICT機器などを効果的に活用すること ・グラフや表、写真や図などを取り入れた分かりやすい資料を作ること ○説得力のある説明をしているか、自分の考えと比較しながら聞き、必要に応じて質問をする。 ○グループ内で説得力のある話し方であったかを評価する。 ・相手や目的に応じて、話や文章の形態や展開の違いがあることを理解し、整理すること	〔知・技〕(2)ア 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 【思・判・表】A(1)イ 「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫している。 【主】 進んで根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫し、学習課題に沿って助言しようとしている。	中1『内容を整理して説明する』 中3『構成を考えて主張をまとめる』 学校図書館の活用 (社会科公民的分野)

月	指導時間数				単元名	単元の目標	単元で扱う 言語活動の例	単元で扱う 教材名	○主な学習活動・学習内容	単元の評価規準	円滑な接続のための 留意事項
7	5			5	書くこと お礼状を書こう ～文章の構成 を工夫する～	(知識及び技能) (1)カ 敬語のはたらきについて理解し、話や文章の中で使うことができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕 B(1)イ 伝えたいことが分かりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫することができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたい、思いや考えを伝え合おうとする。	社会生活に必要な手紙や電子メールを書くなど、伝えたいことを相手や媒体を考慮して書く活動 B(2)イ	構成を明確にして手紙を書く 言葉と社会1 社会で求められる表現 言葉の小窓1 言葉(解説) 敬語	○手紙の用件を決め、形式を確認する。 ・お礼状の形式を参考に構成を考えること ○一般的な「手紙の形式」を踏まえて、手紙の構成を考える。 ○形式や言葉遣いに気をつけて下書きをし、推敲する。 ・意図や目的を意識して、伝えたい事柄等にふさわしい語句や文の使い方になっているかなどについて検討すること ○下書きを友達と読み合い、指摘し合ったあとで清書する。 ○封筒、はがきの書き方、電子メールの書き方を知る。	【知・技】 (1)カ 敬語のはたらきについて理解し、話や文章の中で使っている。 【思・判・表】 B(1)イ 「書くこと」において、伝えたいことが分かりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。 【主】 積極的に段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫し、今までの学習を生かしてして相手や媒体を考慮して書いている。	中1『材料を整理して案内文を書く』 中3『説得力のある批評文を書く』 (道徳科 B 思いやり、感謝) 「未来くるワーク」との関連
7	3		3		知識・技能 行書で書こう ～毛筆～	(知識及び技能) (3)ウ(7) 漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく書くことができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたい、思いや考えを伝え合おうとする。		行書で書こう	○行書と楷書の違いを理解し、行書の点画の特徴などを確認する。 ○行書の点画の省略と筆順の変化の中から自己の課題を決め、練習する。 ・行書の特徴を踏まえ、行書の文字に書き慣れ、読みやすく書くこと	【知・技】 (3)ウ(7) 漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく書く書いている。 【主】 進んで字形や、文字の大きさなどを理解して学習の見通しをもって文字を書こうとしている。	
7	3	2		1	知識・技能 書くこと レポートにまとめよう ～読書で自分の 考えを広げ たり深めたり する～	(知識及び技能) (3)エ 本や文章などには、様々な立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かすことができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕 B(1)ア 目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたい、思いや考えを伝え合おうとする。	多様な考えができた事柄について意見を述べること、自分の考えを書く活動 B(2)ア	夢を跳ぶ	○『夢を跳ぶ』を読み、おおよその内容をつかみ、関連して知りたいことを考える。 ○学校図書館で「スポーツ」「福祉」のジャンルなどの本を読む。 ○集めた情報や資料を整理し、レポートにまとめる。 ・物事の善し悪しや価値等に関する書き手の考え方について、自分の知識や体験と関連付けながら考えをもつこと ・抽象的な概念を表す語句が表す具体的な中身を考え、語感を磨くこと ○レポートを交流し、「話題に関する疑問」と「もっと知りたいと思った点」を交流する。	【知・技】 (3)エ 本や文章などには、様々な立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。 【思・判・表】 B(1)ア 「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。 【主】 粘り強く多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にし、学習の見通しをもって自分の考えを書こうとしている。	学校図書館の活用 (保健体育科) (社会科公民的分野)
7	3		3		話すこと・ 聞くこと 資料を効果的に 使って伝えよう ～自分の考え が伝わるように 表現を工夫 する～	(知識及び技能) (1)イ 話し言葉と書き言葉の特徴について理解することができる。 (知識及び技能) (2)イ 情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使うことができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕 A(1)ウ 資料や機器を用いるなどして、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたい、思いや考えを伝え合おうとする。	提案など伝えたいことを話したり、それらを聞いて質問や助言などしたりする活動 A(2)ア	観点を明確にして伝える 言葉の小窓2 言葉(解説) 2 話し言葉と書き言葉	○身近にどのような問題が存在するかを考え、グループで意見を出し合い観点をしぼる。 ○問題解決に向けて図書館資料やICT機器を活用して情報を集めて自分の考えを整理し、構成を吟味する。 ・表現の工夫 ○図やグラフを用いて考えを発表し合い、発表の仕方について振り返りを行う。 ・話し言葉と書き言葉の特徴の理解	【知・技】 (1)イ 話し言葉と書き言葉の特徴について理解している。 【知・技】 (2)イ 情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使っている。 【思・判・表】 A(1)ウ 「話すこと・聞くこと」において、資料や機器を用いるなどして、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫している。 【主】 積極的に資料や機器を用いるなどして、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫し、学習の見通しをもって伝えたいことを話そうとしている。	中1『調べた内容を聞く』 中3『表現の工夫を評価してスピーチする』 学校図書館の活用

月	指導時間数	単元名	単元の目標	単元で扱う言語活動の例	単元で扱う教材名	○主な学習活動・学習内容	単元の評価規準	円滑な接続のための留意事項
7	1	書くこと 「1学期の国語学習を振り返ろう」	〔知識及び技能〕(1)オ 単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解するとともに、話や文章の構成や展開について理解を深めることができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕B(1)ウ 根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えるなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	1学期の各単元の振り返りとして、自分の考えを書く活動。 B(2)ア		○1学期の各単元を振り返り、自己評価をしたことを基に、文章にする。 ・自己評価の方法 ・事実や事柄、意見や心情が相手に効果的に伝わるようにするために、分かりやすい説明や具体例を加えて書くこと ・事実や事柄、意見や心情が相手に効果的に伝わるようにするために、表現しようとする内容にもっともふさわしい語句を選んで描写を工夫したりすること ・相手や目的に応じて、話や文章の形態や展開に違いがあることを理解し、整理すること	【知・技】(1)オ 単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解しているとともに、話や文章の構成や展開について理解を深めている。 【思・判・表】B(1)ウ 「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えるなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 【主】 積極的に自分の考えが伝わる文章になるように工夫し、今までの学習を生かして文章を書くようとしている。	
8	3	読むこと 小説から脚本を作ろう ～関係を踏まえて内容を解釈する～	〔知識及び技能〕(1)ウ 第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 〔知識及び技能〕(2)イ 情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使うことができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕C(1)イ 目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈することができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕C(1)ウ 文章と図表などを結びつけ、その関係を踏まえて内容を解釈することができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	小説と脚本を読み、引用して解説したり、考えたことを伝え合ったりする活動 C(2)イ	SNSから自由になるために 脚本で動きを説明する 漢字の広場2 漢字の成り立ち	○『SNSから自由になるために』を透読してSNSの性質を知り、筆者の主張を捉えたあと、インターネットでの表現の在り方について考える。 ○『小説と脚本の違い』を知り、小説の一節を脚本に書き換える。 ・小説と脚本を構成する情報を整理し、それぞれの効果を考えること ・成り立ちに留意して漢字を活用すること	【知・技】(1)ウ 第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。 【知・技】(2)イ 情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使っている。 【思・判・表】C(1)イ 「読むこと」において、目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈している。 【思・判・表】C(1)ウ 「読むこと」において、文章と図表などを結びつけ、その関係を踏まえて内容を解釈している。 【主】 進んで文章と図表などを結びつけ、その関係を踏まえて内容を解釈し、学習課題に沿って解説しようとしている。	中1『写真で「事実」を表現する』 中3『新聞が伝える情報を考える』
9	5	書くこと 自分の考えを書こう ～自分の考えが伝わる文章になるよう工夫する～	〔知識及び技能〕(2)イ 情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使うことができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕B(1)ウ 根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えるなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	多様な考えができる事柄について意見を述べなど、自分の考えを書く活動。 B(2)ア	持続可能な未来を創るために 一不平等のない社会を創る一 「ここにいる」 言う意味	○SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) について知る。 ○身のまわりにある「バリア」について考える。 ○新聞投書から言葉について考え、グループで話し合う。 ・新聞投書の意見について、自分の考えを発表すること ○「なぜ人は助けるのか」ということについて考え、具体例を加えるなど、自分の考えが伝わるように工夫して文章を書く。 ・文章の工夫の仕方	【知・技】(2)イ 情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使っている。 【思・判・表】B(1)ウ 「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えるなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 【主】 進んで具体例を加えるなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫し、学習課題に沿って自分の考えを書こうとしている。	学校図書館の活用 (社会科学的分野) (技術科)
9	5	読むこと 事例の役割を考えよう ～主張と例示との関係を捉える～	〔知識及び技能〕(2)ア 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕C(1)ア 文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係を捉えることができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	文章を読み、理解したことや考えたことを説明したり文章にまとめたりする活動 C(2)ア	紙の建築	○『紙の建築』を読み、文章全体の構成を理解する。 ○筆者の挙げた事例と主張の前提となる考えを関連づけて読み、筆者が挙げた事例の役割について考える。 ・事例の役割や効果を確認しながら読むこと ・事例と主張を関連付けて読むこと ○社会との関わりについて自分の考えを文章にまとめる。 ○文章にまとめたことを基に話し合い、広い視野をもったり自分の考えを深めたりする。	【知・技】(2)ア 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 【思・判・表】C(1)ア 「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係を捉えている。 【主】 粘り強く主張と例示との関係を捉え、学習課題に沿って考えたことを文章にまとめようとしている。	中1『森には魔法つかいがある』 中3『async—同期しないこと』『問いかける言葉』

月	指導時間数					単元名	単元の目標	単元で扱う 言語活動の例	単元で扱う 教材名	○主な学習活動・学習内容	単元の評価規準	円滑な接続のための 留意事項
9	5				5	書くこと  意見文を書こう ～根拠の適切さを考えて自分の考えを伝える～	(知識及び技能) (2)ア 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕 B(1)ウ 根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えるなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	多様な考えが可能な事例について意見を述べるなど、自分の考えを書く活動 B(2)ア	根拠を基に意見文を書く	OSDGsに関連する課題をICT機器を活用して1つ紹介し、学習の見直しをもたせ、自分の考えや主張を形成する流れを確認する。 ○多様な考えが可能な事例について題材を探し、集めた材料を整理する。 ○具体例を示しながら、段落相互の関係や根拠を明確にして自分の考えが伝わる文章にする。 ・根拠の適切さを考えた文章の書き方 ○表現の効果などを考えて、文章を整える。 ○読み手からの助言を踏まえ、自分の書いた文章のよい点や改善点を振り返る。	【知・技】 (2)ア 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 【思・判・表】 B(1)ウ 「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えるなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 【主】 進んで自分の考えが伝わる文章になるように工夫し、学習課題に沿って自分の考えを書こうとしている。	中1『根拠を明確にして意見文を書く』 中3『自己PR文を書く』
9	2	2				活用のある自立語について理解しよう	(知識及び技能) (1)オ 単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解するとともに、話や文章の構成や展開について理解を深めることができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	文法の小窓2 文法(解説) 2活用のある自立語	○動詞の種類や活用について理解する。 ・活用の種類、音便の学習 ○形容詞・形容動詞の役割や活用について理解する。	【知・技】 (1)オ 単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解するとともに、話や文章の構成や展開について理解を深めている。 【主】 進んで多くの文例を基に、活用のある自立語の種類や用法について理解を深めている。		
10	3		3			知識・技能  日常生活に生かして書こう ～硬筆～	(知識及び技能) (3)ウ(4) 目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書くことができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	学習活動や日常生活に生かして書こう	○合唱コンクールの案内状を書くために下書きをする。 ○書体や筆記用具を選び、配列に気をつけて案内状を書く。 ・楷書又は行書を選んで書くこと	【知・技】 (3)ウ(4) 目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書いている。 【主】 進んで字形や、文字の大きさなどを理解して文字を書こうとしている。		
10	4		3		1	知識・技能  読むこと  古典を朗読する ～古典の世界に親しもう～	(知識及び技能) (3)ア 歴史的仮名遣いに注意して、作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しむことができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕 C(1)ア 文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方などを捉えることができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	古典を読み、引用して解説したり、考えたことなどを伝え合ったりする活動。C(2)イ	敦盛の最期 →平家物語一	○歴史的仮名遣いに注意し朗読することを通して、古文らしい表現や人物像について課題をもつ。 ○係り結びなどの表現に注目して「敦盛の最期」をいくつかの場面に分けて、直実の気持ちの変化や敦盛の気持ちを考える。 ・情景や人物の描写が文章全体の雰囲気をつくり上げる効果について考えること ・登場人物の言葉や行動が、話の展開や作品全体に表れたものの見方などにどのように関わっているかを考えること ○登場人物や語り手などの役割を決め、朗読を通して作品の世界を味わう。 ・古典作品に描かれている情景や登場人物の心情などを想像しながら、作品の特徴を生かして朗読すること ・朗読の仕方を工夫したり他の人の朗読を聞いたりすることで、作品について新たな発見をしたり興味・関心を深めたりすること	【知・技】 (3)ア 歴史的仮名遣いに注意して、作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。 【思・判・表】 C(1)ア 「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方などを捉えている。 【主】 積極的に作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しみ、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。	(社会科歴史的分野)
10	4		2		2	知識・技能  読むこと  古典の随筆を読もう ～古典に表れたものの見方や考え方を知る～	(知識及び技能) (3)イ 現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通じて、古典に表れたものの見方や考え方をすることができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕 C(1)オ 文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	古典を読み、引用して解説したり、考えたことなどを伝え合ったりする活動。C(2)イ	随筆の味わい →枕草子・徒然草一	○歴史的仮名遣いに注意し朗読することを通して、古文らしい表現や情緒について考えをもつ。 ○掲載されている『枕草子』『徒然草』の「章段」を読んで、自分の共感できるポイントをおさえる。 ・現代と共通する、又は異なる、古典に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物や作者の思いなどを想像すること ○話の中心的部分と付加的な部分、また事実と意見とをそれぞれとらえ、話全体がどのようにまとめられているか考える。 ○『枕草子』に習い、自分なりの「ものづくし」の文章を書き、グループ内で発表する。	【知・技】 (3)イ 現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通じて、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。 【思・判・表】 C(1)オ 「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。 【主】 積極的に古典に表れたものの見方や考え方を知り、今まで学習したことを生かして自分の考え伝えようとしている。	



月	指導時間数				単元名	単元の目標	単元で扱う言語活動の例	単元で扱う教材名	○主な学習活動・学習内容	単元の評価規準	円滑な接続のための留意事項
10	3	2		1	知識・技能 読むこと 古典の解説をつくろう ～古典に表れたものの見方や考え方を知る～	(知識及び技能) (3)イ 現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方をすることができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕 C(1)イ 文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	古典を読み、引用して解説したり、考えたことなどを伝え合ったりする活動。C(2)イ	二千五百年前からのメッセージ ー孔子の言葉ー	○漢文訓読の方法を確認し、書き下し文を音読する。 ○教科書以外の『論語』の文章の中から好きな孔子の言葉の一つを選び、訓読の仕方や語句の意味、自身の経験や体験との関係などをまとめる。 ○グループ内での解説の報告を通して、孔子のものの見方や考え方に触れる。 ・古典の易しい現代語訳や古典について解説した文章を用いたり、関連する本や文章等を紹介したり、音声や映像メディアを活用したりするなどして、現代と共通する又は異なる古典に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物や作者の思いなどを想像すること	【知・技】 (3)イ 現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。 【思・判・表】 C(1)イ 「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。 【主】 進んで古典に表れたものの見方や考え方を知り、今まで学習したことを生かして自分の考えを伝えようとしている。	(社会科歴史的分野)
11	3	2		1	知識・技能 読むこと 読んで考えたことを紹介し合おう ～自分の考えを広げたり深めたりする～	(知識及び技能) (3)エ 本や文章などには、様々な立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かすことができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕 C(1)イ 登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈することができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	小説を読み、引用して解説したり、考えたことを伝え合ったりする活動 C(2)イ	坊ちゃん	○『坊ちゃん』を読み、夏目漱石について知る。 ○夏目漱石の作品や交流のあった作家について調べ、レポートにまとめる。 ○レポートをグループ内で読み合う。 ・自分の考えを広げたり深めたりすること	【知・技】 (3)エ 本や文章などには、様々な立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。 【思・判・表】 C(1)イ 「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。 【主】 進んで本や文章などには、様々な立場や考え方が書かれていることを知り、見通しをもって考えたことを伝え合おうとしている。	学校図書館の活用 (社会科歴史的分野)
11	3			3	知識・技能 読むこと 短歌を作ろう ～内容を解釈する～	(知識及び技能) (1)エ 抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕 C(1)イ 登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈することができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	詩歌などを読み、引用して解説したり、考えたことを伝え合ったりする活動 C(2)イ	短歌の味わい	○『短歌の味わい』『短歌十首』を読み、感想をもつとともに短歌の形式を理解する。 ・短歌の形式や句切れ ○好きな短歌を選び、短歌を紹介する文章を書く。 ・心情を表す語句と作品の内容などのかかわり ・文学的な文章での描写の仕方や比喩の用い方など、叙述にかかわる表現全般について評価しながら読むこと ○短歌を紹介する文章を読み合い、作者の思いや感動を支えている言葉についての感想を交流する。 ・抽象的な概念を表す語句が表す具体的な中身を考え、語感を磨くこと	【知・技】 (1)エ 抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思・判・表】 C(1)イ 「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。 【主】 積極的に内容を解釈し、これまでの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。	
11	3	3			知識・技能 行書と仮名の調和に注意して書こう ～毛筆～	(知識及び技能) (3)ウ(7) 漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく書くことができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	行書と仮名を調和させて書いてみよう	○漢字と仮名の調和に注意しながら、字形や配列を整えて詩を視写する。 ・行書の特徴を踏まえ、行書の文字に書き慣れ、読みやすく書くこと ・漢字と仮名の調和、字形と配列の確認 ○各自の課題に沿って練習する。	【知・技】 (3)ウ(7) 漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく書くことができる。 【主】 積極的に字形、文字の大きさなどを理解して文字を書くこととしている。		

月	指導時間数	単元名	単元の目標	単元で扱う言語活動の例	単元で扱う教材名	○主な学習活動・学習内容	単元の評価規準	円滑な接続のための留意事項
11	5	読むこと  放送劇の脚本をつくろう～登場人物の言動から内容を解釈する～	(知識及び技能) (1)ウ 第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 (知識及び技能) (1)エ 抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 (思考力、判断力、表現力等) C(1)ア 文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方などを捉えることができる。 (思考力、判断力、表現力等) C(1)イ 登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈することができる。 (学びに向かう力、人間性等) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	小説を読み、引用して解説したり、考えたことを伝え合ったりする活動 C(2)イ	夏の葬列  漢字の広場3 漢字の多義性	○『夏の葬列』を読み、感想をもつ。 ○図書館資料を活用し、作品の時代背景を知る。 ○場面の展開、登場人物の心情変化を捉える。 ○主人公の人称の使い分けを比較し、その効果について考える。 ○グループごとに放送劇を行う場面を選び、音声による演出プランを話し合う。 ・文学的な文章において、情景や人物の描写が文章全体の雰囲気をつくりあげる効果について考えること ・登場人物の言葉や行動が、話の展開や作品全体に表れたものの見方などにどのように関わっているかを考えること ・文学的な文章での描写の仕方や比喩の用い方など、叙述に関わる表現全般について評価しながら読むこと ・漢字の多義性の理解 ・国語辞典、漢和辞典の活用 ○各場面の脚本を学級内で発表し合い、感想を書く。 ○結末部分について考えを深め、話し合う。	【知・技】 (1)ウ 第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。 【知・技】 (1)エ 抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思・判・表】 C(1)ア 「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方などを捉えている。 【思・判・表】 C(1)イ 「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。 【主】 粘り強く登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈し、学習の見通しをもって考えたことを伝え合おうとしている。	中1『オツベルと象』 中3『故郷』 学校図書館の活用
12	2	読むこと  映像作品について説明しよう～内容を解釈する～	(知識及び技能) (2)イ 情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使うことができる。 (思考力、判断力、表現力等) C(1)ウ 文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈することができる。 (学びに向かう力、人間性等) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	本や新聞、インターネットなどから集めた情報を活用し、出典を明らかにしながら、考えたことを説明する活動 C(2)ウ	映像作品の表現を考える	○絵コンテの仕組みや特徴について知る。 ○原作の漫画と絵コンテの違いを考え、説明する。 ・内容の解釈	【知・技】 (2)イ 情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使っている。 【思・判・表】 C(1)ウ 「読むこと」において、文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈している。 【主】 積極的に文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈し、学習課題に沿って考えたことを説明しようとしている。	中1『広告の情報を考える』 中3『ニュースで情報を編集する』
12	4	知識・技能  書初め展覧会に向けて練習しよう～毛筆～	(知識及び技能) (3)ウ(7) 漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく書くことができる。 (学びに向かう力、人間性等) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。		書き初めを書く	○お手本を見ながら丁寧に視写する。 ○行書の特徴を理解し、字形を整え、文字の大きさ、配列、配置を意識して書く。 ・行書の特徴を踏まえ、行書の文字に書き慣れ、読みやすく書くこと	【知・技】 (3)ウ(7) 漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書いている。 【主】 進んで字形、文字の大きさなどを理解して文字を書くこととしている。	
12	5	読むこと  説明文の構造を考えよう～主張と例示との関係を捉える～	(知識及び技能) (2)ア 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。 (思考力、判断力、表現力等) C(1)ア 文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係を捉えることができる。 (思考力、判断力、表現力等) C(1)オ 文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 (学びに向かう力、人間性等) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	文章を読み、理解したことや考えたことを文章にまとめる活動 C(2)ア	ガイアの知性	○『ガイアの知性』を読み、大段落ごとに見出しを付ける。 ・説明的な文章において、各段落が文章全体の中で果たす役割についてとらえ、叙述の順序が書き手の考えにどのような説得力をもたらしているかなどを考えながら読むこと ○具体例と筆者の主張の関係を確認する。 ・説明的な文章において、文章中に示されている具体的な例が書き手の論の展開の中で果たしている役割を考えること ・説明的な文章での中心的な部分と付加的な部分との関係や事実と意見との関係など、叙述に関わる表現全般について評価しながら読むこと ○筆者の意図や表現の効果などについてグループで話し合う。 ○筆者の考えについて、自分の知識や体験と関連付けて文章にまとめる。 ・文章の構成や展開、表現の仕方について自分の考えを書いたり発表したりする際に、書き手の意図や効果との関連を考え、自分の考えを支える根拠となる段落や部分などを挙げる	【知・技】 (2)ア 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 【思・判・表】 C(1)ア 「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係を捉えている。 【思・判・表】 C(1)オ 「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。 【主】 粘り強く主張と例示との関係を捉えながら今までの学習を生かして考えたこと文章にまとめようとしている。	中1『子どもの権利』

月	指導時間数	単元名	単元の目標	単元で扱う言語活動の例	単元で扱う教材名	○主な学習活動・学習内容	単元の評価規準	円滑な接続のための留意事項
12	1	「2学期の国語学習を振り返ろう」	〔知識及び技能〕(1)オ 単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解するとともに、話や文章の構成や展開について理解を深めることができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕B(1)ウ 根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えるなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	2学期の各単元の振り返りとして、自分の考えを書く活動。 B(2)ア		○2学期の各単元を振り返り、自己評価をしたことを基に、文章にする。 ・事実や事柄、意見や心情が相手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えたり、描写を工夫したりして書くこと ・相手や目的に応じて、話や文章の形態や展開に違いがあることを理解し、整理すること	〔知・技〕(1)オ 単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解するとともに、話や文章の構成や展開について理解を深めている。 【思・判・表】B(1)ウ 「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えるなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 【主】 積極的に自分の考えが伝わる文章になるように工夫し、今までの学習を生かして文章を書くこととしている。	
1	5	「書くこと」 新聞記事を書く ～文章の構成や展開を工夫する～	〔知識及び技能〕(2)イ 情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使うことができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕B(1)イ 伝えたいことが分かりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫することができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	記事として、伝えたいことを相手や媒介を考慮して書く活動 B(2)イ	記事を書く	○図書館資料や新聞、ICT機器を使用したウェブサイト等を読み、記事の情報整理の仕方を知る。 ○学校行事や部活動、学校の紹介等から記事にするテーマを決め、材料を集める。 ○「新聞記事の構成」を参考にしながら実際に記事を書く。 ・文章の構成や展開の工夫 ○情報を分かりやすく伝えるために写真や図表などの配置を工夫する。 ○記事を発表し合って、分かりやすい伝え方を指摘し合い、記事を推敲する。	〔知・技〕(2)イ 情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使っている。 【思・判・表】B(1)イ 「書くこと」において、伝えたいことが分かりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。 【主】 進んで段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫し、学習課題に沿って書くこととしている。	学校図書館の活用 新聞を活用した教育活動との関連
1	3	「話すこと・聞くこと」 スピーチのテーマについて話し合おう ～考えを比較しながら聞く～	〔知識及び技能〕(2)ア 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕A(1)エ 論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	説明や提案など伝えたいことを話ししたり、それら聞いて質問や助言などをしたりする活動。 A(2)ア	相違点を明確にし、聞く	○相手の話を聞くときのポイントを知り、スピーチのテーマをグループで話し合って決める。 ・話し手の考えとの比較 ○論理の展開を意識したり、意見と根拠を整理したりしてスピーチ原稿を作成する。 ○話し手と自分の考えの比較を基に、質問するなどし、自分の考えをまとめる。	〔知・技〕(2)ア 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 【思・判・表】A(1)エ 「話すこと・聞くこと」において、論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。 【主】 積極的に話し手と自分の考えを比較したり、質問したりしながら考えをまとめようとしている。	中1『発言を結びつけて話し合う』 中3『意見を共有しながら話し合う』
1	4	「読むこと」 説明文の内容を精査しよう ～論理の展開について考える～	〔知識及び技能〕(2)ア 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕C(1)ア 文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係を捉えることができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕C(1)エ 観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えることができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	文章を読み、理解したことや考えたことを説明したり文章にまとめた活動 C(2)ア	学ぶ力	○『学ぶ力』を読み、文章の構成や展開に注意して概要を捉える。 ○全文を、提案・解説・例示の観点から整理し、「学ぶ力が伸びる」条件をまとめる。 ○筆者の「納得」「賛同」等の説得の仕方を確認し、その主張から自分の体験を思い起こしたり考えを深めたりする。 ○筆者の考えを踏まえて、小学校からの学びを振り返り自分の考えを文章にまとめる。	〔知・技〕(2)ア 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 【思・判・表】C(1)ア 「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係を捉えている。 【思・判・表】C(1)エ 「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。 【主】 進んで本文から捉えたことや考えたことを自分の知識や経験と関連づけ、考えを広げたり深めたりしようとしている。	中1『言葉がつなぐ世界遺産』

月	指導時間数				単元名	単元の目標	単元で扱う 言語活動の例	単元で扱う 教材名	○主な学習活動・学習内容	単元の評価規準	円滑な接続のための 留意事項
2	4		4		話すこと ・ 聞くこと	(知識及び技能) (2)ア 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕 A(1)オ 互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめることができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	それぞれの立場から考えを伝えるなどして、討論をする活動 A(2)イ	よりよい結論を導く討論をする 言葉と社会2 社会生活と言語コミュニケーション	○「推論する」ことについて理解する。 ○社会生活の中から話題を決めて自分の考えをもち、役割や討論の在り方を理解する。 ○テーマと役割を決めて、グループで討論を行う。 ・考えのまとめ方 ○前時の課題を踏まえ、役割を変えて、討論を行う。 ○討論を振り返り、話し合いを振り返る。	【知・技】 (2)ア 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 【思・判・表】 A(1)オ 「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。 【主】 積極的に結論を導くために考えをまとめ、今までの学習を生かして討論しようとしている。	
					知識・技能	(知識及び技能) (1)オ 単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解するとともに、話や文章の構成や展開について理解を深めることができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	文法の小窓3 文法(解説) 付属語のいろいろ	○助詞のはたらきについて理解し、4つの分類「格助詞」「接統助詞」「副助詞」「終助詞」について捉える。 ○助動詞の種類とはたらきについて「助動詞活用表」を参考にして理解する。 ・助詞や助動詞などの働き	【知・技】 (1)オ 単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解するとともに、話や文章の構成や展開について理解を深めている。 【主】 進んで多くの文例を基に、付属語の種類や用法について理解を深めようとしている。		

月	指導時間数	単元名	単元の目標	単元で扱う言語活動の例	単元で扱う教材名	○主な学習活動・学習内容	単元の評価規準	円滑な接続のための留意事項
2	6	読むこと  サイドストーリーを作ろう～登場人物の言動から内容を解釈する～	〔知識及び技能〕(1)エ 抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 〔知識及び技能〕(1)オ 単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解するとともに、話や文章の構成や展開について理解を深めることができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕C(1)イ 登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈することができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕C(1)オ 文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めることができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	小説を読み、引用して解説したり、考えたことを伝え合ったりする活動 C(2)イ	走れメロス  言葉の小窓3 類義語・対義語・多義語・同音語	○『走れメロス』を読み、時間の順序に沿って文章の構成を捉える。 ○登場人物の言動に注目し、人物像を捉え、サイドストーリーを書く。 ・文学的な文章において、情景や人物の描写が文章全体の雰囲気をつくり上げる効果について考えること ・登場人物の言葉や行動が、話の展開や作品全体に表れたもの見方などどのように関わっているかを考えること ・類義語、対義語、多義語、同音語の理解と活用 ○自分の書いたサイドストーリーをグループ内で発表し、登場人物の考え方や人物像について、意見を交流し合う。 ・文学的な文章での描写の仕方や比喩の用い方など、叙述にかかわる表現全般について評価しながら読むこと ・文章の構成や展開、表現の仕方について自分の考えを書いたり発表したりする際に、書き手の意図や効果との関連を考え、自分の考えを支える根拠となる段落や部分などを挙げること	【知・技】(1)エ 抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【知・技】(1)オ 単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解するとともに、話や文章の構成や展開について理解を深めている。 【思・判・表】C(1)イ 「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。 【思・判・表】C(1)オ 「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。 【主】 粘り強く登場人物の言動の意味などについて考えて内容を解釈し、学習の見直しをもって考えたことを伝え合おうとしている。	中1『少年の日の思い出』 中3『立ってくる春』『なぜ物語が必要なのか』
3	5	書くこと  連作ショートショートを書こう～表現の工夫や効果について考えよう～	〔知識及び技能〕(1)ウ 第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 〔知識及び技能〕(1)エ 類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕B(1)オ 表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすことができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	物語を創作し、感じたことや想像したことを書く活動 B(2)ウ	「連作ショートショート」を書く  漢字の広場4 同音の漢字	○「ショートショート」について知る。 ○不思議な言葉を作り、想像を広げる。 ○グループになり、「連作ショートショート」を分担して書く。 ・「同音異字」「同音語」についての理解 ○グループ内で物語を読み合い、文章を整える。 ○他のグループと作品を交換して読み合う。 ○感想を交流し、表現の工夫とその効果などについてよい点や改善点を伝え合う。 ・表現の工夫や効果の理解 ・よい点や改善点の把握	【知・技】(1)ウ 第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。 【知・技】(1)エ 類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思・判・表】B(1)オ 「書くこと」において、表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。 【主】 進んで読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだし、学習の見直しをもって感じたことや想像したことを書こうとしている。	

月	指導時間数					単元名	単元の目標	単元で扱う言語活動の例	単元で扱う教材名	○主な学習活動・学習内容	単元の評価規準	円滑な接続のための留意事項
3	1			1		「書くこと」 「3学期の国語学習を振り返ろう」	〔知識及び技能〕(1)オ 単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解するとともに、話や文章の構成や展開について理解を深めることができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕B(1)ウ 根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えるなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。	3学期の各単元の振り返りとして、自分の考えを書く活動。 B(2)ア		○3学期及び第2学年の各単元を振り返り、自己評価をしたことを基に、文章にする。 ・自己評価の方法 ・事実や事柄、意見や心情が相手に効果的に伝わるようにするために、分かりやすい説明や具体例を加えて書くこと ・相手や目的に応じて、話や文章の形態や展開に違いがあることを理解し、整理すること	【知・技】(1)オ 単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解するとともに、話や文章の構成や展開について理解を深めている。 【思・判・表】B(1)ウ 「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えるなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 【主】 積極的に自分の考えが伝わる文章になるように工夫し、これまでの学習を生かして文章を書こうとしている。	
計	##	17	20	17	35	51						

【年間授業時数 内訳】

国語〔知識及び技能〕

知識及び技能 37時間

(書写) (20)

国語〔思考力、判断力、表現力等〕

話すこと・聞くこと 17時間

書くこと 35時間

読むこと 51時間

国語合計 140時間



140時間

令和5年度 さいたま市立岸中学校 第3学年 国語科年間指導計画

( 105 ) 時間

1 中学校第3学年の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (知識及び技能) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
- (思考力、判断力、表現力等) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (学びに向かう力、人間性等) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

2 中学校第3学年の評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、読書を通して自己を向上させ、言葉を適切に使うとしている。

3 単元の指導と評価の計画

月	指導時間数				単元名	単元の目標	単元で扱う言語活動の例	単元で扱う教材名	○主な学習活動・学習内容	単元の評価規準	円滑な接続のための留意事項
	単元の指導時間数	知識・技能	書写	話すこと・聞くこと							
月					※取り上げる言語活動と資質・能力を併せて表記している。	※学習指導要領に示されている「内容」の指導事項から、単元の目標として適切な「事項」を選択して転記する。	※学習指導要領上の言語活動例を基にして具体的な言語活動について記述する	※この単元で用いる具体的な教材名を示す。		※指導と評価が一致するように、目標の文末表現を「～している。」にして単元の評価規準とする。	※本単元と他学年等の関連を示す。
4	1			1	書くこと 自己紹介文を書こう ～オリエンテーション～	(知識及び技能) (1)イ 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き、語彙を豊かにすることができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕 B(1)イ 文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫することができる。 (学びに向かう力、人間性等) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	関心のある事柄について批評するなど、自分の考えを書く活動 B(2)ア	言葉の地図	○第3学年国語学習の目標、進め方について確認する。2年生の国語の学習を振り返り、3年生の国語で努力したいことをテーマに自己紹介文を書き、書き上がった自己紹介文をグループで読み合う。 ・第3学年国語学習の目標、学習の進め方 ・ファイルやノートの使い方 ・初めに自分の意見を述べ、それを裏付ける事実を示し、自分の意見の正当性、妥当性を示す書き方、具体的事実から一般化し、自分の意見の正当性、妥当性へと結び付ける書き方などを基本として、論理の展開を工夫して書くこと	【知・技】(1)イ 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き、語彙を豊かにしている。 【思・判・表】A(1)イ 「書くこと」において、文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。 【主】 積極的に文章の構成を工夫し、今までの学習を生かして自分の考えを書こうとしている。	

月	指導時間数				単元名	単元の目標	単元で扱う言語活動の例	単元で扱う教材名	○主な学習活動・学習内容	単元の評価規準	円滑な接続のための留意事項
4	3				読むこと お気に入りの詩集を作ろう～表現の仕方について評価する～	〔知識及び技能〕(1)イ 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き、語彙を豊かにすることができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕C(1)ウ 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価することができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	詩を読み、批評したり、考えたことを伝え合ったりする活動 C(2)イ	春に 初恋 やわらかな想い	○教科書の詩を読み、印象的な言葉を取り上げ、その効果について話し合う。 ・語句の選択や配列、書き手が行う表現上の工夫 ○テーマを決め、お気に入りの詩を選び、ミニ詩集を作る。 ○グループで詩集を読み合い、印象的な言葉や構成、表現の仕方について話し合う。 ・表現についての評価の仕方	【知・技】(1)イ 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き、語彙を豊かにしている。 【思・判・表】C(1)ウ 「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。 【主】 進んで文章の構成、表現の仕方について評価し、学習課題にそって批評しようとしている。	中2『虹の足』 『豚』 学校図書館の活用
4	3	2			知識・技能 読むこと 随筆の言葉から季節の掲示物を作ろう～効果的に文字を書く～ ～毛筆～	〔知識及び技能〕(1)ウ 文章の種類とその特徴について理解を深めることができる。 〔知識及び技能〕(3)エ(7) 身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書くことができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕C(1)ウ 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価することができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	随筆を読み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりする活動 C(2)イ	立ってくる春 行書を深めよう	○「随筆」という文章の特徴について理解する。 ○『立ってくる春』に表現されている「私」の気持ちについて考え、「私」が「立つ春」に対して抱いているイメージを整理する。 ○季節の雰囲気がよく伝わる随筆を読み、季節を表す言葉を抜き出す。 ○季節を表す言葉を、点画の連続を理解して書く。 ・効果的な文字の書き方	【知識・技能】(1)ウ 文章の種類とその特徴について理解を深めている。 【知・技】(3)エ(7) 身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書いている。 【思・判・表】C(1)ウ 「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。 【主】 積極的に文章の構成、表現の仕方について評価し、見通しをもって考えたことを効果的に文字に書こうとしている。	中2『走れメロス』 学校図書館の活用
5	2				読むこと 自身の経験から話し合おう～文章の表現の仕方を評価する～	〔知識及び技能〕(1)ウ 文章の種類とその特徴について理解を深めることができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕C(1)ウ 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価することができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	小説を読み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりする活動 C(2)イ	なぜ物語が必要なのか 漢字の広場1 呉音・漢音・唐音	○『なぜ物語が必要なのか』を読み、それぞれの登場人物にとっての「物語」の役割について、筆者の考えを捉える。 ・物語の構成、展開 ○読み手にとっての「物語」の役割について、筆者の考えを本文の言葉を使って説明する。 ・内容の説明 ○筆者の「物語」に対する考え方について自身の経験を振り返りながら話し合う。 ・文章の種類と特徴 ・文章の表現に対する評価の仕方	【知・技】(1)ウ 文章の種類とその特徴について理解を深めようとしている。 【思・判・表】C(1)ウ 「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。 【主】 進んで表現の仕方について評価し、学習課題に沿って考えを伝え合おうとしている。	中2『走れメロス』



月	指導時間数				単元名	単元の目標	単元で扱う言語活動の例	単元で扱う教材名	○主な学習活動・学習内容	単元の評価規準	円滑な接続のための留意事項
5	2		2		話すこと・聞くこと 最近のできごとを伝えよう～伝え合う内容を検討する～	〔知識及び技能〕(3)ウ 時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解することができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕A(1)ア 目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討することができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	提案や主張など自分の考えを話したり、それらを聞いて質問したり評価などを述べてりする活動 A(2)ア	一言でまとめ一言から広げる	○3～4人のグループを作り、一人が最近のできごとや体験を話す。 ○グループの他のメンバーは話の内容を一言でまとめるとどうなるか考える。 ・伝え合う内容の検討 ○次に話す人はその一言から思い浮かぶ体験について話す。他の人でも同様のことを行う。 ○1周したら、誰の話がよかったか、どの一言がよかったか、感想を交流し合う。 ・言葉の意味を把握し、具体的なできごとを考えること ・和語、漢語、外来語について理解し、効果的に使い分けること	〔知識・技能〕(3)ウ 時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解している。 【思・判・表】A(1)ア 「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 【主】 積極的にその場の状況に応じて言葉を選び、学習課題にそって提案しようとしている。	
5	4			4	読むこと 座談会をしよう～文章を読んだり考えを広げたり深めたりする～	〔知識及び技能〕(3)オ 自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕C(1)ア 文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開の仕方などを捉えることができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕C(1)エ 文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	小説を読み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりする活動C(2)イ	私	○「私」を読み、「私」の人物像や内容の大体を捉えて学習の課題をもつ。 ○「私」の心情の変化を表にまとめ、それぞれの登場人物の設定の仕方について自分の考えをもつ。 ・作品の展開や内容と場面、登場人物の設定との関わり、文章全体への理解 ○「二重の情報」に対する登場人物ごとの捉え方の違いや、現実の世界と比較して考えたこと等についてグループごとに「座談会」として話し合う。 ・考えの広がりや深まり ・読書の意義	〔知・技〕(3)オ 自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解しようとしている。 【思・判・表】C(1)ア 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開の仕方などを捉えている。 【思・判・表】C(1)エ 「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 【主】 積極的に人間、社会、自然などについて、自分の意見をもち、今までの学習を生かして自分の考えを伝え合おうとしている。	中2『タオル』
5	3		3		知識・技能 硬筆展に向けて練習しよう～硬筆～	〔知識及び技能〕(3)エ(7) 身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書くことができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。		行書と仮名を調和させて書く	○手本の文章を読み、行書で書かれた文章の特徴をつかむ。 ・文字の字形を整えること ○手本をみながら丁寧に視写する。 ・文字の伝達性や表現性など表現効果	〔知・技〕(3)エ(7) 身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書いている。 【主】 ペンの使い方や字形、文字の大きさなどの書き方を確認しようとしている。	

月	指導時間数				単元名	単元の目標	単元で扱う言語活動の例	単元で扱う教材名	○主な学習活動・学習内容	単元の評価規準	円滑な接続のための留意事項
6	3	2		1	知識・技能 読むこと ビブリオバトルをしよう ～読書の意義と効用について理解する～	〔知識及び技能〕(3)オ 自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。 〔思考力・判断力・表現力等〕C(1)エ 文章を読んで考えを広げたり深めたりして人間、社会、自然などについて自分の意見をもつことができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	報道などの文章を比較するなどして読み、理解したことや考えたことについて討論したり文章にまとめたりする活動 C(2)ア	薔薇のボタン	○『薔薇のボタン』を読んで、感想や関心をもった点などについて「読書の記録」等に記入し、グループで交流する。 ○ 今までに読んだ印象的だった本について、ビブリオバトルを行う。 ・ 読書の意義と効用の理解	【知・技】(3)オ 自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。 【思・判・表】C(1)エ 「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして人間、社会、自然などについて自分の意見をもっている。 【主】 積極的に読書の意義と効用について理解し、今までの学習を生かして考えたことについて伝えようとしている。	学校図書館の活用 (道徳科 D生命の尊さ)
6	3		3	話すこと・聞くこと スピーチをしよう ～話の構成を工夫する～	〔知識及び技能〕(1)ア 第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れることができる。 〔知識及び技能〕(2)イ 情報の信頼性の確かめ方を理解し使うことができる。 〔思考力・判断力・表現力等〕A(1)イ 自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫することができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	提案や主張など自分の考えを話したり、それらを聞いて質問したり評価などを述べたりする活動 C(2)ア	構成を考えて主張をまとめる 漢字の広場1 異音・漢音・唐音	○社会生活の中から興味があるテーマや課題だと感じるテーマを選び、そのテーマについて自分自身の立場や主張を考えるための資料や事例を探す。 ○全体の構成や論理展開を検討し、スピーチ原稿を作成し、さらに推敲する。 ・ 論理の展開や話の構成の工夫 ・ 漢字の音の理解 ○スピーチを行い、話の構成について工夫されていたことを話し合う。	【知・技】(1)ア 第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。 【知・技】(2)イ 情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。 【思・判・表】A(1)イ 「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫している。 【主】 進んで情報の信頼性の確かめ方を理解して使い、学習の見直しをもって主張しようとしている。	中2『説得力のある提案をする』 (社会科公民的分野)	
6	3		3	読むこと 情報について考えよう ～文章の構成について評価する～	〔知識及び技能〕(1)ア 第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れることができる。 〔知識及び技能〕(2)イ 情報の信頼性の確かめ方を理解し使うことができる。 〔思考力・判断力・表現力等〕C(1)ウ 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価することができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	文章を読み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりする活動C(2)イ	メディア・リテラシーはなぜ必要か？ 新聞が伝える情報を考える 漢字の広場2 熟字訓	○『メディア・リテラシーはなぜ必要か？』を読み、マスメディアによる情報について理解する。 ○新聞にある情報の種類や構成について理解し、同じことを伝える二つの社説の意見の述べられ方について比較する。 ・ 文章の構成の評価 ・ 熟字訓の理解	【知・技】(1)ア 第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。 【知・技】(2)イ 情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。 【思考・判断・表現】C(1)ウ 「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。 【主】 積極的に文章の種類とその特徴について理解し、今までの学習を生かして考えたことについてまとめようとしている。	中2『脚本で動きを説明する』 新聞を活用した教育活動との関連 (社会科公民的分野)	

月	指導時間数	単元名	単元の目標	単元で扱う言語活動の例	単元で扱う教材名	○主な学習活動・学習内容	単元の評価規準	円滑な接続のための留意事項
7	3	読むこと 自分の考えを文章にまとめよう ～文章を批判的に読み筆者の主張に迫る～	〔知識及び技能〕(2)ア 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕C(1)イ 文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの方の見方や考え方について考えることができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	論説などの文章を読み、理解したことがあったことについて文章にまとめる活動 C(2)ア	AIは哲学できるか	○筆者の主張について批判的に読むという手法を踏まえ、筆者の立場やものの方の見方、考え方に注目しながら「AIは哲学できるか」を読む。 ・事例や主張が適切か考えて読むこと ・文章の批判的な読み方 ○「哲学的な思考パターン」「切実な哲学の問い」の内容について話し合い、筆者のいう「哲学」とはどのようなものか整理する。 ・筆者の考え方に対する自分の考えの形成 ○文末表現に注意しながら、筆者がこれからの人工知能と哲学の関係をどのように捉えているか考える。また、筆者が「そういうことは当分起きないと予想する。」と述べている理由について考える。 ○「哲学に新次元を開くことになる」とはどのようなことか自分の考えを伝え合う。 ○「AIは哲学できるか」という題名をつけた筆者の意図について考えたことを文章にまとめる。	〔知・技〕(2)ア 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 【思・判・表】C(1)イ 「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの方の見方や考え方について考えている。 【主】 粘り強く文章に表れているものの方の見方や考え方について考え、学習課題に沿って文章をまとめようとしている。	中2『日本の花火の楽しみ』『水の山富士山』
7	5	書くこと ～論理の展開を考えて文章の構成を工夫する～	〔知識及び技能〕(2)イ 情報の信頼性の確かめ方を理解し使うことができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕B(1)イ 文章の種類を選択し多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて文章の構成を工夫することができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	情報を編集して文章にまとめるなど、伝えたいことを整理して書く活動 B(2)イ	具体例を基に説明文を書く 文法の小窓1 文法（解説）1 助動詞のはたらき 文法の小窓2 文法（解説）2 助動詞のはたらき	○「打ち言葉」（メールやSNS で使う言葉や表現方法）の特徴を説明するため具体例をあげる文を書く ・具体的な事例を基に一般的な特徴を導くこと ・助詞や助動詞の種類とはたらきを捉えて文章の中での活用の仕方を考える。 ○具体例から打ち言葉の一般的な特徴を導き出し、読み手を説得できる展開を考え、構成を工夫する。 ・読み手を説得するための構成の工夫 ○文章にまとめる。 ○打ち言葉の一般的な特徴を説明しているかに注意して推敲する。 ○書いた文章を読み合い、適切に一般化して説明できたかアドバイスし合う。	〔知・技〕(2)イ 情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。 【思・判・表】B(1)イ 「書くこと」において、文章の種類を選択し多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて文章の構成を工夫している。 【主】 積極的に論理の展開などを考えて文章の構成を工夫し、学習の見直しをもって伝えたいことを整理して書くこととしている。	中2『新聞の投書を書く』
7	2	知識・技能 校内の標識を書こう ～効果的に文字を書く～ ～硬筆～	〔知識及び技能〕(3)エ(7) 身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書くことができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕B(1)ア 目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にすることができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	情報を編集して標識を作成するという、伝えたいことを整理して書く活動 B(2)イ	身のまわりの多様な表現をおして文字文化の豊かさにつれ、効果的に文字を書く	○町中や図書館の書籍等から様々な書体を探し、グループで、作成する標識に相応しい文及び書体について話し合う。 ○校内の標識を書く。 ・効果的な文字の書き方	〔知・技〕(3)エ(7) 身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書いている。 【思・判・表】B(1)ア 「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。 【主】 進んで効果的に文字を書き、今までの学習を生かして校内の標識を作成しようとしている。	学校図書館の活用
7	1	書くこと 「1学期の国語学習を振り返ろう」	〔知識及び技能〕(1)ア 第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れることができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕B(1)イ 文章の種類を選択し多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて文章の構成を工夫することができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	1学期の各単元の振り返りを文章にまとめるなど、伝えたいことを整理して書く活動 B(2)イ		○1学期の各単元を振り返り、自己評価をしたことを基に、文章にする。 ・初めに自分の意見を述べ、それを裏付ける事実を示し、自分の意見の正当性、妥当性を示す書き方を基本として、論理の展開を工夫して書くこと ・学年別漢字配当表に示されている漢字について文や文章の中で使い慣れ、適切に使用すること	〔知・技〕(1)ア 第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。 【思・判・表】B(1)イ 「書くこと」において、文章の種類を選択し多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて文章の構成を工夫している。 【主】 積極的に自分の考えが伝わる文章になるように工夫し、今までの学習を生かして文章を書くこととしている。	

月	指導時間数	単元名	単元の目標	単元で扱う言語活動の例	単元で扱う教材名	○主な学習活動・学習内容	単元の評価規準	円滑な接続のための留意事項
8	3	読むこと 説明的な文章を読み比べよう ～文章の論理の展開について評価する～	〔知識及び技能〕(2)ア 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕C(1)ウ 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価することができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	文章を比較して読み、理解したことや考えたことを討論したり文章にまとめたりする活動 C(2)ア	async同期しないこと 問いかける言葉	○「学びナビ」を読み、『async』と『問いかける言葉』について筆者の主張とその根拠(主張のよりどころ)に着目しながら読む。 ・事例と主張とを関連づけて読むこと ○『async』、『問いかける言葉』の文章の構成や展開、表現の仕方について図式化しながら整理する。 ○それぞれの文章の「不寛容」「新しい」という言葉に着目し説明の仕方や筆者の主張の共通点や相違点についてまとめる。 ○それぞれの文章における筆者の主張の仕方を比べながら表現の効果や読み手に与える印象について話し合う。 ・文章の論理の展開への評価	【知・技】(2)ア 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 【思・判・表】C(1)ウ 「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。 【主】 粘り強く文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価し、学習課題に沿って考えたことについて討論しようとしている。	中2『紙の建築』
9	5	書くこと 批評文を書こう ～自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫する～	〔知識及び技能〕(2)ア 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕B(1)ウ 「書くこと」において表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫することができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	関心のある事柄について批評するなど、自分の考えを書く活動。 B(2)ア	説得力のある批評文を書く 文法の小窓1 文法(解説)1 助詞のはたらき 文法の小窓2 文法(解説)2 助動詞のはたらき	○比較や関係付けを生かした批評文の書き方について理解する。 ○批評する観点を決めて対象を観察し、気付いた特徴を分析する。 ○判断や評価を伝えやすい構成を考える。 ・資料を比較して自分の考えを整理すること ○効果的な論理展開や書き出し方、まとめ方を考え、批評文を書く。 ・文章の表現の工夫 ○批評できているか留意して推敲する。 ○できあがった批評文を友達と読み合い、助言を申し、自分の文章のよい点や改善点を見付ける。	【知・技】(2)ア 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 【思・判・表】B(1)ウ 「書くこと」において表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫している。 【主】 積極的に自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫し、学習の見直しをもって自分の考えを書こうとしている。	中2『構成を明確にして手紙を書く』
9	3	読むこと ニュースの台本を作ろう ～文章の構成について評価する～	〔知識及び技能〕(1)エ 敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使うことができる。 〔知識及び技能〕(2)イ 情報の信頼性の確かめ方を理解し使うことができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕C(1)ウ 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価することができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	ニュースを構成する情報を読み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりする活動 C(2)イ	ニュースで情報を編集する 言葉の小窓2 言葉(解説)2 相手に対する配慮と表現	○ニュース番組が演出されているということ踏まえたうえで、効果的なナレーションの方法について考える。 ・敬語の適切な使用 ○ナレーションに応じた画像を選択し、ニュース台本を完成させ、画像にそってナレーションを読み、効果的なニュースになっているかどうか話し合う。 ・文章の構成についての評価	【知・技】(1)エ 敬語などの相手や場に応じた言葉づかいを理解し、適切に使っている。 【知識・技能】(2)イ 情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。 【思考・判断・表現】C(1)ウ 「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。 【主】 積極的に文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価し、学習の見直しをもって考えたことなどを伝えようとしている。	中2『映像作品の表現を考える』
9	2	知識・技能 読むこと 実用文を読もう ～文章の種類と特徴について理解する～	〔知識及び技能〕(1)ア 第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れることができる。 〔知識及び技能〕(1)ウ 文章の種類とその特徴について理解を深めることができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕C(1)ア 文章の種類を踏まえて、論理の展開の仕方などを捉えることができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	実用的な文章を読み、実生活への生かし方を考える活動 C(2)ウ	実用文を読む 漢字の広場3 異字同訓	○効果的な「お知らせ」の方法について、身のまわりの「お知らせ」の文章を探して読み、文章によってどのような特徴があるのかを調べる。 ・異字同訓の理解	【知・技】(1)ア 第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。 【知識・技能】(1)ウ 文章の種類とその特徴について理解を深めている。 【思考・判断・表現】C(1)ア 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理の展開の仕方などを捉えている。 【主】 積極的に文章の種類とその特徴について理解し、今までの学習を生かして実生活への生かし方を考えようとしている。	

月	指導時間数				単元名	単元の目標	単元で扱う言語活動の例	単元で扱う教材名	○主な学習活動・学習内容	単元の評価規準	円滑な接続のための留意事項
10	4	2			知識・技能 読むこと 古典の一節を紹介しよう ～文章に表れているものの見方や考え方を捉える～	(知識及び技能) (3)イ 長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使うことができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕 C(1)イ 文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えることができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	古典を読み、批評したり、考えたことを伝え合ったりする活動 C(2)イ	旅への思い 一芭蕉と『おくのほそ道』 ―	○『旅への思い』を通読し、『おくのほそ道』や芭蕉について理解する。 ○歴史的仮名遣いに注意して『おくのほそ道』の文章をノートに書き写し、音読する。 ・文体の特徴の理解 ○『旅立ち』『平泉』『立石寺』のそれぞれに描かれた情景と芭蕉の心情について話し合う。 ・文章に表れているものの見方や考え方への自己の考えの形成 ○印象に残った句を引用し、句から想像したことも含めて内容を紹介する文章を書く。	【知・技】(3)イ 長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。 【思・判・表】C(1)イ 「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 【主】 粘り強く古典の一節を引用するなどして使い、今までの学習を生かして考えたことを伝えようとしている。	(社会科歴史的分野)
10	4	2			知識・技能 読むこと 鑑賞文を紹介しよう ～古典を読むことを通してその世界に親しむ～	(知識及び技能) (3)ア 歴史的背景などに注意して古典を読むことを通してその世界に親しむことができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕 C(1)エ 文章を読んで考えを広げたり深めたりして人間、社会、自然などについて自分の意見をもつことができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	和歌を読み、批評したり、考えたことを伝え合ったりする活動 C(2)イ	和歌の調べ 一万葉集・古今和歌集・新古今和歌集について、特徴や文学的価値について知るとともに、声に出して和歌を読んで、表現の特徴や言葉のリズムを味わう。 お気に入りの和歌を選び、歌の背景や情景をお気に入りの歌詞と比べて、作者のものの見方や感じ方を捉える。 ・文章における書き手の意図と表現の仕方との関わり ・歴史的背景 ○和歌の情景や心情、背景や作者などについてお気に入りの曲の歌詞と比べながら鑑賞文を書き、紹介し合う。 ・文章の形態、目的に合った効果的な体裁 ・作者の人となりの理解	【知・技】(3)ア 歴史的背景などに注意して古典を読むことを通してその世界に親しんでいる。 【思・判・表】C(1)エ 「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして人間、社会、自然などについて自分の意見をもっている。 【主】 粘り強く歴史的背景などに注意して古典を読むことを通してその世界に親しみ、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。		
10	3	2			知識・技能 読むこと 漢詩を朗読しよう ～古典を読むことを通してその世界に親しむ～	(知識及び技能) (3)ア 歴史的背景などに注意して古典を読むことを通してその世界に親しむことができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕 C(1)ウ 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価することができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	漢詩を読み、批評したり、考えたことを伝え合ったりする活動 C(2)イ	風景と心情 ―漢詩を味わう―	○漢詩の形式を知り、二つの漢詩を読む学習の課題をもつ。 ・漢詩の形式 ・歴史的背景 ○書き下しや訓読のきまり、対句や韻を理解して二つの漢詩の内容や作者の思いを読み取る。 ○李白や杜甫について調べたり、漢詩を朗読したりして学習のまとめをする。 ・歴史的背景などに注意して古典を読み、その世界に親しむこと	【知・技】(3)ア 歴史的背景などに注意して古典を読むことを通してその世界に親しんでいる。 【思・判・表】C(1)ウ 「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。 【主】 粘り強く歴史的背景などに注意して古典を読むことを通してその世界に親しみ、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。	(社会科歴史的分野)
11	6	3			知識・技能 読むこと 近代の小説を紹介しよう ～読書の意義と効用について理解する～	(知識及び技能) (3)オ 自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕 C(1)ア 文章の種類を踏まえて論理や物語の展開の仕方などを捉えることができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	小説を読み、批評したり、考えたことを伝え合ったりする活動 C(2)イ	最後の一句	○『最後の一句』を読む。 ・文章を読むことを通して、そこに表れているものの見方や考え方から、人間、社会、自然などについて思いを巡らせること ○森鷗外と関連のある作家の作品を読み、読書紹介パネルを作成する。 ○読書紹介パネルを用いて、グループで紹介し合い、読んでみたい作品を選ぶ。 ・興味をもった作家の複数の作品を読み味わったり、幅広い分野の文章を読む機会をもったりすること ○作品解説や森鷗外についての資料を読み、改めて作品についてどのように考えたか話し合う。 ・読書の意義と効用の理解	【知識・技能】(3)オ 自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。 【思・判・表】C(1)ア 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて論理や物語の展開の仕方などを捉えている。 【主】 粘り強く読書の意義と効用について理解し、今までの学習を生かして考えたことを説明しようとしている。	学校図書館の活用 (社会科歴史的分野)

月	指導時間数				単元名	単元の目標	単元で扱う言語活動の例	単元で扱う教材名	○主な学習活動・学習内容	単元の評価規準	円滑な接続のための留意事項
11	3				読むこと 句会をしよう～表現の仕方について評価する～	(知識及び技能) (1)イ 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 (思考力、判断力、表現力) C(1)ウ 文章の構成や論理の展開 表現の仕方について評価することができる。 (学びに向かう力、人間性等) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	俳句を詠み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりする活動 C(2)イ	俳句の味わい	○『俳句の味わい』を通読し、それぞれの俳句の魅力について話し合う。 ・語句の用い方がどのような効果を生んでいるかなど、語句の選択や配列など書き手が行う表現上の工夫に注意して読むこと ○印象に残った句を選んで声に出して読んだりする。 ・俳句の形式・リズム・季語・句切れ等 ○「歳時記」を活用し様々な季語について知識を深めた上で 俳句を創作する。 ○句会の全体像をつかんだ上で句会を開催し、俳句の相互批評を行う。 ・表現の仕方の評価	【知・技】(1)イ 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思・判・表】C(1)ウ 「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。 【主】 進んで表現の仕方について評価し、学習課題に沿って批評したことを伝えようとしている。	
11	3	3			知識・技能 書きぞめ展に向けて練習しよう～毛筆～	(知識及び技能) (3)エ(7) 身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書くことができる。 (学びに向かう力、人間性等) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。		書き初めを書く	○お手本に忠実に視写する。 ○行書の特徴を理解し、字形を整え、文字の大きさ、配列、配置を意識して書く。 ・文字の効果的な書き方	【知・技】(3)エ(7) 身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書いている。 【主】 行書に調和する仮名の書き方を習得しようとしている。	
12	6				読むこと 未来の「希望」を伝え合おう～小説を通して人間や社会について考える～	(知識及び技能) (1)イ 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 (思考力、判断力、表現力等) C(1)ア 文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開の仕方などを捉えることができる。 (思考力、判断力、表現力等) C(1)エ 文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会などについて、自分の意見をもつことができる。 (学びに向かう力、人間性等) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	『故郷』やその他の魯迅作品を読み、考えたことを伝え合う活動 C(2)イ	故郷	○『故郷』を読み、話の展開や内容の大体をつかみ、初発の感想をグループで共有する。 ○過去と現在における「私」と「閩土」の思いを考える。 ○「私」が抱えている故郷の社会的な課題、「私」の「希望」を捉える。 ○作者や『故郷』の書かれた時代背景について知り、『故郷』に描かれた作者の思いを考える。 ・現代社会の課題について考える。 ・自分の意見の形成 ○現代社会の課題とこれからの社会への希望について考えたことを、発表資料としてタブレット型コンピュータで作成する。 ○友達にアドバイスを求めながら、必要に応じて内容を修正、改善する。 ○現代社会の課題とこれからの社会への希望についてグループ内で発表をする。 ○他者の考えを聞いて現代社会について考えたことを共有する。	【知・技】(1)イ 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思・判・表】C(1)ア 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開の仕方などを捉えている。 【思・判・表】C(1)エ 「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会などについて、自分の意見をもっている。 【主】 積極的に、人間、社会などについて自分の意見を持ち、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。	中2『夏の群列』 学校図書館の活用

月	指導時間数	単元名	単元の目標	単元で扱う言語活動の例	単元で扱う教材名	○主な学習活動・学習内容	単元の評価規準	円滑な接続のための留意事項
12	3	書くこと  自己PR文を書こう ～自分の文章のよい点や改善点を見いだす～	〔知識及び技能〕(1)イ 慣用句などについて理解を深め、話や文章の中で使い、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 〔知識及び技能〕(3)ウ 時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解することができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕B(1)オ 論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすことができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	情報を編集して文章にまとめるなど、伝えたいことを整理して書く活動 B(2)イ	自己PR文を書く  言葉の小窓3 言葉(解説)3 慣用句・ことわざ	○パンフレットや募集要項、ホームページから、進学したい上級学校や就職したい企業の求める人材を確認する。 ○その項目に応じて、エピソードを選ぶ。 ○構成や表現の仕方に注意して、自己PR文を書く。 ・ことわざ、慣用句の活用 ○求める人材に応じた文章となっているか読み直し、修正する。 ○グループで自己PR文を読み合い、題材や構成、表現の工夫について話し合う。 ・自分の文章のよい点や改善点の理解	【知・技】(1)イ 慣用句などについて理解を深め、話や文章の中で使い、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【知識・技能】(3)ウ 時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解している。 【思・判・表】B(1)オ 「書くこと」において、論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。 【主】 粘り強く自分の文章のよい点や改善点を見だし、学習課題に沿って伝えたいことを整理して書こうとしている。	中2『根拠をもとに意見文を書く』
12	4	話すこと ・ 聞くこと  スピーチしよう ～自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫する～	〔知識及び技能〕(1)イ 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕A(1)ウ 場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	スピーチとして自分の考えを話したり、それらを聞いて質問したり評価などを述べたりする活動 A(2)ア	表現の工夫を評価してスピーチをする  言葉と社会1 コミュニケーションの場を考える一 場に応じた表現や話題一  漢字の広場4 四字熟語	○スピーチの目的やスピーチする相手を理解した上で中学校生活を振り返るためのスピーチ内容について考える。 ・場に応じた表現や話題 ○自分の考えを「誰に対して」「どのような場所で」「どのような言葉で」「どのように」伝えるかなどを想定して、スピーチ原稿を作成する。 ・自分の考えの形成 ・表現の工夫 ・四字熟語等の活用 ○場面を想定した上でスピーチをする。 ・表現の工夫 ○スピーチをお互いに評価し合い、表現の改善に生かす。	【知識・技能】(1)イ 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思・判・表】A(1)ウ 「話すこと・聞くこと」において、場面の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫している。 【主】 積極的に場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫し、学習課題に沿って自分の考えを話そうとしている。	中2『観点を明確にして伝える』 (特別活動)

月	指導時間数				単元名	単元の目標	単元で扱う言語活動の例	単元で扱う教材名	○主な学習活動・学習内容	単元の評価規準	円滑な接続のための留意事項
12	1			1	書くこと 「2学期の国語学習を振り返ろう」	(知識及び技能) (1)ア 第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れることができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕 B(1)イ 文章の種類を選択し多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて文章の構成を工夫することができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	2学期の各単元の振り返りを文章にまとめるなど、伝えたいことを整理して書く活動 B(2)イ		○2学期の各単元を振り返り、自己評価をしたことを基に、文章にする。 ・初めに自分の意見を述べ、それを裏付ける事実を示し、自分の意見の正当性、妥当性を示す書き方を基本として、論理の展開を工夫して書くこと ・学年別漢字配当表に示されている漢字について文や文章の中で使い慣れ、適切に使用すること	【知・技】(1)ア 第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。 【思・判・表】 B(1)イ 「書くこと」において、文章の種類を選択し多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて文章の構成を工夫している。 【主】 積極的に自分の考えが伝わる文章になるように工夫し、今までの学習を生かして文章を書こうとしている。	
1	3			3	書くこと わたしたちができることを考えよう ～自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫する～	(知識及び技能) (2)ア 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕 B(1)ウ 「書くこと」において表現の仕方考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫することができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	関心のある事柄について批評するなど、自分の考えを書く活動 B(2)ア	持続可能な未来を創るために一人間の生命・存在を考える 生命とは何か 地球は死にかかっている 水の星	○「生命」の定義を考える。 ○「さまざまな技術は進歩しているのに、解決しない問題が多いのはなぜか」について話し合う。 ○「未来に何を残したいか」ということについて自分の考えを書く。 ・文章の工夫の仕方	【知・技】(2)ア 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 【思・判・表】 B(1)ウ 「書くこと」において表現の仕方考えたり資料を適切に引用したりするなど自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫している。 【主】 粘り強く自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫し、学習課題に沿って自分の考えを書こうとしている。	
1	3			3	話すこと・聞くこと 話しこと・聞くこと 討論しよう ～合意形成に向けて考えを広げたり深めたりする～	(知識及び技能) (1)エ 歌謡などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使うことができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕 A(1)エ 話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現の仕方を評価して、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕 A(1)オ 進行の仕方を工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりすることができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	互いの考えを生かしながら議論や討論をする活動 A(2)イ	「対話力」とは何か 意見を共有しながら話し合う 言葉と社会2 自分の意見を述べるとき 一言の力と裁判	○環境問題や資源の有観性について、自分が興味・関心をもっていることを具体的に挙げる。 ○『「対話力」とは何か』を参考にし、グループでお互いの意見を出し合い、共通点や相違点を整理し、グループで意見をまとめる。 ・合意形成に向けた考えの広げ方や深め方 ○グループでまとめた意見をクラスに向けて発表する。他のグループの意見を参考にしながら、持続可能な社会の実現に向けてできることについて、クラスの多くの人が納得できる結論を考える。 ・相手の考えの評価	【知識・技能】(1)エ 歌謡などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使っている。 【思・判・表】 A(1)エ 「話すこと・聞くこと」において、話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現の仕方を評価して、自分の考えを広げたり深めたりしている。 【思・判・表】 A(1)オ 「話すこと・聞くこと」において、進行の仕方を工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。 【主】 積極的に合意形成に向けて考えを広げたり深めたりし、学習の見直しをもって討論しようとしている。	中2『相違点を明確にして聞く』 (道徳科 B相互理解、寛容)



月	指導時間数				単元名	単元の目標	単元で扱う言語活動の例	単元で扱う教材名	○主な学習活動・学習内容	単元の評価規準	円滑な接続のための留意事項
1	4			4	書くこと 作品集を作ろう ～目的に応じて文章を整える～	〔知識及び技能〕(2)ア 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕B(1)ア 目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にすることができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕B(1)エ 目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えることができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	情報を編集して文章にまとめるなど、伝えたいことを整理して書く活動 B(2)イ	情報をまとめて作品集を作る	○中学校で書いた作品を集め、作品集のテーマを決める。 ○作品集の構成を決める。 ○作品の並べ方を編集する。 ・文章の整え方 ○表紙や背表紙などの工夫をして製本する。 ○互いに読み合う。 ・編集の意図や方法、編集結果	〔知・技〕(2)ア 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 【思・判・表】B(1)ア 「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。 【思考・判断・表現】B(1)エ 「書くこと」において、目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えている。 【主】 積極的に目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整え、学習の見直しをもって整理して書くこととしている。	中1『読み手を意識して報告文を整える』
2	4	2		2	知識・技能 自分の読書生活を振り返ろう ～読書の意義と効用について理解する～	〔知識及び技能〕(1)イ 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、四字熟語についての理解を深め、話や文章の中で使うとともに、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 〔知識及び技能〕(3)オ 自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕C(1)エ 文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	小説を読み、考えたことを伝え合う活動 C(2)イ	パースデイ・ガール	○『パースデイ・ガール』、『青春の歌』を読んで、互いの感想を交流する。 ○他の小説や歌集を読み、内容や感想を伝え合う。 ○『読書記録』などで、今までの読書を振り返る。 ・読書の意義と効用についての理解	〔知・技〕(1)イ 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、四字熟語についての理解を深め、話や文章の中で使うとともに、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【知識・技能】(3)オ 自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。 【思・判・表】C(1)エ 「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 【主】 粘り強く読書の意義と効用について理解し、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。	学校図書館の活用
2	2	2			知識・技能 中学校文法教室を振り返ろう	〔知識及び技能〕(1)ウ 話や文章の種類とその特徴について理解を深めることができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕B(1)イ 文章の種類を選択し多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて文章の構成を工夫することができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。		文法的に考える	○通用修飾語の働きについて「課題」を通して理解を深め、日常の言葉を文法的に考える。 ・通用修飾語のはたらき ○助詞の「は」のはたらきや打ち消しの表現について「課題」を通して、日常の言葉を文法的に考える。 ・文法的な考え方	〔知・技〕(1)ウ 話や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 【思・判・表】B(1)イ 「書くこと」において、文章の種類を選択し多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて文章の構成を工夫している。 【主】 多くの文例を基に、文の組み立てや通用修飾語の働きについて理解を深めようとしている。	

月	指導時間数					単元名	単元の目標	単元で扱う言語活動の例	単元で扱う教材名	○主な学習活動・学習内容	単元の評価規準	円滑な接続のための留意事項
3	1			1		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">書くこと</div> <p>「3学期の国語学習を振り返ろう」</p>	<p>〔知識及び技能〕(1)ア 第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れることができる。</p> <p>〔思考力、判断力、表現力等〕B(1)イ 文章の種類を選択し多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて文章の構成を工夫することができる。</p> <p>〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。</p>	<p>3学期の各単元の振り返りを文章にまとめるなど、伝えたいことを整理して書く活動 B(2)イ</p>		<p>○3学期及び第3学年の各単元を振り返り、自己評価をしたことを基に、文章にする。</p> <p>・初めに自分の意見を述べ、それを裏付ける事実を示し、自分の意見の正当性、妥当性を示す書き方を基本として、論理の展開を工夫して書くこと</p> <p>・学年別漢字配当表に示されている漢字について文や文章の中で使い慣れ、適切に使用すること</p>	<p>【知・技】(1)ア 第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。</p> <p>【思・判・表】B(1)イ 「書くこと」において、文章の種類を選択し多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて文章の構成を工夫している。</p> <p>【主】 積極的に自分の考えが伝わる文章になるように工夫し、今までの学習を生かして文章を書こうとしている。</p>	
計	##	16	10	12	24	43						

【年間授業時数 内訳】

国語〔知識及び技能〕

知識及び技能 26時間  
 (書写) (10)

国語〔思考力、判断力、表現力等〕

話すこと・聞くこと 12時間  
 書くこと 24時間  
 読むこと 43時間

国語合計 105時間



105時間

令和5年度 さいたま市立岸中学校 第3学年 国語科年間指導計画

( 105 ) 時間

1 中学校第3学年の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (知識及び技能) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
- (思考力、判断力、表現力等) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (学びに向かう力、人間性等) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

2 中学校第3学年の評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、読書を通して自己を向上させ、言葉を適切に使うとしている。

3 単元の指導と評価の計画

月	指導時間数				単元名	単元の目標	単元で扱う言語活動の例	単元で扱う教材名	○主な学習活動・学習内容	単元の評価規準	円滑な接続のための留意事項
	単元の指導時間数	知識・技能	書写	話すこと・聞くこと							
月					※取り上げる言語活動と資質・能力を併せて表記している。	※学習指導要領に示されている「内容」の指導事項から、単元の目標として適切な「事項」を選択して転記する。	※学習指導要領上の言語活動例を基にして具体的な言語活動について記述する	※この単元で用いる具体的な教材名を示す。		※指導と評価が一致するように、目標の文末表現を「～している。」にして単元の評価規準とする。	※本単元と他学年等の関連を示す。
4	1			1	書くこと 自己紹介文を書こう ～オリエンテーション～	(知識及び技能) (1)イ 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き、語彙を豊かにすることができる。 (思考力、判断力、表現力等) B(1)イ 文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫することができる。 (学びに向かう力、人間性等) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	関心のある事柄について批評するなど、自分の考えを書く活動 B(2)ア	言葉の地図	○第3学年国語学習の目標、進め方について確認する。2年生の国語の学習を振り返り、3年生の国語で努力したいことをテーマに自己紹介文を書き、書き上がった自己紹介文をグループで読み合う。 ・第3学年国語学習の目標、学習の進め方 ・ファイルやノートの使い方 ・初めに自分の意見を述べ、それを裏付ける事実を示し、自分の意見の正当性、妥当性を示す書き方、具体的事実から一般化し、自分の意見の正当性、妥当性へと結び付ける書き方などを基本として、論理の展開を工夫して書くこと	【知・技】(1)イ 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き、語彙を豊かにしている。 【思・判・表】A(1)イ 「書くこと」において、文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。 【主】 積極的に文章の構成を工夫し、今までの学習を生かして自分の考えを書こうとしている。	

月	指導時間数				単元名	単元の目標	単元で扱う言語活動の例	単元で扱う教材名	○主な学習活動・学習内容	単元の評価規準	円滑な接続のための留意事項
4	3				読むこと お気に入りの詩集を作ろう～表現の仕方について評価する～	〔知識及び技能〕(1)イ 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き、語彙を豊かにすることができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕C(1)ウ 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価することができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	詩を読み、批評したり、考えたことを伝え合ったりする活動 C(2)イ	春に 初恋 やわらかな想い	○教科書の詩を読み、印象的な言葉を取り上げ、その効果について話し合う。 ・語句の選択や配列、書き手が行う表現上の工夫 ○テーマを決め、お気に入りの詩を選び、ミニ詩集を作る。 ○グループで詩集を読み合い、印象的な言葉や構成、表現の仕方について話し合う。 ・表現についての評価の仕方	【知・技】(1)イ 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き、語彙を豊かにしている。 【思・判・表】C(1)ウ 「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。 【主】 進んで文章の構成、表現の仕方について評価し、学習課題にそって批評しようとしている。	中2『虹の足』 『豚』 学校図書館の活用
4	3	2			知識・技能 読むこと 随筆の言葉から季節の揭示物を作ろう～効果的に文字を書く～ ～毛筆～	〔知識及び技能〕(1)ウ 文章の種類とその特徴について理解を深めることができる。 〔知識及び技能〕(3)エ(7) 身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書くことができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕C(1)ウ 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価することができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	随筆を読み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりする活動 C(2)イ	立ってくる春 行書を深めよう	○「随筆」という文章の特徴について理解する。 ○『立ってくる春』に表現されている「私」の気持ちについて考え、「私」が「立つ春」に対して抱いているイメージを整理する。 ○季節の雰囲気がよく伝わる随筆を読み、季節を表す言葉を抜き出す。 ○季節を表す言葉を、点面の連続を理解して書く。 ・効果的な文字の書き方	【知識・技能】(1)ウ 文章の種類とその特徴について理解を深めている。 【知・技】(3)エ(7) 身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書いている。 【思・判・表】C(1)ウ 「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。 【主】 積極的に文章の構成、表現の仕方について評価し、見通しをもって考えたことを効果的に文字に書こうとしている。	中2『走れメロス』 学校図書館の活用
5	2				読むこと 自身の経験から話し合おう～文章の表現の仕方を評価する～	〔知識及び技能〕(1)ウ 文章の種類とその特徴について理解を深めることができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕C(1)ウ 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価することができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	小説を読み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりする活動 C(2)イ	なぜ物語が必要なのか 漢字の広場1 呉音・漢音・唐音	○『なぜ物語が必要なのか』を読み、それぞれの登場人物にとっての「物語」の役割について、筆者の考えを捉える。 ・物語の構成、展開 ○読み手にとっての「物語」の役割について、筆者の考えを本文の言葉を使って説明する。 ・内容の説明 ○筆者の「物語」に対する考え方について自身の経験を振り返りながら話し合う。 ・文章の種類と特徴 ・文章の表現に対する評価の仕方	【知・技】(1)ウ 文章の種類とその特徴について理解を深めようとしている。 【思・判・表】C(1)ウ 「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。 【主】 進んで表現の仕方について評価し、学習課題に沿って考えを伝え合おうとしている。	中2『走れメロス』

月	指導時間数				単元名	単元の目標	単元で扱う 言語活動の例	単元で扱う 教材名	○主な学習活動・学習内容	単元の評価規準	円滑な接続のための 留意事項
5	2		2		話すこと ・ 聞くこと  最近のできごと を伝えよう ～伝え合う内容 を検討する～	〔知識及び技能〕(3)ウ 時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解することができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕A(1)ア 目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討することができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	提案や主張など自分の考えを話したり、それらを聞いて質問したり評価などを述べたりする活動 A(2)ア	一言でまとめ一言から広げる	○3～4人のグループを作り、一人が最近のできごとや体験を話す。 ○グループの他のメンバーは話の内容を一言でまとめるとどうなるか考える。 ・伝え合う内容の検討 ○次に話す人はその一言から思い浮かぶ体験について話す。他の人でも同様のことを行う。 ○1周したら、誰の話がよかったか、どの一言がよかったか、感想を交流し合う。 ・言葉の意味を把握し、具体的なできごとを考えること ・和語、漢語、外来語について理解し、効果的に使い分けること	〔知識・技能〕(3)ウ 時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解している。 【思・判・表】A(1)ア 「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 【主】 積極的にその場の状況に応じて言葉を選び、学習課題にそって提案しようとしている。	
5	4			4	読むこと  座談会をしよう ～文章を読んで 考えを広げ たり深めたり する～	〔知識及び技能〕(3)オ 自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕C(1)ア 文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開の仕方などを捉えることができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕C(1)エ 文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	小説を読み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりする活動C (2)イ	私	○「私」を読み、「私」の人物像や内容の大体を捉えて学習の課題をもつ。 ○「私」の心情の変化を表にまとめ、それぞれの登場人物の設定の仕方について自分の考えをもつ。 ・作品の展開や内容と場面、登場人物の設定との関わり、文章全体への理解 ○「二重の情報」に対する登場人物ごとの捉え方の違いや、現実の世界と比較して考えたこと等についてグループごとに「座談会」として話し合う。 ・考えの広がりや深まり ・読書の意義	〔知・技〕(3)オ 自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解しようとしている。 【思・判・表】C(1)ア 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開の仕方などを捉えている。 【思・判・表】C(1)エ 「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 【主】 積極的に人間、社会、自然などについて、自分の意見をもち、今までの学習を生かして自分の考えを伝え合おうとしている。	中2『タオル』
5	3		3		知識・技能  硬筆展に向けて 練習しよう ～硬筆～	〔知識及び技能〕(3)エ(7) 身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書くことができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。		行書と仮名を調和させて書く	○手本の文章を読み、行書で書かれた文章の特徴をつかむ。 ・文字の字形を整えること ○手本をみながら丁寧に視写する。 ・文字の伝達性や表現性など表現効果	〔知・技〕(3)エ(7) 身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書いている。 【主】 ペンの使い方や字形、文字の大きさなどの書き方を確認しようとしている。	

月	指導時間数				単元名	単元の目標	単元で扱う言語活動の例	単元で扱う教材名	○主な学習活動・学習内容	単元の評価規準	円滑な接続のための留意事項
6	3	2		1	知識・技能 読むこと ビブリオバトルをしよう ～読書の意義と効用について理解する～	〔知識及び技能〕(3)オ 自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。 〔思考力・判断力・表現力等〕C(1)エ 文章を読んで考えを上げたり深めたりして人間、社会、自然などについて自分の意見をもつことができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	報道などの文章を比較するなどして読み、理解したことや考えたことについて討論したり文章にまとめたりする活動 C(2)ア	薔薇のボタン	○『薔薇のボタン』を読んで、感想や関心をもった点などについて「読書の記録」等に記入し、グループで交流する。 ○ 今までに読んだ印象的だった本について、ビブリオバトルを行う。 ・ 読書の意義と効用の理解	【知・技】(3)オ 自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。 【思・判・表】C(1)エ 「読むこと」において、文章を読んで考えを上げたり深めたりして人間、社会、自然などについて自分の意見をもっている。 【主】 積極的に読書の意義と効用について理解し、今までの学習を生かして考えたことについて伝えようとしている。	学校図書館の活用 (道徳科 D生命の尊さ)
6	3		3	話すこと・聞くこと スピーチをしよう ～話の構成を工夫する～	〔知識及び技能〕(1)ア 第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れることができる。 〔知識及び技能〕(2)イ 情報の信頼性の確かめ方を理解し使うことができる。 〔思考力・判断力・表現力等〕A(1)イ 自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫することができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	提案や主張など自分の考えを話したり、それらを聞いて質問したり評価などを述べたりする活動 C(2)ア	構成を考えて主張をまとめる 漢字の広場1 異音・漢音・唐音	○社会生活の中から興味があるテーマや課題だと感じるテーマを選び、そのテーマについて自分自身の立場や主張を考えるための資料や事例を探す。 ○全体の構成や論理展開を検討し、スピーチ原稿を作成し、さらに推敲する。 ・ 論理の展開や話の構成の工夫 ・ 漢字の音の理解 ○スピーチを行い、話の構成について工夫されていたことを話し合う。	【知・技】(1)ア 第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。 【知・技】(2)イ 情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。 【思・判・表】A(1)イ 「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫している。 【主】 進んで情報の信頼性の確かめ方を理解して使い、学習の見直しをもって主張しようとしている。	中2『説得力のある提案をする』 (社会科公民的分野)	
6	3		3	読むこと 情報について考えよう ～文章の構成について評価する～	〔知識及び技能〕(1)ア 第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れることができる。 〔知識及び技能〕(2)イ 情報の信頼性の確かめ方を理解し使うことができる。 〔思考力・判断力・表現力等〕C(1)ウ 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価することができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	文章を読み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりする活動C(2)イ	メディア・リテラシーはなぜ必要か？ 新聞が伝える情報を考える 漢字の広場2 熟字訓	○『メディア・リテラシーはなぜ必要か？』を読み、マスメディアによる情報について理解する。 ○新聞にある情報の種類や構成について理解し、同じことを伝える二つの社説の意見の述べられ方について比較する。 ・ 文章の構成の評価 ・ 熟字訓の理解	【知・技】(1)ア 第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。 【知・技】(2)イ 情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。 【思考・判断・表現】C(1)ウ 「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。 【主】 積極的に文章の種類とその特徴について理解し、今までの学習を生かして考えたことについてまとめようとしている。	中2『脚本で動きを説明する』 新聞を活用した教育活動との関連 (社会科公民的分野)	

月	指導時間数	単元名	単元の目標	単元で扱う言語活動の例	単元で扱う教材名	○主な学習活動・学習内容	単元の評価規準	円滑な接続のための留意事項
7	3	読むこと 自分の考えを文章にまとめよう ～文章を批判的に読み筆者の主張に迫る～	〔知識及び技能〕(2)ア 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕C(1)イ 文章を批判的に読みながら、文章に表れているもの見方や考え方について考えることができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	論説などの文章を読み、理解したことができたこと ～文章にまとめる活動 C(2)ア	AIは哲学できるか	○筆者の主張について批判的に読むという手法を踏まえ、筆者の立場やもの見方、考え方に注目しながら「AIは哲学できるか」を読む。 ・事例や主張が適切か考えて読むこと ・文章の批判的な読み方 ○「哲学的な思考パターン」「切実な哲学の問い」の内容について話し合い、筆者のいう「哲学」とはどのようなものか整理する。 ・筆者の考え方に対する自分の考えの形成 ○文末表現に注意しながら、筆者がこれからの人工知能と哲学の関係をどのように捉えているか考える。また、筆者が「そういうことは当分起きないと予想する。」と述べている理由について考える。 ○「哲学に新次元を開くことになる」とはどのようなことか自分の考えを伝え合う。 ○「AIは哲学できるか」という題名をつけた筆者の意図について考えたことを文章にまとめる。	〔知・技〕(2)ア 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 【思・判・表】C(1)イ 「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているもの見方や考え方について考えている。 【主】 粘り強く文章に表れているもの見方や考え方について考え、学習課題に沿って文章をまとめようとしている。	中2『日本の花火の楽しみ』『水の山富士山』
7	5	書くこと ～論理の展開を考えて文章の構成を工夫する～	〔知識及び技能〕(2)イ 情報の信頼性の確かめ方を理解し使うことができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕B(1)イ 文章の種類を選択し多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて文章の構成を工夫することができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	情報を編集して文章にまとめるなど、伝えたいことを整理して書く活動 B(2)イ	具体例を基に説明文を書く 文法の小窓1 文法（解説）1 助動詞のはたらき 文法の小窓2 文法（解説）2 助動詞のはたらき	○「打ち言葉」（メールやSNS で使う言葉や表現方法）の特徴を説明するため具体例をあげる文を書く ・具体的な事例を基に一般的特徴を導くこと ・助詞や助動詞の種類とはたらきを捉えて文章の中での活用の仕方を考える。 ○具体例から打ち言葉の一般的特徴を導き出し、読み手を説得できる展開を考え、構成を工夫する。 ・読み手を説得するための構成の工夫 ○文章にまとめる。 ○打ち言葉の一般的特徴を説明しているかに注意して推敲する。 ○書いた文章を読み合い、適切に一般化して説明できたかアドバイスし合う。	〔知・技〕(2)イ 情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。 【思・判・表】B(1)イ 「書くこと」において、文章の種類を選択し多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて文章の構成を工夫している。 【主】 積極的に論理の展開などを考えて文章の構成を工夫し、学習の見直しをもって伝えたいことを整理して書くこととしている。	中2『新聞の投書を書く』
7	2	知識・技能 校内の標識を書こう ～効果的に文字を書く～ ～硬筆～	〔知識及び技能〕(3)エ(7) 身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書くことができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕B(1)ア 目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にすることができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	情報を編集して標識を作成するという、伝えたいことを整理して書く活動 B(2)イ	身のまわりの多様な表現をおして文字文化の豊かさにつれ、効果的に文字を書く	○町中や図書館の書籍等から様々な書体を探し、グループで、作成する標識に相応しい文及び書体について話し合う。 ○校内の標識を書く。 ・効果的な文字の書き方	〔知・技〕(3)エ(7) 身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書いている。 【思・判・表】B(1)ア 「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。 【主】 進んで効果的に文字を書き、今までの学習を生かして校内の標識を作成しようとしている。	学校図書館の活用
7	1	書くこと 「1学期の国語学習を振り返ろう」	〔知識及び技能〕(1)ア 第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れることができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕B(1)イ 文章の種類を選択し多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて文章の構成を工夫することができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	1学期の各単元の振り返りを文章にまとめるなど、伝えたいことを整理して書く活動 B(2)イ		○1学期の各単元を振り返り、自己評価をしたことを基に、文章にする。 ・初めに自分の意見を述べ、それを裏付ける事実を示し、自分の意見の正当性、妥当性を示す書き方を基本として、論理の展開を工夫して書くこと ・学年別漢字配当表に示されている漢字について文や文章の中で使い慣れ、適切に使用すること	〔知・技〕(1)ア 第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。 【思・判・表】B(1)イ 「書くこと」において、文章の種類を選択し多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて文章の構成を工夫している。 【主】 積極的に自分の考えが伝わる文章になるように工夫し、今までの学習を生かして文章を書くこととしている。	

月	指導時間数	単元名	単元の目標	単元で扱う言語活動の例	単元で扱う教材名	○主な学習活動・学習内容	単元の評価規準	円滑な接続のための留意事項
8	3	読むこと 説明的な文章を読み比べよう ～文章の論理の展開について評価する～	〔知識及び技能〕(2)ア 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕C(1)ウ 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価することができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	文章を比較して読み、理解したことや考えたことを討論したり文章にまとめたりする活動 C(2)ア	async同期しないこと 問いかける言葉	○「学びナビ」を読み、『async』と『問いかける言葉』について筆者の主張とその根拠(主張のよりどころ)に着目しながら読む。 ・事例と主張とを関連づけて読むこと ○『async』、『問いかける言葉』の文章の構成や展開、表現の仕方について図式化しながら整理する。 ○それぞれの文章の「不寛容」「新しい」という言葉に着目し説明の仕方や筆者の主張の共通点や相違点についてまとめる。 ○それぞれの文章における筆者の主張の仕方を比べながら表現の効果や読み手に与える印象について話し合う。 ・文章の論理の展開への評価	【知・技】(2)ア 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 【思・判・表】C(1)ウ 「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。 【主】 粘り強く文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価し、学習課題に沿って考えたことについて討論しようとしている。	中2『紙の建築』
9	5	書くこと 批評文を書こう ～自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫する～	〔知識及び技能〕(2)ア 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕B(1)ウ 「書くこと」において表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫することができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	関心のある事柄について批評するなど、自分の考えを書く活動。 B(2)ア	説得力のある批評文を書く 文法の小窓1 文法(解説)1 助詞のはたらき 文法の小窓2 文法(解説)2 助動詞のはたらき	○比較や関係付けを生かした批評文の書き方について理解する。 ○批評する観点を決めて対象を観察し、気付いた特徴を分析する。 ○判断や評価を伝えやすい構成を考える。 ・資料を比較して自分の考えを整理すること ○効果的な論理展開や書き出し方、まとめ方を考え、批評文を書く。 ・文章の表現の工夫 ○批評できているか留意して推敲する。 ○できあがった批評文を友達と読み合い、助言をし合い、自分の文章のよい点や改善点を見付ける。	【知・技】(2)ア 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 【思・判・表】B(1)ウ 「書くこと」において表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫している。 【主】 積極的に自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫し、学習の見直しをもって自分の考えを書こうとしている。	中2『構成を明確にして手紙を書く』
9	3	読むこと ニュースの台本を作ろう ～文章の構成について評価する～	〔知識及び技能〕(1)エ 敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使うことができる。 〔知識及び技能〕(2)イ 情報の信頼性の確かめ方を理解し使うことができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕C(1)ウ 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価することができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	ニュースを構成する情報を読み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりする活動 C(2)イ	ニュースで情報を編集する 言葉の小窓2 言葉(解説)2 相手に対する配慮と表現	○ニュース番組が演出されているということ踏まえたうえで、効果的なナレーションの方法について考える。 ・敬語の適切な使用 ○ナレーションに応じた画像を選択し、ニュース台本を完成させ、画像にそってナレーションを読み、効果的なニュースになっているかどうか話し合う。 ・文章の構成についての評価	【知・技】(1)エ 敬語などの相手や場に応じた言葉づかいを理解し、適切に使っている。 【知識・技能】(2)イ 情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。 【思考・判断・表現】C(1)ウ 「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。 【主】 積極的に文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価し、学習の見直しをもって考えたことなどを伝えようとしている。	中2『映像作品の表現を考える』
9	2	知識・技能 読むこと 実用文を読もう ～文章の種類と特徴について理解する～	〔知識及び技能〕(1)ア 第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れることができる。 〔知識及び技能〕(1)ウ 文章の種類とその特徴について理解を深めることができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕C(1)ア 文章の種類を踏まえて、論理の展開の仕方などを捉えることができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	実用的な文章を読み、実生活への生かし方を考える活動 C(2)ウ	実用文を読む 漢字の広場3 異字同訓	○効果的な「お知らせ」の方法について、身のまわりの「お知らせ」の文章を探して読み、文章によってどのような特徴があるのかを調べる。 ・異字同訓の理解	【知・技】(1)ア 第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。 【知識・技能】(1)ウ 文章の種類とその特徴について理解を深めている。 【思考・判断・表現】C(1)ア 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理の展開の仕方などを捉えている。 【主】 積極的に文章の種類とその特徴について理解し、これまでの学習を生かして実生活への生かし方を考えようとしている。	



月	指導時間数				単元名	単元の目標	単元で扱う言語活動の例	単元で扱う教材名	○主な学習活動・学習内容	単元の評価規準	円滑な接続のための留意事項
10	4	2			知識・技能 読むこと 古典の一節を紹介しよう ～文章に表れているものの見方や考え方を捉える～	(知識及び技能) (3)イ 長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使うことができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕 C(1)イ 文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えることができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	古典を読み、批評したり、考えたことを伝え合ったりする活動 C(2)イ	旅への思い 一芭蕉と『おくのほそ道』一	○『旅への思い』を通読し、『おくのほそ道』や芭蕉について理解する。 ○歴史的仮名遣いに注意して『おくのほそ道』の文章をノートに書き写し、音読する。 ・文体の特徴の理解 ○『旅立ち』『平泉』『立石寺』のそれぞれに描かれた情景と芭蕉の心情について話し合う。 ・文章に表れているものの見方や考え方への自己の考えの形成 ○印象に残った句を引用し、句から想像したことも含めて内容を紹介する文章を書く。	【知・技】(3)イ 長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。 【思・判・表】C(1)イ 「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 【主】 粘り強く古典の一節を引用するなどして使い、今までの学習を生かして考えたことを伝えようとしている。	(社会科歴史的分野)
10	4	2			知識・技能 読むこと 鑑賞文を紹介しよう ～古典を読むことを通してその世界に親しむ～	(知識及び技能) (3)ア 歴史的背景などに注意して古典を読むことを通してその世界に親しむことができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕 C(1)エ 文章を読んで考えを広げたり深めたりして人間、社会、自然などについて自分の意見をもつことができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	和歌を読み、批評したり、考えたことを伝え合ったりする活動 C(2)イ	和歌の調べ 一万葉集・古今和歌集・新古今和歌集について、特徴や文学的価値について知るとともに、声に出して和歌を読んで、表現の特徴や言葉のリズムを味わう。 お気に入りの和歌を選び、歌の背景や情景をお気に入りの歌詞と比べて、作者のものの見方や感じ方を捉える。 ・文章における書き手の意図と表現の仕方との関わり ・歴史的背景 ○和歌の情景や心情、背景や作者などについてお気に入りの曲の歌詞と比べながら鑑賞文を書き、紹介し合う。 ・文章の形態、目的に合った効果的な体裁 ・作者の人となりの理解	【知・技】(3)ア 歴史的背景などに注意して古典を読むことを通してその世界に親しんでいる。 【思・判・表】C(1)エ 「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして人間、社会、自然などについて自分の意見をもっている。 【主】 粘り強く歴史的背景などに注意して古典を読むことを通してその世界に親しみ、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。		
10	3	2			知識・技能 読むこと 漢詩を朗読しよう ～古典を読むことを通してその世界に親しむ～	(知識及び技能) (3)ア 歴史的背景などに注意して古典を読むことを通してその世界に親しむことができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕 C(1)ウ 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価することができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	漢詩を読み、批評したり、考えたことを伝え合ったりする活動 C(2)イ	風景と心情 一漢詩を味わう一	○漢詩の形式を知り、二つの漢詩を読む学習の課題をもつ。 ・漢詩の形式 ・歴史的背景 ○書き下しや訓読のきまり、対句や韻を理解して二つの漢詩の内容や作者の思いを読み取る。 ○李白や杜甫について調べたり、漢詩を朗読したりして学習のまとめをする。 ・歴史的背景などに注意して古典を読み、その世界に親しむこと	【知・技】(3)ア 歴史的背景などに注意して古典を読むことを通してその世界に親しんでいる。 【思・判・表】C(1)ウ 「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。 【主】 粘り強く歴史的背景などに注意して古典を読むことを通してその世界に親しみ、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。	(社会科歴史的分野)
11	6	3			知識・技能 読むこと 近代の小説を紹介しよう ～読書の意義と効用について理解する～	(知識及び技能) (3)オ 自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕 C(1)ア 文章の種類を踏まえて論理や物語の展開の仕方などを捉えることができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	小説を読み、批評したり、考えたことを伝え合ったりする活動 C(2)イ	最後の一句	○『最後の一句』を読む。 ・文章を読むことを通して、そこに表れているものの見方や考え方から、人間、社会、自然などについて思いを巡らせること ○森鷗外と関連のある作家の作品を読み、読書紹介パネルを作成する。 ○読書紹介パネルを用いて、グループで紹介し合い、読んでみたい作品を選ぶ。 ・興味をもった作家の複数の作品を読み味わったり、幅広い分野の文章を読む機会をもったりすること ○作品解説や森鷗外についての資料を読み、改めて作品についてどのように考えたか話し合う。 ・読書の意義と効用の理解	【知識・技能】(3)オ 自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。 【思・判・表】C(1)ア 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて論理や物語の展開の仕方などを捉えている。 【主】 粘り強く読書の意義と効用について理解し、今までの学習を生かして考えたことを説明しようとしている。	学校図書館の活用 (社会科歴史的分野)

月	指導時間数				単元名	単元の目標	単元で扱う言語活動の例	単元で扱う教材名	○主な学習活動・学習内容	単元の評価規準	円滑な接続のための留意事項
11	3				読むこと 句会をしよう～表現の仕方について評価する～	(知識及び技能) (1)イ 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 (思考力、判断力、表現力) C(1)ウ 文章の構成や論理の展開 表現の仕方について評価することができる。 (学びに向かう力、人間性等) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	俳句を詠み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりする活動 C(2)イ	俳句の味わい	○『俳句の味わい』を通読し、それぞれの俳句の魅力について話し合う。 ・語句の用い方がどのような効果を生んでいるかなど、語句の選択や配列など書き手が行う表現上の工夫に注意して読むこと ○印象に残った句を選んで声に出して読んだりする。 ・俳句の形式・リズム・季語・句切れ等 ○「歳時記」を活用し様々な季語について知識を深めた上で 俳句を創作する。 ○句会の全体像をつかんだ上で句会を開催し、俳句の相互批評を行う。 ・表現の仕方の評価	【知・技】(1)イ 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思・判・表】C(1)ウ 「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。 【主】 進んで表現の仕方について評価し、学習課題に沿って批評したことを伝えようとしている。	
11	3	3			知識・技能 書きぞめ展に向けて練習しよう～毛筆～	(知識及び技能) (3)エ(7) 身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書くことができる。 (学びに向かう力、人間性等) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。		書き初めを書く	○お手本に忠実に視写する。 ○行書の特徴を理解し、字形を整え、文字の大きさ、配列、配置を意識して書く。 ・文字の効果的な書き方	【知・技】(3)エ(7) 身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書いている。 【主】 行書に調和する仮名の書き方を習得しようとしている。	
12	6				読むこと 未来の「希望」を伝え合おう～小説を通して人間や社会について考える～	(知識及び技能) (1)イ 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 (思考力、判断力、表現力等) C(1)ア 文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開の仕方などを捉えることができる。 (思考力、判断力、表現力等) C(1)エ 文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会などについて、自分の意見をもつことができる。 (学びに向かう力、人間性等) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	『故郷』やその他の魯迅作品を読み、考えたことを伝え合う活動 C(2)イ	故郷	○『故郷』を読み、話の展開や内容の大体をつかみ、初発の感想をグループで共有する。 ○過去と現在における「私」と「閩土」の思いを考える。 ○「私」が抱えている故郷の社会的な課題、「私」の「希望」を捉える。 ○作者や『故郷』の書かれた時代背景について知り、『故郷』に描かれた作者の思いを考える。 ○現代社会の課題について考える。 ・自分の意見の形成 ○現代社会の課題とこれからの社会への希望について考えたことを、発表資料としてタブレット型コンピュータで作成する。 ○友達にアドバイスを求めながら、必要に応じて内容を修正、改善する。 ○現代社会の課題とこれからの社会への希望についてグループ内で発表をする。 ○他者の考えを聞いて現代社会について考えたことを共有する。	【知・技】(1)イ 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思・判・表】C(1)ア 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開の仕方などを捉えている。 【思・判・表】C(1)エ 「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会などについて、自分の意見をもっている。 【主】 積極的に、人間、社会などについて自分の意見を持ち、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。	中2『夏の群列』 学校図書館の活用

月	指導時間数	単元名	単元の目標	単元で扱う 言語活動の例	単元で扱う 教材名	○主な学習活動・学習内容	単元の評価規準	円滑な接続のための 留意事項
12	3	書くこと  自己PR文を書こう ～自分の文章のよい点や改善点を見いだす～	〔知識及び技能〕(1)イ 慣用句などについて理解を深め、話や文章の中で使い、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 〔知識及び技能〕(3)ウ 時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解することができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕B(1)オ 論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすことができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	情報を編集して文章にまとめるなど、伝えたいことを整理して書く活動 B(2)イ	自己PR文を書く  言葉の小窓3 言葉(解説)3 慣用句・ことわざ	○パンフレットや募集要項、ホームページから、進学したい上級学校や就職したい企業の求める人材を確認する。 ○その項目に応じて、エピソードを選ぶ。 ○構成や表現の仕方に注意して、自己PR文を書く。 ・ことわざ、慣用句の活用 ○求める人材に応じた文章となっているか読み直し、修正する。 ○グループで自己PR文を読み合い、題材や構成、表現の工夫について話し合う。 ・自分の文章のよい点や改善点の理解	【知・技】(1)イ 慣用句などについて理解を深め、話や文章の中で使い、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【知識・技能】(3)ウ 時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解している。 【思・判・表】B(1)オ 「書くこと」において、論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。 【主】 粘り強く自分の文章のよい点や改善点を見だし、学習課題に沿って伝えたいことを整理して書こうとしている。	中2『根拠をもとに意見文を書く』
12	4	話すこと ・ 聞くこと  スピーチしよう ～自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫する～	〔知識及び技能〕(1)イ 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕A(1)ウ 場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	スピーチとして自分の考えを話したり、それらを聞いて質問したり評価などを述べたりする活動 A(2)ア	表現の工夫を評価してスピーチをする  言葉と社会1 コミュニケーションの場を考える一 場に応じた表現や話題一  漢字の広場4 四字熟語	○スピーチの目的やスピーチする相手を理解した上で中学校生活を振り返るためのスピーチ内容について考える。 ・場に応じた表現や話題 ○自分の考えを「誰に対して」「どのような場所で」「どのような言葉で」「どのように」伝えるかなどを想定して、スピーチ原稿を作成する。 ・自分の考えの形成 ・表現の工夫 ・四字熟語等の活用 ○場面を想定した上でスピーチをする。 ・表現の工夫 ○スピーチをお互いに評価し合い、表現の改善に生かす。	【知識・技能】(1)イ 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思・判・表】A(1)ウ 「話すこと・聞くこと」において、場面の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫している。 【主】 積極的に場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫し、学習課題に沿って自分の考えを話そうとしている。	中2『観点を明確にして伝える』 (特別活動)

月	指導時間数				単元名	単元の目標	単元で扱う言語活動の例	単元で扱う教材名	○主な学習活動・学習内容	単元の評価規準	円滑な接続のための留意事項
12	1		1		書くこと  「2学期の国語学習を振り返ろう」	(知識及び技能) (1)ア 第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れることができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕 B(1)イ 文章の種類を選択し多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて文章の構成を工夫することができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	2学期の各単元の振り返りを文章にまとめるなど、伝えたいことを整理して書く活動 B(2)イ		○2学期の各単元を振り返り、自己評価をしたことを基に、文章にする。 ・初めに自分の意見を述べ、それを裏付ける事実を示し、自分の意見の正当性、妥当性を示す書き方を基本として、論理の展開を工夫して書くこと ・学年別漢字配当表に示されている漢字について文や文章の中で使い慣れ、適切に使用すること	【知・技】(1)ア 第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。 【思・判・表】 B(1)イ 「書くこと」において、文章の種類を選択し多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて文章の構成を工夫している。 【主】 積極的に自分の考えが伝わる文章になるように工夫し、今までの学習を生かして文章を書こうとしている。	
					書くこと  わたしたちができることを考えよう ～自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫する～	(知識及び技能) (2)ア 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕 B(1)ウ 「書くこと」において表現の仕方考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫することができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	関心のある事柄について批評するなど、自分の考えを書く活動 B(2)ア	持続可能な未来を創るために一人間の生命・存在を考える  生命とは何か  地球は死にかかっている  水の星	○「生命」の定義を考える。 ○「さまざまな技術は進歩しているのに、解決しない問題が多いのはなぜか」について話し合う。 ○「未来に何を残したいか」ということについて自分の考えを書く。 ・文章の工夫の仕方	【知・技】(2)ア 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 【思・判・表】 B(1)ウ 「書くこと」において表現の仕方考えたり資料を適切に引用したりするなど自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫している。 【主】 粘り強く自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫し、学習課題に沿って自分の考えを書こうとしている。	
					話すこと・聞くこと  討論しよう ～合意形成に向けて考えを広げたり深めたりする～	(知識及び技能) (1)エ 歌謡などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使うことができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕 A(1)エ 話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現の仕方を評価して、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕 A(1)オ 進行の仕方を工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりすることができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	互いの考えを生かしながら議論や討論をする活動 A(2)イ	「対話力」とは何か  意見を共有しながら話し合う  言葉と社会2 自分の意見を述べるとき 一言の力と裁判	○環境問題や資源の有観性について、自分が興味・関心をもっていることを具体的に挙げる。 ○『「対話力」とは何か』を参考にし、グループでお互いの意見を出し合い、共通点や相違点を整理し、グループで意見をまとめる。 ・合意形成に向けた考えの広げ方や深め方 ○グループでまとめた意見をクラスに向けて発表する。他のグループの意見を参考にしながら、持続可能な社会の実現に向けてできることについて、クラスの多くの人が納得できる結論を考える。 ・相手の考えの評価	【知識・技能】(1)エ 歌謡などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使っている。 【思・判・表】 A(1)エ 「話すこと・聞くこと」において、話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現の仕方を評価して、自分の考えを広げたり深めたりしている。 【思・判・表】 A(1)オ 「話すこと・聞くこと」において、進行の仕方を工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。 【主】 積極的に合意形成に向けて考えを広げたり深めたりし、学習の見直しをもって討論しようとしている。	中2『相違点を明確にして聞く』 (道徳科 B相互理解、寛容)

月	指導時間数				単元名	単元の目標	単元で扱う言語活動の例	単元で扱う教材名	○主な学習活動・学習内容	単元の評価規準	円滑な接続のための留意事項
1	4			4	書くこと 作品集を作ろう ～目的に応じて文章を整える～	〔知識及び技能〕(2)ア 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕B(1)ア 目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にすることができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕B(1)エ 目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えることができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	情報を編集して文章にまとめるなど、伝えたいことを整理して書く活動 B(2)イ	情報をまとめて作品集を作る	○中学校で書いた作品を集め、作品集のテーマを決める。 ○作品集の構成を決める。 ○作品の並べ方を編集する。 ・文章の整え方 ○表紙や背表紙などの工夫をして製本する。 ○互いに読み合う。 ・編集の意図や方法、編集結果	〔知・技〕(2)ア 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 【思・判・表】B(1)ア 「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。 【思考・判断・表現】B(1)エ 「書くこと」において、目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えている。 【主】 積極的に目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整え、学習の見直しをもって整理して書くこととしている。	中1『読み手を意識して報告文を整える』
2	4	2		2	知識・技能 自分の読書生活を振り返ろう ～読書の意義と効用について理解する～	〔知識及び技能〕(1)イ 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、四字熟語についての理解を深め、話や文章の中で使うとともに、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 〔知識及び技能〕(3)オ 自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕C(1)エ 文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	小説を読み、考えたことを伝え合う活動 C(2)イ	パースデイ・ガール	○『パースデイ・ガール』、『青春の歌』を読んで、互いの感想を交流する。 ○他の小説や歌集を読み、内容や感想を伝え合う。 ○『読書記録』などで、今までの読書を振り返る。 ・読書の意義と効用についての理解	〔知・技〕(1)イ 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、四字熟語についての理解を深め、話や文章の中で使うとともに、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【知識・技能】(3)オ 自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。 【思・判・表】C(1)エ 「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 【主】 粘り強く読書の意義と効用について理解し、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。	学校図書館の活用
2	2	2			知識・技能 中学校文法教室を振り返ろう	〔知識及び技能〕(1)ウ 話や文章の種類とその特徴について理解を深めることができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕B(1)イ 文章の種類を選択し多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて文章の構成を工夫することができる。 〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。		文法的に考える	○通用修飾語の働きについて「課題」を通して理解を深め、日常の言葉を文法的に考える。 ・通用修飾語のはたらき ○助詞の「は」のはたらきや打ち消しの表現について「課題」を通して、日常の言葉を文法的に考える。 ・文法的な考え方	〔知・技〕(1)ウ 話や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 【思・判・表】B(1)イ 「書くこと」において、文章の種類を選択し多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて文章の構成を工夫している。 【主】 多くの文例を基に、文の組み立てや通用修飾語の働きについて理解を深めようとしている。	

月	指導時間数					単元名	単元の目標	単元で扱う言語活動の例	単元で扱う教材名	○主な学習活動・学習内容	単元の評価規準	円滑な接続のための留意事項
3	1			1		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">書くこと</div> <p>「3学期の国語学習を振り返ろう」</p>	<p>〔知識及び技能〕(1)ア 第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れることができる。</p> <p>〔思考力、判断力、表現力等〕B(1)イ 文章の種類を選択し多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて文章の構成を工夫することができる。</p> <p>〔学びに向かう力、人間性等〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。</p>	3学期の各単元の振り返りを文章にまとめるなど、伝えたいことを整理して書く活動 B(2)イ		<p>○3学期及び第3学年の各単元を振り返り、自己評価をしたことを基に、文章にする。</p> <p>・初めに自分の意見を述べ、それを裏付ける事実を示し、自分の意見の正当性、妥当性を示す書き方を基本として、論理の展開を工夫して書くこと</p> <p>・学年別漢字配当表に示されている漢字について文や文章の中で使い慣れ、適切に使用すること</p>	<p>【知・技】(1)ア 第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。</p> <p>【思・判・表】B(1)イ 「書くこと」において、文章の種類を選択し多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて文章の構成を工夫している。</p> <p>【主】 積極的に自分の考えが伝わる文章になるように工夫し、今までの学習を生かして文章を書こうとしている。</p>	
計	##	16	10	12	24	43						

【年間授業時数 内訳】

国語〔知識及び技能〕

知識及び技能 26時間  
(書写) (10)

国語〔思考力、判断力、表現力等〕

話すこと・聞くこと 12時間  
書くこと 24時間  
読むこと 43時間

国語合計 105時間



105時間

\* 年間指導計画表中の記号は、以下の意味を示す。

☆ 習得させる知識・概念や技能    ★ 言語能力の育成・活用にかかわる学習    ◆ 社会参画や伝統・文化、宗教にかかわる学習

◇ 人権・道徳教育にかかわる学習 (さ)さいたま市の地域資料・素材を生かす学習    ◎ 道徳の授業や他教科との関連

① 防災教育の視点

月	中項目	時数	単元名	学習内容	評価規準			年間指導計画作成上の留意点	円滑な接続のための留意事項
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
中1 4月	第1編 世界と日本の姿	8	世界の姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>地球儀や世界地図を活用して、大陸と海洋の形状や分布図を取り上げ、地球規模での位置関係を捉えるための知識と技能を身に付けさせる。</li> <li>目的に応じてさまざまな世界地図が考察されていることを取り上げ、その特色を地球儀との比較で理解させるとともに、さまざまな世界地図の適切な活用方法を身に付けさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界の国や地域の位置を緯度・経度や他地域との関係などから適切に表現している。</li> <li>世界の国や地域の成り立ちを、位置や国境線、国旗などから多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>さまざまな地図の存在理由やその活用方法について、多面的・多角的に考察し、適切に表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地球儀や地図帳を含むさまざまな地図を意図的に活用し、世界を構成する大陸と海洋の分布、緯度と経度による位置関係、主な国々の名称と位置などを捉えようとしている。</li> <li>地球儀や地図、統計資料、国旗などから、世界の国や地域の違いについて関心をもち、意図的に考察しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界の地理的認識を深める際の座標軸を形成する。</li> <li>小学校において学習した世界の国に関する知識や関心を生かし、小学校と中学校の学習の接続を円滑にする。</li> <li>地球儀や地図帳を有効に活用しながら、目的に応じた様々な地図を扱うようにする。</li> <li>学習全体を通して、大まかに世界地図が描けるようにする。</li> <li>理科：第1分野・大地の成り立ちと変化</li> <li>道徳：D自然愛護</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の国土と世界の国々</li> <li>日本を中心とした世界地図や白地図、地球儀を活用して、日本やおもな世界の国々、大陸や海洋の位置などを学習する。また、緯度や経度を意識する学習をする。</li> <li>学習の最初に、何も見ないでメンタルマップを描いたり、白地図に知っている国名や地名を書き込んだりする作業を行い、既習知識のレディネスの状況を確認する。</li> <li>小学校での学習を発展させ、大陸や海洋、おもな国の位置と名称を球面上の正確な位置で把握できるように、地球儀や様々な図法の地図を利用する学習を充実させる。</li> </ul>	
			日本の姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の位置</li> <li>日本と世界との時差</li> <li>日本の領域の特色</li> <li>北方領土・竹島と尖閣諸島 領土をめぐる問題をかかえる島々</li> <li>日本の都道府県</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界的な視野から日本の位置および領域の特色を理解している。</li> <li>標準時と時差の仕組みについて理解し、その知識を身に付けている。</li> <li>都道府県と県庁所在地の名称と位置を地図上で確実に身に付けている。</li> <li>地球儀や世界地図を活用して、簡単な時差の計算を適切に行っている。</li> <li>日本の地域構成を、地図を活用して適切に捉えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の位置と領域の特色を、世界的な視野から多面的・多角的に考察し、簡単な説明文にまとめるなど適切に表現している。</li> <li>標準時と時差の仕組みを通して、地球上における日本と世界各地との位置関係を捉えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の国土に対する関心を高め、日本の位置と領域、都道府県の構成と地域区分を意図的に追究し、日本の地域構成を大まかに捉えようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の地理的認識を深める際の座標軸を形成する。</li> <li>小学校で学習した内容を整理し、確認しながら学習を進める。</li> <li>地球儀や地図帳を有効に活用し、世界的視野から国土の位置や領域の特色を押さえる。(海洋国家としての特色、領土領域)</li> <li>学習全体を通して、大まかに日本地図が描けるようにする。</li> <li>数学：正の数と負の数の必要性和意味を理解すること</li> <li>道徳：C伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度</li> <li>D自然愛護</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>わたしたちの埼玉県</li> <li>日本の国土と世界の国々</li> <li>47都道府県の位置と名称については、小学校修了時まで身に付けている。また、我が国の位置と領土、国土の特色のあらましを地図や地球儀を活用して調べて理解している。</li> <li>日本の位置や領域、都道府県の名称と位置などのレディネス調査を実施し、生徒の既習知識がどの程度定着しているのか確認する。</li> <li>小学校での既習知識を生かしながら、日本の位置や領域を緯度や経度で表したり、球面上での位置などもとらえることができたように発展的な指導を行う。</li> </ul>

\* 年間指導計画表中の記号は、以下の意味を示す。

☆ 習得させる知識・概念や技能 ★ 言語能力の育成・活用にかかわる学習 ◆ 社会参画や伝統・文化、宗教にかかわる学習

◇ 人権・道徳教育にかかわる学習 (さ)さいたま市の地域資料・素材を生かす学習 ◎ 道徳の授業や他教科との関連

防 防災教育の視点

月	中項目	時数	単元名	学習内容	評価規準			年間指導計画作成上の留意点	円滑な接続のための留意事項
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
			<b>目標</b>	・人々の生活と自然環境との関係に着目させて、さまざまな条件の下で工夫した生活を営んでいることを理解させるとともに、各地域で育まれた多様な文化を尊重する態度を身に付けさせる。 ・場所の違いに着目させて、人々の衣食住の特徴から生活の特色を捉え、自然及び社会的条件との関係について考察したことを表現させる。					
中1	第2編 世界のさまざまな地域	5	11	・世界各地の人々の生活と環境 ○雪と氷の中で暮らす人々 ○寒暖の差が激しい土地に暮らす人々 ○温暖な土地に暮らす人々 ○乾燥した土地に暮らす人々 ○初夏の島で暮らす人々 ○標高の高い土地に暮らす人々 ○世界に見られるさまざまな気候 ○人々の生活に根づく宗教	●世界各地の人々の生活や環境が多様で、その暮らしが変化していくのは、自然及び社会的条件によることを理解している。 ●世界各地の多様な生活や文化、自然環境などについて、地球儀や世界地図等を用いて示すことができる技能を身に付けている。 ●写真や統計資料などから、自然及び社会的条件の違いに関する情報を適切に選択し、世界各地の人々の生活と環境の多様性について読み取ったり、図表などにまとめている。 ●世界各地の人々の生活について過去と現在を比較し、その変容の様子を写真や映像資料から読み取っている。 ●世界各地に広がるさまざまな生活の姿を調べるための資料として、地図帳を適切に活用する方法を身に付けている。 ●世界各地のさまざまな宗教やその広がり、宗教と関わりの深い生活などについて大まかに把握し、具体的に説明できる知識を身に付けている。 ●世界的に広がる主な宗教の分布の様子を主題図から、気候の違いを雨温図などから読み取っている。	●世界各地の人々の生活と環境の多様性について、自然及び社会的条件と関連付けて、自分たちの生活と比較しながら考察し、その過程と結果を適切に表現している。 ●同じ地域における過去と現在の生活の比較から、その変容がどのような条件によるのかを考察し、その過程や結果をまとめ、発表などで適切に表現している。	●世界各地の人々の生活と環境の多様性について、より良い社会の創造のためにそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 ●世界各地の人々の生活の多様性を生み出している自然及び社会的条件に着目し、課題を見出し解決しようとしている。 ●世界各地の人々の多様な生活の営みや文化を尊重する態度を身に付けている。	・世界地理学習への興味・関心が高まるよう、各種の視聴覚教材を活用する。 ☆世界各地の人々の生活の様子を、衣食住の特色や生活と宗教とのかわりを中心に考察できるようにする。 ・自然的条件の違いだけではなく、宗教その他の社会的条件による生活の違いが見られることにも着目する。 ・一部の事例を過度に一般化した学習にならぬように留意する。 ◆世界の主な宗教の分布については、歴史的分野の学習とも関連付けて行う。 ◇他地域の人々の生活を理解する際に、自分たちの生活を絶対視してとらえてはいけないということに留意し、多様な文化を尊重する態度を養う。 ◎道徳：C国際理解、国際親善 D自然愛護 ◎技家：日常食の調理と地域の食文化、生活や産業の中で利用されている技術	小5 自然条件と人々の暮らし 国土の環境が人々の生活や産業と密接に関連をもっていることを高地の生活(長野県野辺山高原)やあたたかい土地の生活(沖縄県那覇市)を例として具体的に考え、表現する学習を行った。 ○学習の最初に、自然的な環境との関係が見られる日本の景観写真を提示して、生活に見られる環境の影響をどの程度読み取れるのか確認した上で、同様の視点で選んだ世界の景観写真を読み取らせる。 ○小学校では、自然的な環境と生活との関係を中心に学習しているので、生徒の考え方が自然環境決定論にならないように、社会的な環境や生活の変化などにも十分に着目した学習ができるように配慮する。



\* 年間指導計画表中の記号は、以下の意味を示す。

☆ 習得させる知識・概念や技能 ★ 言語能力の育成・活用にかかわる学習 ◆ 社会参画や伝統・文化、宗教にかかわる学習

◇ 人権・道徳教育にかかわる学習 (さ)さいたま市の地域資料・素材を生かす学習 ◎ 道徳の授業や他教科との関連

① 防災教育の視点

月	中項目	時数	単元名	学習内容	評価規準			年間指導計画作成上の留意点	円滑な接続のための留意事項
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
			<b>目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界の諸地域に関する統計資料の分析、雨温図・主題図・写真の読み取りや比較・関連付けなどの地理的技能を身に付けさせる。</li> <li>世界の諸地域で見られる地球的課題を追究していく過程において、その地域的特色と課題を多面的・多角的に考察し、その成果をさまざまな手法で表現させる。</li> </ul>					
	第2編 世界のさまざまな地域		7 アジア州 主題:急速に進む成長と変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○アジア州をながめて</li> <li>○アジアNIESの成長</li> <li>○巨大な人口を支える中国</li> <li>○都市化が進む東南アジア</li> <li>○急速に成長する南アジア</li> <li>○資源が豊富な西アジア・中央アジア</li> <li>○アジア州の学習をまとめよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●アジア州について、変化に富む自然環境と、都市化が急速に進む様子を概観し、それぞれの基礎的・基本的な知識を理解している。</li> <li>●「アジア州について、「経済成長と人口・居住・都市問題」に関する探究課題を基に地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。</li> <li>●アジア州の人口増加、都市と農村の変化、国家間の結び付きなどについて表した主題図や写真などの資料を収集している。</li> <li>●収集した資料から、アジア州の地域的特色について有用な情報を適切に選択して、それを基に読み取ったり、図表などにまとめたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●広範なアジア州の経済成長の過程を、地域ごとに理解するとともに、州全体の地域的特色を考察している。</li> <li>●アジア州の経済が成長してきた理由について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日常よく見かけるアジア製品などから、アジア州と自分たちの生活との関わりに関心を持ち、主体的に調べている。</li> <li>●アジア州の自然環境、産業、生活・文化、歴史的背景などの特色について概観する中で、特に経済成長に関心を持ち、設定された探究課題を主体的に追究している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆州ごとに様々な面から地域的特色を大観させ、その上で主題を設けて地域的特色を理解させるようにする。</li> <li>・主題については、各州で異なるものを設定するようにし、州の地域的特色が明確となり、かつ我が国の国土認識を深める上で効果的なものとなるように工夫する。</li> <li>・地球的課題については、SDGsの視点を取り入れ、人類全体で取り組まなければならない課題について取り上げる。</li> <li>◇国際的視野に立ち、世界の各州に暮らす人々の生活の様子を差別や偏見をもつことなく、理解できるようにする。</li> <li>◎道徳:C国際理解、国際親善</li> <li>◎技法:日常食の調理と地域食文化、生活や産業の中で利用されている技術</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小5 日本の国土と世界の国々</li> <li>これからの食料生産</li> <li>日本の工業生産と貿易・運輸</li> <li>我が国の国土の環境保全や自然災害とともに生きることについて調べてまとめる学習を行った。また、わたしたちの生活を支えている農業、水産業、工業運輸、貿易などの産業の役割について、具体的な事例を通して調べ、まとめる学習を行った。</li> <li>○「盛んな農業や工業の特色」「開発の進展と環境問題」を主題として取り上げる際には、小学校で学習した我が国の産業や環境保全の内容を関連付けながら、理解を深めさせる。</li> <li>○産業や貿易の学習で活用した地図やグラフ等の資料の内容をあらかじめ把握しておき、中学校で活用する資料が高度になりすぎないように配慮する。</li> </ul>
			6 ヨーロッパ州 主題:国どうしの統合による変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ヨーロッパ州をながめて</li> <li>○ヨーロッパ統合の動き</li> <li>○持続可能な社会に向けて</li> <li>○EUがかかえる課題</li> <li>○ヨーロッパ州の学習をまとめよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ヨーロッパ州について、民族を基にした小国が多いこと、地域により異なる農業が盛んなこと、世界経済における地位が低下してきた様子を概観し、それぞれの基礎的・基本的な知識を理解している。</li> <li>●ヨーロッパ州について、「国家間の統合による変化」に関する探究課題を基に地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。</li> <li>●ヨーロッパ州について、国境をこえた交通網や通商・買い物、共通通貨など、統合の成果に関するさまざまな資料を収集している。</li> <li>●収集した資料から、ヨーロッパ州の地域的特色について有用な情報を適切に選択して、それを基に読み取ったり、図表などにまとめたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ヨーロッパ州の国家間の統合による変化について、背景にあった文化の共通性や統合による人々の生活の変化などと関連付けて考察している。</li> <li>●ヨーロッパ州で国家間の統合が進められてきた理由や、統合が可能となった理由について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日常的に用いられるあいさつや、生活と深く結び付いているキリスト教の習慣などから、ヨーロッパ州の文化に関心を持ち、主体的に調べている。</li> <li>●ヨーロッパ州の自然環境、産業、生活・文化、歴史的背景などの特色について概観する中で、特に国家間の統合に関心を持ち、設定された探究課題を主体的に追究している。</li> </ul>		

\* 年間指導計画表中の記号は、以下の意味を示す。

☆ 習得させる知識・概念や技能 ★ 言語能力の育成・活用にかかわる学習 ◆ 社会参画や伝統・文化、宗教にかかわる学習

◇ 人権・道徳教育にかかわる学習 (さ)さいたま市の地域資料・素材を生かす学習 ◎ 道徳の授業や他教科との関連

防 防災教育の視点

月	中項目	時数	単元名	○学習内容	評価規準			年間指導計画作成上の留意点	円滑な接続のための留意事項
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
中1 11月	第2編 世界のさまざまな地域	4	アフリカ 主題:特定の生産品による生活からの変化	○アフリカ州をながめて ○アフリカの産業と新たな開発 ○発展に向けた課題 ○アフリカ州の学習をまとめよう	● アフリカ州について、広大な砂漠をもつ自然環境、古い歴史と伝統的な文化、農業や鉱業を中心とした産業などの特色を概観し、それぞれの基礎的・基本的な知識を理解している。 ● アフリカ州について、「食料生産や経済発展のための国際的な支援」に関する探究課題を基に地域の特色を理解し、その知識を身に付けている。 ● アフリカ州の農業と鉱業の特色や問題点などについて、さまざまな資料を収集している。 ● 収集した資料から、アフリカ州の地域的特色について有用な情報を適切に選択して、それを基に読み取ったり、図表などにまとめたりしている。	● アフリカ州の国々が国際的な支援を受けている背景や過程について、多面的・多角的に考察し、その結果を適切に表現している。 ● アフリカ州の国々が必要としている国際的な支援について、産業の仕組み、民族紛争、人口増加などの問題と関連付けて考察している。	● カカオやレアメタルなど、アフリカ州の生産品と日本人の日常生活とのつながりに関心をもち、主体的に調べている。 ● アフリカ州の自然環境、産業、生活・文化、歴史的背景などの特色について概観する中で、アフリカ州が生産物の開発や輸出のための技術を外国に頼っていることに関心をもち、設定された探究課題を主体的に追究している。	☆州ごとに様々な面から地域的特色を大観させ、その上で主題を設けて地域的特色を理解させるようにする。 ・主題については、各州で異なるものを設定するようにし、州の地域的特色が明確となり、かつ我が国の国土認識を深める上で効果的なものとなるように工夫する。 ・地球的課題については、SDGsの視点を取り入れ、人類全体で取り組まなければならない課題について取り上げる。 ◇国際的視野に立ち、世界の各州に暮らす人々の生活の様子を差別や偏見をもつことなく、理解できるようにする。 ◎道徳: C国際理解、国際親善 ◎技家: 日常食の調理と地域の食文化、生活や産業の中で利用されている技術	小5 日本の国土と世界の国々 これからの食料生産 日本の工業生産と貿易・運輸 我が国の国土の環境保全や自然災害とともに生きることについて調べてまとめる学習を行った。 また、わたしたちの生活を支えている農業、水産業、工業運輸、貿易などの産業の役割について、具体的な事例を通して調べ、まとめる学習を行った。 ○「盛んな農業や工業の特色」「開発の進展と環境問題」を主題として取り上げる際には、小学校で学習した我が国の産業や環境保全の内容を関連付けながら、理解を深めさせる。 ○産業や貿易の学習で活用した地図やグラフ等の資料の内容をあらかじめ把握しておき、中学校で活用する資料が高度になりすぎないように配慮する。
		5	北アメリカ 主題:盛んな農業や工業の特色	○北アメリカ州をながめて ○巨大な農業生産力と移民 ○巨大な工業生産力 ○新しい産業と生活文化 ○北アメリカ州の学習をまとめよう	● 北アメリカ州について、大陸と島々からなる自然環境、新しい文化、産業と経済の地域差などの特色を概観し、それぞれの基礎的・基本的な知識を理解している。 ● 北アメリカ州について、「経済格差と国際間の人口移動」に関する探究課題を基に地域の特色を理解し、その知識を身に付けている。 ● 北アメリカ州、特にアメリカ合衆国の大規模で合理的な農業の特色や、巨大な工業生産力の様子について、主題図や写真などのさまざまな資料を収集している。 ● 収集した資料から、北アメリカ州の地域的特色について有用な情報を適切に選択して、それを基に読み取ったり図表などにまとめたりしている。	● 北アメリカ州、特にアメリカ合衆国が発展している様子について、多面的・多角的に考察し、その要因や影響を適切に表現している。 ● 北アメリカ州、特にアメリカ合衆国が発展している様子を、日本や身近な地域との違いや関連に注目して、考察している。	● 日本にも広がるショッピングセンターやファストフード店、身の回りに多く見られる米国製品、スポーツの衛星中継や映画館の上映作品など、世界に広がるアメリカ文化に関心をもち、主体的に調べている。 ● 北アメリカ州の自然環境、産業、生活・文化、歴史的背景などの特色について概観する中で、特にアメリカ合衆国の発展と移民との関連に関心をもち、設定された探究課題を主体的に追究している。		

\* 年間指導計画表中の記号は、以下の意味を示す。

☆ 習得させる知識・概念や技能   ★ 言語能力の育成・活用にかかわる学習   ◆ 社会参画や伝統・文化、宗教にかかわる学習

◇ 人権・道徳教育にかかわる学習 (さ)さいたま市の地域資料・素材を生かす学習   ◎ 道徳の授業や他教科との関連

① 防災教育の視点

月	中項目	時数	単元名	○学習内容	評価規準			年間指導計画作成上の留意点	円滑な接続のための留意事項
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
中 1 12 月	第 2 編 世 界 の さ ま ざ ま な 地 域	4	南アメリカ 主題:開発の 進展と環境 問題	○南アメリカ州をながめて ○自然環境と共生する生活 ○開発の進行と影響 ○南アメリカ州の学習をまとめよう	● 南アメリカ州について、南北に長い大陸の自然環境、先住民とヨーロッパ人との混じり合った文化、経済の発展と森林の減少などの特色を概観し、それぞれの基礎的・基本的な知識を理解している。 ● 南アメリカ州について、「開発と環境保全」に関する探究課題を基に地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。 ● 南アメリカ州の自然環境や開発、環境問題の特色について、主題図や写真などのさまざまな資料を収集している。 ● 収集した資料から、南アメリカ州の地域的特色について有用な情報を適切に選択して、それを基に読み取ったり図表などにまとめたりしている。	● 南アメリカ州の開発と環境保全の問題について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ● 南アメリカ州の課題解決に向けて、自然と共生する生活と、開発による経済発展を両立させる、持続可能な開発という観点から考察している。	● 南アメリカ州の各地域で営まれてきた伝統的な生活に関心をもち、自然環境との共生という観点から主体的に調べている。 ● 南アメリカ州の自然環境、産業、生活・文化、歴史的背景などの特色について概観する中で、特に開発の進展と環境保全の問題に関心をもち、設定された探究課題を主体的に追究している。	☆州ごとに様々な面から地域的特色を大観させ、その上で主題を設けて地域的特色を理解させるようにする。 ・主題については、各州で異なるものを設定するようにし、州の地域的特色が明確となり、かつ我が国の国土認識を深める上で効果的なものとなるように工夫する。 ・地球的課題については、SDGsの視点を取り入れ、人類全体で取り組まなければならない課題について取り上げる。 ◇国際的視野に立ち、世界の各州に暮らす人々の生活の様子を差別や偏見をもつことなく、理解できるようにする。 ◎道徳: C国際理解、国際親善 ◎技家: 日常食の調理と地域の食文化、生活や産業の中で利用されている技術	小5 日本の国土と世界の国々 これからの食料生産 日本の工業生産と貿易・運輸 我が国の国土の環境保全や自然災害とともに生きることについて調べてまとめる学習を行った。また、わたしたちの生活を支えている農業、水産業、工業運輸、貿易などの産業の役割について、具体的な事例を通して調べ、まとめる学習を行った。 ○「盛んな農業や工業の特色」「開発の進展と環境問題」を主題として取り上げる際には、小学校で学習した我が国の産業や環境保全の内容を関連付けながら、理解を深めさせる。 ○産業や貿易の学習で活用した地図やグラフ等の資料の内容をあらかじめ把握しておき、中学校で活用する資料が高度になりすぎないように配慮する。
		4	オセアニア 主題:強まる アジアとの結 び付き	○オセアニア州をながめて ○貿易を通じた他地域とのつながり ○人々による他地域とのつながり ○オセアニア州の学習をまとめよう	● オセアニア州について、乾燥する大陸と島々からなる自然、先住民の文化、貿易相手国の変化などの特色を概観し、それぞれの基礎的・基本的な知識を理解している。 ● オセアニア州について、「他地域との結び付きの変化と多文化社会の形成」に関する探究課題を基に地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。 ● オセアニア州の国々の農業や鉱業、観光業の特色について、主題図や写真などのさまざまな資料を収集している。 ● 収集した資料から、オセアニア州の地域的特色について有用な情報を適切に選択して、それを基に読み取ったり図表などにまとめたりしている。	● オセアニア州がアジア州と結び付きを深めてきた理由について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ● オーストラリアにおける、移民や先住民に対する政策の転換、移民の出身州の移り変わりに関して、多文化社会の形成という観点から考察している。	● 世界各地から多くの観光客が訪れ、日本人にも人気の観光地となっているオセアニア州の国々に関心をもち、主体的に調べている。 ● オセアニア州の自然環境、産業、生活・文化、歴史的背景などの特色について概観する中で、特にアジア州との結び付きに関心をもち、設定された探究課題を主体的に追究している。		

\* 年間指導計画表中の記号は、以下の意味を示す。

☆ 習得させる知識・概念や技能    ★ 言語能力の育成・活用にかかわる学習    ◆ 社会参画や伝統・文化、宗教にかかわる学習

◇ 人権・道徳教育にかかわる学習    (さ)さいたま市の地域資料・素材を生かす学習    ◎ 道徳の授業や他教科との関連

(防) 防災教育の視点

月	中項目	時数	単元名	学習内容	評価規準			年間指導計画作成上の留意点	円滑な接続のための留意事項
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
中2 6月		6	地域調査の手法  (防)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○調査の準備</li> <li>○野外観察・聞き取り調査</li> <li>○資料を使った調査</li> <li>○調査のまとめ</li> <li>○調査結果の発表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●読図、野外観察、聞き取り調査、文献調査などの地域調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方の基礎を理解している。</li> <li>●地形図について、縮尺、方位、等高線、地図記号などに着目して、地域の様子を大観できる。</li> <li>●主題図や景観写真、統計など身近な地域に関するさまざまな資料を収集し、それらの中から有用な情報を選択して、地域の特色などを読み取っている。</li> <li>●調査目的や用途に適した地図や図表を用いて分かりやすくまとめ、発表している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●身近な地域の特徴などに着目して、適切な調査テーマを設定している。</li> <li>●調査を適切に行い、その結果を多面的・多角的に考察し、表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●身近な地域の調査に対する関心を高め、意欲的に情報を収集し、調査に取り組んでいる。</li> <li>●身近な地域の特色や課題に関心をもち、よい良い地域の在り方について関心をもっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆地域調査に当たっては、対象地域は学校周辺とし、主題は学校所在地の事情を踏まえて、防災、人口の偏在、産業の姿容、交通の発達などの事象から、適切に課題を設定し、観察や野外調査、文献調査などの実施方法を学ぶ。</li> <li>○新聞を活用した教育活動との関連</li> <li>☆大縮尺地図や統計、その他の資料を活用する技能を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小3 わたしたちのまちさいたま市</li> <li>小4 自然災害からくらしを守る 学校の周りの地域や市の特色のある地形や土地利用の様子などを観察や聞き取りなどを行いながら調査し、その結果を絵地図や大縮尺の白地図などにまとめる学習を行った。</li> <li>また、地域社会における災害及び事故の防止について、見学をしたり資料を活用したりして調べた。</li> <li>○小学校での観察や聞き取り調査などのフィールドワークを実施したり、大縮尺の地図を活用したりしたことを想起させ、直接経験地域の調査の方法について確認する。</li> </ul>
				<ul style="list-style-type: none"> <li>・「①自然環境」②「人口」③「資源・エネルギーと産業」④「交通・通信」の四つの項目を取り上げて、日本の国土の地域的特色と地域区分の方法や意義を理解させる。</li> <li>・①から④までの項目を踏まえて地域の共通点や差異、分布などに着目させて、日本の国土の地域区分や区分された地域の地域的特色を多面的・多角的に考察し、表現する力を身に付けさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日本の地形や気候の特色、海洋に囲まれた日本の国土の特色、自然災害と防災への取り組みなどを基に、日本の自然環境に関する特色を理解している。</li> <li>●少子高齢化の課題、国内の人口分布や過疎・過密問題などを基に、日本の人口に関する特色を理解している。</li> <li>●日本の資源・エネルギー利用の現状、国内の産業の動向、環境やエネルギーに関する課題などを基に、日本の資源・エネルギーと産業に関する特色を理解している。</li> <li>●国内や日本と世界との交通・通信網の整備状況、これを活用した陸上・海上輸送などの物流や人の往来などを基に、国内各地の結び付きや日本と世界との結び付きの特色を理解している。</li> <li>●①から④までの項目に基づき地域区分を踏まえ、日本の国土の特色を大観し理解している。</li> <li>●日本や国内地域に関する各種の主題図や資料を基に、地域区分をする技能を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●①から④までの項目について、それぞれの地域区分を、地域の共通点や差異、分布などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>●日本の地域的特色を他者に紹介する活動に対して、①から④までの項目に基づく地域区分などに着目して、それらに関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●①から④の項目について諸資料を読み取ったり、読み取った内容を関連付けたりして日本の地域的特色を理解する活動に粘り強く取り組んでいる。</li> <li>●日本の地域的特色と地域区分を他者に紹介する活動に対して、自己の学習をふり振り返りながら粘り強く追究しようとしている。</li> <li>●日本の地域的特色と地域区分について、より良い社会の実現を視野にそこで見られる課題に対して、自己の学習をふり振り返りながら主体的に追究しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各項目については、以下の点に特に留意する。</li> <li>☆世界的視野から、日本を1つの地域として取り上げ、その特色を大観する。</li> <li>★日本全体の視野から、大まかな国内の地域差に着目する。</li> <li>☆★の視点を通し、日本の地域的特色を多面的にとらえる。</li> <li>・自然災害時の関係機関の役割等については、東日本大震災などの事例を挙げ、その重要性について触れる。</li> <li>◎理科：第1分野・大地の成り立ちと変化</li> <li>◎技家：日常食の調理と地域の食文化、生活や産業の中で利用されている技術、エネルギー変換に関する技術を利用した製作品の設計・製作</li> <li>◎道徳：D自然愛護</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小4 わたしたちの埼玉県</li> <li>小5 日本の国土と世界の国々 これからの食料生産 日本の工業生産と貿易・運輸 自然災害とともに生きる国土の地形や気候の特色と生活や産業が密接に関連していることを学んだ後、わたしたちの生活を支えている農業、水産業、工業運輸、貿易などの産業の役割について、具体的な事例を通して調べ、まとめる学習を行った。</li> <li>また、国土の環境保全や自然災害の防止について調べてまとめる学習を行った。</li> <li>○小学校で学習した我が国の地形や気候の特色や産業、環境保全についての基礎的な知識を踏まえ、それを発展させる学習を設定する。</li> <li>○小学校の教科書等に参考資料として掲載されている地図やグラフ、小学校の授業では扱わなかった事例の資料などを活用した学習をする。</li> </ul>
中2 6・7・8月	第3編 日本のさまざまな地域	12	日本の地域的特色と地域区分  (防)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地形から見た日本の特色</li> <li>○気候から見た日本の特色</li> <li>○自然災害と防災・減災への取り組み</li> <li>○人口から見た日本の特色</li> <li>○資源・エネルギーから見た日本の特色</li> <li>○産業から見た日本の特色</li> <li>○交通・通信から見た日本の特色</li> <li>○日本を地域区分しよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日本の地形や気候の特色、海洋に囲まれた日本の国土の特色、自然災害と防災への取り組みなどを基に、日本の自然環境に関する特色を理解している。</li> <li>●少子高齢化の課題、国内の人口分布や過疎・過密問題などを基に、日本の人口に関する特色を理解している。</li> <li>●日本の資源・エネルギー利用の現状、国内の産業の動向、環境やエネルギーに関する課題などを基に、日本の資源・エネルギーと産業に関する特色を理解している。</li> <li>●国内や日本と世界との交通・通信網の整備状況、これを活用した陸上・海上輸送などの物流や人の往来などを基に、国内各地の結び付きや日本と世界との結び付きの特色を理解している。</li> <li>●①から④までの項目に基づき地域区分を踏まえ、日本の国土の特色を大観し理解している。</li> <li>●日本や国内地域に関する各種の主題図や資料を基に、地域区分をする技能を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●①から④までの項目について、それぞれの地域区分を、地域の共通点や差異、分布などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>●日本の地域的特色を他者に紹介する活動に対して、①から④までの項目に基づく地域区分などに着目して、それらに関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●①から④の項目について諸資料を読み取ったり、読み取った内容を関連付けたりして日本の地域的特色を理解する活動に粘り強く取り組んでいる。</li> <li>●日本の地域的特色と地域区分を他者に紹介する活動に対して、自己の学習をふり振り返りながら粘り強く追究しようとしている。</li> <li>●日本の地域的特色と地域区分について、より良い社会の実現を視野にそこで見られる課題に対して、自己の学習をふり振り返りながら主体的に追究しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各項目については、以下の点に特に留意する。</li> <li>☆世界的視野から、日本を1つの地域として取り上げ、その特色を大観する。</li> <li>★日本全体の視野から、大まかな国内の地域差に着目する。</li> <li>☆★の視点を通し、日本の地域的特色を多面的にとらえる。</li> <li>・自然災害時の関係機関の役割等については、東日本大震災などの事例を挙げ、その重要性について触れる。</li> <li>◎理科：第1分野・大地の成り立ちと変化</li> <li>◎技家：日常食の調理と地域の食文化、生活や産業の中で利用されている技術、エネルギー変換に関する技術を利用した製作品の設計・製作</li> <li>◎道徳：D自然愛護</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小4 わたしたちの埼玉県</li> <li>小5 日本の国土と世界の国々 これからの食料生産 日本の工業生産と貿易・運輸 自然災害とともに生きる国土の地形や気候の特色と生活や産業が密接に関連していることを学んだ後、わたしたちの生活を支えている農業、水産業、工業運輸、貿易などの産業の役割について、具体的な事例を通して調べ、まとめる学習を行った。</li> <li>また、国土の環境保全や自然災害の防止について調べてまとめる学習を行った。</li> <li>○小学校で学習した我が国の地形や気候の特色や産業、環境保全についての基礎的な知識を踏まえ、それを発展させる学習を設定する。</li> <li>○小学校の教科書等に参考資料として掲載されている地図やグラフ、小学校の授業では扱わなかった事例の資料などを活用した学習をする。</li> </ul>

\* 年間指導計画表中の記号は、以下の意味を示す。

☆ 習得させる知識・概念や技能 ★ 言語能力の育成・活用にかかわる学習 ◆ 社会参画や伝統・文化、宗教にかかわる学習

◇ 人権・道徳教育にかかわる学習 (さ)さいたま市の地域資料・素材を生かす学習 ◎ 道徳の授業や他教科との関連

① 防災教育の視点

月	中項目	時数	単元名	学習内容	評価規準			年間指導計画作成上の留意点	円滑な接続のための留意事項		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
中 2 9 ・ 10 月			目標	<p>・日本を7つの地域に区分し、それぞれの地域について、以下の①～⑤で示した考察の仕方を基にして、地域的特色をとらえさせる。</p> <p>①自然環境を中核とした考察の仕方 ②人口や都市・村落を中核とした考察の仕方 ③産業を中核とした考察の仕方 ④交通や通信を中核とした考察の仕方 ⑤その他の事象を中核とした考察の仕方</p>							
				5	<p>・日本の諸地域 北海道地方 -雄大な自然とともに生きる人々の暮らし- ①自然環境を中核とした考察の仕方</p>	<p>○北海道地方をながめて ○自然の制約に適応する人々の工夫 ○自然の制約や社会の変化を乗り越える ○自然の特色を生かした産業 ○自然環境を生かした「北海道ツアー」を企画しよう</p>	<p>●北海道地方について、自然環境や人口、産業などの特色を大まかに捉えている。 ●北海道地方について、自然環境を中核とした考察を基に地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。 ●北海道地方の地域的特色に関する各種の地図や統計、写真などの資料を収集している。 ●収集した資料から、北海道地方の地域的特色について、有用な情報を適切に選択して、それを基に読み取ったり、図表などにまとめたりしている。</p>	<p>●北海道地方の地域的特色を、自然環境を基に多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ●北海道地方の生活や産業における人々の努力や工夫について、自然環境の特色とともに、社会的条件とも関連付けて多面的・多角的に考察している。</p>	<p>●北海道地方の自然環境、人口、産業などの特色について概観する中で、特に広大で冷涼な自然環境に関心をもち、設定した探究課題を基に地域的特色を意欲的に追究している。 ●北海道地方の防災対策をはじめとする自然環境への人々の働きかけへの関心を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。</p>	<p>☆日本を7つの地域に区分し、各地域の特色ある事象を中核として他の事象と有機的に関連付け、動態地誌的手法によって地域的特色をとらえる。 ・地域区分は、7地方区分とする。 ☆学習全体を通して、地理的な見方や考え方、地図の読図や作図、景観写真の読み取りなど地理的技術を身に付ける。 ◎道徳：C伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度、D自然愛護 ◎技家：日常食の調理と地域の食文化、生活や産業の中で利用されている技術</p>	<p>小4 わたしたちの埼玉県 小5 日本の国土と世界の国々 これからの食料生産 日本の工業生産と貿易・運輸 自然災害とともに生きる 国土の地形や気候の特色と生活や産業が密接に関連していることを学んだ後、わたしたちの生活を支えている農業、水産業、工業運輸、貿易などの産業の役割について、具体的な事例を通して調べ、まとめる学習を行った。 また、国土の環境保全や自然災害の防止について調べてまとめる学習を行った。</p> <p>○地域的特色を動態地誌的な手法で追及するための学習課題を、小学校での学習の成果を生かしながら設定する。 ○特に「自然環境を中核とした考察」「産業を中核とした考察」「環境問題や環境保全を中核とした考察」「他地域との結び付きを中核とした考察」については、小学校で学習した知識、概念や技能を活用する学習を設定する。</p>
				5	<p>・日本の諸地域 九州地方 -自然とともに生きる人々の暮らし- ①自然環境を中核とした考察の仕方</p>	<p>○九州地方をながめて ○自然環境に適応する人々の工夫 ○自然の制約の克服と利用 ○持続可能な社会をつくる ○「先生」になって小学生に自然と人々との関係を伝えよう</p>	<p>●九州地方について、自然環境や人口、産業などの特色を大まかに捉えている。 ●九州地方について、自然環境を中核とした考察を基に地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。 ●九州地方の地域的特色に関する各種の地図や統計、写真などの資料を収集している。 ●収集した資料から、九州地方の地域的特色について、有用な情報を適切に選択して、それを基に読み取ったり、図表などにまとめたりしている。</p>	<p>●九州地方の地域的特色を、自然環境を中核に多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ●自然環境の影響の中で産業や生活・文化が発達してきたことを、人々の工夫などと関連付けて考察している。</p>	<p>●九州地方の自然環境、人口、産業などの特色について概観する中で、特に自然環境の影響に関心をもち、設定した探究課題を基に地域的特色を意欲的に追究している。 ●持続可能な社会の構築に関心をもち、身近な地域や国内外の環境問題や環境保全に関心をもっている。</p>		

\* 年間指導計画表中の記号は、以下の意味を示す。

☆ 習得させる知識・概念や技能 ★ 言語能力の育成・活用にかかわる学習 ◆ 社会参画や伝統・文化、宗教にかかわる学習

◇ 人権・道徳教育にかかわる学習 (さ)さいたま市の地域資料・素材を生かす学習 ◎ 道徳の授業や他教科との関連

防 防災教育の視点

月	中項目	時数	単元名	○学習内容	評価規準			年間指導計画作成上の留意点	円滑な接続のための留意事項
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
中2 10・11月	第3編 日本のおもてなしの文化	5	・日本の諸地域 東北地方 -伝統的な生活・文化を受けつぐ人々の暮らし- (⑤その他の事象を中核とした考察の仕方)	○東北地方をながめて ○祭りや年中行事の伝統とその変化 ○伝統工芸品の生産・販売とその変化 ○過去の継承と未来に向けた社会づくり ○NPOを設立して、東北地方を活性化する「イベント」を企画しよう	● 東北地方について、自然環境や人口、産業などの特色を大まかに捉えている。 ● 東北地方について、生活・文化を中核とした考察を基に地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。 ● 東北地方について、生活・文化を中核とした考察を基に地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。 ● 東北地方の地域的特色に関する各種の地図や統計、写真などの資料を収集している。 ● 収集した資料から、東北地方の地域的特色について、有用な情報を適切に選択して、それを基に読み取ったり、図表などにまとめたりしている。	● 東北地方の地域的特色を、生活・文化を基に多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ● 東北地方の生活・文化の変容を、交通の発達や国際化など他地域との結び付きに着目して捉えている。	● 東北地方の自然環境、人口、産業などの特色について概観する中で、特に伝統的な生活・文化や災害からの教訓に関心をもち、設定した探究課題を基に地域的特色を意欲的に追究している。 ● 東北地方の祭りや伝統産業などとともに、身近な地域の祭りや伝統産業にも関心が高まっている。	☆日本を7つの地域に区分し、各地域の特色ある事象を中核として他の事象と有機的に関連付け、動態地誌的手法によって地域の特色をとらえる。 ・地域区分は、7地方区分とする。 ☆学習全体を通して、地理的な見方や考え方、地図の読図や作図、景観写真の読み取りなど地理的な技能を身に付ける。 ◎道徳：C伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度、 D自然愛護 ◎技家：日常食の調理と地域の食文化、生活や産業の中で利用されている技術	小4 わたしたちの埼玉県 小5 日本の国土と世界の国々 これからの食料生産 日本の工業生産と貿易・運輸 自然災害とともに生きる 国土の地形や気候の特色と生活や産業が密接に関連していることを学んだ後、わたしたちの生活を支えている農業、水産業、工業運輸、貿易などの産業の役割について、具体的な事例を通して調べ、まとめる学習を行った。 また、国土の環境保全や自然災害の防止について調べてまとめる学習を行った。 ○地域的特色を動態地誌的な手法で追及するための学習課題を、小学校での学習の成果を生かしながら設定する。 ○特に「自然環境を中核とした考察」「産業を中核とした考察」「環境問題や環境保全を中核とした考察」「他地域との結び付きを中核とした考察」については、小学校で学習した知識、概念や技能を活用する学習を設定する。
		5	・日本の諸地域 中部地方 -活発な産業を支える人々の暮らし- (③産業を中核とした考察の仕方)	○中部地方をながめて ○特色ある東海の産業 ○特色ある北陸の産業 ○「博覧会」のポスターを作ろう	● 中部地方について、自然環境や人口、産業などの特色を大まかに捉えている。 ● 中部地方について、産業を中核とした考察を基に地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。 ● 中部地方の地域的特色に関する各種の地図や統計、写真などの資料を収集している。 ● 収集した資料から、中部地方の地域的特色について、有用な情報を適切に選択して、それを基に読み取ったり、図表などにまとめたりしている。	● 中部地方の地域的特色を、産業を中核に多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ● 中部地方の産業の地域的特色の違いについて、自然環境や他の地域との結び付きに着目して考察して、各地域の特色を捉えている。	● 中部地方の自然環境、人口、産業などの特色について概観する中で、特に東海、中央高地、北陸の各地域の産業に関心をもち、設定した探究課題を基に地域的特色を意欲的に追究している。 ● 地域の産業を、自然環境や社会的条件の変化、外国とのつながりなどと関連させて、意欲的に追究している。		

\* 年間指導計画表中の記号は、以下の意味を示す。

☆ 習得させる知識・概念や技能 ★ 言語能力の育成・活用にかかわる学習 ◆ 社会参画や伝統・文化、宗教にかかわる学習

◇ 人権・道徳教育にかかわる学習 (さ)さいたま市の地域資料・素材を生かす学習 ◎ 道徳の授業や他教科との関連

① 防災教育の視点

月	中項目	時数	単元名	○学習内容	評価規準			年間指導計画作成上の留意点	円滑な接続のための留意事項
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
中2 12・1月	第3編日本のさまざまな地域	5	・日本の諸地域 近畿地方 -都市・農村の変化と人々の暮らし- ②人口や都市・村落を中核とした考察の仕方)	○近畿地方をながめて ○大都市圏の形成と都市の産業 ○ニュータウンの建設と都市の開発 ○変化する農村の暮らし ○テレビ局の「ディレクター」になって近畿地方を発信しよう	● 近畿地方について、自然環境や人口、産業などの特色を大まかに捉えている。 ● 近畿地方について、人口や都市・村落を中核とした考察を基に地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。 ● 近畿地方の地域的特色に関する各種の地図や統計、写真などの資料を収集している。 ● 収集した資料から、近畿地方の地域的特色について、有用な情報を適切に選択して、それを基に読み取ったり、図表などにまとめている。	● 近畿地方の地域的特色を、人口や都市・村落を中核に多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ● 近畿地方のさまざまな都市の特色について、人口や都市・村落に着目して考察し、表現している。	● 近畿地方の自然環境、人口、産業などの特色について概観する中で、特に人口や都市・村落の変化に関心をもち、設定した探究課題を基に地域的特色を意欲的に追究している。 ● さまざまな都市の形成、歴史的な景観や伝統的な文化の継承・保存について、関心をもっている。	☆日本を7つの地域に区分し、各地域の特色ある事象を中核として他の事象と有機的に関連付け、動態地誌的手法によって地域の特色をとらえる。 ・地域区分は、7地方区分とする。 ☆学習全体を通して、地理的な見方や考え方、地図の読図や作図、景観写真の読み取りなど地理的スキルを身に付ける。 ◎道徳：C伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度、 D自然愛護 ◎技家：日常食の調理と地域の食文化、生活や産業の中で利用されている技術	小4 わたしたちの埼玉県 小5 日本の国土と世界の国々 これからの食料生産 日本の工業生産と貿易・運輸 自然災害とともに生きる 国土の地形や気候の特色と生活や産業が密接に関連していることを学んだ後、わたしたちの生活を支えている農業、水産業、工業運輸、貿易などの産業の役割について、具体的な事例を通して調べ、まとめる学習を行った。 また、国土の環境保全や自然災害の防止について調べてまとめる学習を行った。 ○地域的特色を動態地誌的な手法で追究するための学習課題を、小学校での学習の成果を生かしながら設定する。 ○特に「自然環境を中核とした考察」「産業を中核とした考察」「環境問題や環境保全を中核とした考察」「他地域との結び付きを中核とした考察」については、小学校で学習した知識、概念や技能を活用する学習を設定する。
		5	・日本の諸地域 中国・四国地方 -交通・通信とともに変化する人々の暮らし- ④交通や通信を中核とした考察の仕方)	○中国・四国地方をながめて ○交通網の整備と人や物の移動の変化 ○交通網が支える産業とその変化 ○活用される交通・通信網 ○「地球サミット」の参加者 ④交通や通信を中核とした考察の仕方)	● 中国・四国地方について、自然環境や人口、産業などの特色を大まかに捉えている。 ● 中国・四国地方について、交通・通信を中核とした考察を基に地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。 ● 中国・四国地方の地域的特色に関する各種の地図や統計、写真などの資料を収集している。 ● 収集した資料から、中国・四国地方の地域的特色について、有用な情報を適切に選択して、それを基に読み取ったり、図表などにまとめている。	● 中国・四国地方の地域的特色を、交通・通信を中核に多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ● 交通・通信の変化を、他地域との結び付きなどと関連付けて考察している。	● 中国・四国地方の自然環境、人口、産業などの特色について概観する中で、特に交通・通信の変化に関心をもち、設定した探究課題を基に地域的特色を意欲的に追究している。 ● 過疎・過密地域の抱える問題について、身近な地域などの事象も含めて、広く関心をもっている。		
		5	・日本の諸地域 関東地方 -さまざまな地域と結び付く人々の暮らし- ②人口や都市・村落を中核とした考察の仕方、④交通や通信を中核とした考察の仕方)	○関東地方をながめて ○世界と結びつく東京 ○東京を生活圏とする人々の暮らしと交通 ○関東地方の多様な産業 ○多数の「帰宅難民」が生まれた理由を考えよう	● 関東地方について、自然環境や人口、産業などの特色を大まかに捉えている。 ● 関東地方について、交通・通信を中核とした考察を基に地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。 ● 関東地方の地域的特色に関する各種の地図や統計、写真などの資料を収集している。 ● 収集した資料から、関東地方の地域的特色について、有用な情報を適切に選択して、それを基に読み取ったり、図表などにまとめている。	● 関東地方の地域的特色を、交通・通信を基に多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ● 地域間の結び付きとその変容について、相互依存関係や競合関係などに着目して考察している。	● 関東地方の自然環境、人口、産業などの特色について概観する中で、特に他地域との結び付きに関心をもち、設定した探究課題を基に地域的特色を意欲的に追究している。 ● 東京と関東地方各地、関東地方と他地方、関東地方と世界各地との結び付きについて関心をもち、その在り方について意欲的に追究している。		

\* 年間指導計画表中の記号は、以下の意味を示す。

☆ 習得させる知識・概念や技能 ★ 言語能力の育成・活用にかかわる学習 ◆ 社会参画や伝統・文化、宗教にかかわる学習

◇ 人権・道徳教育にかかわる学習 (さ)さいたま市の地域資料・素材を生かす学習 ◎ 道徳の授業や他教科との関連

防 防災教育の視点

月	中項目	時数	単元名	○学習内容	評価規準			年間指導計画作成上の留意点	円滑な接続のための留意事項
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
中 2  1月	第3編 日本のさまざまな地域		目標	・地域の課題を、地域内外の結び付き、地域がたどってきた変容、地域の今後の持続可能性などの視点から捉えさせる。 ・地域の在り方を、地域的特色や地域の課題と関連付けて、多面的・多角的に考察させるとともに、課題解決の取り組みや課題解決に向けて					
		7	防	・地域の在り方 ○身近な地域の課題を見つける ○課題を調査する ○要因を考察する ○解決策を構想する ○地域の将来像を提案する 【学習例】 (1)「私たちのまち(学区)はここ30年の間でどのように変化したのだろうか。」 (2)人口の増加が宅地化(森林減少) 課題:さいたま市が取り組んでいる環境保全の取組には何があるか調べよう。	● 地域の実態や課題解決のための取り組みを理解し、その知識を身に付けている。 ● 地域に見られる課題の解決に向けて考察、構想したことを適切に説明、議論し、まとめる手法について理解し、その知識を身に付けている。	● 地域の在り方について、地域内外の結び付きや地域の変容、地域の今後の持続可能性などに着目し、そこで見られる地理的な課題を多面的・多角的に考察している。 ● 課題の解決に向けて、公正に選択・判断したり、思考・判断したことを適切に説明したり、それらを基に議論・意見交換したりしている。	● 地域の在り方について、持続可能な社会の実現を視野に、地域に見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 ● 地域の在り方に対する関心を高め、主体的に情報を収集し、学習に取り組んでいる。	★地理学習のまとめとして、社会参画の視点を取り入れた探究型学習を行う。 ★調査結果を地域の課題と関連付けてまとめ、自分の解釈を加えて論述したり、意見交換したりする。 ★地域の変容をとらえ、地域の課題や将来像について考える。 ・「日本の諸地域」における学校所在地を含む地域の学習と関連付けて指導したり、野外での観察や調査に適した時期に学習したりする。 ◇地域社会の一員としての自覚をもち、地域の発展に努力しようとする態度を養う。 ・取り上げる地域や課題については、各学校において具体的に地域の在り方を考察できるような、適切な規模の地域や適切な規模の地域や適切な課題を取り上げること。(さいたま市域を取り上げるとよい) ・学習の効果を高めることができる場合には、地域調査の手法の学習や、日本の諸地域の中の学校所在地を含む地域の学習と結び付けて扱うことができる。 ◎道徳:C伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度	小3 わたしたちのまちさいたま市 小4 自然災害からくらしを守る 学校の周りの地域や市の特色のある地形や土地利用の様子などを観察や聞き取りなどを行いながら調査し、その結果を絵地図や大縮尺の白地図などにまとめる学習を行った。 また、地域社会における災害及び事故の防止について、見学をしたり資料を活用したりして調べた。 ○小学校での観察や聞き取り調査などのフィールドワークを実施したり、大縮尺の地図を活用したりしたことを想起させ、直接経験地域の調査の方法について確認する。 ○小学校で防災、防犯などについて具体的に学習したことを生かして、身近な地域をよりよくするための社会参画の視点を整理するための足掛かりとする。



\* 年間指導計画表中の記号は、以下の意味を示す。

☆ 習得させる知識・概念や技能 ★ 言語能力の育成・活用にかかわる学習 ◆ 社会参画や伝統・文化、宗教にかかわる学習

◇ 人権・道徳教育にかかわる学習 (さ)さいたま市の地域資料・素材を生かす学習 ◎ 道徳の授業や他教科との関連

防 防災教育の視点

月	中項目	時数	単元名	学習内容	評価規準			年間指導計画作成上の留意点	円滑な接続のための留意事項
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
				<p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校の学習との関連を図りながら、中学校の歴史学習の導入として、歴史学習に対する大きな見通しを持たせる。</li> <li>・時代や年代の読み取り方を理解させ、歴史を学習する際の基礎を身に付けさせる。</li> </ul>					
	第1章 歴史へのとびら 中1 6月	6	歴史をとらえる見方・考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>○時期や年代の表し方</li> <li>○歴史の流れのとらえ方</li> <li>○時代の特色のとらえ方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日本の歴史の大きな流れや各時代の特色に関する様々な資料を収集したり、適切に情報を読み取り、年表などにまとめている。</li> <li>●年代の表し方や、時代区分の意味や意義について理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●歴史的な見方・考え方「時期や年代」「推移」「現在のつながり」に着目して、小学校の学習で学習した人物や文化財、出来事などが時代区分とどのように関わるか考察し、表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●身近な歴史や歴史上の人物、出来事などを調べたり考えたりする活動を通して、日本の歴史の大きな流れや時代の特色に対して見通しをもち、課題の解決に向けて学習しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆中学校の歴史学習の導入として実施し、内容や活動の仕方を工夫する。</li> <li>☆「年代の表し方や時代区分」の学習は、内容(2)以下にかかわらせて継続的・計画的に進める。</li> <li>★内容の(2)以下の各時代の学習のはじめに課題意識を育成し各時代の学習のまとめとして自分の言葉や図で表現させたり意見交換させたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小6 日本の歴史</li> <li>小学校では、歴史を通史的に学習し、時代を大観するような学習はあまりしていない。中学校ではまず、人物中心に学んだ小学校の歴史学習に串を通すイメージで時代の流れを学習する。</li> <li>○時代を大観する学習の一つの例として、テーマ別の年表の作成が挙げられる。</li> <li>・歴史を動かした人物でみた歴史の流れ</li> <li>・文化で活躍した人物でみた歴史の流れ</li> <li>・服装でみた歴史の流れ</li> <li>・建物でみた歴史の流れ</li> <li>・外国との関係や貿易でみた歴史の流れ</li> <li>・優れた芸術作品でみた歴史の流れ</li> <li>上記の例のように、小学校で習得した技能を手掛かりとし、本中項目では、年表の表し方や時代区分の方法を習得できるようにする。</li> </ul>
		6	身近な地域の歴史	<ul style="list-style-type: none"> <li>○身近な地域に残る遺跡や博物館の調べ方</li> <li>○情報収集の仕方</li> <li>○年表などのまとめ方</li> <li>○地元の人への聞き取り調査の仕方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●調査して収集した課題に関連する情報を、年表などに適切にまとめている。</li> <li>●現地調査や資料館の調査から、課題の解決に関連する情報を収集し、適切に整理している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●身近な地域の歴史に関する情報を表などに整理し、その特徴を多面的・多角的に考察している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●現地調査や資料館での調査結果を生かして、自分の学習の見通しに修正をかけようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★地域の特性に応じた時代を取り上げる。</li> <li>◆人々の生活や生活に根ざした伝統や文化に着目する。</li> <li>さ 身近な地域の遺跡、史跡、建築物、博物館、郷土資料館などの活用や、地域の人々の協力も考慮する。</li> <li>◆内容の(2)以下にかかわらせて調べる活動を計画的に実施し人々の生活や生活に根ざした伝統や文化に着目した取り扱いをする。</li> <li>◎道徳：C伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度</li> <li>さ 博物館、郷土資料館などの活用や地域の人々の協力も考慮する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小6 日本の歴史</li> <li>遺跡や出土品、時代の想像図などから豪族がむらを従えてくにつくっていくことを学習した。</li> <li>また、外国との交流や大和朝廷が誕生する流れも学習している。</li> <li>○さいたま市内の遺跡・貝塚・古墳などを地図に書き込ませたり、身近にあれば、フィールドワークを行ったりしてもよい。また、身近な地域の歴史として扱ってもよい。さらに、地理的分野の身近な地域とも関連付ける。</li> </ul>

\* 年間指導計画表中の記号は、以下の意味を示す。

☆ 習得させる知識・概念や技能 ★ 言語能力の育成・活用にかかわる学習 ◆ 社会参画や伝統・文化、宗教にかかわる学習

◇ 人権・道徳教育にかかわる学習 (さ)さいたま市の地域資料・素材を生かす学習 ◎ 道徳の授業や他教科との関連

防 防災教育の視点

月	中項目	時数	単元名	学習内容	評価規準			年間指導計画作成上の留意点	円滑な接続のための留意事項		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
中1 7月	第2章	6	目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界の古代文明や宗教が生まれたこと、日本列島において人々の生活が始まり、やがて国家が形成されていった過程のあらましを、東アジアの動きと関連付けて理解させる。</li> <li>大陸の文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ、その後、天皇・貴族の政治を展開した古代までの日本の流れを大きく捉えさせる。</li> </ul>							
			世界の古代文明と宗教のおこり	<ul style="list-style-type: none"> <li>人類の出現と進化</li> <li>古代文明のおこりと発展</li> <li>中国文明の発展</li> <li>ギリシャ・ローマの文明</li> <li>宗教のおこりと三大宗教</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>古代文明の特徴を、生産技術の発達、文字の使用、国家のおこりと発展などに着目して捉えさせる。</li> <li>古代文明や宗教が生まれたことに加え、古代の人々の生活の変化を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界の古代文明や宗教が、日本の社会に与えた影響を考察し、表現している。</li> <li>ギリシャ・ローマの政治制度について、現代との共通点や相違点に着目して考察し、表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>古代文明や宗教のおこりなどに関する課題を意欲的に追究している。</li> <li>最近のニュースなどで、遺物・遺跡などの考古学的な発見について関心をもっている。</li> </ul>				
			主権者の視点								
中1 8・9月	古代までの日本	11	日本列島の誕生と大陸との交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>旧石器時代と縄文時代の暮らし</li> <li>弥生時代の暮らしと邪馬台国</li> <li>大王の時代</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小国のおこりから大和政権による統一までの過程を、文字資料、古墳の分布、鉄剣などの資料を通して理解している。</li> <li>稲作が伝来した後の社会の仕組みや、人々の生活の変化を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>金印や文字資料などから、古代の日本と中国をはじめとする東アジア世界との関わりについて考察し表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本列島において狩猟・採集から農耕へと変化した人々の生活に関する課題を意欲的に追究している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然崇拜や農耕儀礼などに基づく信仰(神話・伝承)</li> <li>◎道徳:C伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度</li> <li>(さ)市内各地の遺跡・貝塚・古墳など</li> <li>☆小学校での学習を踏まえて大きくとらえさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料</li> <li>縄文土器</li> <li>三内丸山遺跡の写真</li> <li>大陸から伝来した銅製品</li> <li>さきたま古墳とワカタケル大王の鉄剣</li> </ul>		
			古代国家の歩みと東アジア世界	<ul style="list-style-type: none"> <li>聖徳太子の政治改革</li> <li>東アジアの緊張と律令国家への歩み</li> <li>律令国家の成立と平城京</li> <li>奈良時代の人々の暮らし</li> <li>天平文化</li> <li>平安京と律令国家の変化</li> <li>摂関政治の時代</li> <li>国風文化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>聖徳太子の政治、大化の改新から律令国家の確立に至るまでの過程など、国家の仕組みが整えられ、その後、天皇・貴族の政治が展開されたことを理解している。</li> <li>大陸の文化を積極的に取り入れた文化が都を中心に栄え、その中から日本的な文化が成立したことを、具体的な事例を通して理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>聖徳太子の政治から大化の改新を経て確立した律令国家の政治の特徴について考察し、表現している。</li> <li>仏教の影響や文化を担った人々などに着目して、古代の日本において栄えた文化の特色について考察し表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>天皇・貴族の政治が展開され、国際的な要素をもった文化が後に国風化したことに関心をもち、それらに関する課題を意欲的に追究している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆小学校での学習の単なる繰り返しにならないようにし、小学校の学習内容を活用し、我が国の律令国家の形成を大きくとらえさせる。</li> <li>☆各文化の代表的な事例を取り上げて文化の特色を考えさせる。</li> <li>◆古代の寺社と仏教文化</li> <li>◎GS:異文化理解</li> <li>◎道徳:C伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度</li> <li>◎国際理解、国際親善</li> <li>★政治の展開、産業の発達、社会の様子、文化の特色などを他の時代との共通点や相違点に着目してとらえさせる。</li> <li>★言葉や図、年表で表したり、意見交換したりするなど大観の仕方や表現の仕方を工夫させる。</li> <li>☆年代の表し方や時代区分</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小6 日本の歴史</li> <li>聖徳太子、聖武天皇、藤原道長を中心に、天皇中心の新しいくづくりが始まり、中国との交流、渡来人の活躍、仏教伝来、そして貴族の世の中に変化することを学習した。</li> <li>中学校では、より大陸との関係に触れ、国際色豊かな文化がやがて国風文化に変化していくことを理解させる。</li> <li>資料</li> <li>・十七条の憲法</li> <li>・奈良の大仏</li> <li>・正倉院の宝物</li> <li>・藤原道長の短歌</li> <li>・かな文字</li> <li>◎小6の教科書に登場するむかしの人々の暮らしを描いた想像図を使い、時代を大観させるとともに、前の時代との変化に気付き、それを文章で表現させる学習を取り入れ、文章による表現力を高める。</li> </ul>		
地域の歴史(1時間)の展開例; ◆さいたま市の古墳とさきたま古墳群 さいたま市の古墳やさきたま古墳群について調べさせることにより、具体的資料をもとにさいたま市の地形と古墳との関係性、さきたま古墳群の特徴や大和朝廷との関連性を自分の言葉で説明できるようにする。											

\* 年間指導計画表中の記号は、以下の意味を示す。

☆ 習得させる知識・概念や技能 ★ 言語能力の育成・活用にかかわる学習 ◆ 社会参画や伝統・文化、宗教にかかわる学習

◇ 人権・道徳教育にかかわる学習 (さ)さいたま市の地域資料・素材を生かす学習 ◎ 道徳の授業や他教科との関連

防 防災教育の視点

月	中項目	時数	単元名	学習内容	評価規準			年間指導計画作成上の留意点	円滑な接続のための留意事項
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
中1 1・2月	第3章 中世の日本	6	武士の政権と成立	<ul style="list-style-type: none"> <li>○武士の成長</li> <li>○院政から武士の政権へ</li> <li>○鎌倉幕府の成立と執権政治</li> <li>○武士と民衆の生活</li> <li>○鎌倉時代の文化と宗教</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 武士が台頭し武家政権が成立して、武士の支配が次第に全国に広まり、武家政権が発展していったことを理解している。</li> <li>● 武士が台頭し、武家政権が成立したこと、鎌倉時代の武士や民衆の動き、鎌倉文化や鎌倉仏教に関する様々な資料を活用している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 武士が台頭し武家政権が成立して、武士の支配が次第に全国に広まり、武家社会が発展したという時代の流れを、幕府と朝廷の関係、土地制度の変化などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>● 鎌倉時代に新しい文化と仏教が生まれたことを、武士や民衆の動きと関連させて多面的・多角的に考察し、表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 武士が台頭し武家政権が成立したことや、鎌倉時代の武士や民衆の動きに関する課題を意欲的に追究している。</li> <li>● 鎌倉時代の新しい文化と仏教に対する関心を高め、現在との結びつきについて意欲的に追究している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆ 武士が大きな力をもってきたことに気付かせる。</li> <li>★ 古代から中世への転換の様子を、古代の天皇や貴族の政治の違いに着目して考察し、自分の言葉で表現できるようにさせる。(さ)鎌倉街道・坂石塔婆・岩槻城・寿能城・太田道灌など</li> </ul>	<p>小6 日本の歴史 平清盛、源頼朝、源義経、北条時宗を中心に、武士の登場と、幕府の成立、元寇後の幕府の衰退を学習した。</p> <p>○中世の主役である武士とはどんな存在なのかを考えさせる。以後700年ほど続く武士の世の中の始まりの部分だが、中学生も武士がどのような経緯で誕生し、力を伸ばしていくかは理解しにくいところであるため、小学校の段階で武士の登場から力をもっていく様子をとらえさせていく。</p> <p>○「われらの郷土埼玉県」を利用し、武蔵武士の活躍や、畠山重忠、熊谷直実について学習することにより、埼玉県ではどのような武士が活躍したのか学習させ、武士とはどんな存在なのか、興味をもつきっかけにする。</p> <p>資料 ・絵画資料 ・武器を手入れする武士 ・鎌倉幕府の周辺地図</p>
			12	ユーラシアの動きと武士の政治の展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>○モンゴル帝国とユーラシア世界</li> <li>○モンゴルの襲来</li> <li>○南北朝の動乱と室町幕府</li> <li>○東アジアとの交流</li> <li>○産業の発達と民衆の生活</li> <li>○応仁の乱と戦国大名</li> <li>○室町文化とその広がりが</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 東アジア世界との交流を背景に、鎌倉幕府の滅亡から戦国大名の登場までの武家社会の展開、経済の発達と社会の変化、室町文化に関する様々な資料を活用している。</li> <li>● 農業をはじめとする諸産業が発達し、都市や農村に自治的な仕組みが生まれたことや、武士や民衆の活力を背景にした新しい文化が生まれたことを理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● モンゴルの襲来や日明貿易など東アジア世界との交流が、日本の政治や社会、文化に及ぼした影響を、多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>● 自治的な仕組みの発生、武士や民衆の活力を背景にした新しい文化の誕生といった社会の変化を、農業をはじめとする諸産業の発達、政治の動きなどに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 鎌倉幕府の滅亡から戦国大名の登場までの武家社会の展開、経済の発達と社会の変化、室町文化に関する課題を意欲的に追究している。</li> <li>● モンゴルの襲来、日明貿易、琉球の国際的役割など、東アジア世界での交流に関する課題を意欲的に追究している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 現在に結びつくものがみられることに気付かせる。(祭り、絵画、建築など)</li> <li>☆ 代表的な事例を取り上げて文化の特色を考えさせる。</li> <li>◎ GS: 異文化理解</li> <li>◎ 道徳: C伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度</li> <li>◎ 国際理解、国際親善</li> <li>(さ)大宮新能、年中行事など</li> <li>★ 調査学習をもとに、ロールプレイング等で当時の人々の心情を体感させる。</li> <li>★ 政治の展開、産業の発達、社会の様子、文化の特色などを他の時代との共通点や相違点に着目してとらえさせる。</li> <li>★ 言葉や図、年表で表したり、意見交換したりするなど大観の仕方や表現の仕方を工夫させる。</li> <li>☆ 年代の表し方や時代区分</li> <li>◎ 国語: 話すこと・聞くこと</li> </ul>
<p>地域の歴史(1時間)の展開例; ◆板石塔婆 身近な地域にある板石塔婆を観察し、それがつくられた背景を調べ、板石塔婆の存在の意義を学び、中世の人々の思想や思いを考え、時代背景を探る。</p>									

\* 年間指導計画表中の記号は、以下の意味を示す。

☆ 習得させる知識・概念や技能 ★ 言語能力の育成・活用にかかわる学習 ◆ 社会参画や伝統・文化、宗教にかかわる学習

◇ 人権・道徳教育にかかわる学習 (さ)さいたま市の地域資料・素材を生かす学習 ◎ 道徳の授業や他教科との関連

防 防災教育の視点

月	中項目	時数	単元名	学習内容	評価規準			年間指導計画作成上の留意点	円滑な接続のための留意事項
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
中2 4月	第4章 近世の日本	8	目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヨーロッパ人來航の背景とその影響、織田・豊臣の統一事業とその当時の対外関係、武將や豪商などの生活文化の展開などを基に、近世社会の基礎が作られたことを理解させる。</li> <li>・江戸幕府の成立と大名統制、身分制と農村の様子、鎖国などの幕府の対外政策と対外関係などを基に、幕府と藩による支配が確立したことを理解させる。</li> </ul>					
			<ul style="list-style-type: none"> <li>○ヨーロッパ人との出会いと全国統一</li> <li>○中世ヨーロッパとイスラム世界</li> <li>○ルネサンスと宗教改革</li> <li>○ヨーロッパ世界の拡大</li> <li>○ヨーロッパ人との出会い</li> <li>○織田信長・豊臣秀吉による統一事業</li> <li>○兵農分離と秀吉の対外政策</li> <li>○桃山文化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ヨーロッパ人來航の背景とその影響について理解している。</li> <li>●織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係について理解している。</li> <li>●武將や豪商などの生活文化の展開について理解している。</li> <li>●ヨーロッパ人の來航とその背景、織田・豊臣による統一事業と当時の対外関係、武將や豪商などの生活文化の展開に関する図版、史料、年表、地図などの様々な資料を収集するとともに、情報を適切に選択して読み取ったり、図表にまとめたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ヨーロッパ人來航の背景とその影響から課題を見だし、多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>●織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係から課題を見だし、多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>●武將や豪商などの生活文化の展開から課題を見だし、多面的・多角的に考察し、表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ヨーロッパ人來航の背景とその影響に関する課題を主体的に追究、解決しようとしている。</li> <li>●織田・豊臣の時期の政治や社会の大きな変化と対外関係に関する課題を主体的に追究、解決しようとしている。</li> <li>●武將や豪商などの生活文化の展開に関する課題を主体的に追究、解決しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆ヨーロッパ人來航の背景とその影響については、新航路の開拓を中心に取扱い、ルネサンスや宗教改革についても触れる。</li> <li>☆新航路の開拓を中心に取扱い、その背景となるアジアの交易の状況やムスリム商人などの役割と世界の結びつきに気付かせる。</li> <li>◎織田・豊臣による統一事業については、検地・刀狩などの政策を取り扱う。</li> <li>◎GS:異文化理解</li> <li>◎道徳:◎国際理解、国際親善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小6 日本の歴史 ザビエル、織田信長、豊臣秀吉、徳川家康を中心に、室町幕府が衰えたのち、全国統一を進めた武將がどのように力を付けていったのか学習した。</li> <li>○特にヨーロッパ人との関わりと、その影響については、キリスト教の普及とも合わせて学習する。</li> <li>○キリスト教世界とルネサンスについては、当時のローマ法王の演説や当時のヨーロッパ世界の困窮、十字軍の様子などを紹介し、イスラム文化と接することによって起こった変化について学習する</li> <li>資料 <ul style="list-style-type: none"> <li>・長篠の戦い</li> <li>・南蛮貿易の様子</li> <li>・検地の様子</li> <li>・御伽草子「一寸法師」</li> </ul> </li> </ul>	
中2 5・6月		5	江戸幕府の成立と対外政策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○江戸幕府の成立と支配の仕組み</li> <li>○さまざまな身分と暮らし</li> <li>○貿易の振興から鎖国へ</li> <li>○鎖国下の対外関係</li> <li>○琉球王国やアイヌ民族との関係</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●江戸幕府の成立と大名統制について理解している。</li> <li>●身分制と農村の様子について理解している。</li> <li>●鎖国などの幕府の対外政策について理解している。</li> <li>●鎖国下の対外関係について理解している。</li> <li>●江戸幕府の成立と大名統制、身分制と農村の様子、鎖国などの幕府の対外政策と対外関係などに関する史料、年表などの様々な資料を収集するとともに、情報を適切に選択して読み取ったり、図表にまとめたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●江戸幕府の成立と大名統制から課題を見だし、多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>●身分制と農村の様子から課題を見だし、多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>●鎖国などの幕府の対外政策から課題を見だし、多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>●鎖国下の対外関係から課題を見だし、多面的・多角的に考察し、表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●江戸幕府の成立と大名統制に関する課題を主体的に追究、解決しようとしている。</li> <li>●身分制と農村の様子に関する課題を主体的に追究、解決しようとしている。</li> <li>●鎖国などの幕府の対外政策に関する課題を主体的に追究、解決しようとしている。</li> <li>●鎖国下の対外関係に関する課題を主体的に追究、解決しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆◇支配のための諸政策について多角的にとらえさせる。</li> <li>☆◇オランダ、中国との交易の他、朝鮮との交流や琉球の役割、北方との交易をしていたアイヌの人々にも着目させる。</li> <li>★中世から近世への転換の様子を、中世の武家政治との違いに着目して考察し、自分の言葉で表現できるようにさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小6 日本の歴史 徳川家康、家光を中心に幕府が長続きする仕組みや身分が区別されたことを学習した。中学校では鎖国についての意義と鎖国下での外国との交流を学習する。</li> <li>○「なぜ江戸幕府は長続きしたのか」という学習課題を設定し、近世の学習を通して課題解決を行い、ポートフォリオやポスターなどにまとめる学習により、アウトプットの形式についても学習させる。</li> <li>資料 <ul style="list-style-type: none"> <li>・参勤交代の大名行列</li> <li>・慶安のお触書</li> <li>・踏み絵</li> <li>・出島での商取引</li> </ul> </li> </ul>

\* 年間指導計画表中の記号は、以下の意味を示す。

☆ 習得させる知識・概念や技能 ★ 言語能力の育成・活用にかかわる学習 ◆ 社会参画や伝統・文化、宗教にかかわる学習

◇ 人権・道徳教育にかかわる学習 (さ)さいたま市の地域資料・素材を生かす学習 ◎ 道徳の授業や他教科との関連

① 防災教育の視点

月	中項目	時数	単元名	学習内容	評価規準			年間指導計画作成上の留意点	円滑な接続のための留意事項
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
中2	第4章 近世の日本	7	産業の発達と幕府政治の動き	<p>○農業や諸産業の発展</p> <p>○都市の繁栄と交通路の整備</p> <p>○幕府政治の安定と元禄文化</p> <p>○享保の改革と社会の変化</p> <p>○田沼意次の政治と寛政の改革</p> <p>○新しい学問と化政文化</p> <p>○外国船の出現と天保の改革</p>	<p>●産業や交通の発達について理解している。</p> <p>●教育の普及と文化の広がりなどを身近な地域の歴史的事象に関連させて理解している。</p> <p>●社会の変動や欧米諸国の接近について理解している。</p> <p>●幕府の政治改革について理解している。</p> <p>●新しい学問・思想の動きなどについて理解している。</p> <p>●産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がり、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きに関する図版、グラフ、史料、年表、地図などの様々な資料を収集するとともに、情報を適切に選択して読み取ったり、図表にまとめたりしている。</p>	<p>●産業や交通の発達から課題を見だし、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>●教育の普及と文化の広がりから課題を見だし、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>●社会の変動や欧米諸国の接近から課題を見だし、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>●幕府の政治改革から課題を見だし、時代の特色と変化を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>●新しい学問・思想の動きから課題を見だし、多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>●産業や交通の発達に関する課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p> <p>●教育の普及と文化の広がりに関する課題を、身近な地域の特色を生かした事例を取り上げ、主体的に追究、解決しようとしている。</p> <p>●社会の変動や欧米諸国の接近に関する課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p> <p>●幕府の政治改革に関する課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p> <p>●新しい学問・思想の動きに関する課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	<p>●身近な地域の特色を生かした事例を取り上げて理解させるとともに現在との結びつきに気付かせる。</p> <p>◎道徳：C伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度</p> <p>(さ)岩槻藩・中山道・大宮宿・浦和宿・日光御成街道・岩槻宿・一里塚人形作り・見沼干拓と代用水(井沢弥惣兵衛為永)・寺子屋・ささら獅子舞・年中行事など</p> <p>☆幕府の政治改革については、百姓一揆などに結びつく農村の変化や商業の発達などへの対応という観点から、代表的な事例を取り上げる。</p> <p>★政治の展開、産業の発達、社会の様子、文化の特色などを他の時代との共通点や相違点に着目してとらえさせる。</p> <p>★言葉や図、年表で表したり、意見交換したりするなど大観の仕方や表現の仕方を工夫させる。</p> <p>☆年代の表し方や時代区分</p> <p>◎国語：話すこと、聞くこと</p>	<p>小6 日本の歴史</p> <p>近松門左衛門、歌川広重、本居宣長、杉田玄白、伊能忠敬らを中心に文化を学習した。</p> <p>江戸時代後半になり、鎖国を批判する学者らが処罰されたことなど幕府の支配体制に陰りがみえたことも学習する。</p> <p>○江戸時代を網羅する年表作成を行う。</p> <p>【例】</p> <p>①初期—幕府の成立と制度づくり</p> <p>②中期—三大改革と結果</p> <p>③後期—黒船来航と幕末</p> <p>○これらの通史と同時に元禄文化、化政文化などの文化作品や文化人も書き入れ、総合的な年表作成を行わせ、時代を大観させる。</p> <p>資料</p> <p>・東海道五十三次</p> <p>・浮世絵</p> <p>・伊能忠敬の日本地図</p> <p>・西洋と東洋の解剖図</p>
<p>地域の歴史(1時間)の展開例： ◆岩槻藩の藩校(遷喬館)の歴史</p> <p>岩槻藩と遷喬館の関係を調べ、江戸時代に教育施設として発達した「藩校」について理解を深めていく。また、身近な地域の藩を知ることで、江戸時代の幕藩体制について理解を深めていく。</p>									

\* 年間指導計画表中の記号は、以下の意味を示す。

☆ 習得させる知識・概念や技能 ★ 言語能力の育成・活用にかかわる学習 ◆ 社会参画や伝統・文化、宗教にかかわる学習

◇ 人権・道徳教育にかかわる学習 (さ)さいたま市の地域資料・素材を生かす学習 ◎ 道徳の授業や他教科との関連

① 防災教育の視点

月	中項目	時数	単元名	学習内容	評価規準			年間指導計画作成上の留意点	円滑な接続のための留意事項
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
			目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>近代産業の発展と近代文化の形成を理解させる。</li> <li>明治維新と近代国家の形成を理解させる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>欧米における近代社会の成立とアジア諸国の動きを理解させる。</li> <li>議会政治の始まりと国際社会との関わりを理解させる。</li> </ul>		
		6	・欧米における近代化の進展	<ul style="list-style-type: none"> <li>○イギリスとアメリカの革命</li> <li>○フランス革命</li> <li>○ヨーロッパにおける国民意識の高まり</li> <li>○ロシアの拡大とアメリカの発展</li> <li>○産業革命と資本主義</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 産業革命について、資本主義社会が成立したことや、労働問題・社会問題が発生したことを理解している。</li> <li>● 市民革命について、政治的な対立と社会の混乱、そこで生じた権性などを経て近代民主政治への動きが生まれたことを理解している。</li> <li>● アジア諸国の動きについて、欧米諸国の進出に対するアジア諸国の対応と変容の観点から、中国などの動きを理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 工業化の進展と政治や社会の変化などに着目して、課題を設定し、欧米諸国の市場や原料供給地を求めたアジアへの進出が、日本の政治や社会に与えた影響などを考察し、表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 欧米における近代社会の成立とアジア諸国の動きについて、より良い社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆ 市民革命については、フランス革命など、産業革命についてはイギリスなど、アジア諸国の動きについては、中国の動きなどを取り上げながら、欧米諸国のアジア進出を理解させる。</li> <li>◎ 道徳：C国際理解、国際親善</li> </ul>	
		4	・欧米の進出と日本の開国	<ul style="list-style-type: none"> <li>○欧米のアジア侵略</li> <li>○開国と不平等条約</li> <li>○開国後の政治と経済</li> <li>○江戸幕府の滅亡</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解している。</li> <li>● 開国の影響とその後の幕府政治の動向、人々の生活の変化を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 欧米諸国のアジア進出の理由や背景などに着目し、開国の影響とその後の幕府政治の動向などを考察し、表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 開国とその影響について、より良い社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</li> </ul>		
中2	第5章 開国と近代日本の歩み	8	・明治維新	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新政府の成立</li> <li>○明治維新の三大改革</li> <li>○富国強兵と文明開化</li> <li>○近代的な国際関係</li> <li>○国境と領土の確定</li> <li>○領土をめぐる問題の背景</li> <li>○自由民権運動の高まり</li> <li>○立憲制国家の成立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 富国強兵・殖産興業政策について、学制など今日につながる諸制度が定められたことや、「解放令」が出されたにも関わらず、現実には差別が続いたことを理解している。</li> <li>● 文明開化の風潮について、欧米諸国から取り入れた制度や文化の影響で、社会の様子や人々の生活が大きく変化したことを理解している。</li> <li>● 明治維新について、近世の政治や社会との違いに着目して、近世から近代への転換の様子を理解している。</li> <li>● 自由民権運動、大日本帝国憲法の制定について、立憲制の国家が成立して、議会政治が始まったことの歴史上の意義や現代の政治とのつながりを理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新政府の諸改革の特色などに着目して課題を設定し、日本が他のアジア諸国に先駆けて近代化が進んだ理由を考察し、表現している。</li> <li>● 議会政治や外交の展開などに着目して課題を設定し、世界との関係や、現代の政治とのつながりなどを考察し、表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 明治維新と近代国家の形成、議会政治の始まりと国際社会との関わりについて、より良い社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★ 近世から近代への転換の様子を、近世の政治や社会との違いに着目して考察し、自分の言葉で表現できるようにさせる。</li> <li>◆ 新政府の諸改革について身近な地域の事例を通して、近代化を進めた人々の努力に気付かせる。</li> <li>◎ 道徳：C伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度</li> <li>☆ 「立憲制の国家が成立して議会政治が始まる」については、その歴史上の意義や現代とのつながりに気付かせる。</li> <li>(さ) 学制史料・地券史料・浦和電信分局・片倉製糸大宮工場・秩父事件・埼玉県議会・高崎線開通・日本鉄道会社大宮工場・白根多助・清浦奎吾・斎藤祐美・北沢楽天など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小6 日本の歴史 勝海舟、明治天皇、福澤諭吉、大久保利通、西郷隆盛、木戸孝允、徳川慶喜を中心にペリー来航から幕府の滅亡までを学習した。</li> <li>○ 市民革命の意義や欧米列強のアジア侵略については、小学校では扱わない内容であり、日本の開国、明治維新とも密接にかかわっているため、しっかりと学習に取り組ませる。</li> <li>○ 産業革命に関しては、イギリスの産業革命から遅れること、100年も経っていたことにも触れ、欧米と日本との国力の差を感じさせることも重要である。</li> <li>資料： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 四国連合艦隊の砲撃</li> <li>・ 五箇条の御誓文</li> </ul> </li> <li>小6 日本の歴史 板垣退助、伊藤博文、大隈重信を中心に明治維新政府に国づくりと大日本帝国憲法発布までを学習した。</li> <li>○ 大日本帝国憲法については、小学校では内容について深く学習していないため、中学校で内容について触れる。</li> <li>○ 小6の教科書の文明開化の扉絵などを使い、江戸時代と明治時代の変化に着目し、カテゴリーごとに挙げる。</li> <li>【例】 服装、建物、食事、文化資料 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 富岡製糸場</li> <li>・ 演説の中止を求める警察官</li> <li>・ はじめての選挙(ピゴ一画)</li> </ul> </li> </ul>

\* 年間指導計画表中の記号は、以下の意味を示す。

☆ 習得させる知識・概念や技能 ★ 言語能力の育成・活用にかかわる学習 ◆ 社会参画や伝統・文化、宗教にかかわる学習

◇ 人権・道徳教育にかかわる学習 (さ)さいたま市の地域資料・素材を生かす学習 ◎ 道徳の授業や他教科との関連

防 防災教育の視点

月	中項目	時数	単元名	○学習内容	評価規準			年間指導計画作成上の留意点	円滑な接続のための留意事項
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
中2	第5章 開国と近代日本の歩み	7	日清・日露戦争と近代産業	○欧米列強の侵略と条約改正 ○日清戦争 ○日露戦争 ○韓国と中国 ○産業革命の進展 ○近代文化の形成	●日清・日露戦争について、大陸との関係、戦争に至るまでの我が国の動き、戦争のあらましと国内外の反応、韓国の植民地化などを理解している。 ●条約改正について、当時の国内の社会状況や国際情勢との関わりなどの背景、長年にわたる外交上の課題として取り組まれたことを理解している。 ●我が国の産業革命について、日清戦争前後から飛躍的に発展して資本主義経済の基礎が固まったこと、都市や農山漁村の生活に大きな変化が生じたことを理解している。 ●国民生活の変化について、鉄道網の広がりや工業の発達などによって人々の生活の変化が見られたこと、その一方で労働問題や社会問題が発生したことを理解している。 ●学問・教育・科学・芸術などの発展について、学問や科学の分野で国際的な業績が生まれるなど、その進歩が著しかったことを理解している。	●日清・日露戦争における欧米諸国の利害関係や国内の様子に着目して課題を設定し、戦争の原因や影響などを考察し、表現している。 ●近代化がもたらした文化への影響などに着目して課題を設定し、産業の発展が国民の生活や文化に与えた影響などを考察し、表現している。	●国際社会との関わり、近代産業の発展と近代文化の形成について、より良い社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	◇大陸との関係に着目させ、欧米諸国との対等の外交関係を樹立させるための人々の努力に気付かせる。 ★日清・日露戦争の原因と結果を調べ、日本の国際的地位の向上の視点から自分の言葉でまとめさせる。 ◆近代文化の学習については、代表的な事例を取り上げてその特色を考えさせる。 ◎道徳：C伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 C国際理解、国際親善 ◎国語：話すこと、聞くこと(さ)地域にある忠魂碑や県内の戦争犠牲者などを調べ、戦争による惨禍について考えさせる。	小6 日本の歴史 陸奥宗光、小村寿太郎、野口英世、田中正造を中心に条約改正への道のりや戦争後の大國意識、国際社会の中で日本人が活躍していく様子を学習した。また、経済格差や社会問題についても産業革命と併せて学習した。 ○中学校ではより国際社会との関係について学習を深める。 ○大宮鉄道博物館へのフィールドワークを企画し、埼玉の鉄道と近代化についてまとめてよい。 資料 ・ノルマントン号事件(ピゴ一画) ・魚つりの絵(ピゴ一画)
地域の歴史(1時間)の展開例： ◆身近な地域の歴史を調べる活動(鉄道博物館を活用した博学連携) 鉄道博物館のフィールドワークを通して、埼玉の鉄道の歴史を調べ、埼玉の近代化について理解を深めていく。									

\* 年間指導計画表中の記号は、以下の意味を示す。

☆ 習得させる知識・概念や技能 ★ 言語能力の育成・活用にかかわる学習 ◆ 社会参画や伝統・文化、宗教にかかわる学習

◇ 人権・道徳教育にかかわる学習 (さ)さいたま市の地域資料・素材を生かす学習 ◎ 道徳の授業や他教科との関連

防 防災教育の視点

月	中項目	時数	単元名	学習内容	評価規準			年間指導計画作成上の留意点	円滑な接続のための留意事項
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
中3 4月			目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>第一次世界大戦前後の国際情勢を背景に、日本の国際的地位の変化や大正時代の政党政治の発達、民主主義思想の普及、社会運動の動きを通して日本国民の政治的自覚が高まったことを理解させる。</li> <li>昭和初期から第二次世界大戦終結までの日本の政治・経済・外交の動きなどを、東アジア諸国との関係や欧米諸国の動きに着目させながら、経済の混乱、軍部の台頭、戦争の経緯と大戦の惨禍を理解させる。</li> </ul>					
中3 5月	第6章 二度の世界大戦と日本	8	第一次世界大戦と日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>第一次世界大戦</li> <li>ロシア革命</li> <li>国際協調の高まり</li> <li>アジアの民族運動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「第一次世界大戦中のヨーロッパ戦線」などを用いて、第一次世界大戦の広がりを読み取っている。</li> <li>第一次世界大戦の概要を、原因・経過・結果から理解し、その知識を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第一次世界大戦の背景を、帝国主義などの考えを基にして説明している。</li> <li>第一次世界大戦後の国際情勢を、日本と世界の動きを関連させながら考えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第一次世界大戦の原因や、現在まで続く民族問題に関心をもっている。</li> <li>多くの民衆運動が起こった背景について、調べたり考えたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヨーロッパ諸国間の対立や民族問題を背景として第一次世界大戦が起こったことに気付かせる。</li> <li>☆中国や朝鮮における民族運動の高まり、国際連盟の設立や軍縮条約の締結等を取り扱うことで国際平和の在り方について考えさせる。</li> </ul>	
中3 5月		3	大正デモクラシーの時代	<ul style="list-style-type: none"> <li>大正デモクラシーと政党内閣の成立</li> <li>広がる社会運動と男子普通選挙の実現</li> <li>新しい文化と生活</li> </ul> <p>主権者の視</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大正時代の政治・経済・社会・文化のあらましを理解し、その知識を身に付けている。</li> <li>文化の大衆化と新しい生活と現代へのつながりについて、様々な資料から理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大正デモクラシーを現代の民主主義と比較して考え、自分の意見を述べている。</li> <li>大正デモクラシーの特色を、政治・経済・社会・文化などから多面的・多角的に考察している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多くの民衆運動が起こった背景について、調べたり考えたりしている。</li> <li>社会や人々の生活の変化に関心を持ち、課題を追究しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆普通選挙制の実現や社会運動が行われるようになったこと、女性の社会的進出などに気付かせる。</li> </ul>	
中3 5月		5	世界恐慌と日本の中国侵略	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界恐慌とブロック経済</li> <li>欧米の情勢とファシズム</li> <li>昭和恐慌と政党内閣の危機</li> <li>満州事変と軍部の台頭</li> <li>日中戦争と戦時体制</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界恐慌からファシズムの台頭までの流れを、理解している。</li> <li>日本における政党政治の衰えと軍部の台頭までの流れを、理解している。</li> <li>当時の日本の新聞などから、軍部の台頭を読み取っている。</li> <li>「日中戦争の広がり」などを用いて、戦争の拡大を読み取っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界恐慌の起こった原因を、資本主義経済の仕組みの中から考えている。</li> <li>日本の軍国主義化について、現代的視点からの批判をしつつ、その原因や理由について考え、自分の意見を述べている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界恐慌について、原因や影響に関心を持ち、現代の経済状況などと比較するなど、意欲的に追究している。</li> <li>日本の大陸進出などの課題について、自分たちと違う世代の意見に関心を持ち、聞く態度を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆世界の動きと我が国との関連に着目して取扱う。</li> <li>☆世界恐慌に対する各国の対策と対立の深刻化、我が国における経済の混乱と社会不安の広がりに関して考えさせ、軍部の台頭から戦争までの経過について理解させる。</li> </ul>	
中3 6月		8	第二次世界大戦と日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>第二次世界大戦の始まり</li> <li>太平洋戦争の開始</li> <li>戦時下の人々</li> <li>戦争の終結</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「第二次世界大戦中のヨーロッパ戦線」「太平洋戦争」の資料を用いて、戦争の拡大の様子を読み取っている。</li> <li>教科書の本文や資料などから、当時の日本の民衆の願いや思いを読み取っている。</li> <li>第二次世界大戦の原因・経過・結果について、理解している。</li> <li>太平洋戦争における戦時下の日本の民衆の生活について、理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ファシズムと反ファシズムの主張を調べ、自分の意見を述べている。</li> <li>当時の日本の政府や軍部の主張などを批判的に読むなど、公正な立場で考え、自分の意見を述べている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ユダヤ人迫害など、戦争の名の下に行われた行為について関心を持ち、平和を希求する態度をもっている。</li> <li>戦争体験者から、被害と加害の実態を調べ、聞くこととする態度を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆「持てる国」「持たざる国」の対応の違いに気付く、この後の日本の動きについて考えさせる。</li> <li>☆国際協調と国際平和の実現に努めることが大切であることに気付かせる。</li> <li>◎道徳：国際理解、国際親善</li> <li>(さ)中島飛行機大宮工場、大宮造幣局、戦争体験など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小6 日本の歴史人物中心ではなく日中戦争から第二次世界大戦のはじまり、そして終戦まで詳しく学習している。</li> <li>◎中学校でより細部を学習していくのと同様に、日本が軍国主義に傾いていく様子を学習する。</li> <li>◎埼玉県内でも各地に軍事施設が進出してきた。火薬工場や飛行場、衣料工場などを地図に記入させ、後に空襲の被害に遭うことも関連付けていく。</li> </ul>

地域の歴史(1時間)の展開例： ◆中島飛行機大宮工場の歴史  
 中島飛行機大宮工場がつけられた目的を当時の時代背景から考察し、製造物の変化と時代背景には深いかかわりがあることを歴史の変遷から気付かせる。また、現在、中島飛行機大宮工場がどのように姿を変えたかを調べさせる。



\* 年間指導計画表中の記号は、以下の意味を示す。

☆ 習得させる知識・概念や技能 ★ 言語能力の育成・活用にかかわる学習 ◆ 社会参画や伝統・文化、宗教にかかわる学習

◇ 人権・道徳教育にかかわる学習 (さ)さいたま市の地域資料・素材を生かす学習 ◎ 道徳の授業や他教科との関連

(防) 防災教育の視点

月	中項目	時数	単元名	学習内容	評価規準			年間指導計画作成上の留意点	円滑な接続のための留意事項
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
中3 6月	第7章 現代の日本と私たち		<b>目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第二次世界大戦後の日本の民主化と再建、国際社会への復帰について、世界の動きと関連させながら理解させる。</li> <li>高度経済成長以降から現在までの日本と世界の動きの概要を、国民の生活と関連させて理解させる。</li> <li>戦後の諸改革や国際社会の変化、経済成長や国民生活の変化を、相互に関連付けながら、現代の日本や世界の特徴を考察し、表現させる。</li> </ul>					
		3	戦後日本の出発	<ul style="list-style-type: none"> <li>占領下の日本</li> <li>民主化と日本国憲法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>占領下の日本で、様々な政策が行われ、民主的な新しい日本が建設されていったことを理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新しい日本が民主的な国家を建設していった過程を、占領下の諸政策や国民の苦難と関連させながら、多面的・多角的に考察し、表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国民たちが苦難を克服していきながら、どのように新しい日本を建設していったのかについて、振り返りを行いながら学習に取り組もうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国民が苦難を乗り越えて新しい日本の建設に努力したことを気付かせるようにする。</li> <li>★政治・経済面などの諸改革の特色を、「新たな制度が生まれたこと」などに着目して考察し、自分の言葉で表現できるようにさせる。</li> <li>◎GS: 異文化理解</li> <li>◎道徳: C国際理解、国際親善</li> <li>◎新聞を活用した教育活動との関連</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小6 日本の歴史戦後改革から外国との国交を回復し、国際社会に復帰するまでを学習した。</li> <li>○「なぜ日本は戦争に向かってしまったのか。」という学習課題に対して、自分なりの答えを文章で表現する。これは歴史的分野の大きなテーマである。小学校の時から自分の考えを少ない字数でも構わないので、文章化させる。</li> <li>◎地域コーディネーターとも連携を図り、地域の高齢者の方から戦争体験などを話してもらうこともできる。</li> <li>資料                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際連盟からの脱退</li> <li>・真珠湾への攻撃</li> <li>・原爆投下後の広島</li> <li>・赤紙</li> </ul> </li> </ul>
		5	冷戦と日本の発展	<ul style="list-style-type: none"> <li>冷戦の開始と植民地の解放</li> <li>独立の回復と55年体制</li> <li>緊張緩和と日本外交</li> <li>日本の高度経済成長</li> <li>マスメディアと現代の文化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>冷戦が加速し、東西の対立が深まった影響を受けて、反対意見もある中、日本が国際社会に復帰し、その後、外交関係を広げていったことを理解している。</li> <li>●特需をきっかけに経済成長を遂げ、国民生活が向上し、メディアを中心とした様々な文化が生まれたことを理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本がどのように国際社会に復帰し、経済成長を遂げていったのかを、国際社会の動きと関連付けながら考察し、表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習への見通しをもちながら、どのように日本が成長していったのかを、振り返りを行いながら学習に取り組もうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>戦後復興、高度経済成長については中学校でより深めている。</li> <li>○小学校における学習課題設定例として、「これからの日本はどのような国になったらよいでしょうか。」というテーマに対し、字数の制限を設け、自分の考えを文章で表現する力を付けていく。</li> <li>資料                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本国憲法発布の様子</li> <li>・変化する日本の街並み</li> </ul> </li> </ul>	
中3 6月	第7章 現代の日本と私たち	8	新たな時代の日本と世界	<ul style="list-style-type: none"> <li>冷戦後の国際社会</li> <li>冷戦後の日本</li> <li>持続可能な社会に向けて</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>冷戦がどのように終わったのか、その後も多くの課題が残されている中で日本が期待されている役割を理解している。</li> <li>●国内外の動きや国際社会における日本の役割を理解し、その知識を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>冷戦後の日本の課題を、国際社会との関わりや、国境を越えて解決に取り組む人々に着目し、多面的・多角的に考察している。</li> <li>●現代の日本の特色を、近代と比較しながら多面的・多角的に考察し、表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>持続可能な社会を創っていくにはどのようなことが必要かを、これまでの歴史学習を振り返り、学習の見通しに生かしながら取り組んでいる。</li> <li>●これからの日本や世界を持続可能な社会とする意識をもって、課題の解決に取り組んでいこうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆沖縄返還、日中国交正常化、石油危機などの節目となる歴史的事象を取り扱う。</li> <li>◆我が国の歴史の大きな流れを振り返り、広い視野に立って我が国の伝統と文化の特色を考えさせ、社会の一員としての自覚に立って明るく未来の創造に意欲を高めさせる。</li> <li>◎道徳: C主として集団や社会との関わりに関すること。</li> <li>◎国語: 話すこと、聞くこと</li> <li>◎新聞を活用した教育活動との関連</li> </ul>	
				<p>地域の歴史(1時間)の展開例: ◆町の変化から歴史を探る 自分が生活している身近な地域がどのように変化を遂げてきたか、地域の住民に聞き取り調査を行ったり、土地利用の歴史地図や年代ごとの景観社会を収集し活用したりして、その当時の社会のできごとと町の変化の様子を年表にまとめるなどして調べさせる。</p>					

\* 年間指導計画表中の記号は、以下の意味を示す。

☆ 習得させる知識・概念や技能   ★ 言語能力の育成・活用にかかわる学習   ◆ 社会参画や伝統・文化、宗教にかかわる学習

◇ 人権・道徳教育にかかわる学習   (さ)さいたま市の地域資料・素材を生かす学習   ◎ 道徳の授業や他教科との関連

Ⓣ 防災教育の視点

月	中項目	時数	・単元名	○学習内容	評価規準			年間指導計画作成上の留意点	円滑な接続のための留意事項
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		

135 授業時数合計

\* 年間指導計画表中の記号は、以下の意味を示す。

- ☆ 習得させる知識・概念や技能
- ★ 言語能力の育成・活用にかかわる学習
- ◆ 社会参画や伝統・文化、宗教にかかわる学習
- ◇ 人権・道徳教育にかかわる学習 (さ)さいたま市の地域資料・素材を生かす学習
- ◎ 道徳の授業や他教科との関連
- ① 防災教育の視点

月	中項目	時数	単元名	○学習内容	評価規準			年間指導計画作成上の留意点	円滑な接続のための留意事項
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
			<b>目標</b>	・現代社会の特色としてグローバル化、少子高齢化、情報化が見られ、それが政治、経済、国際関係に影響を与えていること、また、現代社会における文化の意義や影響について理解させる。 ・現代社会を捉える見方・考え方の基礎として、対立と合意、効率と公正などの見方・考え方があることを、具体的な社会生活と関連付けて理解させる。					
		5	・現代社会の特色と私たち	○T市のまちの様子から現代社会をながめてみよう ○持続可能な社会に向けて ○グローバル化 結び付きを深める世界 ○少子高齢化 変わる人口構成と家族 ○情報化 情報が変わる社会の仕組み	●現代社会の特色としてグローバル化、少子高齢化、情報化が政治、経済、国際関係に影響を与えていることについて、様々な資料を基に多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ●グローバル化、少子高齢化、情報化が、互いに関連し合いながら、政治、経済、国際関係に影響を与えていることに気付いている。 ●様々な写真や統計資料などから、現代社会の特色や社会の変容などを的確に読み取っている。	●グローバル化、少子高齢化、情報化などの現代社会の特色に関心をもち、それらの影響や関連性などについて、意欲的に追究している。 ●持続可能な社会を形成するためには、一人ひとりの社会参画が重要であることに気付き、自分にできることを意欲的に考えている。	●グローバル化、少子高齢化、情報化などの現代社会の特色に関心をもち、それらの影響や関連性などについて、意欲的に追究している。 ●持続可能な社会を形成するためには、一人ひとりの社会参画が重要であることに気付き、自分にできることを意欲的に考えている。	・地理的分野、歴史的分野との関連を図ったり、写真や統計資料を用いたりするなどして、生徒の関心を高める工夫を行う。 ☆年表や写真資料をもとに、グローバル化、情報化、少子高齢化など興味・関心をもった課題について、調べたことをもとに話し合う。 ◆科学、芸術、宗教などを取り上げ、社会生活とのかかわりなどについて学習できるように工夫を行う。 ◆我が国の伝統や文化が自然や社会とのかかわりの中でどのように受け継がれてきたのかを考えさせる。 ◎理科：第1分野・科学技術と人間、第2分野・自然と人間 ◎技家：D 情報に関する技術 ◎新聞を活用した教育活動の関連(さ)さいたま市在住の身近な人への聞き取り調査を行う。	小3 情報を伝える人々とわたしたち情報化の進展が国民の生活に大きな影響があること、情報の有効な活用が大切であることは、学習しているが、情報化の進展が政治や経済、国際関係などより広いところまで影響があること、個人が情報を主体的に活用していく必要があることまでは学習していない。 ○情報化について、さらに詳しく調べ、レポートにまとめ、発表させる。 ○現代社会の特色の一つを押さえ、社会生活が変化してきている中で、情報モラルを身に付けることが大切であることを理解させる。
		3	・私たちの生活と文化	○私たちの生活と文化の役割 ○伝統文化と新たな文化の創造 ○多文化共生を目指して	●文化には科学・宗教・芸術などの様々な領域があることに気付き、それらが社会生活の様々な場面に影響を与えていることを理解している。 ●日本の伝統と文化の特色について、その歴史的背景や地域的多様性も含めて理解している。 ●地理的分野や歴史的分野の学習内容を踏まえて、日本の伝統と文化の特色を示す資料を収集し、選択している。 ●複数の資料を比較し関連付けながら、現代社会における文化の意義や影響、日本の伝統と文化の特色、グローバル化、少子高齢化、情報化のもたらす文化への影響などについて、的確に読み取っている。	●日本の伝統文化や文化の多様性について、身近な生活や、地理的分野、歴史的分野の学習内容を基に、多面的・多角的に考察している。 ●文化の継承と創造について、具体的な事例を通して自分の考えを形成するとともに、それを適切に表現している。	●日常生活に見られる文化について興味・関心を高め、意欲的に追究している。 ●日本の文化の多様性に気付き、それを尊重することの大切さに気付いている。 ●地域に見られる伝統文化の継承や、新しい文化の創造に、社会の形成者として、主体的に参加しようとしている。	◎技家：D 情報に関する技術 ◎新聞を活用した教育活動の関連(さ)さいたま市在住の身近な人への聞き取り調査を行う。	小3 さいたま市のひとのくらしのうつりかわり 小4 埼玉県で受けつがれてきたもの地域の祭りや文化財などを具体的に見学・調査してきたが、我が国の伝統と文化というところまでは学習していない。 ○生徒が小学校時代に学習した祭りや文化財を文化の一つとして導入に取り上げる。 ○生徒から学習状況を聞き取り、共有化して学習に臨ませる。
		5	・現代社会の見方や考え方	○社会集団の中で生きる私たち ○決まりを作る目的と方法 ○効率と公正 ○決まりの評価と見直し	●人間が社会的存在であること、社会生活における物事の決定の仕方、決まりの意義と必要性、対立と合意、効率と公正の見方・考え方について、社会の形成者としての立場から理解し、その知識を身に付けている。 ●社会生活における物事の決定の仕方や決まりの意義に関する事例を収集し、現代社会を捉える見方・考え方を理解するために役立つ情報を適切に選択して読み取り、図表などにまとめている。	●身近なトラブルの事例について、対立と合意、効率と公正などの見方・考え方を踏まえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を分かりやすく適切に表現している。	●自分が家族や地域社会をはじめとする社会集団の中で生活していることに気付き、社会生活における物事の決定の仕方や決まりの意義に対する関心を高め、それらを意欲的に追究している。	○人は一人で生きているのではなく、様々な社会集団を形成し、その一員として生活していることに着目させる。 ☆身近な社会生活に見られる具体的な事例を取り上げて、「対立」と「合意」、「効率」と「公正」などについて理解する。 ☆社会集団における「対立」について、社会集団の機能や秩序を維持していくためには、社会の構成員の「合意」に基づく取り決めやルールが必要が生じてくることを理解させる。 ☆合意形成の際に、用いられる考え方「効率」と「合意」があることを理解させる。 ◎道徳：C規則の尊重、公德心、より良い学校、生活集団生活の充実 ◎新聞を活用した教育活動との関連	小3 安全なくらしを守る 地域の健康・安全な生活を維持と向上を図る上で、法や自分たちが決めたいまを守ることが大切であることを学習している。 ○「対立と合意、効率と公正」の考え方を取り入れた討論を行い、なぜまわりやルールが必要になってくるかをとらえさせる。 ○討論の際には、対立と合意、効率と公正の見方、考え方をしっかり押さえ、今後の学習に活用していく。

第1章 現代社会と私たち  
中3 7月

\* 年間指導計画表中の記号は、以下の意味を示す。

- ☆ 習得させる知識・概念や技能
- ★ 言語能力の育成・活用にかかわる学習
- ◆ 社会参画や伝統・文化、宗教にかかわる学習
- ◇ 人権・道徳教育にかかわる学習 (さ)さいたま市の地域資料・素材を生かす学習
- ◎ 道徳の授業や他教科との関連
- ㊦ 防災教育の視点

月	中項目	時数	・单元名	○学習内容	評価規準			年間指導計画作成上の留意点	円滑な接続のための留意事項
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
中3 8・9月	第2章 個人の尊重と日本国憲法		目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、「ちがいのちがいが」などの対話的な活動を通じ、我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について、多面的・多角的に考察、表現させる。</li> <li>・人間の尊重についての考え方や日本国憲法の基本的原則などについて、現代社会の見られる課題の解決に向けて粘り強く取り組むことを通して、主体的に社会に関わる</li> </ul>					
		6	人権と日本国憲法	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ちがいのちがいが</li> <li>○人権の歴史と憲法</li> <li>○日本国憲法とは</li> <li>○国民主権と私たちの責任</li> <li>○平和主義の意義と日本の役割</li> <li>○基本的人権と個人の尊重</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●人権思想の歴史など歴史的分野の学習内容を踏まえて、日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本的原則としていることについて理解している。</li> <li>●日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、対話的な活動を通じ日本国憲法が大切にされてきた理由について、多面的・多角的に考察、表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●現代社会に見られる課題の解決に向けて日本国憲法が大切にされてきた理由の考察に粘り強く取り組むことを通して、主体的に社会に関わろうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆ 日常の具体的な事例を取り上げ、日本国憲法の基本的な考え方を理解させる。</li> <li>☆ 日本国憲法が、基本的人権の規定とそれを保障する政治機構を主な内容としていることなど、日本国憲法の構成を大きくとらえさせる。</li> <li>☆ 「法に基づく政治」が民主政治の原理となっていることを理解させる。</li> <li>☆ 日本国憲法の基本的原則を生活とのかかりから学習させ、個人の尊厳と両性の本質的平等、「自由」「権利」と「責任」「義務」の関係を社会生活の基本として広い視野から正しく認識させる。</li> <li>☆ 社会の変化とともに人権概念が変化することについて、具体的な事例を通して気付かせるとともに、社会の変化に伴って生じた人権上の新しい課題にはどのようなものがあり、それらがなぜ重要なかを理解させる。</li> <li>◆ 法教育の視点を取り入れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小6 ともに生きる暮らしと政治 日本国憲法の基本的原則をとらえ、理解しよう学習している。</li> <li>○ 日本国憲法の基本的原則に関わる日常の具体的な事例を新聞資料などからまとめさせる。</li> <li>○ 基本的人権については、自分のこととしてとらえられるようにする。</li> </ul>
		6	人権と共生社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○平等権① 共生社会を目指して</li> <li>○平等権② 共生社会を目指して</li> <li>○自由権 自由に生きる権利</li> <li>○社会権 豊かに生きる権利</li> <li>○人権を確実に保障するための権利</li> <li>○「公共の福祉」と国民の義務</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深め、法の意義を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、日本国憲法において、人権保障が大切にされている理由について、対話的な活動を通じ、多面的・多角的に考察、表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●現代社会に見られる課題の解決に向けて人権保障が大切にされている理由の考察に粘り強く取り組むことを通して、主体的に社会に関わろうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 道徳: B親切、思いやり、友情、信頼</li> <li>○ 公正、公平、社会正義、交際理解、国際親善</li> <li>D 生命の尊さ、よりよく生きる喜び</li> </ul>	
		4	これからの人権保障	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新しい人権① 産業や科学技術の発展と人権</li> <li>○新しい人権② 情報化の進展と人権</li> <li>○グローバル社会と人権</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●社会の変化に伴って人権の考え方が変化していく中でも、民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、社会の変化に伴って新しい人権が認められてきた理由について、対話的な活動を通じ、多面的・多角的に考察、表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●現代社会に見られる課題の解決に向けて、社会の変化に伴って新しい人権が認められてきた理由を、粘り強く考察することを通して、主体的に社会に関わろうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新聞を活用した教育活動との関連</li> </ul>	

\* 年間指導計画表中の記号は、以下の意味を示す。

- ☆ 習得させる知識・概念や技能
- ★ 言語能力の育成・活用にかかわる学習
- ◆ 社会参画や伝統・文化、宗教にかかわる学習
- ◇ 人権・道徳教育にかかわる学習 (さ)さいたま市の地域資料・素材を生かす学習
- ◎ 道徳の授業や他教科との関連
- ⑧ 防災教育の視点

月	中項目	時数	単元名	学習内容	評価規準			年間指導計画作成上の留意点	円滑な接続のための留意事項
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
			目標	・身近で具体的な事例を通して政治に関心を持たせ、主権者として政治に積極的に関わろうとする意欲と態度を育てる。 ・選挙をはじめとする国民の政治参加によって、より良い民主政治が運営されることに気付かせ、良識ある主権者としての政治参加の在り方について考えさせる。					
		9	現代の民主政治	○だれを市長に選ぶ？ ○政治と民主主義 ○選挙の意義と仕組み ○政党の役割 ○マスメディアと世論 ○選挙の課題と私たちの政治参加  選挙管理委員会より投票箱を借用し模擬選挙を行うなどの活動を取り入れる。	●政治や議会制民主主義、政党政治の考え方や意義について理解している。 ●多数決の原理とその運用の在り方、選挙制度、政党や世論の役割などについて理解し、その知識を身に付けている。 ●最近の選挙に関する話題や各政党の政権公約などについて、新聞やインターネットなどを活用して資料を収集・選択し、複数の資料を比較したり、課題に即して読み取ったり、適切にまとめたりしている。 ●マスメディアの世論形成への影響力とメディアリテラシーの重要性について理解し、新聞記事などのマスメディアの情報を取り取る際、複数の情報を比較するなど、様々な角度から批判的に読み取っている。	●議会制民主主義や多数決の原理について、対立と合意、効率と公正などの観点から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ●選挙をはじめとする国民の政治参加が民主政治を支えていることに気づき、望ましい政治参加の在り方について、資料の読み取りや話し合いなどを通して多面的・多角的に考察し、自分の考えを分かりやすく表現している。	●身近な生活と政治との関わりに関心をもち、政党の役割や選挙の仕組み、現代日本の民主政治の課題について意欲的に追究している。 ●みんなで話し合い、決定するという民主主義の基本的な考えに立ち、積極的に話し合いに参加している。	☆身近な地方公共団体の政治について取り上げ、住民の権利や義務と関連させて扱うことで、地方自治の発展に寄与しようとする住民としての自治意識の基礎を育てる。 ☆多数決の原理と運用の在り方について内容(1)イの学習との関連を図る。 ・各政党の選挙公約等を調べ、現在の政党への関心を高めるように扱う。 ◇近代国家の多くが権力分立制を取り入れていることや、それが、政治権力が特定の者に集中し、乱用されることを防止し、国民の自由や権利を守る上で大切なものであることを理解させる。 ◆裁判員制度について、制度の学習に終始することなく、司法に対する国民の理解が深まり、その信頼が高まることを期待されるなど、制度の意義を理解させる。 ●選挙、住民運動、政党の役割やマスメディアの働きが大きいこと、そして、言論、出版その他の表現の自由の保障や主権者としての良識ある主体的な判断力の育成が大切であることを、国民の政治参加と関連付けて考えさせるなどの工夫を行う。 (さ)さいたま市条例を調べる学習を設定する。 (さ)選挙の意義について、選挙管理委員会発行のリーフレット等を活用するなど、具体的な事例を取り上げて関心を高めさせる。	
		13	国の政治の仕組み	・国会の地位と仕組み ・法律や予算ができるまで ・行政を監視する国会 ・行政の仕組みと内閣 ・行政の役割と行政改革 ・裁判所の仕組みと働き ・裁判の種類と人権 ・裁判員制度と司法制度改革 ・三権の抑制と均衡  さいたま地方裁判所による出前授業を行ったり、模擬裁判を実施したりするなど、ワークショップ	●国会・内閣・裁判所の仕組みと働き、議院内閣制を中心とする三権分立の仕組みとその意義について理解し、その知識を身に付けている。 ●司法権の独立と法に基づく裁判が憲法で保障されていることの意義を理解し、その知識を身に付けている。 ●国会や内閣の仕事について、様々な資料を収集し、必要な情報を選択し、読み取った内容を図表などに分かりやすくまとめている。 ●裁判における国民の権利や、日本の司法の課題について、法令や判例、新聞記事などからの的確に読み取っている。	●国の政治に関する様々な話題や事例から課題を見だし、対立と合意、効率と公正などの観点から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ●模擬裁判などの活動を通して、裁判の役割と国民の司法参加の意義について考えとともに、自分の考えをまとめて論述したり、議論を通して考えを深めたりしている。	●国の政治に関心をもち、見学や調査、話し合いなどの活動に積極的に取り組んでいる。 ●裁判員制度をはじめとする司法制度改革について関心をもち、意欲的に追究している。	・模擬投票の実施や身近な地域に関わる政策の討論など体験的な学習を取り入れ主権者教育の充実を図る。 ・選挙管理委員会など関係諸機関との連携を図るなどして主権者教育の充実を図る。 ◎道徳：○規則の尊重 技家：情報に関する技術 ○新聞を活用した教育活動との関連	小3 安全なくらしを守る 小4 健康なくらしとまちづくり 小6 ともに生きる暮らしと政治 国や地方の政治が国民生活の安定や向上を図るために行われていること、地方自治の基本的な考え方や三権の働き、国民の自由や権利を守る、民主政治をよりよくするためにどのようなことが必要かを学習している。

\* 年間指導計画表中の記号は、以下の意味を示す。

- ☆ 習得させる知識・概念や技能   ★ 言語能力の育成・活用にかかわる学習   ◆ 社会参画や伝統・文化、宗教にかかわる学習  
 ◇ 人権・道徳教育にかかわる学習   (さ)さいたま市の地域資料・素材を生かす学習   ◎ 道徳の授業や他教科との関連  
 (防) 防災教育の視点

月	中項目	時数	・単元名	○学習内容	評価規準			年間指導計画作成上の留意点	円滑な接続のための留意事項
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
		6	・地方自治と私たち	・私たちの生活と地方自治 ・地方自治と仕組み ・地方公共団体の課題 ・住民参加の拡大と私たち	●地方自治の考え方や仕組み、地方財政の仕組みや課題について理解し、その知識を身に付けている。 ●住民自治を基本とする地方自治の考え方に基いて、住民の権利や役割に気付き、その内容を理解している。 ●地域の課題や地方財政の変化について、資料を取集・選択し、複数の資料を比較して読み取ったり、その結果を図表などにまとめたりしている。 ●地域のまちづくりについて、「私たちの政治参加」の手法や、地理的分野や歴史的分野での調査学習で習得した手法を参考に、適切な手段を選択して調査・分析し、考えたことや提言を分かりやすく表現している。	●住民自治や地方分権の考え方について、既習事項を踏まえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ●自分たちが住む地域の特色や課題について調べ、解決のための方法について話し合い、自分の考えをレポートや討論での発言、提言などの形で表現している。	●身近な地方公共団体の政治について意欲的に調べたり、地域住民の一人としてその在り方について考えたりしている。 ●自分たちが住む地域の政治に関心をもち、自分たちができることを意欲的に考え、提案したり、政治参加の方法について考えたりしている。		○全国のユニークな条例からその地域の課題を考察し、地方自治について考える。新聞資料等を利用し、国会や内閣の仕事や法案制定の動き等をまとめさせる。 ○現実の政治に対する関心を高め、将来国政に参加する公民としての意欲や態度を育てられるようにする。

\* 年間指導計画表中の記号は、以下の意味を示す。

- ☆ 習得させる知識・概念や技能    ★ 言語能力の育成・活用にかかわる学習    ◆ 社会参画や伝統・文化、宗教にかかわる学習
- ◇ 人権・道徳教育にかかわる学習 (さ)さいたま市の地域資料・素材を生かす学習    ◎ 道徳の授業や他教科との関連
- ①防 防災教育の視点

月	中項目	時数	単元名	○学習内容	評価規準			年間指導計画作成上の留意点	円滑な接続のための留意事項
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
				<p><b>目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市場経済の基本的な考え方について理解させる。その際、市場における価格の決め方や資源の配分について理解させる。</li> <li>・対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目させ、市場の動きに委ねることが難しい諸問題に関して国や地方公共団体が果たす役割や、財政及び租税の役割について、多面的・多角的に考察、構想させ、表現させる。</li> </ul>					
			6・消費生活と市場経済	<ul style="list-style-type: none"> <li>○私たちの消費生活</li> <li>○契約と消費生活</li> <li>○消費者の権利を守るために</li> <li>○消費生活を支える流通</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●事例や統計資料などを収集・選択し、読み取る学習を通して、身近な消費生活を中心に経済活動の意義について理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、消費生活や流通に関する様々な事例を基に、個人や企業の経済活動における役割と責任について現代社会の生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●身近な事例の提示や、シミュレーションなどの活動を通して、市場の動きと経済について理解し、現代社会に見られる課題の解決に向けた学習を通して、主体的に社会に関わろうとしている。その際、自らの学習を振り返りながら調整し、粘り強く取り組んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆経済に関する様々な事例や課題について、「対立」と「合意」、「効率」と「公正」などの見方や考え方や関連付けて理解させたり、考えさせたり、判断させ、その過程や結果をまとめたり、発表させたりする。</li> <li>☆生徒の身近な経済生活である消費を中心に、人間の生活の維持や向上、生活のための手段としての経済活動の意義について理解させる。</li> <li>☆市場経済の基本的な考え方を具体的な事例を取り上げて理解させる。</li> <li>★金融教育の視点を取り入れる。ICTの発達により様々な支払い方法が用いられているようになってきていることにも気づかせる。</li> <li>★企業の役割と責任を考えさせる際には、自分とかわらせて考えさせる。考えさせたことを説明させる学習活動を取り入れる工夫を行う。</li> <li>★社会的分業の一部を担うことによって、社会に貢献し、社会生活を支えるという意義があることについて考えさせる。</li> <li>☆家計の維持、向上の視点から雇用と労働条件の改善の重要性に気づかせる。</li> <li>◇勤労が国民の権利であり、義務であることや職業選択の自由が保障されていることを考えさせる。</li> <li>◇労働者が自主的に組織する労働組合の意義や労働基準法が労働者が人たるに値する生活を営むための最低基準を定め、労働者を保護しようとしていることと関連付けて考えさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小3 さいたま市の入びとの仕事とわたしたちのくらし</li> <li>身近な地域の人々の生産や販売が自分たちの生活にかかわっていることを学習している。</li> <li>○スーパーや小売店で価格調べを行ったり、コンビニや通信販売などを中心に流通の仕組みを調べさせたりして、市場経済の基本的な考え方を理解させる。</li> <li>○市場の動きについて、グラフや資料からも正しく理解できるようにする。</li> </ul>
			5・生産と労働	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生産活動と企業</li> <li>○企業の種類</li> <li>○株式会社の仕組み</li> <li>○労働の意義と労働者の権利</li> <li>○労働環境の変化と課題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●現代の生産などの仕組みや働き、勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の精神について理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について現代社会の生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市場の動きと経済について理解し、現代社会に見られる課題の解決に向けた学習を通して、主体的に社会に関わろうとしている。その際、自らの学習を振り返りながら調整し、粘り強く取り組んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆技術・D身近な消費生活と環境</li> <li>○新聞を活用した教育活動との関連</li> </ul>	
			6・市場経済の仕組みと金融	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市場経済と価格の決め方</li> <li>○価格の動き</li> <li>○貨幣の役割と金融</li> <li>○私たちの生活と金融機関</li> <li>○景気と金融政策</li> <li>○グローバル経済と金融</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市場経済の基本的な考え方について理解している。その際、市場における価格の決め方や資源の配分について理解している。</li> <li>●現代の金融などの仕組みや働きを理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、個人や企業の経済活動における役割と責任について現代社会の生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市場の動きと経済について理解し、現代社会に見られる課題の解決に向けた学習を通して、主体的に社会に関わろうとしている。その際、自らの学習を振り返りながら調整し、粘り強く取り組んでいる。</li> </ul>		
			5・財政と国民の福祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>○私たちの生活と財政</li> <li>○財政の役割と課題</li> <li>○社会保障の仕組み</li> <li>○少子高齢化と財政</li> </ul> <p style="text-align: center;">防</p> <p>税務署による租税教育を開催する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●社会資本の整備、少子高齢化における社会保障の充実・安定化、消費者の保護について、それらの意義を理解している。</li> <li>●財政及び租税の意義、国民の納税の義務について理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目し、市場の動きに委ねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●国民の生活と政府の役割について、現代社会に見られる課題の解決に向けた学習を通して、主体的に社会に関わろうとしている。その際、自らの学習を振り返りながら調整し、粘り強く取り組んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★国や地方自治体に任せただけで「効率的であったり」「公正」であったりする問題や、市場の動きに任せただけでは解決が難しかったりする問題に関して、国や地方公共団体が果たしている役割について考えさせる。</li> <li>◆消費者教育の視点を取り入れる。(さ)さいたま市の財政の歳入と歳出における具体的な事例を取り上げる。</li> <li>★国や地方公共団体の財源の有限性に気づかせ、財源の配分について、「効率」や「公正」の考えに基づいて考えさせる。</li> <li>★少子高齢化における社会保障とその財源の確保の問題をどのように解決したらよいか、税の負担者として自分の将来とかわらせて考え、考えたことをまとめさせたり、説明させたりする教育を取り入れる。</li> <li>◆租税教育の視点を取り入れ、統計資料などを有効に活用する。(さ)租税教室を実施するなど関係諸団体との連携を図る。</li> <li>◎保体・健康と環境</li> <li>○新聞を活用した教育活動との関連</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小3 安全な暮らしを守る</li> <li>小4 健康な暮らしとまちづくり</li> <li>地域における災害及び事故の防止、廃棄物の処理が地域の人々の健康な生活や良好な生活環境の維持・向上、安全な生活を保障するためのものであることは学習している。</li> <li>○「消防署の利用が有料だったら」「ゴミ収集が有料だったら」など、「社会資本の整備や公共サービスがなかったらどうなるか。」について話し合わせる。</li> <li>○生徒にとって身近なものから国全体の事業や財政について考えられるようにする。</li> <li>小6 ともに生きる暮らしと政治</li> <li>税金の使われ方については学習しているが、租税の意義や役割については学習していない。</li> <li>◆歳出の配分と租税の負担の在り方について「対立と合意、効率と公正」の見方、考え方に基づいて話し合わせる。</li> </ul>
			3・これからの経済と社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○公害防止と環境の保全</li> <li>○経済の持続可能性と真の豊かさ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●公害の防止など環境の保全について、その意義を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目し、市場の動きに委ねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●国民の生活と政府の役割について、現代社会に見られる課題の解決に向けた学習を通して、主体的に社会に関わろうとしている。その際、自らの学習を振り返りながら調整し、粘り強く取り組んでいる。</li> </ul>		

中3 11・12月

第4章 私たちの暮らしと経済

\* 年間指導計画表中の記号は、以下の意味を示す。

- ☆ 習得させる知識・概念や技能
- ★ 言語能力の育成・活用にかかわる学習
- ◆ 社会参画や伝統・文化、宗教にかかわる学習
- ◇ 人権・道徳教育にかかわる学習 (さ)さいたま市の地域資料・素材を生かす学習
- ◎ 道徳の授業や他教科との関連
- ㊦ 防災教育の視点

月	中項目	時数	単元名	学習内容	評価標準			年間指導計画作成上の留意点	円滑な接続のための留意事項
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
			<b>目標</b>	・国際社会の現状や諸課題について関心を持たせ、日本の果たすべき役割について考えさせるとともに、世界平和の実現と人類の福祉の増大に向けての熱意と協力しようとする態度を育てる。 ・国際社会における国家や国際機構、SDGsの目指すものや、NGOの役割、それらが国際社会の諸課題を解決するために行っている取組について理解させる。					
		6	国際社会の仕組み	○国際社会における国家 ○領土をめぐる問題の現状問題の解決に向けて ○国際連合の仕組みと役割 ○地域主義の動き ○新興国の台頭と経済格差	●国際社会は、国家間の対等な関係の上に成り立っており、協力し合うことが必要であることを理解し、その知識を身に付けている。 ●国際連合をはじめとする国際機構が果たしている役割を理解し、その知識を身に付けている。 ●国際連合をはじめとする国際機構に関する複数の資料を比較して読み取ったり、考察したことを分かりやすく発表したりしている。	●国際連合について、対立と合意、効率と公正などの観点を踏まえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ●地域主義や経済のグローバル化に関する複数の資料を比較したり関連付けたりしながら、国際社会の現状や国際関係の変化について多面的・多角的に考察している。	●主権国家や国際連合、地域主義など、国際社会の様々な主体について関心をもち、それらが果たす役割や意義について考えられている。	◆地理的分野、歴史的分野の学習の成果を踏まえ、国際社会における文化や宗教の多様性についても触れる。 ☆国家間において相互に主権を尊重し協力し合っていく上で、国旗、国歌を尊重することの大切さを理解させる。 ★国連の総会、安保理事会など主要組織の目的や働き概要に触れ、国際機構の役割の大切さを認識させ、我が国と国際社会のかかわり考えさせる。 ◆調査した資料をもとに、ロールプレイングの手法により、模擬国連を行い、地球規模の課題について、多面的・多角的に考察し、自らの考えをまとめて発表する。 ◇「貧困」については、先進国、発展途上国との経済格差ばかりでなく発展途上国間においても経済格差があること、貧困の背景には発展途上国における人口の急増があることなどに気付かせる。 ☆「日本の国際貢献」については、政府開発援助(ODA)をはじめとする日本の経済的、技術的な協力が大切であることを具体的に理解させる。 ・「日本国憲法の平和主義」については、内容(3)における平和主義の原則についての学習との関連を図る。 ・「地球環境」については、内容(2)イの「公害の防止など環境の保全」の学習との関連を図る。 ◎理科：第1分野・エネルギー、粒子、第2分野・生命、地球 道徳：○国際理解、国際親善 ○新聞を活用した教育活動との関連	小6 世界の中の日本 世界平和の大切さと我が国が世界において重要な役割を果たしていることを学習しているが、人類の福祉の増大についてまでは学習していない。 ○人類の福祉の増大にかかわる、地球規模の問題について「対立と合意、効率と公正」の見方、考え方に基いて話し合わせる。 ○この学習での成果を、次の単元の「よりよい社会を目指して」のレポートづくりの参考にさせる。
		5	さまざまな国際問題	○地球環境問題 ○資源・エネルギー問題 ○貧困問題 ○新しい戦争 平和な社会に向けて ○難民問題	●国際社会の諸課題のあらましと解決に向けての取り組みについて理解するとともに、解決のためには経済的・技術的な協力が大切であることに気付き、その知識を身に付けている。 ●国際社会の諸課題について、写真や統計資料を基に的確に読み取ったり、複数の資料を関連付けて課題どうしの関係を捉えたり、その解決のための方法について図表などにまとめている。	●地球環境の保全や日本のエネルギーの在り方、貧困の解消などについて、対立と合意、効率と公正、持続可能な社会などの観点を踏まえて多面的・多角的に考察し、発表や討論などを通して、自分の考えを適切に表現している。 ●貧困問題や地域紛争、難民問題などの原因を考えた、その解決のための方法を、具体的な事例を参考にしながら多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	●国際社会の諸課題(地球環境、資源・エネルギー、難民、貧困、紛争など)について関心をもち、日本の果たすべき役割や個人としての関わり方について、意欲的に考えている。		
		3	これからの地球社会と日本	○世界と協力する日本 ○より良い地球社会を目指して	●日本が平和主義と国際貢献を外交の柱としていることを理解するとともに、日本が世界の諸地域と様々な面をつながら、国際社会の諸課題の解決のために活動していることを理解している。 ●核兵器の廃絶が世界の平和を実現するうえで重要な人類の課題になっていることを理解し、その知識を身に付けている。 ●地図や統計資料などを基に、現在行われている国際協力の実態と課題について読み取り、考えたことを図表や文章などにまとめている。	●世界平和を実現するために日本の採るべき立場について、複数の具体的な事例を基に多面的・多角的に考察し、公正に判断している。	●世界平和と国際協力の実現について関心をもち、意欲的に追究している。 ●世界の異なる文化や宗教を尊重し、世界平和を実現しようとする熱意と協力の態度が見られる。		

中3 1・2月 第5章 地球社会と私たち



\* 年間指導計画表中の記号は、以下の意味を示す。

- ☆ 習得させる知識・概念や技能    ★ 言語能力の育成・活用にかかわる学習    ◆ 社会参画や伝統・文化、宗教にかかわる学習
- ◇ 人権・道徳教育にかかわる学習    (さ)さいたま市の地域資料・素材を生かす学習    ◎ 道徳の授業や他教科との関連
- ⑧ 防災教育の視点

月	中項目	時数	・单元名	○学習内容	評価規準			年間指導計画作成上の留意点	円滑な接続のための留意事項
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
			<b>目標</b>	○持続可能な社会を実現するために、自分に何ができるか考えさせることを通して、社会参画するための手がかりを得させる。 ○持続可能な社会を実現するために解決すべき社会の課題を探究することを通して、対立と合意、効率と公正などの見方・考え方を定着させ					
中3 2月	終章 より良い社会を目指して	4	・より良い社会を目指して	○持続可能な社会の形成者として 持続可能な社会を実現するために探究を続ける	●持続可能な社会を形成するために解決すべき社会の課題として、環境・エネルギー、人権・平和、伝統・文化、防災・安全、情報・技術などがあることを理解し、それらの知識を身に付けている。 ●持続可能な社会を実現するために解決すべき社会の課題とその解決策について、これまでの社会科で学習した知識と関連付けて理解している。 ●持続可能な社会を実現するために解決すべき社会の課題を探究するにあたって、様々な資料を適切に収集・選択し、活用している。 ●レポートを作成するにあたって、「探究課題の設定→資料の収集・中間発表・議論→レポートの作成・完成」という科学的な探究の過程をたどっている。	●持続可能な社会を実現するために解決すべき社会の課題について、地理的分野や歴史的分野の学習内容も踏まえて多面的・多角的に考察し、その結果をレポートに表現している。 ●持続可能な社会を実現するために解決すべき社会の課題の解決について、社会参画の観点で捉えるとともに、対立と合意、効率と公正などの観点を踏まえて考察している。 ●身近な地域の生活や日本の取り組みとの関連性に着目し、地域的な視野と世界的な視点に立って探究を深めている。	●持続可能な社会を実現するために解決すべき社会の課題に関心をもち、その解決策を意欲的に探究している。 ●より良い社会を築くために自分に何ができるか考え、社会参画しようとする態度が見られる。	・公民的分野で学習してきた成果の活用に加えて、地理的分野、歴史的分野の学習の成果を用いることに留意する。 ・世界的な視野と地域的な視点に立って探究させるようにする。 ・レポートの作成については、一つのまとまったものに仕上げさせ、生徒が成就感をもてるよう留意する。 (さ)探究する課題の設定にかかわっては、身近な地域の生活や我が国の取組との関連に着目させる工夫を行う。 ★探究成果の発表、考察のまとめで、中間発表、ディベート、議論、プレゼンテーションなどをさせ、最終的には、レポートを提出させる。 ★◆課題を探究させるに当たっては、「対立」と「合意」、「効率」と「合意」、「効率」と「公正」などの見方や考え、社会参画の視点などから検証するよう助言し、国や地方公共団体の取組、地球規模での努力や国際協力、国際協調などが大切であることを理解させ、自らの生活を見直すとともに、現在及び将来の人類がよりよい社会を築いていくために解決すべきこととして、これらの課題を考え続けていく態度を育てる。 ○新聞を活用した教育活動との関連SDGsの視点を取り入れる。	

100

授業時数合計

# 数学科

## 教科の目標

数学的活動を通して、数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則について理解を深め、数学的な表現や処理の仕方を習得し、事象を数理的に考察し表現する能力を高めるとともに、数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、それらを活用して考えたり判断したりできるようにする。

## 育てたい生徒像

数学的な処理を身につけ、数学的な楽しさや数学的な見方・考え方を進んで活用できる能力を養い、事象を類推したり、論理的に考えたりする思考活動の中で、自ら学び、自ら考える力を育てる。

## 3年間指導計画

	1年 週時数(4)	2年 週時数(3)	3年 週時数(4)
教科の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数を正の数と負の数まで拡張し、数の概念についての理解を深める。また、文字を用いることや方程式の必要性和意味を理解するとともに、数量の関係や法則などを一般的にかつ簡潔に表現して処理したり、一元一次方程式を用いたりする能力を培う。</li> <li>・具体的な事象を調べることを通して、比例、反比例についての理解を深めるとともに、関数関係を見だし表現し考察する能力を培う。</li> <li>・平面図形や空間図形についての観察、操作や実験などの活動を通して、図形に対する直観的な見方や考え方を深めるとともに、論理的に考察し表現する能力を培う。</li> <li>・目的に応じて資料を収集して整理し、その資料の傾向を読み取る能力を培う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文字を用いた式について、目的に応じて計算したり変形したりする能力を養うとともに、連立二元一次方程式について理解し用いる能力を培う。</li> <li>・具体的な事象を調べることを通して、一次関数について理解するとともに、関数関係を見だし表現し考察する能力を養う。</li> <li>・基本的な平面図形の性質について、観察、操作や実験などの活動を通して理解を深めるとともに、図形の性質の考察における数学的な推論の必要性和意味、及びその方法を理解し、論理的に考察し表現する能力を養う。</li> <li>・不確定な事象を調べることを通して、確率について理解し用いる能力を培う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数の平方根について理解し、数の概念について理解を深める。また、目的に応じて計算したり式に変形したりする能力を伸ばすとともに、二次方程式について理解し用いる能力を培う。</li> <li>・具体的な事象を調べることを通して、関数 <math>y = ax^2</math> について理解するとともに、関数関係を見だし表現する能力を伸ばす。</li> <li>・図形の相似、円周角と中心角の関係や三平方の定理について、観察、操作や実験などの活動を通して理解し、それらを図形の性質の考察や計量に用いる能力を伸ばすとともに、図形について見通しをもって論理的に考察し表現する能力を伸ばす。</li> <li>・母集団から標本を取り出し、その傾向を調べることで、母集団の傾向を読み取る能力を培う。</li> </ul>

## 数学学習の仕方

- ・授業の取り組み方
  - ・課題を自力解決することを目指す。話し合いの場面では積極的に教え合う。
  - ・計算をする。頭の中でなく、途中式を紙面に残す。
  - ・発表する。発表を聞く。自分と違う考え方・解決方法を大切にする。
  - ・三角定規・コンパスで作図したり、図を描いたりする。
  - ・今まで学習した内容を、分野の枠にとらわれず試してみる。
- ・家庭学習の仕方
  - ・その日の復習を、その日のうちに徹底する。その際、問題集も平行して進める。
  - ・定期テストの復習を確実にやり、提出する。
  - ・今まで学習した内容を、分野の枠にとらわれず試してみる。

## 評価の観点

- ・知識・技能
 

数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。
- ・思考・判断・表現
 

数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力をつけている。
- ・主体的に学習に取り組む態度
 

数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしたりしている。

## 評価の方法

	評価の方法	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
数量的分野 関数的分野 図形的分野 統計的分野	授業	○	○	○
	テスト	○	○	
	提出物	○	○	○

月	単元名、目標	時数	学習内容	評価規準			円滑な接続のための留意事項 ◎特に留意する点
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
4	<p>●正の数・負の数</p> <p>算数の学習の上に立って、数の範囲を正の数と負の数にまで拡張し、正の数と負の数の必要性と意味を理解すること、正の数と負の数の四則計算の意味を理解し、その計算ができるようにすること及び正の数と負の数を用いて表したり処理したりすることを通して、具体的な場面でそれらを活用できるようにする。</p>	27	<p>ア 正の数と負の数の必要性と意味を理解すること。</p> <p>イ 正の数と負の数の四則計算をすること。</p> <p>ウ 具体的な場面で正の数と負の数を用いて表したり処理したりすること。</p> <p>エ 算数で学習した数の四則計算と関連付けて、正の数と負の数の四則計算の方法を観察し表現すること。</p> <p>オ 正の数と負の数を具体的な場面で活用すること。</p>	<p>○正の数と負の数の必要性と意味を理解している。</p> <p>○数を正の数と負の数にまで拡張することで、自然数や整数、正の数と負の数の大小関係、符号、絶対値の意味を理解している。</p> <p>○正の数と負の数の四則計算をすることができる。</p> <p>○具体的な場面で正の数と負の数を用いて、表したり処理したりすることができる。</p> <p>○正の数と負の数を数直線上に表したり大小関係を、不等号を用いて表したりすることができる。</p> <p>○1や素数でない自然数を素数の積として表すことができる。</p>	<p>○正の数と負の数が使われている具体的な場面を見だし、正の数と負の数がどのように用いられているのかを考察し表現することができる。</p> <p>○算数で学習した数の四則計算と関連付けて、数を負の数にまで拡張し、四則計算の方法を考察し表現することができる。</p> <p>○自然数を素数の積として表すとき、分解の順序を変えても、整理すると結果は同じになることを考察し表現することができる。</p>	<p>○正の数と負の数のよさに気づいて粘り強く考え、正の数と負の数について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、正の数と負の数を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしていたりしている。</p> <p>○日常のいろいろな事象を正の数と負の数を用いてとらえようとしている。</p> <p>○正の数と負の数の計算に関心をもち、その意味や計算の方法を考えたり、計算したりしようとしている。</p> <p>○自然数を素数の積として表そうとしている。</p>	<p>←【小6】分数のかけ算 ・真分数×真分数の計算 ・帯分数を含む分数のかけ算 ・逆数の意味</p> <p>←【小6】分数のわり算 ・真分数÷真分数の計算 ・整数÷分数の計算 ・0の概念</p> <p>→【中2】式の計算 →【中3】平方根</p> <p>◎負の数や逆数を用いて加法と減法、乗法と除法を統一的にとらえることができるようにする。</p>
5	<p>課題学習</p> <p>数学的活動の課題例 ・日常生活の中で使われている正の数、負の数（最高気温の前日との差など）が、どのような意味で使用されているかについて話し合う。 ・博物館の曜日ごとの入場者数の平均を、正の数、負の数を利用して工夫して求める方法を考える。</p>	2	<p>○正の数と負の数を用いると、変化や状況を分かりやすく表したり、能率的に処理することができることを理解している。</p>	<p>○仮平均を定めて、効率よく平均を求めるなど、身の回りの様々な事象を正の数や負の数を用いて表したり処理したりすることができる。</p>	<p>○正の数と負の数を用いることに関心をもち、様々な事象における変化や状況を表したり処理したりしようとしている。</p>	<p>・仮平均の考え方など、具体的な場面での正の数と負の数の有用性を理解できるようにする。</p> <p>基礎学力定着プログラム (中1-1) 正負の数 (中1-2) 四則計算</p>	

月	単元名、目標	時数	学習内容	評価規準			円滑な接続のための留意事項 ◎特に留意する点
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
6	<p>●文字の式</p> <p>小学校算数科における学習の状況に十分配慮し、例えば、数量の関係や法則などを数や言葉の式、□、△などを用いた式に表してその意味を読み取ったり、数を当てはめて調べたりする活動を行うなどして、文字のもつ一般性について丁寧に取り扱い、文字に対する抵抗感を和らげながら漸次理解することができるようにする。</p>	17	<p>ア 文字を用いることの必要性和意味を理解すること。</p> <p>イ 文字を用いた式における乗法と除法の表し方を知ること。</p> <p>ウ 簡単な一次式の加法と減法の計算をすること。</p> <p>エ 数量の関係や法則などを文字を用いた式に表すことができることを理解し、式を用いて表したり読み取ったりすること。</p> <p>オ 具体的な場面と関連付けて、一次式の加法と減法の計算の方法を考察し表現すること。</p>	<p>○文字を用いることの必要性和意味を理解している。</p> <p>○文字を用いた式における乗法と除法の表し方や、一次式の加法と減法における項のまとめ方を知っている。</p> <p>○簡単な一次式の加法と減法の計算をすることができる。</p> <p>○数量の関係や法則などを文字を用いた式に表すことができることを理解している。</p> <p>○数量の関係や法則などを式を用いて表したり読み取ったりすることができる。</p>	<p>○具体的な場面と関連付けて、一次式の加法と減法の計算の方法を考察し表現することができる。</p> <p>○文字を用いて数量の関係や法則を式で表すなど、具体的な場面を活用することができる。</p>	<p>○文字を用いることのよさに気づいて粘り強く考え、文字を用いた式について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、文字を用いた式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしていたりしている。</p> <p>○文字を用いることの必要性や意味を理解しようとしていたりしている。</p> <p>○文字を用いた式における計算や、数量の関係や法則などを文字を用いた式に表したり読み取ったりしようとしていたりしている。</p>	<p>←【小3】□を使った式 ←【小6】文字と式</p> <p>・数量の関係を文字を用いてより簡潔に表現し、問題解決に用いようとする。</p> <p>(具体例) 幅が5cmのテープを何cmかで切ることができる長方形の面積を求める式をかく。 <math>x</math> cm切るとき <math>5 \times x</math> (cm) →【中2】式の計算 →【中3】式の展開と因数分解</p> <p>◎文字の扱いについては、形式的な処理を急がず、具体的な場面を通して文字を用いることのよさを味わう経験を豊かにできるようにし、文字に対する抵抗感を和らげるようにする。</p>
7	<p>課題学習</p> <p>数学的活動の課題例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<math>x</math>枚の正方形の画用紙を、その一部が重なるようにしてマグネットでとめるとき、必要なマグネットの個数を<math>x</math>の式で表す方法を考え、その方法を説明する。</li> <li>・下の式の計算の間違いを指摘し、正しい計算の方法を確認し合う。</li> </ul> $(10x + 5) \div 5 = \frac{10x+5}{5} = 2x + 5$	2		<p>○等号が相等関係を表す記号として用いられることを理解している。</p> <p>○等式や不等式などの意味を読み取ったり、文字を用いた式に正の数や負の数を代入して式の値を求めたりすることができる。</p>	<p>○数量の関係や法則などを等式や不等式などで表すために、具体的な場面で情報の選択や演算決定などをし、数量とその関係を考察し表現することができる。</p>	<p>○文字を用いた式を活用することに関心をもち、数量の関係や法則などを表したり、その意味を読み取ったり、式の値を求めたりしようとしていたりしている。</p>	<p>・一元一次方程式を解くために必要な程度の簡単な式の計算ができるようにする。</p> <p>・文字を用いた式の計算方法は、具体的な数の計算や日常生活の場面を背景として理解できるようにする。</p>

基礎学力定着プログラム  
(中1-3)文字と式

国語との関わり  
問題文から、必要な条件を選び、求められている式を立式する。



月	単元名、目標	時数	学習内容	評価規準			円滑な接続のための留意事項 ◎特に留意する点
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
10	●変化と対応  算数の学習の上に立って、具体的な事象の中から伴って変わる二つの数量を取り出して、その変化や対応の仕方に着目し、関数関係の意味を理解できるようにする。	17	ア 関数関係の意味を理解すること。  イ 比例、反比例について理解すること。  ウ 座標の意味を理解すること。  エ 比例、反比例を表、式、グラフなどに表すこと。	○数量関係の意味を理解している。 ○変数と変域の意味を理解している。 ○関数関係を、表やグラフなどで表すことができる。 ○比例、反比例の意味を理解している。 ○比例、反比例の関係を式で表すことができる。	○具体的な事象の中にある二つの数量の関係を表した表やグラフなどを基にして、変化や対応の様子を捉え表現することができる。  ○具体的な事象の中にある二つの数量の関係を、変化や対応の様子に着目して調べ、比例、反比例の関係として捉えられる二つの数量を見いだすことができる。	○関数関係を表やグラフなどで表したり、変化や対応の様子を捉えたりしようとしている。  ○具体的な事象の中から比例、反比例の関係として捉えられる二つの数量を見いだしたり、その関係を式で表したりしようとしている。	< 【小4】 変わり方調べ < 【小5】 単位量あたりの大きさ < 【小6】 比 ・ 等しい比の関係にある比の値 < 【小6】 比例と反比例 ・ 比例、反比例の関係 ・ 比例、反比例のグラフのかき方、特徴 → 【中2】 一次関数 → 【中3】 関数 $y = a \times x^2$  ◎小6で学んだ経験を基に、表、式、グラフなどを用いて表すとき、これらの表し方を相互に関連付け、比例や反比例の関係を理解できるようにする。  ・ 比例と反比例だけが関数関係であるような誤解に陥らないようにする。 ・ 数量の関係を式に表すときは、変数と定数の違いを明らかにする。 ・ 「Aが増えるとBが減るから、BはAに反比例する」といった誤った判断をしないように注意する。 ・ 具体的な事象を扱う際に、変数の変域を意識できるようにする。
11	課題学習 数学的活動の課題例 ・ 正方形の厚紙を使ってふたのない箱をつくること、四隅から切り取る正方形の1辺の長さを変え、ことでもなまって変わる数量について調べる。 ・ 日常生活で比例や反比例の関係が利用されている場面を取り上げ、関数関係を利用することのよさについて考え、伝え合う。 ・ 地震の揺れのもとになる、S波とP波の関係から、地震の揺れが到着する時刻を予想する。  理科との関わり 地震の揺れのもとになる、S波とP波の到着時刻を計算する。	2	オ 比例、反比例として捉えられる二つの数量について、表、式、グラフなどを用いて調べ、それらの変化や対応の特徴を見いだすこと。  カ 比例、反比例を用いて具体的な事象を考察し表現すること。	○比例、反比例の変化や対応の特徴を理解している。 ○座標の意味を理解している。 ○比例、反比例を表、式、グラフなどに表すことができる。 ○平面上の点を座標を用いて表したり、座標を基にして平面上に点をとったりすることができる。  ○具体的な事象の中には、比例、反比例とみなすことで変化や対応の様子について調べたり、予測したりできるようなものがあることを知っている。 ○比例、反比例の関係を表、式、グラフを用いて表現したり、処理したりすることができる。	○比例、反比例として捉えられる二つの数量について、表、式、グラフなどを用いて調べ、それらの変化や対応の特徴を見いだすことができる。  ○具体的な事象から取り出した二つの数量の関係が比例、反比例であるかどうかを判断し、その変化や対応の特徴を捉え表現することができる。  ○比例、反比例を用いて具体的な事象を捉え考察し表現しようとしている。 ○比例、反比例を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	基礎学力定着プログラム (中1-11) 比例の関係	

月	単元名、目標	時数	学習内容	評価規準			円滑な接続のための留意事項 ◎特に留意する点
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
12	●平面図形  平面図形の対称性に着目することで見通しをもって作図し、作図方法を具体的な場面で活用する。こうした学習を通して、平面図形の性質や関係を直観的に捉え論理的に考察する力を養う。また、図形の移動について理解し、二つの図形の関係について調べることを通して、図形に対する見方を一層豊かにする。	17	ア 角の二等分線、線分の垂直二等分線、垂線などの基本的な作図の方法を理解すること。  イ 平行移動、対称移動及び回転移動について理解すること。  ウ 図形の性質に着目し、基本的な作図の方法を考察し表現すること。  エ 図形の移動に着目し、二つの図形の関係について考察し表現すること。	○角の二等分線、線分の垂直二等分線、垂線などの基本的な作図の方法を理解している。  ○平行移動、対称移動および回転移動について理解している。  ○扇形の弧の長さ、面積の求め方を理解している。 ○扇形の弧の長さ、面積を求めることができる。	○図形の対称性に着目し、基本的な作図の方法を考察し表現することができる。  ○図形の移動に着目し、移動前と移動後の二つの図形の関係について考察し表現することができる。  ○基本的な作図や図形の移動を具体的な場面で活用することができる。  ○扇形について、弧の長さ、面積がその中心角の大きさに比例することに着目し、扇形の弧の長さ、面積の求め方を考察し表現することができる。	○平面図形の性質や関係を捉えることによさに気づいて粘り強く考え、平面図形について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、作図や図形の移動を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしていたりしている。  ○平面図形の対称性に着目することで見通しをもって作図したり、作図方法を具体的な場面で活用しようとしていたりしている。  ○扇形の弧の長さや面積に関心をもち、その求め方を考えようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>←【小2】長方形と正方形</li> <li>←【小3】円と球</li> <li>←【小3】三角形と角</li> <li>←【小4】垂直、平行と四角形</li> <li>・図形の構成要素における考察</li> <li>・図形の位置関係における考察</li> <li>・三角定規、コンパスを使っての平行線の作図</li> <li>←【小5】四角形と三角形の面積</li> <li>←【小5】正多角形と円周の長さ</li> <li>←【小6】対称な図形</li> <li>・線対称、点対称な図形の性質</li> <li>←【小6】円の面積</li> <li>・円の面積の求め方</li> <li>→【中2】図形の調べ方</li> <li>→【中2】図形の性質と証明</li> <li>→【中3】図形と相似</li> <li>→【中3】円の性質</li> <li>→【中3】三平方の定理</li> </ul> <p>◎平行四辺形や台形の面積の求め方で経験した図形の動かし方を生かし、図形の移動の学習において、実際に移動させた図をかき活動を取り入れる。</p> <p>・円の接線は、接点を通る半径に垂直であることを取り扱う。</p>
1	課題学習	2	オ 基本的な作図や図形の移動を具体的な場面で活用すること。				

数学的活動の課題例  
 ・直線上の1点を通る垂線や30°や45°を作図する方法について、その方法で作図ができる理由を、線対称な図形の性質や角の二等分線の作図などを根拠にして説明する。  
 ・おうぎ形の面積や弧の長さを、比例式を利用して求める方法について考える。

美術との関わり  
 対称な図形（シンメトリー）を使った作品を鑑賞する。

基礎学力定着プログラム  
 （中1－7）図形の移動  
 （中1－8）作図の仕方



月	単元名、目標	時数	学習内容	評価規準			円滑な接続のための留意事項 ◎特に留意する点
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
2	<p>●空間図形</p> <p>観察、操作や実験などの活動を通して、空間図形についての理解を深めるとともに、図形の計量についての能力を伸ばす。</p> <p>課題学習</p>	16	<p>ア 空間における直線や平面の位置関係を知ること。</p> <p>イ 扇形の弧の長さや面積、基本的な柱体や錐すい体、球の表面積と体積を求めること。</p> <p>ウ 空間図形を直線や平面図形の運動によって構成されるものと捉えたり、空間図形を平面上に表現して平面上の表現から空間図形の性質を見いだしたりすること。</p> <p>エ 立体図形の表面積や体積の求め方を考察し表現すること。</p>	<p>○観察や操作、実験などの活動を通して、空間における直線や平面の位置関係を理解している。</p> <p>○模型を用いたり実験による測定を行ったりして、基本的な柱体や錐体、球の表面積と体積を求めることができる。</p> <p>○見取図、展開図、投影図の意味を理解している。</p> <p>○見取図、展開図、投影図に表す方法を理解している。</p> <p>○柱体、錐体、球の表面積や体積の求め方を理解している。</p>	<p>○空間図形を直線や平面図形の運動によって構成されるものと捉えたり、空間図形を平面上に表現して平面上の表現から空間図形の性質を見いだしたりすることができる。</p> <p>○立体図形の表面積や体積の求め方を見取図や展開図を用いて考察し表現することができる。</p> <p>○見取図、展開図、投影図を用いて空間図形の性質を見いだしたりすることができる。</p> <p>○実験などを基にして、柱体、錐体、球の表面積や体積の求め方を考察し表現することができる。</p>	<p>○空間図形の性質や関係をつめることによさに気付いて粘り強く考え、空間図形について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、空間図形の性質や関係を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしていたりしている。</p> <p>○空間図形について、その見取図、展開図、投影図を用い、図形の各要素の位置関係を調べることを通して、論理的に考察しようとしていたりしている。</p> <p>○見取図、展開図、投影図に関心を持ち、それらをを活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしていたりしている。</p> <p>○柱体、錐体、球の表面積や体積に関心を持ち、その求め方を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしていたりしている。</p>	<p>←【小2下】はこの形</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・立体の展開図からできるはこの形を判断</li> </ul> <p>←【小3上】円と球</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・球についての理解</li> </ul> <p>←【小4下】直方体と立方体</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・立方体、直方体についての理解</li> <li>・図形の位置関係についての考察</li> <li>・展開図、見取り図をかく</li> </ul> <p>←【小5下】角柱と円柱</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・角柱と円柱についての理解</li> <li>・立方体や直方体の体積の求め方</li> </ul> <p>←【小6】角柱と円柱の体積</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三角柱、四角柱の体積の求め方</li> <li>・円柱の体積の求め方</li> </ul> <p>→【中3】図形と相似</p> <p>→【中3】三平方の定理</p> <p>◎直線と平面との位置関係のとらえ方が生かされるような具体的な空間図形の考察場面を取り入れるようにする。</p> <p>・観察、操作や実験などの活動を通して、平面図形の運動による空間図形の構成に対する理解を深められるようにする。</p>
<p>数学的活動の課題例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りの立体の特徴（面を平行に動かしてできる、面を回転させてできる、線を動かしてできる等）について整理したり、見取り図をかくしたりすることで、図形の特徴を理解する。</li> <li>・錐体や球の体積と柱体の体積の関連を予想させ、模型を用いたり実験による測定を行ったりして確かめる。</li> </ul>		<p>技術・家庭との関わり</p> <p>技術分野で、キャビネット図、等角図を学習する。</p>		<p>基礎学力定着プログラム</p> <p>(中1-9) 投影図</p> <p>(中1-10) 球の計量</p>			


月	単元名、目標	時数	学習内容	評価規準			円滑な接続のための留意事項 ◎特に留意する点
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
3	<p>●データの活用</p> <p>・データを収集、整理する場合には、目的に応じた適切で能率的なデータの集め方や、合理的な処理の仕方が重要であることを理解できるようにする。</p> <p>・これまで確定した事象を表すのに用いられてきた数が、不確定な事象の起こりやすさの程度を表すためにも用いられることを知り、不確定な事象の起こりやすさの傾向を読み取り表現することができるようにする。</p>	14	<p>ア ヒストグラムや相対度数などの必要性和意味を理解すること。</p> <p>イ コンピュータなどの情報手段を用いるなどしてデータを表やグラフに整理すること。</p> <p>ウ 目的に応じてデータを収集して分析し、そのデータの分布の傾向を読み取り、批判的に考察し判断すること。</p> <p>エ 多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の必要性和意味を理解すること。</p> <p>オ 多数の観察や多数回の試行の結果を基にして、不確定な事象の起こりやすさの傾向を読み取り表現すること。</p>	<p>○ヒストグラムや相対度数、範囲、累積度数などの必要性和意味を理解している。</p> <p>○コンピューターなどの情報手段を用いるなどしてデータを表やグラフなどに整理することができる。</p> <p>○データを相対度数や累積相対度数を用いて整理することができる。</p> <p>○ヒストグラムや代表値、相対度数などを用いて、問題を解決する方法について理解している。</p> <p>○問題を解決するために、ヒストグラムや代表値、相対度数などを用いてデータを整理することができる。</p>	<p>○ヒストグラムなどを基にして、データの分布の傾向を読み取り表現することができる。</p> <p>○相対度数や累積相対度数を基にして、データの分布の傾向を読み取り表現することができる。</p> <p>○目的に応じたデータを収集する方法や整理する方法について考察し表現することができる。</p> <p>○整理したデータの分布の傾向を読み取り、見いだした結論や過程を批判的に考察し判断することができる。</p>	<p>○ヒストグラムや相対度数、範囲、累積度数などの必要性和意味を考えようとしている。</p> <p>○ヒストグラムや相対度数などを活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしたり、多面的に捉え考えようとしたりしている。</p>	<p>←【小3下】ぼうグラフと表</p> <p>←【小5下】単位量あたりの大きさ</p> <p>←【小6】データの調べ方</p> <p>・代表値</p> <p>・度数分布表</p> <p>・ヒストグラム</p> <p>→【中2】確率</p> <p>→【中3】標本調査とデータの活用</p> <p>◎小学校で学習した代表値を活用しながら、処理した結果を基に資料の傾向を読み取ることができるようにする。</p>
	<p>課題学習</p> <p>数学的活動の課題例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的に応じて資料を収集・整理してヒストグラムを作成し、資料の傾向を説明する。</li> <li>・階級の幅を変えてかいたヒストグラムを比較するとどのようなことが言えるかを話し合う。</li> </ul>	2		<p>○多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の必要性和意味を理解している。</p> <p>○多数回の試行の結果から、相対度数を計算し確率を求めることができる。</p>	<p>○多数の観察や多数回の試行の結果を基にして、不確定な事象の起こりやすさの傾向を読み取り表現することができる。</p>	<p>○多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の必要性和意味を考えようとしている。</p> <p>○多数の観察や多数回の試行によって得られる確率を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。</p>	<p>・ヒストグラムの学習においては、コンピュータなどを利用する。</p> <p>・相対度数については、中2で学ぶ確率の基礎になることにも留意する。</p>
	学年のまとめ	2					


基礎学力定着プログラム  
(中1-12) 度数分布  
(中1-13) 累積度数

月	単元名、目標	時数	学習内容	評価規準			円滑な接続のための留意事項 ◎特に留意する点
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
4 5	<p>●式の計算</p> <p>幾つかの文字を含む整式の四則計算ができるようになることや、文字を用いた式で数量及び数量の関係を捉え説明できることを理解し、文字を用いて式に表現したり式の意味を読み取ったりする力を養うとともに、文字を用いた式を具体的な場面で活用することを通して、そのよさを実感できるようにする。</p> <p>課題学習</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>数学的活動の課題例</p> <p>・〈誤答例〉</p> <math display="block">12ab \div 2a \times 3b = 12ab \div 6ab = 2</math> <p>上の計算の誤りを指摘し、正しい計算の方法について話し合う。</p> <p>・分配法則の計算の仕組みを、面積図を用いて説明する。</p> <p>・「3つの続いた整数の和は3の倍数になる」ことを説明する課題を応用させ、「4つの続いた整数の和」や「5つの続いた整数の和」について考察させ、一般的に説明することの必要性と意味について理解する。</p> </div>	12	<p>ア 簡単な整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算をすること。</p> <p>イ 具体的な事象の中の数量の関係を文字を用いた式で表したり、式の意味を読み取ったりすること。</p> <p>ウ 文字を用いた式で数量及び数量の関係を捉え説明できることを理解すること。</p> <p>エ 目的に応じて、簡単な式を変形すること。</p> <p>オ 具体的な数の計算や既に学習した計算の方法と関連付けて、整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算の方法を考察し表現すること。</p> <p>カ 文字を用いた式を具体的な場面で活用すること。</p>	<p>○単項式や多項式、次数や同類項の意味を理解している。</p> <p>○簡単な整式の加法と減法の計算をすることができる。</p> <p>○多項式と数の乗法、除法の計算をすることができる。</p> <p>○文字が2つ以上ある式について、式の値を求めることができる。</p> <p>○単項式の乗法と除法の計算をすることができる。</p> <p>○数量及び数量の関係を帰納や類推によって捉え、それを文字を用いた式を使って一般的に説明することの必要性と意味を理解している。</p> <p>○具体的な事象の中の数量の関係を文字を用いた式で表すことができる。</p> <p>○目的に応じて、簡単な式を変形することができる。</p> <p>○文字を用いた式の意味を読み取ることができる。</p> <p>○問題の中の数量や数量の関係を文字を用いた式で表して処理し、処理した結果を問題に即して解釈することができる。</p>	<p>○多項式の加法、減法の計算の方法を、1年で学習した文字式の計算と関連づけて考察し表現することができる。</p> <p>○多項式と数の乗法、除法の計算の方法を、1年で学習した文字式の計算と関連づけて考察し表現することができる。</p> <p>○文字が2つ以上ある式について、式の値を求める方法を考察し表現することができる。</p> <p>○単項式の乗法、除法の計算の方法を、1年で学習した文字式の計算と関連づけて考察し表現することができる。</p> <p>○数の性質などが成り立つことを、数量及び数量の関係を捉え、文字式を使って説明することができる。</p> <p>○文字を用いた式を具体的な場面で活用することができる。</p>	<p>○多項式の加法、減法の計算の方法を、1年で学習した文字式の計算と関連づけて考えたり、それらの計算をしたりしようとしている。</p> <p>○多項式と数の乗法、除法の計算の方法を、1年で学習した文字式の計算と関連づけて考えたり、それらの計算をしたりしようとしている。</p> <p>○文字が2つ以上ある式について、式の値を求める方法を考えたり、それらの計算をしたりしようとしている。</p> <p>○単項式の乗法・除法の計算の方法を、1年で学習した文字式の計算と関連づけて考えたり、それらの計算をしたりしようとしている。</p> <p>○文字式を使って一般的に説明することの必要性と意味を考えようとしている。</p> <p>○文字を用いた式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</p> <p>○文字を用いた式を活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしている。</p>	<p>←【小3】□を使った式</p> <p>←【小6】文字と式</p> <p>←【中1】正の数・負の数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・正負の数の必要性と意味</li> <li>・正負の数の四則計算</li> </ul> <p>←【中1】文字の式</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文字を用いることの必要性と意味</li> <li>・文字式の乗法と除法の表し方</li> <li>・一次式の加法と減法の計算</li> <li>・文字を用いた式に表すこと(不等式を用いた表現)</li> </ul> <p>→【中3】式の展開と因数分解</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単項式と多項式の乗法と除法の計算</li> <li>・簡単な式の展開や因数分解</li> <li>・文字を用いた式で数量関係を捉えること</li> </ul> <p>◎第1学年で学習した文字を用いた式の計算と関連付け、学び直しの機会を設けるようにする。</p>
			<p>国語との関わり</p> <p>数の性質を、文字式を利用して一般的に成り立つことを、論理的に説明する。</p>	<p>道徳との関わり</p> <p>事象を数理的に考察し、筋道立てて考え、表現することで道徳的判断力の育成に資する。</p>	<p>基礎学力定着プログラム</p> <p>(中2-1) 式の計算</p> <p>(中2-2) 式の計算</p> <p>(中2-3) 文字式の利用</p>		

月	単元名、目標	時数	学習内容	評価規準			円滑な接続のための留意事項 ◎特に留意する点
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
5 6	<p>●連立方程式</p> <p>二元一次方程式とその解の意味や二元一次方程式を連立させることの必要性と意味及び連立二元一次方程式の解の意味を理解し、解を求めることができるようにする。さらに、連立二元一次方程式を具体的な場面で活用することができるようにする。</p> <p>課題学習</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>数学的活動の課題例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「50円切手と80円切手を合わせて15枚買ったら960円であった」という場面において、次のア、イの二通りの方法で考え、それぞれのよさについて話し合う。また、アの連立方程式とイの一元一次方程式の関連(アを代入法で解くと、イの式に帰着できること)を説明する。</li> </ul> </div>	13	<p>ア 二元一次方程式とその解の意味を理解すること。</p> <p>イ 連立二元一次方程式の必要性とその意味及びその解の意味を理解すること。</p> <p>ウ 簡単な連立二元一次方程式を解くこと。</p> <p>エ 一元一次方程式と関連付けて、連立二元一次方程式を解く方法を考察し表現すること。</p> <p>オ 連立二元一次方程式を具体的な場面で活用すること。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>保健体育との関わり</p> <p>車いすバスケットボールの試合で、与えられた条件を基に、2点シュート、3点シュートの成功回数を求める。</p> </div>	<p>○二元一次方程式とその解の意味を理解している。</p> <p>○連立方程式の必要性と意味、その解の意味を理解している。</p> <p>○2つの二元一次方程式の中の文字に数を代入して、その数が連立方程式の解であるかどうかを確かめることができる。</p> <p>○連立方程式を加減法を用いて解くことができる。</p> <p>○連立方程式を代入法を用いて解くことができる。</p> <p>○係数が整数でない場合などの連立方程式を解くことができる。</p> <p>○<math>A=B=C</math>の形の方程式を解くことができる。</p> <p>○連立方程式を活用して問題を解決する方法について理解している。</p> <p>○事象の中の数量やその関係に着目して連立方程式をつくり、その連立方程式を解くことができる。</p>	<p>○2つの二元一次方程式を成り立たせる文字の値の組を求める方法を考察し表現することができる。</p> <p>○一元一次方程式と関連付けて、連立方程式を解く方法を考察し表現することができる。</p> <p>○連立方程式を具体的な場面で活用することができる。</p> <p>○求めた解や解決の方法をふり返って、それらが適切であるかどうかを考察し表現することができる。</p>	<p>○連立方程式の必要性と意味を考えようとしている。</p> <p>○加減法や代入法による連立方程式の解き方を考えようとしている。</p> <p>○連立方程式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</p> <p>○連立方程式を活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしている。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>基礎学力定着プログラム (中2-4) 連立方程式</p> </div>	<p>←【小3下】□を使った式</p> <p>←【小6】文字と式</p> <p>←【中1】方程式</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>方程式及びその解の意味</li> <li>等式の性質と一次方程式の解き方</li> <li>一次方程式を活用すること(比例式)</li> </ul> <p>→【中3】二次方程式</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>二次方程式とその解の意味</li> <li>二次方程式を解くこと(二次方程式の解の公式)</li> <li>二次方程式を活用すること</li> </ul> <p>◎連立方程式の解き方については2つの文字のうち一方の文字を消去し、中1で学んだ一元一次方程式に帰着して解くことに生徒自らが、気付けるようにする。</p>

月	単元名、目標	時数	学習内容	評価規準			円滑な接続のための留意事項 ◎特に留意する点
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
7 8 9	●一次関数  具体的な事象における二つの数量の変化や対応を調べることを通して、関数関係を見だし考察し表現することができるようにする。  課題学習	20  1	ア 一次関数について理解すること。  イ 事象の中には一次関数として捉えられるものがあることを知ること。  ウ 二元一次方程式を関数を表す式とみること。  エ 一次関数として捉えられる二つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現すること。  オ 一次関数を用いて具体的な事象を捉え考察し表現すること。	○一次関数の意味を理解している。 ○一次関数の関係を式に表すことができる。また、数を代入し、対応する値を求めることができる。 ○変化の割合の意味を理解している。また、一次関数の変化の割合の特徴を理解している。 ○一次関数の変化の割合を求めることができる。 ○一次関数のグラフの特徴を理解している。また、一次関数のグラフの切片や傾きの意味を理解している。 ○一次関数の関係をグラフに表すことができる。 ○一次関数について、xの変域に制限があるときのyの変域を求めることができる。 ○一次関数の式を、与えられた条件から求めることができる。 ○ $b \neq 0$ のとき、二元一次方程式 $ax + by + c = 0$ は、xとyの間の関数関係を表す式とみることができることを理解している。 ○二元一次方程式の解を座標とみて、座標平面上に表すことができる。 ○ $a = 0$ または $b = 0$ のときの二元一次方程式 $ax + by + c = 0$ のグラフの特徴について理解している。 ○連立方程式の解は座標平面上の2直線の交点の座標であることを理解している。 ○座標平面上の2直線の交点の座標を連立二元一次方程式を解いて求めたり、連立方程式の解を2直線の交点の座標から求めたりすることができる。 ○一次関数を活用して問題を解決する方法について理解している。 ○一次関数の関係を表、式、グラフを用いて表し、問題を処理することができる。	○具体的な事象の中にある2つの数量の関係を、変化や対応の様子に着目して調べ、一次関数として捉えられる2つの数量を見だすことができる。 ○一次関数の変化の割合の特徴を、反比例と比較して見いだすことができる。 ○一次関数のグラフの特徴を、表や式、変化の割合と関連付けて考察し表現することができる。 ○一次関数について、xの変域に制限があるときのyの変域を求める方法を、グラフと関連付けて考察し表現することができる。 ○一次関数の特徴に着目して、与えられた条件から式を求める方法を考察し表現することができる。 ○二元一次方程式を関数関係を表す式とみること、二元一次方程式の解と一次関数のグラフの関係を考察し表現することができる。 ○連立二元一次方程式の解の意味について、一次関数と二元一次方程式のグラフとの関係を考察し表現することができる。 ○具体的な事象の中から取り出した2つの数量の関係を、理想化したり単純化したりして一次関数とみなし、変化や対応の様子を調べたり、予測したりすることができる。	○具体的な事象の中から一次関数として捉えられる2つの数量を見だしたり、その関係を式で表したりしようとしている。 ○一次関数の変化の割合の特徴を、反比例と比較して見いだそうとしている。 ○一次関数のグラフの特徴を、表や式、変化の割合と関連付けて考えようとしている。 ○一次関数について、xの変域に制限があるときのyの変域を求める方法を、グラフと関連付けて考えようとしている。 ○一次関数の式を与えられた条件から求める方法を、表、式、グラフを相互に関連付けるなどして考えようとしている。 ○連立二元一次方程式の解の意味について、一次関数と二元一次方程式のグラフとの関係から考えようとしている。 ○一次関数について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ○一次関数を活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>←【小4下】変わり方調べ</li> <li>←【小5下】単位量あたりの大きさ(速さ)</li> <li>←【小6】比</li> <li>・等しい比の関係にある比の値</li> <li>←【小6】比例と反比例</li> <li>・比例、反比例の関係</li> <li>・比例、反比例のグラフのかき方、特徴</li> <li>←【中1】変化と対応</li> <li>・関数関係の意味</li> <li>・比例、反比例の意味</li> <li>・座標の意味</li> <li>・比例、反比例の特徴</li> <li>・比例、反比例を用いること</li> <li>→【中3】関数<math>y = ax^2</math></li> <li>・関数<math>y = ax^2</math>の関係</li> <li>・関数<math>y = ax^2</math>の特徴</li> <li>・関数<math>y = ax^2</math>を用いること</li> <li>・いろいろな事象と関数</li> </ul>
<p>数学的活動の課題例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・りんご2個とみかん5個の代金の合計は660円 りんご2個とみかん3個の代金の合計は600円 でした。 上の条件で、みかん1個分の代金を求める活動を通して、加減法の計算方法について考えさせる。</li> <li>・連立方程式<math>\begin{cases} y = 4x - 11 \\ 8x - 3y = 0 \end{cases}</math>の解き方について、話し合う。</li> <li>・「50円切手と80円切手を合わせて15枚買ったなら960円であった」という場面において、次のア、イの二通りの方法で考え、それぞれのよさについて話し合う。また、アの連立方程式とイの一元一次方程式の関連(アを代入法で解くと、イの式に帰着できること)を説明する。</li> </ul>				<p>理科との関わり</p> <p>水を熱したときの時間と水温の関係を表す。</p>			<p>基礎学力定着プログラム (中2-8) 一次関数</p>

月	単元名、目標	時数	学習内容	評価規準			円滑な接続のための留意事項 ◎特に留意する点	
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
9 10 11	<p>● 図形の調べ方</p> <p>三角形や四角形などの多角形の角の大きさについての性質を、数学的な推論を用いて調べることができるようにする。その際、図形をよく観察したり、作図したりする操作や実験などの活動を通して、その推論の過程を他者に伝えるように分かりやすく表現できるようにする。</p> <p>課題学習</p>	16	<p>ア 平行線や角の性質を理解すること。</p> <p>イ 多角形の角についての性質を理解すること。</p> <p>ウ 基本的な平面図形の性質を見だし、平行線や角の性質を基にしてそれらを確かめ説明すること。</p>	<p>○対頂角、同位角、錯角の意味を理解している。</p> <p>○平行線の性質、平行線になるための条件を理解している。</p> <p>○対頂角や平行線の性質を用いて、角の大きさを求めたり、直線の位置関係などを表したりすることができる。</p> <p>○「三角形の内角の和は180°である」ことなどを、帰納的な方法で示すことでは、その性質が常に成り立つことを示しているとはいえないことを理解している。</p> <p>○三角形の内角・外角の意味及びその性質について理解している。</p> <p>○鋭角、鈍角、鋭角三角形、鈍角三角形の意味を理解している。</p> <p>○多角形の内角の和と外角の和の意味を理解している。</p> <p>○多角形の内角の和や外角の和などを求めることができる。</p> <p>○合同な図形の性質や、三角形の合同条件の意味を理解している。</p> <p>○合同な2つの三角形の辺や角の関係などを記号を用いて表したり、その意味を読み取ったりすることができる。</p> <p>○命題の仮定と結論の意味を理解している。</p> <p>○命題の仮定や結論などを記号を用いて表したり、その意味を読み取ったりすることができる。</p> <p>○図形の性質などを証明することの必要性と意味を理解している。</p> <p>○証明の進め方について理解している。</p>	<p>○対頂角や平行線の性質を見だし、根拠を明らかにして説明することができる。</p> <p>○「三角形の内角の和は180°である」ことなどを、平行線の性質などをもとにして確かめ説明することができる。</p> <p>○多角形の内角の和や外角の和などを予想し、それが正しいことを考察し表現することができる。</p> <p>○三角形の決定条件をもとにして、三角形の合同条件を見いだすことができる。</p> <p>○三角形の合同条件を用いて、2つの三角形が合同であるかどうかを考察し表現することができる。</p> <p>○図形の性質などを証明することの必要性と意味を考察することができる。</p> <p>○図形の性質などを証明するときのすじ道を考えることができる。</p> <p>○図形の性質を証明するために、見通しを立てて証明をかくことができる。</p>	<p>○平行線や角の性質を帰納的に確かめて演繹的に導いたり、それを用いて角の大きさを求めたり、直線の位置関係を表したりしようとしている。</p> <p>○多角形の内角の和や外角の和についての性質を見いだそうとしている。</p> <p>○三角形の合同条件を用いて、2つの三角形が合同であるかどうかを考えようとしている。</p> <p>○図形の性質などを証明することの必要性と意味を考えようとしている。</p> <p>○図形の性質を証明するために、見通しを立てて証明をかくようとしている。</p>	<p>←【小4上】角の大きさ</p> <p>←【小4下】垂直、平行と四角形</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・垂直の意味とその弁別</li> <li>・垂直な直線の引き方</li> <li>・平行の意味とその弁別</li> <li>・平行な直線の性質</li> <li>・平行な直線のひき方</li> <li>・方眼上の直線の垂直や平行の関係</li> </ul> <p>←【小5上】図形の角</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三角形、四角形の角の和</li> </ul> <p>←【中1】平面図形</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な作図の方法とその活用</li> <li>・図形の移動(平行移動、対称移動、回転移動)</li> </ul> <p>→【中3】図形と相似</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平面図形の相似と三角形の相似条件</li> <li>・図形の基本的な性質</li> <li>・平行線と線分の比</li> <li>・相似な図形の相似比と面積比及び体積比</li> <li>・相似な図形の性質を活用すること</li> </ul> <p>◎操作的な活動等を中心に、小学校で学習した合同の学習の経験を生かし、三角形の合同条件を一般化して捉えられるようにする。</p>	
<p>数学的活動の課題例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三角形の3つの内角の和が180°であることを様々な方法で説明する。</li> <li>・AB=AD、BC=DCのとき、<math>\angle ABC = \angle ADC</math> が成り立つことを、どのように説明すればよいかを話し合う。</li> <li>・補助線のひき方を変えて複数の解き方を考え、その方法について説明し、伝え合う。</li> </ul>							<p>基礎学力定着プログラム (中2-5) 角と平行線 (中2-6) 三角形の合同</p>	

月	単元名、目標	時数	学習内容	評価規準			円滑な接続のための留意事項 ◎特に留意する点
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
11 12 1	<p>●図形の性質と証明</p> <p>数学的に推論することによって、図形の性質を調べることができるようにする。さらに、調べる過程やその結果について説明し伝え合う活動を通して、適切に表現できるようにする。</p> <p>課題学習</p>	20	<p>ア 平面図形の合同の意味及び三角形の合同条件について理解すること。</p> <p>イ 証明の必要性と意味及びその方法について理解すること。</p> <p>ウ 三角形の合同条件などを基にして三角形や平行四辺形の基本的な性質を論理的に確かめたり、証明を読んで新たな性質を見いだしたりすること。</p> <p>エ 三角形や平行四辺形の基本的な性質などを具体的な場面で活用すること。</p>	<p>○二等辺三角形の性質を理解している。</p> <p>○定義、定理の意味を理解している。</p> <p>○二等辺三角形の性質を記号を用いて表したり、その意味を読み取ったりすることができる。</p> <p>○逆、反例の意味を理解している。</p> <p>○直角三角形の合同条件の必要性と意味を理解している。</p> <p>○平行四辺形の性質を理解している。</p> <p>○平行四辺形の性質を記号を用いて表したり、その意味を読み取ったりすることができる。</p> <p>○平行四辺形になるための条件を理解している。</p> <p>○直角三角形の合同条件の必要性と意味を理解している。</p> <p>○平行四辺形になるための条件を記号を用いて表したり、その意味を読み取ったりすることができる。</p> <p>○長方形、ひし形、正方形、平行四辺形の関係などを理解している。</p> <p>○平行線と面積の関係を理解している。</p> <p>○平行線と面積の関係をともに、1つの図形を面積の等しい別の図形に変形することができる。</p> <p>○日常生活で四角形の性質を利用して場面を理解している。</p>	<p>○三角形の合同条件などをもとにして、二等辺三角形の性質を論理的に確かめ証明することができる。</p> <p>○命題が正しくないことを証明するために、反例をあげることができる。</p> <p>○三角形の合同条件をもとにして、直角三角形の合同条件を見いだすことができる。</p> <p>○直角三角形の合同条件をもとにして、図形の性質を証明することができる。</p> <p>○三角形の合同条件などをもとにして、平行四辺形の性質を論理的に確かめ証明することができる。</p> <p>○三角形の合同条件などをもとにして、平行四辺形になるための条件を論理的に確かめ証明することができる。</p> <p>○平行四辺形になるための条件などをもとにして、図形の性質を証明することができる。</p> <p>○長方形、ひし形、正方形、平行四辺形の関係を論理的に考察し整理することができる。</p> <p>○平行線と面積の係に着目して、1つの図形を面積の等しい別の図形に変形する方法を考察し表現することができる。</p> <p>○四角形の性質を具体的な場面で活用することができる。</p> <p>○四角形の性質を活用した問題解決で得られた結果を、意味付けることができる。</p>	<p>○二等辺三角形の性質を見いだしたり、証明したりしようとしている。</p> <p>○直角三角形の合同条件を見いだしたり、それを用いて図形の性質を証明したりしようとしている。</p> <p>○平行四辺形の性質について調べ、証明しようとしている。</p> <p>○平行四辺形になるための条件について調べ、証明しようとしている。</p> <p>○長方形、ひし形、正方形、平行四辺形の関係などについて考えようとしている。</p> <p>○平行線と面積の係に着目して、1つの図形を面積の等しい別の図形に変形する方法を考えようとしている。</p> <p>○四角形の性質について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</p> <p>○四角形の性質を活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしている。</p>	<p>←【小4上】角の大きさ</p> <p>←【小4下】垂直、平行と四角形</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・垂直の意味とその弁別</li> <li>・垂直な直線の引き方</li> <li>・平行の意味とその弁別</li> <li>・平行な直線の性質</li> <li>・平行な直線の引き方</li> <li>・方眼上の直線の垂直や平行の関係</li> </ul> <p>←【小5上】図形の角</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三角形、四角形の角の和</li> </ul> <p>←【中1】平面図形</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な作図の方法とその活用</li> <li>・図形の移動(平行移動、対称移動、回転移動)</li> </ul> <p>→【中3】図形と相似</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平面図形の相似と三角形の相似条件</li> <li>・図形の基本的な性質</li> <li>・平行線と線分の比</li> <li>・相似な図形の相似比と面積比及び体積比</li> <li>・相似な図形の性質を活用すること</li> </ul> <p>◎操作的な活動等を中心に、小学校で学習した合同の学習の経験を生かし、三角形の合同条件を一般化して捉えられるようにする。</p>
<p>数学的活動の課題例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・右の図について「<math>AO=BO</math>、<math>CO=DO</math>」ならば、<math>\triangle AOC \cong \triangle BOD</math>である」について、不足している説明を加える。また、<math>AC//BD</math>や四角形<math>ACBD</math>が平行四辺形であること等の図形の性質について気が付いたことを話し合う。</li> <li>・「整数<math>a, b</math>で、<math>a</math>も<math>b</math>奇数ならば、<math>a+b</math>は偶数である」このことからの逆が正しいかどうかを判断し、正しくない場合には適切な反例を示して説明する。</li> <li>・四角形について、平行四辺形、長方形、ひし形、正方形に分類できる場合の条件について、グループで話し合う。</li> </ul>							<p>基礎学力定着プログラム (中2-7) 合同条件を使った証明</p>

月	単元名、目標	時数	学習内容	評価規準			円滑な接続のための留意事項 ◎特に留意する点
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
1 2	●場合の数と確率  同様に確からしいことに着目し、確率を求める方法を考察するとともに、確率を用いて不確定な事象を捉え考察し、表現することができるようにする。  課題学習	8	ア 多数回の試行によって得られる確率と関連付けて、場合の数を基にして得られる確率の必要性と意味を理解すること。  イ 簡単な場合について確率を求めること。  ウ 同様に確からしいことに着目し、場合の数を基にして得られる確率の求め方を考察し表現すること。  エ 確率を用いて不確定な事象を捉え考察し表現すること。	○多数回の試行によって得られる確率と関連づけて、場合の数をもとにして得られる確率の必要性と意味を理解している。 ○樹形図や二次元の表などを利用して、起こり得るすべての場合を求め、同様に確からしいことをもとにして、いろいろな場合について確率を求めることができる。 ○具体的な場面で、確率を活用して問題を解決する方法について理解している。 ○問題を解決するために、起こり得るすべての場合を求めたり、確率を求めたりすることができる。	○多数回の試行によって得られる確率と、場合の数をもとにして得られる確率を比較し、その関係について考察し表現することができる。 ○同様に確からしいことに着目し、場合の数をもとにして得られる確率の求め方について考察し表現することができる。 ○起こりうるすべての場合を、樹形図や二次元の表などを用いて考察し表現することができる。 ○確率を用いて不確定な事象を捉え考察し表現することができる。	○場合の数をもとにして得られる確率の必要性と意味を考えようとしている。 ○同様に確からしいことに着目し、場合の数をもとにして得られる確率の求め方について考えた り、いろいろな場合について確率を求めたりしようとしている。 ○確率について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ○確率を活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしている。	←【中1】データの活用 ・相対度数と確率  ◎実際に多数回の試行によって得られた確率と場合の数を基にして求めた確率とを関連付けて、求めた確率を実感を伴って理解できるようにする。  ◎同様に確からしいことに着目し、樹形図や二次元の表などの数学的な表現を用いて説明し伝え合うことを通して、場合の数を基にして得られる確率の求め方を考察し表現できるようにすることが大切である。  ◎確率を求めることだけを目的とするのではなく、不確定な事象に関する問題解決を重視し、生徒が確率を用いて説明することを大切にする。その際、日常生活や社会に関わる事象を取り上げ、確率を用いて説明できる事柄を明らかにすることが必要である。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     数学的活動の課題例                      ・さいころを2人で100回振り、1の目がでる回数から確率を求める。班員の結果、クラス全員の結果を合せて1の目がでる割合を求めると0.1666(=1/6)に近付くことから、試行回数が増えると、実験の結果は、計算で求める確率に近い値になることを確かめる。                      ・くじ引きでは、どの様な順番でくじを引いても、くじに当たる確率は同じであることを、分かりやすく説明する方法を考える。                 </div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     理科との関わり                      実験値を基に、事柄の起こりやすさを数値で表す。                 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     社会との関わり                      統計的な数値を基に、事柄の起こりやすさを数値に表して考察する。                 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     保健体育との関わり                      総当たり戦の試合数の求め方を調べる。                 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     基礎学力定着プログラム                      (中2-9) 確率                 </div>	





月	単元名、目標	時数	学習内容	評価規準			円滑な接続のための留意事項 ◎特に留意する点	
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
4	●式の展開と因数分解  単項式と多項式の乗法、多項式を単項式で割る除法及び簡単な一次式の乗法の計算ができるようにする。さらに、公式を用いる簡単な式の展開と因数分解を取り扱い、これによって、文字を用いた式で数量及び数量の関係を捉え説明する力を養うようにする。	17	ア 単項式と多項式の乗法及び多項式を単項式で割る除法の計算をすること。  イ 簡単な一次式の乗法の計算及び次の公式を用いる簡単な式の展開や因数分解をすること。 $(a+b)^2=a^2+2ab+b^2$ $(a-b)^2=a^2-2ab+b^2$ $(a+b)(a-b)=a^2-b^2$ $(x+a)(x+b)=x^2+(a+b)x+ab$  ウ 既に学習した計算方法と関連付けて、式の展開や因数分解をする方法を考察し表現すること。  エ 文字を用いた式で数量及び数量の関係を捉え説明すること。	○単項式と多項式の乗法及び多項式を単項式で割る除法の計算ができる。 ○展開と因数分解及び因数の意味を理解している。 ○簡単な一次式の乗法の計算及び次の公式を用いる簡単な式の展開や因数分解をすることができる。 $(a+b)^2=a^2+2ab+b^2$ $(a-b)^2=a^2-2ab+b^2$ $(a+b)(a-b)=a^2-b^2$ $(x+a)(x+b)=x^2+(a+b)x+ab$  ○文字を用いた式で数量及び数量の関係を捉え説明することのよさや必要性を理解している。	○単項式と多項式の乗法・除法の計算の方法を、具体的な数の計算や既習の文字を用いた式の計算と関連付けて考察し表現することができる。 ○式の展開や因数分解の方法を、式を1つの文字に置き換えたり、交換法則・結合法則や分配法則を用いたりして、既習の計算に帰着させて考察し表現することができる。  ○文字を用いた式で数量及び数量の関係を捉え説明することができる。	○文字を用いた式の必要性和意味を考えようとしている。 ○単項式と多項式の乗法及び多項式を単項式で割る除法の計算方法について、自分の学習を振り返って評価・改善しようとしている。  ○文字を用いた式を活用して説明する過程を振り返って評価・改善しようとしている。 ○多項式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。	←【小5上】偶数と奇数、倍数と約数 ←【中1】文字の式 ←【中2】式の計算  ◎形式的な処理とともに、式の意味を図などを用いて説明したり、結び付けて考えたりできるようにする。  ・説明とは、単に説明のための文章が書けることだけではなく、その内容を、相手に分かりやすく伝えることも含まれることが実感できるようにする。	
5	課題学習	3						
数学的活動の課題例 ・面積図を使って、式の展開や因数分解を説明する。 ・「連続する2つの偶数の積に1をたすと奇数の2乗になる」ことを、相手に分かりやすく説明する方法を考える。また、式の変形を振り返り、「連続する偶数の間の奇数の2乗になる」という意味を読み取る。 さらに、課題の中にある「2つ」を「3つ」にかえるなど、新たな性質を見いだそうとする。 ・道の面積をS、道幅aの道の真ん中を通る線の長さをlとすると、 $S=al$ となることを証明する。				国語との関わり 数の性質を、文字式を利用して一般的に成り立つことを、論理的に説明する。		道徳との関わり 事象を数理的に考察し、筋道立てて考え、表現することで道徳的判断力の育成に資する。		基礎学力定着プログラム (中3-3)多項式

月	単元名、目標	時数	学習内容	評価規準			円滑な接続のための留意事項 ◎特に留意する点
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
6	<p>●平方根</p> <p>正の数の平方根の必要性和意味を理解し、正の数の平方根を含む簡単な式の計算ができるようにするとともに、具体的な場面で平方根を用いて表したり処理したりすることを通して、それを具体的な場面で活用することができるようにする。</p>	<p>14</p>	<p>ア 数の平方根の必要性和意味を理解すること。</p> <p>イ 数の平方根を含む簡単な式の計算をすること。</p> <p>ウ 具体的な場面で数の平方根を用いて表したり処理したりすること。</p> <p>エ 既に学習した計算の方法と関連付けて、数の平方根を含む式の計算の方法を考察し表現すること。</p> <p>オ 数の平方根を具体的な場面で活用すること。</p>	<p>○数の平方根の必要性和意味を理解している。</p> <p>○数を記号<math>\sqrt{\quad}</math>を用いて表すことのできる。</p> <p>○数の平方根を数直線上に表したり、大小関係を不等号を用いて表したりすることができる。</p> <p>○有理数と無理数、近似値と誤差の意味を理解している。</p> <p>○数を<math>a \times 10^n</math>の形で表すことができる。</p> <p>○数の平方根を含む簡単な式の計算をすることができる。</p>	<p>○1辺の長さが1mである正方形の対角線の長さなどが、どのような数で表されるのかを考察し表現することができる。</p> <p>○平方根の近似値を求める方法を考察し表現することができる。</p> <p>○測定値を<math>a \times 10^n</math>の形に表すことで有効数字を表したり、近似値の誤差を見積もったりするなど、具体的な場面で学習したことを活用することができる。</p> <p>○既に学習した計算の方法と関連付けて、数の平方根を含む式の計算の方法を考察し表現することができる。</p> <p>○<math>\sqrt{a} \times \sqrt{b} = \sqrt{a \times b}</math>や<math>\sqrt{a}/\sqrt{b} = \sqrt{a/b}</math>が成り立つことを確かめ表現することができる。</p> <p>○<math>\sqrt{a} + \sqrt{b} = \sqrt{a+b}</math>が成り立たないことを示すために、反例をあげることができる。</p>	<p>○数の平方根の必要性和意味を考えようとしている。</p> <p>○数を<math>a \times 10^n</math>の形に表すことの必要性和意味を考えようとしている。</p> <p>○数の平方根を含む簡単な式の計算方法について、自分の学習を振り返って評価・改善しようとしている。</p>	<p>←【小4上】がい数の使い方と表し方</p> <p>←【中1】正の数・負の数・取り扱う数の範囲を正の数と負の数に拡張して、その四則計算ができる。</p> <p>◎具体的な場面で正の数の平方根を用いて表したり処理したりできるようにする。</p> <p>◎近似値等を用いて数直線に表し、量感を伴って理解できるようにする。</p>
				<p>○数の平方根を数直線上に表したり、大小関係を不等号を用いて表したり処理したりすること。</p> <p>○数の平方根を具体的な場面で活用すること。</p>	<p>○数の平方根を具体的な場面で活用することができる。</p>	<p>○数の平方根を具体的な場面で活用することができる。</p>	
	<p>課題学習</p>	<p>3</p>	<p>数学的活動の課題例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>面積が<math>1\text{ cm}^2</math>、<math>2\text{ cm}^2</math>、<math>3\text{ cm}^2</math>、<math>4\text{ cm}^2</math>・・・の正方形の1辺の長さについて考察する。</li> <li>A版の紙の2辺の長さの比が<math>1 : \sqrt{2}</math>であることを確かめる方法について考える。</li> <li>半径<math>2\text{ cm}</math>の円と半径<math>4\text{ cm}</math>の円の面積の和と等しい面積をもつ円の半径を求めるために、平方根を用いて考察する。</li> </ul>	<p>○具体的な場面で数の平方根を用いて表したり処理したりすることができる。</p>	<p>○数の平方根を具体的な場面で活用することができる。</p>	<p>○数の平方根を具体的な場面で活用して表現するなど、学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</p>	<p>・平方根を含む式の計算は、二次方程式や三平方の定理の活用などを学習する場面で、必要性を十分に感じられるようにする。</p>
			<p>技術・家庭との関わり</p> <p>丸太から、切り口が正方形となる角材を切り出すとき、切り口の正方形の1辺の長さを求める。</p>			<p>基礎学力定着プログラム (中3-1) 平方根 (中3-2) 有理数と無理数</p>	

月	単元名、目標	時数	学習内容	評価規準			円滑な接続のための留意事項 ◎特に留意する点
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
7	<p>●二次方程式</p> <p>二次方程式を解くことができ、それを具体的な問題解決の場面で活用できるようにし、方程式をこれまでより多くの場面で問題の解決に活用できるようにする。</p>	16	<p>ア 二次方程式の必要性と意味及びその解の意味を理解すること。</p> <p>イ 因数分解したり平方の形に変形したりして二次方程式を解くこと。</p> <p>ウ 解の公式を知り、それを用いて二次方程式を解くこと。</p>	<p>○二次方程式の必要性と意味及びその解の意味を理解している。</p> <p>○因数分解したり平方の形に変形したりして二次方程式を解くことができる。</p> <p>○解の公式を知り、それを用いて二次方程式を解くことができる。</p>	<p>○因数分解や平方の形に変形することを基にして、二次方程式を解く方法を考察し表現することができる。</p> <p>○係数が、数で表されている具体的な二次方程式を、平方の形に変形する過程と比較しながら、二次方程式の解の公式の導き方を考察し表現することができる。</p>	<p>○二次方程式の必要性と意味を考えようとしている。</p> <p>○二次方程式の解き方について、自分の学習を振り返って評価・改善しようとしている。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>←【中1】方程式</p> <p>←【中2】連立方程式</p> <p>◎具体的な数値を当てはめ、「または」の意味と関連させながら二次方程式の解を筋道を立てて考えられるようにする。</p> </div>
8	<p>課題学習</p> <p>数学的活動の課題例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>二次方程式を平方の形に直して計算する方法の過程を、面積図を用いて説明する。</li> <li>方程式<math>3x(x+1) = 6x</math>を解くために、両辺を<math>3x</math>でわって、<math>x+1 = 2</math>とした解き方について、自分の考えをまとめた上で、グループで話し合う。</li> </ul>		<p>エ 因数分解や平方根の考えを基にして、二次方程式を解く方法を考察し表現すること。</p> <p>オ 二次方程式を具体的な場面で活用すること。</p>	<p>○具体的な場面の中の数量の関係を文字を用いた式で表し、それを基にしてつくられた二次方程式を解くことができる。</p>	<p>○具体的な場面の中の数量の関係をとらえ、二次方程式を活用することができる。</p> <p>○求めた解や解決の方法を振り返って、それらが適切であるかどうかを検討することができる。</p>	<p>○具体的な場面で二次方程式を用いて考察し表現しようとするなど、学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</p>	

月	単元名、目標	時数	学習内容	評価規準			円滑な接続のための留意事項 ◎特に留意する点
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
9	<p>●関数 <math>y=ax^2</math></p> <p>具体的な事象における二つの数量の変化や対応を調べるを通して、関数<math>y=ax^2</math>について考察する。その際、表、式、グラフを相互に関連付けながら、変化の割合やグラフの特徴など関数の理解を一層深める。そして、これらの学習を通して、関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察することができるようにする。</p>	<p>16</p>	<p>ア 関数 <math>y=ax^2</math> について理解すること。</p> <p>イ 事象の中には関数 <math>y=ax^2</math> として捉えられるものがあることを知ること。</p> <p>ウ いろいろな事象の中に、関数関係があることを理解すること。</p> <p>エ 関数 <math>y=ax^2</math> として捉えられる二つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現すること。</p> <p>オ 関数 <math>y=ax^2</math> を用いて具体的な事象を捉え考察し表現すること。</p>	<p>○関数<math>y=ax^2</math>の必要性和意味を理解している。</p> <p>○2乗に比例する関数が、<math>y=ax^2</math>という式で表されることを理解している。</p> <p>○具体的な事象の中から二つの数量を取り出し、表、式、グラフを活用して特徴を調べることができる。</p> <p>○事象の中には関数<math>y=ax^2</math>を用いて捉えられるものがあることを知っている。</p> <p>○関数<math>y=ax^2</math>の変化の割合を求めることができる。</p> <p>○いろいろな事象の中に、関数関係があることを理解している。</p>	<p>○関数<math>y=ax^2</math>として捉えられる二つの数量について、変化や対応の特徴を見だすことができる。</p> <p>○具体的な事象の中から二つの数量を取り出し、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現することができる。</p> <p>○関数<math>y=ax^2</math>の変化の割合を求めるを通して、変化の割合とグラフの形を関連付けて考察し表現することができる。</p> <p>○身の回りにある事象を関数関係として捉えたり、既習の関数の特徴や表、式、グラフを用いてその事象の特徴を考察し表現することができる。</p>	<p>○関数<math>y=ax^2</math>の必要性和意味を考えようとしている。</p> <p>○具体的な事象の中から二つの数量を取り出し、表、式、グラフに表す過程について、自分の学習を振り返って評価・改善しようとしている。</p> <p>○関数<math>y=ax^2</math>の変化の割合の必要性和意味を考えようとしている。</p> <p>○関数<math>y=ax^2</math>について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</p> <p>○関数<math>y=ax^2</math>を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。</p>	<p>←【小4下】変わり方調べ</p> <p>←【小5下】単位量あたりの大きさ</p> <p>←【小6】比</p> <p>←【小6】比例と反比例</p> <p>←【中1】変化と対応</p> <p>←【中2】一次関数</p> <p>◎変化の割合については、形式的な処理に偏ることなく、グラフや表と結び付け実感を伴った理解ができるようにする。</p> <p>・表、式、グラフが関数の変化と対応の特徴をつかむ手立てとなるよう、相互に関連付けられるようにする。</p> <p>・関数を具体的な事象や場面とのかかわりの中で学習できるようにする。</p> <p>・数学的な表現を用いながら他者に説明できるようにする。</p> <p>・表、式、グラフを適切に選択したり、自分の表現を他者の表現と比較したりするなど、事象の考察を深めることができるようにする。</p>
				<p>3</p>	<p>課題学習</p> <p>数学的活動の課題例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>斜面を下りる台車に取り付けた紙テープに一定時間ごとに記録タイマーで点を打つ。このとき、紙テープに打たれた点から、分かることを考察する。</li> <li>交通機関や郵便物の料金の仕組みについて、二つの数量の関係を表やグラフを用いて変化や対応の様子を調べ、その特徴を考察する。</li> <li>車のスピードと制動距離の関係を、観察や実験によるデータを座標軸上に示し、グラフの形状から関数<math>y=ax^2</math>とみなして、与えられた速度の停止距離を予測したり、その理由を説明したりする。</li> </ul>	<p>理科との関わり</p> <p>物体の落下運動の様子を調べる。</p>	

月	単元名、目標	時数	学習内容	評価規準			円滑な接続のための留意事項 ◎特に留意する点
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
10	<p>●図形と相似</p> <p>三角形の相似条件などを用いて図形の性質を論理的に確かめ、数学的な推論の必要性や意味及び方法の理解を深め、論理的に考察し表現する力を養う。</p> <p>また、基本的な立体の相似の意味を理解し、相似な図形の性質を用いて図形の計量ができるようにする。</p>	20	<p>ア 平面図形の相似の意味及び三角形の相似条件について理解すること。</p> <p>イ 基本的な立体の相似の意味及び相似な図形の相似比と面積比や体積比との関係について理解すること。</p> <p>ウ 三角形の相似条件などを基にして図形の基本的な性質を論理的に確かめること。</p> <p>エ 平行線と線分の比についての性質を見だし、それらを確認すること。</p> <p>オ 相似な図形の性質を具体的な場面で活用すること。</p>	<p>○相似な2つの図形の辺や角の関係を記号を用いて表したり、その意味を読み取ったりすることができる。</p> <p>○相似な三角形の対応する辺の長さや角の大きさを求めることができる。</p> <p>○平行線と線分の比の性質を記号で表したり、その意味を読み取ったりすることができる。</p> <p>○平行線と線分の比の性質や中点連結定理などを用いて、線分の長さなどを求めることができる。</p> <p>○基本的な立体の相似の意味及び相似な図形の相似比と面積比や体積比との関係について理解している。</p> <p>○日常生活で相似な図形の性質を利用している場面を理解している。</p> <p>○図形の辺の比の関係を求めたり、直接測定できない高さや距離などを縮図をかいて求めたりすることができる。</p>	<p>○三角形の合同条件を基にして、2つの三角形が相似になるための条件を見いだすことができる。</p> <p>○三角形の相似条件を用いて、2つの三角形が相似であるかどうかを考察し表現することができる。</p> <p>○見いだした図形の性質などを、三角形の相似条件を用いて証明することができる。</p> <p>○平行線と線分の比の性質を見だし、それらを確認することができる。</p> <p>○平行線と線分の比の性質を、平行線の性質や三角形の相似条件を用いて証明することができる。</p> <p>○相似な図形の相似比と面積比及び体積比を調べ、文字式を用いるなどしてそれらの関係について考察し表現することができる。</p> <p>○相似な図形の性質を具体的な場面で活用することができる。</p> <p>○日常生活の場面で対象を相似な図形と見なして、その事象にある図形的な性質を見いだすことができる。</p>	<p>○相似な図形の性質や三角形の相似条件の必要性と意味について考えようとしている。</p> <p>○平行線と線分の比の性質の必要性と意味を考えようとしている。</p> <p>○相似な図形の性質を活用して、平行線と線分の比の性質を見つけようとしている。</p> <p>○基本的な立体の相似の意味及び相似な図形の相似比と面積比や体積比との関係について、その必要性と意味を考えようとしている。</p> <p>○図形の相似について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</p> <p>○相似な図形の性質を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。</p>	<p>←【小6】拡大図と縮図</p> <p>←【中1】平面図形</p> <p>←【中1】空間図形</p> <p>←【中2】図形の調べ方</p> <p>←【中2】図形の性質と証明</p> <p>◎平面図形の相似の学習を生かし、立体における相似の意味についても理解できるようにする。</p> <p>・相似条件は、合同条件と対比させながら、論理的に理解できるようにする。</p> <p>・中点連結定理を扱う場合には、平行線と線分の比の特別な場合として扱うことが考えられるようにする。</p> <p>・日常生活で相似を利用している場面を生徒が見だし、調査していくようにする。</p> <p>・小学校算数科では縮図や拡大図の活用を扱っていることを踏まえ、課題を工夫するなど相似を学習したことによって活用の深まりを生徒が実感できるように配慮する。</p>
				3	<p>数学的活動の課題例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平行線と線分の比の性質を活用して、与えられた線分を自由に等分する作図の方法を考える。</li> <li>・樹木の高さや池の直径など、直接測定することが困難な長さを、相似の考えを利用して測定する方法を考える。</li> </ul>	<p>社会との関わり</p> <p>地図を基に、実際の距離を求める。</p>	
11	<p>課題学習</p>						

月	単元名、目標	時数	学習内容	評価規準			円滑な接続のための留意事項 ◎特に留意する点
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
12	●円の性質  数学的な推論の過程に着目し、円周角と中心角の関係について考察し、これによって円の性質の理解をより深めるとともに、円周角と中心角の関係を具体的な場面で活用できるようにする。	8	ア 円周角と中心角の関係を意味を理解し、それが証明できることを知ること。  イ 円周角と中心角の関係を見いだすこと。  ウ 円周角と中心角の関係を具体的な場面で活用すること。	○円周角と中心角の関係を意味を理解している。 ○円周角と中心角の関係が証明できることを理解している。 ○円周角の定理の逆の意味を理解している。 ○円周角と中心角の関係や円周角の定理の逆を用いて、角の大きさを求めることができる。 ○円の外側にある1点から円に接線を引く作図や、長方形を使って円の中心を求めることなどができる。	○円周角と中心角の関係を見いだすことができる。 ○既習の図形の性質を利用して、円周角と中心角の関係について証明することができる。  ○円周角と中心角の関係を具体的な場面で活用することができる。 ○円周角と中心角の関係をj用いて考えた結果が適切であるかどうかを振り返って確かめることができる。	○円周角と中心角の必要性と意味を考えようとしている。 ○円周角と中心角の関係を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。  ○円周角と中心角の関係について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。	←【小3上】円と球 ←【小5下】正多角形と円周の長さ ←【小6】円の面積 ←【中1】平面図形 ←【中2】図形の調べ方 ←【中2】図形の性質と証明  ◎円周角の定理の逆についても活用できるようにする。
1	課題学習  数学的活動の課題例 ・具体物やコンピュータを用いて、円周角と中心角の関係を考察する。 ・円周角の定理の逆が成り立つ理由について考察する。	3	国語との関わり 図形の性質について、定義や定理を用いて論理的に分かりやすく説明する。  技術・家庭との関わり 「さしがね」の仕組みについて理解する。	基礎学力定着プログラム (中3-9) 円周角の定理  道徳との関わり 事象を数理的に考察し、筋道立てて考え、表現することで道徳的判断力の育成に資する。		・円周角と中心角の関係の証明は、円周角と中心角の位置関係の場合分けによる証明の必要性を理解させることが目的ではなく、証明のよさを理解できるようにする。 ・長方形を使って円の中心を求める方法の利用場面で、大工道具の「さしがね」の仕組みを理解させるなど、日常生活で円周角と中心角の関係をj用している場面を示す。	

月	単元名、目標	時数	学習内容	評価規準			円滑な接続のための留意事項 ◎特に留意する点
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
2	<p>●三平方の定理</p> <p>観察、操作や実験などの活動を通して、三平方の定理を見だし、理解し、それを具体的な場面で活用することができるようにする。</p> <p>課題学習</p>	<p>12</p> <p>3</p>	<p>ア 三平方の定理の意味を理解し、それが証明できることを知ること。</p> <p>イ 三平方の定理を見いだすこと。</p> <p>ウ 三平方の定理を具体的な場面で活用すること。</p>	<p>○三平方の定理の意味を理解している。</p> <p>○三平方の定理が証明できることを理解している。</p> <p>○三平方の定理を用いて、直角三角形の辺の長さなどを求めることができる。</p> <p>○座標平面における2点間の距離や長方形の対角線の長さ、円錐の高さなどを求めることができる。</p>	<p>○直角三角形の3辺にできる正方形の面積の係りに着目し、三平方の定理を見いだすことができる。</p> <p>○三平方の定理の証明を読み、どのような図形の性質や面積の係数が用いられているのかを考察し表現することができる。</p> <p>○与えられた図形の中に直角三角形を見いだしたり、日常生活の場面で対象を理想化や単純化することで直角三角形とみなしたりして、三平方の定理を活用した問題解決の方法を考察し表現することができる。</p>	<p>○三平方の定理の必要性と意味を考えようとしている。</p> <p>○三平方の定理を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。</p> <p>○三平方の定理について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</p>	<p>←【中1】平面図形</p> <p>←【中1】空間図形</p> <p>←【中2】平面図形と平行線の性質</p> <p>←【中2】図形の性質と証明</p> <p>←【中3】図形と相似</p> <p>←【中3】円の性質</p> <p>◎図形の中から直角三角形を見付けだし、三平方の定理が利用できる経験を豊かにする。</p> <p>・単に図形の性質や証明の根拠として三平方の定理を扱うのではなく、直角三角形の3辺の長さの関係としてその美しさに触れられるようにする。</p> <p>・三平方の定理の様々な証明方法は、生徒の興味・関心に応じて取り扱うようにする。</p> <p>・三平方の定理の逆は数学的な証明に深入りせず、3辺の長さによって直角三角形が決定する事実に着目できるようにする。</p>
				<p>社会的関わり バリアフリー新法におけるスロープの斜面の傾き具合の基準について知る。</p>	<p>基礎学力定着プログラム (中3-10) 三平方の定理</p>	<p>数学的活動の課題例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>三平方の定理のいろいろな証明の方法について、話し合う。</li> <li>正方形の対角線の長さや正三角形の高さを求める活動を通して、特別な直角三角形の3辺の比を見いだす。</li> <li><math>\sqrt{2}\text{cm}, \sqrt{3}\text{cm}, \dots</math>の長さをかく方法について考える。</li> </ul>	



月	単元名、目標	時数	学習内容	評価規準			円滑な接続のための留意事項 ◎特に留意する点
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
3	<p>●標本調査とデータの活用</p> <p>母集団から標本を取り出し、標本の傾向を調べることで母集団の傾向が読み取れることを理解し、標本調査の方法や結果について考察し表現することができるようにする。</p>	8	<p>ア 標本調査の必要性と意味を理解すること。</p> <p>イ コンピュータなどの情報手段を用いるなどして無作為に標本を取り出し、整理すること。</p> <p>ウ 標本調査の方法や結果を批判的に考察し表現すること。</p> <p>エ 簡単な場合について標本調査を行い、母集団の傾向を推定し判断すること。</p>	<p>○標本調査や全数調査の必要性と意味を理解している。</p> <p>○コンピュータなどの情報手段を用いるなどして無作為に標本を取り出し、整理することができる。</p>	<p>○標本調査の方法や結果を批判的に考察し表現することができる。</p> <p>○簡単な場合について標本調査を行い、母集団の傾向を推定し判断することができる。</p>	<p>○標本調査の必要性と意味を考慮している。</p> <p>○標本調査について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</p> <p>○標本調査を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。</p> <p>○多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとしている。</p>	<p>←【小3下】ばうグラフと表</p> <p>←【小4上】折れ線グラフと表</p> <p>←【小4上】がい数の使い方と表し方</p> <p>←【小5下】平均</p> <p>←【小5下】単位量あたりの大きさ</p> <p>←【小6】データの調べ方</p> <p>←【中1】データの活用</p> <p>←【中2】場合の数と確率</p> <p>←【中2】箱ひげ図とデータの活用</p>
	<p>課題学習</p>	3	<p>数学的活動の課題例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・標本調査と全数調査のどちらを用いるべきかを考え、理由を伝え合う。</li> <li>・全数調査で調べた結果と、全数調査の記録から標本調査を行った場合の結果について、検証する。</li> </ul>	<p>社会との関わり</p> <p>国勢調査、健康診断、製品の検品、河川の水質検査等の調査をどのように実施しているかを知る。</p>	<p>基礎学力定着プログラム (中3-13) 標本調査</p>	<p>美術との関わり</p> <p>ペットボトルキャップを使って作成した壁画には、何個のキャップが使用されているかを工夫して求める。</p>	<p>道徳との関わり</p> <p>調査等の事実を基に、真理の探究に努める。</p>
	学年のまとめ	5					

理科

1. 教科目標

自然に対する関心を高め、目的意識をもって観察、実験などをおこない、科学的に調べる能力と態度を育てるとともに自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。

2. 単元（大項目）ごとの「学習を通して育成を目指す資質・能力」及び「内容のまとめりごとの評価規準」

第1学年

単元（大項目）		第2分野 （1） いろいろな生物とその共通点	
学習を通して育成を目指す資質・能力	知識及び技能	いろいろな生物の共通点と相違点に着目しながら、生物の観察と分類の仕方、生物の体の共通点と相違点を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。	
	思考力、判断力、表現力等	身近な生物についての観察、実験などを通して、いろいろな生物の共通点や相違点を見いだすとともに、生物を分類するための観点や基準を見いだして表現すること。	
	学びに向かう力、人間性等	いろいろな生物とその共通点に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようになること。	
内容のまとめりごとの評価規準	知識・技能	いろいろな生物の共通点と相違点に着目しながら、生物の観察と分類の仕方、生物の体の共通点と相違点を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。	
	思考・判断・表現	身近な生物についての観察、実験などを通して、いろいろな生物の共通点や相違点を見いだすとともに、生物を分類するための観点や基準を見いだして表現している。	
	主体的に学習に取り組む態度	いろいろな生物とその共通点に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	
単元（大項目）		第1分野 （2） 身の回りの物質	
学習を通して育成を目指す資質・能力	知識及び技能	身の回りの物質の性質や変化に着目しながら、物質のすがた、水溶液、状態変化を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。	
	思考力、判断力、表現力等	身の回りの物質について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、物質の性質や状態変化における規則性を見いだして表現すること。	
	学びに向かう力、人間性等	身の回りの物質に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようになること。	
内容のまとめりごとの評価規準	知識・技能	身の回りの物質の性質や変化に着目しながら、物質のすがた、水溶液、状態変化を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。	
	思考・判断・表現	身の回りの物質について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、物質の性質や状態変化における規則性を見いだして表現している。	
	主体的に学習に取り組む態度	身の回りの物質に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	
単元（大項目）		第1分野 （1） 身近な物理現象	
学習を通して育成を目指す資質・能力	知識及び技能	身近な物理現象を日常生活や社会と関連付けながら、光と音、力の働きを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。	
	思考力、判断力、表現力等	身近な物理現象について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、光の反射や屈折、凸レンズの働き、音の性質、力の働きの規則性や関係性を見いだして表現すること。	
	学びに向かう力、人間性等	身近な物理現象に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようになること。	
内容のまとめりごとの評価規準	知識・技能	身近な物理現象を日常生活や社会と関連付けながら、光と音、力の働きを理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。	
	思考・判断・表現	身近な物理現象について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、光の反射や屈折、凸レンズの働き、音の性質、力の働きの規則性や関係性を見いだして表現している。	
	主体的に学習に取り組む態度	身近な物理現象に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	
単元（大項目）		第2分野 （2） 大地の成り立ちと変化	
学習を通して育成を目指す資質・能力	知識及び技能	大地の成り立ちと変化を地表に見られる様々な事物・現象と関連付けながら、身近な地形や地層、岩石の観察、地層の重なりと過去の様子、火山と地震、自然の恵みと火山災害・地震災害を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。	
	思考力、判断力、表現力等	大地の成り立ちと変化について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、地層の重なり方や広がり方の規則性、地下のマグマの性質と火山の形との関係性などを見いだして表現すること。	
	学びに向かう力、人間性等	大地の成り立ちと変化に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようになること。	
内容のまとめりごとの評価規準	知識・技能	大地の成り立ちと変化を地表に見られる様々な事物・現象と関連付けながら、身近な地形や地層、岩石の観察、地層の重なりと過去の様子、火山と地震、自然の恵みと火山災害・地震災害を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。	
	思考・判断・表現	大地の成り立ちと変化について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、地層の重なり方や広がり方の規則性、地下のマグマの性質と火山の形との関係性などを見いだして表現している。	
	主体的に学習に取り組む態度	大地の成り立ちと変化に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	

単元（大項目）ごとの「学習を通して育成を目指す資質・能力」及び「内容のまとめりごとの評価規準」

第2学年

単元（大項目）		第1分野 （4）化学変化と原子・分子
学習を通して育成を目指す資質・能力	知識及び技能	化学変化を原子や分子のモデルと関連付けながら、物質の成り立ち、化学変化、化学変化と物質の質量を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。
	思考力、判断力、表現力等	化学変化について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、原子や分子と関連付けてその結果を分析して解釈し、化学変化における物質の変化やその量的な関係を見いだして表現すること。
	学びに向かう力、人間性等	化学変化と原子・分子に関する事象・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようになること。
内容のまとめりごとの評価規準	知識・技能	化学変化を原子や分子のモデルと関連付けながら、物質の成り立ち、化学変化、化学変化と物質の質量を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。
	思考・判断・表現	化学変化について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、原子や分子と関連付けてその結果を分析して解釈し、化学変化における物質の変化やその量的な関係を見いだして表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	化学変化と原子・分子に関する事象・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
単元（大項目）		第2分野 （3）生物の体のつくりと働き
学習を通して育成を目指す資質・能力	知識及び技能	生物の体のつくりと働きとの関係に着目しながら、生物と細胞、植物の体のつくりと働き、動物の体のつくりと働きを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。
	思考力、判断力、表現力等	身近な植物や動物の体のつくりと働きについて、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、生物の体のつくりと働きについての規則性や関係性を見いだして表現すること。
	学びに向かう力、人間性等	生物の体のつくりと働きに関する事象・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようになること。
内容のまとめりごとの評価規準	知識・技能	生物の体のつくりと働きとの関係に着目しながら、生物と細胞、植物の体のつくりと働き、動物の体のつくりと働きを理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。
	思考・判断・表現	身近な植物や動物の体のつくりと働きについて、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、生物の体のつくりと働きについての規則性や関係性を見いだして表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	生物の体のつくりと働きに関する事象・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
単元（大項目）		第2分野 （4）気象とその変化
学習を通して育成を目指す資質・能力	知識及び技能	気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、気象観測、天気の変化、日本の気象、自然の恵みと気象災害を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。
	思考力、判断力、表現力等	気象とその変化について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、天気の変化や日本の気象についての規則性や関係性を見いだして表現すること。
	学びに向かう力、人間性等	気象とその変化に関する事象・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようになること。
内容のまとめりごとの評価規準	知識・技能	気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、気象観測、天気の変化、日本の気象、自然の恵みと気象災害を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。
	思考・判断・表現	気象とその変化について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、天気の変化や日本の気象についての規則性や関係性を見いだして表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	気象とその変化に関する事象・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
単元（大項目）		第1分野 （3）電流とその利用
学習を通して育成を目指す資質・能力	知識及び技能	電流、磁界に関する事象・現象を日常生活や社会と関連付けながら、電流、電流と磁界を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。
	思考力、判断力、表現力等	電流、磁界に関する現象について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、電流と電圧、電流の働き、静電気、電流と磁界の規則性や関係性を見いだして表現すること。
	学びに向かう力、人間性等	電流とその利用に関する事象・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようになること。
内容のまとめりごとの評価規準	知識・技能	電流、磁界に関する事象・現象を日常生活や社会と関連付けながら、電流、電流と磁界を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。
	思考・判断・表現	電流、磁界に関する現象について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、電流と電圧、電流の働き、静電気、電流と磁界の規則性や関係性を見いだして表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	電流とその利用に関する事象・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

単元（大項目）ごとの「学習を通して育成を目指す資質・能力」及び「内容のまとめりごとの評価規準」

第3学年

単元（大項目）		第2分野 （5）生命の連続性
学習を通して育成を目指す資質・能力	知識及び技能	生命の連続性に関する事物・現象の特徴に着目しながら、生物の成長と殖え方、遺伝の規則性と遺伝子、生物の種類の多様性と進化を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。
	思考力、判断力、表現力等	生命の連続性について、観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、生物の成長と殖え方、遺伝現象、生物の種類の多様性と進化についての特徴や規則性を見いだして表現すること。また、探究の過程を振り返ること。
	学びに向かう力、人間性等	生命の連続性に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようにすること。
内容のまとめりごとの評価規準	知識・技能	生命の連続性に関する事物・現象の特徴に着目しながら、生物の成長と殖え方、遺伝の規則性と遺伝子、生物の種類の多様性と進化を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。
	思考・判断・表現	生命の連続性について、観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、生物の成長と殖え方、遺伝現象、生物の種類の多様性と進化についての特徴や規則性を見いだして表現している。また、探究の過程を振り返っている。
	主体的に学習に取り組む態度	生命の連続性に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
単元（大項目）		第1分野 （6）化学変化とイオン
学習を通して育成を目指す資質・能力	知識及び技能	化学変化をイオンのモデルと関連付けながら、水溶液とイオン、化学変化と電池を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。
	思考力、判断力、表現力等	化学変化について、見通しをもって観察、実験などを行い、イオンと関連付けてその結果を分析して解釈し、化学変化における規則性や関係性を見いだして表現すること。また、探究の過程を振り返ること。
	学びに向かう力、人間性等	化学変化とイオンに関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようにすること。
内容のまとめりごとの評価規準	知識・技能	化学変化をイオンのモデルと関連付けながら、水溶液とイオン、化学変化と電池を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。
	思考・判断・表現	化学変化について、見通しをもって観察、実験などを行い、イオンと関連付けてその結果を分析して解釈し、化学変化における規則性や関係性を見いだして表現している。また、探究の過程を振り返っている。
	主体的に学習に取り組む態度	化学変化とイオンに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
単元（大項目）		第2分野 （6）地球と宇宙
学習を通して育成を目指す資質・能力	知識及び技能	身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、天体の動きと地球の自転・公転、太陽系と恒星を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。
	思考力、判断力、表現力等	地球と宇宙について、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、天体の運動と見え方についての特徴や規則性を見いだして表現すること。また、探究の過程を振り返ること。
	学びに向かう力、人間性等	地球と宇宙に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようにすること。
内容のまとめりごとの評価規準	知識・技能	身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、天体の動きと地球の自転・公転、太陽系と恒星を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。
	思考・判断・表現	地球と宇宙について、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、天体の運動と見え方についての特徴や規則性を見いだして表現している。また、探究の過程を振り返っている。
	主体的に学習に取り組む態度	地球と宇宙に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
単元（大項目）		第1分野 （5）運動とエネルギー
学習を通して育成を目指す資質・能力	知識及び技能	物体の運動とエネルギーを日常生活や社会と関連付けながら、力のつり合いと合成・分解、運動の規則性、力学的エネルギーを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。
	思考力、判断力、表現力等	運動とエネルギーについて、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、力のつり合い、合成や分解、物体の運動、力学的エネルギーの規則性や関係性を見いだして表現すること。また、探究の過程を振り返ること。
	学びに向かう力、人間性等	運動とエネルギーに関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようにすること。
内容のまとめりごとの評価規準	知識・技能	物体の運動とエネルギーを日常生活や社会と関連付けながら、力のつり合いと合成・分解、運動の規則性、力学的エネルギーを理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。
	思考・判断・表現	運動とエネルギーについて、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、力のつり合い、合成や分解、物体の運動、力学的エネルギーの規則性や関係性を見いだして表現している。また、探究の過程を振り返っている。
	主体的に学習に取り組む態度	運動とエネルギーに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

単元（大項目）ごとの「学習を通して育成を目指す資質・能力」及び「内容のまとめりごとの評価規準」

第3学年

単元（大項目）		第1分野（7）科学技術と人間	
学習を通して育成を目指す資質・能力	知識及び技能	日常生活や社会と関連付けながら、エネルギーと物資、自然環境の保全と科学技術の利用を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。	
	思考力、判断力、表現力等	日常生活や社会で使われているエネルギーや物質について、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈するとともに、自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について、科学的に考察して判断すること。	
	学びに向かう力、人間性等	科学技術と人間に関する事象・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようになること。	
内容のまとめりごとの評価規準	知識・技能	日常生活や社会と関連付けながら、エネルギーと物資、自然環境の保全と科学技術の利用を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。	
	思考・判断・表現	日常生活や社会で使われているエネルギーや物質について、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈するとともに、自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について、科学的に考察して判断している。	
	主体的に学習に取り組む態度	科学技術と人間に関する事象・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	
単元（大項目）		第2分野（7）自然と人間	
学習を通して育成を目指す資質・能力	知識及び技能	日常生活や社会と関連付けながら、生物と環境、自然環境の保全と科学技術の利用を理解するとともに、自然環境を調べる観察、実験などに関する技能を身に付けること。	
	思考力、判断力、表現力等	身近な自然環境や地域の自然災害などを調べる観察、実験などを行い、自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について、科学的に考察して判断すること。	
	学びに向かう力、人間性等	自然と人間に関する事象・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようになること。	
内容のまとめりごとの評価規準	知識・技能	日常生活や社会と関連付けながら、生物と環境、自然環境の保全と科学技術の利用を理解しているとともに、自然環境を調べる観察、実験などに関する技能を身に付けている。	
	思考・判断・表現	身近な自然環境や地域の自然災害などを調べる観察、実験などを行い、自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について、科学的に考察して判断している。	
	主体的に学習に取り組む態度	自然と人間に関する事象・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	

3. 評価方法

評価方法	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
			粘り強い取り組みを行おうとする	自らの学習を調整しようとする側面
授業観察			○	○
レポート・発表		○	○	○
話し合い活動		○	○	○
ポートフォリオ			○	○
パフォーマンステスト	○	○		
自由研究		○	○	
定期テスト	○	○		
提出物	○	○	○	○

4. 年間指導計画

105		令和5年度		さいたま市立岸中学校		年間指導計画 第1学年		
月	時	内容	○学習活動 (◆探究活動のポイント ●日常生活との関連)	評価規準	円滑な接続への留意事項	観察、実験のために準備するもの		
単元(大項目)		第2分野 (1) いろいろな生物とその共通点						
4	5	序章 自然の中にあふれる生命 校庭や学校周辺の生物の観察を行い、いろいろな生物が様々な場所で生活していることを見いだして理解するとともに、観察器具の操作、観察記録の仕方などの技能を身に付けること。	○安全に配慮した理科室の使い方を理解する。 ○身近な生物の体のつくりや生活を観察する。 ●食材として扱われている生物の活用を紹介する。 校庭など、身近にいる生物の観察を行う。 ○ルーペや双眼実体顕微鏡などの扱い方を身に付ける。 ○スケッチの仕方や観察記録の取り方を身に付ける。 ○校庭や学校周辺の生物の観察を行い、様々な環境の中でそれぞれ特徴のある生物が生活していることを見いだし理解する。	【思】身近な生物に興味をもち、問題を見いだそうとしている。 【知】ルーペや顕微鏡等、観察器具を正しく使用し、観察している。 【知】正しくスケッチなどで観察結果を記録している。 【思】観察から得られたことから環境と生物の関係を指摘することができている。	小3	「昆虫」「種子植物」「動物の活動や植物の成長」「季節の変化」について学習している。	ルーペ、生物図鑑、色鉛筆、地図、記録用紙	
5	4	いろいろな生物を比較して見いだした共通点や相違点を基にして分類できることを理解するとともに、分類の仕方の基礎を身に付けること。	○いろいろな生物を観察して見いだした共通点や相違点などを基に、分類するための観点を選び、実際に分類することを通して、基準を設定することが必要であると理解する。 ◆親しみのある20種類ぐらいの生物を生息している場所、活動的な季節、色、大きさ、殖え方、栄養分の取り方などの特徴に基づいた観点での分類の基準を考え分類する。結果を分かりやすく表現し、話し合いや発表を適宜行う。 ○観点や比較の基準を変えると、分類の結果が変わることを見いだし、幾つかの分類の結果を比較することを通して、生物の分類の仕方に関する基礎を身に付ける。	【知】生物をなかま分けするときには、客観的なちがいに着目すればいいこと理解している。 【思】自分なりの仮説を立てて、なかま分けの観点をみいだし表現している。 【態】生物のなかま分けについて粘り強く探究しようとしている。 【思】分類では、観点や基準が変わると結果が変わることを見いだし表現している。	小3	「生物は色、形、大きさなど、姿に違いがあること」「昆虫の成虫の体には頭、胸および腹からできていること」「植物の体は根、茎及び葉からできていること」「動物の誕生」について学習している。	付せん紙、台紙(A3用紙などの大きめの紙)、動物園や植物園のパンフレット、図鑑	

月	時	内容	○学習活動 (◆探究活動のポイント ●日常生活との関連)	評価規準	円滑な接続への留意事項	観察、実験のために 準備するもの	
5	8	<b>1章 植物の特徴と分類</b> 身近な植物の外部形態を観察を行い、その観察記録などに基づいて共通点や相違点があることを見いだし、植物の体の基本的なつくりを理解すること。また、その共通点や相違点に基づいて植物が分類できることを見いだし理解すること。	○被子植物の花をいくつか観察し、そのつくりの共通点と相違点を見いだし、花の基本的なつくりを理解する。 ○葉脈の形状、芽生えの様子、根の様子に関する共通点や相違点から被子植物が単子葉類と双子葉類に分類できることを理解する。 ◆幾つかの共通点や相違点を見いだし、それらを基に分類表や検索表などを作る。その表を用いて未知の植物が、どの仲間に分類できるかを考え、話し合ったり発表したりする。 ○マツなどの裸子植物の花を観察し、被子植物との相違点を見いだし、種子植物が被子植物と裸子植物に分類できることを理解する。 ○種子をつくらない植物については、胞子をつくることを理解する。 ●校庭など、身近に生育する植物を用いて観察、比較する。	【思】単元の学習内容に興味をもち、課題を見い出して表現している。 【知】分解した花のつくりを、各部分に分けて順番にテープで貼り、特徴を記録している。 【思】観察記録にもとづいて、花のつくりの規則性や、共通点と相違点を見い出して表現している。 【知】被子植物の花の基本的なつくりを理解している。 【知】種子をつくらない植物にはシダ植物やコケ植物があり、胞子で増えることを理解している。 【思】学習した植物のなかまごとの特徴の違いを手掛かりに、種類のわからない植物を観察し、その分類を推論している。 【態】これまで学習してきた植物の特徴を振り返り、植物の分類について、探究しようとしている。	小3 小5 小6	「植物の体は根、茎及び葉からできていること」を学習している。 「花にはおしべやめしべなどがあり、花粉がめしべの先に付くとめしべの元が実となり、実の中に種子ができること」を学習している。 「植物の養分と水の通り道」について学習している。	双眼実体顕微鏡、ルーペ、ピンセット、カッターナイフ、カッターマット、セロハンテープ、台紙、移植ごて。作業用手袋、バケツ、新聞紙、アブラナ、ツツジ、エンドウなどの花、スズメノカタビラ、ツユクサ、ユリ、ナズナ、タンポポ、アブラナなどの植物
6	10	<b>2章 動物の特徴と分類</b> 身近な動物の外部形態を観察を行い、その観察記録などに基づいて共通点や相違点があることを見いだし、動物の体の基本的なつくりを理解すること。また、その共通点や相違点に基づいて動物が分類できることを見いだし理解すること。	○様々な動物が、背骨の存在を基準とすると、脊椎動物と無脊椎動物に分類できることを理解する。 ○脊椎動物は、体の表面の様子、呼吸の仕方、生活の場所、運動の器官、子の生まれ方などの特徴を分類の観点や基準とすると、5つの仲間に分類することができることを理解する。 ○哺乳類は肉食性のものや草食性のものなどがあり、体のつくりや相違点がみられることを理解する。 ○無脊椎動物については、体のつくりの特徴に基づいて分類されるいくつかの仲間が存在することを理解する。 ○節足動物は体が外骨格に覆われていて、節のあるあしをもっているという共通点があることなどを理解する。 ○無脊椎動物には、節足動物のほかに、ミミズやウニやヒトデなど様々なものが存在することについて理解する。	【思】動物の体のつくりと生活について、自分の考えを表現している。 【態】動物の体のつくりと生活について興味をもち、進んで体のつくりと生活の関係を調べようとしている。 【知】身近な動物について体のつくりや生活のようすなどについて調べ、適切に記録している。 【知】無脊椎動物には節足動物や軟体動物など様々ななかまがいることや、節足動物や軟体動物のおもな特徴を理解している。 【思】学習した動物のなかまごとの特徴を手掛かりに、未知の動物がどのなかまに分類できるかを推測して表現している。 【態】これまで、学習してきた脊椎動物と無脊椎動物の特徴を振り返り、動物の分類について探究しようとしている。	小3 小4 小6	「昆虫の育ち方には一定の順序があること」「成虫の体は頭、胸及び腹からできていること」を学習している。 「人の体には骨と筋肉があること」を学習している。 「人や他の動物について体のつくりと呼吸、消化、排出及び循環の働き」について学習している。	双眼鏡、ルーペ、記録用紙、動物図鑑、デジタルカメラ、いろいろな動物（飼育している動物、動物園や水族館の動物）、しらす干し

月	時	内容	○学習活動 (◆探究活動のポイント ●日常生活との関連)	評価規準	円滑な接続への留意事項	観察、実験のために 準備するもの	
単元 (大項目)		第1分野 (2) 身の回りの物質					
7		1章 いろいろな物質とその性質					
	8	○身の回りの物質の性質を様々な方法で調べる実験を行い、物質には密度や加熱したときの変化など固有の性質と共通の性質があることを見いだして理解するとともに、実験器具の操作、記録の仕方などの技能を身に付けること。	○食塩や砂糖などの視覚的に区別しにくい白い粉末を区別する方法について、問題を見だし、実験計画を立てる。 ○白い粉末の性質を調べる実験を行い、結果を表などに整理し、調べた性質を基に区別し、根拠を示して表現する。 ●身近に調味料などで扱われている物質の活用。 ◆設定した課題について、小学校での物質の性質に関する学習などを活用して調べる方法を考え実験を行う。結果から根拠を示して表現し、話し合いや発表を適宜行う。 ○有機物は無機物とは異なり、焦げて黒くなったり、燃えると二酸化炭素が発生することを理解する。 ○金属には電気伝導性、熱伝導性、金属光沢、展性、延性などの共通の性質があることを理解する。 ●金属の性質を利用して様々な製品が生活に利用されていることを取り上げる。 ○物質の体積や質量に着目し、物質の密度を測定する実験を行い、密度から物質を区別できることを理解する。	【思】見た目の似ている物体について、それぞれを物質として区別する方法を見いだして表現している。 【思】白い粉末状の物質を区別するための適切な方法を見いだして計画している。 【態】白い粉末状の物質を区別するという課題の解決に向けて、他者との対話を通して、自らの学習を調整しようとしている。 【知】ガスバーナーを正しく安全に使用している。 【知】有機物と無機物の違いについて理解している。 【知】金属と非金属の違いについて理解している。 【知】質量や密度の定義について理解し、てんびんやメスシリンダーを用いて物質の質量や体積を測定する実験から密度を求めることができている。 【思】ある物質が液体に浮くか沈むかについて、密度との関係を見いだして表現している。	小3 小5 中2 数学科	「電流が流れる物質と流れない物質」「磁石に付く物質と付かない物質」「体積が同じでも物質によって質量が違うこと」を学習している。 「メスシリンダーの使い方」を学習している。 「物質の成り立ち」で、「物質を構成している単位は、原子と分子であること」を学習する。 「小数同士の割り算」と関連する。	砂糖、かたくり粉、食塩、石灰水、試験管、試験管立て、メスシリンダー、集気びん(ふた)、燃焼さじ、ガスバーナー、薬さじ、電子てんびんまたは上皿てんびん、葉包紙、アルミニウムはく、マッチ、保護眼鏡、種類のわからない固体の物質3種類、細い針金



月	時	内容	○学習活動 (◆探究活動のポイント ●日常生活との関連)	評価規準	円滑な接続への留意事項	観察、実験のために 準備するもの
8 9	6	<p><b>2章 いろいろな気体とその性質</b></p> <p>○気体を発生させてその性質を調べる実験を行い、気体の種類による特性を理解するとともに、気体を発生させる方法や捕集法などの技能を身に付けること。</p>	<p>○酸素や二酸化炭素などの気体を発生させて捕集する実験を行い、気体の特性を調べる実験を通して、実験の技能を身に付ける。</p> <p>○水素の爆発実験やアンモニアの噴水実験などを行い、水への溶けやすさや密度の大小など気体による特性があり、それに応じた捕集法があることを理解する。</p> <p>○代表的な例を取り扱って身のまわりのものから発生した気体を区別する実験を行い、異なる方法を用いても同一の気体を得られることを理解する。</p> <p>●生徒の生活に身近な気体の活用。</p> <p>◆設定した課題について、習得した知識・技能を活用して調べる方法を考え実験を行う。結果から根拠を示して表現し、話し合いや発表を適宜行う。</p>	<p>【知】酸素や二酸化炭素、アンモニア、水素、窒素の性質や捕集法について理解している。</p> <p>【思】アンモニアの噴水実験の結果や原理を、アンモニアの性質と関連付けて説明している。</p> <p>【態】習得した知識・技能を活用して、未知の気体を区別する実験を計画し、課題を解決しようとしている。</p> <p>【知】未知の気体を調べる実験を正しく安全に行うことができている。</p> <p>【思】未知の気体を調べる実験結果を基に、気体の正体について考察している。</p>	<p>小6</p> <p>中2</p>	<p>「酸素には物を燃やすはたらきがあること」「植物体を燃やすと二酸化炭素が発生し、二酸化炭素は石灰水を白く濁らせること」「空気に含まれる気体の種類と割合」について学習している。</p> <p>「物質の成り立ち」では、「水素の燃焼」について学習する。</p> <p>二酸化マンガン、3%過酸化水素水、過炭酸ナトリウム、約60℃の湯、石灰石、5%塩酸、炭酸水素ナトリウム、5%酢酸、三角フラスコ、メスシリンダー、試験管、試験管立て、ゴム栓、ゴム栓つきガラス曲管、ガラス曲管、ゴム管、水そう、スポイト、薬さじ、電子てんびんまたは上皿てんびん、石灰水、線香、マッチ、保護眼鏡、塩化アンモニウム、水酸化カルシウム、リトマス紙、丸底フラスコ、フェノールフタレイン溶液、亜鉛(花状)、発泡入浴剤、風呂がま洗剤、卵の殻、食酢、ダイコンおろし、オキシドール、ビーカー</p>

月	時	内容	○学習活動 (◆探究活動のポイント ●日常生活との関連)	評価規準	円滑な接続への留意事項	観察、実験のために 準備するもの	
9	6	<b>3章 水溶液の性質</b> ○物質の水への溶解について、粒子のモデルと関連付けて理解するとともに、水溶液から溶質を取り出す実験を行い、その結果を溶解度と関連付けて理解すること。	○水溶液の性質、および溶質、溶媒について理解する。 ○物質の水への溶解を粒子のモデルを用いて微視的に捉え、粒子のモデルで均一になる様子を説明する。 ◆設定した課題について、小学校での水溶液の性質に関する学習などを活用して、粒子のモデルを用いて表現する。話し合いや発表を適宜行う。 ○水溶液の濃さは質量パーセント濃度で表すことを理解する。 ○塩化ナトリウムと硝酸カリウムなどを扱い、水に溶けている物質を取り出す実験を行う。 ○ミョウバンや硝酸カリウムなどは水溶液の温度を下げることで、食塩などは水を蒸発させることにより結晶を取り出すことが出来ることを溶解度と関連付けて理解する。 ●水の温度の違いによる砂糖の溶け方の違いなど、生徒の生活体験の中から例示していく。 ○混合物と純物質の違いについて理解する。 ●身近な混合物や純物質の活用。 ○再結晶は少量の不純物を含む物質から溶解度の違いを利用して純物質を得る方法であることを理解する。	【知】水溶液の性質、および、溶質、溶媒について理解し、溶質を水に溶かしたとき、全体の質量は変わらないことを理解している。 【思】水に物質が溶けている様子を粒子のモデルで表現している。 【知】質量パーセント濃度の定義と求め方について理解している。 【態】一定量の水に溶ける物質の量は何に関係するのか、対話を通して、探究の見通しをもととする。 【知】飽和水溶液、溶解度、再結晶の意味について理解し、水溶液から溶けている物質を取り出す実験の技能や、観察の記録方法を身に付けている。 【思】習得した知識・技能を活用して、混合物から純物質を取り出す方法を見いだして表現している。	小5  数学科	「水にとけたときの物質のようす」「水にとける前後での質量の変化」「水にとける量は、水の量、温度、物質の種類によって決まること」「水にとけた物質のとり出し方」について学習している。「百分率」と関連する。	塩化ナトリウム、ミョウバン、硫酸銅、硝酸カリウム、ビーカー、メスシリンダー、試験管、試験管立て、温度計、ガラス棒、三脚、金網、ガスバーナー、ろうと、ろうと台、ろ紙、ルーペまたは顕微鏡、スライドガラス、葉さじ、電子てんびんまたは上皿てんびん、マッチ、保護眼鏡、塩化アンモニウム
10	3	<b>4章 物質のすがたとその変化</b> ○物質の状態変化についての観察、実験を行い、状態変化によって物質の体積は変化するが質量は変化しないことを見いだして理解すること。	○エタノールやろうなどの状態変化のようすを観察し、状態が変化する前後で体積は変化するが、質量は変化しないことを理解する。 ○状態変化は物質が異なる物質に変化するのではなく状態が変化するものであることを粒子のモデルと関連付けて理解する。 ○状態変化によって粒子の運動のようすが変化していることを理解する。 ◆物質の状態変化について、粒子のモデルを用いて表現する。話し合いや発表を適宜行う。	【知】状態変化では、物質そのものは変化しないことについて理解している。 【思】状態変化では、体積は変化するが質量は変化しないことについて、粒子のモデルを用いて適切に説明している。 【態】状態変化を適切にモデル化するために、他者の考えを取り入れながら、自分の考えをまとめようとしている。	小4	「空気、水、金属はあたためると体積が増加すること」「水は温度によって水蒸気や氷に変わる」「水が氷になると体積が増えること」「水が沸騰しているときの泡は、水が気体となった水蒸気であること」を学習している。	エタノール、ろうなどの状態変化のようすを観察する物質、熱湯、ポリエチレンの袋、試験管、ビーカー

月	時	内容	○学習活動 (◆探究活動のポイント ●日常生活との関連)	評価規準	円滑な接続への留意事項	観察、実験のために 準備するもの	
10	5	○物質は融点や沸点を境に状態が変化することを知らるとともに、混合物を加熱する実験を行い、沸点の違いによって物質の分離ができることを見いだして理解すること。	○エタノールの沸点を調べる実験を行い、純物質は沸騰している間は温度変化しないこと、物質によって融点や沸点は決まっていること、沸点や融点を測定することで未知の物質を推定できることを理解する。 ○混合物は状態変化している間も少しずつ温度変化すること理解し、混合物から物質を分離する方法を見いだす。 ○水とエタノールの混合物を加熱する実験を行い、沸点の低い物質から沸騰していくこと、混合物は沸騰が始まっても少しずつ温度変化することを理解する。 ◆設定した課題について、小学校での水の沸騰に関する学習などを活用して、水とエタノールの混合物を分離する方法を計画する。話し合いや発表を適宜行う。 ○沸点の違いを利用して、混合物から物質を分離できることを理解する。 ●沸点の違いを利用して石油から様々な物質を取り出していることを取り上げる。	【知】沸点の測定の実験を、正しく安全に行うことができ、融点と沸点について理解している。 【思】水とエタノールの混合物の温度変化のグラフより、エタノールの多い液体を取り出す方法を考え、見直しをもって実験を計画している。 【思】実験方法や結果を基に、蒸留によって得られた液体のおもな成分について考察している。 【態】蒸留の原理が社会でも広く活用されていることに興味をもち、自ら調べようとしている。	小4	「水は0℃でこおり、100℃で沸騰すること」を学習している。	エタノール、枝つき試験管または大型試験管、ビーカー、メスシリンダー、試験管、穴あきゴム栓、ゴム管、ガラス管、温度計、スタンド、金網、ガスバーナー、氷水、沸騰石、マッチ、グラフ用紙、保護眼鏡、バルミチン酸、枝つきフラスコ、試験管立て、蒸発皿
単元(大項目)			第1分野 (1)身近な物理現象				
10 11	6	1章 光による現象 光の反射や屈折の実験を行い、光が水やガラスなどの物質の境界面で反射、屈折するときの規則性を見いだして理解すること。	○光源から出た光を複数の鏡を使って反射させ設置した的に当てるなど、鏡に入射する光と反射する光との関係について、問題を見いだす。 ●身近な現象として虹や水面に映った景色、日常生活や社会で活用されているものとして光ファイバークーブルなどを示し、問題を見いだす。 ○光を鏡で反射させる実験を行い、光の進む道筋を記録させ、入射角と反射角が等しいことを見いだし理解させるとともに、鏡に映る像を光の反射と関連させて理解させる。 ○台形ガラスや半円形ガラス、プリズムなどを適宜用いて実験を行い、光が空気中からガラスや水に進むときは、入射角よりも屈折角が小さくなるように進み、入射角を変化させるにつれて、屈折角が変化することを見いだし理解する。 ○光がガラスや水から空気中に進むときは、空気中からガラスや水に進む経路の逆をたどり、入射角よりも屈折角が大きくなるように進むことを理解する。 ○入射角を大きくしていくと全反射が起こることを見いだして理解する。	【態】光が直進することや光の反射にかかわる現象を日常生活と関連付けて積極的に考えようとしている。 【思】物体が見えることと光の進み方に関係があることを見いだして表現している。 【思】光の反射の法則を利用して、光が反射したあとの光の道筋を予想して表現している。 【知】光の反射について調べ、結果を記録し、物体が見えるときには、光源からの光や反射した光が目に入っていることを理解している。 【思】光の屈折による物体の見え方と光の進み方の関係を見いだして具体的に表現している。 【知】光の屈折について調べ、結果をまとめ、光の屈折と全反射について理解している。	小3	「日光は直進し、鏡などで集めたり反射させたりできること」を学習している。	光源装置、スリット台、鏡、分度器、小型光学用水槽、ガラスの直方体、プリズム

月	時	内容	○学習活動 (◆探究活動のポイント ●日常生活との関連)	評価規準	円滑な接続への留意事項	観察、実験のために 準備するもの	
11	5	凸レンズの働きについての 実験を行い、物体の位置と 像のでき方との関係を見い だして理解すること。	○凸レンズに平行光線を当て、光が集まる点が焦点 であることを理解する。 ○物体、凸レンズ、スクリーンの位置を変えながら いろいろと調整して、スクリーンに実像を結ばせ、 凸レンズとスクリーンの距離、像の大きさ、像の向 きの関係を見だし理解する。 ○物体を凸レンズと焦点の間に置き、凸レンズを通 して物体を見ると拡大した虚像が見えることを理解 する。 ●眼鏡やカメラなど光の性質やレンズの働きを応用 した身の回りの道具や機器などを取り上げる。	【態】凸レンズの働きと像につい て、進んで調べ、レンズを利用した 身の回りの道具についてレンズの利 用目的を調べようとしている。 【思】凸レンズによって物体よりも 小さい実像をつくる条件を見だし て表現している。 【知】凸レンズによってスクリー ンに映している像を調べ、結果をまと め、凸レンズの焦点と焦点距離につ いて理解している。 【思】実像と虚像ができる条件を見 いだして表現している。 【知】凸レンズによる実像、虚像の でき方を、光の進み方から理解して いる。		光学台、凸レンズ、 半透明のスクリー ン、光源つきの物体 または電球と物体、 ものさし、シール	
11		<b>2章 音による現象</b>					
12	5	音についての実験を行い、 音はものが振動することによ って生じ空気中などを伝 わること及び音の高さや大 きさは発音体の振動の仕方 に関係することを見だし て理解すること。	○発振器に接続したスピーカーや太鼓、おんさなど の観察、実験を通して、物体が振動しているときに 音が発生していることに気付く。 ○二つの標準おんさの共鳴現象や真空鈴の実験を行 い、音が空気中を伝わることや、空気など音を伝える 物質の存在が必要であることを理解する。 ●空気中を伝わる音の速さについては、雷鳴や打ち 上げ花火などの体験と関連付ける。 ○音の大きさと振幅の関係や音の高さと振動数の関 係について問題を見だし、弦を用いて実験を行 い、弦の振動では弦をはじく強さ、弦の長さや太さ などを変えて音を発生させ、音の大きさや高さを決 める条件を見いだして理解する。	【態】身の回りにある楽器を用い、 物体の振動と音の大小や高低との関 係を、進んで調べようとしている。 【思】空気が音を伝えることを、見 いだし、表現し、音の速さや音源ま での距離について、日常生活と関連 付けて説明している。 【知】音叉や新空冷の実験を行い、 音が空気中を伝わることを確かめ、 音の伝わり方や音を伝える物体、音 の速さについて理解している。 【思】音の大小と振幅の関係、音の 高低と振動数の関係を見いだして表 現している。 【知】音の大小や高低と物体の振動 について調べて、まとめ、音の大小 と振幅との関係、音の高低と振動数 との関係について理解している。	数学科 「速さ、道のり、時間」と関 連する。	音叉、簡易真空ポン プ、モノコードまた はギターなどの弦楽 器、平行線を等間隔 に引いた厚紙または ものさし、モノコー ドまたは低周波発振 器、マイクロホンつ きオシロスコープ、 無色透明シート、油 性ペン、セロハン テープ	

月	時	内容	○学習活動 (◆探究活動のポイント ●日常生活との関連)	評価規準	円滑な接続への留意事項	観察、実験のために 準備するもの
12	10	3章 力による現象				
1	10	物体に力を働かせる実験を行い、物体に力が働くとその物体が変形したり、動き始めたり、運動の様子が変わったりすることを見いだして理解するとともに、力は大きさと向きによって表されることを知る。また、物体に働く2力についての実験を行い、力がつりあうときの条件を見いだして理解すること。	<p>○静止している物体に力を働かせる実験を行い、物体が変形したり、動きだしたりすることを観察させる。</p> <p>○力の大きさによって変形の様子が異なることや動き出し方に違いがあることを見いだして理解する。</p> <p>○動いている物体に力を加える実験を行い、速くなったり遅くなったり動く向きが変わったりするなど、運動の様子が変わること観察する。</p> <p>○力の働きを見だし、力には大きさと向きがあることを理解する。</p> <p>○ばねにおもりをつるしてばねの伸びを測定する実験を行い、測定結果から力の大きさとばねの伸びが比例することを見だし、力の大きさはばねの変形の量で測定できることを理解する。</p> <p>○2本のばねばかりを用いて、一つの物体を弾く実験を行い、2力がつり合うときのそれぞれの力の大きさと向きなどを調べ、つり合いの条件を見いだして理解する。</p> <p>●綱引きなどの体験と関連させながら2力のつり合いについて考える。</p> <p>●机の上に静止している物体に働く力について考え、下向きに働いている重力とつり合うように机の面が物体を押し上げている力があることを理解する。</p> <p>○おもりの質量が大きくなるとおもりに働く重力が大きくなることを理解する。</p> <p>○力には、大きさ、向き、作用点という要素があり、力を矢印の大きさと向きを用いて表すことができることを理解する。</p> <p>◆身近なところに存在している力の具体例などを話し合ったり、発表したりする。</p>	<p>【態】身近な物体に働く力について関心をもって考えようとしている。</p> <p>【思】物体に力が働くときの物体の変化の様子について、分類する基準を見いだして表現している。</p> <p>【思】力の大きさとばねの伸びには比例の関係があることを見いだして表現している。</p> <p>【知】ばねの伸びと力の大きさととの関係を調べ、結果をまとめ、力の大きさとばねの伸びには、比例の関係があることを理解している。</p> <p>【思】物体が動かないとき、2力が一直線上にあり、向きが逆で大きさが等しいことを見いだして表現している。</p> <p>【思】物体の運動方向の力が、つり合っていないと速さが変化することを見いだして表現している。</p> <p>【知】一つの物体を引く実験を行い、2力がつり合うときのそれぞれの力の大きさと向きなどを調べ、つり合いの条件を記録し、力のつり合い、2力のつり合いの条件、静止している物体に働く力、垂直抗力、動いている物体に働く力について、理解している。</p>	<p>小3 「物は体積が同じでも重さは違うことがあること」「風やゴムの力で物を動かすことができること」を学習している。</p> <p>小6 「力を加える位置や力の大きさを変えると、てこを傾ける働きが変わり、てこがつり合うときにはそれらの間に規則性があること」を学習している。</p> <p>中3 「力の合成と分解」で「力の規則性」について学習する。「変化と対応（比例のグラフ）」と関連する。</p>	<p>スタンド、ものさし、2種類のばね、指標、おもり、グラフ用紙、ばねばかり、上皿てんびん、厚紙、糸、記録用紙、はさみ、パンチ、セロテープ</p>

月	時	内容	○学習活動 (◆探究活動のポイント ●日常生活との関連)	評価規準	円滑な接続への留意事項	観察、実験のために 準備するもの	
単元(大項目)		第2分野 (2) 大地の成り立ちと変化					
1		1章 身近な大地					
2	4	身近な地形や地層、岩石などの観察を通して、土地の成り立ちや広がり、構成物などについて理解するとともに、観察器具の操作、記録の仕方などの技能を身に付けること。	○大地の変化は地形の変化として現れることがあり、隆起、沈降、しゅう曲、断層などがみられることを理解する。 ○身近な地形や地層、ボーリングの資料などを観察し地層の構成物などから土地の成り立ちや広がりを見いだす。 ○地形や地層、岩石の観察器具の扱い方、安全に観察する方法、記録の仕方などを身に付ける。 ◆観察では、安全に十分配慮し、自然環境の保全にも配慮する。また、観察の結果をまとめたり話し合ったりし、疑問点などは今後の学習に生かす。	【知】プレートの動きや地球内部の高温の熱が、地表で見られる地形などと関連していることを理解している。 【知】地形や大地の構成物などの特徴は、大地の変化と関連していることを理解している。 【思】地域の大地の観察結果から、大地の成り立ちや変化を推測するとともに、それらに関する問題を見いだして課題を設定している。 【態】観察をふり返り、見いだした問題を今後の学習によって解決する見通しをもとうとしている。	小4 小5 小6	「水は高いところから低いところに流れて集まること」を学習している。 「水の働きによって侵食、運搬、堆積が起こること」を学習している。 「土地はれき、砂、泥、火山灰などからできていること」「層をつくって広がっていること」「岩石としてれき岩、砂岩、泥岩」について学習している。	露頭、ボーリング資料、岩石標本など(学校の実態に応じて)、地形図、岩石ハンマー、保護眼鏡、作業用手袋
2	4	2章 ゆれる大地 (㊦) 地震の体験や記録を基に、その揺れの大きさや伝わり方の規則性に気付くとともに、地震の原因を地球内部の動きと関連付けて理解し、地震に伴う土地の変化を理解すること。	○地震についての体験や過去の地震の記録などを基に地震のゆれの大きさや伝わり方の規則性を見いだす。 ○地震のゆれは震源から同心円状に広がり、震源距離が長いほど初期微動継続時間が長いことを理解する。 ●「緊急地震速報」は初期微動継続時間の長さや震源からの距離の関連性について理解している。 ○ゆれの大きさは震央距離、地下の岩石のかたさやつくり、マグニチュードが関係することを理解する。 ○地震の原因を、日本列島付近の震源の分布やプレートの動きと関連付けて理解する。 ○地震によって断層などの急激な土地の変化が起きること、海底の地形に急激な変化が起きると津波が生じることを理解する。	【思】地震のゆれの特徴を、地震計の記録と関連付けて理解している。 【思】過去の地震例から、観測点によって地震のゆれの強さにちがいが生じる要因を見いだして表現している。 【知】日本列島付近で起こる地震の特徴を、プレートの動きと関連付けて理解している。	小6	「土地は地震によって変化すること」を学習している。	色鉛筆

月	時	内容	○学習活動 (◆探究活動のポイント ●日常生活との関連)	評価規準	円滑な接続への留意事項	観察、実験のために 準備するもの	
2	7	3章 火をふく大地 (6)	<p>火山の形、活動の様子及びその噴出物を調べ、それらを地下のマグマの性質と関連付けて理解するとともに、火山岩と深成岩の観察を行い、それらの組織の違いを成員と関連付けて理解すること。</p> <p>○火山噴出物を観察し、火山によってちがいがああることを見いだす。 ○マグマの粘性と噴火の様子や火山噴出物、火山の形などの関係を考察し、関連付けて理解する。 ◆異なる火山について比較しながら調べ、火山灰の観察とも関連付ける。 ○火山岩と深成岩を観察し、共通点や相違点があることを見だし、それらがマグマの性質やマグマの冷え固まり方のちがいと関係していることを見いだす。 ○日本列島の地下ではプレートの沈みこみにともなってマグマができ、多くの火山があることを理解する。 ●日本各地の火山を紹介する。</p>	<p>【知】火山噴出物の特徴を理解している。 【思】同じ種類の火山噴出物であっても、特徴に多様性があることを見だし、その原因を推測して表現している。 【思】モデル実験の結果から、マグマの性質と火山の形の関係を見だして表現している。 【態】他者と関わりながら、実験計画をもとにマグマの性質と火山の形の関係について調べる実験を、粘り強く取り組んでいる。 【思】火山岩と深成岩の組織のちがいができるしくみを推測して表現している。 【知】日本列島付近に火山が多い理由を、プレートの動きと関連付けて理解している。</p>	小6	「土地は火山の噴火によって変化すること」を学習している。	火山灰、蒸発皿、ビーカー、ペトリ皿、ルーペ、双眼実体顕微鏡、型どり剤（アルギン酸塩印象材）、ポリエチレンの袋、5cmのポリ塩化ビニルのパイプ（塩ビ管）、紙皿、三脚、メスシリンダー、カッターナイフ、水、絵具（赤色など）、保護眼鏡、ほう砂水溶液、PVA洗濯のり、食紅、注射器、ガラス棒、駒込ピペット、穴をあけた板、紙粘土、火成岩の標本（安山岩、花こう岩など）、ルーペ（または双眼実体顕微鏡）、歯ブラシ、ミョウバン

月	時	内容	○学習活動 (◆探究活動のポイント ●日常生活との関連)	評価規準	円滑な接続への留意事項	観察、実験のために 準備するもの
3		4章 語る大地 (防)				
	7	地層の様子やその構成物から地層の成り方を考察し、重なり方や広がり方についての規則性を見いだして理解するとともに、地層とその中の化石を手掛かりにして過去の地質年代を推定できることを理解すること。	○地層は風化や侵食によってできたれき、砂、泥などが流水によって運搬・堆積したり海の生物の遺骸などが堆積するなどしてつくられたことを理解する。 ○地層を構成する岩石としてれき岩、砂岩、泥岩、石灰岩、チャートなどを観察し、粒の大きさや構成物質の違いなどを見いだす。 ○地層の堆積環境の推定には示相化石が、地層の生成年代を推定するには示準化石が用いられることを理解する。また、地質年代は古生代、中生代、新生代に区分されることを理解する。 ○地層やボーリング資料などを観察し、その観察記録をもとに、地層の重なり方や広がり方を推定する。 ◆離れたいくつかの地点の地層やボーリング資料などを比較し、火山灰層などを手掛かりにして推定する。柱状図や地形図を活用する。	【知】地層の成り方を、時間的、空間的な変化にもとづいて理解している。 【知】堆積岩の特徴を見だし、記録している。 【知】地層にふくまれる化石を基に、地層が堆積した当時の環境や形成された時代を推測できることを理解している。 【思】地層が形成された過程を、地層の特徴や地層の広がりから見だして表現している。		堆積岩標本、ルーペ、双眼実体顕微鏡、ペトリ皿、スポイト、5%塩酸、鉄くぎ、保護眼鏡、巻尺、方位磁針、移植ごて、岩石ハンマー、たがね、作業用手袋、ぼうし、袋(採集したものを入れる)、地形図、スケッチ板、色鉛筆、グラフ用紙、カメラ(カメラ機能付きのタブレットなど)、ホットメルト
	2	自然がもたらす恵み及び火山災害と地震災害について調べ、これらを火山活動や地震発生の仕組みと関連付けて理解すること。	○大地の変化とわたしたちのかかわりについて調べ、まとめたことを発表する。 ●ハザードマップや噴火警戒レベルと火山活動の状況などについて知る。 ◆インターネットで得られる多様な情報を活用する。 ○大地の変化によって恵みと災害のどちらの影響も受けており、災害から身を守るために防災、減災の取り組みを行っていることを理解する。	【態】他者と関わりながら、大地の恵みと災害を調べようとしている。 【思】日本列島で発生する可能性がある地震と災害の関係を見いだして表現している。	中3 社会科 道徳	「人間と環境」で「地域の自然災害」を学習する。 「自然災害と防災への取り組み」と関連する。 「自然愛護」と関連する。



月	時	内容	○学習活動 (◆探究活動のポイント ●日常生活との関連)	評価規準	円滑な接続への留意事項	観察、実験のために 準備するもの	
単元(大項目)		第1分野 (4) 化学変化と原子・分子					
4	8	1章 物質の成り立ち 物質を分解する実験を行い、分解して生成した物質は元の物質とは異なることを見いだして理解すること。	○炭酸水素ナトリウムや水を用いて、熱を加えたり電流を流したりする実験を行い、根拠を基に分析して、1種類の物質から2種類以上の元の物質とは性質の異なる物質が生成すること理解する。 ●熱によって物質を分解する実験では、変化の様子が明確なものとして酸化銀を扱うことも考えられる。	【思】炭酸水素ナトリウムの加熱による変化について、見通しをもって解決する方法を立案している。 【知】生成した物質の性質を調べるための実験器具等を適切に選択し、操作している。 【知】化学変化や分解について理解している。 【態】空気中での水素の燃焼によって水が生成することから、水が分解するとどうなるかという課題を設定し、探求の見通しをもとうとしている。 【思】実験結果を基に、分解によって生成した物質について考察している。 【知】電気分解について理解している。	中1	「物質を加熱した時の変化には固有の性質と共通の性質があること」「物質が固体、液体、気体の間で状態を変えることを状態変化ということ」「硫酸銅水溶液の中では、硫酸銅の粒子が水の中に一樣に広がって存在していること」を学習している。	炭酸水素ナトリウム、石灰水、塩化コバルト紙、フェノールフタレイン溶液、試験管、試験管立て、ゴム栓つきガラス管、ゴム栓、ゴム管、ガラス曲管、スタンド、ガスバーナー、水槽、ピンセット、スポイト、葉さじ、メスシリンダー、電子てんびんまたは上皿てんびん、線香、薬包紙、マッチ、保護眼鏡、酸化銀、金づち、水(2.5%水酸化ナトリウム水溶液)、ビーカー、電気分解装置、電源装置または乾電池、プラスチックのバット、導線、塩化銅水溶液
4	4	物質は原子や分子からできていることを理解するとともに、物質を構成する原子の種類は記号で表されることを知ること。	○物質を構成している単位として原子や分子があることを理解する。 ○分子のモデルづくりの実習を行い、物質の種類の違いは原子の種類の違いとその組合せによること及び原子や分子は記号で表されることを理解する。	【知】物質は原子からできていることを理解しており、原子の性質を説明している。 【知】いくつかの原子が結びついて分子ができていることを理解している。 【態】学習の過程を振り返り、状態変化と化学変化の違いについて、原子や分子のモデルと関連付けながら、粘り強く課題を解決しようとしている。		色画用紙、ペン、はさみ、原子のモデルカード	

月	時	内容	○学習活動 (◆探究活動のポイント ●日常生活との関連)	評価規準	円滑な接続への留意事項	観察、実験のために 準備するもの	
5	4	<b>2章 物質の表し方</b> 2種類の物質を反応させる実験を行い、反応前とは異なる物質が生成することを見いだして理解するとともに、化学変化は原子や分子のモデルで説明できると、化合物の組成は化学式で表されることが及び化学変化は化学反応式で表されることを理解すること。	○化合物の組成は化学式で、化学変化は化学反応式で表されること、化学変化の前後では原子の組合せが変わることを理解する。 ◆模型を用いるなどして目に見えない原子や分子をイメージしやすいように工夫する。 ●化学式や化学反応式については、簡単なものとして、観察、実験などで実際に扱う物質や化学変化で構成する原子の数が少ないものを取り扱う。	【知】原子には、その種類ごとに元素記号がつけられていることを理解している。 【思】物質を混合物と純物質に分類し、純物質が単体か化合物かを化学式やモデルから判断して表現している。 【知】化学変化を、原子・分子のモデルや化学反応式で表す方法を身に付けている。 【思】さまざまな化学変化を、原子・分子のモデルと関連付けながら、化学反応式で表現している。	中1	「発生方法に関係なく、酸素や二酸化炭素には固有の性質があること」を学習している。	原子のモデルカード
5	7	<b>3章さまざまな化学変化</b> 酸化や還元の実験を行い、酸化や還元は酸素が関係する反応であることを見いだして理解すること。	○反応前後の物質の色や形状などの違いが明確な、酸素や硫黄と結びつく実験を行い、化学変化は原子や分子のモデル、化学反応式で表されることを理解する。 ●反応前後の物質の色や形状が明確な金属が酸素や硫黄と結びつく反応を扱う。 ◆物質同士が結びつく反応と、「(ア)物質の成り立ち」で学習した分解における化学変化を、原子や分子のモデルを用いて考察し、微視的に事物・現象を捉える。 ○酸化銅から銅を取り出す実験を行い、酸化と還元は酸素をやりとりする逆向きの反応であることに気づき、理解する。 ◆酸化や還元を原子や分子のモデルを用いて考え、反応の前後では原子の組合せが変わることに気づく。 ●酸化では金属がさびることなど、還元では鉄鉱石から鉄を取り出して利用していることなどを扱う。	【態】硫黄による鉄の変化について問題を見だし、課題を設定して、探求の見通しをもとうとしている。 【思】金属が硫黄と結びつく反応の実験結果を基に、鉄と硫黄の混合物を加熱すると別の物質ができることを見いだして表現している。 【知】2種類以上の物質が結びつく変化や分解などの化学変化について、原子・分子のモデルや化学反応式を用いて説明している。 【思】物質が酸化される化学変化を原子・分子のモデルと関連付けながら、化学反応式で表現している。 【思】炎の位置によって銅板が酸化したり、もとの銅にもどったりする理由を見いだして表現している。 【思】酸化銅の還元実験の結果を基に、化学反応について原子・分子のモデルを用いて表現している。	中1	「ろうそくが燃えると、二酸化炭素と水ができること」「酸素にはものを燃やすはたらきがあること」を学習している。	鉄粉、硫黄(粉末)、試験管、試験管立て、試験管ばさみ、乳ばち、乳棒、金網、ガスバーナー、フェライト磁石、薬さじ、電子てんびんまたは上皿てんびん、脱脂綿、薬包紙、マッチ、保護眼鏡、スチールウール、集気びん、塩酸、酸化銅、活性炭(粉末)、石灰水、ゴム栓つきガラス管、ガラス管、ゴム管、目玉クリップ、スタンド、ステンレス製の薬さじ、厚紙、保護眼鏡、マグネシウムリボン

月	時	内容	○学習活動 (◆探究活動のポイント ●日常生活との関連)	評価規準	円滑な接続への留意事項	観察、実験のために 準備するもの
5 6	3	化学変化によって熱を取り出す実験を行い、化学変化には熱の出入りが伴うことを見いだして理解すること。	○温度が変化する化学変化の実験を行い、化学変化には熱の出入りが伴うことを見いだして理解する。 ◆エタノールなどを燃焼させると発熱すること、都市ガスやプロパンガスなどの有機物を燃焼し発生させた熱は調理や暖房などに利用されていることを理解する。 ●アルコールの燃焼やカイロなど、日常生活や社会で利用されているものを取り上げる。 ●塩化アンモニウムと水酸化バリウムの反応のように、化学変化により吸熱するものも取り上げる。	【知】温度が変化する化学変化の実験を適切に行い、結果を記録している。 【態】化学変化による熱の利用に興味をもち、身のまわりへの活用を自ら探求しようとしている。		水酸化バリウム、塩化アンモニウム、ガラス棒、鉄粉、活性炭(粉末)、5%塩化ナトリウム水溶液、炭酸水素ナトリウム、クエン酸、ピーカー、温度計、ピンセット、スポイト、葉さじ、電子てんびんまたは上皿てんびん、厚手のポリエチレンの袋、葉包紙、半紙、保護眼鏡
6	4章 化学変化と物質の質量					
	2	化学変化の前後における物質の質量を測定する実験を行い、反応物の質量の総和と生成物の質量の総和が等しいことを見いだして理解すること。	○沈殿や気体が発生する反応の実験を行い、反応前後における物質の質量を測定し、質量の総和が等しいことを見出して理解する。 ◆気体が発生する反応では、開いていた時と閉じている時における物質の質量を測定し、結果の違いから生じた気体の質量も合わせて測定しないと質量の総和が等しくならぬことに気づくにする。	【態】うすい塩酸と炭酸水素ナトリウムの反応における質量の変化について、見通しをもって仮説を設定しようとしている。 【思】質量保存の法則を原子・分子のモデルおよび化学反応式と関連付けて考察している。	中1	「物質を水にとかしたとき、とかす前後で全体の質量は変化しないこと」「物質が状態変化したとき、その体積は変化するが、質量は変化しないこと」を学習している。
	5	化学変化に関する物質の質量を測定する実験を行い、反応する物質の質量の間には一定の関係があることを見いだして理解すること。	○一定の質量の金属と結びつく酸素の質量との関係を調べる実験では、見通しをもって解決する方法を立て、実験を行い、得られた結果をグラフ化することを通して分析して解釈し一定の関係を見いだして理解する。 ●一定の質量の物質に反応するた方の物質の質量には限度があり、その限度の質量は一方の質量に比例するという「一定の関係」を見いだして理解させる。 ●原子や分子のモデルと関連付けて微視的に事物・現象を捉えて表現させるようにする。	【思】金属の加熱回数と質量変化の関係を予想し、表現している。 【思】金属の質量とその金属に結びつく酸素の質量の関係を見だし、仮説を確かめるための実験を計画している。 【態】金属と結びつく酸素の質量について、実験計画をもとに実験を行い、粘り強く課題を解決しようとしている。 【思】化学変化の前後における物質の質量や化学変化に関する物質の質量には規則性があることを見いだして表現している。	数学科	「変化と対応(比例のグラフ)」と関連する。 銅の粉末、けずり状のマグネシウム、ステンレス皿、目の細かい金網、三角架、三脚、ガスバーナー、るつぼばさみ、ステンレス製の葉さじ、電子てんびん、マッチ、グラフ用紙、保護眼鏡

月	時	内容	○学習活動 (◆探究活動のポイント ●日常生活との関連)	評価規準	円滑な接続への留意事項	観察、実験のために 準備するもの	
単元 (大項目)		第2分野 (3) 生物の体のつくりと働き					
6		1章 生物の体をつくるもの	<p>○身のまわりの生物の表面のつくりを観察し、生物の体は細胞からできていることや単細胞生物と多細胞生物の体の違いを理解する。</p> <p>◆細胞の観察を観察するときは、細胞を染色したり、顕微鏡の倍率を変えたり、スケッチを行ったりして、顕微鏡を用いた観察の仕方を身に付られるようにする。</p> <p>◆生物の体は同じ形や働きをもった細胞が集まって組織を、何種類の組織が組み合わさって器官を構成していることにも触れる。</p> <p>○植物と動物の細胞のつくりの観察を行い、観察記録に基づき植物細胞と動物細胞を比較しながら共通点と相違点を理解する。</p> <p>◆共通点としては、植物と動物の細胞に核、細胞質があること。相違点としては、植物細胞には細胞壁があり、葉緑体や液胞が見られるものがあること。</p> <p>○細胞が物質を出し入れして呼吸をしていることや、生物には一つの細胞からなるものがあることを理解する。</p> <p>◆細胞分裂などについては「生命の連続性」で扱う。</p>	<p>【思】植物や動物の体のつくりには違いがあることを見いだして表現している。</p> <p>【態】積極的に、生物の細胞の観察に取り組み、生物の体のつくりの共通点を見いだそうとしている。</p> <p>【知】単細胞生物と多細胞生物の体の成り立ちを理解している。また、多細胞生物の体を組織や器官の用語を使って説明している。</p> <p>【知】最適な細胞像を顕微鏡の視野に出し、正確にスケッチする技能を身に付けている。</p> <p>【知】植物と動物の細胞のつくりの共通点と相違点を理解し、説明している。</p>	中1	「身のまわりの生物の観察を通して、体のつくりや生活場所に特徴があること」「炭素を含む物質を有機物といい、有機物を燃やすと二酸化炭素と水ができること」を学習している。	タマネギ、オオカナダモ、レタス、トマト、顕微鏡観察用具(顕微鏡、スライドガラス、カバーガラス、ピンセット、えつき針、ろ紙)、スポイト、酢酸オルセイン溶液または酢酸カーミン溶液、酢酸ダーリア溶液、カッターナイフ、綿棒、保護眼鏡

月	時	内容	○学習活動 (◆探究活動のポイント ●日常生活との関連)	評価規準	円滑な接続への留意事項	観察、実験のために 準備するもの	
7	10	2章 植物の体のつくりとはたらき 植物の葉、茎、根の観察、実験を通して、植物の体のつくりの共通性と多様性に気づかせるとともに、植物の体のつくりと働きを関連付けて捉えさせるなど、植物の生命を維持する仕組みについて理解させること。	○光合成にともなう二酸化炭素の出入りを確かめる実験を行い、呼吸により酸素が吸収され二酸化炭素が放出されていること、光合成により水と二酸化炭素を原料として酸素が放出されていることを理解する。 ◆葉の働きについては、光合成を行う器官であることや、光合成は光のエネルギーを利用して、二酸化炭素と水からデンプンなどの有機物と酸素を生じる反応であることを理解する。 ○根と茎と葉のつくりの観察によって種子植物の基本的なつくりの特徴を見いだすとともに、それらを光合成、呼吸、蒸散についての実験の結果と関連付けて捉え、植物の体のつくりと働きについて、水など物質の移動に注目しながら総合的に理解する。 ◆葉については、葉の構造を観察し、その観察結果と光合成、蒸散とを関連させて考察し、葉のつくりと働きについて理解する。 ◆気孔で気体の出入りが起こっていることを理解する。 ◆蒸散については、蒸散が行われると、吸水が起こることを実験の結果に基づいて理解させる。その際、葉の断面や気孔の観察と吸水の実験の結果を分析して解釈させ、吸水と蒸散とを関連付けて理解させる。 ◆茎や根の働きについては、水が根で吸収されること、水は根や茎にある維管束の中の道管を上昇することを茎などの断面の観察やデータと関連付けて理解させる。また、光合成によって生じた有機物は師管を通して他の部位に移動することを理解させる。	【思】日光の当たり方と葉のつき方の共通点や相違点との関係を見いだして表現している。 【態】葉緑体のはたらきに興味をもち、他者とかかわりながら、葉緑体の観察を、積極的に行動している。 【思】植物が光合成を行うときに必要な物質を考え、見通しをもって対照実験を計画している。 【知】光合成のしくみを理解している。 【思】光合成と呼吸の行われる時間帯や気体の出入りについての関係性を見いだして表現している。 【知】根や茎の切片をつくり、それらのつくりを観察している。 【知】葉の表皮や断面のプレパラートをつくり、顕微鏡で、観察している。 【知】道管と師管の役割や葉の断面や表皮のつくりについて理解している。 【知】水の移動を中心にして、植物のつくりとはたらきについて総合的に理解している。	小5 小6	「発芽やその後の成長に必要な栄養分は種子の中にあること」を学習している。 「植物は葉に日光が当たることでデンプンをつくること」「根から取り入れた水は、葉から水蒸気になって出ていくこと」を学習している。	ふ入りの葉、エタノール、ヨウ素溶液、オオカナダモ、タンポポなどの葉、石灰水、試験管、試験管立て、ゴム栓、ストロー、保護眼鏡、鉢植えの植物、気体採取器、二酸化炭素用検知管、ポリエチレンの袋、セロハンテープ、輪ゴムまたはひも、ホウセンカ、トウモロコシ、着色した水、顕微鏡観察用具または双眼実体顕微鏡、カッターナイフ、カッターマット、T字カミソリ、三角フラスコ、ペトリ皿、スポイト、作業用手袋、ニンジン

月	時	内容	○学習活動 (◆探究活動のポイント ●日常生活との関連)	評価規準	円滑な接続への留意事項	観察、実験のために 準備するもの	
8							
9	13	<p><b>3章 動物の体のつくりとはたらき</b></p> <p>消化や呼吸についての観察、実験などを行い、動物の体が必要な物質を取り入れ運搬している仕組みを観察、実験の結果など関連付けて理解すること。また、不要となった物質を排出する仕組みがあることについて理解すること。</p>	<p>○唾液のはたらきを調べる実験を行い、唾液がデンプンを他の糖に変える働きや栄養分が吸収される仕組みを理解する。</p> <p>◆消化系については、動物には消化器官が備わっており、その働きによって植物が物理的及び科学的に消化され、栄養分が吸収される仕組みを理解させる。その際、アミラーゼ、ペプシンなど代表的な消化酵素について扱う。</p> <p>○動物の呼吸及び血液循環についての観察や実験などを通して、動物の体のつくりの共通性と多様性に気付かせるとともに、動物の体のつくりと働きを関連付けて理解する。</p> <p>◆循環系については、物質を運搬する仕組みとして、心臓のつくりとその働きを中心に扱う。また、血液成分の働きについては血しょうが組織液となつていろいろな組織液中の細胞と血液との間で物質の出し入れの仲立ちをしていることや赤血球や白血球などの働きについても触れる。さらに、血液中の不要となった物質を大概に排出する腎臓の働き及び栄養分を貯蔵し有害な物質を無害な物質に変える肝臓の働きについても触れる。</p> <p>◆動物の体のつくりと働きの理解を深めるために、例えば魚の煮干しやイカなどを解剖して内部のつくりを観察し、ヒトの体のつくりとの比較から動物の体のつくりの共通点に気付かせ、ヒト以外の動物についても、消化系や呼吸系、循環系など生命を維持する仕組みがあることを理解させる。</p>	<p>【知】動物が必要としている栄養分の種類をあげ、消化の意義を理解している。</p> <p>【態】唾液のはたらきを調べる実験について、他者とかかわりながら、見通しをもって実験を主体的・協働的に計画している。</p> <p>【態】唾液のはたらきを調べる実験について、粘り強く課題を解決しようとしている。</p> <p>【知】唾液には、デンプンを分解するはたらきがあることを理解している。</p> <p>【知】おもな消化酵素の種類とはたらきについて理解している。</p> <p>【知】消化された栄養分が吸収される道すじを理解している。</p> <p>【知】ヒトの呼吸器官のつくりと肺胞でのガス交換のしくみを理解している。</p> <p>【知】細胞の活動でできた不要な物質のうち、アンモニアが腎臓などのはたらきで排出されるしくみについて理解している。</p> <p>【思】血液循環のしくみについて、既習内容や日常経験から問題を見いだして課題を設定している。</p> <p>【知】おもな血液の成分と組織液のはたらきについて理解している。</p> <p>【知】血管の種類や心臓のつくりとはたらきについて理解している。</p> <p>【知】血液循環の道すじについて、心臓や流れる血液の特徴と関連付けて理解している。</p>	小6	<p>「ヒトは、生命を支えるために、栄養分や酸素、二酸化炭素を血液で運搬していること」「ヨウ素溶液はデンプンが存在すると青紫色に変色すること」「だ液はデンプンを別の物質に変化させること」を学習している。</p>	<p>1%デンプンのり、水でうすめた唾液、ヨウ素溶液、ベネジクト溶液、試験管、試験管立て、試験管ばさみ、ビーカー、ガスバーナー、温度計、スポイト、約40℃の湯、大型の綿棒、沸騰石、保護眼鏡、ヒメダカ、ポリエチレンの袋、顕微鏡、鳥の心臓</p>

月	時	内容	○学習活動 (◆探究活動のポイント ●日常生活との関連)	評価規準	円滑な接続への留意事項	観察、実験のために 準備するもの	
9		<b>4章 動物の行動のしくみ</b>					
10	7	動物が外界の刺激に適切に反応している様子の観察を行い、その仕組みを感覚器官、神経系及び運動器官のつくりと関連付けて理解すること。	○動物が、外界の刺激に反応していることに気づき、これらに関係するいろいろな感覚器官や神経系、運動器官のつくりと働きを関連付けて理解する。 ◆感覚器官としては、目、耳などを取り上げ、それぞれの感覚器官がそれぞれの刺激を受け入れるつくりになっていることを理解させる。例えば、暗所に移動すると見え方が時間とともに鮮明になっていくことなどを体験させるなど、ヒトの感覚器官が刺激の強さに応じて調整されることを見いださせる。 ◆神経系の働きについては、外界からの刺激が受け入れられ、感覚神経、中枢、運動神経を介して反応が起こることを、観察、実験や日常経験などを通して理解させる。 ◆運動器官については、骨格と筋肉の働きによって運動が行われることを扱う。その際、動物の骨格標本や人体模型などを利用することなどが考えられる。	【知】動物にはどのような感覚器官があり、それぞれどのような刺激を受け取っているか理解している。 【知】ヒトのおもな感覚器官をあげ、そのつくりと受け取った刺激を脳に伝えるしくみを理解している。 【知】ヒトの神経系が脳・脊髄からなる中枢神経と、これから枝分かれする末梢神経とからなることを理解している。 【知】ヒトの反応時間を調べる実験を行い、その結果をわかりやすくまとめている。 【思】ヒトの反応時間を調べる実験結果を分析して解釈し、感覚器官が刺激を受け取って反応が起こるまでの経路を見いだして表現している。 【知】感覚器官が受け取った刺激によって、ヒトの体にいるいろいろな反応が起こるしくみについて理解している。	小4 中1	「ヒトの体は、筋肉と骨、関節の働きで動いていること」を学習している。 「物体が凸レンズの焦点の外側にあるとき、上下・左右逆向きの実像ができること」 「音は波として伝わること」を学習している。	ヒメダカ、水槽、ガラス棒、縦じま模様の紙、ものさし、ストップウォッチ、ニワトリの手羽先
単元（大項目）		第2分野 （4）気象とその変化					
10	5	<b>1章 地球をとり巻く大気の様子</b> 気象要素として、気温、湿度、気圧、風向などを理解すること。また、気圧を取り上げ、圧力についての実験を行い、圧力は力の大きさと面積に関することを見いだして理解するとともに、大気圧の実験を行い、その結果を空気の高さと関連付けて理解すること。	●天気のことわざと科学的根拠について考える。 ○気温、湿度、気圧、風向、風速などの表し方を理解する。 ○湿度は大気中に水蒸気が含まれる度合いを表し、風向については観測地点に吹いてくる風の方位を表し、風速については空気が1秒あたりに進む距離として表すことを理解する。 ●机に置いたゴム板が取りにくい現象を例に挙げ、大気圧について考える。 ◆山頂で菓子袋が膨らんだ理由を話し合う。 ○圧力の実験を行い、圧力は力の大きさと面積に関することを見いだす。 ○圧力は単位体積当たりの力の大きさで表されることを理解する。 ○大気圧の実験を行い、その結果を空気の高さと関連付けて理解する。	【思】雲や霧の発生といった身近な気象現象のしくみに興味をもち、気象現象に関する既習内容や日常経験から、問題を見いだして課題を設定している。 【思】ゴム板が机の天板から取れにくくなっている様子から、大気の高さが関係していることを見だし表現している。 【知】大気圧が生じるしくみを理解している。 【思】力の大きさと力のはたらく面積との関係を見いだして表現している。 【知】圧力や大気圧について理解している。	小4 中1 社会科	「1日の気温が変化すること」を学習している。 「重力、力、圧力」について学習している。 「方位」と関連する。	取っ手つきのゴム板、簡易加圧器具、ペットボトル、電子てんびん、簡易加圧器具、吸盤、スポンジ、おもり

月	時	内容	○学習活動 (◆探究活動のポイント ●日常生活との関連)	評価規準	円滑な接続への留意事項	観察、実験のために 準備するもの	
10	5	校庭などで気象観測を継続的に行い、その観測記録などに基づいて、気温、湿度、気圧、風向などの変化と天気との関係を見いだして理解するとともに、観測方法や記録の仕方を身に付けること。	●晴れの日とくもり・雨の日の気温・湿度などの特徴を考える。 ○気象観測を継続的に行い、観測方法や記録の仕方を身に付ける。 ◆気象観測の場所や器具、期間、間隔について観測の計画を立て、観測記録から分析して解釈させ、各気象要素間に関係があることを見いだして理解する。	【知】気象観測の方法を知り、器具を正しく使って観測し、結果を記録している。 【知】気象観測で得られたデータを表やグラフなどに整理している。 【態】学習内容をふり返り、天気と気圧、気温、湿度の関係を見いだそうとしている。	小4	「気温の測り方」について学習している。	気圧計、乾湿計、風向風速計、観測カード、グラフ用紙、くみ置きの水、時計、内側を黒く塗った透明半球、新聞等の天気図
10 11	6	<b>2章 大気中の水の変化</b> 霧や雲の発生についての観察、実験を行い、そのでき方を気圧、気温及び湿度の変化と関連付けて理解すること。	●露点の測定実験などを行い、大気中の水蒸気が凝結する現象を気圧、気温及び湿度の変化と関連付けて理解する。 ○霧は、気温の低下に伴って大気中の水蒸気が凝結して発生することを理解する。 ○雲の成因について、大気の上昇に伴う気温や気圧の変化と関連付けて理解する。 ○雨や雪などの降水現象を含む水の循環は太陽のエネルギーによって引き起こされることを理解する。 ◆上昇気流や下降気流が生じるしくみと例について考え、さまざまな雲ができることを説明する。 ◆水蒸気を含んだ空気から水滴が現れるしくみを露点と関連付けて説明する。	【思】霧のでき方を霧が発生する条件を見いだして表現している。 【知】上昇する空気が膨張することを理解した上で、雲を発生させる実験を行い、結果を記録している。 【思】雲のでき方を雲が発生する条件を見いだして表現している。 【知】雲が雨などになる過程や水蒸気を含んだ空気から水滴が現れるしくみを理解している。 【思】露点の測定結果を基に、空気中の水蒸気量について考察している。 【思】霧が発生するしくみを気温と水蒸気量の関係を見いだして表現している。	小4  小5  小4・ 中1 数学科	「水は蒸発して水蒸気となって空気中に含まれること」「空気が冷やされると水蒸気は水になって現れること」を学習している。 「雲の量や動きが天気と関係があること」を学習している。 「物質の状態変化」について学習している 「百分率(割合)」と関連する。	保冷剤(氷)、線香、ペットボトル、ビーカー、簡易加圧器具、簡易真空器具、気圧計、ゴム風船、丸底フラスコ、大型注射器、デジタル温度計、液晶温度計、金属製のコップ、大型試験管、セロハンテープ、乾いた布



月	時	内容	○学習活動 (◆探究活動のポイント ●日常生活との関連)	評価規準	円滑な接続への留意事項	観察、実験のために 準備するもの	
11	6	3章 天気の変化と大気の動き (防) 前線の通過に伴う天気の変化の観測結果などに基づいて、その変化を暖気、寒気と関連付けて理解すること。	●風のふき方が場所や季節、天気によって変化することを再認識し、風と天気の関わりについて考える。 ○前線の通過によって起こる気温、湿度、気圧、風向、天気の変化、雲の種類などを暖気や寒気と関連付けて理解する。 ◆気象観測のデータや天気図から前線の通過に伴う天気の変化の特徴について説明する。 ○高気圧や低気圧のまわりの風の吹き方について理解する。 ●雨が降る前に見られることが多い雲を思い出し、前線の構造について、観測結果や実際の経験と関連付けて理解する。 ○寒冷前線や温暖前線における雨の降り方の違いや通過後の気温や風の変化を説明する。	【知】等圧線、高気圧や低気圧の意味を理解し、天気図から天気や風向・風力を読み取ったり、雲画像から雲の分布の特徴を読み取ったりする技能を身に付けている。 【思】天気図の気圧配置から大気の動きを立体的に捉え、気圧配置と天気の関係を見いだして表現している。 【知】複数の天気図から気象要素の連続的な変化を読み取る技能を身に付けている。 【思】気温が急に变化する理由をモデル実験の結果を基に、考察している。 【思】前線の通過に伴う天気の変化を天気図と観測データの関係を見いだして表現している。 【知】日本付近の大気の動きを地球規模の大気の動きの中で捉え、地球規模の大気の動きの原因を理解している。	小5 社会科	「雲の量や動きが天気の変化と関係すること」「映像などの気象情報を用いて天気の変化を予測していること」を学習している。 「等高線」と関連する。	気象庁の天気図等、グラフ用紙、ミルソー実験器、保冷剤、線香、湯、着色剤

月	時	内容	○学習活動 (◆探究活動のポイント ●日常生活との関連)	評価規準	円滑な接続への留意事項	観察、実験のために 準備するもの	
11	6	4章 大気の動きと日本の四季 (坊) 天気図や気象衛星画像などから、日本の天気の特徴を気団と関連付けて理解すること。	●日本の四季それぞれの特徴を思い出し、それぞれの季節の天気の特徴を話し合う。 ◆天気図や気象衛星画像から、気圧配置と風の吹き方や天気の特徴との関係を見いだす。 ○日本の天気の特徴を日本周辺の気団の特徴と関連付けて理解する。 ○日本付近の台風がどのような進路をたどるのかを理解する。 ◆数日間の気象データをもとにして、実際に天気予報を行う。	【態】日本の天気が、大陸や海洋からどのような影響を受けているか、見通しをもって探究しようとしている。 【思】海陸風や季節風がふくしくみを、気温差や気圧差との関係を見いだして表現している。 【思】日本の四季の天気の特徴を、気圧配置の変化から見いだして、天気の特徴とそれが生じるしくみを理解するとともに、表現している。 【思】シベリア高気圧(気団)からふき出す大気の性質が変化する原因を、海洋の影響と関連付けて考察している。 【知】日本付近の台風の進路の特徴を見いだして、その原因を理解している。	小5 道徳	「台風による天気の変化」について学習している。 「自然愛護」と関連する。	気象庁の天気図等、日本付近の白地図
12	4	気象衛星画像や調査記録などから、日本の気象を日本付近の大気の動きや海洋の影響と関連付けて理解すること。	○日本の気象を日本付近の大気の動きと温帯低気圧、移動性高気圧などの移動を関連付けて理解する。 ○季節風の発生や日本海側の多雪などの特徴的な気象に海洋が関わっていることを理解する。 ○地球を取り巻く大気の動きや、地球の大きさや大気の厚さを理解する。	【態】明日の天気を予想するための方法を探究しようとしている。 【知】気象要素や天気図、雲画像などから、天気の特徴を読み取る技能を身に付けている。 【思】収集した気象データを基に、根拠をもって翌日の天気について考察している。	社会科	「世界と比べた日本の地域的特色」「日本の諸地域」と関連する。	気象庁の天気図等、日本付近の白地図
12	3	気象現象がもたらす恵みと気象災害について調べ、これらを天気の変化や日本の気象と関連付けて理解すること。	◆気象現象がもたらす恵みについて調べ、豊かな生活に寄与していることに気付く。 ○気象災害について調べ、天気の変化や日本の気象と関連付けて理解する。 ●天気の変化がもたらす災害への備えについて考え、自分の家庭での準備について振り返る。	【態】天気の変化がもたらす恵みや災害についてその原因を理解し、災害への備えについて探究しようとしている。	社会科	「首都圏外郭放水路」「ハザードマップ」と関連する。	気象庁の天気図等、ハザードマップ

月	時	内容	○学習活動 (◆探究活動のポイント ●日常生活との関連)	評価規準	円滑な接続への留意事項	観察、実験のために 準備するもの	
単元(大項目)		第1分野 (3) 電流とその利用					
1		1章 電流の性質					
	5	回路をつくり、回路の電流や電圧を測定する実験を行い、回路の各点を流れる電流や各部に加わる電圧についての規則性を見いだして理解すること。	○豆電球などの抵抗及び電源装置を入れた簡単な回路をつくり、その回路に流れる電流や抵抗に加わる電圧の測定などを行い、回路の作成や電流計、電圧計、電源装置などの基本的な操作技能を身に付ける。 ●モーターや乾電池などの身の回りの電子部品を活用する。 ○豆電球に流入する電流と流出する電流の大きさにどのような関係があるか見通しをもち、それを調べるための実験を計画して実行する。 ○二つの抵抗をつなぐ直列回路や並列回路の各点を流れる電流や各部に加わる電圧などを調べる実験を行い、その結果を分析して解釈し、それぞれの回路における電流や電圧に関する規則性を見だし、理解する。 ◆各回路の電流と電圧の値に着目して、その関係性について話し合う。	【知】直列回路と並列回路について理解している。 【思】電流計を使って、回路に流れる電流を測定する実験を計画している。 【態】他者と関わりながら、直列回路と並列回路での豆電球の明るさの違いについて探究しようとしている。 【知】直列回路と並列回路での電流の規則性を理解している。	小3 小4	「電気を通すつなぎ方と通さないつなぎ方があること」を学習している。 「乾電池の数やつなぎ方を変えると豆電球の明るさやモーターの回り方が変わること」を学習している。	切りかえ式スイッチ、豆電球、乾電池、導線、電流計、豆電球、端子、スイッチ、電圧計
1	6	金属線に加わる電圧と電流を測定する実験を行い、電圧と電流の関係を見いだして理解するとともに、金属線には電気抵抗があることを理解すること。	○金属線などの電熱線を入れた回路で、金属線に加える電圧と流れる電流の大きさを調べる実験を行い、電圧と電流が比例関係にあることを見いだすとともに、金属線には電気抵抗があることを理解する。 ◆金属線に加わる電圧と流れる電流の大きさの関係性について話し合う。 ○物質の種類によって抵抗の値が異なることについて説明を聞き、理解する。 ●身近な物質の抵抗値を扱う。 ○二つの抵抗を直列や並列につないだ場合について、回路全体の電流と電圧から合成抵抗について考え、理解する。	【思】直列回路と並列回路での電流や電圧の規則性を見いだして表現している。 【思】抵抗器のつなぎ方による全体の電気抵抗の大きさの変化を見いだして表現している。 【態】学習の過程を振り返り、電圧と電流の関係を表すグラフから、電気抵抗の大きさの違いを見いだそうとしている。	小3 中1	「電気を通すものと通さないものがあること」を学習している。 「表の書き方や誤差の扱い、グラフの書き方、測定値の処理の仕方」について学習している。	抵抗器、電源装置、電圧計、電流計、スイッチ、導線、グラフ用紙

月	時	内容	○学習活動 (◆探究活動のポイント ●日常生活との関連)	評価規準	円滑な接続への留意事項	観察、実験のために 準備するもの	
2	6	電流によって熱や光などを発生させる実験を行い、熱や光などが取り出せること及び電力の違いによって発生する熱や光などの量に違いがあることを見いだして理解すること。	○電気器具に電流を流す実験を行い、電流から熱や光、音を発生させたり他の物体の運動状態を変化させたりすることができることを見いだして理解する。 ●電気ポットや発光ダイオード、豆電球やモーターとも知多模型自動車など、身近な電気器具を用いる。 ○電力の違いにより発生する熱や光、音などの量や強さ、他の物体に及ぼす影響の程度に違いがあることを見いだして理解する。 ●身近な電化製品の消費電力について触れる。 ○1Vの電圧を加え1Aの電流を流したときの電力が1Wであることを理解する。 ○電熱線に電流を流し、同じ量の水の温度を上昇させる実験を行い、電力と時間の積である電力量を理解する。 ◆電熱線に加える電圧や電流を流す時間、消費電力などの関係から、これらの値と電力量との関係について話し合う。 ○電気がエネルギーをもっていることを理解し、熱や光、音などがエネルギーの一形態であることを聞き、理解する。	【思】電熱線から発生する熱量が変化する要因を、既習事項や日常経験から考察している。 【思】電力と発生した熱量の関係をみいだして表現している。 【態】学習内容を振り返り、電力量の定義とその求め方、電力量の単位、電気器具から発生する熱量や消費する電気エネルギーとの関係を探ろうとしている。	小4 小6 技術・家庭科	「乾電池の数やつなぎ方を変えたと、豆電球の明るさやモーターの回り方が変わることを学習している。 「電気は、光、音、熱、運動などに変換できること」を学習している。 「エネルギー変換の技術」「食品の栄養成分表示」と関連する。	電熱線、圧着端子、屋内配線用ケーブル、ポリエチレンのビーカー、メスシリンダー、温度計、ガラス棒、電源装置、電流計、電圧計、スイッチ、スタンド、時計、導線、発泡ポリスチレンの板、くみ置きの水、グラフ用紙
2	8	<b>2章 電流の正体</b> 異なる物質同士をこすり合わせると静電気が起こり、帯電した物質間では空間を隔てて力が働くこと及び静電気と電流には関係があることを見いだして理解すること。また、真空放電と関連付けながら放射線の性質と利用にも触れること。	○異なる物質同士をこすり合わせて静電気が起こると、帯電した物体間には空間を隔てて力が働き、その力には引力と斥力があることを見いだして理解する。 ●静電気によって引き起こされる現象や静電気を利用した電気コピー機などを取り上げる。 ○静電気によってネオン管などを短時間なら発光させることなどの実験を行い、静電気が電流と関係があることを見いだして理解する。 ○誘導コイルの放電やクルックス管などの真空放電の観察から、電子の存在を理解し、電流に関係していることを理解する。 ○真空放電に関連してX線について触れ、透過性などの性質をもつ放射線が存在することを理解する。 ●医療や製造業などにおける放射線の利用例を取り上げる。	【態】静電気に関する日常経験から、電気くらがげが浮いたり、髪の毛が下敷きに引きつけられたりする理由を説明しようとしている。 【知】放電現象について理解している。 【思】電流が流れているときと流れていないときの相違点を、モデル図で表現している。 【知】放射線の種類や性質、産業への利用及び生物への影響等を理解している。 【態】探究のプロセスを振り返り、電流が電子の流れであることを観察事実と関連付けながら表現しようとしている。		ゼムクリップ、消しゴムまたはゴム栓、ポリプロピレンのストロー（曲がるもの）、ティッシュペーパー、ネオン管、小型蛍光灯、下じき、ポリ塩化ビニルパイプ、誘導コイル、クロス真空計、放電管、真空ポンプ	

月	時	内容	○学習活動 (◆探究活動のポイント ●日常生活との関連)	評価規準	円滑な接続への留意事項	観察、実験のために 準備するもの	
3		<b>3章 電流と磁界</b>					
	2	磁石や電流による磁界の観察を行い、磁界を磁力線で表すことを理解するとともに、コイルの周りに磁界ができることを知る。	○棒磁石や電流の流れているコイルの回りに鉄粉を撒き、そこにできる模様を観察したり方位磁針を幾つか置いて観察したりして、磁界があることを理解する。 ○磁界は磁力線で表されること及び磁石やコイルの回りの磁界の向きについて理解する。 ◆電流の大きさと磁界の強さや電流の向きと磁界の向きとの関係について、実験の結果をもとに話し合う。	【思】電流による磁界の規則性を見いだして表現している。 【態】探究のプロセスを振り返り、電流が作る磁界について、観察結果と関連付けながら、適切に表現しようとしている。	小3 小5 小6	「磁石の性質」について学習している。 「電流の流れているコイルは鉄心を磁化する働きがあること」「電磁石の強さは電流の大きさや導線の巻き数によって変わること」を学習している。 「手回し発電機などの実験を通して、電気はつくりだしたり蓄えたりすることができること」を学習している。	鉄粉、方位磁針、電源装置、電流計、抵抗器、スイッチ、スタンド、エナメル線、発泡ポリスチレンの板、白紙、セロハンテープ、導線、棒磁石、紙やすり、コイルをつるす棒、鉄粉回収用の袋と箱、保護眼鏡、U字型磁石、コイル、検流計
3	4	磁石とコイルを用いた実験を行い、磁界中のコイルに電流を流すと力が働くことを見いだして理解すること。	○電気ブランコなどの実験を行い、電流が磁界から力を受けることや、電流や磁界の向きと電流が受ける力の向きとの関係を見だし、理解する。 ●モーターの原理と関連付けて考察する。 ◆簡単なモーターの製作などのものづくりを通して電流と磁界について磁界を深める。	【知】電流が磁界から力を受けることや、モーターが回転するしくみを理解している。			
	5	磁石とコイルを用いた実験を行い、コイルや磁石を動かすことにより電流が得られることを見いだして理解するとともに、直流と交流の違いを理解すること。	○コイル、磁石及び検流計などを用いて、磁石又はコイルを動かすことにより、コイルに誘導電流が流れること、それらを動かす向きを変えることで誘導電流の向きが変わることなどを見いだして理解する。 ●発電機などで誘導電流を発生させ利用していることを取り上げる。 ○オシロスコープや発光ダイオードなどを用いて、直流と交流の違いを理解する。	【思】電磁誘導の規則性を見だし、発電のしくみを考察している。 【知】直流と交流の違いを理解している。			

月	時	内容	○学習活動 (◆探究活動のポイント ●日常生活との関連)	評価規準	円滑な接続への留意事項	観察、実験のために 準備するもの	
単元(大項目)		第2分野 (5) 生命の連続性					
4		<b>1章 生物のふえ方と成長</b>					
	5	生物の殖え方を観察し、有性生殖と無性生殖の特徴を見いだして理解するとともに、生物が殖えていくときに親の形質が子に伝わることを見いだして理解すること。	○有性生殖は無性生殖とは異なり、受精によって新しい個体が生じ、受精卵の体細胞分裂により、複雑な体が作られることを理解する。 ○植物の生殖の過程を理解する。 ○親の形質が子に伝わることについて、無性生殖では体細胞分裂によって増えることから、すべての子の形質は同一となることを見いだす。	【思】生物のふえ方の共通点と相違点や、親と子の特徴の関係性を見いだして表現している。 【知】無性生殖について例をあげてその特徴を理解している。 【知】動物の有性生殖について、受精から発生の過程を理解している。 【知】被子植物の有性生殖について、受精から発生の過程を理解している。	小5 中1 中2	「魚には雌雄があり、生まれた卵は日がたつにつれて中のようすが変化すること」「人は母体内で成長して生まれること」を学習している。「胚珠が種子になること」を学習している。「生物の体が細胞からできていること」を学習している。	
	4	体細胞分裂の観察を行い、その順序性を見いだして、理解するとともに、細胞の分裂と生物の成長と関連付けて理解すること。	○体細胞分裂については、染色体が複製されて、二つの細胞に等しく分配され、元の細胞と同質の二つの細胞ができることを理解する。 ○植物の根端などの観察を行い、細胞の分裂によって成長が起こることを理解する。	【知】生物の成長するときの細胞の変化や細胞分裂の進み方について理解している。 【知】細胞分裂の観察を適切に行い、分裂している細胞を探し出し、その特徴をスケッチなどで記録している。 【態】生物の殖え方や体細胞分裂に興味を示し、進んで観察し、調べようとしている。 【思】親と子の染色体の数が同じに保たれるしくみを基に、減数分裂と体細胞分裂の相違点を考察している。			タマネギやネギの種子から発芽した根、5%塩酸、酢酸オルセイン溶液、酢酸カーミン、酢酸ダーリア、顕微鏡、スライドガラス、カバーガラス、ピンセット、えつき針、ろ紙、スポイト、カッターナイフ、保護眼鏡、記録用紙
4		<b>2章 遺伝の規則性と遺伝子</b>					
	8	交配実験の結果などに基づいて、親の形質が子に伝わる時の規則性を見いだして理解すること。	○1つの形質に注目し、形質が子や孫にどのように伝わっていくかについて考察させ、遺伝の規則性を見いだして、理解する。 ○生物は親から遺伝子を受け継ぎ、遺伝子は世代を超えて伝えられることを理解する。 ○分離の法則について理解する。 ◆遺伝や遺伝の規則性について理解を深める。 ◆遺伝子やDNAに関する研究が日常生活や社会に関わる様々な分野で利用されていること理解する。	【知】遺伝子の受けつがれ方について無性生殖と有性生殖の違いを理解している。 【知】メンデルの遺伝の実験内容と実験結果の顕性形質と潜性形質の表れ方について理解している。 【思】遺伝子の伝わり方について遺伝子を記号に置き換え、顕性形質と潜性形質の表れ方を考察している。 【態】分離の法則を理解し、実際に遺伝のモデル実験を計画することで遺伝の規則性について探究しようとしている。 【思】モデル実験の結果について考察・推論し、探究の過程を振り返って、実験方法や結果の関係を見いだして表現している。 【態】遺伝のモデル実験について、探究の過程を振り返り、遺伝や遺伝の規則性について理解を深めようとしている。			
5							

月	時	内容	○学習活動 (◆探究活動のポイント ●日常生活との関連)	評価規準	円滑な接続への留意事項	観察、実験のために 準備するもの	
5	6	3章 生物の種類の多様性と進化 現存の生物及び化石の比較などを通して、現存の多様な生物は過去の生物が長い時間の経過の中で変化して生じてきたものであることを体のつくりと関連付けて理解すること。	○生物は長い時間をかけて変化して多様な種類が生じたことについて、問題を見いだして表現している。 ○脊椎動物の5つのなかまの共通する特徴について考察し、進化と関連付けて考えることができる。 ○進化の過程について進化の証拠の例を使って説明することができる。 ○植物や動物の進化の流れを理解し、説明することができる。	【思】生物は長い時間をかけて変化して多様な種類が生じたことについて、問題を見いだして表現している。 【思】脊椎動物の5つの仲間の共通する特徴について、進化と関連付けて考察している。 【知】進化の過程について、進化の証拠と関連付けて理解している。 【思】植物や動物の進化の流れを、身に付けた知識を基に表現している。	中1	「脊椎動物は5つの仲間に分類ができること」を学習している。	
単元(大項目)		第1分野 (6) 化学変化とイオン					
5	6	9 1章 水溶液とイオン 水溶液に電圧をかけ電流を流す実験を行い、水溶液には電流が流れるものと流れないものがあることを見いだして理解すること。また、電解質の水溶液に電圧をかけ電流を流す実験を行い、電極に物質が生成することから、イオンの存在を知るとともに、イオンの生成が原子の成り立ちに関係することを理解すること。	○砂糖や食塩など身近な物質の水溶液や、うすい塩酸やうすい水酸化ナトリウム水溶液、塩化銅水溶液などに電極を入れ、適切な電圧をかけ電流を流す実験を行い、水溶液には電流が流れるものと流れないものがあることを見だし、水溶液に溶けていた物質が電解質と非電解質に分類できることを理解する。 ●調味料など身近な水溶液を調べる。 ○うすい塩酸や塩化銅水溶液などに、適切な電圧をかけ電流を流す実験を行い、陽極と陰極に決まった物質が生成することに着目し、理由を考察する。 ◆静電気の性質などの既習事項を使って話し合いを行い、考えを発表し合う。 ○結果の分析から電解質の水溶液中に電気を帯びた粒子が存在することに気付き、イオンの概念を理解する。 ○イオンの生成と原子の成り立ちについて説明を開き理解する。	【態】どのような水溶液が電流を通すか興味を示し、電流を通す水溶液に共通して観察されることを進んで調べようとしている。 【知】身近にある電解質、非電解質の物質を理解している。 【思】実験結果を基に、塩化銅水溶液中では、銅原子が電気を帯びた粒子になっていることを見いだして表現している。 【知】原子がどのようにして陽イオンや陰イオンになるかそのしくみを理解している。 【態】原子が電気を帯びた粒子になっていることに興味を示し、原子が電気を帯びるしくみを進んで調べようとしている。	小5 中1 中2	「溶けているものの均一性と重さの保存」「物が水に溶ける量の限度」「物が水に溶ける量の変化」について学習している。 「水溶液から溶質を取り出すこと」を学習している。 「物質が原子や分子からできていること」「電流が電子の流れに関係していること」を学習している。	蒸留水、2.5%塩酸、2.5%水酸化ナトリウム水溶液、2.5%砂糖水、エタノール、2.5%塩化銅水溶液、ビーカー、ステンレス電極、電流計、光電池用のプロペラつきモーター、電源装置、クリップ付き導線、洗淨びん、赤インク、マッチ、電気分解装置、スポイト、ペトリ皿、試験管、試験管立て、バット

月	時	内容	○学習活動 (◆探究活動のポイント ●日常生活との関連)	評価規準	円滑な接続への留意事項	観察、実験のために 準備するもの	
6	4	2章 電池とイオン 金属を電解質水溶液に入れる実験を行い、金属によってイオンへのなりやすさが異なることを見いだして理解すること。	○金属を電解質水溶液に入れる実験を行い、金属が水溶液に溶けたり水溶液中の金属イオンが金属として出てきたりすることなどを見だし、イオンのモデルと関連させて理解する。 ○いくつかの金属とその金属の塩の水溶液を用いてイオンへのなりやすさを比較する実験を計画し、見通しをもって観察、実験を行う。 ○イオンのモデルと関連付けて考えたり、得られた結果を表にまとめて分析したりして、金属のイオンへのなりやすさが異なることについて根拠を示して表現する。 ◆実験の計画が仮説を検証するものになっているか、考察が課題と対応しているかなど、探究の過程を振り返る。	【態】硝酸銀水溶液と銅の反応に興味を示し、進んでその変化を調べようとしている。 【思】実験結果を基に、金属のイオンへのなりやすさに違いがあることについて考察している。 【知】金属片と金属の塩の水溶液を反応させたときの変化を、イオンのモデルと関連付けて理解している。	小6	「金属を変化させる水溶液があること」を学習している。	銅片、亜鉛片、マグネシウム片、5%硫酸銅水溶液、5%硫酸亜鉛水溶液、5%硫酸マグネシウム水溶液、ビーカー、マイクロプレート、点眼びん、ピンセット
6 7	4	電解質水溶液と2種類の金属などを用いた実験を行い、電池の基本的な仕組みを理解するとともに、化学エネルギーが電気エネルギーに変換されていることを知る。	○電解質水溶液と2種類の金属などを用いて電池をつくる実験を行い、電極に接続した外部の回路に電流が流れることを見いだすとともに、電池においては化学エネルギーが電気エネルギーに変換されていることを理解する。 ○硫酸亜鉛水溶液、硫酸銅水溶液、亜鉛板、銅板を用いてダニエル電池を製作することで、電圧が生じて電池になることを実験で確かめる。 ◆金属のイオンのなりやすさが異なることと電子の移動の向きを関連させながら、回路に流れる電流の向きを考える。 ○電池の電極における変化についてイオンのモデルを用いて表現することを通して、電池の電極における変化についてイオンのモデルを用いて表現する。 ●乾電池や鉛蓄電池、燃料電池など様々な電池が使われていることを知る。	【知】電池をつくり、電気エネルギーを取り出す実験を、正しく安全に行う技能を身に付けている。 【知】電池のしくみを電極での変化を中心に説明できる。 【思】電池のしくみをイオンのでき方と関連付けて考察している。 【態】いろいろな電池が日常生活で利用されていることに興味をもち、それぞれの電池の特徴について調べようとしている。	中2	「電流が電子の流れに関係していること」「熱や光などを取り出せること」を学習している。	亜鉛板、銅板、5%硫酸亜鉛水溶液、14%硫酸銅水溶液、ビーカー、ダニエル電池用アクリル容器、電子オルゴール、光電池用のプロペラつきモーター、クリップ付き導線、セロハン、リング



月	時	内容	○学習活動 (◆探究活動のポイント ●日常生活との関連)	評価規準	円滑な接続への留意事項	観察、実験のために 準備するもの
7	5	3章 酸、アルカリと塩 酸とアルカリの性質を調べる実験を行い、酸とアルカリのそれぞれの特性が水素イオンと水酸化物イオンによることを知ること。	○酸とアルカリの特性を調べる実験を行い、酸とアルカリそれぞれに共通する性質を見いだす。 ○酸やアルカリの性質が何に関係しているか見通しをもち、確認するための実験を立案する。 ◆酸とアルカリを示すイオンに着目し、指示薬を使って確認できないか方法を話し合う。 ○酸やアルカリの水溶液をしみこませたろ紙やpH試験紙などに適切な電圧をかけ、pH試験紙の色の変化を観察する実験を行い、結果を分析し、酸やアルカリの性質と関係するイオンについて話し合う。 ○酸やアルカリの強さを表す指標としてpHを用いることを知り、様々な水溶液のpHを測定する。 ●身の回りの物質のpHを測定する。	【態】身のまわりの酸性やアルカリ性の水溶液に興味を示し、どのようなものがあるか進んで調べようとしている。 【思】実験結果を基に、酸性の水溶液の共通した性質のもと水素イオンで、アルカリ性の水溶液の共通した性質のもと水酸化物イオンであることについて考察している。 【知】酸性とアルカリ性の水溶液に共通する性質のもとが、水素イオンと水酸化物イオンであることについて理解している。 【知】pH7が中性で、7より小さいほど酸性が強く、7より大きいほどアルカリ性が強いことを理解している。	小6 「水溶液には酸性、アルカリ性、中性のものがあること」「金属を変化させる水溶液があること」を学習している。	2.5%塩酸、2.5%硫酸、2.5%水酸化ナトリウム水溶液、2.5%水酸化バリウム水溶液、BTB溶液、フェノールフタレイン溶液、pH試験紙、マグネシウムリボン、マイクロプレート、点眼びん、燃焼実験用試験管、ゴム栓、スタンド、2.5%硝酸カリウム水溶液、電源装置、目玉クリップ、スライドガラス、ピンセット、はさみ、クリップ付き導線、ろ紙
8 9	7	中和反応の実験を行い、酸とアルカリを混ぜると水と塩が生成することを理解すること。	○うすい塩酸とうすい水酸化ナトリウム水溶液を中和させる実験を行い、中性になった液を蒸発乾固させると塩化ナトリウムの結晶が生じることを理解する。 ○水溶液中のイオンをモデルで表し、中和反応においては水素イオンと水酸化物イオンから水が生じることにより酸とアルカリが互いの性質を打ち消し合うことや、塩が生じることをイオンのモデルを用いて考察する。 ◆中性にならなくても中和反応が起きていることがあることを、イオンのモデルを用いながら話し合う。 ○酸とアルカリの組合せにより、塩化ナトリウムのように水に溶ける塩のほか、硫酸バリウムのような水に溶けない塩が生じることを理解する。 ●中和による環境保全の例を調べる。	【知】中和によって塩ができることを調べる実験を、正しく安全に行う技能を身に付けている。 【思】実験結果を基に、中和によってできた塩の種類を、その形から考察している。 【思】中和の様子を、イオンのモデルと関連付けて考察している。 【態】中和による水溶液のpHの変化に興味を示し、進んで調べようとしている。		2.5%塩酸、2.5%水酸化ナトリウム水溶液、フェノールフタレイン溶液、メスシリンダー、ビーカー、こまごめピペット、スライドガラス、ガラス棒、顕微鏡

月	時	内容	○学習活動 (◆探究活動のポイント ●日常生活との関連)	評価規準	円滑な接続への留意事項	観察、実験のために 準備するもの	
9		単元(大項目)	第2分野 (6)地球と宇宙				
		1章 地球から宇宙へ					
	5	太陽の観察を行い、その観察記録や資料に基づいて、太陽の特徴を見いだして理解すること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「はやぶさ2」の打ち上げなどを話題にしなが ら、天体への興味をもたせる。</li> <li>○天体望遠鏡を用いた観測技術や記録の仕方を身に 付ける。</li> <li>◆観測資料などから太陽の特徴を見だし、太陽の 活動が地球に与える影響を考えさせる。</li> <li>○地球・月・太陽は、周期的に自転や公転の運動を していることを理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【知】太陽の表面を観察するために 必要な天体望遠鏡の基本操作、注意 事項、記録の方法を身に付けてい る。</li> <li>【思】観察結果を分析して解釈し、 黒点の形の違いからわかることを見 いだして表現している。</li> <li>【態】太陽に関する事物・現象に進 んで関わったり、観測をふり返った りするなど、進んで科学的に探究し ようとしている。</li> </ul>	小3	「日陰の位置が太陽の動きによ って変わること」「太陽によ って地面が暖められるこ と」を学習している。	天体望遠鏡、太陽投 影板、遮光板、透明 半球、三球儀、地球 儀
	2	観測資料などを基に、惑星と恒星などの特徴を見いだして理解するとともに、太陽系の構造について理解すること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「天の川」など、夜空に見られる天体は構成が集 まっていることを理解する。</li> <li>○観測資料を基に、恒星と惑星の違いを理解すると ともに、それぞれの位置関係や特徴を理解する。</li> <li>◆光年について定義し、地球から見える恒星の明る さと距離との関係について考えさせる。</li> <li>◆「地球型惑星」と「木星型惑星」の特徴を理解 し、宇宙空間の広がりについて説明する。</li> </ul> <p>○さいたま市青少年宇宙科学館で地球と宇宙、金星 の見え方、月の満ち欠けと日食・月食について五感 を使って理解する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【知】惑星の特徴と表面のようすに注目 しながら、地球型惑星と木星型惑星に分 類できることや太陽系の小天体は、それ ぞれの特徴ごとに小惑星、衛星、すい 星、太陽系外縁天体などに分類できるこ とを理解している。</li> <li>【知】銀河系や銀河系外の特徴に注目し ながら、銀河が恒星の集まりであること や、恒星の明るさが距離や恒星の出す光 の量によって異なることを理解してい る。</li> <li>【態】天体観測に興味をもち、科学的に 探究しようとしている。</li> </ul>	音楽科 国語科	「楽器アンサンブルを楽しも う(木星)」と関連する。 「枕草子(星はすばる)」と 関連する。	コンピュータシミュ レーションソフト、 調べ学習用資料(生 徒用PCを含む)
9		2章 太陽と恒星の動き					
	4	天体の日周運動の観察を行 い、その観察記録を地球の 自転と関連付けて理解する こと。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「ソーラーパネル」が南向きに設置される理由を 考えながら、太陽の一日の動きを考える。</li> <li>○透明半球を用いて太陽の位置を記録する。</li> <li>○透明半球を用いた太陽の位置の記録から、太陽の 1日の動きを見いだす。</li> <li>◆地球の自転と太陽の1日の動きとを関連付けて説 明する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【知】透明半球を用いて太陽の動き を観察し、その結果を適切に記録し ている。</li> <li>【思】透明半球につけられた点の記 録を分析して解釈し、透明半球上の 線が何を表すか、また、動く速さは どうなっているかについて考察して いる。</li> </ul>	小4	「明るさや色の違う星がある こと」「月や星が時刻の経過 に伴って位置を変えること」 「星座を構成する星の並び方 は変わらないこと」を学習し ている。 「時刻、方位、経緯線」と関 連する。	地球儀、透明半球、 方位磁針、球面分度 器、記録ペン

月	時	内容	○学習活動 (◆探究活動のポイント ●日常生活との関連)	評価規準	円滑な接続への留意事項	観察、実験のために 準備するもの	
10	4	星座の年周運動や太陽の南中高度の変化などの観察を行い、その観察記録を地球の公転や地軸の傾きと関連付けて理解すること。	<p>●夏と冬の下校時刻などから、季節ごとの昼間の長さが違うことに注目し、その原因を考える。</p> <p>○太陽の動きに注目し、季節の変化を調べる実験を計画する。</p> <p>◆南中高度や昼間の長さの変化を地軸の傾きと関連づけて理解し、これらが同じ時刻でも観測地の緯度によって異なることを理解する。</p> <p>○光のエネルギー量の違いが、気温の変化につながっていることを理解する。</p> <p>◆四季で見える星座が異なることを例にしながら、星座の移り変わりを地球の運動（日周運動・年周運動）と関連付けて説明する。</p>	<p>【知】南中高度や昼間の長さが地軸の傾きによって変わることを理解している。</p> <p>【知】透明半球に各方位の星の動きを記録した紙を貼り、全天の星の動きの記録として整理している。</p> <p>【態】星の日周運動に関する事物・現象に進んで関わったり、観測をふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p> <p>【思】四季を代表する星座について、同じ時刻であっても位置が日ごとに西へ移動することを理解するとともに、季節ごとに地球での星座の見え方が規則的に移り変わることを見いだして表現している。</p>	<p>小6</p> <p>数学科</p> <p>中3</p>	<p>「月の形や見え方が、太陽と月の位置関係によって変わることを地球上に視点を置いて学習している。</p> <p>「平行線、対頂角、同位角、錯覚」と関連する。</p> <p>「太陽パネル（発電効率）」と関連する。</p>	<p>地球儀、ミニ地球儀または発泡スチロール球、電球、分度器、デジタルカメラ</p>
10	5	<p><b>3章 月と金星の動きと見え方</b></p> <p>月の観察を行い、その観察記録や資料に基づいて、月の公転と見え方を関連付けて理解すること。また、金星の観測資料などを基に、金星の公転と見え方を関連付けて理解すること。</p> <p>※プラネタリウム学習 (11/30)</p>	<p>○月の観察結果をもとに、満ち欠けの仕組みを理解する。</p> <p>◆太陽・月・地球の位置関係が変化することによって、月の形や見える位置が日ごとに変化することを理解する。</p> <p>○太陽・月・地球の位置関係によって、日食や月食が起こることを理解する。</p> <p>●金星の満ち欠けの写真をもとに、金星の見え方が変化することを説明する実験を計画し、実際に実験を行う。</p> <p>○金星の見え方の変化について、時間的、空間的な視点から説明する。</p>	<p>【知】地球から見える月の形や位置の変化を、月の公転と関連付けて理解している。</p> <p>【知】月の動きや見え方、及び日食・月食が太陽・月・地球の位置関係によって起こることを理解している。</p> <p>【思】月の動きと見え方の学習を基に、金星の見え方の変化について課題を設定し、仮説や計画を立案している。</p> <p>【思】モデル実験の結果を分析して解釈し、金星の見え方の変化が規則的に移り変わることを見だし表現している。</p> <p>【態】探Q実習1の過程をふり返り、新たな疑問や課題を見だし、よりよい探究方法などを検討しようとしている。</p>	<p>小4</p>	<p>「プラネタリウム学習」を実施している。</p>	<p>コンピュータシミュレーションソフト、調べ学習用資料（生徒用PCを含む）、ボール、蛍光塗料、ブラックライト、教材提示装置</p>

月	時	内容	○学習活動 (◆探究活動のポイント ●日常生活との関連)	評価規準	円滑な接続への留意事項	観察、実験のために 準備するもの	
10		単元(大項目)	第1分野 (5)運動とエネルギー				
		1章 力の合成と分解					
	4	水圧についての実験を行い、その結果を水の重さと関連付けて理解すること。また、水中にある物体には浮力が働くことを知ること。	○ゴム膜を張った円筒を水中に沈める実験を行い、大気圧の学習と関連付けて、水中ではあらゆる向きに、水の深さに関係した大きさの水圧が働くことを理解する。 ◆水圧の性質について、大気圧の性質などの既習事項と関連付けて話し合う。 ○ばねばかりにつるした物体を水中に沈めると、ばねばかりの示す値が小さくなることから、水中にある物体には浮力が働くことを理解する。 ●身の回りの物質の浮力を測定する。	【知】水圧は水の重さによって生じ、深さが深いほど大きく、あらゆる向きにはたらくことを理解している。 【知】これから展開される力の学習について必要な既習の基礎知識を思い出している。 【思】水中のおもりにはたらく力のようすについて考察している。	中1 中2	「力がつり合うときの条件」について学習している。 「圧力は力の大きさと面積に関係があること」を学習している。	ばねばかり、ピーカー、おもり(水み沈むもの)、クランプつき滑車、木の板、リング、糸、記録用紙、セロハンテープ、ものさし
	5	力の合成と分解についての実験を行い、合力や分力の規則性を理解すること。	○ばねを同じ長さだけ伸ばす実験を1つの力や2つの力で行い、1つの力と同じ働きをする2力があることに気づき、2力のつり合いの条件をもとに力の合成について理解する。 ○力の合成の考え方は逆に、1つの力と同じ働きをする2つの力を考えられることから、1つの力は向きの異なる2つの力に分解できることを理解する。 ◆実験結果を基に、合力や分力の規則性について話し合う。 ●身の回りの事物、現象と関連付けながら様々な力が働いていることに触れる。	【態】探究の過程をふり返り、角度をもってはたらく2力とその合力の関係を見いだそうとしている。 【知】力の合成や合力の意味、合力の求め方を理解している。 【知】力の分解や分力、分力の求め方を理解している。	数学科	「平行四辺形の性質」と関連する。	
11		2章 物体の運動					
	3	物体の運動についての観察、実験を行い、運動には速さと向きがあることを知ること。	○振り子や放物運動する物体など、物体の多様な運動をデジタルカメラの連続写真やストロボ写真で観察し、物体の運動には速さと向きの要素があることを理解する。 ●日常生活で見られる物体の運動を多く取り上げる。 ◆様々な物体の運動から、運動の速さと向きに着目して運動を分類する。 ○運動している物体の速さは、単位時間に移動する距離で表されることを理解する。	【知】物体の速さについて理解している。 【知】記録タイマーなどを使って、一定の力がはたらき続ける物体の運動のようすを調べる技能を身に付けている。	小5 算数科	「振り子の運動」について学習している。 「速さなどの単位量当たりの大きさ」と関連する。	記録タイマー、記録テープ、力学台車、クランプ付滑車、おもり、クランプ、糸、セロハンテープ、グラフ用紙、はさみ、のり、斜面

月	時	内容	○学習活動 (◆探究活動のポイント ●日常生活との関連)	評価規準	円滑な接続への留意事項	観察、実験のために 準備するもの	
	9	物体に力が働く運動及び力が働かない運動についての観察、実験を行い、力が働く運動では運動の向きや時間の経過に伴って物体の速さが変わること及び力が働かない運動では物体は等速直線運動をすることを見いだして理解すること。また、物体に力が働くとき反対向きにも力が働くことにも触れる。	○力学台車に水平面上で加える力の大きさを変えながら運動させ、記録タイマーで記録したテープから運動の様子を解釈し、加える力の大きさが大きいほど速さの変わり方も大きいことを理解する。 ○実験の結果から「時間と速さ」の関係や「時間と移動距離」の関係の規則性を見だし、物体に力を加え続けたときには、時間の経過に伴って物体の速さが変わること理解する。 ◆結果を表やグラフを用いて表し、話し合いながら分析を行う。 ○物体に力が働かないときには、力が働くときの運動と比較して考えることを通して、慣性の法則について理解する。 ○斜面に沿った物体の運動の様子を調べる実験を行い、その結果の解釈をもとに、斜面の角度が90度の場合が自由落下となり、速さの変わり方が最も大きくなることを理解する。 ●日常生活における斜面を下るときの運動などを取り上げ、その際の運動の様子に着目する。 ○物体に働く力と物体が運動することに関連して、力は物体同士の相互作用であることに気付き、作用、反作用に触れながら、物体に力を加えると力が働き返されることを理解する。 ●人同士が互いに押し合う運動を関連させて作用、反作用の働きに触れる。	【思】記録テープを基に、一定の力がはたらき続けたときの台車の運動について考察している。 【知】物体に力がはたらかないときの運動について理解している。 【思】斜面上の物体の運動のようすについて、物体にはたらく力と関連付けて考察している。 【知】作用、反作用の法則について理解している。 【態】他者とかかわりながら、探究の過程をふり返り、課題を解決しようとしている。	中1	「力の働きによって運動の様子が変わること」「力がつり合うときの条件」について学習している。	
	2	プラネタリウム学習 (11/30)	○プラネタリウム学習を通して、地球と宇宙に関する理解を深める。				

月	時	内容	○学習活動 (◆探究活動のポイント ●日常生活との関連)	評価規準	円滑な接続への留意事項	観察、実験のために 準備するもの	
12		<b>3章 仕事とエネルギー</b>					
	4	○仕事に関する実験を行い、仕事と仕事率について理解すること。また、衝突の実験を行い、物体のもつ力学的エネルギーは物体が他の物体になしうる仕事で測れることを理解すること。	○てこや滑車などの道具を用いた実験を行い、力の大きさと移動距離の関係から、仕事の原理について理解する。 ●身近に利用されているてこや滑車などの道具について触れる。○物体を重力に逆らって持ち上げる仕事をさせ、物体に加えた力の大きさとその向きに動かしした距離の積として仕事を定義することを理解する。 ○単位時間に行う仕事の量として仕事率を理解する。 ●日常の体験などに関連させながら仕事を定義し仕事率を理解する。 ○物体を鉛直方向に落下させる衝突実験を行い、位置エネルギーについて理解する。 ○水平面上を動く物体の衝突実験を行い、運動エネルギーについて理解する。 ◆実験の結果を分析し、位置エネルギーや運動エネルギーの大きさについて、その規則性を見いだして理解する。 ○高いところにあるおもりや引き伸ばされたばね、運動している物体などを例に、力学的エネルギーには位置エネルギーと運動エネルギーがあることについて理解する。	【知】仕事の原理について理解している。 【知】仕事率について理解している。 【知】位置エネルギーについて理解している。 【知】運動エネルギーについて理解している。	小6	「てこに力を加える位置や力の大きさの間の規則性」について学習している。	ばねばかり、滑車、力学台車、斜面をつくる板、スタンド、糸、ものさし、力学的エネルギー実験器、スタンド、グラフ用紙、レール、速さ測定器、小球の発射装置、小球
	4	力学的エネルギーに関する実験を行い、運動エネルギーと位置エネルギーが相互に移り変わることを見いだして理解するとともに、力学的エネルギーの総量が保存されることを理解すること。	○振り子の運動を観察し、位置エネルギーと運動エネルギーは相互に移り変わることに気づき、力学的エネルギーが保存することを理解する。 ○実際の物体の運動では、摩擦力や空気の抵抗などが働くことに触れ、力学的エネルギーが保存されないことを理解する。 ●エネルギーの移り変わりに着目して身の回りの運動を取り上げる。	【知】力学的エネルギー保存の法則について理解している。 【態】他者とかかわりながら、探究の過程をふり返り、課題を解決しようとしている。	小5	「振り子の周期や運動の規則性」について学習している。	

月	時	内容	○学習活動 (◆探究活動のポイント ●日常生活との関連)	評価規準	円滑な接続への留意事項	観察、実験のために 準備するもの	
12		単元(大項目)	第1分野 (7) 科学技術と人間				
		エネルギー 4章 多様なエネルギーとその移り変わり					
	3	様々なエネルギーとその変換に関する観察、実験を通して、日常生活や社会では様々なエネルギーの変換を利用していることを見いだして理解すること。	<p>○いろいろなエネルギーについて理解する。 人間が多様な方法でエネルギーを得ていることをエネルギー資源の特性やエネルギーを有効、安全に利用することの重要性を理解する。</p> <p>●様々な方法で発電機のモーターを回転させて発電させたり、太陽電池に光を当てて発電させたりして、その電気で光や音、熱などを発生させる実験を演示する。</p> <p>○エネルギーの移り変わりに興味を持つ。 手回し発電機の構造の説明を聞き、どのようにして電気エネルギーを発生させているかを考える。</p> <p>○「エネルギーの変換」の実験から、どのようなエネルギーの変換が行われたか考える。</p> <p>◆糸につけたおもりをモーターで引き上げたり、落下させて発電させる実験を行い、電力量と仕事や位置エネルギーを比較する。また、その結果を分析し、エネルギーの総量は保存しながらも、エネルギーの一部が利用目的以外のエネルギーとなることを理解するとともに、利用効率を高める方法話し合い、発表し合う。</p> <p>○エネルギーの変換効率と、エネルギー保存の法則について理解する。</p> <p>○熱の伝わり方として、伝導や対流、放射を理解する。</p> <p>●具体的な体験や身の回りの器具と関連して、熱の伝わり方について理解する。</p>	<p>【思】エネルギーの有効利用のためには、利用できるエネルギーへの変換効率を高める工夫が必要であることを見いだして表現している。</p> <p>【思】利用できないエネルギーに変換された分も含めて、エネルギーの総量は保存されることを見いだして表現している。</p> <p>【知】熱の伝わり方として、伝導や対流、放射を理解している。</p>	<p>小4</p> <p>中2</p> <p>中3</p> <p>技術・家庭科</p>	<p>「金属の棒の一端を加熱すると、熱が順に伝わること」を学習している。</p> <p>「電気エネルギーと燃焼」について学習している。</p> <p>「運動エネルギーと位置エネルギーが相互に移り変わること」「化学エネルギーが電気エネルギーに変換されていること」を学習している。</p> <p>「エネルギー変換の技術」と関連する。</p>	<p>手回し発電機、発光ダイオード、電子オルゴール、滑車つきモーター、おもり、クランプなど</p> <p>滑車つきモーター、電源装置、電流計、電圧計、おもり、糸、クランプ、ストップウォッチ</p>

月	時	内容	○学習活動 (◆探究活動のポイント ●日常生活との関連)	評価規準	円滑な接続への留意事項	観察、実験のために 準備するもの	
1	5	5章 エネルギー資源とその利用 人間は、水力、火力、原子力、太陽光などからエネルギーを得ていることを知るとともに、エネルギー資源の有効な利用が大切であることを認識すること。	○水力発電、火力発電、原子力発電、地熱発電、太陽光発電、風力発電の発電方法のしくみと長所、短所を理解する。 ◆さまざまな発電方法のしくみを調べ、長所と短所を話し合う。 ○毎日大量に消費するエネルギーは化石燃料などから得ており、多くは電気エネルギーに変換して利用していることを理解する。 ○エネルギー資源の枯渇、環境破壊、健康被害などの影響を与えることがあることを理解する。 ○放射線の性質について科学的に理解する。 放射線の利用法、人体への影響について理解する。 ○エネルギー資源の利用上の問題を認識させる。 持続可能な社会をつくるために、エネルギーの利用に関して、どのような取り組みができるかを考える。 ○省エネルギーの必要性やエネルギーを有効に利用することが大切であること。環境への負荷がなるべく小さいエネルギー資源の利用、新しいエネルギーの開発の現状や課題を理解する。 ◆学習したことをもとにして、「自転車をこぐのをやめると…」について考えさせ、自分の考えを説明させる。	【知】いろいろな発電のしくみやそれぞれの特徴を理解している。 【思】エネルギーを利用していくときの問題点について考察している。 【知】放射線の種類や性質、利用方法および、人体への影響を理解している。 【態】これまでの学習をふり返り、持続可能な社会をつくるために、新しいエネルギー資源を開発したり、エネルギーの有効利用の方法を開発や利用における課題について考察しようとしている。 【思】エネルギー資源やエネルギー利用の問題点、その利用と課題について考察している。	小6・中2 中2 社会科	「身のまわりには、電気をいろいろなエネルギーに変換している道具があること」を学習している。 「電気がエネルギーをもつこと」「放射線が透過性などの性質をもつこと」「化学変化には熱の出入りが伴うこと」を学習している。 「日本の様々な地域」「世界平和と人類の福祉の増大」と関連する。	放射線測定器、霧箱
単元（大項目）		第2分野（7）自然と人間					
1	2	環境 1章 自然界のつり合い 食物網を理解すること。	●単元導入の写真等から、自然の営みと、わたしたち人間の生活がどのようにかかわっているのか話し合うなどして、環境の学習に興味をもつ。 ○生態系、食物連鎖、食物網について理解する。	【知】食物連鎖における生物のつながりについて理解している。	小6 中2	「生物は、水及び空気を通して周囲の環境と関わって生きていること」「生物の間には食う食われるという関係があること」を学習している。 「光合成や呼吸」について学習している。	



月	時	内容	○学習活動 (◆探究活動のポイント ●日常生活との関連)	評価規準	円滑な接続への留意事項	観察、実験のために 準備するもの	
1	1	食物連鎖の数量的な関係には規則性があり、そのつり合いは、ふつうほぼ一定に保たれていることを理解すること。	○生産者は無機物から有機物を合成し、消費者は他の生物や生物の遺体や排出物などの有機物を摂取することや食物網を理解する。 ◆オオヤマネコとカンジキウサギの数量的なつり合いの変化について考える。	【知】食物連鎖の数量的な関係やそのつり合いの変化について理解している。			
	2	生物の遺体や排出物中の有機物を摂取する生物は、生態系の中で、消費者であると同時に分解者としての役割も担っていることを理解すること。	○分解者についての定義と、土の中にも食物網が成立していることを理解する。 ○「微生物による有機物の分解」の実験を行う。 ヨウ素でんぷん反応の結果から、土の中の微生物のはたらきを考えさせ、予想と関係づけて考察する。 ○土の中の微生物は、落ち葉や生物の遺骸、ふんなどの有機物を、二酸化炭素などの無機物に分解することを理解する。	【知】落ち葉を出発点とした食物網について理解している。 【思】実験結果を基に、土の中の微生物のはたらきについて考察している。	道徳	「自然愛護」と関連する。 植えこみの土、ヨウ素液、ガスバーナー、ガラス棒、葉さじ、ピーカー、試験管、試験管ばさみ、試験管立て、ピンセット、寒天培地、沸騰石、ろ紙、保護眼鏡	
1	1	自然界の炭素循環などの学習を通して、生物の間について理解するとともに、生態系は生物とそれを取りまく環境を一つのまとまりとして捉えたものであることを理解すること。	○微生物が有機物を最終的に分解して無機物にし、それを生産者が再び利用していることや、炭素が自然界を循環していることを理解する。 ○食物連鎖や呼吸、光合成、有機物の分解によって、炭素などの物質は、生産者、消費者、分解者と自然界を循環していることを理解する。	【思】自然界の炭素などの物質の移動を、呼吸や光合成、食物連鎖などと関連付けて考察している。			
2		<b>2章 さまざまな物質の利用と人間</b>					
	2	物質の変遷を取り上げ、使用目的や用途に応じた機能を備えた素材が開発され、日常生活や社会に役立ってきたこと、物質を再利用するなど物質の有効な利用が大切であることを理解すること。	○衣服の繊維は、何かからつくられているか考える。 ◆身のまわりの衣服がどのような繊維でできているか、また、その繊維の原料は何か、どのような性質をもっているか、生徒同士で話し合う。 ●セーターには羊毛などが、スポーツウェアにはポリエステルなどが使われていることに触れて、合成繊維がなぜ使われるようになったのかを考える。 ◆天然繊維が使われている衣服と合成繊維が使われている衣服を比較して、どのような特徴が生かされているか考える。 ○使用目的や用途によって、天然の物質と人工の物質を使い分けて生活していることを理解する。	【知】身のまわりのさまざまな衣服が、種類の異なる繊維からできていることを理解している。 【思】天然繊維と合成繊維の特徴を、その用途と関連付けて考察している。	中1 中2	「有機物と無機物」「密度」について学習している。 「物質は原子や分子からできていること」「物質の種類の違いは元素の違いとその組合せによること」を学習している。	綿、絹、ポリエステル <small>の小さな白い布</small> 、水性インク

月	時	内容	○学習活動 (◆探究活動のポイント ●日常生活との関連)	評価規準	円滑な接続への留意事項	観察、実験のために 準備するもの
	3	プラスチックの性質、用途などについて知ること。	○「プラスチックの性質」の実験を行い、プラスチックには、どのような性質や特徴があるのか考える。 ○プラスチックは、その性質により、木や紙、金属、ガラス、陶器などに一部置き換わって使用されるようになったことを理解する。 プラスチックは種類によって性質が異なり、その性質を生かして使われていることを理解する。 ○一般に、プラスチックは、自然界には存在しない大きな分子からなる有機物であることを理解する。 ●プラスチックは、くらしの中で、どのように利用していけばよいのか考える。 多くのプラスチックは加熱により容易に変形できるので、リサイクルしやすいことを理解する。	【知】プラスチックの性質を調べる実験を、正しく安全に行う技能を身に付けている。 【思】実験結果を基に、プラスチックの性質や特徴を用途と関連付けて見いだして考察している。 【態】習得した知識・技能を活用して、プラスチックの利用や廃棄とリサイクルについて関心を持ち、問題を見いだして課題を設定しようとしている。		プラスチック（ポリプロピレン、ポリエチレンテレフタレート）、木、紙、銅の試料片、ビーカー、ピンセット、燃焼さじ、ガスバーナー、乾電池、豆電球、導線、アルミニウムはく、マッチ、作業用手袋、保護眼鏡
2	1	<b>3章 科学技術の発展 ㊦</b> 1 科学技術の発展の過程を知るとともに、科学技術が人間の生活を豊かで便利にしていることを認識すること。	○交通輸送の手段の移り変わりを、動力源の変遷にも触れながら理解する。 ●交通輸送の手段は、どのように発展してきたのか考える。 ○科学技術の発展は、社会にどのような影響を与えてきたのか考える。 ◆科学技術の発展に伴う問題を解決するために、科学技術がどのような役割を果たしているか、生徒同士で話し合わせる。	【知】交通輸送の手段の発展を、生活や社会の変遷と関連付けながら、科学技術の発展として理解している。 【思】科学技術の発展によって生じた問題に対し、科学技術が貢献していることを認識して、関連付けて捉え考察している。	技術・家庭科	「情報の技術」と関連する。
2	2	科学技術の発展を振り返りながら、科学技術の有用性と活用のあり方について考え、これからの科学技術の発展の方向性について、具体的な例を挙げ、科学的な根拠を基に検討する。その際、科学技術の負の側面にも触れながら、それらの解決を図る上で科学技術の発展が重要であることにも気付くこと。	○他の人と連絡をとる方法には、どのようなものがあるかを考える。 技術の進歩によって連絡方法が多様化したこと、それを支えているのはコンピュータ技術の発展であることを理解する。 ◆AIやVRの発展に伴って、10年後の社会がどのようなになるか、科学的な根拠をもって予測させ、生徒同士で話し合わせる。 ○最新の科学技術が利用されると、未来の社会は、どう変わっていくかを考える。 ◆「未来を変える科学技術」を紹介し、様々な分野において、科学技術が生活や社会がどのように変わっていくか調べさせ、発表する。	【思】科学技術の発展に伴って、10年後の社会がどのようになるか、科学的に考察している。 【態】最新の科学技術について進んで調べ、未来の社会がどのように変わっていくかを科学的に探究し、自分の考えを発表しようとしている。		

月	時	内容	○学習活動 (◆探究活動のポイント ●日常生活との関連)	評価規準	円滑な接続への留意事項	観察、実験のために 準備するもの	
2		<b>4章 人間と環境 (防)</b>					
	2	身近な自然環境を調べる活動を行い、その観察結果や資料を基に、人間の活動などの様々な要因が自然界のつり合いに影響を与えていることについて理解させ、自然環境を保全することの重要性を認識すること。	○「調査1 身近な自然環境の調査」を行い、わたしたち人間は、自然環境にどのような影響をおよぼしているのか考える。 ◆身近な自然環境を調査する方法について計画を立て、予想させ話し合う。	【知】人間の生活が身近な自然環境にどのような影響を与えているか適切に観察、実験、調査し、その結果を記録している。	小6 中1	「人間は、環境とかかわり、くふうして生活をしていること」を学習している。 「大地の活動は、恵みとともに、火山災害や地震災害をもたらしていること」を学習している。	ガーゼ、輪ゴム、プラスチック管、ガラス管つきゴム栓、ゴム管、足ふみ式空気入れ、デジタルカメラ
	4	地域の自然災害を調べ、大地の変化の特徴を理解し、自然を多面的、総合的に捉え、自然と人間との関わり方について、科学的に考察して判断する能力や態度を身に付けること。	○日本付近では、地震や火山活動、気象現象により、さまざまな災害が発生していることを理解する。 ○「調査2 地域の自然災害の調査」について調査し、日本付近では、どのような自然災害が発生しているのか考える。 ◆地域の自然災害を調べるために必要な資料について話し合わせ、調査計画を立て、予想する。 ○調査2の結果を確認する。過去の地域の自然災害と自然の特徴との関係や防災・減災について考察する。 ◆地域の白地図に情報を記入、整理する方法を確認し、洪水ハザードマップを作成する。地域の自然の特徴を多面的、総合手金い捉えて発表する。 ○人間の活動と二酸化炭素濃度、平均気温が関連していることとともに、温室効果のしくみを把握させながら地球温暖化を理解する。 ◆図62～65のグラフを読み取り、どのようなことがいえるか考える。 ○オゾン層、大気、水質、生物に関する環境問題について理解する。 ○自然環境の保全について考える。	【態】それぞれの自然災害について、その特徴や災害が発生する原因を理解するとともに、身近な自然災害について、見通しをもって進んで調査の計画を立てようとしている。 【知】地域の自然の特徴や過去の自然災害、及び災害に対する取り組みについて、多様な情報を活用し、整理している。 【思】得られた結果を分析して解釈し、身近な自然の特徴と過去に発生した自然災害を科学的に考察して表現している。 【知】人間の活動が、地球規模で自然環境へ影響をおよぼしていることを理解し、自然環境を保全することの重要性を認識している。	中2	「気象現象は恵みとともに、気象災害をもたらしていること」を学習している。	いろいろな場所のカイブキの枝、バット、標本びん、ピンセット、ルーペ、温度計、地図、デジタルカメラ 地域の地形図、理科年表などの書籍、自治体発行の地誌などの資料、デジタルカメラ

月	時	内容	○学習活動 (◆探究活動のポイント ●日常生活との関連)	評価規準	円滑な接続への留意事項	観察、実験のために 準備するもの
2		5章 持続可能な社会をめざして (防)				
	1	わたしたちの日常生活や社会は、科学技術に依存している一方で、科学技術の利用が自然環境に対し影響を与え、自然環境を変化させていることを理解すること。	○科学技術の利用により生じた問題を、科学技術で解決しようとしていることを理解する。 学習課題 科学技術の発展は、わたしたちの暮らしや環境にどのように関係しているのだろうか。  ◆科学技術の発展に伴い、生活の変化とともに、生じた問題とその解決方法についても取り組んでいることに気づき、話し合う。	【知】科学技術の利用により生じた問題と、その解決に科学技術が貢献していることについて理解している。	社会科 技術・家庭科	「よりよい社会を目指して」と関連する。 「情報の技術」と関連する。
3	3	限られた資源の中で自然環境との調和を図りながら、持続可能な社会を築いていくことが課題であることを認識すること。	○環境を保全するには正解がないことも多く、複雑な要因を整理し優先すべき事項を考えなければならぬことに気づく。 ○持続可能な社会をつくるためには、わたしたちはどのようなことができるのか考える。 ◆事例1、2を読み、どのように解決すればよいか考え、話し合う。	【知】循環型社会など、これからの社会において持続可能な社会をつくることが求められていることを理解している。 【思】持続可能な社会を目指して、身近にはどのようなものがあるか考え、表現している。	道徳	「自然愛護」と関連する。
	5	科学技術の利用と自然環境の保全に関わる事柄を取り上げ、次のようなテーマを生徒に選択させることが考えられる。 ・再生可能なエネルギーの利用と環境への影響 ・エネルギー資源や様々な物質の利用とその課題 ・水資源の利用と環境への影響 ・生物資源の利用と自然環境の保全	○研究の進め方を確認させるとともに、教科書にあるテーマ例やレポート例の研究テーマ例1～3を読み、研究の進め方やレポートの書き方に見通しをもつ。そのあとに、研究テーマを設定し、具体的に調査する項目を計画して研究を進める。 ○研究について発表するとともに、その内容にふれながら、持続可能な社会をつくることの重要性を認識する。 ◆研究成果を発表し、話し合う。意思決定を行う場面では、資源の利用は私たちの生活を豊かにする一方で環境破壊を引き起こすなど、同時には成立しにくい事柄を幾つか提示し、多面的な視点に立って様々な解決策を考えたり、それを根拠とともに発表する。 ●学習したことをもとにして、「カラスと生ごみの関係」について考え、自分の考えを説明する。	【態】調査をふり返り、新たな疑問や課題を見だし、進んで探究しようとしている。 【態】単元で身に付いた資質・能力を総括的に評価しようとしている。		タブレットコンピュータなど

# <音楽科>

## 1 教科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。

## 2 各学年の目標

### 1年生

- ① 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を養い、**音楽によって生活を明るく豊かなものにする態度を育てます。**
- ② 多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、基礎的な表現の技能を身につけ、**創意工夫して表現する能力を育てます。**
- ③ 多様な音楽の良さや美しさを味わい、幅広く**主体的に鑑賞する能力を育てます。**

### 2・3年生

- ① 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を高め、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、**生涯にわたって音楽に親しんでいく態度**を育てます。
- ② 多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、表現の技能を伸ばし、創意工夫して表現する能力を育てます。
- ③ 多様な音楽に対する理解を深め、幅広く主体的に鑑賞する能力を高めます。

## 3 授業へ取り組む姿勢

○学習する内容に関心を持ちましょう。

「楽しそう」「きれいな音だなあ」「やってみたいな」といったやる気は大切です。

○感じ取ったことを基に考えましょう。

「きれいに響く声にするためには、どう歌えばいいのかな？」

「ここから〇〇になるのは、どうしてなのかな？」

○思いや意図をもって音楽表現をしましょう。

「こんな音楽にしたいな、そのために～のように歌ってみよう」

○音楽の背景などを考えながら味わって聴きましょう。

**☆授業の中で頑張っている姿を見せてください。**

**☆週1回の授業です。忘れ物の無いように気をつけましょう。**

**☆楽器・楽譜を大切に扱きましょう。**

#### 4 評価の観点

##### <知識・技能>

- ・曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解する。
- ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している

##### <思考・判断・表現>

- ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。

##### <主体的に学習に取り組む態度>

- ・音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

#### 5 評価の方法

評価方法	知識・理解	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
観察		○	○
ワークシート 自己評価カード	○	○	○
発表 実技テスト 定期テスト	○	○	○

月	題材名	時間	題材の目標	評価規準	教材	他教科等との関連	中学校学習指導要領との関連									
							A表現						B鑑賞		[共通事項]	
							(1)歌唱	(2)器楽	(3)創作	ア		イ		本題材の学習において、生徒の思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素		
4	響きのある声でのびのびと歌おう	4	声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解するとともに、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う活動に親しむ。	[知] 声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。 [技] 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 [思] 音色、旋律、リズムを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことで感じたこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。 [態] 声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	青空へのぼろう(歌) アニー・ローリー(歌)(器) 校歌(歌) クラスで選択した合唱曲(歌) Let's Sing! 歌うための準備 ◆共通教材 ☆発展教材	SDGs目標5	(1)歌唱 (2)器楽 (3)創作 ア イ ウ ア イ ウ ア イ ウ (ア) (イ) (ウ) (ア) (イ) (ウ) (ア) (イ) (ウ)	ア イ	(1)	音色 旋律 強弱 構成 リズム						
<b>【円滑な接続のための留意事項】</b> 【小5・6】 ○声のひびき合いに関心をもって歌おう ♪花のおくりもの ♪こきょうの人々 ♪バナハ ※中学校では、小学校の学びを生かして同声二部合唱から混声二部合唱へ、そして混声三部・四部合唱へと段階を踏みながら豊かな表現をめざす。 ※変声期についても触れながら、歌うときの姿勢や息のコントロール、声の出し方に重点を置いて活動できるようにする。													<b>【中2】</b> ○歌詞の内容を味わい、表現豊かに歌おう ♪生命が羽ばたくとき ♪語り合おう ♪大切なもの			
<b>【主な学習活動】</b> ①歌詞を読み、歌詞の意味を考える。②範唱を聴き、主旋律を歌う。③「青空へのぼろう」を4つの部分に分けて、似ているところ、違うところについて考え、仲間と意見を交換する。④曲の構成を生かした表現の仕方を考え、歌い合わせる。																
5	アルトリコーダーの演奏を身に付け、	3	アルトリコーダーの音色や響きと奏法の関わりについて理解するとともに、曲にふさわしい器楽表現を創意工夫して演奏し、アルトリコーダーに親しむ。	[知] アルトリコーダーの音色や響きと奏法の関わりを理解している。 [技] 創意工夫を生かした表現で演奏するためのタンギングや左手の運指などの技能を身に付け、器楽で表している。 [思] 音色、リズム、速度を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことで感じたこととの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現としてどのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 [態] アルトリコーダーの音色や響きと奏法の関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	喜びの歌(器) オーラ・リー(器) メリーさんの羊(器) リズム de ゴー(器) チャイニーズ・ダンス(器)		(1)歌唱 (2)器楽 (3)創作 ア イ ウ ア イ ウ ア イ ウ (ア) (イ) (ウ) (ア) (イ) (ウ) (ア) (イ) (ウ)	ア イ		音色 リズム 速度 旋律 テクスチャ						
<b>【円滑な接続のための留意事項】</b> 【小5・6】 ○かけ合いや重なりを生かして演奏しよう ♪星笛 ○せん律やひびきの変化をたどって演奏しよう ♪マルセリーノの歌 ※小学校の学びを生かし、ソプラノ・リコーダーとアルトリコーダーを関連付けて取り扱うように配慮する。また、豊かな響きによるアンサンブル活動に取り組めるようにする。 【小4】 ♪メリーさんの羊(歌・器)													<b>【中2】</b> ○サミングや息のコントロールを身につけて、表現を工夫しよう ♪誰も知らない私の悩み ♪レヴェル・ブレイン ♪サムのひとりごと ♪カノン2 優しき流れ			
<b>【主な学習活動】</b> ①アルトリコーダーの基礎的な奏法や楽器の特徴を知る。②リコーダーの音色と奏法との関わりを理解し、タンギングや左手を使った基本的な奏法を身に付けながら表現する。③曲想を感じ取りながら音楽表現を工夫し、合わせて演奏する。																
5	日本語の抑揚を生かした旋律をつくらう	2	音のつながり方の特徴について理解するとともに、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどを創意工夫し、日本語の抑揚や言葉のリズムを生かした旋律をつくる活動に親しむ。	[知] 音のつながり方の特徴について理解している。 [技] 創意工夫を生かした表現で音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付け、創作で表している。 [思] 音色、リズム、旋律、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことで感じたこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。 [態] 日本語の抑揚や言葉のリズムを生かした音のつながり方に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に創作の学習活動に取り組もうとしている。	「日本語の抑揚を生かした旋律をつくらう」(創)		(1)歌唱 (2)器楽 (3)創作 ア イ ウ ア イ ウ ア イ ウ (ア) (イ) (ウ) (ア) (イ) (ウ) (ア) (イ) (ウ)	ア イ		音色 リズム 旋律 構成						
<b>【円滑な接続のための留意事項】</b> 【小6】 ○じゅんかんコードをもとにアドリブで遊ぼう ○動機をもとに音楽をつくらう ♪おぼろ月夜、我は海の子 など ※小学校で学んだ日本の歌から、七五調について考えたり、歌詞の内容や特徴、旋律のもつリズムなどについて思い出しながら、ここでの活動と関連付けたり、理解を深めたりすることができるようにする。													<b>【中2】</b> ○平調子をつけて音楽をつくらう ♪平調子の特徴を生かして音楽をつくらう			
<b>【主な学習活動】</b> ①七五調の短い歌詞をつくらうリズムをつける。②言葉の抑揚を線で表す。③言葉の抑揚にそって、「ミ」「ソ」「ラ」の音をあてはめ、五線に書き写す。④完成した作品を発表し、互いに聴き合う。																





月	題材名	時間	題材の目標	評価規準	教材	他教科等との関連	中学校学習指導要領との関連														
							A表現						B鑑賞		[共通事項]						
							(1)歌唱		(2)器楽		(3)創作		ア イ		本題の学習において、生徒の思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素						
ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	(1)									
8・9・10	音楽の特徴を捉えながら、聴き深めよう	2	曲想と音楽の構造との関わりや、音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解している。  曲想と音楽の構造とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解するとともに、生活や社会における音楽の役割について自分なりに考え、演奏者の豊かな表現に親しむ。	[知] 曲想と音楽の構造との関わりや、音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解している。 [思] 音色、旋律、テクスチュア、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 [態] 演奏者の多様な表現や音楽の構成に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に聴く学習に取り組もうとしている。	魔王 (シューベルト) (鑑)																
					魔王 (ライヒャルト) (鑑)																
◆共通教材 ☆発展教材 【円滑な接続のための留意事項】 【小6】 ♪交響曲第5番「運命」(第1楽章)      ♪バイオリンとピアノのためのソナタ(第4楽章) ♪ラプソディインブルー ※小学校での学びを生かし、演奏者による表現の違いに加えて、同じ歌詞でも作曲家が異なるとそれぞれによさと工夫があることを理解し、音楽の多様性について自分なりに考えを深めたり、それぞれの楽曲に親しめるようにする。						【中2】 ○曲の構成のおもしろさを味わいながら鑑賞しよう ♪ボレロ ♪火星 ♪バレエ「春の祭典」から															
【主な学習活動】 ①ドイツ語による楽曲を聴き、曲想をつかむ。②楽曲が作られた背景や作曲家について知る。③物語について理解し、物語の進行と曲想の変化とのかかわりを感じ取る。④旋律や声の音域、強弱、ピアノ伴奏のリズムなどの変化を聴き取る。⑤詩と音楽とのかかわりを確かめる。⑥ゲーテの詩による「魔王」の他の作曲家による楽曲を聴き、違いを感じ取ったり、それぞれのよさについて考え、仲間と自分なりの考えを伝え合う。																					
8・9・10	右手の運指や低い音の奏法を身に付け、豊かに表現しよう	3	低い音の豊かな音色や響きと奏法との関わりについて理解するとともに、曲にふさわしい器楽表現を創意工夫して演奏し、アルトリコーダーに親しむ。	[知] アルトリコーダーの音色や響きと奏法との関わりを理解している。 [技] 創意工夫を生かし、全体の響きや他声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け、器楽で表している。 [思] 音色、リズム、速度、旋律、テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現としてどのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 [態] アルトリコーダーの音色や響きと奏法との関わりを捉えたり、ブレスの位置に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	うみ(器)																
					アメージング・グレイス(器)																
【円滑な接続のための留意事項】 【小5・6】 ○かけ合いや重なりを生かして演奏しよう ♪星笛 ○せん律やひびきの変化をとらえて演奏しよう ♪マルセリーノの歌 ※小学生で学習したソプラノリコーダーの学びを生かし、低い音を美しく出す際の音域に応じた息の出し方などのポイントを思い出し、アルトリコーダーとも関連付けながら活動に取り組めるようにする。						【中2】 ○サミングや息のコントロールを身に付けて、表現を工夫しよう ♪誰も知らない私の悩み ♪レヴェル・ブレイン ♪サムのひとりごと ♪カノン2 優しき流れ ♪もみじ ♪故郷															
【主な学習活動】 ①右手を使った奏法を身に付け、旋律を演奏する。②主旋律と他の旋律の関わりを意識して表現する。③曲想を感じ取りながら、音楽表現を工夫し、合わせて演奏する。																					
8・9・10	混声合唱の響きを味わおう	22	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌い、混声合唱の豊かな響きに親しむ。	[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 [技] 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表している。 [思] 旋律、テクスチュア、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。 [態] 歌詞の内容や曲想、声部の役割や全体の響きに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	Let's Sing 変声と混声合唱	SDGs目標5															
					明日を信じて(歌)	SDGs目標16															
【円滑な接続のための留意事項】 【小6】 ♪明日を信じて ♪L-O-V-E ※同声二部合唱から混声二部合唱、そして混声三部・四部合唱へと段階を踏みながら豊かな表現を目指す。また、変声期についても丁寧に理解し、音域が広がることで生まれるより豊かな表現や、濃厚な合唱についても関心をもちながら活動に取り組めるようにする。						【中2】 ○混声合唱の響きを味わおう ♪You Can Fly! ♪合唱コンクールクラスで選択した合唱曲 ♪合唱コンクール学年合唱曲															
【主な学習活動】 ①範唱を聴いて曲想をつかんだり、歌詞の内容について考える。②女声パートと男声パートに分かれ、各声部の旋律を歌う。③曲全体の構成と主旋律を歌うパートを知る。④各声部の役割と全体の響きを感じ取りながら、歌い合わせる。⑤主旋律や曲想の変化を生かし、どのように歌うかについて自らの考えを他者と交流し仲間と音楽表現を工夫する。⑥工夫したことを生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら、混声合唱の豊かな響きを味わい、歌い上げる。																					

月	題材名	時間	題材の目標	評価規準 知識・技能 [知] [技] 思考・判断・表現 [思] 主体的に学習に取り組む態度 [態]	教材 歌唱：(歌) 器楽：(器) 創作：(創) 鑑賞：(鑑) 和楽器：(和) ◆共通教材 ☆発展教材	他教科等 との関連	中学校学習指導要領との関連														
							A表現						B鑑賞		[共通事項]						
							(1)歌唱		(2)器楽		(3)創作		ア イ		本題材の学習において、生徒の思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素						
ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	(1)
11・12	箏曲や尺八曲の多様な表現を鑑賞しよう	2	我が国の伝統音楽及びアジア地域の諸民族の音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解する。我が国の伝統音楽及びアジア地域の諸民族の音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解するとともに、音楽表現の共通性や固有性について自分なりに考え、我が国の伝統音楽に親しむ。	[知] 我が国の伝統音楽及びアジア地域の諸民族の音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。 [思] 音色、リズム、旋律、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、音楽表現の共通性や固有性について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 [態] 箏や尺八の音色や音階の響き、音楽の構造に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	箏曲「六段の調」(鑑) 尺八曲「鹿の遠音」(鑑) ☆日本とアジアをつなぐ音(鑑) SDGs10	道徳:伝統文化の尊重、国や郷土を愛する態度 SDGs10	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p><b>【円滑な接続のための留意事項】</b></p> <p>【小5・6】 ♪長唄「越後獅子」から      ♪春の海      ♪雅楽の演奏／三曲演奏</p> <p>※小学校で学んだ我が国や郷土の音楽について更に理解を深めるとともに、その特徴や共通性、固有性についても自分なりに考えを深め、小学校の学びに関連付けられるようにする。</p> </div> <div style="width: 10%; text-align: center;"> </div> <div style="width: 45%;"> <p><b>【中2】</b> ○雅楽の多様な表現を鑑賞しよう ♪雅楽「越天楽」 ♪雅楽「左舞・右舞」 ♪能「羽衣」キリから</p> </div> </div>												音色 リズム 速度 旋律 テクスチャ 構成		
							<p><b>【主な学習活動】</b> ①箏や尺八の構造などの特徴やその歴史について知る。②箏の調子や尺八の音の変化、各楽器の音色と曲の構成などの特徴を感じ取る。③箏曲と尺八曲の共通点や相違点を考え、気付いたことをまとめる。④それぞれの楽器が奏でる音楽のよさや、和楽器による表現を味わって鑑賞する。⑤箏と同じ発音原理と構造をもつ「グージョーン」や「カヤグム」を鑑賞し、気付いたことや感じ取ったことをまとめ交流する。</p>														
11・12	箏の音色を本格的な奏法を身に付けよう	3	箏の音色と奏法との関わりについて理解するとともに、曲にふさわしい器楽表現を創意工夫して演奏し、我が国の伝統楽器である箏の音色や表現に親しむ。	[知] 箏の音色と奏法との関わりを理解している。 [技] 創意工夫を生かした表現で演奏するための右手の使い方や縦譜の読み方などの技能を身に付け、器楽で表している。 [思] 音色、リズム、速度、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現としてどのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 [態] 箏の音色や響きと奏法との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	さくらさくら(器)(和) 練習曲1(器)(和) 練習曲2(器)(和) Let's Try! 箏(こと)を弾いてみよう(器)(和)	道徳:伝統文化の尊重、国や郷土を愛する態度	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p><b>【円滑な接続のための留意事項】</b></p> <p>【小6】 ♪越天楽今様      ♪春の海</p> <p>※小学校で学んだ我が国の音楽について更に理解を深めるとともに、箏の音色を実際に味わいながら体感することで、箏の特徴や共通性、固有性、箏のよさについて、自分なりに考えを深めることができるようにする。</p> <p>【小4】 ♪さくらさくら(歌)      ♪ことのみりよ(器)</p> </div> <div style="width: 10%; text-align: center;"> </div> <div style="width: 45%;"> <p><b>【中2】</b> ○平調子をつけて音楽をつくらう ♪平調子の特徴を生かして音楽をつくらう</p> </div> </div>												音色 リズム 速度 旋律		
							<p><b>【主な学習活動】</b> ①箏の基礎的な奏法や平調子の響きについて理解する。②旋律を弦名で歌いながら演奏する。③曲にふさわしい表現を工夫し「さくらさくら」を演奏する。</p>														
11・12	民謡の声の特徴を聞き出し、工夫して歌おう	2	声の音色や響き及び民謡の特徴とその背景となる文化や歴史について理解するとともに、民謡にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌ったり、音楽表現の共通性や固有性について考え、暮らしの中から生まれた我が国の音楽に親しむ。	[知] 声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。 [技] 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表している。 [思] 音色、リズム、旋律、テクスチャ、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、音楽表現の共通性や固有性について自分なりに考えて鑑賞したり、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように歌うかについて思いや意図をもっている。 [態] 我が国に伝わる民謡の特徴や、人々の暮らしとの関わりに関心もち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	ソーラン節(歌) かりぼし切り歌(鑑)(歌) 郷土のさまざまな民謡(鑑) ☆谷茶目(歌)	道徳:伝統文化の尊重、国や郷土を愛する態度 体育「ダンス」	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p><b>【円滑な接続のための留意事項】</b></p> <p>【小6】 ♪おぼろ月夜</p> <p>※小学校で学んだ我が国や郷土の音楽について更に理解を深めるとともに、その特徴や共通性、固有性についても自分なりに考えを深め、小学校の学びに関連付けられるようにする。</p> <p>【小4】 ♪ソーラン節(歌・鑑)      【小5】 ♪谷茶目(歌・器)</p> </div> <div style="width: 10%; text-align: center;"> </div> <div style="width: 45%;"> <p><b>【中2】</b> ○郷土のさまざまな芸能を味わいながら鑑賞しよう ♪郷土の音楽や芸能「鹿踊」「獅子舞」</p> </div> </div>												音色 リズム 旋律 テクスチャ 形式		
							<p><b>【主な学習活動】</b> ①範唱を聴いて曲想をつかんだり、リズムや音階、声の出し方や合わせ方などの特徴について知る。②旋律を歌詞唱する。③声の出し方や伸ばし方などの特徴を意識しながら歌う。④範唱を聴いたり、楽譜を確認したりしながら、まとまりを捉えて歌い合わせ方を工夫する。⑤他の民謡を聴き比べ、歌われたり演じられたりする場面や地域、目的によって、多様な表現があることに気付く。</p>														















月	題材名	時間	題材の目標	評価規準	教材		中学校学習指導要領との関連																			
					他教科等との関連	A表現									B鑑賞		〔共通事項〕 本題材の学習において、生徒の思考・判断のよりどころとなる 主な音楽を形づくっている要素									
						(1) 歌唱			(2) 器楽			(3) 創作			ア			イ								
						ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ		ア	イ							
				知識・技能〔知〕〔技〕 思考・判断・表現〔思〕 主体的に学習に取り組む態度〔態〕	歌唱：(歌) 器楽：(器) 創作：(創) 鑑賞：(鑑) 和楽器：(和)																				(1)	
	言葉のリズムや抑揚を表現しよう	3	言葉の特徴及び音のつながり方の特徴について理解している。 創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付け、創作で表している。 リズム、テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。 言葉のリズムや抑揚を生かした音の選択や組合せ、旋律のつながり方に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。	言葉のリズムや抑揚を生かして表現してみよう(創)																					リズム 旋律 テクスチュア 構成	
					【円滑な接続のための留意事項】 【中2】 ○リズムの違いを感じながら、リズムパターンをつくらう ♪リズムパターンをつくらう ※言葉のリズムやまとまりを感じ取り、声部の役割を生かして表現を工夫する。																					

月	題材名	時間	題材の目標	評価規準	教材	他教科等との関連	中学校学習指導要領との関連										
							A表現						B鑑賞		[共通事項]		
							(1)歌唱		(2)器楽		(3)創作		ア		イ		本題材の学習において、生徒の思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素
ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	(1)						
11	歌舞伎の聴き取り、と長唄「勸進帳」を唄おう	4	長唄の声の音色や響き、言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりや曲の背景となる文化や歴史について理解している。 [技] 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 [思] ・長唄の声の音色、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。 [歌] ・長唄の声の音色、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 [鑑賞] ・長唄の声の音色、旋律の特徴に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞及び歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 [能] 長唄の声の音色、旋律の特徴に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞及び歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 [能] 長唄の声の音色、旋律の特徴に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞及び歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	知識・技能〔知〕〔技〕 思考・判断・表現〔思〕 主体的に学習に取り組む態度〔態〕	歌唱：(歌) 器楽：(器) 創作：(創) 鑑賞：(鑑) 和楽器：(和)  ◆共通教材 ☆発展教材	道徳:伝統文化の尊重、国や郷土を愛する態度 SDGs目標10	○		○		○		○		音色 旋律		
							<p><b>【円滑な接続のための留意事項】</b></p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>【中2】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○雅楽の多様な表現を鑑賞しよう</li> <li>♪雅楽「越天楽」</li> <li>♪舞楽「左舞・右舞」</li> <li>♪能「羽衣」キリから</li> </ul> <p>※日本音楽の豊かな響きや表現を味わうようにする。</p> </div> <div style="font-size: 2em; color: blue;">➡</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>【中3】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○歌舞伎の特徴と多様な表現を聴き取り、長唄「勸進帳」を唄おう</li> <li>♪歌舞伎 勸進帳(鑑)</li> <li>♪文楽 義経千本桜(鑑)</li> </ul> </div> </div>										
<p><b>【主な学習活動】</b></p> <p>①歌舞伎「勸進帳」の一部分を鑑賞したり唄ったりしながら、日本の伝統的な声の特徴や歌舞伎の雰囲気を味わう。②長唄の発声による声の音色、間、節回し、産字、歌い尻などを知覚し、それらが生み出す特質を感じし表現を創意工夫する。③登場人物の気持ちを考えて、長唄にふさわしい表現を工夫して唄う。④今まで学習してきたことを基に「勸進帳」を鑑賞し、伝統的な歌唱の特徴とよさについての批評文を書く。</p>																	
12	言葉や音階CMソングを生かして、CMソングをつくろう	3	音の重なり方や反復、変化、対照などの構造上の特徴について理解するとともに、課題や条件に沿った音の選択や組合せを創意工夫し、CMソングをつくる活動に親しむ。	[知] 音の重なり方や反復、変化、対照などの構造上の特徴について理解している。 [技] 創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付け、創作で表している。 [思] 音色、リズム、旋律、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。 [能] 言葉のリズムや抑揚と旋律との関係や全体の構成に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。	CMソングをつくろう(創) 中3技術・家庭「コンピュータ」	○		○		○		音色 リズム 旋律 構成					
						<p><b>【円滑な接続のための留意事項】</b></p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>【中2】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○リズムの違いを感じながら、リズムパターンをつくろう</li> <li>♪リズムパターンをつくろう</li> </ul> <p>※言葉のリズムやまとまりを感じ取り、声部の役割を生かして表現を工夫する。</p> </div> <div style="font-size: 2em; color: blue;">➡</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>【中3】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○言葉や音階の特徴を生かしてCMソングをつくろう</li> <li>♪CMソングをつくろう</li> </ul> </div> </div>											
<p><b>【主な学習活動】</b></p> <p>①言葉のリズムや三音・五音を使って旋律をつくる。②言葉や音階の特徴を生かして表現を工夫する。③つくった旋律を繰り返してCMソングを完成させる。④つくったCMソングと自分の感じたことを発表して交流する。</p>																	
1	音楽と舞台の関連付けながら、鑑賞しよう	3	楽曲の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解するとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽と舞台によって表現される総合芸術に親しむ。	[知] 楽曲の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解している。 [思] 楽曲の音色、速度、旋律、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて理解するとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 [能] 音楽と舞台上で表現されるオペラの特徴や物語を表現する音楽の多様性に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	オペラ アイダから(鑑) バレエ 白鳥の湖(鑑) ☆さまざまな舞台芸術(鑑)	○		○		○		音色 速度 旋律 テクスチャ 強弱					
						<p><b>【円滑な接続のための留意事項】</b></p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>【中2】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○音楽の仕組みを理解して聴こう</li> <li>♪交響曲第5番ハ短調</li> <li>♪小フーガ短調</li> <li>♪交響組曲 シェエラザード</li> </ul> <p>※オーケストラで使われている楽器について復習し、その楽器の特徴やどのような音域・音色・役割を担っているのかを確認するようにする。</p> </div> <div style="font-size: 2em; color: blue;">➡</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>【中3】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○音楽と舞台の表現を関連付けながら鑑賞しよう</li> <li>♪オペラ アイダから</li> <li>♪バレエ 白鳥の湖</li> <li>♪さまざまな舞台芸術</li> </ul> <p>※あらすじを読み、役柄や声域・心情・歌声などのつながりを話し合い、音楽表現の豊かさを理解し、物語の進行と音楽の変化、また舞台美術等の総合芸術に触れて感じ取ったことをまとめるようにする。</p> </div> </div>											
<p><b>【主な学習活動】</b></p> <p>①オーケストラの表現によって生み出される曲想の変化を聴き取る。②曲の背景となる歴史や文化を知る。③物語の進行と音楽の変化との関わりを感じ取り、場面ごとの音楽の特徴を捉える。④オペラ、バレエなどの舞台芸術を理解し、音楽と舞台表現を関連付けながら鑑賞する。</p>																	

月	題材名	時間	題材の目標	評価規準	教材	他教科等との関連	中学校学習指導要領との関連																		
							A表現						B鑑賞		【共通事項】 本題材の学習において、生徒の思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素										
							(1)歌唱		(2)器楽		(3)創作		ア			イ									
ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	(1)														
1 ・ 2 ・ 3	曲想を味わいながら、合唱しよう	4	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌い、思いを込めて合唱する喜びや感動を味わう。	[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解している。	旅立ちの日に(歌)																	音色 速度 旋律 テクスチャ 強弱 構成			
[技] 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付けている。				帰れソレントへ(歌)																					
[思] 音色、速度、旋律、強弱、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。				時を越えて(歌)																					
[態] 歌詞の内容や曲想を味わい、声部の役割や全体の響きとの関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。				ハレルヤ																					
【主な学習活動】					【円滑な接続のための留意事項】																				
①範唱を聴いて曲の曲想を感じ取り、歌詞の内容を味わう。②各声部に分かれて旋律を歌う。③曲全体の構成と主旋律を歌うパートを知る。④各声部の役割と全体の響きを感じ取りながら、歌い合わせる。⑤主旋律や曲想の変化を生かし、どのように歌うかについて自らの考えを他者と交流し、仲間と音楽表現を工夫する。					【中2】 ○曲想を味わいながら、気持ちを込めて合唱しよう ♪そよ風の中で ♪卒業式に向けた合唱の取り組み					【中3】 ○曲想を味わいながら、気持ちを込めて合唱しよう ♪旅立ちの日に ♪帰れソレントへ ♪時を越えて ♪卒業式に向けた合唱の取り組み															

授業時数合計 35

# 令和5年度 美術

## 1. 美術科学習目標

表現及び鑑賞の活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育てるとともに、美術の基礎的な能力を伸ばし、豊かな情操を養う。

## 2. 学年目標

### <第1学年>

- ・楽しく美術の活動に取り組み、美術を愛好する心情を培う。
- ・基礎基本を身につけ、豊かな発想や構想する能力や技能を育てる。
- ・自然の造形や作品の見方を広げ、よさや美しさを味わえる。

### <第2学年及び第3学年>

- ・主体的に美術の活動に取り組み、心豊かに創造する態度を高める。
- ・想像力を高め、独創的、総合的な表現方法を工夫しながら創造する。
- ・自然の造形や作品の見方を深め、心豊かに鑑賞する能力を高める。

## 3. 年間学習計画

	1 学年	2 学年	3 学年
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ オリエンテーション</li> <li>・ 色彩基礎演習</li> <li>・ 色彩基礎知識を活用した立体作品の制作 「新種発見！アニマルランタン」色彩から構成するデザイン、立体の基礎学習</li> <li>・ 色彩理論の基礎学習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 立体、彫刻 「心がはずむ my room」</li> <li>ボックスアートで自分の理想の部屋を表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 立体作品の制作 「日本の美意識」日本の美術文化について理解し、季節の和菓子を粘土で制作する。</li> <li>・ 「和の心～癒しのあかり～」 張り子の技法で和紙のランプシェードを制作。</li> </ul>
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 絵画作品 「とびだす形！～一点透視図法で描く不思議な世界～」 一点透視図法を活用した砂絵作品を制作。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 映像、クレイアニメ制作 「私の部屋ができるまで…」 粘土を使ったコマ撮りアニメを制作する。</li> <li>・ 作品鑑賞会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ デザイン、工芸（卒業記念作品） 「スクラッチ絵皿」 絵皿を削ってこだわりの模様を描く。</li> </ul>
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ デザイン、工芸 「楽しい絵文字」 レタリングを活用した文字のデザイン。</li> <li>・ 作品鑑賞会</li> <li>・ 学年のまとめ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 絵画制作 「目指せ！令和の雪舟～水墨画の世界～」</li> <li>・ 作品鑑賞会</li> <li>・ 学年のまとめ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 立体、彫刻 「勾玉作り」 石を彫刻し、勾玉を制作する。</li> <li>・ 作品鑑賞会</li> <li>・ 学年のまとめ</li> </ul>

## 4. 評価の観点

### < 第1学年 >

- ・美術に対して興味関心を持ち、楽しく意欲的に授業に取り組む。
- ・自然や身近なものを深く観察し、よさや美しさを自分なりに表現する。
- ・自分のイメージを大切にしながら、表現方法を工夫する。
- ・材料や用具の使い方を理解し、表現を生かせる基礎的技能を身につける。
- ・素材のよさを生かしながら、美しく創造的に立体表現ができる。
- ・作品のよさや美しさを感じ取り、味わうことができる。

### < 第2学年 >

- ・課題意識を持って、主体的に授業に取り組む。
- ・色や形を単純化、省略、強調したりしながら想像力を広げ、構想を練る。
- ・自分の思いをより効果的に表現するために構図や構成を工夫する。
- ・材料の特性や表現意図に合わせて効果的に用具を使う。
- ・素材の特性を吟味し、それらを組み合わせながら独創的な表現を工夫する。
- ・作品の見方を広げ、多様な表現方法とよさや美しさを感じ取る。

### < 第3学年 >

- ・身につけた能力や造形経験を生かし、テーマを深めながら授業に取り組む。
- ・様々な視点やきっかけから発想し、表現意図を明確にしながら構想を練る。
- ・形や色彩、素材や用具の効果的な生かし方を考えながら表現する。
- ・素材の可能性を自ら見出し、造形要素を美的感覚で選び出して創造する。
- ・作者の心情や意図、表現の工夫を理解し、互いの価値観について話し合う。
- ・美術文化や美術遺産などを理解し、広い視野から美術をとらえる。

## 5. 授業の約束ごと

- ・授業は基本的に週に1時間です。材料、用具の忘れ物は絶対にしないで下さい。
- ・授業は基本的にジャージ、または体育着で行います。
- ・授業に集中し、目標を持って作品制作にのぞんでください。
- ・作品の提出期限を必ず守ってください。
- ・各観点により評価をしますが作品展の出品や入選は加点対象になります。
- ・授業で必要なスケッチブックまたはファイル、教科書、資料集は課題があるとき以外は持ち帰らず、自分のロッカーで保管します。

さいたま市立岸中学校 美術科（第1学年）年間指導計画

感じる考える：描	… 9 時間
伝える使う：描	… 13 時間
鑑賞	… 4 時間

感じる考える：つ	… 12 時間
伝える使う：つ	… 7 時間

総授業時数 45 時間

月	題材名 (領域・時間) ----- 主な学習活動	目標 (1)知識【共通事項】及び技能 (2)思考力、判断力、表現力等 (3)学びに向かう力、人間性等	評価規準	円滑な接続のための 留意事項
4	<p>オリエンテーション ・美術との出会い</p> <p>鑑賞 1 教P2～9（その他）</p> <p>1 学習のねらいや3年間の学習内容を理解させ、小学校の図画工作と関連付けて美術への興味や関心を高める。 2 美術の授業及び美術室でのルールを確認し、安全に授業を楽しむようにする。 3 教科書の作品を鑑賞して、様々な表現について気付かせる。</p>	<p>(1) ・形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などの造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解する。 〔共通事項〕 (2) ・美術がもっている、身の回りにあるものの形や色彩、材料などの造形的な美しさなどを感じ取り、生活を美しく豊かにする美術の働きについて考えるなどして、見方や感じ方を広げる。 (3) ・美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく教科書や掲載作品を鑑賞する学習活動に取り組もうとする。</p>	<p>(知識・技能) 形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などの造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。</p> <p>(思考・判断・表現) 〈鑑〉美術がもっている、身の回りにあるものの形や色彩、材料などの造形的な美しさなどを感じ取り、生活を美しく豊かにする美術の働きについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。</p> <p>(主体的に学習に取り組む態度) 〈態鑑〉美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく教科書や掲載作品を鑑賞し、美術がもっている、身の回りにあるものの形や色彩、材料などの造形的な美しさなどを感じ取り、生活を美しく豊かにする美術の働きについて考えるなどの鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>	<p>図画工作科が、中学校の美術科と技術・家庭科（技術分野）につながることを理解させ、学習活動に対する意欲を高める。美術は難しい教科ではなく、身近で楽しい教科であることを伝える。</p>
5	<p>見つめると見えてくるもの</p> <p>感じる考える：つ 4 教P12、13</p> <p>1 身近にあるものの形・色彩・明暗・質感などを観察し、その特徴や美しさから主題を生み出して構想する。 2 鉛筆等、描画材料の使い方を理解し、意図に応じて表現する。 3 タブレットを活用して作品を鑑賞し、作者の意図や工夫について話合う。 TP</p>	<p>(1) ・形や色彩、明暗、質感などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、よさや美しさ、印象などを全体のイメージで捉えることを理解する。 〔共通事項〕 ・鉛筆や彩色のための用具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表す。 (2) ・身近な自然物を観察して感じ取った形や色彩、質感の特徴や美しさなどを基に主題を生み出し、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練る。 ・造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げる。 (3) ・美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく身近なものの特徴や美しさなどを基に表現したり鑑賞したりする学習活動に取り組もうとする。</p>	<p>(知識・技能) 〈知〉形や色彩、明暗、質感などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、よさや美しさ、印象などを全体のイメージで捉えることを理解している。</p> <p>〈技〉鉛筆や彩色のための用具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表している。</p> <p>(思考・判断・表現) 〈発〉身近なものを観察して感じ取った形や色彩、質感の特徴や美しさなどを基に主題を生み出し、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 〈鑑〉造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。</p> <p>(主体的に学習に取り組む態度) 〈態表〉美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく身近なものを観察して感じ取った形や色彩、質感の特徴や美しさなどを基に構想を練ったり、意図に応じて工夫して表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 〈態鑑〉美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>	<p>中2・3年「視点の冒険」「瞬間の美しさ」に接続 小学校の図画工作でも慣れ親しんだ鉛筆と絵の具の使い方を再確認する。</p>

月	題材名 (領域・時間)	目標 (1)知識〔共通事項〕及び技能 (2)思考力、判断力、表現力等 (3)学びに向かう力、人間性等	評価規準	円滑な接続のための 留意事項
	主な学習活動			
6	<p>文字との出会い 「楽しい絵文字」</p> <p>伝える使う：描 8 教P42, 43</p> <p>1 文字の特徴・風俗・物産等から主題を生み出し発想する。 2 レタリングと色彩について学習し、イメージを基に絵文字を構想する。 3 描画材料の特性を理解し、イメージに合った描画と彩色をする。 4 タブレットを活用して作品を鑑賞し合い、作者の意図や工夫について話し合う。</p> <p>TP</p>	<p>(1) ・自分の好きな文字が感情にもたらす効果や造形的な特徴などを基に、伝達する内容を全体のイメージで捉えることを理解する。 〔共通事項〕 ・レタリングと色彩及び彩色の仕方などを身に付け、意図に応じて工夫し、制作の順序などを考えながら見通しをもって表す。</p> <p>(2) ・文字から受けるイメージを基に主題を生み出し、分かりやすさと形や色彩などとの調和を考え、表現する構想を練る。 ・文字と絵の調和のとれた美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げる。</p> <p>(3) ・美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく構想を練り、意図に応じて工夫して表したり鑑賞したりする学習活動に取り組もうとする。</p>	<p>(知識・技能) 〈知〉好きな文字に関する形や意味が感情にもたらす効果や造形的な特徴などを基に、伝達する内容を全体のイメージで捉えることを理解している。</p> <p>〈技〉レタリングと色彩及び彩色の仕方などを身に付け、意図に応じて工夫し、制作の順序などを考えながら見通しをもって表している。</p> <p>(思考・判断・表現) 〈発〉文字から受けるイメージを基に主題を生み出し、わかりやすさと形や色彩などとの調和を考え、表現する構想を練っている。 〈鑑〉文字と絵の調和のとれた美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。</p> <p>(主体的に学習に取り組む態度) 〈態表〉美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく文字の構想を練ったり、意図に応じて工夫して表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 〈態鑑〉美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に文字と絵の調和のとれた美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などを考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>	<p>中2・3 「ひと目で伝えるための工夫」に接続 代表的な字体として、明朝体・ゴシック体について学習する。 三原色等、色彩の基礎についておさえる。</p>
7	<p>日常の中の美術 美術館へ行こう</p> <p>鑑賞 1 教P73~75</p> <p>1 日常の中で接する様々なものに美術が関わっていることを知る。 2 美術館とはどのようなものなのかを学習し、美術館が身近で楽しいものであることを感じさせ、夏季休業中に足を運んでレポートを書く。</p>	<p>(1) ・彫刻や絵画などの美術作品とそれらを収めた美術館という空間が感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、全体のイメージで捉えることを理解する。 〔共通事項〕 (2) ・美術館と収蔵作品に見られる造形的な美しさなどを感じ取り、生活を美しく豊かにする美術の働きについて考えるなどして、見方や感じ方を広げる。 (3) ・美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく美術作品や美術館の空間などがもたらす造形的なよさや美しさを鑑賞する学習活動に取り組もうとする。</p>	<p>(知識・技能) 〈知〉彫刻や絵画などの美術作品とそれらを収めた美術館という空間が感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、全体のイメージで捉えることを理解している。</p> <p>(思考・判断・表現) 〈鑑〉美術館と収蔵作品に見られる造形的な美しさなどを感じ取り、生活を美しく豊かにする美術の働きについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。</p> <p>(主体的に学習に取り組む態度) 〈態鑑〉美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく美術作品や美術館の空間などから造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考える鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>	<p>中2・3 「暮らしに息づくパブリックアート」に関連 美術館が身近で楽しい場所であることに気付かせる。</p>

月	<b>題材名 (領域・時間)</b>  <b>主な学習活動</b>	<b>目標</b> (1)知識【共通事項】及び技能 (2)思考力、判断力、表現力等 (3)学びに向かう力、人間性等	<b>評価規準</b>	<b>円滑な接続のための 留意事項</b>
9	<b>素材にいのちを吹き込もう</b> <b>「新種発見! アニマルランタン」</b> <b>感じる考える: つ</b> 8 <b>教P20, 21</b> 1 身の回りに自然を観察して特徴を捉え、または何かに見立てて主題を生み出して構想を練る。 2 構成や材料、用具を工夫して立体で表現する。 3 タブレット活用しお互いの作品を鑑賞し、表現の意図や工夫について話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin-top: 5px;">TP</div>	(1) ・素材の質感、風合いなどが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、何かに見立てたり、全体のイメージを捉えたりすることを理解する。 [共通事項] ・材料の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表す。 (2) ・身近なものを見つめ感じ取った質感、風合いの特徴や美しさなどを基に主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練る。 ・造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げる。 (3) ・美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく身近なものの特徴や美しさなどを基に表現したり鑑賞したりする学習活動に取り組もうとする。	(知識・技能) <知>質感や風合いなどが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、何かに見立てたり、全体のイメージを捉えたりすることを理解している。 <技>材料の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表している。 (思考・判断・表現) <発>身近な自然を見つめ感じ取った形の特徴や美しさなどを基に主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 <鑑>造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。 (主体的に学習に取り組む態度) <態表>美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく身近な自然を見つめ感じ取った形や質感の特徴や美しさなどを基に構想を練ったり、意図に応じて工夫して表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 <態鑑>美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	中2・3 ボックスアート 「理想のmyroom」に接続 「スペース」、 「ガラガラ」、 「フワフワ」など、質感とイメージを関連付けて扱う。
11	<b>とびだすカタチ!</b> <b>～一点透視図法で描く不思議な世界～</b> <b>感じる考える: 描</b> 9 <b>教P16, 17, 62</b> 1 一点透視図法の技法を使った作品を鑑賞し、遠近法の学習を行った上で、不思議な世界の主題を生み出す。 2 主題を基に、構図などを考えるなどして構想を練る。 3 色砂を使った砂絵技法の特徴を生かし、意図に応じて工夫して表す。 4 お互いの作品を鑑賞し合い、表現の意図や工夫について話し合う。	(1) ・形や色彩などの性質が感情にもたらす効果や、造形的な特徴を基に美しさなどを全体のイメージで捉えることを理解する。 [共通事項] ・色砂で描く技法の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表す。 (2) ・一点透視図法の世界で、想像したことなどを基に主題を生み出し、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練る。 ・造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考え、見方や感じ方を広げる。 (3) ・美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく花から感じ取ったことなどを基に表現したり、鑑賞したりする学習活動に取り組もうとする。	(知識・技能) <知>形や色彩などの性質が感情にもたらす効果や、造形的な特徴を基に美しさや生命感などを全体のイメージで捉えることを理解している。 <技>砂絵の技法の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表している。 (思考・判断・表現) <発>色彩の特徴や美しさ、想像したことなどを基に主題を生み出し、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 <鑑>造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考え、見方や感じ方を広げている。 (主体的に学習に取り組む態度) <態表>美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく花の特徴や美しさなどを基に構想を練ったり、意図に応じて工夫して表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 <態鑑>美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	小5・6年 「わたしのお気に入りの場所」から接続 見慣れたものも視点を変えることで違って見えることに気付かせる。



月	題材名 (領域・時間)	目標 (1)知識【共通事項】及び技能 (2)思考力、判断力、表現力等 (3)学びに向かう力、人間性等	評価規準	円滑な接続のための 留意事項
	主な学習活動			
11	ずっと書いていた くなるペン	(1) ・木の質感や特性、形や色彩などが感情にもたらす効果や、木のぬくもりなどを全体のイメージで捉えることを理解する。	(知識・技能) 〈知〉木の質感や特性、形や色彩などが感情にもたらす効果や、木のぬくもりなどを全体のイメージで捉えることを理解している。 〈技〉木の加工方法などを身に付け、意図に応じて工夫し、制作の順序などを考えながら見通しをもって表している。	小5・6年 「わたしはデザイナー12さいの力で」から接続 中2・3年 「心がほっとなごむもの」に接続 道徳との関連D(20)
12	伝える使う：つ 教P50. 51 1 木のぬくもりや木肌の美しさを味わう。 2 使いやすさと美しさを兼ね備えたデザインを構想する。 3 木の特性を理解して、加工方法や用具などを適切に考えながら見通しをもって制作する。 4 お互いの作品を鑑賞し合い、表現の意図や工夫について話し合う。	[共通事項] ・木の加工方法などを身に付け、意図に応じて工夫し、制作の順序などを考えながら見通しをもって表す。 (2) ・木の特性や美しさなどを基に、使う場面や使う人の気持ちなどから主題を生み出し、使いやすさと美しさなどとの調和を考え、表現する構想を練る。 ・木のぬくもりや使いやすさの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げる。 (3) ・美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく木のぬくもりや使いやすさなどを基に表現したり鑑賞したりする学習活動に取り組もうとする。	(思考・判断・表現) 〈発〉木の特性や美しさなどを基に、使う場面や使う人の気持ちなどから主題を生み出し、使いやすさと美しさなどとの調和を考え、表現する構想を練っている。 〈鑑〉木のぬくもりや使いやすさの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。  (主体的に学習に取り組む態度) 〈態表〉美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく木のぬくもりや使いやすさなどを考えて、構想を練ったり、意図に応じて工夫し見通しをもって表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 〈態鑑〉美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく木のぬくもりや使いやすさの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	
1	見方や感じ方を広げよう 鑑賞 教P26. 27 1 様々なものの中から造形的な美しさを感じ取って主題を生み出し、写真を撮影する。 2 撮影した写真を持ち寄り、形や色彩、材料や光などの性質やそれらが感情にもたらす効果をもとに見方や感じ方を広げる。 3 タブレットを活用して撮影者の意図や工夫について話し合う。 TP	(1) ・写真に写された形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解するとともに、造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解する。 [共通事項] (2) ・写真に写されたモチーフや風景などの造形的なよさや美しさを感じ取り、主題について考えるなどして、見方や感じ方を広げる。 (3) ・美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく写真の造形的特徴からイメージを捉えて新たなよさを見付けるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとする。	(知識・技能) 〈知〉写真に写された形や色彩、材料や光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解するとともに、造形的な特徴などを基に全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。  (思考・判断・表現) 〈鑑〉写真に写されたモチーフや風景などの造形的なよさや美しさを感じ取り、主題について考えるなどして、見方や感じ方を広げている。  (主体的に学習に取り組む態度) 〈態鑑〉・美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく写真の造形的特徴からイメージを捉えて新たなよさを見付けるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	

月	題材名 (領域・時間)	目標 (1)知識〔共通事項〕及び技能 (2)思考力、判断力、表現力等 (3)学びに向かう力、人間性等	評価規準	円滑な接続のための 留意事項
	主な学習活動			
3	<p>印象に残るシンボルマーク</p> <p>伝える使う：描 5 教P4.4, 4.5</p> <p>1 身の周りのシンボルマークを鑑賞し、形や色彩から受ける印象やその違い、工夫について話し合う。</p> <p>2 伝えたい内容やイメージを基に、伝える相手や場面などから主題を生み出し、わかりやすさと形や色彩などの調和を考えてデザインする。</p> <p>3 お互いの作品を鑑賞し合い、表現の意図や工夫について話し合う。</p>	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・具体物や文字などの形や色彩などが感情にもたらす効果や造形的な特徴などを基に、伝達する内容を全体のイメージで捉えることを理解する。</li> </ul> <p>〔共通事項〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵の具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫し、制作の順序などを考えながら見通しをもって表す。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝える内容やイメージを基に、伝える相手や場面などから主題を生み出し、わかりやすさと形や色彩などの調和を考え、表現の構想を練る。</li> <li>・伝えたい内容と伝わりやすさの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げる。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく伝達のデザインの目的や機能美を基に表現したり鑑賞したりする学習活動に取り組もうとする。</li> </ul>	<p>(知識・技能)</p> <p>&lt;知&gt;具体物や文字などの形や色彩などが感情にもたらす効果や造形的な特徴などを基に、伝達する内容を全体のイメージで捉えることを理解している。</p> <p>&lt;技&gt;絵の具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫し、制作の順序などを考えながら見通しをもって表している。</p> <p>(思考・判断・表現)</p> <p>&lt;発&gt;伝える内容やイメージを基に、伝える相手や場面などから主題を生み出し、分かりやすさと形や色彩などの調和を考え、表現の構想を練っている。</p> <p>&lt;鑑&gt;伝えたい内容と伝わりやすさの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。</p> <p>(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>&lt;態表&gt;美術の創造活動の喜びを味わい、楽しくわかりやすく印象に残るマークをデザインするなど伝達のデザインの目的や機能を考えて、構想を練ったり、意図に応じて工夫し見通しをもって表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>&lt;態鑑&gt;美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく伝えたい内容とわかりやすさの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>	<p>中2・3</p> <p>「魅力を伝えるパッケージ」に接続</p> <p>アイコンやピクトグラムなどを例に、デザインがもつ伝達する効果に着目させる。</p>

さいたま市立岸中学校 美術科（第2学年）年間指導計画

感じる考える：描	… 8時間
伝える使う：描	… 7時間
鑑賞	… 2時間

感じる考える：つ	… 10時間
伝える使う：つ	… 8時間

総授業時数 35時間

※ここでの鑑賞は、独立した鑑賞の時間として設定しているものを計上した。

月	題材名 (領域・時間) ----- 主な学習活動	目標 (1)知識〔共通事項〕及び技能 (2)思考力、判断力、表現力等 (3)学びに向かう力、人間性等	評価規準	円滑な接続のための 留意事項
4	<p>学びの言葉 岡本太郎</p> <p>鑑賞 1 教上P5、50、51</p> <p>1 岡本太郎の作品を鑑賞し、芸術に対する考え方や生き方について考える。</p> <p>2 「岡本太郎 “芸術はみんなのもの”」のページと関連させて、どんなメッセージがあるか話し合う。</p>	<p>(1) ・形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などの造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解する。〔共通事項〕</p> <p>(2) ・現代美術のよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深める。</p> <p>(3) ・美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に現代美術のよさや美しさを感じ取り、主体的に作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなど見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとする。</p>	<p>(知識・技能) 〈知〉形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などの造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 (思考・判断・表現) 〈鑑〉現代美術のよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 (主体的に学習に取り組む態度) 〈態鑑〉美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に現代美術のよさや美しさを感じ取り、主体的に作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなど見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>	<p>「芸術はみんなのもの、生活の中にあるべきもの」というメッセージをすべての学習の根源となる考えとして、学習のたびに振り返り触れるようにする。</p>
5	<p>ボックスアート 「理想のmy room」 ～心のイメージを形に～</p> <p>感じる考える：つ 10 教上P16、17</p> <p>1 心の中の表情や願望、しぐさや営みなどから表現の主題を生み出す。</p> <p>2 生き生きとした動きを表すための形や空間感などについて構想を練る。</p> <p>3 主題を基に材料や用具の特性を生かし、動き出しそう心のかたちを追求しながら立体を表す。</p> <p>4 タブレットを活用して互いの作品を鑑賞し合い、作品から受ける思いなどについて話し合う。</p>	<p>(1) ・形が感情にもたらす効果や、表情や営み、心情などを基に、心のかたちを全体のイメージで捉えることを理解する。〔共通事項〕</p> <p>・材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表す。</p> <p>(2) ・心の中の願望や営みを深く見つめ感じ取ったことや考えたことを基に主題を生み出し、形や材料などの効果を考え、創造的な構想を工夫し、心豊かに表現する構想を練る。</p> <p>・造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深める。</p> <p>(3) ・美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に心の中にあるイメージを基に表現したり鑑賞したりする学習活動に取り組もうとする。</p>	<p>(知識・技能) 〈知〉形や色彩などが感情にもたらす効果や、心の中の感情や願望、営みなどを基に、今の自分を見つめ、全体のイメージで捉えることを理解している。 〈技〉材料や用具などの特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表している。 (思考・判断・表現) 〈発〉今の自分を見つめ、感じ取ったことや考えたことを基に主題を生み出し、形や、材料などの効果を考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 〈鑑〉造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 (主体的に学習に取り組む態度) 〈態表〉美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に生命感や躍動感、動物の特徴やイメージなどを基に構想を練ったり、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 〈態鑑〉美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>	<p>中1「じっくり見ると見えてくる」から接続 身近にあるものを観察して特徴を捉える。</p> <p>小学校からの接続 今までの造形体験で培ったことを生かす。様々な素材を生かし、適切に道具を用いて加工や接着などを行う。</p> <p>中1理科「動物の分類」との関連 道徳との関連 D(19)</p>
6	<p>TP</p>			

月	<b>題材名 (領域・時間)</b>  <b>主な学習活動</b>	<b>目標</b> (1)知識〔共通事項〕及び技能 (2)思考力、判断力、表現力等 (3)学びに向かう力、人間性等	<b>評価規準</b>	<b>円滑な接続のための 留意事項</b>
7	<b>デザインで人生を豊かに</b>  <b>鑑賞 1</b> <b>教上P46、47</b> 1 社会における課題を美術の力で解決しようとする取組や製品について鑑賞し、感じたことや考えたことなどを話し合う。 2 使う人の立場や使う場面、作者の意図や創造的な工夫などについて考えまとめる。 3 誰もが心豊かに暮らせる社会を目指して、美術の力を使って自分たちに提案できることを考え話し合う。	(1) ・形や色彩、材料などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、作者の意図を全体のイメージで捉えることを理解する。〔共通事項〕 (2) ・使う人の立場や使う場面との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の意図と創造的な工夫や、生活や社会を豊かにする美術の働きについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深める。 (3) ・美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に使う人の立場や使う場面との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の意図と創造的な工夫や、生活や社会を豊かにする美術の働きについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとする。	(知識・技能) <知>形や色彩、材料などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、作者の意図を全体のイメージで捉えることを理解している。〔共通事項〕 (思考・判断・表現) <鑑>使う人の立場や使う場面との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の意図と創造的な工夫や、生活や社会を豊かにする美術の働きについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 (主体的に学習に取り組む態度) <鑑鑑>美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に使う人の立場や使う場面との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の意図と創造的な工夫や、生活や社会を豊かにする美術の働きについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	中3「魅力を伝えるパッケージ」に接続 使う人の立場や使う場面との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取る。  道徳との関連 B(6)
8	<b>イメージの力で伝えよう</b>  <b>伝える使う：描 7</b> <b>教上P40、41</b> 1 ポスターなどを鑑賞し、メッセージやイメージを伝えるための工夫について考える。 2 伝えたい情報や場面を見つけて主題を生み出し、発想方法を参考にしながら伝えたいことを効果的に伝えるデザインをアイデアスケッチする。 3 より印象深く伝えるために形や色彩、文字や画面構成に検討を加え、材料や用具の特性を生かして制作する。 TP プレットを活用して5つの作品を鑑賞し合い、よさや美しさ、表現の工夫などについて話し合う。	(1) ・イラストレーションや文字の形や色彩、構成などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、全体のイメージなどを捉えることを理解する。〔共通事項〕 ・さまざまな技法や絵の具などの特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって創造的に表す。 (2) ・伝えたい情報やイメージなどを基に、伝える相手や場面などから主題を生み出し、美的感覚を働かせて形や色彩、イラストレーションや文字による伝達の効果と調和のとれた洗練された美しさを総合的に考え、表現する構想を練る。 ・伝えたい情報やイメージとの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深める。 (3) ・美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に伝えたい情報やイメージなどを基に表現したり鑑賞したりする学習活動に取り組む。	(知識・技能) <知>イラストレーションや文字の形や色彩、構成などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、全体のイメージなどを捉えることを理解している。 <技>絵の具などの特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって創造的に表している。 (思考・判断・表現) <発>伝えたい情報やイメージなどを基に、伝える相手や場面などから主題を生み出し、美的感覚を働かせて形や色彩、イラストレーションや文字による伝達の効果と調和のとれた洗練された美しさを総合的に考え、表現する構想を練っている。 <鑑>伝えたい情報やイメージとの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 (主体的に学習に取り組む態度) <態表>美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に伝えたい情報やイメージなどを基に構想を練ったり、意図に応じて自分の表現方法を追求したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 <態鑑>美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に伝えたい情報やイメージとの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	中1「印象に残るシンボルマーク」 「ニッポン絵文字の旅」から接続 わかりやすさと形や色彩などの調和を考えてデザインする。 アクリル絵の具の特性を生かし、自分の表現方法を追及する。  総合的な学習 SDGsとの関連
10				

月	題材名 (領域・時間)	目標 (1)知識〔共通事項〕及び技能 (2)思考力、判断力、表現力等 (3)学びに向かう力、人間性等	評価規準	円滑な接続のための 留意事項
	主な学習活動			
11	<p>こんなイスあったらいいな！ ナイスなデザイン</p> <p>伝える使う：つ 8 教上P44、45</p> <p>1身の回りのイスにはどのような工夫があるのか考える。 2椅子の種類を理解し、用途や場所、使用する人に合わせたイスのデザインを構想する。 3主題を基に素材や用具の特性を生かして、表現方法を創意工夫しながら制作する。</p>	<p>(1) ・形や色彩、材料などの性質が感情にもたらす効果や、造形的な特徴を基に全体のイメージで捉えることを理解する。〔共通事項〕 ・材料や用具、表現方法の特性などから制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって表す。</p> <p>(2) ・用いる場面や環境、他者の視点から社会との関わりを基に、使用する人の気持ちなどから主題を生み出し、使いやすさや機能と美しさなどとの調和を総合的に考え、表現の構想を練る。 ・機能や目的に合わせた造形的な特徴から制作者の意図と創造的な工夫について考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深める。</p> <p>(3) ・美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に用いる場面や環境、他者の視点から社会との関わりを基に表現したり鑑賞したりする学習活動に取り組もうとする。</p>	<p>(知識・技能) 〈知〉形や色彩、材料などの性質が感情にもたらす効果や、造形的な特徴を基に全体のイメージで捉えることを理解している。〔共通事項〕 〈技〉材料や用具、表現方法の特性などから制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって表している。 (思考・判断・表現) 〈発〉用いる場面や環境、他者の視点から社会との関わりを基に、使用する人の気持ちなどから主題を生み出し、使いやすさや機能と美しさなどとの調和を総合的に考え、表現の構想を練っている。 〈鑑〉機能や目的に合わせた造形的な特徴から制作者の意図と創造的な工夫について考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 (主体的に学習に取り組む態度) 〈態表〉美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に用いる場面や環境、他者の視点から社会との関わりを基に構想を練り、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって表す表現の活動に取り組もうとしている。 〈態鑑〉美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に機能や目的に合わせた造形的な特徴から制作者の意図と創造的な工夫について考えるなどして見方や感じ方を深める鑑賞の活動に取り組もうとしている。</p>	<p>中1「ずっと書いていたくなるペン」から接続 使いやすさと美しさを兼ね備えたデザインの構想を練る。</p> <p>中3「自分へ贈る卒業記念品」へ接続 美術館との連携</p>
1	<p>水と筆を操る「目指せ！令和の雪舟～水墨画の世界～」</p> <p>感じる考える：描 8 教上P21、22</p> <p>1鑑賞作品について、視点の違いや構図の工夫による造形的なよさや美しさ、イメージの変化などを感じ取る。 2見慣れた風景を視点の位置を変えて見つめ、感じ取った新鮮な感動から主題を生み出し、単純化や強調、創造的な構成を工夫し、表現の構想を練る。 3主題を基に絵の具などの特性を生かし、表現方法を追求しながら絵に表す。 4互いの作品を鑑賞し合い、視点を変えることの面白さを味わったり、表現の工夫などを話し合ったりする。</p>	<p>(1) ・形や色彩などが感情にもたらす効果や、見上げる、見下ろす、近づくなど視点の位置による見え方の違いなどを基に、そこから生じる印象の変化を全体のイメージで捉えることを理解する。〔共通事項〕 ・絵の具などの特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を創意工夫して創造的に表す。</p> <p>(2) ・視点の違いや構図の工夫によるイメージの変化を基に主題を生み出し、構図などの効果を考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練る。 ・造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深める。</p> <p>(3) ・美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に視点の違いや構図の工夫によるイメージの変化を基に表現したり鑑賞したりする学習活動に取り組もうとする。</p>	<p>(知識・技能) 〈知〉形や色彩などが感情にもたらす効果や、見上げる、見下ろす、近づくなど視点の位置による見え方の違いなどを基に、そこから生じる印象の変化を全体のイメージで捉えることを理解している。〔共通事項〕 〈技〉絵の具などの特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を創意工夫して創造的に表している。 (思考・判断・表現) 〈発〉視点の違いや構図の工夫によるイメージの変化を基に主題を生み出し、構図などの効果を考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 〈鑑〉造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 (主体的に学習に取り組む態度) 〈態表〉美術の創造活動の喜びを味わい、視点の違いや構図の工夫によるイメージの変化などを基に構想を練ったり、意図に応じて表現方法を追求して創造的に表現したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 〈態鑑〉美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>	<p>中1「見方や感じ方を広げよう」「見つめるとみえてくるもの」から接続 視点の違いや構図の工夫による造形的なよさや美しさ、イメージの変化などを感じ取る。</p> <p>アートカードの活用</p>

さいたま市立岸中学校 美術科 (第3学年) 年間指導計画

感じる考える：描	… 3 時間
伝える使う：描	… 3 時間
鑑賞	… 2 時間

感じる考える：つ	… 16 時間
伝える使う：つ	… 11 時間

総授業時数 35 時間

※ここでの鑑賞は、独立した鑑賞の時間として設定しているものを計上した。

月	題材名 (領域・時間) 主な学習活動	目標 (1)知識〔共通事項〕及び技能 (2)思考力、判断力、表現力等 (3)学びに向かう力、人間性等	評価規準	円滑な接続のための 留意事項
4	<p>オリエンテーション 広げる深める世界観</p> <p>鑑賞 1 教下P2～5</p> <p>1 学習のねらいや1年間の学習内容を理解させ、美術への興味や関心を高める。</p>	<p>(1) ・形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などの造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解する。 〔共通事項〕</p> <p>(2) ・身の回りにある自然物や人工物の形や色彩、材料などの造形的な美しさなどを感じ取り、生活を美しく豊かにする美術の働きについて考えるなどして、見方や感じ方を深める。</p> <p>(3) ・美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に鑑賞の学習活動に取り組もうとする。</p>	<p>(知識・技能) 〈知〉形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などの造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 (思考・判断・表現) 〈鑑〉身の回りにある自然物や人工物の形や色彩、材料などの造形的な美しさなどを感じ取り、生活を美しく豊かにする美術の働きについて考えるなどして、見方や感じ方を深めている。 (主体的に学習に取り組む態度) 〈態鑑〉美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>	<p>道徳との関連 D (19) (22)</p>
5	<p>日本の美意識をとらえて「季節を楽しむ和菓子」</p> <p>感じる考える：つ 8 教上P34～35、下P5</p> <p>1 日本季節から生み出された伝統色を学び、自然と結びついた色と形の美しさを感じ取る。</p>	<p>(1) ・自然や季節を感じさせる形や色彩、それらが感情にもたらす効果などの造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解する。 〔共通事項〕</p> <p>(2) ・季節感を取り入れた日本の伝統や使う場面などの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深める。</p> <p>(3) ・美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に季節感を取り入れた日本の伝統や使う場面などの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の意図と創造的な工夫などについて考えるなど見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組む。</p>	<p>(知識・技能) 〈知〉自然や季節を感じさせる形や色彩、それらが感情にもたらす効果などの造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 (思考・判断・表現) 〈鑑〉季節感を取り入れた日本の伝統や使う場面などの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 (主体的に学習に取り組む態度) 〈態鑑〉美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に季節感を取り入れた日本の伝統や使う場面などの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の意図と創造的な工夫などについて考えるなど見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>	
6	<p>あふれ出す思いを～自分との対話～</p> <p>感じる考える：描 3 教下P8～11</p> <p>1 自己と向き合い、自分の生き方と照らし合わせながら、自分の気持ちや性格、思い出</p>	<p>(1) ・形や色彩、材料などの性質や、それらが感情にもたらす効果や、全体のイメージで捉えることを理解する。〔共通事項〕</p> <p>・材料や用具について義務教育9年間の既習事項を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求し、制作の順序などを総合的に考えながら見通しをもって創造的に表す。</p>	<p>(知識・技能) 〈知〉形や色彩、材料などの性質や、それらが感情にもたらす効果や、全体のイメージで捉えることを理解している。 〈技〉材料や用具について義務教育9年間の既習事項を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求し、制作の順序などを総合的に考えながら見通しをもって創造的に表している。 (思考・判断・表現) 〈発〉自分自身を深く見つめ、感じ取つ</p>	<p>道徳との関連 A (3)</p>

月	<b>題材名 (領域・時間)</b>  <b>主な学習活動</b>	<b>目標</b> (1)知識〔共通事項〕及び技能 (2)思考力、判断力、表現力等 (3)学びに向かう力、人間性等	<b>評価規準</b>	<b>円滑な接続のための 留意事項</b>
	へんりつ、はら、こゝろ、こゝろ や夢などについて考え、主題を生み出す。 2 主題を基に構図や色彩などを試行錯誤し、義務教育9年間の既習事項を生かしながら、平面に表す。	(2) ・自分自身を深く見つめ、感じ取ったことや考えたことなどを基に主題を生み出し、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練る。 ・造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を深める。 (3) ・美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に自分自身を見つめて考えたことなどを基に表現したり、鑑賞したりする学習活動に取り組もうとする。	たことや考えたことなどを基に主題を生み出し、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 <鑑>造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を深めている。 (主体的に学習に取り組む態度) <態表>美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に自分自身を見つめて考えたことなどを基にした表現の学習活動に取り組もうとしている。 <態鑑>美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	
8 9	<b>心に響く音楽のかたち</b>  <b>伝える使う：描 3</b> <b>教下P40、41</b>  1 音楽から通じて感じたイメージから主題を生み出す。 2 音楽の美しさの特徴を考え、表現の構想を練る。 3 表現意図に応じて素材や技法を選択し、創造的に表す。 4 タブレットを活用して自分や友達の作品を鑑賞し、表現の意図や工夫を考え、話し合う。  <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">TP</div>	(1) ・さまざまな音楽の歌詞や曲想から、形や色彩などを考え、全体のイメージで捉えることを理解する。 ・意図に応じて自分の表現方法を追求し、素材や技法を生かして創造的に表し、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって表す。 (2) ・表したい曲想や雰囲気イメージなどを基に、主題を生み出し、色彩や形、構図の効果と美しさなどとの調和を総合的に考え、表現の構想を練る。 ・調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深める。 (3) ・美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に工夫を凝らし、構想を練り、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表し見通しをもって表現したり、鑑賞したりする学習活動に取り組む。	(知識・技能) <知>さまざまな技法や素材の生かし方を理解し、造形的な特徴などを基に全体のイメージで捉えることを理解している。 <技>意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表し、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって表している。 (思考・判断・表現) <思>伝えたい曲の美しさや魅力を基に発想し、自分のイメージした主題を深めながら表現の構想を練っている。 <鑑>音楽のイメージの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 (主体的に学習に取り組む態度) <態表>美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に工夫を生かして構想を練り、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表し見通しをもって表す表現の学習活動に取り組もうとしている。 <態鑑>美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に曲のイメージなどの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	
10	<b>きらめきゆらめき</b>  <b>感じる考える：つ 8</b> <b>教下P20、21</b>  1 光から感じるやさしさや楽しさ、柔らかさなど感情にもたらす効果に着目したり色彩	(1) ・光が感情にもたらす効果、色彩の変化などを基に、よさや美しさなどを全体のイメージなどで捉えることを理解する。〔共通事項〕 ・絵の具などの特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表す。	(知識・技能) <知>生活の中にある光の性質や、それらが感情にもたらす効果、色彩の変化などを基に、よさや美しさなどを全体のイメージなどで捉えることを理解している。 <技>絵の具などの特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表している。 (思考・判断・表現) <発>情景の中の光のイメージなどを基に主題を生み出し、光や影、色などの	中1「見つめると見えてくるもの」、 中2「視点の冒険」から接続

月	題材名 (領域・時間)	目標 (1)知識〔共通事項〕及び技能 (2)思考力、判断力、表現力等 (3)学びに向かう力、人間性等	評価規準	円滑な接続のための 留意事項
	<p>を豊かに捉えたりして理解を深める。</p> <p>2 光がもたらすさまざまな感情や美しさ、色彩の変化に自分自身を投影して主題を生み出す。</p> <p>3 主題を基に形や色彩などを工夫して構想を練る。</p> <p>4 材料や用具を工夫して、より美しいものを目指して試行錯誤を続けるなど、自分の表現方法を追求して創意工夫して表す。</p> <p>5 自分や友達の作品を鑑賞し、光の表現に込められた意図や工夫</p>	<p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>情景の中の光のイメージなどを基に主題を生み出し、光や影、色などの効果を考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練る。</li> <li>造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深める。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に光や影、色などの効果を考え構想を練り、意図に応じて自分の表現方法を追求して表現したり、鑑賞したりする学習活動に取り組もうとする。</li> </ul>	<p>効果を考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。</p> <p>&lt;鑑&gt;造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。</p> <p>(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>&lt;態表&gt;美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に光や影、色などの効果を考え構想を練り、意図に応じて自分の表現方法を追求して表す表現の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>&lt;鑑鑑&gt;美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>	
11	<p>アートカードを使って鑑賞しよう</p> <p>鑑賞 1</p> <p>1 アートカードを鑑賞して、作品の形や色彩について気付いたこと、感じたこと、考えたことを話し合う。</p> <p>2 作者が作品を通じて訴えたいことを何なのか、時代や社会的背景なども視野に入れて作者の心情や表現の意図と創造的な工夫について考え、意見を述べ合う。</p> <p>3 オリジナルの展覧会を企画して鑑賞し合う。</p>	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>形や色彩などが感情にもたらす効果や、物の組合せや構図などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解する。〔共通事項〕</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の訴えたいことや表現の意図と創造的な工夫や、社会における美術の力について考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深める。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に絵に込められた作者の訴えたいことや表現の意図と創造的な工夫や、社会における美術の力について考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとする。</li> </ul>	<p>(知識・技能)</p> <p>&lt;知&gt;形や色彩などが感情にもたらす効果や、物の組み合わせや構図などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。</p> <p>(思考・判断・表現)</p> <p>&lt;鑑&gt;造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の訴えたいことや表現の意図と創造的な工夫や、社会における美術の力について考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。</p> <p>(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>&lt;態鑑&gt;美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に絵に込められた作者の訴えたいことや表現の意図と創造的な工夫や、社会における美術の力について考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>	<p>中1「日常の中の美術館に行こう」から接続</p> <p>美術館との連携</p>
12	<p>自分へ贈る卒業記念品</p> <p>伝える使う：つ 8</p> <p>教下P34、35</p> <p>1 卒業記念品として、使う場面や思いなどから主題を生み出す。</p> <p>2 造形的な美しさなどを考えて構想を練る。</p> <p>3 材料や用具の特性を生かしながら、見通しをもって創造的に表す。</p>	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>形や色彩、材料などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、全体のイメージで捉えることを理解する。〔共通事項〕</li> <li>材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求し、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって表す。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>構成や装飾の目的や条件などを基に、使う場面や思いなどから主題を生み出し、美的感覚を働かせて調和のとれた洗練された美しさなどを総合的に考え、表現する構想を練る。</li> </ul>	<p>(知識・技能)</p> <p>&lt;知&gt;形や色彩、材料などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、全体のイメージで捉えることを理解している。</p> <p>&lt;技&gt;材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求し、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって表している。</p> <p>(思考・判断・表現)</p> <p>&lt;発&gt;構成や装飾の目的や条件などを基に、使う場面や思いなどから主題を生み出し、美的感覚を働かせて調和のとれた洗練された美しさなどを総合的に考え、表現する構想を練っている。</p> <p>&lt;鑑&gt;使う場面や思いなどとの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。</p>	



月	題材名 (領域・時間)	目標 (1)知識〔共通事項〕及び技能 (2)思考力、判断力、表現力等 (3)学びに向かう力、人間性等	評価規準	円滑な接続のための 留意事項
	主な学習活動			
	4 自分や友達の作品を鑑賞し、表現の意図や工夫を考え、話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使う場面や思いなどとの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深める。</li> <li>(3)</li> <li>・美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に調和のとれた装飾を考え構想を練り、意図に応じて表現方法を追求し見通しをもって表現したり、鑑賞したり</li> </ul>	<p>(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>&lt;態表&gt;美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に調和のとれた装飾を考え構想を練り、意図に応じて表現方法を追求し、見通しをもって表す表現の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>&lt;態鑑&gt;美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に使う場面や飾る場所、思いなどとの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>	
1	心がほっとなごむもの	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・形や色彩、材料などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、遊び心などを全体のイメージで捉えることを理解する。〔共通事項〕</li> <li>・材料や用具の特性を生かし、意図に応じて表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって創造的に表す。</li> <li>(2)</li> <li>・使う目的や条件などを基に、使用する者への作用、機知やユーモアなどから主題を生み出し、美的感覚を働かせて調和のとれた洗練された美しさなどを総合的に考え、表現する構想を練る。</li> <li>・使いやすさや遊び心などとの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深める。</li> <li>(3)</li> <li>・美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に調和のとれた装飾を考え構想を練り、意図に応じて表現方法を追求し見通しをもって表現したり、鑑賞したり</li> </ul>	<p>(知識・技能)</p> <p>&lt;知&gt;形や色彩、材料などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、遊び心などを全体のイメージで捉えることを理解している。</p> <p>&lt;技&gt;・材料や用具の特性を生かし、意図に応じて表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって創造的に表している。</p> <p>(思考・判断・表現)</p> <p>&lt;発&gt;使う目的や条件などを基に、使用する者への作用、機知やユーモアなどから主題を生み出し、美的感覚を働かせて調和のとれた洗練された美しさなどを総合的に考え、表現する構想を練っている。</p> <p>&lt;鑑&gt;使いやすさや遊び心などとの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。</p> <p>(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>&lt;態表&gt;美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に調和のとれた装飾を考え構想を練り、意図に応じて表現方法を追求し、見通しをもって表す表現の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>&lt;態鑑&gt;美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に使う場面や飾る場所、思いなどとの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>	
2	伝える使う：つ			
3	教下P42、43			
	<p>1 使う目的や条件を元に、使用するものへの作用や機知やユーモアなどから主題を生み出す。</p> <p>2 勾玉作りを通して、材料や用具の特性を生かしながら見通しを持って創造的に表す。</p>			

月	<b>題材名 (領域・時間)</b> <b>主な学習活動</b>	<b>目標</b> (1)知識〔共通事項〕及び技能 (2)思考力、判断力、表現力等 (3)学びに向かう力、人間性等	<b>評 価 規 準</b>	<b>円滑な接続のための 留意事項</b>
---	---	--	----------------	---------------------------

月	<b>題材名 (領域・時間)</b> <b>主な学習活動</b>	<b>目標</b> (1)知識〔共通事項〕及び技能 (2)思考力、判断力、表現力等 (3)学びに向かう力、人間性等	<b>評 価 規 準</b>	<b>円滑な接続のための 留意事項</b>
---	---	--	----------------	---------------------------

令和5年度 保健体育科年間計画

さいたま市立 岸 中学校

学校行事	1 学期													2 学期												3 学期						年間授業 時数合計							
	4			5			6			7			9			10			11			12			1	2		3											
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31		32	33	34	35	36		
1年	理 体づくり 保健	8	陸上 I 1 2			水泳・ハンドボール 1 4			理 陸上 II・器械 1 0 保健	球技 II (ソフト・バレー・テニス) 1 5			陸上 III 長距離走 6	剣道 ダンス 6	理 剣道 ダンス 4 保健 4	球技 III (バスケ・サッカー・卓球) 1 2		105																					
2年	理 体づくり 保健	8	陸上 I 1 2			水泳・ハンドボール 1 4			理 陸上 II・器械 1 1 保健	球技 II (ソフト・バレー・テニス) 1 5			陸上 III 長距離走 6	剣道 ダンス 6	理 剣道 ダンス 5 保健 6	球技 III (バスケ・サッカー・卓球) 9		105																					
3年	理 体づくり 保健	9	陸上 I 1 2			水泳・ハンドボール 1 4			理 陸上 II 器械・ダンス 1 2 保健 8	球技 II (ソフト・バレー・テニス・剣道) 1 2			陸上 III 長距離走 1 2		理 球技 III (バスケ・サッカー・卓球) 1 4 保健 6	105																							
第1学年 内容(学習内容、領域選択、種目選択状況)														時数	第2学年												時数	第3学年						時数					
体づくり運動	必修	ア 体ほぐしの運動 イ 体力を高める運動											9	必修	ア 体ほぐしの運動 イ 体力を高める運動											8	必修	ア 体ほぐしの運動 イ 体力を高める運動											9
器械運動	必修	マット運動 跳び箱											5	必修	マット運動 跳び箱											5	選択	マット運動 跳び箱より選択											12
陸上 I	必修	短距離走・リレー											12	必修	短距離走・リレー											12	必修	短距離走・リレー											12
陸上 II	必修	走り幅跳び・ハードル走											5	必修	走り幅跳び・ハードル走											6	選択	走り幅跳び											12
陸上 III	必修	長距離走											6	必修	長距離走											6	必修	長距離走											12
水泳	必修	クロールまたは平泳ぎを含む4泳法を2選択											7	必修	クロールまたは平泳ぎを含む4泳法を2選択											7	必修	クロール・平泳ぎ・背泳ぎバタフライより選択											7
球技 I	必修	ハンドボール											7	必修	ハンドボール											7	必修	ハンドボール											7
球技 II	必修	ソフトボール バレーボール テニス											15	必修	ソフトボール バレーボール テニス											15	選択	ソフトボール バレーボール テニスより1選択											12
球技 III	必修	バスケット サッカー 卓球											12	必修	バスケット サッカー 卓球											9	選択	サッカー、バスケット、卓球より1選択											14
武道	必修	女子 剣道											10	必修	男子 剣道											11	選択	剣道 球技 II と選択											12
ダンス	必修	男子 ダンス											10	必修	女子 ダンス											11	選択	リズムダンス 陸上 II・器械と選択											12
体育理論	必修	運動やスポーツの多様性											3	必修	運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方											3	必修	文化としてのスポーツの意義											3
保健	必修	(1)健康な生活と疾病の予防 ア 健康の成り立ちと疾病の発生要因 イ 生活習慣と健康 (2)心身の機能の発達と心の健康 ア 身体機能の発達 イ 生殖にかかわる機能の成熟 ウ 精神機能の発達と自己形成 エ 欲求やストレスへの対処と心の健康											15	必修	(1)健康な生活と疾病の予防 ウ 生活習慣病などの予防 エ 喫煙・飲酒・薬物乱用と健康 (3)傷害の防止 ア 交通事故や自然災害などによる傷害の発生要因 イ 交通事故などによる傷害の防止 ウ 自然災害による傷害の防止 エ 応急手当											16	必修	(1)健康な生活と疾病の予防 オ 感染症の予防 カ 個人の健康を守る社会の取組 (4)健康と環境 ア 身体環境に対する適応能力・至適範囲 イ 飲料水や空気の衛生的管理 ウ 生活に伴う老廃物の衛生管理											17

令和5年度 教科(単元)の評価基準

さいたま市立 岸 中学校

分野	評価方法・観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
体育分野 体づくり運動 器械運動 陸上競技 水泳 球技 武道(剣道) ダンス	出席状況、見学(回数・理由)、欠席状況			○
	授業観察(全般的な態度、服装、仲間との協力、工夫する力、技能の様子、指示理解の様子等)	○	○	○
	実技テスト、記録会、発表会 (リーグ戦、試合、日々の結果、記録等を含む)	○		
	学習カード、学習ノート、学習のまとめ 定期テスト	○	○	
	授業観察(関心、意欲、態度、発表、発言)	○	○	○
保健分野	学習カード、学習ノート、学習のまとめ 定期テスト	○	○	



3 学 期	武道 剣道	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・武道の特性に触れながら、学び方や安全の確保の仕方について理解する。・基本の打ち方や技能を身に付け簡易な試合ができる。・伝統的な行動の仕方へ留意し、互いに相手を尊重し、協力して運動ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・用具の扱い方</li> <li>・竹刀さばき足さばき基本動作</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○知識</li> <li>①武道の特性や成り立ち、伝統的な考え、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて言ったり書き出したりしている。</li> <li>②技能</li> <li>(剣道)</li> <li>①相手の動きに応じた基本動作やしかけ技や応じ技の基本となる技を行うことができる。</li> <li>②打ったり受けたりなどの簡易な攻防をすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。</li> <li>②自己の課題について考えたことを他者に伝えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①武道に積極的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守っている。</li> <li>②分組した役割を果たしている。</li> <li>③一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めている。</li> <li>④厳し手を用いないなど健康・安全に留意している。</li> </ul>	
	ダンス	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・恥ずかしがらず思い切り身体を動かし、イメージを表現できる。</li> <li>・音楽やリズムに合わせて踊るなど、協力して動きをつくり、楽しく学習できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウォーミングアップ</li> <li>・振動・創作型の表現</li> <li>・リズムダンス</li> <li>・発表会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○知識</li> <li>①ダンスの特性や由来、表現の仕方、その運動に関連して高まる体力などについて言ったり書き出したりしている。</li> <li>②技能</li> <li>(創作ダンス)</li> <li>①多様なテーマから表したイメージを捉え、動きに変化を付けて即興的に表現することができる。</li> <li>②変化のあるひとまとまりの表現にして踊ることができる。</li> <li>(フォークダンス)</li> <li>①日本の民謡や外国の踊りから、それらの踊り方の特徴を捉え、音楽に合わせて特徴的なステップや動きで踊ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①表現などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。</li> <li>②自己の課題や自己や仲間が考えたことを他者に伝えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ダンスに積極的に取り組み、仲間の学習を援助している。</li> <li>②交流などについての話し合いに貢献している。</li> <li>③一人一人の違いに応じた課題や役割を認めようとしている。</li> <li>④健康・安全に留意している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一小学校5・6年・いろいろな題材から表したイメージをとらえ、即興的な表現や簡単なひとまとまりの表現で踊ること。</li> </ul>
	保健 ・心身の機能の 発 達と心の健康 防	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体機能の発達、生類に関わる機能の成熟、精神機能の発達と自己形成及び欲求やストレスへの対処と心の健康について理解し、ストレスへの対処の仕方を身につけることができるようにする。</li> <li>・心身の機能の発達と心の健康に関する事象や情報を基に課題を発見し、疾病等のリスクを軽減したり、生活の質を高めたりすることと関連づけ解決方法を考え、適切な方法を選択し、それらを伝えたり、表したりすることができるようにする。</li> <li>・心身の機能の発達と心の健康について関心をもち、学習の進め方を工夫・調整し、自他の健康の保持増進や回復についての学習に主体的に取り組むことができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体の発育・発達</li> <li>・呼吸器・循環器の発育・発達(心臓発生法実習)</li> <li>・生殖機能の成熟</li> <li>・異性への尊重と性情報への対処</li> <li>・心臓発生法実習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○知識</li> <li>①身体には多くの器官が発育し、それに伴いさまざまな機能が有り、その発育発達の種類やその程度には個人差があることを言ったり、書き出したりしている。</li> <li>②呼吸器・循環器の機能が発達し、この時期に適度な運動を継続することで発育・発達が促されることを言ったり、書き出したりしている。</li> <li>③内分泌の働きによって生類に関わる機能が成熟することや自分を大切にすることの必要であることを、言ったり、書き出したりしている。</li> <li>④生殖機能の成熟に伴い、異性への関心や性衝動が生じることから、異性への尊重や性情報への適切な対処を言ったり、書き出したりしている。</li> <li>○技能</li> <li>①胸骨圧迫、AEDの使用などの心臓発生法ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①心身の機能の発達と心の健康における事柄や情報などについて、保健に関わる原則や概念を基に整理をしたり、個人生活と関連付けたりして、自他の課題を発見することができる。</li> <li>②心身の機能の発達と心の健康について、課題の解決方法とそれを選択した理由などを、他者と話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて伝えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①学習内容に関心をもち、教科書の資料を活用したり、身近な情報などを取集したりして、課題について調べたり取り組んでいる。</li> <li>②自分の意見を言ったり、他者の意見を取り入れたりして、自己の学習の進め方や活用する資料を変える。調べた内容を確認・修正するなど、学習を調整しながら取り組んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一小学校4年生</li> <li>・年齢に伴う体の変化と個人差、思春期の体の変化、体により発達させるための生活。</li> <li>○一小学校5・6年</li> <li>・心臓発生法トレーニングツール</li> <li>・「あつ君」を用いた実習</li> <li>・心の発達、心と体の密接な関係、不安や悩みへの対処の仕方。</li> <li>・「明日も進む いのちの」指導上の留意点参照</li> </ul>
	体育理論	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動やスポーツには、特有の技術や戦略があり、その学び方には一定の方法があることを理解できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動やスポーツの学び方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○知識</li> <li>①近代や戦後に比べて、生進にわたって運動を楽しむためには、自己に合った運動やスポーツの多様な楽しみ方を見付けたり、工夫したりすることが大切であることを言ったり書き出したりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①運動やスポーツには、様々な必要性や関わり方、楽しさがあることを、思春・判断・表現している。</li> <li>②生進にわたって多様な形で運動やスポーツに関わり楽しむ方法を考え、他者に伝えたりノートなどに記述したりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①学習内容に関心をもち、教科書の資料を活用したり、身近な情報などを取集したりして、課題について調べたり取り組んでいる。</li> <li>②自分の意見を言ったり、他者の意見を取り入れたりして、自己の学習の進め方や活用する資料を変える。調べた内容を確認・修正するなど、学習を調整しながら取り組んでいる。</li> </ul>	
球技Ⅲ サッカー バスケット 卓球	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡易ゲームを通して、種目の特性に触れながら個人技能や集団の技能を高めることができる。</li> <li>・ゲーム中での役割分担が目的性、積極的にできる。</li> <li>・ルールを守る姿勢を持ち、勝敗に対し公正な態度をとることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サッカー・個人技能(キック、ドリブル等)</li> <li>・バスケット・個人技能(パス、シュート等)簡易ゲーム</li> <li>・卓球・サーブ、フォアハンド簡易ゲーム</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○知識</li> <li>①球技の特性や成り立ち、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて言ったり、書き出したりしている。</li> <li>②技能</li> <li>①ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防をすることができる。</li> <li>②基本的な特性や仲間と連携した動きでゲームを展開することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。</li> <li>②自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①球技に積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守らうことや、作戦などについての話し合いに参加することなどをしてしている。</li> <li>②一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとするや、仲間の学習を援助することなどをしてしている。</li> <li>③健康・安全に留意している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一小学校5・6年</li> <li>・簡易化されたゲームで、ボール操作やボールを受けるための動きによって、攻防をすること。</li> </ul>	
保健 ・心身の機能と心の 健康	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体機能の発達、生類に関わる機能の成熟、精神機能の発達と自己形成及び欲求やストレスへの対処と心の健康について理解し、ストレスへの対処の仕方を身につけることができるようにする。</li> <li>・心身の機能の発達と心の健康に関する事象や情報を基に課題を発見し、疾病等のリスクを軽減したり、生活の質を高めたりすることと関連づけ解決方法を考え、適切な方法を選択し、それらを伝えたり、表したりすることができるようにする。</li> <li>・心身の機能の発達と心の健康について関心をもち、学習の進め方を工夫・調整し、自他の健康の保持増進や回復についての学習に主体的に取り組むことができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心の発達</li> <li>・自己形成と心の健康</li> <li>・心と体の関わり</li> <li>・欲求と心の健康</li> <li>・ストレスによる健康への影響</li> <li>・ストレスへの対処法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○知識</li> <li>①知的機能、情意機能、社会性などの精神機能は生活経験などの影響を受け発達することや言ったり、書き出したりしている。</li> <li>②自己形成がなされること、それは心の健康と関わりが深いことを言ったり、書き出したりしている。</li> <li>③精神と身体は、相互に影響を与え、関わり合っていることを言ったり、書き出したりしている。</li> <li>④欲求の実現の状況が心の健康や生活に悪い影響を与えることがあることを、言ったり、書き出したりしている。</li> <li>⑤ストレスに適切な対処ができないと心の健康や生活に悪い影響を与えることを、言ったり、書き出したりしている。</li> <li>○技能</li> <li>①ストレスの適切な対処の方法を理解しているとともに、リラクゼーションなどの対処の方法ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①欲求やストレスとその対処について、習得した知識や技能を自他の生活と比較したり、活用したりして心身の健康を保持増進する方法やストレスへの適切な対処の方法を選択することができる。</li> <li>②心身の機能の発達と心の健康について、課題の解決方法とそれを選択した理由などを、他者と話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて伝えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①学習内容に関心をもち、教科書の資料を活用したり、身近な情報などを取集したりして、課題について調べたり取り組んでいる。</li> <li>②自分の意見を言ったり、他者の意見を取り入れたりして、自己の学習の進め方や活用する資料を変える。調べた内容を確認・修正するなど、学習を調整しながら取り組んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一小学校5・6年</li> <li>・心の発達、心と体の相互の影響、不安や悩みへの対処の仕方。</li> </ul>	

令和5年度 第3学年 保健体育科 年間指導計画

さいたま市立岸中学校

学期	領域・単元	時数	単元のねらい	指導内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	円滑な接続のための留意事項
1学期	体育理論	1	・文化としてのスポーツの意義について、理解できるようにする。 ・文化としてのスポーツの意義について、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができるようにする。 ・文化としてのスポーツの意義について関心をもち、主体的に学習の進め方を工夫・調整し、粘り強く学習に取り組むことができるようにする。	・スポーツの文化的意義 ・健康やかな身の獲得 ・豊かな交流を生み出すスポーツ ・自己開発とスポーツ	○知識 ①スポーツは、文化的な生活を営みよりよき生きていくために重要であることを、言ったり書き出したししている。	①スポーツが、文化的な生活、国際観戦、世界平和、人々の結び付きなどに果たす役割について、思考・判断・表現している。 ②文化としてのスポーツの意義について、習得した知識を活用して、自己のスポーツ上の関わり方に生かす方法を考え、他者に伝えたり、ノートなどに記述したりしている。	①学習内容に関心をもち、教科書の資料を活用したり、身近な情報などを収集したりして、課題について調べるなど粘り強く学習に取り組んでいる。 ②自分の意見を言ったり、他者の意見を取り入れたらして、自己の学習の進め方や活用する資料を変える、調べた内容を確認・修正するなど学習を調整しながら取り組んでいる。	
	体づくり	9	・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、健康の保持増進や体力の向上を図り、目的に適した運動計画を立て取り組むことができる。	(体づくり運動) ・ストレッチ運動・リズム体操・補強運動・なわび (体力を高める運動) 体力を高める運動のうち、動きを保持する能力を高めるための運動として、本校では集団走を実施。準備運動の一つとして、全員で行う集団行動である。ねらいとしては、体力の向上、集団の中で達成感を高めることである。集団走を終った後の心拍数や疲労感を手掛かりに、子どもたちに達成感を味わわせたい。(実生活に活かす運動の計画) ・運動不足を解消する、体調を維持するための健康に生活するための計画を立てる。 ① ①ねらいは何か ②いつ、どこで運動をするのか ③どのような運動を選ぶのか ④運動強度、時間、回数	○知識 ①運動を継続する意義や、体の構造、運動の原則について言ったり書き出したししている。 ②ねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立てることができる。	①自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。 ②自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	①体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合いをしている。 ②一人ひとりの違いに応じた動きなどを大切にしている。 ③話し合いに貢献している。 ④健康・安全に留意している。 集団走では、声の大きさ、ひじと膝の高さや角度、姿勢などを細かく設定し、実践する。それに対して積極的に取り組むとともに、自己の体の動きが高まる可能性があることを理解し、自己の体の動きに応じた方ができる。また、自己の能力を高めただけでなく、仲間の達成感を高めて気持ちよく活動したりすることにつながることを理解し、取り組めることができる。	○中学校1・2年 ・健康に生活するための体力を高める運動の計画を立て、取り組むこと。 ・自己と他者の体力の違いに配慮し、運動に取り組むこと。 ・実生活で継続しやすい運動例を選ぶこと。 【道徳】 日友情・信頼
	陸上競技 I	12	・チームでに適した課題を持ち、チームの目標タイムに向けて協力して計画的に学習ができる。 ・用具の点検をはじめ、安全に留意して運動ができる。	・腕振りと足の動き ・リレー、バトンパス ・記録への挑戦	○知識 ①陸上競技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方などについて言ったり、書き出したししている。 ○技能 ①短距離走・リレーでは、滑らかな動きで走(走る)ことやバトンの受渡しでタイミングを合わせることができる。 ②走り幅跳びでは、スピードに乗った助走から着早踏み切って跳ぶことができる。	①動きなどの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。 ②自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	①陸上競技に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守っている。 ②分組した役割を果たしている。 ③一人ひとりの違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなど健康・安全に留意している。	○中学校1・2年 ・前走者の速さ前回の合同と、次走者のスタートのタイミングを合わせて、バトンの受け渡すこと。
	水泳	7	・自己の能力に適した課題を持ち、技能を高め長く泳ぐことができる。 ・水泳の事故防止に関する心得を守り、健康・安全に留意して活動できる。 【防災】	・水慣れ ・ブル、キック、コンビネーション ・タイム、距離へのチャレンジ	○知識 ①泳法の名称や行い方について、言ったり書き出したししている。 ②運動観察の方法、体力の高め方などについて理解したことを言ったり書いたりしている。 ○技能 ①ウォール、平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳ぎたり、速く泳ぎたりすることができる。 ②背泳ぎ、バタフライでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐことができる。 ③複数の泳法で泳ぐこと、又はリレーをすることができる。	①泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。 ②自己の考えたことを他者に伝えている。	①水泳に自主的に取り組み、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしている。 ②作戦などについての話し合いに貢献している。 ③自己の責任を果たそうとしている。 ④一人ひとりの違いに応じた課題や挑戦を大切にしている。 ⑤水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保している。	○中学校1・2年 ・ウォールでは、手と足呼吸のバランスをとり長く泳ぐこと。 ・平泳ぎでは、手と足、呼吸のバランスを長く泳ぐこと。
	ハンドボール(必修)	7	・簡易ゲームを通して、種目の特性に触れながら個人技能や集団の技能を高めることが出来る。 ・ゲームの中での役割分担が自主的、積極的にできる。 ・ルールを守る姿勢を持ち、勝敗に対し公正な態度をとることができる。	ハンドボール 個人技能・集団技能・ゲーム 個人技能(パス、シュート等)ゲーム	○知識 ①陸上競技の名称や行い方、運動観察の方法、体力の高め方などについて理解したことを言ったり書いたりしている。 ○技能 ①ゴール型では、安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻撃することができる。	①攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。 ②自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	①球技に自主的に取り組むとともに、フェアプレイを大切にしている。 ②自分の意見を言ったり、他者の意見を取り入れたらして、自己の学習の進め方や活用する資料を変える、調べた内容を確認・修正するなど学習を調整しながら取り組んでいる。	・ゴール型では、ボール操作と空間に走りこむなどの動きでゴール前での攻撃を展開すること。
	保健・健康と環境	3	・身体や環境に対する適応能力・至適範囲、飲料水や空気の衛生的管理及び生活に伴う廃棄物の衛生的管理など、環境と健康の関わりについて理解できるようにする。 ・健康と環境に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクを軽減したり、生活を高めたりすることなどと関連付けて解決方法を考え、適切な方法を選択し、それを伝えたり、表したりすることができるようにする。 ・健康と環境について関心をもち、主体的に学習の進め方を工夫・調整し、粘り強く学習に取り組むことができるようにする。	・環境への適応能力 ・活動に適する環境 ・飲料水の衛生的管理 ・室内の空気の衛生的管理 ・生活に伴う廃棄物の衛生的管理	○知識 ①身体には、環境に対してある程度まで適応能力があり、身体への適応能力を超えた環境は、健康に影響を及ぼすことがあることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ②快適で健康な生活を送るための温度、湿度や明るさには一定の範囲があることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ③飲料水や空気には健康と密接な関わりがあり、飲料水や空気を衛生的に保つには、基準に適合するよう管理する必要があることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ④空気は健康と密接な関わりがあること、室内の空気を衛生的に保つには基準に適合するよう管理することが必要であることを言ったり書いたりしている。 ⑤人間の生活によって生じた廃棄物は、環境の保全に十分配慮し、環境を汚染しないように衛生的に処理する必要があることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	①健康と環境に関わる事象や情報などを分析・整理し、健康の保持増進のための原則や概念を明らかにするため、課題を発見し、習得した知識を活用して、科学的に思考・判断・表現している。 ②快適で健康な生活を送るための温度、湿度や明るさには一定の範囲があることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ③飲料水や空気には健康と密接な関わりがあり、飲料水や空気を衛生的に保つには、基準に適合するよう管理する必要があることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ④空気は健康と密接な関わりがあること、室内の空気を衛生的に保つには基準に適合するよう管理することが必要であることを言ったり書いたりしている。 ⑤人間の生活によって生じた廃棄物は、環境の保全に十分配慮し、環境を汚染しないように衛生的に処理する必要があることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	①学習内容に関心をもち、教科書の資料を活用したり、身近な情報などを収集したりして、課題について調べるなど粘り強く学習に取り組んでいる。 ②自分の意見を言ったり、他者の意見を取り入れたらして、自己の学習の進め方や活用する資料を変える、調べた内容を確認・修正するなど学習を調整しながら取り組んでいる。	○小学校3・4年 ・健康の大切さを認識するとともに、健康によい生活について理解できるようにすること。 【理科】 気象時間観測、化学変化、感覚器官、神経系、運動器
体育理論	1	・文化としてのスポーツの意義について、理解できるようにする。 ・文化としてのスポーツの意義について、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができるようにする。 ・文化としてのスポーツの意義について関心をもち、主体的に学習の進め方を工夫・調整し、粘り強く学習に取り組むことができるようにする。	・スポーツの教育的意義と倫理的価値 ・国際観戦と世界平和 ・スポーツとメディア	○知識 ①オリンピック・パラリンピック競技大会や国際的なスポーツ大会などについて、言ったり書き出したししている。	①スポーツが、文化的な生活、国際観戦、世界平和、人々の結び付きなどに果たす役割について、思考・判断・表現している。 ②文化としてのスポーツの意義について、習得した知識を活用して、自己のスポーツ上の関わり方に生かす方法を考え、他者に伝えたり、ノートなどに記述したりしている。	①学習内容に関心をもち、教科書の資料を活用したり、身近な情報などを収集したりして、課題について調べるなど粘り強く学習に取り組んでいる。 ②自分の意見を言ったり、他者の意見を取り入れたらして、自己の学習の進め方や活用する資料を変える、調べた内容を確認・修正するなど学習を調整しながら取り組んでいる。		
陸上競技 II	12	・自己の能力に適した課題を持ち、協力して計画的に学習ができる。 ・用具の点検をはじめ、安全に留意して運動ができる。	・ハードリング ・幅跳びの助走の仕方	(陸上競技) ○知識 ①自己の動きや仲間の動き方を分析するための、運動観察の方法について書き出している。 ②球の名称や行い方について学習した具体例を挙げている。 ○技能 ①走り幅跳びでは、助走のスピードとリズムカルな走りを生かして力強く踏み切り、より速くへ跳ぶことができる。 ②短距離走では、中間走へのつなぎを滑らかにして速く走ることができる。 ③ハードル走では、インターバルのスピードを維持した走りからハードルを低く越すことができる。	(陸上競技) ①動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。 ②自己の考えたことを、他者に伝えている。	(陸上競技) ①陸上競技の学習に自主的に取り組み、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしている。 ②自己の責任を果たそうとしている。 ③一人ひとりの違いに応じた課題や挑戦を大切にしている。 ④健康・安全を確保している。	○中学校1・2年 ・ハードル走では、スピードを維持した走りからハードルを低く越すこと。	



2 学 期	器械運動	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己の能力に適した課題を持ち、協力して計画的に学習ができる。</li> <li>用具の点検をはじめ、安全に留意して運動ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>マットは連続技</li> <li>跳び箱は回転系と切り返し系</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>器械運動</li> <li>知識 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 自己の動きや仲間の動き方を分析するための、運動観察の方法について言ったり、書き出したりにしている。</li> <li>② 技の名称や行い方について学習した具体例を挙げている。</li> </ul> </li> <li>技能 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに安定して行うことができる。</li> <li>② 条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを構成し演技することができる。</li> </ul> </li> <li>(跳び箱運動) <ul style="list-style-type: none"> <li>① 切り返し系や回転系の基本的な技を滑らかに安定して行うことができる。</li> <li>② 条件を変えた技や発展技を行うことができる。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>器械運動</li> <li>① 技など自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。</li> <li>② 自己の考えたことを、他者に伝えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>器械運動</li> <li>① 器械運動から自主的に取り組みとともに、よい演技を撮っている。</li> <li>② 互いに助け合い教え合っている。</li> <li>③ 一人ひとりの違いに応じた課題や挑戦を大切にしている。</li> <li>④ 健康・安全を確保している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一中学校1・2年</li> <li>・回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに行うこと。</li> <li>・切り返し系や回転系の基本的な技を滑らかに行うこと。</li> </ul>
	陸上競技Ⅲ	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己の能力に適した課題を持ち、協力して計画的に学習ができる。</li> <li>用具の点検をはじめ、安全に留意して運動ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ベース走、インターバル走、ロングジョック走</li> <li>・10分間記録走</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>知識</li> <li>① 自己の動きや仲間の動き方を分析するための、運動観察の方法について言ったり、書き出したりにしている。</li> <li>② 技術の名称や行い方について学習した具体例を挙げている。</li> <li>技能 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 長距離走では、自己に適したペースを維持して走ることができる。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。</li> <li>② 自己の考えたことを、他者に伝えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 陸上競技の学習に自主的に取り組み、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしている。</li> <li>② 自己の責任を果たそうとしている。</li> <li>③ 一人ひとりの違いに応じた課題や挑戦を大切にしている。</li> <li>④ 健康・安全を確保している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一中学校1・2年</li> <li>・長距離走では、ペースを守り、一定の距離を走ること。</li> </ul>
	球技Ⅱ(領域選択) ソフトボール バレーボール テニス	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>簡易ゲームを通し、楽しみながら技能を高めることが出来る。</li> <li>チームの中の自己の役割と責任を理解し、協力して活動ができる。</li> <li>・マナーを守り、勝敗に対し公正な態度をとれる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ソフトボール：キャッチボール、トスバテイング、ゲーム</li> <li>・バレーボール：パス技能、ローテーション、ゲーム</li> <li>・テニス：個人技能、ゲーム</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>知識</li> <li>① 技術の名称や行い方、運動観察の方法、体力の高め方などについて理解したことを言ったり書き出したりにしている。</li> <li>技能 <ul style="list-style-type: none"> <li>① ソフトボールでは、安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防することができる。</li> <li>② バレーボール、テニスでは、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。</li> <li>② 自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 球技に自主的に取り組みとともに、フェアなプレイを大切にしている。</li> <li>② 作戦などについての話し合いに貢献している。</li> <li>③ 一人ひとりの違いに応じたプレイなどを大切にしている。</li> <li>④ 互いに助け合い教え合ったりすることや健康・安全を確保したりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一中学校1・2年</li> <li>・バレーボールでは、ボールや用具の操作と位置に関与するなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防を展開すること。</li> <li>・ソフトボールでは、基本的なバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と位置での守備などによって攻防を展開すること。</li> </ul>
	「武道」(領域選択) 剣道	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>武道の特性に触れながら、学び方や安全の確保の仕方について理解する。</li> <li>・基本の打ち方や技能を身に付けて簡易な試合ができる。</li> <li>・伝統的な行動の仕方に留意して、互いに相手を尊重し、協力して運動ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・用具の使い方</li> <li>・基本切羽</li> <li>・竹刀さばき 足さばきの動作</li> <li>・仕掛け技、応じ技</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>知識</li> <li>① 武道の伝統的な考え方について言ったり書き出したりにしている。</li> <li>② 技の名称や見取り稽古の行い方、体力の高め方などについて言ったり書き出したりにしている。</li> <li>技能 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 相手の動きの変化に応じた基本動作やしなげ技や応じ技の基本となる技を行うことができる。</li> <li>② 基本動作や基本となる技を用いて、相手の構えを崩し、しかけたり応じたりするなどの攻防をすることができる。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 攻防などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。</li> <li>② 自己や仲間の課題について考えたことを他者に伝えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 武道に自主的に取り組み、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしている。</li> <li>② 自己の責任を果たそうとしている。</li> <li>③ 一人ひとりの違いに応じた課題や挑戦を大切にしている。</li> <li>④ 厳しきを用いない、相手の技能の程度や体力に応じて力加減するなど健康・安全に気を配っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一中学校1・2年</li> <li>相手の動きに応じた基本動作から基本となる技を用いて、打ったり受けたりするなどの攻防を展開すること。</li> </ul>
	ダンス	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>恥ずかしがらず思い切り身体を動かし、イメージを表現できる。</li> <li>・音楽やリズムに合わせて踊るなど、協力して動きをつくり、楽しく学習できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウォーミングアップ</li> <li>・リズムダンス</li> <li>・発表会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>知識</li> <li>① ダンスの名称や用語、踊りの特徴と表現の仕方について、言ったり書き出したりにしている。</li> <li>② 提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に、自己や仲間の課題、出来栄を他者に伝えている。</li> <li>技能 <ul style="list-style-type: none"> <li>① ダンスの特徴を捉え、踊ることができる。</li> <li>② 変化とまとまりを付けて、全身で自由に続けて踊ることができる。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 表現などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。</li> <li>② 提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に、自己や仲間の課題、出来栄を他者に伝えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ダンスに自主的に取り組み、仲間の学習を援助している。</li> <li>② 交代などについての話し合いに貢献している。</li> <li>③ 一人ひとりの違いに応じた表現や役割を認めている。</li> <li>④ 健康・安全に気を配っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一中学校1・2年</li> <li>動きに変化をつけて即興的に表現したり、変化のあるひとまとまりの表現にしたりすること。</li> </ul>
保健 ・健康な生活と疾病の予防③ ※心臓蘇生法	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>感染症の予防及び個人の健康を守る社会の取組について、理解できるようにする。</li> <li>・感染症の予防及び個人の健康を守る社会の取組に関する事象や情報を基に課題を発見し、健康のリスクを軽減したり、生活の質を高めたりする視点から解決を目指して科学的に思考・判断して、それらを他者に伝えたり、表したりすることができるようにする。</li> <li>・感染症の予防及び個人の健康を守る社会の取組について関心をもち、学習の進め方を工夫・調整し、自己の健康の保持増進や回復についての学習に主体的に取り組むことができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症の広がり方</li> <li>・感染症の予防</li> <li>・性感染症の予防</li> <li>・エイズの予防</li> </ul> <p>※心臓蘇生法の発展学習</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>知識</li> <li>① 感染症は、病原体が主な要因となって発生し、感染や発病には人の条件だけでなく、自然環境や社会環境も関わっていることを言ったり書き出したりにしている。</li> <li>② 感染症の多くは、発生源をなくすること、感染経路を遮断すること、体の抵抗力を高めることによって予防できることを言ったり書き出したりにしている。</li> <li>③ 性感染症の予防には、性的接触を避ける、コンドームを使用するなど感染のリスクを軽減する方法を身に付ける必要があることを言ったり書き出したりにしている。</li> <li>④ エイズの予防には、性的接触を避ける、コンドームを使用する、感染者や他人の血液などには触れないなどHIV感染のリスクを軽減する方法を身に付けることが必要であることを言ったり書き出したりにしている。</li> <li>技能 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 胸骨圧迫やAEDを用いた心臓蘇生法を行うことができる。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 感染症の予防及び健康を守る社会の取組に関する事象や情報を分析・整理し、感染症予防のための原則や概念を明らかにしたり、保健・医療機関を活用する方法を考えたりにする。</li> <li>② 感染症の予防及び健康を守る社会の取組について、疾病等にかかるリスクを軽減し健康を保持増進・回復する方法を考え、その理由などを、他者と話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて伝え合っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 学習内容に関心をもち、教科書の資料を活用したり、身近な情報などを収集したりして、課題について調べたり粘り強く学習に取り組んでいる。</li> <li>② 自分の意見を言ったり、他者の意見を取り入れたりして、自己の学習の進め方や活用する資料を変える、調べた内容を確認・修正するなど学習を調整しながら取り組んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一小学校5・6年</li> <li>・病気の発生要因や予防の方法を理解できるようにすること。</li> <li>【社会(公民)】</li> <li>国民の生活と政府の役割</li> </ul>	
体育理論	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化としてのスポーツの意義について、理解できるようにする。</li> <li>・文化としてのスポーツの意義について、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができるようにする。</li> <li>・文化としてのスポーツの意義について関心をもち、主体的に学習の進め方を工夫・調整し、粘り強く学習に取り組むことができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツによる人々の結び付き</li> <li>・違いを超えるスポーツ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>知識</li> <li>① スポーツは、民族や国、人種や性、障害などを越えて人々を結び付けることについて、言ったり書き出したりにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① スポーツが、文化的な生活、国際観音、世界平和、人々の結び付きなどに果たす役割について、思考・判断・表現している。</li> <li>② 文化としてのスポーツの意義について、習得した知識を活用して、自己のスポーツとの関わり方に生かす方法を考え、他者に伝えたり、ノートなどに記述したりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 学習内容に関心をもち、教科書の資料を活用したり、身近な情報などを収集したりして、課題について調べたり粘り強く学習に取り組んでいる。</li> <li>② 自分の意見を言ったり、他者の意見を取り入れたりして、自己の学習の進め方や活用する資料を変える、調べた内容を確認・修正するなど学習を調整しながら取り組んでいる。</li> </ul>		
3 学 期	球技Ⅲ(種目選択) サッカー バスケットボール 卓球	13	<ul style="list-style-type: none"> <li>簡易ゲームを通して、種目の特性に触れながら個人技能や集団の技能を高めることが出来る。</li> <li>・ゲームの中での役割分担が自主的、積極的にできる。</li> <li>・ルールを守る姿勢を持ち、勝敗に対し公正な態度をとることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>サッカー：個人技能・集団技能・ゲーム</li> <li>バスケット：個人技能(パス、シュート等)</li> <li>ゲーム</li> <li>卓球：個人技能、ゲーム</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>知識</li> <li>① 技術の名称や行い方、運動観察の方法、体力の高め方などについて理解したことを言ったり書き出したりにしている。</li> <li>技能 <ul style="list-style-type: none"> <li>① コール型では、安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防することができる。</li> <li>② 卓球では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。</li> <li>② 自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 球技に自主的に取り組みとともに、フェアなプレイを大切にしている。</li> <li>② 作戦などについての話し合いに貢献している。</li> <li>③ 一人ひとりの違いに応じたプレイなどを大切にしている。</li> <li>④ 互いに助け合い教え合ったりすることや健康・安全を確保したりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一中学校1・2年</li> <li>・ゴール型では、ボール操作と空間に走こむなどの動きでゴール前での攻防を展開すること。</li> </ul>

<p>保健 ・健康な生活と疾病の予防③</p>	<p>6</p>	<p>・感染症の予防及び個人の健康を守る社会の取組について、理解できるようにする。 ・感染症の予防及び個人の健康を守る社会の取組に関わる事象や情報を基に課題を発見し、健康のリスクを軽減したり、生活の質を高めたりする視点から解決を目指して科学的に思考・判断して、それらを他者に伝えたり、表したりすることができるようにする。 ・感染症の予防及び個人の健康を守る社会の取組について関心をもち、学習の進め方を工夫・調整し、自他の健康の保持増進や回復についての学習に主体的に取り組むことができるようにする。</p>	<p>・医薬品の利用 ・保健・医療機関の利用 ・健康を守る社会の取組 ・保健の学習を振り返ろう</p>	<p>①医薬品を効果的に使用するためには、医師や薬剤師の指示に従い、注意書きや説明書をきちんと読んで正しく使用することが必要であることを言ったり書き出ししたりしている。 ②健康の保持増進や疾病やけがからの回復には、地域の保健センターや保健所などの保健機関や医療機関を利用することが有効であることを言ったり書き出ししたりしている。 ③健康の保持増進や疾病の予防のためには、健康的な生活行動など個人の取組とともに、健康診断や健康相談、予防接種など社会の様々な取組によって解決が図られていることを、言ったり書き出ししたりしている。 ④生涯にわたって健康的な生活を送るためには、個人が主体的に努力し、社会全体でそれを支援することが重要であることを言ったり書き出ししたりしている。</p>	<p>①感染症の予防及び健康を守る社会の取組に関わる事象や情報を分析・整理し、感染症予防のための原則や概念を明らかにしたり、保健・医療機関を活用する方法を考えたりするため、自他の課題を発見し、習得した知識を活用して、科学的に思考・判断し、表現している。 ②感染症の予防及び健康を守る社会の取組について、疾病等にかかるリスクを軽減し健康を保持増進・回復する方法を考え、その理由などを、他者と話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて伝え合っている。</p>	<p>①学習内容に関心をもち、教科書の資料を活用したり、身近な情報などを収集したりして、課題について調べなど粘り強く学習に取り組もうとしている。 ②自分の意見を言ったり、他者の意見を取り入れたりして、自己の学習の進め方や活用する資料を変える。調べた内容を確認・修正するなど学習を調整しながら取り組んでいる。</p>	<p>○一小学校5・6年 ・病気の発生要因や予防の方法を理解できるようにすること。 【社会(公民)】 国民の生活と政府の役割</p>
-----------------------------	----------	--	---	---	---	---	--

# 技術・家庭科シラバス

## (1) 教科の目標

生活に必要な基礎的な知識と技術の習得を通して、生活と技術との関わりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。

## (2) 学習する項目

### 第1学年 (技術)

1学期	2学期	3学期
○生活や社会と、材料と加工の技術 ○材料を利用するための技術	○製作のための技能 ○製作における問題解決の手順 ○これからの材料と加工の技術	○生活や社会と情報の技術 ○情報とコンピュータ

### 第1学年 (家庭)

1学期	2学期	3学期
○自分の成長と家族家庭生活 ○日常着の活用 ○日常着の手入れ	○生活をゆたかにするための布を用いた製作	○住居の機能と安全な住まい方

### 第2学年 (技術)

1学期	2学期	3学期
○生活や社会と、エネルギー変換の技術 ○エネルギー資源の利用	○電気の利用 ○さまざまな生物育成の技術 ○これからの生物育成の技術	○情報の表現と伝達 ○情報セキュリティと情報モラル

### 第2学年 (家庭)

1学期	2学期	3学期
○食事の役割 ○栄養素のはたらき ○中学生に必要な栄養の種類とはたらき	○中学生に必要な栄養素を満たす1日分の献立作成 ○肉・魚・野菜の調理上の性質と調理	○計画的な金銭管理の必要性 ○金銭の管理と購入 ○消費者の権利と責任

### 第3学年 (技術)

1学期	2学期	3学期
○情報セキュリティと情報モラル ○計測と制御による問題解決	○計測と制御による問題解決 ○双方向性のあるコンテンツによる問題解決	○これからの情報の技術

### 第3学年 (家庭)

1学期	2学期	3学期
○自分の成長と家族・家庭生活生 ○幼児の生活と家族	○幼児の生活の家族 ○幼児との触れ合い	○家族・家庭や地域との関わり

### (3) 評価の観点

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
教科全体	生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けている。	生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を身に付けている。	より良い生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
技術分野	生活や社会で利用されている材料・加工・生物育成・エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解ができている。さらにそれらにかかる技能・技術と生活や社会や環境との関わりについて理解ができている。	生活や社会の中から、技術にかかわる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価改善するなど、課題を解決する力を身に付けている。	よりよい生活の実現や、持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を身に付けている。
家庭分野	家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けている。	家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを理論的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を身に付けている。	自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的しようとしている。

### (4) 評価の方法とめやす

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
教科全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テスト</li> <li>・実習の作業の様子</li> <li>・作品</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業のワークシート</li> <li>・自己評価シート</li> <li>・作品</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業のワークシート</li> <li>・自己評価シート</li> <li>・授業の様子</li> </ul>

題材名 【指導項目】	月	時間	○題材の目標 ・主な学習活動	評価規準			◎円滑な接続のための留意事項 □確実に定着させる内容 ・指導上の留意点 ◇他教科等との関連 ◆「さいたま市 安全指導の手引き」指導資料
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度	
題材1-1 「材料と加工の技術を探ろう」 <5時間> 【A(1)イ】	4 5	2	<p>○私たちの生活や社会を支える技術について、技術の見方・考え方を働かせて関心をもつことができる。</p> <p>・生活や社会を支える技術について考える。</p> <p>○技術の見方・考え方を働かせ、技術が生活の向上や作業の発展に影響を及ぼしている良い影響に気付くことができる。</p> <p>・技術の進展と生活・産業について考える。</p> <p>○技術が引き起こした問題と、その解決のために技術が果たす役割に気付くことができる。</p> <p>・技術の進展と環境について考える。</p>	<p>・技術が生活の向上や作業の発展に与える影響について理解している。</p>	<p>・材料と加工の技術に込められた問題解決の工夫について考えている。</p>	<p>・主体的に材料と加工の技術について考え、理解しようとしている。</p>	<p>◎3年間の技術分野の学習の見通しを立てさせるために、内容の「A材料と加工の技術」から「D情報の技術」までに示す技術について触れる。</p> <p>・技術が人間の生活を向上させ、我が国における産業の継承と発展に影響を与えていることに気付かせる。</p> <p>・技術の見方・考え方を働かせ、技術が生活の向上や産業の継承と発展に果たしている役割について関心をもたせる。</p> <p>・技術が環境問題の原因と解決に深く関わっていることに気付かせる。</p> <p>・技術の進展と環境との関係について関心をもたせる。</p> <p>・技術が果たしている役割について関心をもたせる。</p> <p>・D情報の技術で示されている「風評被害」や「サイバーセキュリティ」について、内容A～Dのすべてで取り上げる。</p> <p>◎小学校で習得したものづくりに関する基礎的・基本的な知識及び技能を把握する。</p> <p>□理科 小6「電気とわたしたちの暮らし」</p> <p>□社会 小3「昔の道具と暮らし」 「昔からうけつがれているもの」 小4「くらしとごみ」 小5「森林を守る人々」</p> <p>□図画工作 小3～小6 創造的な技能</p> <p>□道徳 A希望と勇気、克己と強い意志 C勤労 C我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度</p>
		3	<p>○技術の進歩について、技術の見方・考え方を働かせて身の回りの製品にある様々な視点や工夫について考えることができる。また、技術分野の学習とものづくりの進め方、作業の安全に関心をもつことができる。</p> <p>・身の回りの製品の工夫と技術の進歩について考える。</p> <p>・技術分野の学習にあたって、学習の進め方と作業の安全について考える。</p>	<p>・学習の進め方、作業の安全について理解している。</p>	<p>・技術の進歩について、技術の見方・考え方を働かせて身の回りの製品にある様々な視点や工夫について考えている。</p>		

題材名 【指導項目】	月	時間	○題材の目標 ・主な学習活動	評価規準			◎円滑な接続のための留意事項 ◇確実に定着させる内容 ・指導上の留意点 □他教科等との関連 ◆「さいたま市 安全指導の手引き」指導資料
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度	
題材1-2 材料と加工の技術を利用して、生活を豊かにする作品をつくろう 「三脚イスの製作」 <19時間> 【A(1)ア】 【A(2)ア、イ】 【A(3)ア、イ】	5	1	○身の回りにある製品等に使用されている材料の種類と特徴、利用方法を知り、問題解決の方法を探ることができる。 ・材料の種類と特徴について知る。 ・材料と環境とのかかわりについて知る。 ・身近な製品の材料の製造技術と加工技術について知る。 ・日本古来の技術について知る。 ・防災の技術について知る。			・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、基本的な技術の仕組みや材料の種類と特徴、利用方法について理解しようとしている。	◇材料と加工の技術の見方・考え方 ◇家具や食器などの身の回りの製品、家屋、高層建築物、橋梁などの構造物に用いられている材料と加工の技術 ◇日本の伝統的な材料と加工の仕組み ◇主な材料や加工についての科学的な原理・法則と、材料の製造方法や成形方法などの基礎的な技術の仕組み ◎この題材では、生活の課題の発見と解決を意識させ、特に設計と製作図、工程表等を重視させながら製作する。 ・目的や条件に応じて製作品に必要な機能と構造を工夫する能力を育成する。 ・製作には、製作図が必要であることや構想の表示方法を理解できるようにする。 ・製作に必要な図表を基にして、材料取り、部品加工、組立て・接合、仕上げなどができるようにする。 ・材料と加工の技術が社会や環境に果たしている役割と影響について理解できるようにする。 ◆「服装及び教室環境を整えよう」 ◆「材料を切断しよう（両刃のこぎり）」 ◆「材料を切断しよう（プラスチック）」 ◆「材料に穴をあけよう」 ◆「材料を切削しよう（かんな）」 ◆「材料を切削しよう（ベルトサンダ）」 ◆「部品を組み立てよう（くぎ接合）」
		1	○材料や加工の特性等の原理・法則と、材料の製造・加工方法等の基礎的な技術の仕組みについて理解することができる。 ・材料及び加工の特性について知る。 ・基礎的な材料と加工の技術の仕組みについて知る。	・材料の製造方法や成形方法などの基礎的な技術の仕組みを理解している。			
	6	1	○生活や社会の中から技術に関わる問題を見だし、それらに関する調査等に基づき、現状をさらに良くしたり、新しいものを生み出したりするために解決すべき課題を設定することができる。 ・身近な生活における問題を発見する。 ○製作に必要な設計の進め方を理解し、工程の確認をする。 ・設計の進め方を知る。 ・設計図を読み取る。 ・機能を知る。 ・構造を知る。 ・材料を知る。 ・加工方法を知る。 ・接合方法と仕上げ方法を知る。	・材料の製造・加工方法等の基礎的な技術の仕組みについて理解している。	・生活の中から材料と加工の技術と安全に関わる問題を見だして課題について考えている。	・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活や社会の中から技術に関わる問題を見だし、現状をさらに良くしたり、新しいものを生み出したりするために解決すべき課題を設定しようとしている。	

題材名 【指導項目】	月	時間	○題材の目標 ・主な学習活動	評価規準			◎円滑な接続のための留意事項 ◇確実に定着させる内容 ・指導上の留意点 □他教科等との関連 ◆「さいたま市 安全指導の手引き」指導資料
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
題材1-2 材料と加工の技術を利用して、生活を豊かにする作品をつくろう 「三脚イスの製作」  【A(1)ア】 【A(2)ア、イ】 【A(3)ア、イ】	6	2	○課題の解決策について、条件を踏まえて構想（設計・製作）し、試行・試作等を通じて解決策を具体化することができる。 ・構想をする。 ○使用目的と使用条件に即した機能と構造を検討し、構想を製作図にすることができる。 ・使用の目的と製作品を決定する。 ・機能を選択する。 ・構造を選択する。 ・材料を選択する。 ・加工方法を選択する。 ・接合方法を選択する。 ・仕上げ方法を選択する。 ・安全に工具や機器を使用する。		・課題を解決するために、製作品の使用目的や使用条件を明確にし、技術の見方・考え方を働かせて材料の使いやすさ及び丈夫さなどを比較・検討したうえで、課題を解決するために製作品やその構成部品の適切な形状と寸法などについて考えている。	・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決策について、条件を踏まえて構想しようとしている。	◆機器の使用時には、材料の固定方法や始動時及び運転中の注意事項を確認させる。治具を適切に用いる。 ・材料と加工の技術を適切に評価し活用する能力と態度を育成できるようにする。 ◎小学校では、拡大図・対称な図形や見取り図、展開図を学んできた。中学校では、尺度を考え、投影図や第三角法を使い構想図や製作図を作成、製図の決まりの必要性を知る。 □算数 小2・3・5 直線、三角形、四角形、平行四辺形、多角形 小2・3・6 長さ、量、単位、角 小3・4 整数、概数、四捨五入 小5 比例、百分率（%） 小6 図形の拡大図、対称な図形 □図画工作 小3～小6 創造的な技能
	7	2	○主として等角図及び第三角法による図法を中心とした製作に必要な図をかくことができる。 ・設計する。 ・製作に必要な図表をかく（組み立て図、部品図、部品表、材料取り図）	・製作に必要な図の役割やかき方を知り、かき表す技能を身に付けている。	・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。		
	9 5 1 0	6	○製作に必要なけがきをすることができる。 ・製作に必要なけがきをする。  ○材料を切断する工具や機器の構造や仕組みを理解し、安全に製作に必要な切断や切削ができる。 ・切断を行う。 ・切削を行う。 ・穴あけを行う。	・材料に適した加工方法について理解している。 ・製作に必要な図表を基にして、材料取りや部品加工ができる技能を身に付けている。			

題材名 【指導項目】	月	時間	○題材の目標 ・主な学習活動	評価規準			◎円滑な接続のための留意事項 ◇確実に定着させる内容 ・指導上の留意点 □他教科等との関連 ◆「さいたま市 安全指導の手引き」指導資料
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度	
題材1－3 生物育成の技術を さぐる 「豆苗の栽培」 <8時間> 【B(1)ア、イ】	12	2	○育成する生物の生長、生態の特性等の原理・法則と、育成環境の調整方法等の基礎的な技術の仕組みについて理解することができる。 ・生物育成の技術に込められた工夫やしぐみを調べる。 ・生物が成長する仕組みについて知る。 ・生物の分類・育種及び生理・生態の特性について知る。 ・光、土壌や培地、気温や水温、湿度、肥料や養液、衛生の育成環境を調整する方法について知る。 ・栽培に適した環境について知る。 ・土壌の性質と施肥について知る。 ・種まき、間引き、育苗の植えつけ（定植）について知る。 ○生物の生育に適する条件を知り、自分の栽培する作物の計画をまとめ、見直しをもつことができる。 ・生物育成のサイクルについて知る。 ・生物の育成計画と記録について知る。	・作物、動物及び水産生物の成長、生態などについての科学的な原理・法則を理解している。		・主体的に生物育成の技術について考え、理解しようとしている。	◎この題材では、生物育成に関する知識を身に付け、どのように育てたいか課題を明確にして、栽培記録を取りながら実践していく。 ・生物の成長には、光、大気、温度、土、他の生物などのいろいろな環境要因が影響することを踏まえ、生物の育成に適する条件と、育成環境を管理する方法について理解できるようにする。 ・生物育成に関する技術が社会や環境に果たしている役割と影響について理解できるようにする。  ・生物育成に関する技術を適切に評価し活用する能力と態度を育成する。 ◎小学校では、植物を育て、植物の発芽、成長及び結実の様子を調べ、植物の発芽、成長及び結実とその条件について学んだ。中学校では、生物育成に適する条件と環境を管理する方法を知り、目的や条件に応じた栽培計画を立て、合理的に栽培できるようにし、成長の変化をとらえ、対応できるようにする。 □理科 小3「たねをまこう」 小4「すずしくなると」 小5「植物の発芽と成長」 小6「植物のからだのはたらき」 小6「生き物のくらしと環境」 ◎小学校では、動物を飼ったり植物を育てたりして、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもった。中学校では、気象的要素、土壌的要素、生物的要素、栽培する作物の特性と生育の規則性などについて考慮して栽培できるようにする。



題材名 【指導項目】	月	時間	○題材の目標 ・主な学習活動	評価規準			◎円滑な接続のための留意事項 ◇確実に定着させる内容 ・指導上の留意点 □他教科等との関連 ◆「さいたま市 安全指導の手引き」指導資料
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	1	2	○目的とする作物の生育に適切な手入れの仕方を理解し、適切な管理のための計画を立てることができる。 ・栽培、飼育等における計画について知る。	・生物の育成環境を調整する方法等の基礎的な技術の仕組みを理解している。		・主体的に生物育成の技術について考え、目的とする作物の生育に適切な手入れの仕方を理解しようとしている。	□生活 小1「きれいにさいてね」種まき、種取り 小2「大きなあれ わたしの野菜」土づくり、苗植え、水、肥料、土寄せ、支柱立て、脇芽取り、雑草取り □道徳 D 自然愛護 ◇栽培計画、定植、管理作業、生育環境整備
題材1-3 生物育成の技術をさぐる 【B(1)ア、イ】	2	3	○目的に応じて生育させるために適した手入れの仕方を知り、管理ができる。 ・栽培実習をする。 ・定植後の管理をする。 ・収穫の時期と保存を知る。 ・収穫後の管理をする。	・計画に基づき、適切な資材や用具を用いて、合理的な管理作業ができる技能を身に付けている。		・主体的に生物育成の技術について考え、手入れの仕方を知り、管理しようとしている。	
	2	1	○生物育成の技術の適切な評価と活用について、主体的に考えることができる。 ・今までの授業を振り返り、評価と活用について考える。		・生物育成の技術に込められた工夫を読み取り、生物育成の技術が最適化されてきたことについて考えている。	・生物育成の技術の適切な評価と活用について、主体的に考えようとしている。	
題材1-4 「情報の技術を探ろう」 <3時間> 【D(1)ア】	3	3	○情報の表現、記録、計算、通信の特性等の原理・法則と、情報のデジタル化や処理の自動化、システム化、情報セキュリティの必要性について理解することができる。 ・身の回りにおける情報の技術及びコンピュータの構成や機能、しくみ等を知る。 ・情報セキュリティ及びサイバーセキュリティについて知る。	・情報のデジタル化や処理の自動化、システム化、情報セキュリティなどに関わる基礎的な技術の仕組みを理解している。		・主体的に情報の技術について考え、理解しようとしている。	◎この題材では、コンピュータ室やコンピュータの利用の仕方を確認するとともに、情報セキュリティやサイバーセキュリティ、風評被害など、コンピュータやネットワークの基本的な事項について知識を身に付ける。 ◆「情報セキュリティを知ろう」

題材名 【指導項目】	月	時間	○題材の目標 ・主な学習活動	評価規準			◎円滑な接続のための留意事項 ◇確実に定着させる内容 ・指導上の留意点 □他教科等との関連 ◆「さいたま市 安全指導の手引き」指導資料
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
題材2-1 情報の技術の問題について考えよう 「情報モラルについて考えよう」 <4時間> 【D(1)ア、イ】	6	4	○基礎的な技術の仕組み及び情報モラルの必要性について理解することができる。 ・情報モラルの必要性について知る。 ・情報社会で人権などの権利を尊重する必要性を考える。	・基礎的な技術の仕組み及び情報モラルの必要性について理解している。	・情報の技術に込められた問題解決の工夫について考えている。	・主体的に情報の技術について考え、理解しようとしている。	◎この題材では、コンピュータ室やコンピュータの利用の仕方を確認するとともに、情報モラルの基本的な事項について知識を身に付ける。 ◆「情報を扱う時のマナーを知ろう」
題材2-2 生物育成の課題を解決しよう 生物育成の未来を考えよう <8時間> 【B(2)ア、イ】 【B(3)ア、イ】	4	3	○自分の栽培する作物の計画をまとめ、見通しをもつことができる。 ・栽培計画を立てる。		・問題を見いだして課題を設定し、育成環境の調節方法を構想して育成計画について考えている。	・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。	◎この題材では、生物育成に関する知識を身に付け、どのように育てたいか課題を明確にして、その解決策として栽培記録を取りながら実践していく。 ・生物の成長には、光、大気、温度、土、他の生物などのいろいろな環境要因が影響することを踏まえ、生物の育成に適する条件と、育成環境を管理する方法について知らせる。 ・生物育成に関する技術が社会や環境に果たしている役割と影響について理解できるようにする。 ・生物育成に関する技術を適切に評価し活用する能力と態度を育成することができるようにする。 ◎小学校では、様々な種類の植物を観察し、発芽、成長及び結実とその条件について学んだ。中学校では、目的に応じた栽培計画を立て、必要な管理作業等ができるようにする。 □理科 小3「たねをまこう」 小4「すずしくなると」 小5「植物の発芽と成長」 小6「植物のからだのはたらき」 小6「生き物のくらしと環境」 ◎小学校では、動物を飼ったり植物を育てたりして、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもった。中学校では、生物本来の生育環境や、光、大気、温度、水、土、他の生物、肥料といった環境要因を知り、生物育成の目的に応じた管理方法や管理技術を知り、育成計画を立てて栽培等を行う。 □生活 小1「きれいにさいてね」 小1「いきものとなかよし」 小2「ぐんぐん そだて わたしの 野さい」 小2「生き物 なかよし 大作せん」
	5	2	○作物の生育に適する条件を理解することができる。 ・鉢上げを行う。	・安全・適切な栽培又は飼育、検査等ができる技能を理解している。			
	5 \n7	2	○目的とする作物の生育に適切な手入れの仕方を理解し、適切な管理ができる。 ・栽培実習を行う。 (10分×10コマ(10回) =2時間)	・安全・適切な栽培又は飼育、検査等ができる技能を身に付けている。	・栽培又は飼育の過程や結果の評価、改善及び修正について考えている。		

題材名 【指導項目】	月	時間	○題材の目標 ・主な学習活動	評価規準			◎円滑な接続のための留意事項 ◇確実に定着させる内容 ・指導上の留意点 □他教科等との関連 ◆「さいたま市 安全指導の手引き」指導資料
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度	
題材2-2 生物育成の課題を 解決しよう 生物育成の未来を 考えよう  【B(2)ア、イ】 【B(3)ア、イ】	7	1	○生物育成に関する技術と社会や環境とのかかわりについて考えることができる。 ・社会や環境とのかかわりについて知る。 ・水産生物の栽培も含めた、生物育成に関する技術とわたしたちの未来について考える。	・生活や社会、環境との関わりを踏まえて、生物育成の技術の概念を理解している。	・生物育成の技術を評価し、適切な選択と管理・運用の在り方や、新たな発想に基づく改良と応用について考えている。	・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生物育成の技術を工夫し創造しようとしている。	◇生物の生育環境の管理 ◇栽培計画の作成 ◇種まき、定植、収穫などの管理技術 □ <b>道徳 D 生命の尊さ</b>
題材2-3 エネルギー変換の 技術を探ろう 「回路のはたらき について知ろう」 <6時間> 【C(1)ア、イ】	7	2	○人間はどのようにエネルギーを利用してきたかを考え、エネルギーの利用には様々な技術が必要なことについて理解することができる。 ・エネルギーの利用について知る。 ・エネルギー資源について知る。  ○様々な機器や機械を通して、エネルギーをどのような形に変換し、利用しているかについて理解することができる。 ・二次エネルギーの利用について知る。 ・エネルギーの変換と効率について知る。 ・電気エネルギーについて知る。	電気、運動、熱の特性等の原理・法則と、エネルギーの変換や伝達等に関わる基礎的な技術の仕組みについて理解している。		・主体的にエネルギー変換の技術について考え、理解しようとしている。	◎この題材では、エネルギーの変換方法について知り、機械の保守点検と事故防止ができるようにする。 ・エネルギーがどのような方法で変換、制御され、利用されているか知らせる。 ・機器がその目標を達成するために、どのような構造や電気回路で作られ、各部がどのように働いているか知らせる。 ・点検すべき箇所を見付けることができるようにする。 ・定期点検の必要性について理解させる。 ・目的や条件に応じて、製作品に必要な機能と構造を工夫する能力を育成することができるようにする。 ◇保守点検と事故の防止 ◇組立てや調整に必要な工具や機器の適切な使用方法 ◇安全を踏まえ製作品の組立て・調整や電気回路の配線・点検 ◎小学校では、電気をつくりだしたり蓄えたりすることができ、光、音、運動、熱などに変換できることなどを学んだ。中学校では、エネルギーの変換方法や力の伝達の仕組みについて知り、機器の保守点検と事故防止ができるようにするとともに、社会や環境とのかかわりから、エネルギー変換に関する技術を適切に評価し活用する能力と態度を育成する。 □理科
	9	1	○電気エネルギーを変換して利用するための仕組みを理解し、機器の仕組みを説明することができる。 ・熱・光・動力への変換と利用について知る。	・電気、運動、熱の特性等の原理・法則について理解している。		・主体的にエネルギー変換の技術について考え、電気エネルギーを変換して利用するための仕組みを理解しようとしている。	□理科 小3「明かりをつけよう」 電気を通すものと通さないもの。(回路、スイッチ、テスト)

題材名 【指導項目】	月	時間	○題材の目標 ・主な学習活動	評価規準			◎円滑な接続のための留意事項 ◇確実に定着させる内容 ・指導上の留意点 □他教科等との関連 ◆「さいたま市 安全指導の手引き」指導資料
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度	
題材2-3 エネルギー変換の 技術を探ろう  【C(1)ア、イ】	9	1	○電気機器の構成と、回路図を用いた表し方を理解することができる。 ・電気機器の構成と、回路図の表し方について知る。	・エネルギー変換や伝達等に関わる基礎的な技術の仕組みについて理解している。		・主体的に回路図を用いた表し方を理解しようとしている。	小4「電気のはたらき」 光電池を使ってモータを回すことができる。 (光電池) 小5「電気の生み出す力」 コイルに鉄心を入れて電流を流すと磁石になる。 (コイル、電磁石、電流計) 電磁石をつくり、電流の強さを変えると電磁石の強さが変わる。電磁石の強さは電流の強さや巻き数で変わる。 小6「電気とわたしたちの暮らし」 電気は、つくりだしたり蓄えたりすることができること。(発電、蓄電) 電気は光、音、熱などに変えることができること。(エネルギー変換) 電熱線の発熱は、その太さによって変わること。(エネルギー変換) 身の回りには、電気の性質や働きを利用した道具があること。(電化製品)
		1	○モータを利用した簡単な電気回路について理解することができる。 ・電気回路を、回路図を使って表す。  ○使用条件を基に製作品を考え、構想を整理し、考えをまとめる。 ・製作品の構想を考える。	・エネルギー変換や伝達等に関わる基礎的な技術の仕組みについて理解している。		・使用条件を基に製作品を考え、構想を整理し、考えをまとめようとしている。	
	10	1	○設計に基づき、製作品の部品加工、電気回路の配線、組立て、調整等について考えることができる。 ・電気回路の構成について考える。		・エネルギー変換の技術に込められた問題解決の工夫について考えている。	・製作品の部品加工、電気回路の配線、組立て、調整について考えようとしている。	
題材2-4 エネルギー変換を利用して生活を豊かにする作品をつくろう 「防災ライトの製作」 <9時間> 【C(1)ア(2)ア、イ】	11	2	○動力を効率よく伝える仕組みを知り、それぞれの特徴を理解することができる。 ・動力伝達の仕組みについて知る。  ○目的に合わせて運動を変化させるための仕組みを理解し、どのように利用されているかについて理解することができる。 ・運動を変化させるための仕組みと利用法について知る。	・運動の特性等の原理・法則について理解している。		・主体的にエネルギー変換の技術について考え、理解しようとしている。	◎この題材では、生活を豊かにする目的を考え、その目的に合わせて構想を行い、設計・製作をする。題材3-2「計測・制御による課題解決を考えよう」を円滑に学習するために、必要な基礎的な知識と技能を身に付ける。また、生活の課題を発見できる力の育成を目指す。 ・社会で利用されている機器等において、エネルギーがどのような方法で変換、制御され、利用されているか知らせる。 ・機器がその目標を達成するために、どのような構造や電気回路でつくられ、各部がどのように働いているか知らせる。 ・点検すべき個所を見付けることができるようにする。

題材名 【指導項目】	月	時間	○題材の目標 ・主な学習活動	評価規準			◎円滑な接続のための留意事項 ◇確実に定着させる内容 ・指導上の留意点 □他教科等との関連 ◆「さいたま市 安全指導の手引き」指導資料
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度	
題材2-4 エネルギー変換を利用して生活を豊かにする作品をつくらう 「防災ライトの製作」 【C(2)ア、イ】	11	3	○使用目的や使用条件を基に、製作品の構想を整理し、製作に必要な計画表や工程表、部品図などにまとめることができる。 ・製作品の計画表や工程表、部品図をまとめる。		・問題を見いだして課題を設定し、電気回路又は力学的な機構等を構想して、設計の具体化について考えている。	・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期点検の必要性について理解させる。</li> <li>・保守点検と事故の防止ができるようにする。</li> <li>・目的や条件に応じて、製作品に必要な機能と構造を工夫する能力を育成することができるようにする。</li> <li>・組立てや調整に必要な工具や機器の適切な使用方法を知ることができるようにする。</li> <li>・安全を踏まえた製作品の組立て・調整や、電気回路の配線・点検ができるようにする。</li> <li>◇ラジオペンチ、ニッパ、ねじ回し、はんだごての使い方</li> <li>◇回路計の使い方</li> <li>◇漏電、感電、加熱及び短絡による事故防止</li> <li>◆「服装及び教室環境を整えよう」</li> <li>◆「電子部品をはんだづけしよう」</li> </ul>
		4	○目的と使用条件を考慮し、製作品を完成させることができる。 ・製作品を完成させる。  ○機器の手入れや点検について知り、事故防止の具体的な方法を身に付けることができる。 ・機器の安全な利用について知る。 ・機器の適切な保守点検を行う。	・安全・適切な製作、実装、点検及び調整等について理解し、技能を身に付けている。	・製作の過程や結果の評価、改善及び修正について考えている。	・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしようとしている。	
	1						
題材2-5 エネルギー変換の未来について考えよう <8時間> 【C(3)ア、イ】	1	3	○エネルギー変換を利用した作品の構想をまとめて、製作品に必要な図を作成することができる。 ・製作図を作成する。	・生活や社会、環境との関わりを踏まえて、エネルギー変換の技術の概念を理解している。		・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、エネルギー変換の技術を工夫し創造しようとしている。	◎この題材では、前題材のエネルギーの変換方法等に加え、力の伝達の仕組み等について学習する。 ・社会で利用されている機器等において、エネルギーがどのような方法で変換、制御され、利用されているか知らせる。 ・歯車やカム機構、リンク機構など、力の運動を伝達する仕組みの特徴や共通部品について知らせる。 ・エネルギー変換に関する技術が、社会や環境に果たしている役割と影響について理解できるようにする。 ・エネルギー変換に関する技術を適切に評価し活用する能力を育成することができるようにする。 ・目的や条件に応じて、製作品に必要な機能と構造を工夫する能力を育成することができるようにする。 ・組立てや調整に必要な工具や機器の適切な使用方法を知り、安全を踏まえて製作品の組立て・調整や、電気回路の配線・点検等ができるようにする。
			○運動の仕組み・機構や構造、必要な機械部品や電気回路・電気部品、材料・加工法など、構想を検討することができる。 ・製作品の構想を検討する。				
	2						
		4	○使用目的と使用条件を考慮して、製作品を完成させることができる。 ・製作品を完成させる。		・エネルギー変換の技術を評価し、適切な選択と管理・運用の在り方や、新たな発想に基づく改良と応用について考えている。		

題材名 【指導項目】	月	時間	○題材の目標 ・主な学習活動	評価規準			◎円滑な接続のための留意事項 ◇確実に定着させる内容 ・指導上の留意点 □他教科等との関連 ◆「さいたま市 安全指導の手引き」指導資料
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度	
題材 2-5 エネルギー変換の 未来について考え よう  【C(3)ア、イ】	3	1	○エネルギー変換に関する技術の評価と活用について、主体的に考えることができる。 ・社会・環境とのかかわりについて考える。 ・エネルギー変換に関する技術とわたしたちについて考える。		・エネルギー変換の技術の評価し、適切な選択と管理・運用の在り方や、新たな発想に基づく改良と応用について考えている。		

題材名 【指導項目】	月	時間	○題材の目標 ・主な学習活動	評価規準			◎円滑な接続のための留意事項 ◇確実に定着させる内容 ・指導上の留意点 □他教科等との関連 ◆「さいたま市 安全指導の手引き」指導資料
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
題材3-1 プログラムによる 問題解決を考えよう 「簡単なプログラムを考えよう」 <7時間> 【D(2)ア、イ】	4	2	○課題を設定し、解決策を構想して、試作等を通じて設計を具体化することができる。 ・計測と制御のプログラミングを考える。 ・双方向性のあるコンテンツのプログラミングを利用した問題解決について考える。		・問題を見いだして課題を設定し、使用するメディアを複合する方法とその効果的な利用方法を構想して情報処理の手順について考えている。	・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組もうとしようとしている。	◎この題材では、中1、中2で学習した内容を踏まえ、社会や環境とのかかわりから、情報に関する技術を適切に評価し活用する能力と態度を育成することができるようにする。 ・コンピュータを構成する主要な装置と、基本的な情報処理の仕組み、情報をコンピュータで利用するための必要なデジタル化の方法について知らせる。 ・インターネットなどの情報通信ネットワークの構成と、安全に情報を利用するための基本的な仕組みについて知らせる。 ・著作権や、情報の発信に伴って発生する可能性のある問題と、発信者としての責任について知らせる。 ・情報社会において適正に活動する能力と態度を育成することができるようにする。 ◎小学校では、各教科等において、児童がコンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段に慣れ親しみ、コンピュータで文字を入力するなどの基本的な操作や情報モラルを学習している。中学校では、デジタル作品の設計・制作を通して表現や発信することができるようにする。 □ <b>道徳 B 礼儀 C 遵法精神、公德心</b> ◇著作権、情報モラル ◆「情報セキュリティを知ろう」 ◆「情報を扱う時のマナーを知ろう」
			5	○構想したプログラムを、安全・適切に制作することができる。 ・プログラムの制作を行う。	・情報通信ネットワークの構成と、情報を利用するための基本的な仕組みを理解し、安全・適切なプログラムの製作、動作の確認及びデバッグ等ができる技能を身に付けている。		
	6	4	○動作の確認及びデバッグを行うなど、必要に応じてプログラムを改善・修正する。 ・プログラムの制作・動作確認及びデバッグ等を行う。				
			1	○社会で利用されているコンテンツと、自分の作品を比較するなどし、解決結果や過程の改善及び、修正を考え、まとめることができる。 ・自分の作品の評価・改善及び修正について考える。		・制作の過程や結果の評価、改善及び修正について考えている。	

題材名 【指導項目】	月	時間	○題材の目標 ・主な学習活動	評価規準			◎円滑な接続のための留意事項 ◇確実に定着させる内容 ・指導上の留意点 □他教科等との関連 ◆「さいたま市 安全指導の手引き」指導資料
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度	
題材3-2 計測・制御による 課題解決を考えよう 「目的に応じたプログラムを作成しよう」 <7時間> 【D(3)ア、イ】	9	2	○身の回りの機器が、コンピュータによって計測・制御されていることに気付くことができる。 ・生活の中で計測・制御システムが利用されていることについて知る。  ○コンピュータを用いた計測・制御の基本的な仕組みを知ることができる。 ・計測・制御システムの仕組みや各要素のはたらきについて知る。	・計測・制御システムの仕組みを理解している。		・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。	◎この題材では、計測・制御のためのプログラムの作成を通して、コンピュータを用いた計測・制御の基本的な仕組みを知り、簡単なプログラムが作成できるようにするとともに、情報処理の手順を工夫する能力を育成する。 ・計測・制御システムでは、センサ、コンピュータ、アクチュエータなどの要素で構成されていることや、計測・制御システムの中では一連の情報がプログラムによって処理されていることを知らせる。 ・フローチャートなどを適切に用いることができるようにする。 ・情報処理の手順には、順次、分岐、反復の方法があることを知らせる。 ・目的や条件に応じて、情報処理の手順を工夫する能力を育成することができるようにする。 ・簡単なプログラムを作成することができるようにする。 ◎小学校では、各教科等において、児童がコンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段に慣れ親しみ、コンピュータで文字を入力するなどの基本的な操作や情報モラルを学習した。中学校では、デジタル作品の設計・制作を通して表現や発信することができるようにする。 ◎小5社会「くらしを支える技術」において、情報ネットワークが公共サービスの向上のために利用され、生活に様々な影響を及ぼしていることを学んできている。中学校では、情報通信ネットワーク上のルールやマナーの遵守、危険の回避、人権侵害の防止等、情報に関する技術の利用場面に応じて適正に活動する能力と態度を育成する。 □道徳 C 遵法精神、公德心 ◇計測、制御システムの構成 ◇アナログ信号とデジタル信号 ◇プログラム作成（アクティビティ図等） ◆「情報セキュリティを知ろう」 ◆「情報を扱う時のマナーを知ろう」
	10	4	○計測・制御の条件に合うプログラムを作成することができる。 ・プログラムによる模型の制御を行う。	・安全・適切なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等ができる技能を身に付けている。	・問題を見いだして課題を設定し、入出力されるデータの流れを元に計測・制御システムを構想して情報処理の手順を考えている。		
	11						
12							



題材名 【指導項目】	月	時間	○題材の目標 ・主な学習活動	評価規準			◎円滑な接続のための留意事項 ◇確実に定着させる内容 ・指導上の留意点 □他教科等との関連 ◆「さいたま市 安全指導の手引き」指導資料
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度	
題材3-2 計測・制御による 課題解決を考えよう 「作成したプログラムを振り返ろう」 【D(3)ア、イ】	1	1	○動作の確認及びデバッグ等を行うなど必要に応じてプログラムの改善・修正を行い、解決結果や過程の改善及び修正を考えることができる。 ・プログラムの評価、改善及び修正を行う。		・制作の過程や結果の評価、改善及び修正について考えている。		
題材3-3 これからの社会について考えよう 「情報化社会の問題点は何か」 <3時間> 【D(4)ア、イ】	2	3	○情報に関する技術が、社会や環境に果たしている役割と影響について理解を深めることができる。 ・情報の技術の学習をふり返る。 ○情報に関する技術を評価し、適切な管理・運用の在り方や新たな発想に基づく改良と運用について主体的に考えることができる。 ・情報の技術の役割と課題と今後の社会について考える。 ○ここまでの3年間で学習した「加工の技術」「生物育成」「エネルギー変換」「情報の技術」における総合的な問題について考えることができる。 ・3年間の技術分野での学習を振り返る。 ・技術での工夫・創造と、自分たちのこれからの未来について考える。	・生活や社会、環境との関わりを踏まえて、情報の技術の概念を理解している。	・情報の技術を評価し、適切な選択と管理・運用の在り方や、新たな発想に基づく改良と応用について考えている。	・よりよい生活の実現や、持続可能な社会の構築に向けて、情報の技術を工夫し創造しようとしている。	◎この題材では、中1、中2で学習した内容を踏まえ、社会や環境とのかかわりから、情報に関する技術を適切に評価し活用する能力と態度を育成する。 ・コンピュータを構成する主要な装置と、基本的な情報処理の仕組み、情報をコンピュータで利用するための必要なデジタル化の方法について知らせる。 ・インターネットなどの情報通信ネットワークの構成と、安全に情報を利用するための基本的な仕組みについて知らせる。 ・著作権や、情報の発信に伴って発生する可能性のある問題と、発信者としての責任について知らせる。 ・情報社会において適正に活動する能力と態度を育成することができるようにする。 ◎小学校では、各教科等において、児童がコンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段に慣れ親しみ、コンピュータで文字を入力するなどの基本的な操作や情報モラルを学習している。中学校では、デジタル作品の設計・制作を通して表現や発信することができるようにする。 □道徳 B礼儀 C遵法精神、公德心 ◎3年間の技術分野の学習を振り返り、「A材料と加工の技術」から「D情報の技術」までの内容の統合的な問題について取り扱う。

月	題材名 【指導項目】	時間	○題材の目標 ・主な学習活動	評価規準			◎円滑な接続のための留意事項 ◇確実に定着させる内容 ・指導上の留意点 □他教科等との関連 ◆「さいたま市 安全指導の手引き」指導資料
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度	
4	題材1-1 「見つめよう 自分 の成長と家族・家庭 生活」 <4時間> 【A(1)ア(3)ア(7)】 自分の成長と家族・ 家庭生活	1	○これまでの家庭生活や小学校家庭科の 学習を振り返ったり、家庭分野の学習の ねらいや概要に触れたりして、中学校3 年間の学習の見直しをもつ。 ・教科書等を見ながら、家庭分野のAか らCの内容を確認する。  ○自分の成長と家族や家庭生活との関わり が分かり、家族・家庭の基本的な機能に ついて理解するとともに、家族や地域 の人々と協力・協働して家庭生活を営む 必要があることに気付くことができる。 ・教科書の図やグラフを見ながら、家 族・家庭の機能や家庭を支える仕事、家 庭の機能の安定等について考え、話し合 う。	・自分の成長と家族や家庭生 活との関わりが分かり、家 族・家庭の基本的な機能につ いて理解するとともに、家族 や地域の人々と協力・協働し て家庭生活を営む必要がある ことに気付いている。			◎小学校の学習を踏まえて、中学校の3年間の技術・家 庭科学習の見直しをもたせる。 ◎小5「家族の生活再発見」「できるよ、家庭の仕 事」、小6「共に生きる生活」の内容を振り返らせ、自 分の成長や生活について改めて見つめ直すようにする。 ◎内容項目A(1)アは、「自分の成長と家族・家庭生活」 「幼児の生活と家族」の学習の導入としてもう一度扱 う。 ・これまでの家庭生活や小学校家庭科の学習を振り返 ったり、家庭分野の学習のねらいや概要に触れたりして、 中学校3年間の学習の見直しをもたせる。 ・自分の成長を振り返ることを通して、自分の成長と家 族や家庭生活との関わりについて考え、自分の成長や生 活は、家族やそれに関わる人々に支えられてきたことに 気付くようにする。
		3	○家族の互いの立場や役割が分かり、協 力することによって家族関係をよりよ くできることについて理解するとともに、 家族関係をよりよくする方法について考 え、工夫することができる。 ・中学生の時期にある自分と家族の互い の立場や役割を考え、協力することで家 族関係をよりよくできることについて、 事例を基に考える。	・家族の互いの立場や役割が 分かり、協力することによ って家族関係をよりよくで ることについて理解している。	・家族関係をよりよくする方 法について問題を見いだし て課題を設定している。  ・家族関係をよりよくする方 法について考え、工夫して いる。	・家族と協働し、よりよい生 活の実現に向けて、家族との 関わりについて、課題の解決 に主体的に取り組もうとして いる。	◎小5「いっしょにほっとタイム」では、家族との触れ 合いや団らんを楽しむ工夫について学習している。 ◎3年間の家庭科学習の中で、家族や家庭生活との関わり について意識させる。「自分の成長と家族・家庭生 活」につながるよう学習を積み上げるようにする。 ◇自分の成長と家族や家庭生活との関わり ◇家庭や家族の基本的な機能（子どもを育てる機能、心 の安らぎなどの精神的な機能など） ◇家族や地域の人々と協力・協働した家庭生活の営み ・生徒の生活に関わりの深い客観的な事例を取り上げ、 協力することの大切さを話し合う活動を通して、考えさ せるようにする。（ブレインストーミングやディベ ート、ロールプレイング等） ・現在にとどまらず、将来の家庭生活や家族とのかかわ りに期待がもてるようにする。また、家族の一員として どのようなことができるかを具体的に考えさせ、実践に 結び付くようにする。

月	題材名 【指導項目】	時間	○題材の目標 ・主な学習活動	評価規準			◎円滑な接続のための留意事項 ◇確実に定着させる内容 ・指導上の留意点 □他教科等との関連 ◆「さいたま市 安全指導の手引き」指導資料
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度	
5	題材1-2 「健康・安全で豊かな食生活」 ①健康と食生活 <5時間> 【B(1)ア(7)(イ)イ、 B(2)ア(7)(イ)イ】 食事の役割と中学生の栄養の特徴 中学生に必要な栄養を満たす食事	1	○生活の中で食事が果たす役割について理解することができる。 ・自分の食生活を振り返ることを通して、食事の役割について考える。	・生活の中で食事が果たす役割について理解している。	・自分の食習慣について問題を見いだして課題を設定している。		◎小6「いためてつろう朝食のおかず」の学習を踏まえて、食事の役割について理解させるとともに、健康によい食習慣について考えられるようにする。  【小学校で扱う食事の役割】 ・健康を保ち、体の成長や活動のもとになること。 ・人と楽しく関わったり、和やかな気持ちになったりすること。 ・規則正しい食事が生活リズムをつくること。 ・学習や活動のための体の準備ができること。(朝食)
		2	○中学生に必要な栄養の特徴が分かり、健康によい食習慣について考え、工夫することができる。 ・健康に関する食習慣について考え、自分の食習慣や健康への取組を見つめ直す。  ○栄養素の種類と働きが分かり、食品の栄養的特質を理解することができる。 ・心身の健康によい食習慣について考える。 ・五大栄養素の種類と働き(水の働きと食物繊維を含む)について調べる。 ・中学生に必要な栄養の特徴について考える。	・中学生に必要な栄養の特徴が分かり、健康によい食習慣について理解している。  ・栄養素の種類と働きが分かり、食品の栄養的特質について理解している。	・自分の食習慣について考え、工夫している。	・中学生の栄養の特徴について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。  ・中学生の栄養の特徴について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。	◎小5「食べて元気に」では、3つの食品のグループ分けと五大栄養素の基礎的な事項を学習している。 ◎中学校では、小学校における五大栄養素に関する基礎的な事項の学習を踏まえ、いろいろな栄養素が相互に関連をもちながら健康の保持増進や成長のために役立っていることを理解し、中学生に必要な栄養の特徴について考えることができるようにする。 ◇中学生に必要な栄養の特徴 ◇健康によい食習慣 ◇水の働き、食物繊維 ◇栄養素の種類と働き ◇食事摂取基準 ◇食品の栄養的特質 ・エネルギーや栄養素の摂取量の基準が食事摂取基準に示されていることが分かるようにする。

月	題材名 【指導項目】	時間	○題材の目標 ・主な学習活動	評価規準			◎円滑な接続のための留意事項 ◇確実に定着させる内容 ・指導上の留意点 □他教科等との関連 ◆「さいたま市 安全指導の手引き」指導資料
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度	
6		3	○中学生の1日に必要な食品の種類と概量が分かり、1日分の献立作成の方法について理解することができる。 ・食品に含まれる栄養素について調べる。 ・実際の食品を用いて、食品群に分類したり、計量したりする。	・中学生の1日に必要な食品の種類と概量が分かり、1日分の献立作成の方法について理解している。	・中学生の1日分の献立について問題を見だして課題を設定している。	・中学生に必要な栄養を満たす食事について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。	◎食品群については、小5「食べて元気に」で学習した栄養素の体内での主な3つの働きとの系統性を考慮して扱う。 ◇中学生の1日に必要な食品の種類と概量 ◇1日分の献立作成の方法 ・食品群別摂取量の目安に示されている食品の種類と概量を踏まえて、料理に使われている食品の組み合わせを工夫する。 ・献立を考える際には、栄養、嗜好、調理法、季節、費用などの点から検討する必要があるが、ここでは主に栄養を考えた食品の組み合わせを中心に指導する。 ・1食分の献立の作成については、食品群別摂取量の目安などの細かな数値にとらわれず、食品の概量で捉えられるようにする。
			○中学生の1日分の食事について考え、工夫することができる。 ・中学生に必要な1日の栄養量を満たす食事について、健康などの視点から献立を考え、工夫する。		・中学生の1日分の献立について考え、工夫している。 ・中学生の1日分の献立について、実践を評価したり、改善したりしている。 ・中学生の1日分の献立に係る課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。	・よりよい生活の実現に向けて、中学生に必要な栄養を満たす食事について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	◎小5「食べて元気に」、小6「くふうしようおいしい食事」では1食分の食事の整え方について扱う。献立の考え方については、小学校での「食品の組み合わせ」を基にして「主に栄養を考えた食品の組み合わせ」を考えられるように指導する。 ◇1日分の献立の考え方 ・1日3食のうち、いくつかの献立を指定しておき、残りの献立を立てさせるなどして、1日分の献立について全体的な栄養のバランスを考えることができるようにする。 ・生徒の家庭の食事を取り上げる場合は、生徒のプライバシーに十分配慮する。
7	題材1-2 「健康・安全で豊かな食生活」 ②調理の基本・野菜の調理 <4時間> 【B(3)ア(7)(イ)(イイ)】 日常食の調理と地域の食文化	4	○食品や調理用具等の安全と衛生に留意して管理について理解し、適切にできる。 ○野菜に適した加熱調理の仕方について理解し、基礎的な日常食の調理が適切にできる。 ・ミネストローネの調理(煮る調理)をすることを通して、野菜の調理上の性質についてまとめる。 ・調理実習を振り返る(調理の目的、流れ、調理上の性質)。	・野菜の調理上の性質を知り、加熱調理の仕方について理解しているとともに、基礎的な日常食の調理が適切にできる。 ・食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理について理解しているとともに、適切にできる。	・野菜料理の1食分の調理における食品の選択や調理の仕方、調理計画について問題を見だして課題を設定している。 ・野菜料理の1食分の調理における食品の選択や調理の仕方、調理計画について考え、工夫している。 ・野菜料理の1食分の調理における食品の選択や調理の仕方、調理計画について、実践を評価したり、改善したりしている。	・日常食の調理について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 ・日常食の調理について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。	◎小学校での調理の学習を踏まえ、安全と衛生に留意して食品や調理用具等の適切な管理ができるように指導する。 ◎野菜については、小学校のゆでる調理において、青菜などはゆでると生食に比べてかさが減り、多くの量を食べることができることについて学習している。 ◎小5「クッキングはじめの一歩」では、「ゆでる」加熱操作について学習している。ゆでる調理については、硬い食品を柔らかくするなど、食べやすくおいしくすることについて、学習している。また、食品によって水からゆでるものと沸騰してからゆでるものがあることについて学習している。

月	題材名 【指導項目】	時間	○題材の目標 ・主な学習活動	評価規準			◎円滑な接続のための留意事項 ◇確実に定着させる内容 ・指導上の留意点 □他教科等との関連 ◆「さいたま市 安全指導の手引き」指導資料
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度	
					<ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜料理の1食分の調理における食品の選択や調理の仕方、調理計画に係る課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・よりよい食生活の実現に向けて、日常食の調理について工夫し創造し、実践しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇計量 ◇洗い方 ◇切り方</li> <li>◇材料に適した加熱調理（煮る、蒸す）</li> <li>◇調味 ◇後片付け</li> <li>◇調理用具等の安全と衛生に留意した管理</li> <li>・本題材では、野菜について、生食できること、食塩をふると水分が出てしなやかになること、加熱すると組織が軟らかくなることなどを理解できるようにする。</li> <li>・本題材では、加熱調理の「煮る」については、材料の種類や切り方などによって煮方が異なること、調味の仕方が汁の量によって異なることなどを取り扱う。「蒸す」については、ゆでる、いためる調理などと比較することにより、水蒸気で加熱する蒸し料理の特徴を理解できるようにする。</li> <li>・加熱調理は、火加減の調節が大切であることを理解できるようにする。</li> <li>・野菜の調理性を確認するための調理実験の結果や考察をワークシートにまとめたり、献立表や調理計画表などの図や表を用いて自分の考えを発表したりするなどの学習活動（言語活動）を位置付け、効果的な学習となるようにする。</li> <li>◆「調理をしよう」</li> <li>◆「包丁を使って材料を切ろう」</li> <li>◆「加熱用調理器具を使って加熱しよう」</li> <li>◆「食品をあつかおう」</li> </ul>
8 9	題材1-2 ・「健康・安全で豊かな食生活」 ◎環境に配慮した消費生活 <2時間> 【C(2)アイ】 消費者の権利と責任	2	○環境に配慮した消費生活について考え、工夫することができる。 ・ミネストローネの調理実習を身近な環境との関わりの視点から振り返る。 ・食生活における環境や社会に及ぼす影響や環境に配慮した生活の工夫を考える。	・自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解している。	・環境に配慮した消費行動について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践した結果を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・よりよい生活の実現に向けて、環境に配慮した消費行動について課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、家庭などで実践しようとしている。	◎環境に配慮した生活の工夫として、小6「くふうしようおいしい食事」では調理の材料を無駄なく使う工夫を考える学習をしている場合もある。 ◇消費生活が環境に与える影響 ◇環境に配慮した消費生活の在り方 ・自分や家族の生活の仕方が身近な環境に与える影響について、具体的な事例を通して考えることができるようにする。 ・環境に配慮した消費生活については、一人ひとりが環境に配慮した生活を送る必要性に気付かせ、循環型社会を目指して、生活の在り方を工夫し、実践できるようにする。 □社会 地球環境問題ー持続可能な社会の実現（中3） □理科 持続可能な社会をつくるために（中3） □道徳 D 自然愛護

月	題材名 【指導項目】	時間	○題材の目標 ・主な学習活動	評価規準			◎円滑な接続のための留意事項 ◇確実に定着させる内容 ・指導上の留意点 □他教科等との関連 ◆「さいたま市 安全指導の手引き」指導資料
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度	
8 9	題材1-2 ・「健康・安全で豊かな食生活」 ④食品の選択と保存 <2時間> 【B(2)ア(ア)】 中学生に必要な栄養を満たす食事	2	○日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択について理解するとともに、適切にできる。 ・調理実習で使用する食品について調べる。 ・生鮮食品を観察したり、加工食品の表示を調べたりする。 ・目的、栄養、価格、調理の能率、環境への影響などの諸条件の視点から適切な選択について考える。	・日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択について理解しているとともに、適切にできる。			◎小6「くふうしようおいしい食事」では、内容項目C(2)アとの関連を図って、おかず作りに必要な材料の選び方や買い方について学習する場合もある。その場合は、材料を選ぶ視点として、食品に付けられた日付などの簡単な表示やマークについて学習している。 ◇生鮮食品と加工食品の表示の意味、良否の見分け方 ・調理実習で使用する食品の選択や取扱いについて調査するなどの活動を取り入れるなど、生徒が主体的に考えることができるよう配慮する。 ◎中1「衣食住の生活」（日常食の調理）、中2「消費生活・環境」（購入・支払いと生活情報）の学習と関連を図る。よりよい物の選び方や買い方について、繰り返し学習をすることで、理解を深めることができるようにする。 ◇用途に応じた食品の選択
10	題材1-2 「健康・安全で豊かな食生活」 ⑤肉の調理 <4時間> 【B(3)ア(ア)(イ)(ウ)】 日常食の調理と地域の食文化	4	○肉の調理上の性質を知り、加熱調理の仕方について理解し、基礎的な日常食の調理が適切にできる。 ・肉の調理実験を通して、肉の調理上の性質についてまとめる。 ・ハンバーグステーキを主菜とした調理（焼く調理）をする。	・肉の調理上の性質を知り、加熱調理の仕方について理解しているとともに、基礎的な日常食の調理が適切にできる。	・肉料理の1食分の調理における食品の選択や調理の仕方、調理計画について問題を見いだして課題を設定している。  ・肉料理の1食分の調理における食品の選択や調理の仕方、調理計画について考え、工夫している。  ・肉料理の1食分の調理における食品の選択や調理の仕方、調理計画について、実践を評価したり、改善したりしている。	・日常食の調理について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。  ・日常食の調理について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。  ・よりよい食生活の実現に向けて、日常食の調理について工夫し創造し、実践しようとしている。	◎小6「いためてつくろう朝食のおかず」でいためる調理をし、フライパンの扱い方を学習している。また、フライパンなどで油を使い、かき混ぜながら加熱することについて学習している。その際、調理の目的によって、いためる時間や火力に違いがあること、油でいためることにより風味が増すことにも気付くようにしている。 ◎小学校における調理実習を踏まえ、1食分の食事について、手順を考えながら調理できるように配慮する。 ◇肉の取扱い ◇切り方（玉ねぎのみじん切り） ◇加熱調理（焼く） ◇盛り付け・配膳（1食分の配膳） ・肉、魚は加熱調理を扱い、種類や部位による調理法の違いやたんぱく質の凝固・変性について理解できるようにする。

月	題材名 【指導項目】	時間	○題材の目標 ・主な学習活動	評価規準			◎円滑な接続のための留意事項 ◇確実に定着させる内容 ・指導上の留意点 □他教科等との関連 ◆「さいたま市 安全指導の手引き」指導資料
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度	
					<ul style="list-style-type: none"> <li>・肉料理の1食分の調理における食品の選択や調理の仕方、調理計画に係る課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校で、初めて生の肉の取扱い方を学習する。食中毒予防のために安全で衛生的な扱い方を工夫できるようにする（肉の内部まで十分に加熱すること、生の肉を扱った包丁、まな板、菜箸、手などの扱い）。</li> <li>・小学校でのいためる調理を踏まえて、「焼く」について、直火焼き、フライパンやオープンなどを用いた間接焼きがあり、それぞれ特徴があることを取り扱う。</li> <li>・肉の調理性を確認するための調理実験や、その結果や考察をワークシートにまとめたり、献立表や調理計画表などの図や表を用いて自分の考えを発表したりするなどの活動（言語活動）を位置付け、効果的な学習となるようにする。</li> <li>◆「調理をしよう」</li> <li>◆「包丁を使って材料を切ろう」</li> <li>◆「加熱用調理器具を使って加熱しよう」</li> <li>◆「食品をあつかおう」</li> <li>◆「肉や魚を使って調理をしよう」</li> </ul>
11	題材1-2 「健康・安全で豊かな食生活」 ◎魚の調理 <3時間> 【B(3)ア(ア)(イ)(イイ)】 日常食の調理と地域の食文化	3	○日常の1食分の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を考え、工夫することができる。 ・食生活の基礎的・基本的な知識・技能を活用し、調理計画を考える。  ○魚の調理上の性質を知り、加熱調理の仕方について理解し、基礎的な日常食の調理が適切にできる。 ・魚のムニエルを主菜とした1食分の調理（焼く調理）をする。	・魚の調理上の性質を知り、加熱調理の仕方について理解しているとともに、基礎的な日常食の調理が適切にできる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・魚料理の1食分の調理における食品の選択や調理の仕方、調理計画について問題を見いだして課題を設定している。</li> <li>・魚料理の1食分の調理における食品の選択や調理の仕方、調理計画について考え、工夫している。</li> <li>・魚料理の1食分の調理における食品の選択や調理の仕方、調理計画について考え、実践を評価したり、改善したりしている。</li> <li>・魚料理の1食分の調理における食品の選択や調理の仕方、調理計画に係る課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常食の調理について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。</li> <li>・日常食の調理について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。</li> <li>・よりよい食生活の実現に向けて、日常食の調理について工夫し創造し、実践しようとしている。</li> </ul>	◇1食分の調理についての工夫 ・日常の1食分の献立を立てるなど「 <b>中学生に必要な栄養を満たす食事</b> 」の学習との関連を図るように配慮する。 ・実生活に活用するために調理計画は、1食分を一人で調理する場合の計画についても考えることができるよう配慮する。 ◎小学校から繰り返し行っている調理実習を振り返りながら進めることにより、知識や技能の定着を図るようにする。 ◇生の魚の取扱い（一尾の魚の下ごしらえ） ・生の魚の取扱いについては、食中毒の予防のために安全で衛生的な扱い方を工夫できるようにする。また、ごみを適切に処理できるようにする。 ・魚の調理性を確認するための調理実験の結果や考察をワークシートにまとめるなどの学習活動（言語活動）を位置付け効果的な学習となるようにする。 ◆「調理をしよう」 ◆「包丁を使って材料を切ろう」 ◆「ガスコンロを使って加熱しよう」 ◆「食品を使おう」 ◆「肉や魚を使って調理をしよう」

月	題材名 【指導項目】	時間	○題材の目標 ・主な学習活動	評価規準			◎円滑な接続のための留意事項 ◇確実に定着させる内容 ・指導上の留意点 □他教科等との関連 ◆「さいたま市 安全指導の手引き」指導資料
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度	
12	題材1-3 「健康・快適で持続可能な衣生活」 ①日常着の活用 <2時間> 【B(4)ア(ア)】 衣服の選択と手入れ	2	○衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解することができる。 ・制服の着用について話し合う。 ・具体的な場面を想定し、着用の工夫を考える。	・衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解している。	・衣服の選択について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。	◎小5「温かく快適に過ごす着方」、小6「すずしく快適に過ごす着方と手入れ」では、保健衛生上と生活活動上の機能について学習している。 ◇衣服の社会生活との関わり ◇和服 ◇既製の表示と選択の注意事項 ◇日常着の手入れ ・和服の基本的な着装を扱うことも考えられる。 ◎小5「ソーイングはじめの一歩」で手縫いの基礎、ボタン付け、小5「ミシンでソーイング」でミシン縫いの基礎を学習している。 ・手縫いの技能の定着については、縫い方見本や動画、試行用の教材等を準備し、生徒が活用できるようにしておく。 ◆「裁縫の準備をしよう」 ◆「補修の実践をしよう」 ◎手洗いによる洗濯については、小6「すずしく快適に過ごす着方と手入れ」で学習している。
1 2	題材1-3 「健康・快適で持続可能な衣生活」 ②日常着の手入れ <5時間> 【B(4)ア(イ)】 衣服の選択と手入れ	5	○衣服の計画的な活用の必要性、衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解し、適切にできる。 ・持っている衣服の活用状況について振り返ることを通して、衣服の計画的な活用の必要性を考える。 ・衣服を観察し、日常着の手入れについて考える。 ・衣服材料や洗剤に関わる実験をする。 ・洗濯機による洗濯の仕方について実習等を通して考える。	・衣服の計画的な活用の必要性、衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解しているとともに、適切にできる。	・材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方について問題を見いだして課題を設定している。 ・材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方について考え、工夫している。 ・材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方について、実践を評価したり、改善したりしている。 ・材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方に係る課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。	・衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 ・よりよい衣生活の実現に向けて、衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方について工夫し創造し、実践しようとしている。	◇衣服の計画的な活用の必要性 ◇衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れ ◇洗剤の働きと種類 ・日常着の手入れについては、中学生が日常着として着用することの多い綿、毛、ポリエステルなどを取り上げる。 ・洗濯については、洗剤の働きと衣服の材料に応じた洗剤の種類などが分かり、洗剤を適切に選択して使用できるようにする。 ◇衣服の状態に応じた日常着の手入れ ・衣服を長持ちさせるために、まつり縫いによる裾上げ、ミシンによるほころび直し、スナップ付けなどの補修を取り上げその目的と布地に適した方法について理解し、適切にできるようにする。 ・実験、実習や調査を取り入れたりと、デジタル教材を活用したりすることを通して具体的に理解させる。 ・内容項目C(2)アイ「消費者の権利と責任」との関連を図って扱うことも考えられる。



月	題材名 【指導項目】	時間	○題材の目標 ・主な学習活動	評価規準			◎円滑な接続のための留意事項 ◇確実に定着させる内容 ・指導上の留意点 □他教科等との関連 ◆「さいたま市 安全指導の手引き」指導資料
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度	
2 3	題材1-4 ・「計画的な金銭管理 の必要性」 <3時間> 【C(1)ア(7)】 金銭の管理と購入	3	○購入方法や支払い方法の特徴が分か り、計画的な金銭管理の必要性について 理解することができる。 ・多様化した購入方法や支払い方法の特 徴を知り、生活に必要な物資・サービス についての金銭の流れを把握する。 ・多様な支払い方法に応じた計画的な金 銭管理が必要であることを理解する。	・購入方法や支払い方法の特 徴が分かり、計画的な金銭管 理の必要性について理解して いる。	・物資・サービスの購入につ いて問題を見いだして課題を 設定している。	・よりよい消費生活の実現に 向けて、金銭の管理と購入に ついて、課題の解決に主体的 に取り組もうとしている。	◎小5「生活を支えるお金と物」では、物や金銭の大切 さについて扱う。 ◎中学校では消費者としての自覚を高める視点からの指 導を行う。 ◇購入方法の特徴 ・インターネットを介した通信販売などの無店舗販売を 取り上げ、利点と問題点について理解できるようにす る。 ◇支払い方法の特徴 ・支払い時期の違いによる特徴が分かるようにすると ともに、クレジットカードによる三者間契約を取り上げ、 二者間契約と比較しながら利点と問題点について理解で きるようにする。 ◇計画的な金銭管理の必要性 ・収支のバランスを図るために、生活に必要な物資・ サービスについての金銭の流れを把握し、多様な支払い 方法に応じた計画的な金銭感覚が必要であることを理解 できるようにする。 ・購入方法や支払い方法については、小学校における現 金による店舗販売に関する学習を踏まえ、中学生の身近 な消費行動と関連を図って扱うよう配慮する。

月	題材名 【指導項目】	時間	○題材の目標 ・主な学習活動	評価規準			◎円滑な接続のための留意事項 ◇確実に定着させる内容 □他教科等との関連 ◆「さいたま市 安全指導の手引き」指導資料
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度	
4 5 6	題材2-1 ・「健康・快適・安全 で持続可能な衣生 ・活」 <10時間> 【B(5)アイ】 生活を豊かにするた めの布を用いた製作	10	○製作する物に適した材料や縫い方について理解し、用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。 ○資源や環境に配慮し、生活を豊かにするために布を用いた物の製作計画を考え、製作を工夫することができる。 ・自分や家族の生活を振り返り、誰のために何を作るのか考え、生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画を立てる。 ・衣服等の再利用や布を無駄なく使うなどの工夫があるかどうか、製作に必要な手順や縫い方等時間を検討し、計画を見直し、改善する。 ・計画に沿って製作する。 ・製作を通して学習を振り返る。	・製作する物に適した材料や縫い方について理解しているとともに、用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。	・資源や環境に配慮し、生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見いだして課題を設定している。  ・資源や環境に配慮し、生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について考え、工夫している。  ・資源や環境に配慮し、生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について、実践を評価したり、改善したりしている。  ・資源や環境に配慮し、生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作に係る一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。	・生活をよりよくするための布を用いた製作について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。  ・生活をよりよくするための布を用いた製作について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。  ・よりよい衣生活の実現に向けて、生活をよりよくするための布を用いた製作について工夫し創造し、実践しようとしている。	◎小5「はじめてみようソーイング」、「わくわくミシン」では、手縫いやミシン縫いの基礎的事項を学習している。 ◎小6「楽しくソーイング」では、手縫いやミシン縫いの知識や技能を活用し、生活を豊かにする物の製作をしている。その際、形の工夫をしたり、製作手順や製作計画を考えたりしている。 ◇ミシンの取扱い（使用前の点検、使用後の手入れとしまい方、簡単な調整方法など） ・実習で扱う題材は、小学校で学んだ基礎的・基本的な知識と技能などを発展させ、それらを効果的に活用して、製作ができる内容を設定する。 ・生活を豊かにするための布を用いた製作では、身の周りの生活を快適・便利にし、さらに資源や環境に配慮するなど、自分や家族、地域の人々の生活を豊かにする物を製作する。 ・製作に必要な材料、用具、製作手順、時間等の見通しをもち、目的に応じた縫い方や製作ができるようにする。 ◇製作する物に適した材料や縫い方 ◇用具の安全な取扱い ・衣服等の再利用について、地域の高齢者や専門家などの協力を得ることなども考えられる。 ・製作を通して、生徒自身が豊かな気持ちになることに気付くようにするとともに、衣服等の再利用など布を無駄なく使うことが、資源や環境への配慮につながることを理解し、製作を工夫できるようにする。 ◇布を用いた物の製作計画・製作 ◇製作の評価・改善 ・製作の評価・改善では、他者との意見交換などを通して、多角的に検討できるよう配慮する。 ◆「裁縫の準備をしよう」 ◆「布を使って小物をつくろう」 ◆「ミシン縫いをしよう」 ◆「アイロンかけをしよう」

月	題材名 【指導項目】	時間	○題材の目標 ・主な学習活動	評価規準			◎円滑な接続のための留意事項 ◇確実に定着させる内容 ・指導上の留意点 □他教科等との関連 ◆「さいたま市 安全指導の手引き」指導資料
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度	
6 7	題材2-2 ・「生活についての課題と実践①」 <4時間> 【B(7)ア】 衣食住の生活についての課題と実践	4	○食生活、衣生活の中から問題を見いだして課題を設定し、その解決に向けてよりよい生活を考え、計画を立てて実践できる。 ・自分や家族の食生活又は衣生活を振り返り、課題を設定し、計画を立てて実践する。 ・実践についてまとめ、報告し、新たな改善の視点を考える。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・食生活、衣生活の中から問題を見いだして課題を設定している。</li> <li>・食生活、衣生活の中から自分の立てた課題について解決のための計画を考え、工夫している。</li> <li>・食生活、衣生活の中から自分が立てた課題の解決に向けて、家庭や地域で実践した結果を評価したり、改善したりしている。</li> <li>・食生活、衣生活の中から自分が立てた課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、食生活、衣生活について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。</li> <li>・家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、食生活、衣生活について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。</li> <li>・家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、食生活、衣生活について、新たな課題を見付け、家庭や地域で次の実践に取り組もうとしている。</li> </ul>	◎小5「できるよ、家庭の仕事」における家庭での実践をはじめ、小学校では家庭との連携を図る機会が比較的多く設定されている。中学校では、「生活の課題と実践」として設定している本題材を中心に、家庭との連携を意図的・計画的に位置付けられるようにする。 ・内容項目B(1)から(5)までの学習を基礎とし、「A家族・家庭生活」や「C消費生活・環境」との関連を図り、食生活、衣生活の中から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、計画を立てて実践した結果を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどの学習を通して、課題を解決する力と生活を工夫し、創造しようとする実践的な態度を養う。 ・食生活・衣生活を見直して課題を設定し、計画、実践、評価、改善という一連の学習活動を重視し、問題解決的な学習を進めるようにする。 ・生活の科学的な理解を深めるための実践的・体験的な活動が充実するよう配慮する。 ・日本の伝統的な生活についても扱い、生活文化を継承する大切さに気付くように配慮する。

月	題材名 【指導項目】	時間	○題材の目標 ・主な学習活動	評価規準			◎円滑な接続のための留意事項 ◇確実に定着させる内容 ・指導上の留意点 □他教科等との関連 ◆「さいたま市 安全指導の手引き」指導資料
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度	
8 9	題材2-3 ・「快適・安全で持続可能な住生活」 <7時間> 【B(6)ア(7)(イ)イ】 住居の機能と安全な住まい方 ○防災教育	2	○家族の生活と住空間との関わりが分かり、住居の基本的な機能について理解することができる。 ・自分や家族の生活行為と住空間の関わりや住居の基本的な機能について考える。	・家族の生活と住空間との関わりが分かり、住居の基本的な機能について理解している。	・家族の安全を考えた住空間の整え方について問題を見だして課題を設定している。	・住居の機能と安全な住まい方について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。	◎小5「整理・整とんで快適に（環境に配慮した生活）」、小6「クリーン大作戦」では、気持ちよく生活するための住まい方について学習している。 ◇住居の基本的な機能（自然から保護する働き、心身の安らぎと健康を維持する働き、子どもが育つ基盤としての働きなど） ◇家族の生活と住空間との関わり ・住居の機能では、家庭の基本的な機能と関連させ、健康・快適・安全、生活文化の継承などの視点から考えることが大切なことに気付くようにする。 ・内容項目B(6)アでは、簡単な図などによる住空間の構想を扱う。 ・内容項目B(6)ア及びイについては、「A家族・家庭生活」の(2)及び(3)との関連を図った学習を行うようにする。 ・内容項目B(6)アの(イ)及びイについては、自然災害に備えた住空間の整え方を扱う。 ・家族がどのような生活を重視するかで、住空間の使い方が異なることなどにも気付くようにする。
9		5	○家庭内の事故の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解することができる。 ・体験や事例をもとに家庭内の事故や住まいの危険の原因を想定し具体的な対策を考える。  ○家族の安全を考えた住空間の整え方について考え、工夫することができる。 ・自分や家族の住空間の問題点を見付け、課題を設定し、計画を立てて実践する。 ・実践についてまとめ、報告し、新たな改善の視点を考える。	・家庭内の事故の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解している。	・家族の安全を考えた住空間の整え方についての課題の解決に向けて、よりよい生活を考え、計画を工夫している。  ・家族の安全を考えた住空間の整え方についての課題の解決に向けて、家庭で実践した結果を評価したり、改善したりしている。  ・家族の安全を考えた住空間の整え方に関係する課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。	・住居の機能と安全な住まい方についての課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。  ・家族や地域の人々と協働し、よりよい住生活の実現に向けて、住居の機能と安全な住まい方についての新たな課題を見付け、家庭での次の実践に取り組もうとしている。	◎小5「温かく快適に過ごす着方」、小6「すずしく快適に過ごす着方と手入れ」では、快適な室内環境の整え方として暑さ・寒さ、通風・換気及び採光を取り上げる。通風、換気では空気の流れとして夏季の通風または冬季の換気を扱う。 ◇家庭内事故の防ぎ方や家族の安全を考えた住空間の整え方 ◇室内の空気環境（一酸化炭素、化学物質による空気汚染） ◇自然災害への備え ◇二次災害の予防 ・タブレット端末を活用して調べたり、幼児や高齢者がいる家庭にインタビューしたりするなど、より安全な住空間の整え方について様々な視点から情報収集して検討できるようにする。 ・安全計画の評価・改善については、課題解決が十分に図られているかなどを振り返って評価し、計画の改善について考えられるようにする。また、他者との意見交換などを通して、多角的に検討できるよう配慮する。 ・生徒の住まいに係るプライバシーに十分配慮する。

月	題材名 【指導項目】	時間	○題材の目標 ・主な学習活動	評価規準			◎円滑な接続のための留意事項 ◇確実に定着させる内容 ・指導上の留意点 □他教科等との関連 ◆「さいたま市 安全指導の手引き」指導資料
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度	
10	題材2-4 「食生活における日本の生活文化を継承するために」 <4時間> 【B(3)ア (ア)(イ)(ウ)(エ)イ】 日常食の調理と地域の食文化	4	○地域の食文化について理解し、地域の食材を用いた和食の調理が適切にできる。 ・だしを取り、地域の食材を用いた和食を調理する。  <b>(調理例)</b> ・だしと地域又は季節の食材を用いた煮物(青菜の卵とじ・筑前煮) ・だしと地域又は季節の食材を用いた汁物(とうふのすまし汁・かきたま汁) ・だしと地域又は季節の食材を用いた蒸し料理(茶碗蒸し) ・行事食や郷土料理(呉汁・いがまんじゅう)  ・蒸す調理方法の特徴を知り、適切に調理する。 ・調理実習を振り返ることを通して地域の食文化の意義について考える。	・地域の食文化について理解しているとともに、地域の食材を用いた和食の調理が適切にできる。  ・蒸し料理の仕方について理解しているとともに、基礎的な日常食の調理が適切にできる。	・地域の食材を用いた和食の調理における食品の選択や調理の仕方について問題を見いだして課題を設定している。  ・地域の食材を用いた和食の調理計画について考え、工夫している。	・日常食の調理と地域の食文化について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。  ・家族や地域の人と協働し、よりよい食生活の実現に向けて、日常食の調理と地域の食文化について工夫し創造し、実践しようとしている。	◎我が国の伝統的な日常食として、小5「食べて元気」で米飯やみそ汁の調理、だしの役割について学習している。 ◇地域の食文化の意義 ・地域の食材を用いた和食の調理を扱い、地域の食材のよさや食文化について理解し、それらを用いた和食の調理ができるようにする。 ◇地域の食材を用いた和食の調理 ◇だしを用いた煮物または汁物 ・小学校で学習しただしの役割を踏まえ、だしの種類や料理に適しただしの取り方に気付くことができるようになる。 <b>□道徳C 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度</b> ◆「調理をしよう」 ◆「包丁を使って材料を切ろう」 ◆「加熱用調理器具を使って加熱しよう」 ◆「食品をあつかおう」 ◆「肉や魚を使って調理をしよう」 ・内容項目B(1)から(6)までの学習を基礎とし、「A家族・家庭生活」や「C消費生活・環境」との関連を図り、食生活、衣生活の中から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、計画を立てて実践した結果を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどの学習を通して、課題を解決する力と生活を工夫し、創造しようとする実践的な態度を養う。 ・計画した内容について、家庭における実践の機会を設ける。 ・食生活・衣生活、住生活を見直して課題を設定し、計画、実践、評価、改善という一連の学習活動を重視し、問題解決的な学習を進めるようにする。 ・生活の科学的な理解を深めるための実践的・体験的な活動が充実するよう配慮する。 ・日本の伝統的な生活についても扱い、生活文化を継承する大切さに気付くように配慮する。

月	題材名 【指導項目】	時間	○題材の目標 ・主な学習活動	評価規準			◎円滑な接続のための留意事項 ◇確実に定着させる内容 ・指導上の留意点 □他教科等との関連 ◆「さいたま市 安全指導の手引き」指導資料
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度	
11 12	題材2-5 ・「生活についての課題と実践②」 <4時間> 【B(7)ア】 衣食住の生活についての課題と実践	4	○食生活、衣生活、住生活の中から問題を見いだして課題を設定し、その解決に向けてよりよい生活を考え、計画を立てて実践できる。 ・自分や家族の食生活又は衣生活、住生活を振り返り、課題を設定し、計画を立てて実践する。 ・実践についてまとめ、報告し、新たな改善の視点を考える。	・食生活、衣生活、住生活の中から問題を見いだして課題を設定している。 ・食生活、衣生活、住生活の中から自分が立てた課題について、解決の計画を考え、工夫している。 ・食生活、衣生活、住生活の中から自分が立てた課題についての実践を評価したり、改善したりしている。 ・食生活、衣生活、住生活の中から自分が立てた課題の解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。	・家族や地域の人と協働し、よりよい生活の実現に向けて、食生活、衣生活、住生活について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 ・家族や地域の人と協働し、よりよい生活の実現に向けて、食生活、衣生活、住生活について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 ・家族や地域の人と協働し、よりよい生活の実現に向けて、食生活、衣生活、住生活について新たな課題を見付け、家庭や地域で次の実践に取り組もうとしている。	◎小5「できるよ、家庭の仕事」における家庭での実践をはじめ、小学校では家庭との連携を図る機会が比較的多く設定されている。中学校では、「生活の課題と実践」として設定している本題材を中心に、家庭との連携を意図的・計画的に位置付けられるようにする。 ・内容項目B(1)から(5)までの学習を基礎とし、「A家族・家庭生活」や「C消費生活・環境」との関連を図り、食生活、衣生活の中から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、計画を立てて実践した結果を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどの学習を通して、課題を解決する力と生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。 ・食生活・衣生活を見直して課題を設定し、計画、実践、評価、改善という一連の学習活動を重視し、問題解決的な学習を進めるようにする。 ・生活の科学的な理解を深めるための実践的・体験的な活動が充実するよう配慮する。 ・日本の伝統的な生活についても扱い、生活文化を継承する大切さに気付くように配慮する。	

月	題材名 【指導項目】	時間	○題材の目標 ・主な学習活動	評価規準			◎円滑な接続のための留意事項 ◇確実に定着させる内容 ・指導上の留意点 □他教科等との関連 ◆「さいたま市 安全指導の手引き」指導資料
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度	
1 2	題材2-6 ・「自立した消費者となるために」 <3時間> 【C(1)ア(ア)(イ)、 (2)アイ】 金銭の管理と購入 消費者の権利と責任	3	○売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解し、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。 ・売買契約で消費者被害の事例をもとに、被害を回避する方法や適切な対応の仕方について調べる。	・売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解している。  ・物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理について理解しているとともに、収集・整理が適切にできる。	・物資・サービスの選択・購入、自立した消費者としての消費行動について問題を見だして課題を設定している。		◎小5「生活を支えるお金と物」では、買い物や消費者の役割、物や金銭の大切さについて扱う。また、現金による店頭での買物を中心に学習している。 ◎中学校では消費者としての自覚を高める視点からの指導を行う。 ◇売買契約の仕組み ・インターネットを介した通信販売やクレジットカードでの支払い（三者間契約）について理解できるようにする。 ◇消費者被害の背景 ◇消費者被害への対応 ・被害者の低年齢化により、中学生も被害者になりやすいことに触れる。 ・各種相談窓口やクーリング・オフ制度について理解させる。 ◇物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理 ・売買契約の仕組みについては、消費者被害と関連させて扱うようにする。 ・物資・サービスの購入についての課題を解決するために身に付けた基礎的・基本的な知識及び技能を活用し持続可能な社会の構築などの視点から考え、工夫することができるようにする。 ・中学生にとって想定しやすい具体的な場面を取り上げ、生活体験を踏まえて問題を見出し、設定するようにする。 ・指導に当たっては、中学生にとって身近な物資・サービスの購入場面を取り上げ、具体的に考えることができるよう配慮する。 ・生徒自身の購入場面を取り上げる場合には、プライバシーに十分配慮する。 ◎身近な物の選び方、買い方については、小6「できることを増やしてクッキング」「こんだてを工夫して」「生活を豊かにソーイング」、中1「食品の購入と選択」「衣服の選択と手入れ」などとの関連を図って、学習している。 ・「A家族・家庭生活」「B衣食住の生活」の学習との関連を図って適切な題材を設定する。
			○物資・サービスの選択に必要な情報を活用して購入について考え、工夫することができる。 ・具体的な場面を想定し、商品を選択するための工夫を考える。		・物資・サービスの選択・購入、自立した消費者としての消費行動について考え、工夫している。	・よりよい消費生活の実現に向けて、金銭の管理と購入について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。	

月	題材名 【指導項目】	時間	○題材の目標 ・主な学習活動	評価規準			◎円滑な接続のための留意事項 ◇確実に定着させる内容 ・指導上の留意点 □他教科等との関連 ◆「さいたま市 安全指導の手引き」指導資料
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度	
2 3	題材2-6 ・「自立した消費者となるために」 <3時間> 【C(1)ア(7)(イ)イ、 (2)アイ】 金銭の管理と購入 消費者の権利と責任	3	○消費者の基本的な権利と責任、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解できる。 ・事例を通して消費者の権利と責任を考える。 ・自分や家族の消費行動が資源や環境への配慮や社会に及ぼす影響について考える。  ○身近な消費生活について、自立した消費者としての責任ある消費行動を考え、工夫することができる。 ・自立した消費者となるための責任ある消費行動について、自分の考えをまとめ、発表し合う。 ・題材全体を通して、学習を振り返る。	・消費者の基本的な権利と責任、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解している。	・物資・サービスの選択・購入、自立した消費者としての消費行動について、実践を評価したり、改善したりしている。  ・物資・サービスの選択・購入、自立した消費者としての消費行動に係る課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。	・よりよい消費生活の実現に向けて、金銭の管理と購入、消費者の権利と責任について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。  ・よりよい消費生活の実現に向けて、金銭の管理と購入、消費者の権利と責任について工夫し創造し、実践しようとしている。	・情報社会における消費生活の変化に対応して、中学生の身近な消費行動とかかわりのある具体的な事例を扱うよう配慮する。 ◎中学生の実際の消費生活と関連させ、消費者の基本的な権利と責任や、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について具体的に理解できるようにする。 ◇消費者の基本的な権利と責任 ・中学生にとって身近な消費者被害と関連させて扱うよう配慮する。 ◇消費生活が環境や社会に及ぼす影響 ・中学生にとって身近な商品の購入場面を取り上げ、消費者の基本的な権利と責任との関連や、環境社会に及ぼす影響について具体的に考えることで、自立した消費者としての意識を高めるよう配慮する。  □社会 消費生活と経済(中3)



月	題材名 【指導項目】	時間	○題材の目標 ・主な学習活動	評価規準			◎円滑な接続のための留意事項 ◇確実に定着させる内容 ・指導上の留意点 □他教科等との関連 ◆「さいたま市 安全指導の手引き」指導資料
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
4 5 6 7	題材3-1 ・「幼児の生活と家族」 ・①自分の成長と家族・家庭生活 ・<1時間> 【A(1)ア】 自分の成長と家族・家庭生活	1	○自分の成長を振り返り、中学生の時期にある自分と家族・家庭生活との関わりについて考え、自分の成長や生活は、家族や家庭生活に関わる地域の人々に支えられていることに気づき、幼児期への関心をもつようにする。 ・自分の成長を振り返ることを通して、家族や家庭生活との関わりや自分も通ってきた幼児期について考える。	・自分の成長と家族や家庭生活との関わりが分かり、家族・家庭の基本的な機能について理解しているとともに、家族や地域の人々と協力・協働して家庭生活を営む必要があることに気付いている。			◎小学校では、題材や学期、学年の終わりに、また、中1「自分の成長と家族・家庭生活」（家族・家庭生活）において自分の成長の振り返りを行っている。ここでは、内容項目A(2)、(3)の導入として幼少期の頃の自分の成長を振り返ることにより、中学生の時期にある自分と家族や家庭生活との関わりについて考えさせる。 ・自分の成長を振り返ることを通して、自分の成長や生活には、家族やそれに関わる人々に支えられてきたことに気付くようにする。 □道徳 C 家族愛、家庭生活の充実
	題材3-1 「幼児の生活と家族」 ②幼児の生活と家族 <4時間> 【A(2)ア(ア)(イ)】 幼児の生活と家族	2	○幼児の心身の発達と生活の特徴、子どもが育つ環境としての家族の役割について理解することができる。 ・幼児の観察（VTR視聴等）を通して、幼児の体や心の発達についてまとめる。 ・事例を基に、幼児期における周囲の人との関わり方や家族の役割について考える。	・幼児の発達と生活の特徴が分かり、子供が育つ環境としての家族の役割について理解している。	・幼児との関わり方について問題を見いだして課題を設定している。		◇幼児の心身の発達の特徴（身体の発育や運動機能、言語、認知、情緒、社会性） ◇生活習慣の形成の重要性 ◇幼児期における周囲の人との基本的な信頼関係 ◇幼児の発達を支える家族の役割（子どもの保護・情緒の安定・社会性） ・身近な幼児と周囲の人々の観察や視聴覚教材の活用、ロールプレイングなどの学習活動を通して、具体的に扱うようにする。
		2	○幼児にとっての遊びのもつ意義や幼児との関わり方について理解することができる。 ・幼児の様々な遊びの種類について思い起こし、それらにより促される発達について考える。 ・幼児の発達や生活の特徴を踏まえた関わり方を考える。	・幼児にとっての遊びの意義や幼児との関わり方について理解している。	・幼児の生活と家族について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。		◇幼児にとっての遊びの意義 ・子どもの成長にとっては、適切で十分な遊びを経験できる環境が重要であることを理解できるようにする。 ・伝承遊びについても触れ、そのよきや日本の生活文化の継承にも関わることに気付くことができるようにする。 ・具体的な活動を通して、幼児の遊びの意義について考えることができるようにする。

月	題材名 【指導項目】	時間	○題材の目標 ・主な学習活動	評価規準			◎円滑な接続のための留意事項 ◇確実に定着させる内容 □他教科等との関連 ◆「さいたま市 安全指導の手引き」指導資料
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
8 9 10 11 12	題材3-1 ・幼児の生活と家族 ③幼児の間食 <2時間> 【A(2)ア(ア)イ】 ・幼児の生活と家族	2	○幼児の心身の発達に応じた間食の献立について考え、工夫することができる。 ・幼児の心身の発達を踏まえ、幼児のための間食を考える。	・幼児の発達と生活の特徴が分かり、子供が育つ環境としての家族の役割について理解している。	・幼児の心身の発達に応じた間食について考え、工夫している。	・幼児の食生活について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。	◇幼児の心身の発達に応じた間食の工夫 ・第2学年「食生活における日本の生活文化を継承するために」で学習した蒸し調理の特徴をいかし、小麦粉を使った菓子など、幼児にふさわしい間食の献立を考えさせるようにする。 ◎小学校で学習したゆでる、いためる調理などと比較し、蒸し調理の特徴を理解できるようにする。 ・本題材では、内容項目B(3)ア(イ)(ウ)(蒸し調理)との関連を図り、総合的に展開できるようにしている。
	題材3-1 「幼児の生活と家族」 ④幼児との触れ合い体験 <5時間> 【A(2)イ】 幼児の生活と家族  ○赤ちゃん・幼児触れ合い体験	5	○幼児と触れ合うなどの活動を通し、幼児への関心を高め、よりよい関わり方について考え、工夫することができる。 ・幼児との関わり方について事例を基に考える。(事前学習) ・「赤ちゃん・幼児触れ合い体験」を行う。 ・幼児について体験したことや観察したことをまとめる。(事後学習)	・幼児との関わり方について考え、工夫している。  ・幼児との関わり方について、実践を評価したり、改善したりしている。  ・幼児との関わり方に係る課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。	・幼児の生活と家族について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。  ・家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、幼児の生活と家族について工夫し創造し、実践しようとしている。	◇幼児の発達の状況に応じた関わり方の工夫 ・幼児と触れ合う活動については、地域の幼稚園、保育所、認定こども園などと連携しながら、効果的に実施できるよう工夫するとともに、幼児及び生徒の安全に配慮する。 ・生徒が自分なりの課題をもって、幼児の発達の状況に応じた関わり方を工夫し、実践できるようにする。 ・触れ合い体験を通して、幼児と触れ合うことの楽しさやよさを実感できるようにする。 ・事前の打合せを十分にを行い、対象とする幼児の発達や興味などを把握して活動の計画を立てるようにする。 <関わり方の例> ・乳幼児のいる親子を学校に招待し、幼児や親子の観察や触れ合い活動をする。 ・幼稚園・保育所を訪問し、幼児と触れ合う。 ・中学校に幼児を招待し、幼児と触れ合う。 事後学習において、幼児との触れ合いや観察を通して分かったことなどを、ワークシートにまとめたり、グループで発表し合ったり、話し合ったりするなどの活動(言語活動)を位置付け、振り返りを十分行うようにする。 <b>□道徳B 思いやり、感謝</b> <b>□道徳C 家族愛、家庭生活の充実</b> <b>□道徳D 生命尊重</b> ◆「幼児と触れ合おう」 ◆「親子を学校に招待しよう」	
1 2 3	題材3-2 ・「家族・家庭や地域との関わり」 ①家族・家庭や地域との関わり <4時間> 【A(3)ア(ア)イ】 家族・家庭や地域との関わり	4	○家族の互いの立場や役割が分かり、協力することによって家族関係をよりよくできることについて理解することができる。 ・中学生の時期にある自分と家族との関わり方について、事例を基に考える。	・家族の互いの立場や役割が分かり、協力することによって家族関係をよりよくできることについて理解している。	・家族関係をよりよくする方法及び高齢者など地域の人々と関わり、協働する方法について問題を見いだして課題を設定している。	◎小5「わたしと家族の生活」「やってみよう家庭の仕事」、小6「わたしの生活時間」では、家庭の仕事や生活時間の工夫による仕事の分担について学習している。また、小6「わたしの気持ちを伝えよう」では、近隣の人々との関わりについて学習している。 ◎これまでの家庭科学習を振り返りながら、家族や家庭生活の基本的な機能や地域とのつながりについて考えられるようにする。 ◇家庭や家族の基本的な機能(子どもを育てる機能、心の安らぎなどの精神的な機能など) ◇家庭生活と地域との関わり ・生徒の生活に関わりの深い事例を取り上げ、具体的に考えられるようにする。また、地域との関わりについては、高齢者などの地域の人々との関わりについても触れるよう留意する。	

月	題材名 【指導項目】	時間	○題材の目標 ・主な学習活動	評価規準			◎円滑な接続のための留意事項 ◇確実に定着させる内容 ・指導上の留意点 □他教科等との関連 ◆「さいたま市 安全指導の手引き」指導資料
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度	
			○家庭生活は地域との相互の関わりで成り立っていることが分かり、高齢者など地域の人々と協働する必要があることや介護など高齢者との関わり方について理解することができる。 ・自分の生活を支える家庭生活と地域との関わりについて身近な事例を基に考える。 ・高齢者の身体の特徴を踏まえた関わり方について考える。	・家庭生活は地域との相互の関わりで成り立っていることが分かり、高齢者などの地域の人々と協働する必要があることや介護など高齢者との関わり方について理解している。		・家族・家庭や地域との関わりについて、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。	・視力や聴力、筋力の低下等、高齢者の身体的特徴が分かり、高齢者の介護の基礎に関する体験的な活動ができるよう留意する。 □道徳C 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度  ◎「自分と家族や家庭生活、家族との関わり」については、中1「自分の成長と家族・家庭生活」で学習している。 ・これからの自分の生活に関心を持ち、将来の家庭生活や家族との関わりに期待をもてるようにする。 □道徳C 家族愛、家庭生活の充実
1 2 3	題材3ー2 ・「家族・家庭や地域との関わり」 ・②家族関係をよりよくする方法及び高齢者など地域の人々との関わり、協働する方法と工夫 <2時間> 【A(3)イ】 家族・家庭や地域との関わり	2	○家族関係をよりよくする方法及び高齢者など地域の人々と関わり、協働する方法について考え、工夫することができる。 ・家族関係をよりよくする方法について話し合う。 ・地域の人々と協働するための方法を小グループで検討する。  ○自分の成長と家族や家庭生活との関わりが分かり、家族や地域の人々と協力・協働して家庭生活を営む必要があることに気付く。 ・3年間の家庭科の学習を振り返り、これからの自分の生活について考える。	・自分の成長と家族や家庭生活との関わりが分かり、家族・家庭の基本的な機能について理解していると共に、家族や地域の人々と協力・協働して家庭生活を営む必要があることに気付いている。	・家族関係をよりよくする方法及び高齢者など地域の人々と関わり、協働する方法について、実践を評価したり、改善したりしている。  ・家族関係をよりよくする方法及び高齢者など地域の人々と関わり、協働する方法に係る課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。	・家族・家庭や地域との関わりについて、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。  ・家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、家族・家庭や地域との関わりについて工夫し創造し、実践しようとしている。	◎自分と家族や家庭生活、家族との関わりについては、中1「自分の成長と家族・家庭生活」で学習している。 □道徳C 家族愛、家庭生活の充実 ・生徒の身近な地域の生活の中から主に高齢者など地域の人々との関わりについての問題を見だし、課題を設定するようにする。 ・生徒同士の意見交換等を通して、中学生の自分が地域の一員として、どのようにすれば高齢者など地域の人々とよりよく関わり、協働することができるかについて検討できるようにする。  ・これからの自分の生活に関心を持ち、将来の家庭生活や家族との関わりに期待をもてるようにする。 ・中学校3年間の家庭分野で学んだことを今後の自分にどう活かすか、考えられるようにする。  □道徳C 家族愛、家庭生活の充実

# 第1学年 「グローバル・スタディ科」シラバス 担当者

## ◎学習到達目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成する。相手の伝えたいことを正しく理解したうえで、自分の考えや思いを自分の言葉で伝えることができる。

題 材		主な評価規準
1 学 期	Classroom English	授業で用いられる英語表現を理解することができる。
	Get Ready	・聞き取った情報を参考に、好きな食べ物や行きたい国などについて、話したり書いたりすることができる。 ・友だちとの対話や先生へのインタビューを通して、即興でやり取りすることができる。
	アルファベットを確かめよう(PROGRAM0)	アルファベットの形、つづり字、発音について理解することができる。
	辞書を引いてみよう	辞書の引き方について理解することができる。
	友達を作ろう(PROGRAM1)	新しいクラスの友達に自分のことを伝えるために、自分の好みなどについて、紹介したいことを話したり、相手からの質問に答えたり、相手の好みについて質問したりすることができる。
	数の言い方(Word Web1)	年齢や電話番号、値段などの言い方を理解し、正確に聞き取ったり、伝えたりすることができる。
	1-Bの生徒たち(PROGRAM2)	相手の興味深い情報を得るために、学級の友だちについて知りたいことを整理して質問をしたり、質問に答えたりすることができる。
	曜日と天気の違い(Word Web2)	曜日や天気などの言い方を理解し、やり取りすることができる。
	英語でやりとりしよう①(Steps1)	質問のやりとりをすることができる。
	アクションコーナー	命令文の表現を理解し、正確に聞き取ったり、やり取りしたりすることができる。
	タレントショーを開こう(PROGRAM3)	タレントショーで伝える自分の情報を話し合いで決めるために、自分ができることやできないことについての事実を、既習言語や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。
	考えを整理し、表現しよう(Steps2)	マッピングを活用しながら、自分の好きなことについて発表することができる。
あなたの知らない私(Our Project1)	・即興で、相手に分かりやすく自己紹介ができる。 ・内容を整理して、まとまりのよいスピーチ原稿を書くことができる。	
2 学 期	ハンバーガーショップへ行こう(Power-Up1)	設定した状況に応じて、メニュー表を見ながら、店員役と客役に分かれてやり取りすることができる。
	Let's Enjoy Japanese Culture. (PROGRAM4)	海外の人々に、日本のことを知ってもらうために、日本の発明について紹介したいと思うものをマナー良く話すことができる。
	持ち主をたずねよう(Power-Up2)	whichやwhoseの表現を使いながら、持ち主についてやり取りするスキットを作成し、発表することができる。
	The Junior Safety Patrol (Word Web2)	さいたま市のジュニア大使として、外国の人にさいたま市の魅力を伝えるために、地元ゆかりのある有名人名についての情報や自分の考えを話すことができる。
	季節・月の名前(Word Web3)	季節や月の名前などの言い方を理解する。
	The Way to School (PROGRAM6)	海外の友だちに好きな映画を紹介するために、登場人物や内容について、説明したり、相手からの質問に答えたりすることができる。
	道案内をしよう①(Power-Up3)	駅ビルの地図を見ながら、客役とスタッフ役に分かれてやり取りすることができる。
	店内放送を聞こう(Power-Up4)	店内放送を聞いて、その内容を理解することができる。
	順番・日付の言い方(Word Web4)	順番や日付などの言い方を理解し、やり取りすることができる。
	Research on Australia (PROGRAM7)	海外の友人に紹介するために、選択したさいたま市や日本文化について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちなどを含めて話すことができる。
	話の組み立て方を考えよう(Steps3)	わかりやすい構成を考えながら、あるトピックについて自分の考えを発表することができる。
	英語でやり取りしよう②(Steps4)	さまざまな疑問文を用いて、やりとりをすることができる。
疑問詞のまとめ(Word Web5)	さまざまな疑問詞の使い方を理解し、やり取りすることができる。	
この人を知っていますか(Our Project2)	マッピングを活用し、紹介したい人について、話す内容や順番を考え、書いたり、発表することができる。	
3 学 期	インタビューを聞こう(Power-Up5)	インタビューを聞いて、その内容を理解することができる。
	The Year-End Events (PROGRAM8)	海外のイベントに「行ってみたい」と思ってもらうために、世界の祭りの様子について、調べて分かった事実や自分の考えを発表したり、友だちの発表を聞いて適切な質問をしたりすることができる。
	絵や写真を英語で表現しよう(Steps5)	絵の情報について適切な英語を用いて表現できる。
	A Trip to Finland (PROGRAM9)	英語圏に住む外国の友達に手紙を送るために、自分の経験や考えを相手の国の習慣や手紙の形式に気を付けながら親しみを込めて、わかりやすく書くことができる。
	文の内容を整理し、表現しよう(Steps6)	図表を活用しながら、PROGRAM18、9の内容についてわかりやすく説明できる。
	Grandma Baba's Warming Ideas! (PROGRAM10)	異文化理解を深めるために、登場人物の心情や物語の背景等について考察し、グループで話し合いながら、英語劇を作成し発表することができる。
	英語でやりとりしよう③(Steps7)	現在・過去進行形・過去形の疑問文を使って、適切に質疑応答ができる。
	私が選んだ1枚(Our Project3)	・自分が選んだ絵や写真について、メモやマッピングをもとにわかりやすく情報を整理し、紹介をすることができる。 ・聞き手のコメントや質問に対応することができる。
	絵はがきを書こう(Power-Up6)	モデル文を参考にしながら、絵はがきを書くことができる。
	Reading Steps	物語や説明文などを読んで、内容を理解し、自分のことや考え、知りたいことなどを書くことができる。

評価の観点	評価の方法
●知識・技能	① 定期テストの文法問題・単語等 ② 単元ごとの小テスト
●思考・判断・表現	① パフォーマンステスト (speech, presentation, writing, retelling) ② 定期テストのリスニング問題、長文を読んで答える問題、英文を書く力を試す問題
●主体的に学習に取り組む態度	① パフォーマンステスト (speech, presentation, writing) ② 課題への取り組み、理解 (活動中の様子)

## 第2学年 「グローバル・スタディー科」 シラバス 担当者

◎学習到達目標 1年での学習を基礎として、言語の使用場面や言語の働きをさらに広げた言語活動を行わせることにより、第1学年の学習内容の定着とともに、事実関係を伝えたり、物事について判断したり、自分の考えを述べられるコミュニケーション能力の育成を図る。

題 材	主 な 評 価 規 準	
1 学 期	進級おめでとう	○既習の表現を用いて考えや気持ちなどを伝えることができる。
	辞書を使ってみよう	○進んで辞書を利用し、学習に役立てようとしている。
	Classroom English	○2年生の学習内容を知るために、クラスルーム・イングリッシュを使うことができる。
	P-1 Making New School Trip Plans	○未来形( <i>be going to</i> 、 <i>will</i> )や接続詞( <i>When</i> ～、 <i>If</i> ～)の特徴や決まりを理解し、表現することができる。
	Steps 1情報をつなげ、メモをとろう	○インタビューで、マッピングを活用しながら、質問をしたり、答えたりすることができる。
	P-2 International Youth Meeting	○ <i>must</i> 、 <i>musn't</i> 、( <i>don't</i> ) <i>have to</i> 、 <i>I think(that)～. I don't think(that)～.</i> を用いた文の構造を理解し、自分の意見や考え、根拠を表現することができる。
	P-Up 1 天気予報を聞こう	○天気予報を聞いて、必要な情報を聞き取ることができる
	P-Up 2 電話をかけよう	○電話で用いる表現を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。
	World Web 1 スープの材料	○自分の好きなスープをデザインし、紹介することができる。
	P-3 Taste of Culture	○不定詞の名詞的・副詞的・形容詞的用法を理解し、表現することができる。 ○動名詞の用法を理解し、表現することができる。
2 学 期	Steps 2 文章の構成を考えよう	○つなぎ言葉を用いたり、いろいろな工夫をしたりして、話を続けることができる。
	Our Project4「夢の旅」を企画しよう	○グループプレゼンテーションを行うことができる。○質問やコメントをすることができる。
	Reading 1 Writing a Report	○物語の重要な部分を理解し、自分の考えを含めて、論理的なレポートを書くことができる。
	World Web 2 いろいろな形容詞	○対義語の形容詞を理解し、絵の内容について表現することができる。
	P-4 Introducing Japan	○形容詞や副詞の比較級や最上級、原級を用いた比較文型を正しく身につけ、表現することができる。
	World Web 3 楽器の名前	○いろいろな楽器の言い方を理解して、やり取りすることができる。
	P-5 Work Experience	○疑問詞+不定詞、 <i>look</i> +形容詞、 <i>SVOO</i> の文型を身につけ、運用することができる。
	P-Up3レストランで食事をしよう	○ある状況を設定して、店員役と客役に分かれてやり取りをすることができる。
	P-6 New ALT Will Come!	○ <i>be</i> 動詞+過去分詞を用いる受け身の文の特徴やきまりを理解し、表現することができる。
	Steps 3 会話をつなげ、深めよう	○あいづちや疑問文を用いて、好きな人物についての会話を続けることができる。
3 学 期	Our Project5 こんな人になりたい	○読み手にわかりやすく、人物について事実や自分の考え、気持ちなどを整理し書くことができる。
	Reading 2 Writing a Report	○記事を読み、内容をわかりやくまとめたり自分の考えなどを含めてレポートを書くことができる。
	Word Web 4 いろいろな前置詞	○絵を見ながら、いろいろな前置詞の言い方を理解し、適切に表現することができる。
	P-7 A Gateway to Japan	○既習の言語材料を用いて、自分の意見を述べたり、簡単な語句や文を用いて、他のメンバーの意見に対する賛成・反対の意見などを即興で伝えあったりすることができる。
	Steps4相手にわかりやすい説明をしよう	○相手が知らないものや人について、相手がわかりやすいように工夫して説明することができる。
	P-Up 4 空港アナウンスを聞こう	○空港アナウンスの重要な情報を聞き取ることができ、その情報についてやり取りをすることができる。
	P-8 A Hope for Lasting Peace	○現在完了形(完了・経験・継続)と、現在完了進行形について理解し、表現することができる。
	P-Up 5メールで近況報告をしよう	○友だちに自分の近況を報告するメールを、わかりやすい構成で書くことができる。
	Our Project 6 この1年で得た「宝もの」	○まとまりのある原稿を書いてスピーチをしたり、友だちのスピーチを聞いて質問やコメントを言ったりすることができる。
	Word Web 5 町の風景	○地図を見ながら、相手の行きたい場所について、道案内をすることができる。
Reading 3Summarize the Story	○英文を読み、内容の要点を整理しまとめ、40～50語程度の要約文を書くことができる。	
Reading Steps	○物語や説明文などを読んで、内容を理解し、自分のことや考え、知りたいことなどを書くことができる。	

評価の観点	評価の方法
●知識・技能	① 定期テストの文法問題・単語等 ② 単元ごとの小テスト
●思考・判断・表現	① パフォーマンステスト (speech, presentation, writing, retelling) ② 定期テストのリスニング問題、長文を読んで答える問題、英文を書く力を試す問題
●主体的に学習に取り組む態度	① パフォーマンステスト (speech, Presentation, Writing) ② 課題への取り組み (活動中の様子) *自己評価カード

第3学年 「グローバル・スタディ科」シラバス

担当者

◎学習到達目標 1・2学年で学習した基本文、重要表現の反復練習を通し、基礎学力の定着を引き続き図りながら、2学年で行った発表活動を基礎として自分の考えや意見を述べ、相手の意見に賛否やその理由を述べられるような自己表現活動へと発展させ、コミュニケーションを図る資質・能力を育成する。  
また、英文の構造を理解させることで、長文の要旨をつかみながら読解することのできる力を養う。

題 材		主 な 評 価 規 準
1 学 期	辞書を使いこなそう	・辞書で意味を調べ、例文を読み取ることができる。
	2年次の単元の復習	・How to～、What to～現在完了形を理解し、使うことができる。
	1. Bentos Are Interesting!	・It is (for +人)～、ask…to～などの構文、従属節を理解し、表現することができる。
	Word Web 1 家の中と外	・ある部屋にいたら自分がすることを考えて、話し合うことができる。
	Steps 1 ディベートをしよう	・テーマについて、立場に基づき、論理的な根拠を整理して伝えたり、相手からの質問に答えたりしながらディベートをすることができる。
	2. Good Night. Sleep Tight.	・間接疑問文を用いた文の構造を理解している。 ・接続詞の that を理解し、使うことができる。
	PU1. 道案内をしよう②(電車の乗りかえ)	・電車を乗りかえるときの道案内について、適切な表現を用いて必要な情報を整理しながら伝えたり、相手からの質問に答えたりできる。
	3. A Hot Sport Today	・事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、主語+動詞+目的語+補語などを用いてまとまりのあるスピーチの原稿を書くことができる。
	Steps 2 メモの取り方を学ぼう	・情報のメモを書きとめるために、身近な話題について話された文章の要点を捉えている。
Our Project 7 記者会見を開こう	・有名人になりきって行うスピーチにおいて、事実や自分の考えなどを話す技能を身に付けている。	
2 学 期	Reading 1 Do you know this story?	・話の概要やあらすじを読み取るのに必要な語や連語及び慣用表現を理解している。
	PU2. 買ったものを交換しよう	・買ったものを返品したり交換したりするために必要な助動詞を用いた文を理解して、伝え合う技能を身に付けている。
	5. Sign Languages、 Not Just Gestures!	・現在分詞や過去分詞の形容詞としての用法を用いた文の構造を理解している。
	PU3. ホームページで学校を紹介しよう	・外国の人に自分たちの学校を紹介するために、学校行事や部活動について、事実や自分の考えを整理し、現在分詞や過去分詞の形容詞としての用法を用いながらまとまりのある文章を書いている。
	Steps 3 簡単な表現で言いかえよう	・相手にわかるように、自分の知っている表現を使って身の回りのものを既習の英語を使って伝え合おうとしている。
	5. The Story of Chocolate	・関係代名詞の表現を理解している。
	Steps 4 わかりやすい文章を考えよう	・文をつなぐ接続詞の特徴や決まりに関することを理解し、使うことができる。
	Word Web 2 動詞の使い分け	・複数の意味を持つ動詞の特徴や決まりに関するものの理解を基に、当該動詞を正確に用いて書く技能を身に付けている。
	6. The Great Pacific Garbage Patch	・関係代名詞の目的格 (which/ that/ 省略) を用いた文の構造を理解している。
	Steps 5 ディスカッションをしよう	・意見を伝える表現及び文の構造を理解している。 ・相手に自分の意見に納得してもらえるように、決められたテーマについて、事実や自分の考えなどを整理し伝えたり、相手からの質問に答えたりする。
	Our Project 8 あなたの町を世界にPRしよう	・自分の町について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、PRするときの表現を用いて書く技能を身に付けている。
	Power-Up 4 非常時のアナウンスを聞こう	・非常時のアナウンスの表現を理解し、その表現を聞いて、その内容を捉える技能を身に付けている。
7. Is AI a Friend or an Enemy?	・自分の考えていることやその理由などを、仮定法過去や接続詞などを用いて話す技能を身に付けている。	
Reading 2 Malala's Voice for the Future	・文章を客観的に読み理解するために、文章に関する質問や回答を簡単な語句や文を用いて書く技能を身に付けている。	
Word Web 3 オリンピック競技・パラリンピック競技	・オリンピックやパラリンピックについて、自分の考え、気持ちなどを整理し、競技名を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりする技能を身に付けている。	
3 学 期	Further Reading 1 The Ig Nobel Prize	・既習の言語材料の理解を基に、イグノーベル賞についての英文の内容を理解する技能を身に付けている。
	Further Reading 2 Library Lion	・既習の言語材料の理解を基に「としょかんライオン」についての英文を理解する技能を身に付けている。
	Reading Steps	・既習の言語材料の理解を基に、物語や説明文などを読んで内容を理解する技能を身に付けている。

評 価 の 観 点	評 価 の 方 法
●知識・技能	① 定期テストの文法問題・単語等 ② 小テスト等
●思考・判断・表現	① パフォーマンステスト (speech, presentation, writing, retelling) ② 定期テストのリスニング問題、長文を読んで答える問題、英文を書く力を試す問題等
●主体的に学習に取り組む態度	① パフォーマンステスト (speech, presentation, writing) ② 課題への取り組み、理解 (活動中の様子) 等

## 第1学年の目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成する。

## コミュニケーション能力のGOAL

- 相手(話し手、書き手)の伝えたいことを正しく理解したうえで、自分の考えや思いを伝えることができる。
- 日本や日本の文化に誇りを持ち、自分の言葉で発信することができる。

## 第1学年のコミュニケーション学習の到達目標(CAN-DOリスト)

聞くこと	読むこと	話すこと[やり取り]	話すこと[発表]	書くこと
① 日常の身近な事柄などについての話を理解することができる。 ② アナウンスなどを聞いて、自分に必要な情報を聞き取ることができる。	① 日常生活で使われる簡単な文を理解することができる。 ② 自分の興味のあるトピックに関する文章を、イラストや写真等も参考にしながらあらすじや大切な部分を読み取ることができる。	① 家族、日課、趣味など身近なトピックについて、質問したり、質問に答えたりすることができる。 ② 買い物などの場面でやりとりをすることができる。	① 自分のことについて(名前、年齢、好みなど)伝えることができる。 ② 自分の考えや気持ちなどが聞き手に正しく伝わるように、話すことができる。	① 自分のことについて、基本的な情報を書くことができる。 ② 友達や家族を紹介するなど、身近なことをまとめよく書くことができる。 ③ 自分の趣味や好き嫌いなどについて、理由を添えて書くことができる。

月	単元名、目標	時数	学習内容 【内容のまとめ】	評価規準			円滑な接続のための留意事項 ◎特に留意する点 ◇道徳教育の指導の内容
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
4	Classroom English 【目標】授業で用いられる英語表現を理解することができる。	1	授業で用いられる英語表現を理解する。	・授業で用いられる英語表現を理解している。 ・授業で教員が用いる英語表現を聞いて、理解する技能を身に付けている。			小6 Lesson13 Hello to the World! (Classroom English)
	Get Ready 【目標】聞き取った情報を参考に、好きな食べ物や行きたい国などについて、話したり書いたりすることができる。 ・友だちとの対話や先生へのインタビューを通して、即興でやり取りをすることができる。	8	・聞き取った情報を参考に、好きな食べ物や行きたい国などについて、話したり書いたりする。 ・友だちとの対話や先生へのインタビューを通して、即興でやり取りをする。 【読むこと】 【話すこと(やり取り)】	・小学校で習った英語の特徴や決まりに関する事項を理解している。 ・小学校で習った英語の表現の理解を基に、身近な話題について、書かれたり話された内容を理解する技能を身に付け、相手とやり取りをしたり書いたりする技能を身に付けている。	・自己紹介をし合うために、身近な話題について、書かれた文や伝えられた内容の概要を捉え、自分のことについても簡単な単語や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。	・自己紹介をし合うために、身近な話題について、書かれた文や伝えられた内容の概要を捉えようとし、自分のことについても簡単な単語や文を用いて伝えようとしたり、相手からの質問に答えようとしたりしている。	小6 Lesson13 Hello to the World! 小6 Lesson14 友だちのことをもっと知ろう
	Program0 アルファベットを確かめよう 【目標】アルファベットの形、つづり字、発音について理解することができる。	1	アルファベットの形、つづり字、発音について理解する。	・アルファベットの形、つづり字、発音について理解している。 ・アルファベットの形、つづり字、発音の理解を基に、身近な言葉を伝える技能を身に付けている。			小3～小6 アルファベットの書き表し方、読み方
5	辞書を引いてみよう 【目標】辞書の引き方について理解することができる。	1	辞書の引き方について理解する。	・辞書の引き方について理解している。 ・アルファベット順の理解を基に、基本的な単語を辞書で引く技能を身に付けている。			
	PROGRAM 1 Let's Make Friends! (友だちを作ろう) 【目標】新しいクラスの友達に自分のことを伝えるために、自分の好みなどについて、紹介したいことを話したり、相手からの質問に答えたり、相手の好みについて質問したりすることができる。	6	生徒が新しい学級で自己紹介の文を発表し友達を理解する。小学校でも活用してきた表現も使いながら、簡単な英語で自分のことを伝えたり相手の話にリアクションを伴った表現を入れたり、質問し相手の内容を確認しながら話すところを評価する。 【話すこと(やり取り)】	・be動詞を用いた文構造を理解している。 ・be動詞を用いた文などを活用して、自分の好みなどについて伝えたり、質問に答えたりしている。	自分のことを伝えるために、自分の好みなどについて、紹介したい内容を話し、相手からの質問に答えたり、相手の好みについて質問したりしている。	自分のことを伝えるために、自分の好みなどについて、紹介したい内容を話し、相手からの質問に答えたり、相手の好みについて質問したりしようとしている。	小5 Lesson2 自己紹介 My Profileを作成している。 小6 Lesson14 友だちのことをもっと知ろう 友だち紹介を経験している。 ◇道徳B[相互理解、寛容]
6	Word Web 1 数の言い方 【目標】年齢や電話番号、値段などの言い方を理解し、正確に聞き取ったり、伝えたりすることができる。	2	年齢や電話番号、値段などの言い方を理解し、正確に聞き取ったり、伝えたりする。	・年齢や電話番号、値段などの言い方を理解している。 ・年齢や電話番号、値段などの言い方の理解に基づき、正確に聞き取ったり、伝えたりする技能を身に付けている。			小3 Lesson1 えい語のせかいへ1～10の数字を学んでいる。 小5 Lesson9 日本の給食 How muchへの表現を学んでいる。

月	単元名、目標	時数	学習内容 【内容のまとめ】	評価規準			円滑な接続のための留意事項 ◎特に留意する点 ◇道徳教育の指導の内容
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	PROGRAM 2 You are a School Reporter (1-Bの生徒たち) 【目標】相手の興味深い情報を得るために、学級の友だちについて知りたいことを整理して質問したり、質問に答えたりすることができる。	8	生徒は学校新聞の記者になり、よいマナーで学級の友だちにインタビューをする。 【話すこと（やりとり）】	・一般動詞を用いた文の構造を理解している。 ・学級の友だちについて、知りたいことを整理し、一般動詞を用いた文を活用して、質問したり、質問に答えたりする技能を身に付けている。	相手の興味深い情報を得るために、学級の友だちについて知りたいことを整理し、質問したり、質問に答えたりしている。	相手の興味深い情報を得るために、相手のことについて簡単な語句や基本的な表現を用いて応答しようとしている。	小1～6各活動 "I like～"や"I play～"、"Do you～"などの表現を学んでいる。 ◇道徳B[相互理解、寛容]
	Word Web 2 曜日と天気の違い 【目標】曜日や天気などの言い方を理解し、やり取りすることができる。	1	曜日や天気などの言い方を理解し、やり取りする。	・曜日や天気などの言い方を理解している。 ・曜日や天気などの言い方の理解に基づき、やり取りする技能を身に付けている。			小6 Lesson17 夏休みの思い出 曜日と天気の表現を学んでいる。
	Steps 1 英語でやりとりしよう① 【目標】質問のやりとりをすることができる。	2	既習の表現を使って、質問のやりとりをする。	・be動詞・一般動詞・疑問詞の疑問文の尋ね方・答え方を理解している。 ・be動詞・一般動詞・疑問詞の疑問文の尋ね方・答え方の理解に基づき、身近な話題について、適切に質疑応答をする技能を身に付けている。			
	アクションコーナー 【目標】命令文の表現を理解し、正確に聞き取ったり、やり取りしたりすることができる。	2	命令文の表現を理解し、正確に聞き取ったり、やり取りしたりする。	・命令文の表現を理解している。 ・命令文の表現の理解に基づき、正確に聞き取ったり、やり取りする技能を身に付けている。			
	PROGRAM 3 Let's Have a Talent Show (タレントショーを開こう) 【目標】タレントショーで伝える自分の情報を話し合いで決めるために、自分ができることやできないことについての事実を、既習言語や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。	8	自分ができることやできないことを表現したり、質問したりしながら友だちと話し合い、舞台上で披露する内容を決める。生徒は積極的に発話したり、話し合いの中での確かな質問を考え、相手が言った内容を深める質問をしたりする。 【話すこと（やり取り）】	・canを用いた文構造を理解している。 ・自分ができることやできないことについてcanを用いた文を活用し、事実を伝えたり相手からの質問に答えたりする技能を身に付けている。	自分の情報を伝えるために、自分ができることやできないことについての事実を、既習言語や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。	自分の情報を伝えるために、自分ができることやできないことについての事実を、既習言語や文を用いて伝えようとしていたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。	小3 Lesson4 Can you do this? 小5Lesson3 友達を紹介しよう I can ~/ I can't の肯定文と否定文、Can you ~?の疑問文とその答え方について、He/She can ~/ He/ She can't ~. を使った表現を学習している。 ◇道徳A[向上心、個性の伸長]
7	Steps 2 考えを整理し、表現しよう 【目標】マッピングを活用しながら、自分の好きなことについて発表することができる。	3	マッピングを活用しながら、自分の好きなことについて発表する。 【話すこと（発表）】	・単語の使い方やモデル文を理解している。 ・単語の使い方やモデル文の理解に基づき、自分の考えを整理する技能を身に付けている。	マッピングを活用しながら、自分の好きなことについて、まとめのある内容を発表している。	マッピングを活用しながら、意欲的に自分の好きなことについて、まとめのある内容を発表しようとしている。	
	Our Project 1 あなたの知らない私 【目標】 ・即興で、相手にわかりやすく自己紹介ができる。 ・内容を整理して、まとまりのよいスピーチ原稿を書くことができる。	6	・即興で、相手にわかりやすく自己紹介をする。 ・内容を整理して、まとまりのよいスピーチ原稿を書く。 【書くこと】	・自己紹介に必要な表現を理解している。 ・自己紹介に必要な表現の理解に基づき、英文を聞いたり読んだりして、内容を正確に理解する技能を身に付けている。	友人に新しい情報を提供できるように、自分のことについて、事実や自分の気持ちを整理し、自己紹介をしている。	友人に新しい情報を提供できるように、自分のことについて、事実や自分の気持ちを整理し、自己紹介をしようとしている。	小3～小6 自己紹介
8 9	Power-Up1 ハンバーガーショップに行こう 【目標】設定した状況に応じて、メニュー表を見ながら、店員役と客役に分かれてやり取りすることができる。	3	設定した状況に応じて、メニュー表を見ながら、店員役と客役に分かれてやり取りする。 【話すこと（やり取り）】	・店での注文の仕方や表現を理解している。 ・ハンバーガー店で、注文の仕方や表現を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりする技能を身に付けている。	設定した状況に応じて、メニュー表を見ながら、店員役と客役に分かれてやり取りしている。	設定した状況に応じて、メニュー表を見ながら、店員役と客役に分かれて意欲的にやり取りしようとしている。	
	PROGRAM 4 Let's Introduce Japanese Things! (Let's Enjoy Japanese Culture.) 【目標】海外の人々に、日本のことを知ってもらうために、日本の発明について紹介したいと思うものをマナー良く話すことができる。	6	オーストラリアに留学している日本人の生徒が日本のものなどについてクラスメイトに紹介することである。 【話すこと（発表）】	・This/That is ~や代名詞を用いた文の構造を理解している。 ・日本の発明について紹介したいと思うものをThis/That is ~や代名詞を用いた文を活用して話す技能を身に付けている。	海外の人々に日本について知ってもらうために、日本の発明について紹介したいと思うものをマナー良く話している。	海外の人々に日本について知ってもらうために、日本の発明について紹介したいと思うものをマナー良く話そうとしている。	小6 Lesson18 日本を紹介しよう 日本の有名なものについて調べ、紹介する活動を行っている。 ◇道徳C[我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度]
	Power-Up2 持ち主をたずねよう 【目標】whichやwhoseの表現を使いながら、持ち主についてやり取りするスキットを作成し、発表することができる。	3	whichやwhoseの表現を使いながら、持ち主についてやり取りする。 【話すこと（やり取り）】	・whichやwhoseの意味や使い方を理解している。 ・whichやwhoseを用いて、持ち主についてたずねたり、答えたりする技能を身に付けている。	持ち主について尋ねるために、持ち物について伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。	持ち主について尋ねるために、持ち物について伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。	



月	単元名、目標	時数	学習内容 【内容のまとめ】	評価規準			円滑な接続のための留意事項 ◎特に留意する点 ◇道徳教育の指導の内容
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	PROGRAM 5 Saitama International Junior Ambassador (Junior Safety Patrol) 【目標】さいたま市のジュニア大使として、外国の人にさいたま市の魅力を伝えるために、地元ゆかりのある有名人についての情報や自分の考えを話すことができる。	9	さいたま市にゆかりのある有名人について、仲間と協力し合って調べ、その内容を“さいたま市国際ジュニア大使”として他者にわかりやすく伝える。有名人についての情報をグループで協力して収集し、クラスの友達にスピーチする。 【話すこと（発表）】	・三人称単数の主語を用いた文の構造を理解している。 ・地元ゆかりのある有名人についての情報や自分の考えを三人称単数の主語を用いた文を活用して話す技能を身に付けている。	外国の人にさいたま市の魅力を伝えるために、地元ゆかりのある有名人についての情報や自分の考えを聞き手にわかりやすく話している。	外国の人にさいたま市の魅力を伝えるために、地元ゆかりのある有名人についての情報や自分の考えを聞き手にわかりやすく話そうとしている。	小5 Lesson3 友達を紹介しよう 小6 Lesson14 友達のことをもっと知ろう 小6 Lesson22 お気に入りの人を紹介しよう he/she likes(plays)～ he/she can ～ he/she is ～  ◇道徳C 郷土の伝統と文化の尊
10	Word Web3 季節・月の名前 【目標】季節や月の名前などの言い方を理解する。	1	季節や月の名前などの言い方を理解する。	・季節や月の名前などの言い方を理解している。 ・月について、季節や月の名前などを用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりする技能を身に付けている。			小4 Lesson14 日本の美しい四季 小5 Lesson2 自己紹介(月の名前)
	PROGRAM 6 My favorite movie (The Way to School) 【目標】海外の友だちに好きな映画を紹介するために、登場人物や内容について、説明したり、相手からの質問に答えたりすることができる。	8	お気に入りの映画を選び、その内容に関してマッピング等を行い整理し論理的な映画の紹介を作り、聞き手からの質問に答える活動である。 【話すこと（発表）】	・代名詞を用いた文の構造を理解している。 ・好きな映画を紹介するために、登場人物について代名詞を用いた文などを活用し相手に説明する技能を身に付けている。	海外の友達に好きな映画を紹介するために、登場人物や内容について説明したり、相手からの質問に答えたりしている。	海外の友達に好きな映画を紹介するために、登場人物や内容について説明したり、相手からの質問に答えたりしようとしている。	小6 Lesson22 お気に入りの人を紹介しよう(人物紹介の表現) 小6 Lesson24 小学校の思い出 My favorite ○○ is～の表現を使っている。
	Power-Up 3 道案内をしよう 【目標】駅ビルの地図を見ながら、客役とスタッフ役に分かれてやり取りすることができる。	3	駅ビルの地図を見ながら、客役とスタッフ役に分かれてやり取りする。 【話すこと（やり取り）】	・道案内の表現を理解している。 ・駅ビル内について、情報を整理し、道案内の表現を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりする技能を身に付けている。	ある状況に応じて、駅ビルの地図を見ながら、客役とスタッフ役に分かれてやり取りしている。	ある状況に応じて、客役とスタッフ役に分かれて意欲的にやり取りしようとしている。	小5 Lesson7 道案内をしよう 小6 Lesson20 さいたま市を案内しよう
	Power-Up 4 店内放送を聞く 【目標】店内放送を聞いて、その内容を理解することができる。	1	店内放送を聞いて、その内容を理解する。	・商品を宣伝する語句の意味や文の働きを理解することができる。 ・商品を宣伝する語句の意味や文の働きを理解を基に、店内放送について伝えられた内容を聞き取る技能を身に付けている。			
	Word Web 4 順番・日付の言い方 【目標】順番や日付などの言い方を理解し、やり取りすることができる。	1	順番や日付などの言い方を理解し、やり取りする。	・順番や日付などの言い方を理解している。 ・日付について、順番や日付などの言い方を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりする技能を身に付けている。			小5 Lesson1 自己紹介/1日の生活(日付・誕生日)
11	PROGRAM 7 Let's Teach about Japan Online! (Research on Australia) 【目標】海外の友人に紹介するために、選択したさいたま市や日本文化について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちなどを含めて話すことができる。	8	生徒がさいたま市(日本)の魅力ある所について動画を撮影し、姉妹校に送る場面である。それに向けて自分で選んだ文化についてまとまりのある文を書いたり、ペアで紹介したりする言語活動を計画する。 【話すこと（発表）】	・There is/are、How can we～?を用いた文の構造を理解している。 ・選択したさいたま市や日本文化についての自分の考えや気持ち等をThere is/are、How can we～?を用いた文を活用して話す技能を身に付けている。	海外の友人に紹介するために、さいたま市や日本の文化について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちなどを含めて話している。	海外の友人に紹介するために、さいたま市や日本の文化について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちなどを話そうとしている。	小6 Lesson 18 日本を紹介しよう ◎夏休み中に中学校国際交流事業に参加した仲間の事業報告を読んだり、帰国報告会での話を実際に聞いたりすることで本単元の内容をより身近に感じることができる。  ◇道徳C[郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度]
	Steps 3 話の組み立て方を考えよう 【目標】わかりやすい構成を考えながら、あるトピックについて自分の考えを発表することができる。	3	わかりやすい構成を考えながら、あるトピックについて自分の考えを発表する。 【話すこと（発表）】	・短いスピーチの構成を理解している。 ・身近な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、スピーチの構成を用いて話す技能を身に付けている。	自分の主張を伝えるために、身近な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、話している。	自分の主張を伝えるために、身近な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、話そうとしている。	
	Steps 4 英語でやり取りしよう② 【目標】さまざまな疑問文を用いて、やり取りをすることができる。	2	さまざまな疑問文を用いて、やり取りをする。	・さまざまな疑問文の質問および答え方の文の構造を理解している。 ・身近な話題について、様々な疑問文を用いて、適切に質問したり、答えたりすることができる。			
12							

月	単元名、目標	時数	学習内容 【内容のまとめ】	評価規準			円滑な接続のための 留意事項 ◎特に留意する点 ◇道徳教育の指導の内容
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	Word Web5 疑問詞のまとめ 【目標】さまざまな疑問詞の使い方を理解し、やり取りすることができる。	2	さまざまな疑問詞の使い方を理解し、やり取りをする。	・さまざまな疑問詞の使い方を理解している。 ・身近な話題について、疑問詞疑問文を使って質疑応答する技能を身に付けている。			
	Our Project 2 この人知っていますか 【目標】マッピングを活用し、紹介したい人について、話す内容や順番を考え、書いたり、発表することができる。	6	マッピングを活用し、紹介したい人について、話す内容や順番を考え、書いたり、発表する。 【話すこと（発表）】	・論理的なスピーチの構造を理解している。 ・自分の好きな人について、事実や自分の考えを整理し、スピーチの文の構造を用いて、スピーチをする技能を身に付けている。	友人に伝えるように、自分の好きな人について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、スピーチをしている。	友人に伝えるように、自分の好きな人について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、スピーチをしようとしている。	小6 Lesson22 お気に入りの人を紹介しよう(人物紹介の表現)
	Power-up5 インタビューを聞こう 【目標】インタビューを聞いて、その内容を理解することができる。	2	インタビューを聞いて、その内容を理解する。	・インタビューに必要な表現を理解している。 ・インタビューに必要な表現の理解に基づき、インタビューを聞いて、その内容を聞いて捉える技能を身に付けている。			
1	PROGRAM 8 World Festivals (The Year-End Events) 【目標】海外のイベントに「行ってみたい」と思ってもらうために、世界の祭りの様子について、調べて分かった事実や自分の考えを発表したり、友だちの発表を聞いて適切な質問をしたりすることができる。	8	グループで協力して世界の国の祭りやイベントについて調べ、わかったことを絵に表して、その絵を用いて発表することがテーマである。教科書で取り扱っている日本文化に対して本単元では世界に目を向けて学習活動を行う。 【話すこと（発表）】	・現在進行形の文の構造を理解している。 ・世界の祭りの様子について考えたことや感じたことなどを、現在進行形の文の構造を用いて伝える技能を身に付けている。	海外のイベントに「行ってみたい」と思ってもらうために、世界の祭りの様子について、調べて分かった事実や自分の考えを発表したり、友達の発表を聞いて適切な質問をしたりしている。	海外のイベントに「行ってみたい」と思ってもらうために、世界の祭りの様子について、調べて分かった事実や自分の考えを発表したり、友達の発表を聞いて適切な質問をしたりしようとしている。	小6 Lesson19 世界を知ろう 世界の国々の伝統文化や有名なことを調べ発表している。 ◇道徳C[国際理解、国際貢献]
1	Steps 5 絵や写真を英語で表現しよう 【目標】絵の情報について適切な英語を用いて表現できる。	3	絵の情報について適切な英語を用いて表現する。 【話すこと（発表）】	・絵を説明するのに適切な表現を理解している。 ・絵を説明するのに適切な表現の理解に基づき、絵について説明した文を読んだり聞いたりする技能を身に付けている。	絵や写真を説明するために、絵の情報について、適切な表現を用いて伝えている。	絵や写真を説明するために、絵の情報について、適切な表現を用いて伝えようとしている。	
2	PROGRAM 9 Writing a Letter (A Trip to Finland) 【目標】英語圏に住む外国の友達に手紙を送るために、自分の経験や考えを相手の国の習慣や手紙の形式に気を付けながら親しみを込めて、わかりやすく書くことができる。	10	海外にいる英語圏の友達と手紙を交換するというテーマで生徒は自分の経験に基づいて手紙を書く。また、受け取った手紙を読んでその内容について返事を書く。 【書くこと】	・一般動詞の過去形を使った文の構造を理解している。 ・一般動詞の過去形を使った文の構造の理解を基に、自分の過去の経験や考えを書いて伝える技能を身に付けている。	英語圏に住む外国の友達に手紙を書くために、自分の経験や考えに基づいて、手紙の形式を守って相手に親しみを込めて文章を書いている。	英語圏に住む外国の友達に手紙を書くために、自分の経験や考えに基づいて、手紙の形式を守って相手に親しみを込めて文章を書こうとしている。	小5 Lesson6 夏休みの思い出 小6 Lesson17 夏休みや週末の思い出 ポストカードを書いて紹介している。 ◇道徳B[礼儀]
	Steps 6 文の内容を整理し、表現しよう 【目標】図表を活用しながら、PROGRAM 8、9の内容についてわかりやすく説明できる。	3	図表を活用しながら、PROGRAM 8、9の内容について説明する。 【読むこと】	・現在進行形及び一般動詞の過去形を使った文の構造を理解している。 ・現在進行形及び一般動詞の過去形を使った文の構造の理解に基づき、PROGRAM 8、9の内容について読み取る技能を身に付けている。	文章の大まかな内容を整理するために、教科書の内容について、書かれた文章の概要を捉えている。	文章の大まかな内容を整理するために、教科書の内容について、書かれた文章の概要を捉えようとしている。	
	PROGRAM 10 Skits (Grandma Baba's Warming Ideas!) 【目標】異文化理解を深めるために、登場人物の心情や物語の背景等について考察し、グループで話し合いながら、英語劇を作成し発表することができる。	10	グループで英語の劇を作成し、発表する。パフォーマンステストでは英語劇をグループで発表する。 【話すこと（発表）】	・be動詞、不規則動詞の過去形を用いた文の構造を理解している。 ・be動詞、不規則動詞の過去形を活用して劇を作成し、それを用いて発表する技能を身に付けている。	グループで英語の劇を作成するために、登場人物の心情や物語の背景等について考察し、発表している。	グループで英語の劇を作成するために、登場人物の心情や物語の背景等について考察し、発表しようとしている。	小5 Lesson11 英語劇 小6 Lesson16 紙芝居をしよう！
	Steps 7 英語でやりとりしよう③ 【目標】現在・過去進行形・過去形の疑問文を使って、適切に質疑応答ができる。	2	現在・過去進行形・過去形の疑問文を使って、適切に質疑応答する。	・現在・過去進行形・過去形の疑問文を用いた質疑応答の表現を理解している。 ・進行形・過去形の疑問文を用いた質疑応答の表現の理解を基に、身近な話題について、尋ねたり答えたりする技能を身に付けている。			

月	単元名、目標	時数	学習内容 【内容のまとめ】	評価規準			円滑な接続のための留意事項 ◎特に留意する点 ◇道徳教育の指導の内容
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
3	Our Project3 私が選んだ1枚 【目標】 ・自分が選んだ絵や写真について、メモやマッピングをもとにわかりやすく情報を整理し、紹介をすることができる。 ・聞き手のコメントや質問に対応することができる。	6	自分が選んだ絵や写真について、メモやマッピングをもとにわかりやすく情報を整理し、紹介をする。聞き手のコメントや質問に対応し、やりとりをする。 【話すこと（発表）】	・論理的なスピーチの構造を理解している。 ・自分が選んだ写真や絵について、事実や自分の考えを整理し、スピーチの文の構造を用いて、スピーチをする技能を身に付けている。	友人に興味を持ってもらえるように、自分が選んだ写真や絵について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、スピーチをしている。	友人に興味を持ってもらえるように、自分が選んだ写真や絵について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、スピーチしようとしている。	
	Power-Up 6 絵はがきを書こう 【目標】 モデル文を参考にしながら、絵はがきを書くことができる。	3	モデル文を参考にしながら、海外の人に対しての絵はがきを書く。 【書くこと】	・絵はがきの書き方や適切な表現を理解している。 ・自分の近況について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、絵はがきの書き方や適切な表現を用いて書く技能を身に付けている。	友人に自分の近況を伝えられるように、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、書いている。	友人に自分の近況を伝えられるように、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、書こうとしている。	
	Reading Steps 【目標】 物語や説明文などを読んで、内容を理解し、自分のことや考え、知りたいことなどを書くことができる。	5	物語や説明文などを読んで、内容を理解し、自分のことや考え、知りたいことなどを書く。 【読むこと】	・物語や説明文などまとまりのある文章を読むのに必要な語彙や表現を理解している。 ・必要な語彙や表現の理解を基に、物語や説明文を読んで内容を理解する技能を身に付けている。	物語や説明文の概要を捉えている。	物語や説明文の概要を捉えようとしている。	

授業時数合計 157

## 第2学年の目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成する。

## コミュニケーション能力のGOAL

- 相手(話し手、書き手)の伝えたいことを正しく理解したうえで、自分の考えや思いを伝えることができる。
- 日本や日本の文化に誇りを持ち、自分の言葉で発信することができる。

## 第2学年のコミュニケーション学習の到達目標(CAN-DOリスト)

聞くこと	読むこと	話すこと[やり取り]	話すこと[発表]	書くこと
① 少し長めの議論でも、なじみのある内容であれば、その要点を理解することができる。 ② 買い物や道案内などの場面で必要な情報を聞き取り、行動できる。 ③ 話し手自身のことや、学校などのなじみのあることについて、話されている概要や要点を捉えることができる。	① 短い物語や伝記、場所や文化の紹介などの説明文の内容を理解することができる。 ② 挿絵や写真を参考にしながら、簡単な語を用いて書かれた物語のあらすじなどを正しく読み取ることができる。 ③ 日常的なトピックを扱った話の内容や書き手の意見の概要などを捉えることができる。	① 買い物や身近な話題について、簡単な英語で、意見や気持ちをやりとりしたり、いろいろな工夫をして話を続けたりすることができる。 ② 聞いたり読んだりしたことなどについて、問答したり意見を述べ合ったりすることができる。	① 日本や、日本の伝統、文化に関して、まとまった英文で発表することができる。 ② なじみのあるトピックに関して、考えが伝わるように話の構成を考え、適切な音声で発表することができる。	① 書き方のきまりに従って、書くことができる。 ② 自分の考えが読み手に正しく伝わるように、文章構成に注意して文章を書くことができる。 ③ 読んだことをもとに、話の概要や主人公の心情、自分の感想を、辞書などを用いて書くことができる。

月	単元名、目標	時数	学習内容 【内容のまとめ】	評価規準			円滑な接続のための留意事項 ◎特に留意する点 ◇道徳教育の指導の内容
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
4	進級おめでとう 【目標】1年生で学習したことを振り返りながら、新しいクラスメートと仲間づくりをすることができる。	2	グローバル・スタディ科の授業における約束を確認し、新しいクラスメートのことを知るためのやり取りを行う。 【話すこと(やりとり)】	・前年度既習の文法事項を理解している。 ・あいさつ、仲間づくりのために、既習の文法事項を用いて、考えや気持ちなどを伝え合う技能を身に付けている。	新しい友達のことを理解したり自分の事を伝えたりするために、自分や相手のことについて、既習の表現を用いて考えや気持ちなどを伝え合っている。	新しい友達のことを理解したり自分の事を伝えたりするために、自分や相手のことについて、既習の表現を用いて考えや気持ちなどを伝え合おうとしている。	
	辞書を読んでみよう 【目標】辞書を用いて、英語についての知識を身に付けることができる。	1	英和辞典に親しみ、日々の学習で日常的に使用する。	・英和辞典の使い方を理解している。 ・英和辞典を使って、文字や必要な技能を身に付けている。			
	Prgram 0 Classroom English 【目標】2年生の学習内容を知るために、クラスルーム・イングリッシュを使うことができる。		2年生の教科書のプログラム内容の概要を捉え、クラスルーム・イングリッシュを使いながら、内容を確認する。 【話すこと(やりとり)】	・クラスルーム・イングリッシュを理解している。 ・クラスルーム・イングリッシュを用いて、教科書の内容について伝えたり、相手に尋ねたりする技能を身に付けている。	2年生の学習内容の見通しをもつために、教科書の内容について読み取ったことを整理し、伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。	2年生の学習内容の見通しをもつために、教科書の内容について読み取ったことを整理し、伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。	
	PROGRAM 1 Making New School Trip Plans (Start of a New School Year) 【目標】宿泊学習のプランナーとしてよりよい旅行プランを立てるために、自分の考えや友達の見解に対して感じた事を、簡単な語句や文を使って伝えたり、相手からの質問に答えたりしながら伝え合うことができる。	9	生徒は旅行会社に勤務しており、市内の中学生の宿泊学習の新しい行き先や何を活動するかなどについて考え、ミーティングで話し合ったり意見を交換したりする。 【話すこと(やりとり)】	・未来形(be going to、will)や接続詞(When～、If～)の特徴や決まりを理解している。 ・宿泊学習の計画について、自分の意見や友達との質問を整理し、未来形や接続詞を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりする技能を身に付けている。	よりよい旅行プランを立てるために、宿泊学習の行先について、自分の考えや友達の見解に対して感じた事を簡単な語句や文を使って伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。	よりよい旅行プランを立てるために、宿泊学習の行先について、自分の考えや友達の見解に対して感じた事を、簡単な語句や文を使って伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。	小5 Lesson8 につぼん再発見 行きたい都道府県とその理由についてグループでプレゼンテーションを行っている。 ◇道徳B[相互理解、寛容]
5	Steps 1 情報をつなげ、メモをとろう 【目標】インタビューで、マッピングを活用しながら、質問をしたり、答えることができる。	3	マッピングを活用し、インタビュー活動を行う。 【話すこと(やりとり)】	・過去または未来を表す語句の意味や働きを理解している。 ・過去または未来を表す語句の意味や働きの理解を基に、インタビューの内容を聞き取ったり、質問に答えたりする技能を身に付けている。	マッピングを活用できるように、事実を整理しながら、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。	マッピングを活用できるように、事実を整理しながら、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。	

月	単元名、目標	時数	学習内容 【内容のまとめり】	評価規準			円滑な接続のための 留意事項 ◎特に留意する点 ◇道徳教育の指導の内容
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	PROGRAM 2 International Youth Meeting (Leave Only Footprints) 【目標】 みんなで持続可能な開発目標を実現するために、SDGsの中から選択した項目について、自分の意見や解決策をクラス全体にグループ・プレゼンテーションを行うことができる。	9	グループでSDGs（持続可能な開発目標）の中から課題を選択し、それに対する意見をまとめ、グループプレゼンテーションを行う。 【話すこと（発表）】	・ must, musn't, (don't) have to, I think(that)~.I don't think(that)~.を用いた文の構造を理解している。 ・ SDGsについて自分の意見や解決策を義務や命令を表す表現を用いて話したりする技能を身に付けている。	社会的な課題(SDGs)から選択した項目について、解決策を提示するために、自分の意見や考えや根拠を述べている。	社会的な課題(SDGs)から選択した項目について、解決策を提示するために、自分の意見や考えや根拠を述べようとしている。	小6 Lesson19 世界を知ろう 世界各国の様々な特徴や文化があることを学習している。  ◇道徳D[自然愛護][感動、畏敬の念]
	Power-Up 1 天気予報を聞こう 【目標】 天気予報を聞いて、必要な情報を聞き取ることができる。	1	天気予報を聞いて、必要な情報を聞き取る。 【聞くこと】	・ 天気予報の理解に必要な表現・語彙を理解している。 ・ 天気予報を聞いて、その内容を捉える技能を身に付けている。	必要な情報を聞き取るために、天気予報について話された文の概要を捉えている。	必要な情報を聞き取るために、天気予報について話された文の概要を捉えようとしている。	
6	Power-Up 2 電話をかけよう 【目標】 ある状況を想定しながら、電話のやりとりをすることができる。	3	電話のやり取りを行う。 【話すこと（やりとり）】	・ 電話で用いる英語の表現を理解している。 ・ 電話で、情報や自分の考え、気持ちなどを整理し、電話で用いる表現を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりする技能を身に付けている。	電話で要件を伝え合うために、伝えたい情報について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。	電話で要件を伝え合うために、伝えたい情報について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。	
	World Web 1 スープの材料 【目標】 自分の好きなスープをデザインし、紹介することができる。	2	自分の好きなスープをデザインし、紹介し合う。 【話すこと（やりとり）】	・ いろいろな食材の言い方を理解している。 ・ 好きなスープについて、自分の考えなどを整理し、食材名を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりする技能を身に付けている。	自分の好きなスープについて、食材やおすすめのポイントなどについて、自分の考えを整理して伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。	自分の好きなスープについて、食材やおすすめのポイントなどについて、自分の考えを整理して伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。	
	PROGRAM 3 Taste of Culture (Taste of Culture) 【目標】 屋台で売る食べ物の魅力を伝えるために、食べ物の特色についてのプレゼンテーションを聞いて、自分の食べたいものを表現することができる。	8	生徒は屋台で各国の食べ物をPRするプレゼンテーションに取り組む。また、客側として自分が食べてみたい食べ物を紹介して、一番おいしそうなお食べ物を決定する。 【話すこと（発表）】	・ 不定詞について理解している。 ・ 各国の食べ物について、自分が食べたい食べ物を不定詞を用いて即興で伝え合ったり、質問したりする技能を身に付けている。	各国の食べ物の特色について、説得力のある表現を用いたり、自分が食べたい理由を添えたりして表現している。	各国の食べ物の特色について、説得力のある表現を用いたり、自分が食べたい理由を添えたりして表現しようとしている。	小6 Lesson19 世界を知ろう 小学校で親しんだ世界の食文化の知識・理解をさらに深める。  ◇道徳C[国際理解、国際貢献]
7	Steps 2 文章の構成を考えよう 【目標】 つなぎことばを使いながら、自分の行きたい場所についてわかりやすい文章を書くことができる。	3	文章の構成を考えて、自分の行きたい場所についてまとめりのある英文を書く。 【書くこと】	・ つなぎことばなどを使った、わかりやすい文章の構成を理解している。 ・ 自分の行きたい場所について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、つなぎことばを用いて書く技能を身に付けている。	聞き手をひきつけられるように、行きたい場所について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、自分の行きたい場所についてわかりやすい文章を書いている。	聞き手をひきつけられるように、行きたい場所について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、自分の行きたい場所についてわかりやすい文章を書こうとしている。	
	Our Project 4 「夢の旅行」を企画しよう 【目標】 「夢の旅行」企画について、グループプレゼンテーションを行うことができる。また、別のグループの企画について質問やコメントをすることができる。	8	「夢の旅行」を企画し、グループでプレゼンテーションを行う。別のグループのプレゼンテーションについて、質問やコメントをする。 【話すこと（発表）】	・ スピーチを行う際の内容の構成について理解している。 ・ 夢の旅行について、情報や自分の考え、気持ちなどを整理し、スピーチを行う際の内容の構成を用いて、話す技能を身に付けている。	・ 「聞き手」に行きたいと思ってもらえるように、「夢の旅行」について、情報や自分の考え、気持ちなどを整理し、話している。	・ 「聞き手」に行きたいと思ってもらえるように、「夢の旅行」について、情報や自分の考え、気持ちなどを整理し、話そうとしている。	
8 9	Reading 1 Writing a Report (Gon, the Little Fox) 【目標】 友人と物語の内容を共有するために、物語の重要な部分を理解し、自分の考えを含めて、論理的なレポートを書くことができる。	4	教科書本文を読み、内容の理解を深めるためにT/FやQ and A形式の問題に取り組む。さらに物語についての大切な部分や意見を書き、その内容を小グループの中で伝え合う活動を行う。 【書くこと】	・ 接続詞を効果的に用いて、文章を論理的に構成する方法や質問に対する正しい答え方を理解している。 ・ 物語について、内容や自分の考えを整理し、接続詞を効果的に用いて論理的なレポートを書く技能を身に付けている。	大切な部分を伝えたり、自分の意見を伝えたりするために、「ごんぎつね」を読んでの内容や自分の考えについて論理的な構成でレポートを書いている。	大切な部分を伝えたり、自分の意見を伝えたりするために、「ごんぎつね」を読んでの内容や自分の考えについて論理的な構成でレポートを書こうとしている。	小4 国語「ごんぎつね」で学習した内容について触れるとよい。  ◇道徳D[よりよく生きる喜び]
	World Web 2 いろいろな形容詞 【目標】 対義語の形容詞を理解し、絵の内容について表現することができる。	1	対義語の形容詞を絵を用いて理解し、表現する。	・ 対義語（形容詞）を理解している。 ・ 身近なものについて、対義語（形容詞）を用いて伝える技能を身に付けている。			

月	単元名、目標	時数	学習内容 【内容のまとめり】	評価規準			円滑な接続のための留意事項 ◎特に留意する点 ◇道徳教育の指導の内容
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	PROGRAM 4 Introducing Japan (High Tech Nature) 【目標】日本の食べ物や技術など、世界に誇れることについて説明するために、様々なものを使って伝えたり、相手からの質問に答えたりしながら話し合えることができる。	10	外国からやってくる留学生に対し、日本のことについて伝える内容を話し合うことである。日本にやってくる留学生に対し、どんな食べ物、乗り物、先端技術などを紹介したらよいかグループで話し合う。パフォーマンステストでは、生徒がミーティングを行う。 【話すこと（やりとり）】	・いろいろなものを比較する表現の特徴や決まりを理解している。 ・日本の誇れることについて、自分の意見や友達との質問を整理し、比較する表現を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりする技能を身に付けている。	日本の食べ物や技術など、世界に誇れることについて説明するために、様々なものを比較して、簡単な単語や文を使って伝えたり、相手からの質問に答えたりしながら話し合っている。	日本の食べ物や技術など、世界に誇れることについて説明するために、様々なものを比較して、簡単な単語や文を使って伝えたり、相手からの質問に答えたりしながら話し合おうとしている。	小5 Lesson8 につばん再発見 行きたい都道府県とその理由についてグループでプレゼンテーションを行っている。  ◇道徳C[我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度]
10	World Web 3 楽器の名前 【目標】いろいろな楽器の言い方を理解して、やり取りすることができる。	1	いろいろな楽器の言い方を理解し、演奏してみたい楽器や好きな楽器などのやりとりを行う。	・いろいろな楽器の言い方を理解している。 ・自分が演奏したい楽器について、いろいろな楽器の言い方を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりする技能を身に付けている。			
11	PROGRAM 5 Work Experience (Work Experience) 【目標】職業体験や将来の夢についてのスピーチについて、内容を理解した上でスピーカーにフィードバックをするために、既習の言語材料を用いて、スピーカーに対するコメント、理解を深めるための質問、アドバイス、自分が学んだことなどを述べるができる。	9	生徒が中学生の国際会議に出席する場で、複数のスピーチを聞く。職業体験での経験や、将来の夢について発表しているスピーチを、メモをとりながら聞いたあと、スピーカーに対し、質問、アドバイス、スピーチから学んだことなどをフィードバックする。「聞き手」に焦点を当てたパフォーマンスとなる。 【話すこと（やりとり）】	・疑問詞+不定詞、look+形容詞、SVWOの働きを理解している。 ・職業体験や将来の夢についてのスピーチについて、内容を理解し、既習の言語材料を用いてコメントや質問をしている。	スピーカーのスピーチにフィードバックをするよう、スピーカーの職業体験や将来の夢について、内容をメモで整理し、簡単な単語や文を用いて伝えている。	スピーカーのスピーチにフィードバックをするよう、スピーカーの職業体験や将来の夢について、内容をメモで整理し、簡単な単語や文を用いて伝えようとしている。	小6 Lesson23 My Dream 小学校6年生では、「将来の夢」についての発表をしている。  ◇道徳A[希望と勇気、克己と強い意志] ◇道徳C[勤労]
	Power-Up 3 レストランで食事をしよう 【目標】ある状況を設定して、店員役と客役に分かれてやり取りをすることができる。	2	ある状況を設定して、店員役と客役に分かれて、レストランでのやり取りを行う。 【話すこと（やりとり）】	・レストランで注文する際の表現を理解している。 ・レストランでの注文について、自分や話し手の希望などを整理し、注文する際の表現を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりする技能を身に付けている。	レストランである状況を想定しながら、店員役と客役に分かれてやり取りしている。	ある状況を想定しながら、店員役と客役に分かれてやり取りしようとしている。	
	PROGRAM 6 New ALT Will Come! (Live Life in True Harmony) 【目標】新しく赴任するALTに紹介するために、日本各地の歴史や文化について、簡単な単語を用いて、プレゼンテーションを行うことができる。	10	新しいALTに紹介するために、日本各地の歴史や文化について、簡単な単語を用いて、プレゼンテーションを行う。 【話すこと（発表）】	・be動詞+過去分詞を用いる受け身の文の特徴やきまりを理解している。 ・ALTに紹介する日本各地の歴史や文化について調べ、be動詞+過去分詞を用いる受け身の文を用いて述べている。	新しいALTに日本各地の歴史や文化を紹介するために、他のメンバーと協力し、日本各地のプレゼンテーションを簡単な単語や文を用いて行い、その場所へ行く際のアドバイスを伝えている。	新しいALTに日本各地の歴史や文化を紹介するために、他のメンバーと協力し、日本各地のプレゼンテーションを簡単な単語や文を用いて行い、その場所へ行く際のアドバイスを伝えようとしている。	◎プレゼンテーションは小学校から行っている。アイコンタクトをしながら行うことを意識させる。  ◇道徳C[我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度]
	Steps 3 会話をつなげ、深めよう 【目標】あいづちや疑問文を用いて、好きな人物についての会話を続けることができる。	3	あいづちや疑問文を用いて、好きな人物についての会話を続けることができる。 【話すこと（やりとり）】	・あいづちの表現を理解している。 ・好きな人物について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、あいづちの表現を用いて、会話を続ける技能を身に付けている。	好きな人物について、あいづちや疑問文を用いて、ペアで会話を続けている。	好きな人物について、あいづちや疑問文を用いて、ペアで会話を続けようとしている。	
	Our Project 5 こんな人になりたい 【目標】人物について、友だちと協力して調べ、アイデアを出し合い、グループで人物紹介のポスターを作成することができる。ほかのグループのポスターを読んで、感想を伝えることができる。	8	人物について紹介ポスターをグループで意見を出し合いながら協力して作成する。 ・他のグループのポスターを読んで、感想を伝える。 【書くこと】	・モデルのポスターに書かれたまとめりのある文章を読み、表現の方法を理解している。 ・人物について、事実や自分の考えなどを整理し、ポスター向けの表現を用いて書く技能を身に付けている。	・読み手に興味を持ってもらえるように、人物について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、書いている。	・読み手に興味を持ってもらえるように、人物について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、書こうとしている。	◇道徳B[希望と勇気、克己と強い意志]
12	Reading 2 Writing a Report (Friendship beyond Time and Borders) 【目標】記事を読み、内容をわかりやすくまとめたり自分の考えなどを含めてレポートを書くことができる。	8	読んだ記事を読み手にわかりやすいようにまとめ、簡単な単語を用いて、レポートを正しく書く。 【書くこと】	・レポートの正しい書き方を理解している。 ・記事の内容を理解し、既習の言語材料を用いて自分の考えを書く技能を身に付けている。	記事を読んだ後、読み手にわかりやすいように、教訓や自分の意見、記事の大切な部分を、簡単な単語や文を用いて伝えようとするレポートを書いている。	記事を読んだ後、読み手にわかりやすいように、教訓や自分の意見、記事の大切な部分を、簡単な単語や文を用いて伝えようとするレポートを書こうとしている。	中2 Reading 1 Writing a Report 物語を読み、それについてレポートを書いている。

月	単元名、目標	時数	学習内容 【内容のまとめり】	評価規準			円滑な接続のための留意事項 ◎特に留意する点 ◇道徳教育の指導の内容
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	Word Web 4 いろいろな前置詞 【目標】 絵を見ながら、いろいろな前置詞の言い方を理解し、適切に表現することができる。	1	いろいろな前置詞の言い方を理解し、絵を見ながらどこにいる（ある）かについてやりとりをする。	・いろいろな前置詞の言い方を理解している。 ・場所について、事実や自分の考えを整理し、適切な前置詞を用いて表現する技能を身に付けている。			
1	PROGRAM 7 A Gateway to Japan (A Gateway to Japan) 【目標】 生徒会で決めなければならない事項について、ディスカッションで理解を深めた上で、協議事項を決定に導くために、既習の言語材料を用いて、自分の意見を述べたり、簡単な語句や文を用いて、他のメンバーの意見に対する賛成・反対の意見などを即興で伝えあったりすることができる。	9	生徒が生徒会のメンバーになり、英語でディスカッション（協議）をして、学校の様々なことを決定していく。 【話すこと（やりとり）】	・完了・経験を表す現在完了形について理解している。 ・生徒会で決めなければならない事項について、自分の考えやその理由を既習の言語材料を用いて伝え合う技能を身に付けている。	ディスカッションで理解を深め、さらに協議事項を決定に導くよう、他のメンバーの発言内容に対して、簡単な語句や文を用いて、質問や賛成・反対の意見などを即興で伝え合っている。	ディスカッションで理解を深め、さらに協議事項を決定に導くよう、他のメンバーの発言内容に対して、簡単な語句や文を用いて、質問や賛成・反対の意見などを即興で伝え合おうとしている。	◎ミーティングとの違いを理解させる。 ◎中2 Program5 Work Experience Logical ResponseにActive Listeningを生かすことができる。 ◎中3でのディスカッション、ディベートへとつながる。
	Steps 4 相手にわかりやすい説明をしよう 【目標】 相手が知らないものや人について、相手がわかりやすいように工夫して説明することができる。	3	相手にわかりやすい説明するために、ポイントを理解し、知らないものや人について説明をする。 【話すこと（発表）】	・相手が知らないものや人に説明する表現について理解している。 ・相手が知らないものや人について、情報を整理し、適切な表現を用いて説明する技能を身に付けている。	知らないものや人について分かってもらえるように、情報を整理し、相手が知らないものや人について、相手がわかりやすいように、工夫して説明している。	相手の知らないものや人について、相手にわかりやすいように、工夫して説明しようとしている。	
2	Power-Up 4 空港アナウンスを聞こう 【目標】 空港アナウンスの重要な情報について聞き取ることができ、その情報についてやり取りをすることができる。	2	空港アナウンスを聞いて、重要な情報を聞き取り、それについて確認するやりとりをする。 【聞くこと】	・空港アナウンスに使われる表現を理解している。 ・空港アナウンスに使われる表現の理解を基に、情報を聞き取る技能を身に付けている。	ある状況を想定しながら、空港アナウンスの重要な情報について聞き取り、その情報についてやり取りをしている。	ある状況を想定しながら、空港アナウンスの重要な情報について聞き取り、その情報についてやり取りをしようとしている。	
	PROGRAM 8 A Hope for Lasting Peace (A Hope for Lasting Peace) 【目標】 世界平和を脅かす問題について調べたことについて、ディスカッションで理解を深めた上で、協議事項を決定に導くために、既習の言語材料を用いて、具体的な状況、原因、解決策を述べたり、簡単な語句や文を用いて、他のメンバーの意見に対する賛成・反対の意などを、即興で伝えあったりすることができる。	10	生徒が「世界平和機構」のメンバーになり、世界平和の実現のために、世界平和を脅かす様々な問題の原因を調査し、その解決策を模索する。「世界平和機構」の予算が限られていることから、生徒たちは世界のどの問題に、その予算を優先的に充てるべきかを、ディスカッションで協議する。 【話すこと（やりとり）】	・継続を表す現在完了形と、現在完了進行形について理解している。 ・世界平和を脅かす問題について調べたことについて、具体的な状況、原因、解決策を、現在完了形・現在完了進行形を用いて述べている。	テーマについて、ディスカッションで理解を深め、さらに協議事項を決定に導くよう、他のメンバーの発言内容に対して、簡単な語句や文を用いて、質問や賛成・反対の意などを即興で伝え合っている。	テーマについて、ディスカッションで理解を深め、さらに協議事項を決定に導くよう、他のメンバーの発言内容に対して、簡単な語句や文を用いて、質問や賛成・反対の意などを即興で伝え合おうとしている。	◎中2 Program7 A Gateway to Japan Logical ResponseはProgram7から引き続きである。本単元では、リサーチをしてより論理的で説得力のある論拠を作らせる。  ◇道徳B[公正、公平、社会正義]
	Steps 5 説得力のある主張をしよう 【目標】 あるテーマについて、説得力のある理由をまじえて自分の意見を主張することができる。	3	あるテーマについて、説得力のある理由をまじえて自分の意見を主張する。 【話すこと（やりとり）】	・説得力のある主張の仕方について理解している。 ・定められたテーマについて、事実や自分の考えを整理し、説得力のある主張の表現を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりする技能を身に付けている。	聞き手に同意してもらえるように、あるテーマについて、説得力のある意見を理由をまじえて伝え合っている。	聞き手に同意してもらえるように、あるテーマについて、説得力のある意見を理由をまじえて伝え合おうとしている。	
	Power-Up 5 メールで近況報告をしよう 【目標】 友だちに自分の近況を報告するメールを、わかりやすい構成で書くことができる。	3	友だちに自分の近況を報告するメールをわかりやすい構成で書く。 【書くこと】	・メール文の表現を理解している。 ・近況報告について、事実や自分の気持ちなどを整理し、メール文の表現を用いて書く技能を身に付けている。	読み手の友だちに伝わるように、自分の近況を報告するメールを、わかりやすい構成で書いている。	読み手の友だちに伝わるように、自分の近況を報告するメールを、わかりやすい構成で書くこととしている。	
	Our Project 6 この1年で得た「宝もの」 【目標】 ・テーマについて、まとまりのあるスピーチ原稿を書き、スピーチをし、友だちのスピーチを聞いて、質問やコメントを言うことができる。	8	テーマについて、まとまりのあるスピーチ原稿を書き、スピーチをする。また聞いたスピーチについて質問やコメントを述べる。 【話すこと（発表）】	・思い出について伝えるための効果的なつなぎことばや表現を理解している。 ・1年の思い出について、事実や自分の気持ちなどを整理し、効果的なつなぎことばや表現を用いて伝える技能を身に付けている。	思いを伝えるために、1年間の思い出についてまとまりのあるスピーチをしている。	思いを伝えるために、1年間の思い出についてまとまりのあるスピーチをしようとしている。	◇道徳A[向上心、個性の伸長]

月	単元名、目標	時数	学習内容 【内容のまとめ】	評価規準			円滑な接続のための 留意事項 ◎特に留意する点 ◇道徳教育の指導の内容
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	Word Web 5 町の風景 【目標】地図を見ながら、相手の行きたい場所について、道案内をすることができる。	3	地図を見ながら、相手の行きたい場所について、道案内をする。 【話すこと（やりとり）】	・身の回りの施設などの言い方を理解している。 ・町や地域について、道案内に必要な情報を整理し、施設を表す語句を用いて伝えたり、相手に質問したりする技能を身に付けている。	相手の行きたい場所について、わかりやすいように周辺の情報等を考え、道案内をしたり尋ねたりしている。	相手の行きたい場所について、わかりやすいように周辺の情報等を考え、道案内をしようとして尋ねようとしていたりしている。	
3	Reading 3 Summarize the Story (Visas of Hope) 【目標】英文を読み、内容の要点を整理しまとめ、40～50語程度の要約文を書くことができる。	4	英文を読み、重要な表現を論理的につなげて、40語～50語程度の要約文を書く。 【書くこと】	・内容理解に必要な語彙を理解している。 ・杉浦千畝について、事実や自分の意見を整理し、必要な語彙を用いて要約文を書く技能を身に付けている。	本文の中の重要な表現や代名詞を用いて、キーワードを論理的につなげた要約文を書いている。	本文の中の重要な表現や代名詞を用いて、キーワードを論理的につなげた要約文を書くようしている。	中2 Reading 1 Writing a Report 中2 Reading 2 Writing a Report 内容を整理してレポートを書いている。  ◇道徳C[国際理解、国際貢献]
	Reading Steps 【目標】物語や説明文などを読んで、内容を理解し、自分のことや考え、知りたいことなどを書くことができる。	6	物語や説明文などを読んで、内容を理解し、自分のことや考え、知りたいことなどを書く。 【書くこと】	・内容理解に必要な語彙や表現を理解している。 ・読んだ文章について、事実や自分の考え、気持ちを整理し、必要な語彙や表現を用いて自分のことや考え、知りたいことなどを書く技能を身に付けている。	物語や説明文などを読んで、自分のことや考え、知りたいことなどを書いている。	物語や説明文などを読んで、自分のことや考え、知りたいことなどを書くようしている。	

授業時数合計 157



**第3学年の目標**

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成する。

**コミュニケーション能力のGOAL**

- 相手(話し手、書き手)の伝えたいことを正しく理解したうえで、自分の考えや思いを伝えることができる。
- 日本や日本の文化に誇りを持ち、自分の言葉で発信することができる。

**第3学年のコミュニケーション学習の到達目標(CAN-DOリスト)**

聞くこと	読むこと	話すこと[やり取り]	話すこと[発表]	書くこと
① 自分の周りで話されているなどについて少し長めの議論でもその要点を理解することができる。 ② 簡単なスピーチなどを聞いて、概要や要点を聞き取ることができる。 ③ 外国の行事、習慣などに関するまとまりのある英文を聞いて、概要を捉えることができる。	① 日常的なトピックを扱った文章の要点を理解したり、必要な情報を取り出したりすることができる。 ② あらかじめ学習を目的として書かれた記事や話の要点を理解することができる。 ③ 英語で書かれた内容が表現されるよう適切に音読することができる。	① ある話題について、賛成・反対といった複数の視点から理由を挙げて、即興的に意見を述べるができる。 ② 身近なトピックについて、自分の意見や考えをわかりやすく話し、情報交換したり、会話を続けたりすることができる。	① ある話題について、賛成・反対といった定められた視点から理由を挙げて、順序立て、意見を述べるができる。 ② 使える表現をつないで、自分の主張を順序立て、わかりやすく話すことができる。	① 聞いたり読んだりした内容について、感想や意見などを書くことができる。 ② 自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、筋道を立て、文章を書くことができる。 ③ 身近な場面における出来事や体験したことなどについて、自分の考えや気持ちを書くことができる。

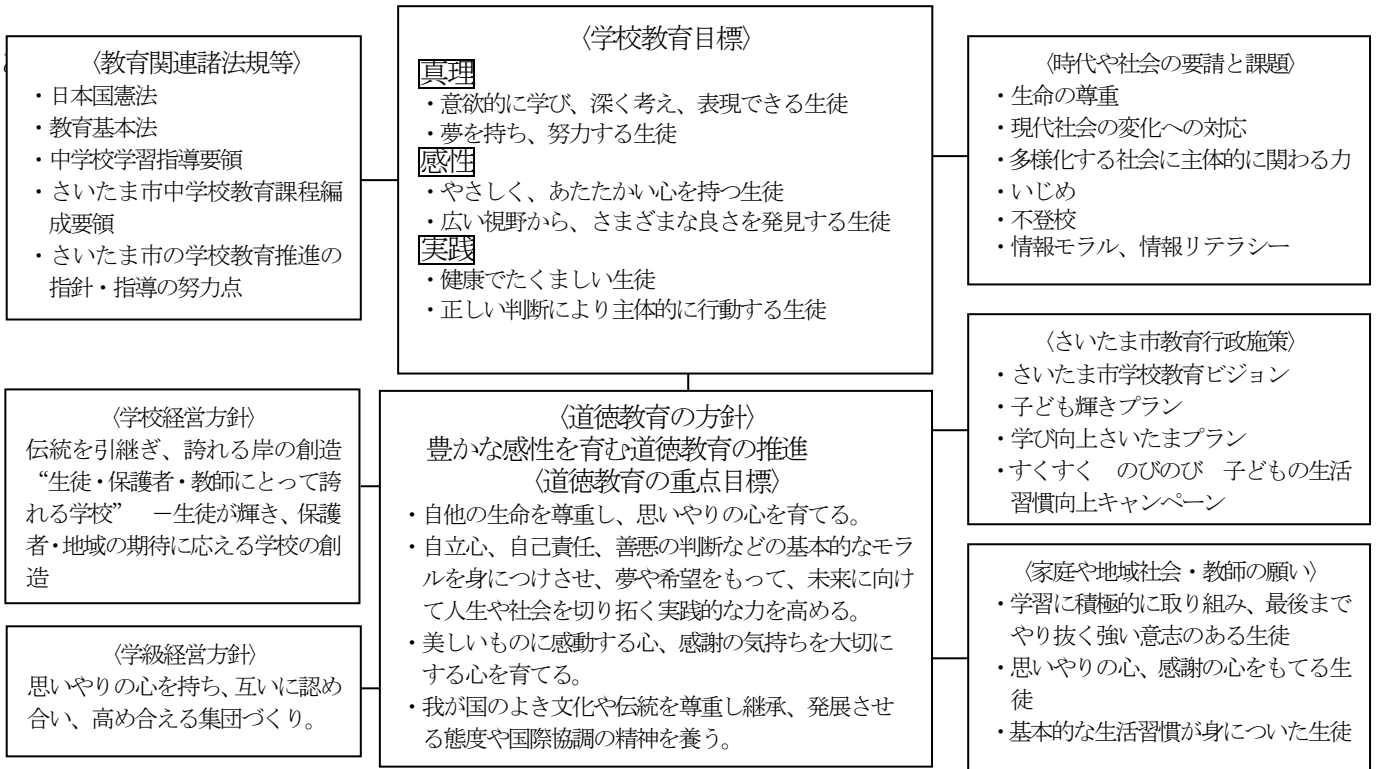
月	単元名、目標	時数	学習内容 【内容のまとまり】	評価規準			円滑な接続のための留意事項 ◎特に留意する点 ◇道徳教育の指導の内容
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
4	辞書を使いこなそう 【目標】辞書に書かれている情報について理解できる。	1	辞書に書かれている情報について確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連語及び慣用表現について理解している。</li> <li>・連語及び慣用表現についての理解を基に、辞書の内容を読み取る技能を身に付けている。</li> </ul>			
	Program 1 Let's Discuss For Our School Food Festival (Bentos Are Interesting!) 【目標】国際フェスティバルに出店する外国の食べ物を決めるために、外国の食べ物や文化について調べた情報に言及しながら、自分の考えや意見を伝え合うことができる。	10	外国の食べ物についてディスカッションする。生徒は、自分で選んだトピックに沿って調べスピーチをする。また、仲間と情報を共有することで、いろいろな文化に触れることができる。 【話すこと(やり取り)】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・It + be動詞 + ~ (+ for) + to不定詞を用いた文の構造を理解している。</li> <li>・外国の食べ物について、情報や自分の考え、意見を整理し、It + be動詞 + ~ (+ for) + to不定詞を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりする技能を身に付けている。</li> </ul>	クラスメイトに出店してみたいと思ってもらえるように、外国の食べ物について、ディスカッション形式で情報や自分の考え、意見などを整理して伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。	クラスメイトに出店してみたいと思ってもらえるように、外国の食べ物について、ディスカッション形式で情報や自分の考え、意見などを整理して伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。	小6 Lesson19 世界を知ろう 世界の国について調べたことを発表している。 ◇道徳C[国際理解、国際貢献]
	Word Web 1 家の中と外 【目標】ある部屋にいたら自分がすることを考えて、話し合うことができる。	2	ある部屋の絵を見ながら、自分がその部屋にいたら何をするのかについて話し合う。 【話すこと(やり取り)】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家具や設備、衣服などの言い方を理解している。</li> <li>・家具や設備、衣服などの言い方について、伝えたり、相手からの質問に答えたりする技能を身に付けている。</li> </ul>	ある部屋にいたら自分がすることについてやり取りしている。	ある部屋にいたら自分がすることについてやり取りしようとしている。	
5	Steps 1 デイバートをしよう 【目標】テーマについて、デイバートすることができる。	3	デイバートの流れと意見の主張の仕方について理解し、デイバートをする。 【話すこと(やり取り)】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デイバートにおいて意見の主張を行うための英文を理解している。</li> <li>・デイバートにおいて、意見の主張を行うための英文構造を用いて伝え合う技能を身に付けている。</li> </ul>	デイバートのテーマについて、立場に基づき、論理的な根拠を整理して伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。	デイバートのテーマについて、立場に基づき、論理的な根拠を整理して伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。	
	Program 2 School's Health Committee (Good Night, Sleep Tight.) 【目標】保健委員会の一員として学校で生徒の健康を守っていく方法を考えるため、インタビューで他の生徒から得た情報に言及しながら、自分の考えや意見を伝え合うことができる。	9	保健委員として健康のためにやっていること、および習慣についてインタビューする。また、健康のために委員会として、学校のためにできることをディスカッションする。 【話すこと(やり取り)】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・間接疑問文を用いた文の構造を理解している。</li> <li>・他の生徒の健康への取組や生活習慣について、インタビューで得た情報や自分の考えを整理し、間接疑問文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりする技能を身に付けている。</li> </ul>	学校で生徒の健康を守っていく方法を考えるために、健康への取組や生活習慣について、インタビューで得た情報や自分の考えを整理し、ディスカッションを通じて伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。	学校で生徒の健康を守っていく方法を考えるために、健康への取組や生活習慣について、インタビューで得た情報や自分の考えを整理し、ディスカッションを通じて伝えようとしていたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。	◎ディスカッションの自己評価をさせることで、今後のデイバート活動において、いかに説得力をもたせ、相手に伝えるかということを意識させ、取り組ませる。 ◇道徳A[節度、節制]

月	単元名、目標	時数	学習内容 【内容のまとめ】	評価規準			円滑な接続のための留意事項 ◎特に留意する点 ◇道徳教育の指導の内容
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
6	Power-Up 1 道案内をしよう②（電車の乗りかえ） 【目標】路線図を見ながら、たずねられた目的地への道案内（電車の乗りかえ）をすることができる。	3	路線図を見ながら、たずねられた目的地への道案内（電車の乗りかえ）をする。 【話すこと（やり取り）】	・電車を乗りかえするときの道案内の表現を理解している。 ・電車を乗りかえするときの道案内について、適切な表現を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりする技能を身に付けている。	電車の乗りかえのための道案内について、必要な情報を整理し、伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。	電車の乗りかえのための道案内について、必要な情報を整理し、伝えようとしていたり、相手からの質問に答えようとしていたりしている。	
	PROGRAM 3 Did You Know in Japan.? (A Hot Sport Today) 【目標】ニュージーランドからの留学生に日本で人気のスポーツの起源や歴史を紹介することができる。事実や自分の考えたことや感じたこと、その理由などを書くことができる。	9	ニュージーランドからの留学生に対し、自分自身・自分の街、そして日本で人気のスポーツについて紹介をすることである。生徒は自分たちで選んだトピックについて調べ、スピーチを書きグループ内で紹介をする。 【書くこと】	・主語＋動詞＋目的語＋補語の文構造を理解している。 ・スポーツについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、主語＋動詞＋目的語＋補語などを用いてまとまりのあるスピーチの原稿を書く技能を身に付けている。	ニュージーランドの留学生に日本で人気のスポーツの歴史について伝えるために、読み手を意識しながら、スポーツについて、まとまりのあるスピーチの原稿を書くことができる。	ニュージーランドの留学生に日本で人気のスポーツの歴史について伝えるために、読み手を意識しながら、スポーツについて、まとまりのあるスピーチの原稿を書くこととしている。	小6 Lesson19 世界を知ろう 調べたことをプレゼンテーションする活動を行っている。
	Steps 2 メモの取り方を学ぼう 【目標】5W1Hを意識しながら、メモを取り、それをもとに話の内容について話し合うことができる。	3	5W1Hを意識しながらメモを取り、それをもとに話の内容について話し合う。 【聞くこと】	・重要な情報を聞き取るため、英文の文構造について理解している。 ・重要な情報を聞き取るため、英文の文構造の理解を基に、話された文の要点を聞き取る技能を身に付けている。	情報のメモを書きとめるために、身近な話題について話された文章の要点を捉えている。	情報のメモを書きとめるために、身近な話題について話された文章の要点を捉えようとしている。	
7	Our Project 7 記者会見を開こう 【目標】記者会見の目的に沿って、わかりやすいスピーチをすることができる。また、スピーチの要点を聞き取り、質問したり、応答したりすることができる。	6	歴史上の人物や芸能人などになりきり、その人物がしたことなどを題材に記者会見スピーチを行い、それについて質問したり応答したりする。 【話すこと（やり取り）】	・スピーチに必要な英文の構造や表現を理解している。 ・有名人になりきって行うスピーチにおいて、事実や自分の考えなどを話す技能を身に付けている。	記者会見でやり取りを行うために、有名人の人生について伝えている。	記者会見でやり取りを行うために、有名人の人生について伝えようとしている。	
	Reading 1 Do You Know This story? (Faithful Elephants) 【目標】外国の人に、日本をテーマにした話を紹介するために、話の要点やおすすすめポイントなどを整理し、まとまりのあるブックレポートを書くことができる。	8	題材を読み、英語でブックレポートを作成する。最終的な目標は、日本をテーマにした話を読み、それをALTに紹介するレポートを書くことである。 【書くこと】	・話の概要やあらすじを読み取るのに必要な語や連語及び慣用表現を理解している。 ・日本の話について、書かれていることや自分の感想を、必要な語や連語及び慣用表現を用いて正しく書く技能を身に付けている。	ALTに読みたいと思ってもらえるように、日本の話について、書かれていることや自分の考えなどを整理し、ブックレポートを書いている。	ALTに読みたいと思ってもらえるように、日本の話について、書かれていることや自分の考えなどを整理し、ブックレポートを書くこととしている。	小6 Lesson16 紙芝居をしよう 登場人物をリストアップして場面ごとの英文を作成している。 ◇道徳C[我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度]
8	Power-Up 2 買ったものを交換しよう 【目標】店員役と客役に分かれ、買ったもの問題点を伝え、交換を求めるやりとりをすることができる。	3	買ったものに不具合があったという想定で、お店に対して交換を要求するやりとりをする。 【話すこと（やり取り）】	・買ったものを返品したり交換したりするために必要な助動詞を用いた文を理解している。 ・店で返品・交換するために、情報を整理し、助動詞を用いた文を用いて伝え合う技能を身に付けている。	・買ったものを返品したり交換したりするために、店員・客のそれぞれの立場から自分の主張や情報を伝え合っている。	・買ったものを返品したり交換したりするために、店員・客のそれぞれの立場から自分の主張や情報を伝えようとしている。	
9	PROGRAM 4 What Is the Best Thing in Japan? (Sign Languages、Not Just Gestures) 【目標】ディベートの国際大会に参加できるように、日本の遺産について事実や自分の考えを整理して、論理的で説得力のある考えや意見などをディベート形式で伝え合うことができる。	10	生徒が日本をテーマにしたディベートの国際大会に参加することを目標とし、それにむけて、まず、日本特有の道具や祝日、建造物などをグループで調べ、クラスの代表をグループディベートで決める。 【話すこと（やり取り）】	・現在分詞や過去分詞の形容詞としての用法を用いた文の構造を理解している。 ・日本文化について、事実や自分の考えを整理し、現在分詞や過去分詞の形容詞としての用法を用いて伝えたり、相手の意見に答えたりする技能を身に付けている。	審判に、より説得力があると判断してもらえるように、日本文化について、事実や自分の考えを整理して、論理的で説得力のある考えや意見などを伝えたり、相手の意見に答えたりしている。	審判に、より説得力があると判断してもらえるように、日本文化について、事実や自分の考えを整理して、論理的で説得力のある考えや意見などを伝えたり、相手の意見に答えようとしていたりしている。	小6 Lesson18 日本を紹介しよう 日本の伝統文化、科学技術について紹介している。 ◇道徳C[我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度]
	Power-Up 3 ホームページで学校を紹介しよう 【目標】ホームページの形で、学校のことを知らない人に対し、学校の行事や部活動など必要な情報を伝えられる。	3	ホームページの構成を分析し、自分の学校の行事や部活を英語で書く。 【書くこと】	・現在分詞や過去分詞の形容詞としての用法を用いた文の構造を理解している。 ・学校行事や部活動等について、現在分詞や過去分詞の形容詞としての用法を用いた文を用いて書く技能を身に付けている。	外国の人に自分たちの学校を紹介するために、学校行事や部活動について、事実や自分の考えを整理し、まとまりのある文章を書いている。	外国の人に自分たちの学校を紹介するために、学校行事や部活動について、事実や自分の考えを整理し、まとまりのある文章を書くこととしている。	

月	単元名、目標	時数	学習内容 【内容のまとめ】	評価規準			円滑な接続のための留意事項 ◎特に留意する点 ◇道徳教育の指導の内容
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	Steps 3 簡単な表現で言いかえよう 【目標】ある状況を設定し、自分が知っている表現を使って身の回りのものを伝え合うことができる。	3	英語での言い方を知らないものを、自分が知っている表現を使って伝え合う。 【話すこと（やり取り）】	・類義語や、難しいものを簡単に説明するなど、既習の英語を用いながら説明する技能を身に付けている。	相手にわかるように、自分が知っている表現を使って身の回りのものを伝え合っている。	相手にわかるように、自分の知っている表現を使って身の回りのものを伝え合おうとしている。	
10	PROGRAM 5 The History of Food (The Story of Chocolate) 【目標】ディベート大会のトーナメントで説得力のある主張ができるように、外国からの観光客にお勧めする日本食として何が適しているのか、相手に分かりやすく、説得力のある主張を伝えることができる。	10	生徒がディベート大会に参加する。ディベートは3人グループの中で1人が審査員、他の2人がディベート対戦を行う形とする。生徒がなじみ深い食べ物について得た情報を論理的に相手に主張することを目標とした。 【話すこと（やり取り）】	・関係代名詞の表現を理解している。 ・食べ物物の歴史について、事実や自分の考え、理由などを整理し、関係代名詞の文を用いて伝えたり、相手からの質問に論理的に答えたりする技能を身に付けている。	ディベート大会で説得力のある主張ができるように、食べ物物の歴史について、事実や自分の考え、理由などを整理して伝えたり、相手の主張に対して、理由をつけて問答したり、理由を説明しながらジャッジしたりしている。	ディベート大会で説得力のある主張ができるように、食べ物物の歴史について、事実や自分の考え、理由などを整理して伝えたり、相手の主張に対して、理由をつけて問答したり、理由を説明しながらジャッジしようとしている。	小5 Lesson9 日本の給食 日本食について学んでいる。
	Steps 4 わかりやすい文章を考えよう 【目標】つなぎ言葉や文章の構成を意識して、英文を読んだり書いたりすることができる。	4	つなぎ言葉などを使った英文を読み、文章の構成を分析して書く。 【書くこと】	・文をつなぐ接続詞の特徴や決まりに関することを理解している。 ・文をつなぐ接続詞の意味や働きの理解を基に、身近な話題について、接続詞を正確に用いて書く技能を身に付けている。	わかりやすい文章を書くために、身近な話題について、事実や自分の考えを整理し、まとまりのある文章を書いている。	わかりやすい文章を書くために、身近な話題について、事実や自分の考えを整理し、まとまりのある文章を書くこととしている。	
	Word Web 2 動詞の使い分け 【目標】辞書を活用しながら、複数の意味を持つ動詞について調べ、理解することができる。	1	複数の意味を持つ動詞について理解をする。	・複数の意味を持つ動詞の特徴や決まりに関することを理解している。 ・複数の意味を持つ動詞の特徴や決まりに関するものの理解を基に、当該動詞を正確に用いて書く技能を身に付けている。	/	/	
11	PROGRAM 6 Future Leaders Debate (The Great Pacific Garbage Patch) 【目標】国際会議の代表としてSDGsの達成に取り組むため、世界のリーダーを説得し、SDGsについて事実や自分の考えを整理して伝えたり、相手からの質問に対して答えたりできる。	10	2030年までに達成すべき17つの国際社会共通の目標としてSDGsがある。将来の日本を担うものとして、各グループでSDGsについて日本が取り組むことのできる目標を1つ選び、他のチームとディベートを行う。 【話すこと（やり取り）】	・関係代名詞の目的格（which/that/省略）を用いた文の構造を理解している。 ・SDGsについて情報を収集し関係代名詞の目的格を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりする技能を身に付けている。	これからの日本の取組について、自分の考え方や意見が伝わるように、SDGsに関するディベートにおいて、国際会議で提案する日本の取組や自分の考えを即興で伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。	これからの日本の取組について、自分の考え方や意見が伝わるように、SDGsに関するディベートにおいて、国際会議で提案する日本の取組や自分の考えを即興で伝えようとしていたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。	小6 Lesson18 日本を紹介しよう 日本についてどんな点が世界に誇れるか紹介している。  ◇道徳C[社会参画、公共の精神] 道徳D[生命の尊さ][自然愛護]
	Steps 5 ディスカッションをしよう 【目標】テーマについてディスカッションをし、結論を導くことができる。	3	テーマについてディスカッションをし、結論を導く。 【話すこと（やり取り）】	・意見を伝える表現及び文の構造を理解している。 ・テーマについて、事実や自分の考えなどを整理し、意見を伝える表現及び文の構造を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりする技能を身に付けている。	相手に自分の意見に納得してもらえるように、決められたテーマについて、事実や自分の考えなどを整理し伝えたり、相手からの質問に答えたりする。	相手に自分の意見に納得してもらえるように、決められたテーマについて、事実や自分の考えなどを整理し伝えようとしていたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。	
	Our Project 8 あなたの町を世界にPRしよう 【目標】ペアで地元のものや場所についてわかりやすく魅力的にPRをし、一番よいPRについてディスカッションして決めることができる。	8	地元のものや場所について、ペアでPRを行い、いちばんよいPRについてディスカッションをして決める。 【書くこと】	・人にPRするときの表現を理解している。 ・自分の町について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、PRするときの表現を用いて書く技能を身に付けている。	自分の町に訪れたいと思ってもらえるように、町や地域のことについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、書いている。	自分の町に訪れたいと思ってもらえるように、町や地域のことについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、書こうとしている。	小6 Lesson21 自分たちの町 お気に入りの場所を紹介する表現を学んでいる。  ◇道徳C[郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度]
	Power-Up 4 非常時のアナウンスを聞こう 【目標】アナウンスを聞いて、重要な情報を聞き取り、理解することができる。	1	デパートで起きた火災についてのアナウンスを聞いて、重要な情報を聞き取る。 【聞くこと】	・非常時のアナウンスの表現を理解している。 ・非常時のアナウンスの表現を聞いて、その内容を捉える技能を身に付けている。	非常時のアナウンスを聞いて、何が重要な情報かを考え、聞き取っている。	非常時のアナウンスを聞いて、何が重要な情報かを考え、聞き取ろうとしている。	

月	単元名、目標	時数	学習内容 【内容のまとめり】	評価規準			円滑な接続のための留意事項 ◎特に留意する点 ◇道徳教育の指導の内容
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
12	PROGRAM 7 What Would You Do If you Had One Wish ? (Is Al a Friend or an Enemy?) 【目標】「もし1つだけ願いが叶うとしたら、何を願いますか」というテーマについて、自分の気持ちや考え、理由を聞き手に理解してもらうために、いろいろなテーマでわかりやすい表現でスピーチを考え、話すことができる。	11	「もし1つだけ願いが叶うとしたら、何を願いますか」というタイトルで英語のスピーチを書き、その願いをなぜ叶えたいのかを文の構成を考えながら相手に分かるように説明していく。 【話すこと（発表）】	・仮定法過去および接続詞の特徴やきまりを理解している。 ・自分の考えていることやその理由などを、仮定法過去や接続詞などを用いて話す技能を身に付けている。	自分の気持ちや考え、理由を聞き手に理解してもらうために、いろいろなテーマ（もし…だったなら）についてわかりやすい表現でスピーチを考え、話している。	自分の気持ちや考え、理由を聞き手に理解してもらうために、いろいろなテーマ（もし…だったなら）についてわかりやすい表現でスピーチを考え、話そうとしている。	小6 Lesson23 My Dream 中2 Program5 Work Experience 自分の将来についての考えを説明する活動をしている。  ◇道徳C[社会参画、公共の精神]
	Reading 2 Active Reading (Malala's Voice for the Future) 【目標】Active Readingの技術文章を客観的に読み理解する力を高めるために、有名人についての話を読み、事実や自分の考え、気持ちなどを書くことができる。	9	客観的に読んで理解する自分の力を改めて見直し、Active Readingの技術を身につける。生徒は有名人の話を読み、次にその話について質問を考えて書き、最後に友達と質問を交換してお互いに答えを書こうとする。 【書くこと】	・文章を客観的に読み理解するために必要な語句や表現、文法事項を理解している。 ・文章を客観的に読み理解するために、文章に関する質問や回答を簡単な語句や文を用いて書く技能を身に付けている。	文章を客観的に読み理解するために、マラルアの人生について、事実や自分の考え、気持ちなどを質問形式で書いている。	文章を客観的に読み理解するために、マラルアの人生について、事実や自分の考え、気持ちなどを質問形式で書こうとしている。	中2 Reading1 Gon、 the Little Box 中2 Reading2 Friendship beyond Time and Borders 中2 Reading3 Visas of Hope 中3 Reading 1 Faithful Elephants  ◇道徳C[国際理解、国際貢献]
1	Special Project 中学校の思い出を残そう 【目標】中学校の思い出について、クラスやグループで内容や発表方法を考え、紹介することができる。	6	中学校の思い出について、クラスやグループで内容や発表方法を考え、紹介する。 【話すこと（発表）】	中学校の思い出について書かれた英文を聞いたり、読んで理解する技能を身に付けている。	中学校の思い出について、クラスやグループで内容や発表方法を考え、紹介している。	中学校の思い出について、クラスやグループで内容や発表方法を考え、紹介しようとしている。	小6 Lesson24 小学校の思い出 学校行事でしたことを伝える活動をしている。  ◇道徳C[よりよい学校生活、集団生活の充実]
	Word Web 3 オリンピック競技・パラリンピック競技 【目標】出場したいオリンピックやパラリンピックについて、理由や質問などを交えて、話し合うことができる。	2	出場してみたいオリンピック競技・パラリンピック競技について話し合う。 【話すこと（やり取り）】	・オリンピックやパラリンピックの競技名を理解している。 ・オリンピックやパラリンピックについて、自分の考え、気持ちなどを整理し、競技名を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりする技能を身に付けている。	オリンピックやパラリンピックで出てみたい競技について、理由や質問など交えて、話し合っている。	オリンピックやパラリンピックで出てみたい競技について、理由や質問など交えて、話し合おうとしている。	
	Further Reading 1 The Ig Nobel Prize 【目標】話の要点を理解し、物語について自分の考えや感想を伝え合うことができる。	6	イグノーベル賞についての英文を読んで、要点を理解し、自分の考えや感想を伝え合う。 【話すこと（やり取り）】	既習の言語材料の理解を基に、イグノーベル賞についての英文の内容を理解する技能を身に付けている。	・物語についての考えや感想を伝えるために、イグノーベル賞についての要点と自分の意見について伝え合っている。	・物語についての考えや感想を伝えるために、イグノーベル賞についての要点と自分の意見について伝え合おうとしている。	◇道徳A[真理の探究、創造]
2	Further Reading 2 Library Lion 【目標】物語を読んで自分がいちばん大事に思ったことを事実や理由に基づいて表現することができる。	9	「とじょかんライオン」の物語を読んで、理解する。 【書くこと】	既習の言語材料の理解を基に「とじょかんライオン」についての英文を理解する技能を身に付けている。	物語を読んで自分がいちばん大事に思ったことを事実や理由に基づいて表現している。	物語を読んで自分がいちばん大事に思ったことを事実や理由に基づいて表現しようとしている。	
	Reading Steps 【目標】物語や説明文などを読んで、内容を理解し、自分のことや考え、知りたいことなどを書くことができる。	4	物語や説明文などを読んで、内容を理解し、自分のことや考え、知りたいことなどを書く。 【書くこと】	既習の言語材料の理解を基に、物語や説明文などを読んで内容を理解する技能を身に付けている。	物語や説明文などを読んで、自分のことや考え、知りたいことなどを書いている。	物語や説明文などを読んで、自分のことや考え、知りたいことなどを書こうとしている。	

授業時数合計 157



学年別重点目標

<p>〈1年〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分自身を見つめ、望ましい生活習慣を身につけることができるようにする。</li> <li>・他の人の立場を尊重し、良好な人間関係を築くことができるようにする。</li> <li>・集団の中での自分の役割を自覚し、協力し合う態度を養う。</li> </ul>	<p>〈2年〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの個性や立場を尊重し、他を思いやる心を育てる。</li> <li>・正しい判断で行動し、奉仕の精神を深め、集団生活の向上に努めようとする態度を養う。</li> <li>・自他の生命を大切に育てる。</li> </ul>	<p>〈3年〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理想を求め、目標を持って着実に努力する態度を養う。</li> <li>・役割や責任について考え、社会の一員として自覚を高める。</li> <li>・人間の尊厳や気高さ気づき、生きることの喜びを見いだすことができるようにする。</li> </ul>
--	---	---

〈道徳の時間における指導方針〉

・互いの考えを尊重し、伝え合い、ともに深く考え、個々の“感性”を育てること。・日常生活における道徳教育を補充、深化、統合する時間として位置づけ、道徳的実践力を育てること。・年間指導計画に則った指導の展開。・指導過程の工夫。・他教科との関連。・学校行事、体験学習との関連。・発問の工夫。・家庭、地域との連携を深める取組。

具体的計画

各教科	各教科の目標達成に努める中で、道徳的心情や判断力、実践意欲と態度などの育成に努める。	生徒指導	共感的な人間関係の育成を図るとともに、生徒一人ひとりが目標をもって将来を展望し、自己実現が図れるよう援助する。
総合的な学習の時間	問題を主体的に解決する力、情報収集や発表、討論する力を身につけたり定着させたりしていく。自分自身を見つめ、互いに認め合い、高め合うとともに、自分なりの価値観を育めるよう援助する。	人権教育	自他の人権を守るための実践行動ができるよう人権を正しく理解し、人権の擁護のために必要な資質・能力を育てる。
特別活動	集団生活を通して集団の一員としての自覚を高め、自主的実践的な活動を通して、人間としての生き方の自覚を深める。	教育相談・特別支援教育	生徒一人ひとりを大切にし、生きる力を育み、学校生活及び社会生活に適応できる意欲的な態度を養う。
小中一貫『潤いの時間』	中学生の発達的な特質を考慮し、自ら考え行動する主体の育成を目指し、人間としての在り方、生き方を多面的に深く理解する。	進路指導	自分の特色や将来の生き方を考え、自分にふさわしい進路を選択するとともに、その実現に向けて努力する態度を養う。

道徳的実践の場

<p>教育環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人間関係の充実</li> <li>・校舎、校庭や教室の整備</li> </ul>	<p>豊かな体験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各授業、部活動</li> <li>・様々な行事</li> </ul>	<p>『明日への扉』活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間35時間確保</li> </ul>	<p>家庭・地域社会との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業公開</li> <li>・各種たより</li> </ul>
---	---	--	--



- 第1学年の重点目標
- ◎より高い目標を設定し、困難を乗り越えて着実にやり遂げる。
  - ◎多くの人々の善意に感謝し、思いやりの心をもって人と接する。
  - 法やさまりの意義を理解し、それらを守る。
  - 生命の尊さについて理解し、かけがえのない生命を尊重する。

4月	主題名	内容項目	教材名	出典
	働く喜びと充実した生き方の追求	C 勤労	掃除の神様が教えてくれたこと	学研教育みらい
	ねらい	「働く意義」を理解し、働く喜びに気づき、充実した生き方につなげようとする態度を養う。		
	主題構成の理由	仕事に対するチャック氏の姿勢を通して、働くことの素晴らしさを感じ取らせたい。		
	学習指導過程	1 デイズニーランドの映像を見る。 2 教材を読んで話し合う。 (1)配属先を見て「目の前が真っ暗になった」主人公はどんな気持ちでしょう。 (2)チャック氏が言った言葉に対して、「僕」はどうして不安を感じたのですか。 (3)チャック氏の掃除を見て、「僕」は「熱い思いが込み上げてきた」のはなぜでしょう。 (4)仕事に対するチャック氏の姿勢について、どのように感じますか。 3 教師の話を書く。		
	他の教育活動との関連	キャリア教育 学活「中学生になって」 未来(みらくる)ワーク体験	指導方法の工夫	映像資料の活用
	◎円滑な接続のための留意事項	◎職場体験活動やボランティア活動など、体験活動を生かして勤労の尊さや意義についての考えを深めるとともに、社会生活における日々の役割や将来の生き方等について考えさせるようにする。		
備考				
2	主題名	内容項目	教材名	出典
	かけがえのない生命	D 生命の尊さ	あなたに	学研教育みらい
	ねらい	自分が今ここにいることの不思議さや生命の連続性に気づき、かけがえのない存在であることに誇りをもち、自他の生命を尊重しようとする心情を育てる。		
	主題構成の理由	「あなた」を思う母の手紙から、生命の尊さに気づき、自らの命の大切さを深く自覚させたい。		
	学習指導過程	1 命について、自分はどのように生まれてきたのか、命とは何か考える。 2 教材を読んで話し合う。 (1)赤ちゃんの誕生を、みんながうれしい出来事として笑顔で受け止めているのはなぜでしょう。 (2)母がこの手紙で「あなた」に伝えたかったのはどんな思いでしょう。「あなた」になったつもりで母の気持ちを想像してみましょう。 (3)今、こうしてこの世に生きていて、この中学のこのクラスでみんなと出会えたことには、どんな偶然があるでしょう。 3 事前に用意した母からの手紙を読む。		
	他の教育活動との関連	赤ちゃん・幼児触れ合い体験	指導方法の工夫	終末の工夫(手紙)
	◎円滑な接続のための留意事項	◎いつまでも生命の尊さを大切にする母の思いに触れ、人としての生き方の偶然性、有限性、連続性について考えさせるようにする。		
備考				
3	主題名	内容項目	教材名	出典
	場に応じた挨拶	B 礼儀	挨拶しますか、しませんか	学研教育みらい
	ねらい	様々な環境における挨拶の意義を考え、よりよい挨拶ができる態度を養う。		
	主題構成の理由	三人の文章を通して挨拶をすることの大切さについて考えさせたい。		
	学習指導過程	1 自分の挨拶について振り返る。 2 教材を読んで話し合う。 (1)「朝の挨拶」で、知らない人と久しく用事もなく挨拶を交わすことになかった男性が、「宿泊先に戻ろうとする頃には、「私」のほうから先に挨拶をする気持ちにもなっていた」のはなぜでしょう。 (2)「山での挨拶」で、女性は「こんにちは。」の挨拶を交わすルールを団体には「ちょっと骨が折れる」と思っていたのに、集団を前にしたら「私から『こんにちは』と切り出してみよう」と思えたのはなぜでしょう。 (3)「禁止された挨拶」で、男性の考える『「挨拶をしない』暮らし』とはどんな暮らしでしょう。 (4)それぞれの話から、挨拶の意義とは何か考えましょう。 3 P23クローズアップを読む。		
	他の教育活動との関連	あいさつ運動	指導方法の工夫	
	◎円滑な接続のための留意事項	◎行動範囲の広がりとともに様々な人との関わりも増えてくることから、挨拶などの礼儀は社会生活を営む上で欠くことのできないものであることを押さえる。		
備考				

- 第1学年の重点目標
- より高い目標を設定し、困難を乗り越えて着実にやり遂げる。
  - 多くの人々の善意に感謝し、思いやりの心をもって人と接する。
  - 法やさまりの意義を理解し、それらを守る。
  - 生命の尊さについて理解し、かけがえのない生命を尊重する。

5月	主題名	内容項目	教材名	出典	
	公正に考えると	C 公正、公平、社会正義	うわさで決めるの？	学研教育みらい	
	ねらい	周りの人たちの噂や、不確実な情報を鵜呑みにせず、自分の頭で考え、真実を見つける判断力を育てる。			
	主題構成の理由	ネットでの噂話を受けてBさんのことを性格の悪い子と決めてしまう題材を通して、公正公平に接することの大切さについて考えさせたい。			
	学習指導過程	1 SNSでの会話には、どんな問題点があるか考える。 2 教材を読んで話し合う。 (1)最初のSNSでの会話で、「私」はBさんに対してどのような印象を受けたのでしょうか。また、それはなぜでしょう。 (2)Bさんが消しゴムを拾ってくれて、Bさんと直接話をしたとき、「私」はBさんに対してどのような印象をもったのでしょうか。またそれはなぜですか。 (3)この後、「私」の気持ちも救われ、Bさんへの誤解もとけて、グループのみんなも納得するようになるにはどうすればよいと思いますか。 3 教師の話聞く。			
	他の教育活動との関連	いじめに係る対応	情報モラル教育	指導方法の工夫	小グループでの話し合い
	◎円滑な接続のための留意事項	◎いじめなどの場面に出会ったときにもすると傍観的な立場に立ち、問題から目を背けることも少なくない現状を踏まえ、SNSでの問題点を理解し、周りに流されない公正公平な判断力を育てたい。			
備考					
5	主題名	内容項目	教材名	出典	
	信頼と敬愛に支えられた友情	B 友情、信頼	あるピエロの物語	学研教育みらい	
	ねらい	友情は互いの信頼のうえに成り立つこと、相手に対する敬愛の念をもち続けることが大切であることを理解し、友情を培うために自分はどうあればよいかについて判断することができる力を育てる。			
	主題構成の理由	友達のあり方について考えることを題材に、よりよい友情関係の在り方について考えさせたい。			
	学習指導過程	1 友達の信頼できる点、尊敬できる点について想起する。 2 教材を読んで話し合う。 (1)トムとサムは、それぞれどのような友達になりたかったでしょう。 (2)トムとサムの考え方をどう思いますか。 (3)友情を培うためにはどうしたらよいでしょう。 3 教師の話聞く。			
	他の教育活動との関連		指導方法の工夫	体験的な学習(役割演技)	
	◎円滑な接続のための留意事項	◎これまで以上に友達を意識し、互いに磨き合い高め合うような真の友情を育てることを重視して指導する。			
備考					
6	主題名	内容項目	教材名	出典	
	約束や時間を守る	A 節度、節制	釣りざおの思い出	学研教育みらい	
	ねらい	甘い考えによる、軽はずみな行動の愚かさを理解し、節度ある生活を送ろうとする判断力を育てる。			
	主題構成の理由	良心と欲望でゆれる主人公の心の中を再現することを通して、心の弱さに負けないために必要なことを考えさせたい。			
	学習指導過程	1 最近、夢中になっていることについて話し合う。 2 教材を読んで話し合う。 (1)母が無理して買ってくれた釣りざおを見たときの「私」の気持ちを考えてみましょう。 (2)約束の時間が過ぎても「最後の一匹を釣ったら帰ろう。」と浮きを見つめていたとき、「私」はどんなことを思っていたのでしょうか。 (3)釣りざおを折った母は、なぜ涙を流したのでしょうか。 (4)「釣り竿の思い出」は、その後の「私」に、どんな影響を与えたのでしょうか。 3 教師の話聞く。			
	他の教育活動との関連		指導方法の工夫	体験的な学習(役割演技) 小グループでの話し合い	
	◎円滑な接続のための留意事項	◎導入では自分の事として道徳的価値について考えを深めることができるよう、夢中になっている経験を想起させ、自分の中にひそむ弱い心を自覚しやすくするようにする。			
備考					



- 第1学年の重点目標
- ◎より高い目標を設定し、困難を乗り越えて着実にやり遂げる。
  - ◎多くの人々の善意に感謝し、思いやりの心をもって人と接する。
  - 法やさまりの意義を理解し、それらを守る。
  - 生命の尊さについて理解し、かけがえのない生命を尊重する。

6 月	主題名	内容項目	教材名	出典
	かけがえのない家族	C 家族愛、家庭生活の充実	黒い弁当	学研教育みらい
	ねらい	成長を願い深い愛情で育てられていることに気づき、父母や祖父母に対する感謝や敬愛の心情を育てる。		
	主題構成の理由	私と祖母のやり取りを題材に、家族の在り方について考えさせたい。		
	学習指導過程	1 家族の言うことが聞けなかったことはあるか、それはどんなときか想起する。 2 教材を読んで話し合う。 (1)直してくれた靴下や草花の包みに対して、さき子はどのようにして文句の言葉を言ったのでしょうか。 (2)祖母が作ってくれた弁当に手を付けず、帰り道で草むらに中身を捨ててしまったさき子の考えはどんなものだったでしょう。 (3)黒い弁当のことが今でも忘れられないのは、どんな思いがあるからでしょう。 (4)「私」が生きているうちに祖母に伝えたかったのはどんなことでしょう。 3 教師の話聞く。		
	他の教育活動との関連	食育	指導方法の工夫	家庭との連携
	◎円滑な接続のための留意事項	◎家族が何かをしてくれることを当然と考えて、日常生活の中で家族の自分に対する思いや願いについては深く考えることが少ないこの時期において、家族を大切にしようとする意欲を高めたい。		
備考				
7	主題名	内容項目	教材名	出典
	相手の立場に立った支え合い	B 思いやり、感謝	バスと赤ちゃん	学研教育みらい
	ねらい	心のこもった行動が人の心を動かす言葉には温かい交流をつくる力があることに気づき、支え合い響き合う思いやりの心情を育てる。		
	主題構成の理由	赤ちゃんに対する人々の思いやりを題材に、支え合って生きていくことの大切さを考えさせたい。		
	学習指導過程	1 助けられてうれしかった経験について話し合う。 2 教材を読んで話し合う。 (1)「待ってください。降ります。」と言ったお母さんは、なぜバスを降りようと考えたのでしょうか。 (2)「目的地はここですか？」となぜ運転手さんは聞いたのでしょうか。 (3)一人の拍手につられて乗客全員がした拍手には、どんな思いが込められていたのでしょうか。 (4)二つの話に出てくるお母さん、運転手、乗客がそれぞれとった行動について考えてみましょう。 3 教師の話聞く。		
	他の教育活動との関連	赤ちゃん体験	指導方法の工夫	書く活動の工夫
	◎円滑な接続のための留意事項	◎学習指導過程2(4)では書く活動を行い、それぞれの立場についてじっくり考えることで、望ましい人と人とのつながり方を築けるよう働きかける。		
備考				
8	主題名	内容項目	教材名	出典
	誠実な生き方	A 自主、自律、自由と責任	裏庭での出来事	学研教育みらい
	ねらい	責任ある行動とは自ら考え、判断し、実行することであることに気づき、自ら判断できる力を育てる。		
	主題構成の理由	誠実に行動することができなかった題材を通して、自律した心でもって行動する大切さについて考えさせたい。		
	学習指導過程	1 「やりすぎてしまった」という経験について話し合う。 2 教材を読んで話し合う。 (1)雄一が先生に謝っている姿を見たとき、健二はどんな気持ちでしょう。 (2)健二は放課後から家に帰って、ベッドの中で何を考えていたのでしょうか。 (3)次の朝、雄一と大輔に会った健二はどんな話をするのでしょうか。このあとの三人の関係について考えてみましょう。 (4)正直に誠実に行動することでどんな気持ちになるでしょう。 3 教師の話聞く。		
	他の教育活動との関連	〇〇中学校の約束	指導方法の工夫	体験的な学習(役割演技)
	◎円滑な接続のための留意事項	◎周りの人に流されがちとなるこの時期において、自分の心の弱さを自覚し、誠実に判断することができるよう働きかける。		
備考				
9	主題名	内容項目	教材名	出典
	誠実な生き方	A 自主、自律、自由と責任	裏庭での出来事	学研教育みらい
	ねらい	責任ある行動とは自ら考え、判断し、実行することであることに気づき、自ら判断できる力を育てる。		
	主題構成の理由	誠実に行動することができなかった題材を通して、自律した心でもって行動する大切さについて考えさせたい。		
	学習指導過程	1 「やりすぎてしまった」という経験について話し合う。 2 教材を読んで話し合う。 (1)雄一が先生に謝っている姿を見たとき、健二はどんな気持ちでしょう。 (2)健二は放課後から家に帰って、ベッドの中で何を考えていたのでしょうか。 (3)次の朝、雄一と大輔に会った健二はどんな話をするのでしょうか。このあとの三人の関係について考えてみましょう。 (4)正直に誠実に行動することでどんな気持ちになるでしょう。 3 教師の話聞く。		
	他の教育活動との関連	〇〇中学校の約束	指導方法の工夫	体験的な学習(役割演技)
	◎円滑な接続のための留意事項	◎周りの人に流されがちとなるこの時期において、自分の心の弱さを自覚し、誠実に判断することができるよう働きかける。		
備考				

- 第1学年の重点目標
- ◎より高い目標を設定し、困難を乗り越えて着実にやり遂げる。
  - ◎多くの人々の善意に感謝し、思いやりの心をもって人と接する。
  - 法やさまりの意義を理解し、それらを守る。
  - 生命の尊さについて理解し、かけがえのない生命を尊重する。

6月	主題名	内容項目	教材名	出典
	郷土を愛する心	C 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	ぼくの町 みんなの町	さいたま市 道德読み物資料集 はばたき
	ねらい	地域社会の一員としての自覚をもって、郷土を愛し、社会に尽くした先人や高齢者に尊敬と感謝の念を深め、郷土の発展に努めようとする心情を育てる。		
	主題構成の理由	さいたま市にある藤右衛門川通りの名前の由来を通して、自分の町について多くのことを知ってほしい。		
	学習指導過程	1 さいたま市の特徴・自慢についてのアンケート調査の結果を発表する。 2 教材を読んで話し合う。 (1)地域のゴミ拾いに出かける主人公の気持ちはどうだったのでしょうか。 (2)藤右衛門という人物を知りたいと願うようになったのは、主人公の心情がどのように変化したからでしょうか。 (3)自分の町について、自分自身はどのくらい知っているのでしょうか。自分はどのように関わりをしているのでしょうか。 3 教師の話聞く。		
	他の教育活動との関連	総合的な学習の時間「地域に貢献しよう」	指導方法の工夫	問題解決的な学習 小グループでの話し合い
	◎円滑な接続のための留意事項	◎小学校で学習した地域の歴史等について想起させるとともに、これから自分がどのように地域とかかわっていくか考えられるようにする。		
備考				
7月	主題名	内容項目	教材名	出典
	理想を求めて	A 希望と勇気、克己と強い意志	本の世界よ、みんなに届け 村岡花子	学研教育みらい
	ねらい	理想や目標を達成しようとする強い意志の大切さに気付き、次のより高い目標に向かって努力しようという実践意欲を高める。		
	主題構成の理由	困難の中でもめげずに生きる主人公の心情を考えるを通して、強い意志でやり抜く大切さを考えさせたい。		
	学習指導過程	1 これまでの人生で辛かったことや、その時支えになったものを想起する。 2 教材を読んで話し合う。 (1)村岡花子が健全な家庭文学を広めたいと考えたのはなぜでしょう。 (2)本を読んだ花子は、どうして心の中に一筋の光がさしてきたように感じたのでしょうか。 (3)命がけで原稿を守った花子は、私たちにどんなことを伝えたかったのでしょうか。 (4)花子の願いとはなんでしょう。 3 クローズアッププラスを読み、教師の話聞く。		
	他の教育活動との関連	キャリア教育、図書館教育	指導方法の工夫	小グループでの話し合い
	◎円滑な接続のための留意事項	◎キャリア教育等と関連を図り、自分が決めた目標に向かって取り組むことを自分との関わりで考えやすくする。		
備考				
12月	主題名	内容項目	教材名	出典
	希望をもち、前向きに生きる	D よりよく生きる喜び	いっぱい生きる 全盲の中学校教師	学研教育みらい
	ねらい	困難や挫折を乗り越え、人間としての誇りをもって、前向きに生きようとする実践意欲を高める。		
	主題構成の理由	心の弱さをもちつつもよりよく生きていこうとする題材を通して、生きる喜びを考えさせたい。		
	学習指導過程	1 アイマスク体験での学習を想起する。 2 教材を読んで考える。 (1)網膜剥離の診断を受け、手術の甲斐もなく右目の視力を失った新井先生はどんな気持ちだったのでしょうか。 (2)右目に続いて左目も網膜剥離を起こし、まったく見えなくなって家の中に閉じこもってしまった新井先生は、どんなことを思っていたのでしょうか。 (3)目が見えないという状況は変わらないのに、新井先生が前向きに生きようと思えるようになったのはなぜでしょう。 (4)長瀬中学校に初出勤し、全校生徒、教職員に拍手で迎えられたとき、新井先生はどんなことを考えたのでしょうか。 3 教師の話聞く。		
	他の教育活動との関連	特別支援教育、福祉教育	指導方法の工夫	
	◎円滑な接続のための留意事項	◎自分の心の弱さを自覚すると同時に、弱さと共に生きていくことを前向きに捉えるように考えている主人公の心情について考えを深められるようにする。		
備考				

- 第1学年の重点目標
- ◎より高い目標を設定し、困難を乗り越えて着実にやり遂げる。
  - ◎多くの人々の善意に感謝し、思いやりの心をもって人と接する。
  - 法やきまりの意義を理解し、それらを守る。
  - 生命の尊さについて理解し、かけがえのない生命を尊重する。

9月	主題名	内容項目	教材名	出典
	自らの役割を果たす日本人	C 国際理解、国際貢献	真の国際人 嘉納治五郎	学研教育みらい
	ねらい	世界の中の日本人としての自覚をもち、国際的視野に立って、世界の平和と人類の発展に貢献しようとする心情を育てる。		
	主題構成の理由	オリンピック誘致に協力した嘉納氏の姿から、国際貢献の大切さについて考えさせたい。		
	学習指導過程	1 P71を参考に東京オリンピック誘致について知っていることを話し合う。 2 教材を読んで考える。 (1) 嘉納は、青少年に柔道や運動・スポーツを積極的に取り入れたのはどうしてでしょう。 (2) 嘉納治五郎がオリンピックの日本開催を願ったのは、どんな思いからだったのでしょうか。 (3) 「オリンピックが真の世界の文化になる」とはどのようなことでしょうか。 (4) 嘉納の生き方、考え方から、真の国際人に求められることとはどのようなことか、考えましょう。 3 教師の話を書く。		
	他の教育活動との関連	オリンピック・パラリンピック教育 グローバル・スタディ科	指導方法の工夫	映像資料の活用
	◎円滑な接続のための留意事項	◎世界の中で歩むために私たちに何ができるのかを、我が国の歴史や産業などの学習を生かして自覚できるようにする。		
備考				
14	主題名	内容項目	教材名	出典
	自分の行動に責任を	A 自主、自律、自由と責任	ネット将棋	学研教育みらい
	ねらい	自ら選択したどんな小さな行為にも責任があることを認識し、望ましい行動を選択する判断力を育てる。		
	主題構成の理由	直接的には誰からも注意されることのない場面で誠実な行動がとれなかった話を題材に、自律的な心情から望ましい行動ができることの大切さについて考えさせたい。		
	学習指導過程	1 事前アンケート「まわりに流されないで行動できるか」について理由を話し合う。 2 教材を読んで話し合う。 (1) 俊和に負けそうになって、「僕」はどう思ったでしょう。 (2) 勝てると思っていた相手に圧倒的不利な状況に追い詰められた「僕」が負けないためにとった行為について考えましょう。 (3) 明子と智子の笑い声を聞きながら、「僕」はどのように考えていたのでしょうか。 3 教師の話を書く。		
	他の教育活動との関連	情報モラル教育	指導方法の工夫	事前アンケートの活用
	◎円滑な接続のための留意事項	◎インターネット等の経験を想起することで主人公の状況に共感しやすくし、望ましい行動を取れることの大切さを考えさせる。		
備考				
15	主題名	内容項目	教材名	出典
	きまりを守るということ	C 遵法精神、公德心	オーストリアのマス川	学研教育みらい
	ねらい	自他の権利を大切にしながら法やきまりの意義を理解し、法を守る責任や義務を果たすことで健全な社会が成立することに気付き、場面に応じきまりを守ろうとする判断力を育む。		
	主題構成の理由	悩みながらもきまりを守った主人公の話を通して、きまりを守る意義についての理解を深めたい。		
	学習指導過程	1 きまりを破ってしまいそうになったことはないか、想起する。 2 教材を読んで話し合う。 (1) 美しい魚をほれほれと見つめる「ぼく」はどんな気持ちだったでしょう。 (2) どうして「ぼく」は魚を水中に放つことができたのでしょうか。 (3) 突然監視員からブラボーと声をかけられた「ぼく」はどんな気持ちだったと思いますか。 (4) ぼくの行ったことのよさは何でしょう。 3 教師の話を書く。		
	他の教育活動との関連	環境教育(ESD)	指導方法の工夫	調べ学習 小グループでの話し合い
	◎円滑な接続のための留意事項	◎様々なきまりの意義を考えることで、なぜきまりを大切にしなければならないか考えることができるようにする。		
備考				

- 第1学年の重点目標
- ◎より高い目標を設定し、困難を乗り越えて着実にやり遂げる。
  - ◎多くの人々の善意に感謝し、思いやりの心をもって人と接する。
  - 法やさまりの意義を理解し、それらを守る。
  - 生命の尊さについて理解し、かけがえのない生命を尊重する。

10月	主題名	内容項目	教材名	出典
	自然との共生	D 自然愛護	トキのいる里をもう一度	学研教育みらい
	ねらい	身近な自然の大切さに気付き、人間と自然とのつながりを見いだしながら、自然を守り、共に生きようとする心情を育てる。		
	主題構成の理由	自然愛護活動に触れる題材を通して、自然や生き物と共に生きていくことの大切さについて考えさせたい。		
	学習指導過程	1 「絶滅危惧種」について知っていることを話し合う。 2 教材を読んで考える。 (1) どうして日本のトキは絶滅したのでしょうか。 (2) どうして佐渡の人々は、トキを復活させようと考えたのでしょうか。 (3) 自然環境の課題にはどのようなものがあるのでしょうか。 (4) 自然環境の課題に取り組むために、必要なことは何でしょうか。 3 クローズアップを読み、日本各地の自然愛護活動を紹介する。		
	他の教育活動との関連	環境教育(ESD) 総合的な学習の時間「地域に貢献しよう」	指導方法の工夫	映像資料の活用
	◎円滑な接続のための留意事項	◎世界自然遺産などの調べ学習の経験や自然の美しさを感じた経験、地域学習で学んだこと等をもとに、自然を自分の手で守ろうとする意識を高められるようにする。		
備考				
17	主題名	内容項目	教材名	出典
	心の弱さを乗り越える	A 節度、節制	日曜日の朝に	学研教育みらい
	ねらい	自分の軽はずみな行動が招く危険や周りへの迷惑に対して、十分配慮し、節度をわきまえようとする判断力を育てる。		
	主題構成の理由	歩きスマホの話を中心に、生活のリズムや安全等、節度を守ろうとする思いを高めたい。		
	学習指導過程	1 学級の事前アンケート「スマートフォンの保有率」「スマートフォンの使用時間」から気付いたことを発表する。 2 教材を読んで話し合う。 (1) 真由はスマートフォンを使うときに、母親と約束したにも関わらず約束を守っていないことをどう思いますか。 (2) 真由は階段を踏み外して転げ落ちましたが、これについてみんなはどう思いますか。 (3) 真由の行動から、自分の生活に生かせることはなんですか。 (4) クローズアップの事故事例を見てみましょう。今日みんなで考えたこととこの事例から、安全で安心な生活を送るために大切なことは何かを考えてみましょう。 3 教師の話聞く。		
	他の教育活動との関連	情報モラル教育	指導方法の工夫	事前アンケートの活用 資料提示の工夫
	◎円滑な接続のための留意事項	◎身近になってきているスマートフォンをめぐる問題点を自分のこととして切実に考える事ができるようにする。		
備考				
18	主題名	内容項目	教材名	出典
	人の善意に感謝する心	B 思いやり、感謝	金色の稲穂	学研教育みらい
	ねらい	物事がうまくいかないことを他人や仕事のせいにしてしがちな自分を戒め、多くの人々の善意や支えで今の生活があることに感謝し、それに応えようとする心情を育てる。		
	主題構成の理由	多くの人々の善意や支えの上で稲の収穫ができたことを題材に、まわりで支えてくれている人々に感謝することの大切さについて考えさせたい。		
	学習指導過程	1 自分の身近な人物を想起する。 2 教材を読んで話し合う。 (1) 田中さんはどんな人だと思いますか。 (2) 田中さんが毎日田んぼを見に来てくれたのは、どんな思いからでしょう。 (3) 田中さんの思いを知った「私」はどんなことを考えているでしょう。 3 教師の話聞く。		
	他の教育活動との関連	未来(みら)くるワーク体験	指導方法の工夫	映像資料の活用
	◎円滑な接続のための留意事項	◎身近な人からの支えに気付かせるとともに、そのよさや意義を十分に理解できるようにする。		
備考				

- 第1学年の重点目標
- ◎より高い目標を設定し、困難を乗り越えて着実にやり遂げる。
  - ◎多くの人々の善意に感謝し、思いやりの心をもって人と接する。
  - 法やさまりの意義を理解し、それらを守る。
  - 生命の尊さについて理解し、かけがえのない生命を尊重する。

10月	主題名	内容項目	教材名	出典
	輝かせる命	D 生命の尊さ	たとえばくは明日はなくとも	学研教育みらい
	ねらい	生きることの尊さ・素晴らしさに気づき、かけがえのない生命を輝かせようと精一杯生きようとする実践意欲を高める。		
	主題構成の理由	生命よりも大切なものを見つけた正一君の生き方から、限られた人生の中で精一杯生きることの素晴らしさについて考えさせたい。		
	学習指導過程	1 「いのち」よりも大切なものはあるか、あるとすればそれは何か考える。 (1) 徐々に病気が進行し、体が不自由になってきたときの正一君はどんな気持ちだったでしょう。 (2) 余命僅かだと知らされたときの正一君の気持ちを考えてみましょう。 (3) 陶芸家の館野さんに出会い、正一君が見つけたことは何かを考え、話し合しましょう。 (4) 限られた人生のなかで、正一君が彫刻、絵、読書、詩に取り組んだのはなぜでしょう。 3 P101の星野富弘さんの詩を聞く。		
	他の教育活動との関連		指導方法の工夫	終末の工夫
	◎円滑な接続のための留意事項	◎生きていることの大切さをかみしめ、自己の生き方に生かしていく。		
備考				
11月	主題名	内容項目	教材名	出典
	望ましい地域社会	C 社会参画、公共の精神	町内会デビュー	学研教育みらい
	ねらい	地域の一員としての自覚をもち、住みよい地域社会の実現を目指すとする実践意欲を高める。		
	主題構成の理由	町内会の共同作業を行った生徒を題材に、地域の一員としての自覚を高めさせたい。		
	学習指導過程	1 ボランティア活動と聞いてイメージすることを話し合う。 2 教材を読んで考える。 (1) 母に話されしよしよ上げた明はどんなことを考えていたでしょう。 (2) 明はどうして「よし。」と草や枝を集めて運び始めたのでしょうか。 (3) 町内会デビューをとおして、明の考えはどのように変化したのでしょうか。 (4) 「なんだか大人になったような気持ちがあった」のはなぜでしょう。 3 教師の話聞く。		
	他の教育活動との関連	総合的な学習の時間	指導方法の工夫	書く活動の工夫
	◎円滑な接続のための留意事項	◎地域の人々との出会いを大切に、地域の一員として自分のできることを考えられるようにする。		
備考				
12月	主題名	内容項目	教材名	出典
	相手の心を広く受けとめる	B 相互理解、寛容	ふと目の前に 森繁久彌	学研教育みらい
	ねらい	それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなもの見方や考え方があることを理解し、寛容な心をもち、謙虚に他に学ぼうとする心情を育てる。		
	主題構成の理由	森繁久彌の経験を題材にして、相手の心を広く受け止めることの大切さについて考えさせたい。		
	学習指導過程	1 自分が怒りを感じるのはどんなときか想起する。 2 教材を読んで話し合う。 (1) 最前列で寝ている女性客を見つけたとき、森繁さんはその女性に対してどのような感情をもったのでしょうか。 (2) 最前列のその女性客は、どのような思いで森繁さんの舞台を鑑賞していたと思いますか。 (3) 女性が全盲だとわかったとき、森繁さんの心の中に湧き上がってきたのはどんな感情だったのでしょうか。 (4) 全盲の女性に対して「私」の言った「ありがとうございました」には、どんな思いが込められていたのでしょうか。 3 教師の話聞く。		
	他の教育活動との関連		指導方法の工夫	体験的な学習(役割演技)
	◎円滑な接続のための留意事項	◎怒りの理由は様々考えられるが、相手側の状況を想像することにより、自分がその出来事に対してどう対処することができるか考えられるようにする。		
備考				

- 第1学年の重点目標
- ◎より高い目標を設定し、困難を乗り越えて着実にやり遂げる。
  - ◎多くの人々の善意に感謝し、思いやりの心をもって人と接する。
  - 法やさまりの意義を理解し、それらを守る。
  - 生命の尊さについて理解し、かけがえのない生命を尊重する。

11月	主題名	内容項目	教材名	出典
	誠意ある行為の美しさ	D よりよく生きる喜び	ネパールのビール	学研教育みらい
	ねらい	人間の誠意ある生き方や良心の気高さに感動し、人間として誇りをもって生きようとする心情を育てる。		
	主題構成の理由	誠意ある生き方に自分の心の弱さを自覚した主人公の心情から、よりよい生き方を考えさせたい。		
	学習指導過程	1 ネパールの山岳地帯の映像資料から、そこに住む人々の暮らしぶりを想像する。 2 教材を読んで話し合う。 (1) 2回目にチェトリ君に頼んだが、チェトリ君が帰ってこなかったとき、「私」はどんなことを考えたでしょう。 (2) ヨレヨレの格好で破片を全部出して見せるチェトリ君の行為から、「私」はどんなことを深く反省したのでしょうか。 (3) チェトリ君の行動は、その後の「私」の生き方をどう変えたでしょう。 (4) 自分に誇りをもつ生き方とは、どんな生き方でしょうか。 3 P117クローズアップを聞く。		
	他の教育活動との関連	グローバル・スタディ科	指導方法の工夫	映像資料の活用
	◎円滑な接続のための留意事項	◎グローバル・スタディ科や歴史の学習を生かして他国の人々の暮らしぶりを想像し、苦しい生活の中でも自分たちの生き方に誇りをもてることの素晴らしさを理解できるようにする。		
備考				
23	主題名	内容項目	教材名	出典
	誰にとっても公平な社会	C 公正、公平、社会正義	公平とはなんだろう	学研教育みらい
	ねらい	公平な社会を作るために、物事の是非を見極め、積極的に差別や偏見をなくそうとする態度を養う。		
	主題構成の理由	本当の公平について主体的に考えられる二つの話題を通して、自分の身近な問題にも答えを出せるように考えさせたい。		
	学習指導過程	1 日常の中で、公平ではないと感じることを出し合う。また、なぜ公平ではないのか話し合う。 2 教材を読んで話し合う。 (1) レーム選手がオリンピックに出場することに待ったがかかったが、そのことについてどう思いますか。 (2) 不公平な社会とは、一体「何が不公平なのか」を考えましょう。 (3) 差別や偏見のない社会の実現のために、身近でできることを考え、実践出来ることを考えましょう。 3 教師の話聞く。		
	他の教育活動との関連	オリンピック・パラリンピック教育 グローバル・スタディ科	指導方法の工夫	問題解決的な学習 小グループでの話し合い
	◎円滑な接続のための留意事項	◎この時期においては、自己中心的な考え方や偏った見方をし、他者に不公平な態度をとる場合がある。自分の弱さに向き合い、同調圧力に流されない強い意志をもつことの大切さを考えさせたい。		
備考				
12月	主題名	内容項目	教材名	出典
	自然の美しさに感動する心	D 感動、畏敬の念	自然の懐に抱かれて	学研教育みらい
	ねらい	自然の美しさに感動する心を持ち、自然と共存することで人生をより豊かなものにしていくことを養う。		
	主題構成の理由	自然の美しさを感じる教材から、心が震えるような感動を交流させたい。		
	学習指導過程	1 P122教材に示された写真を見て感想を交流する。 2 教材を読んで考える。 (1) 頂上から一日の始まりを見続けた私は何を考えていましたか。 (2) 心が震えるような感動をしたことや、美しいものに出会ったことはあるだろうか。そのときの思いを、言葉で表してみよう。 (3) 自然が創り出した風景、すばらしい芸術作品について考えてみましょう。 3 教師の話聞く。		
	他の教育活動との関連	環境教育(ESD)	指導方法の工夫	映像資料の活用 調べ学習の活用
	◎円滑な接続のための留意事項	◎この時期においては、自然の美しさや自分の可能性に無心で挑戦する人間の姿や、芸術作品の内に秘められた人間の業を超えるものに気付いたりすることなどを通して、それらに畏敬の念をもてるようにする。		
備考				
備考				

- 第1学年の重点目標
- ◎より高い目標を設定し、困難を乗り越えて着実にやり遂げる。
  - ◎多くの人々の善意に感謝し、思いやりの心をもって人と接する。
  - 法やさまりの意義を理解し、それらを守る。
  - 生命の尊さについて理解し、かけがえのない生命を尊重する。

12月	主題名	内容項目	教材名	出典
	仲間と共に	C よりよい学校生活、集団生活の充実	伝統を伝説に	学研教育みらい
	ねらい	部活動や学級、学校の一員としてお互いに支え合っていることに気付き、教師や学校を敬愛し、協力してよりよい校風を樹立しようとする態度を養う。		
	主題構成の理由	場を清めることが学校を一つにすることにつながっていく題材を通して、お互いに支え合って学校生活をよりよくしていく大切さを考えさせたい。		
	学習指導過程	1 学校、学級、部活のよいところについて話し合う。 2 教材を読んで話し合う。 (1)陸上の練習を始める前に行う「場を清める」ことについて、川音先生に聞く「僕」は、どう考えていたのでしょうか。 (2)校長先生の話聞いた「僕」は、どんなことを考えたでしょう。 (3)伝統と伝説の違いについて、「僕」はどのように考えたでしょう。 3 教師の話聞く。		
	他の教育活動との関連	部活動	指導方法の工夫	
	◎円滑な接続のための留意事項	◎学習指導過程2(③)において、伝統のままにせず自分ができることをしていくことの素晴らしさについて、「僕」の気持ちに自我関与させながら考えさせる。		
備考				
25	主題名	内容項目	教材名	出典
	相手のよさを認め合う	B 友情、信頼	クラスメイト	学研教育みらい
	ねらい	異性間においても、同性間と同様に相手のものの見方や考え方を理解し、互いに相手のよさを認め合おうとする態度を養う。		
	主題構成の理由	異性間の友情を題材に、異性であっても相手のものの見方や考え方を理解し、共に成長しようとする友情を築くことの大切さを考えさせたい。		
	学習指導過程	1 友達の同性・異性をどのくらい意識しているか事前アンケートの結果を知る。 2 教材を読んで話し合う。 (1)中学生になってから、健太が優奈を意識するようになったのはなぜでしょう。 (2)健太と優奈は、お互いにとってどういう存在なのでしょう。 (3)優奈がうわさを気にしたのはなぜでしょう。 (4)二人が練習を再開できたのはなぜでしょう。 3 教師の話聞く。		
	他の教育活動との関連		指導方法の工夫	事前アンケートの活用 小グループでの話し合い
	◎円滑な接続のための留意事項	◎性差がはっきりしてくるこの時期に、意識的に異性を避けたり興味本位の情報や間違った理解から様々な問題が生じたりしないよう、互いに励まし高め合える信頼関係の大切さへの理解を深める。		
備考				
26	主題名	内容項目	教材名	出典
	世界の中での日本文化のすばらしさ	C 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	日本の心と技	学研教育みらい
	ねらい	日本の伝統文化のよさを多面的に捉え、日本の伝統文化を深め伝えようとする態度を養う。		
	主題構成の理由	日本の文化を大切にしている方々を題材に、日本の文化や伝統の大切さについて考えさせたい。		
	学習指導過程	1 教材で紹介されている方々の映像資料を見る。 2 教材を読んで話し合う。 (①)外国の人たちをひきつける日本文化の魅力について考えてみましょう。 (2)外国の人たちはなぜ、日本の伝統や文化を国内外で紹介したい、広めたいと思っているのでしょうか。 (3)私たち日本人が日本の伝統文化を継承することには、どういう意義があるのでしょうか。 3 教師の話聞く。		
	他の教育活動との関連	グローバル・スタディ科	指導方法の工夫	映像資料の活用 調べ学習の活用
	◎円滑な接続のための留意事項	◎日本の文化に魅了されている方々が何を感じているかを考えることによって、気が付かなかった伝統文化のよさを考えられるようにする。		
備考				
1月	主題名	内容項目	教材名	出典
	世界の中での日本文化のすばらしさ	C 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	日本の心と技	学研教育みらい
	ねらい	日本の伝統文化のよさを多面的に捉え、日本の伝統文化を深め伝えようとする態度を養う。		
	主題構成の理由	日本の文化を大切にしている方々を題材に、日本の文化や伝統の大切さについて考えさせたい。		
	学習指導過程	1 教材で紹介されている方々の映像資料を見る。 2 教材を読んで話し合う。 (①)外国の人たちをひきつける日本文化の魅力について考えてみましょう。 (2)外国の人たちはなぜ、日本の伝統や文化を国内外で紹介したい、広めたいと思っているのでしょうか。 (3)私たち日本人が日本の伝統文化を継承することには、どういう意義があるのでしょうか。 3 教師の話聞く。		
	他の教育活動との関連	グローバル・スタディ科	指導方法の工夫	映像資料の活用 調べ学習の活用
	◎円滑な接続のための留意事項	◎日本の文化に魅了されている方々が何を感じているかを考えることによって、気が付かなかった伝統文化のよさを考えられるようにする。		
備考				

- 第1学年の重点目標
- ◎より高い目標を設定し、困難を乗り越えて着実にやり遂げる。
  - ◎多くの人々の善意に感謝し、思いやりの心をもって人と接する。
  - 法やさまりの意義を理解し、それらを守る。
  - 生命の尊さについて理解し、かけがえのない生命を尊重する。

1月	主題名	内容項目	教材名	出典
	夢の実現	A 向上心、個性の伸長	イチローの軌跡	学研教育みらい
	ねらい	夢や希望、目標に向かって努力を惜まず、自分の力を大きく伸ばし、夢を実現しようとする態度を養う。		
	主題構成の理由	イチローの軌跡を通して、自分を信じて努力し続けることの大切さについて考えさせたい。		
	学習指導過程	1 イチロー選手の映像資料を見て気が付いたことを話し合う。 2 教材を読んで考える。 (1)小学生のとき、イチロー選手はお父さんとどんな思いで練習したのでしょうか。 (2)批判の中で「イチローのスイングは短所ではなく、長所である。」という考え方についてどう思いますか。 (3)イチロー選手の努力し続ける気持ちを支えるものはなんのでしょうか。 (4)自分の夢を実現するために大切なことはなんのでしょうか。 3 教師の話聞く。		
	他の教育活動との関連	部活動 キャリア教育	指導方法の工夫	映像資料の活用
	◎円滑な接続のための留意事項	◎この時期においては、劣等感に悩み、他者と異なることからの不安から個性を伸ばそうとすることに消極的になることもある。自己を肯定的に捉え、自己のすぐれている面の発見に努めることを大切にしたい。		
	備考			
	主題名	内容項目	教材名	出典
	続ける努力	A 希望と勇気、克己と強い意志	認められたグラフ	学研教育みらい
ねらい	高い理想を求め、実現しようという志をもち、自分を甘やかさず努力を継続しようとする態度を養う。			
主題構成の理由	困難な状況であっても継続を続ける岸本さんを題材に、努力し続けていくことの大切さを考えさせたい。			
学習指導過程	1 イチローの映像資料からグラフに注目して、どんなグラフなのか想起する。 2 教材を読んで考える。 (1)イチロー選手のグラフを作ることになったとき、岸本さんはどんな気持ちだったでしょう。 (2)イチロー選手にグラフを受け取ってもらえなかったとき、岸本さんはどんな気持ちだったでしょう。 (3)岸本さんがグラフ作りを投げ出さなかったのは、なぜでしょう。 (4)目標に向かって努力を続けた岸本さんの生き方から学んだことはなんのでしょうか。 3 教師の話聞く。			
他の教育活動との関連	未来(みら)くるワーク体験 キャリア教育	指導方法の工夫	小グループでの話し合い	
◎円滑な接続のための留意事項	◎失敗や困難に直面し簡単に挫折してしまったり、挫折を悪いことのようにとらえて見せないようにしたりするこの時期において、困難や失敗を乗り越える自分なりの方法について考えさせたい。			
備考				
2月	主題名	内容項目	教材名	出典
	友情を深めるために	B 友情、信頼	吾一と京造	学研教育みらい
	ねらい	友情のあり方について様々な角度から考えを深め、より一層深い友情を構築しようとする態度を養う。		
	主題構成の理由	遅刻をしてまで突き通した友情を題材に、より深い友情の在り方について考えさせたい。		
	学習指導過程	1 友達とはどんな関係でありたいか話し合う。 2 教材を読んで考える。 (1)秋ちゃんを待っている間、そして皆で迎えに行こうとしたとき、吾一と京造の違った行動の違いは、2人のどんな気持ちの表れからでしょう。 (2)遅刻せずに着席している吾一と遅刻して立たされている京造の目が合ったとき、どんな気持ちだったでしょう。 (3)この場合、皆でどう行動すればよかったか考えましょう。 (4)きしんだ友達関係を取り戻すために、授業後、吾一と京造はどんな言葉を交わし合えばよいでしょう。 3 教師の話聞く。		
	他の教育活動との関連		指導方法の工夫	問題解決的な学習 体験的な学習(役割演技)
	◎円滑な接続のための留意事項	◎規則の大切さを分かっているながらも友達を迎えに行った京造の心の中を考えさせ、自分事として考えることで友情の在り方を深めさせるようにする。		
備考				



- 第1学年の重点目標
- ◎より高い目標を設定し、困難を乗り越えて着実にやり遂げる。
  - ◎多くの人々の善意に感謝し、思いやりの心をもって人と接する。
  - 法やまじりの意義を理解し、それらを守る。
  - 生命の尊さについて理解し、かけがえのない生命を尊重する。

2月	主題名	内容項目	教材名	出典
	公德を大切にする心	C 遵法精神、公德心	傘の下	学研教育みらい
	ねらい	社会の中で守るべき正しい道として公德の意義を理解し、住みよい社会を実現しようとする判断力を育てる。		
	主題構成の理由	少しならよいだろうと思う自分勝手な心を題材に、守らなければならない公德を考えさせたい。		
	学習指導過程	1 人の物を勝手に持って行ってしまったり、借りたまま自分の物にしてしまったりした経験はないか。 2 教材を読んで話し合う。 (1)ここでの問題点は何でしょう。 (2)置き傘を目にした時の心の動きを考えよう。 (3)なぜ決まりを守ることは大切なのでしょう。 3 教師の話聞く。		
	他の教育活動との関連		指導方法の工夫	問題解決的な学習
	◎円滑な接続のための留意事項	◎社会で生活する中で守らなければならない公德を理解し、自分の心の弱さを克服して他者の生活や権利を守れるような心情を高めたい。		
備考				
31	主題名	内容項目	教材名	出典
	役割を果たす	C よりよい学校生活、集団生活の充実	ロコ・ソラーレ メダルへの挑戦	学研教育みらい
	ねらい	自分の果たすべき役割を自覚し、目指す目的に向かって、互いに協力し合い、励まし合える集団生活の実現に努めていこうとする態度を養う。		
	主題構成の理由	チームのために控えとなった本橋さんの姿を通して、集団の中の役割の大切さについて考えさせたい。		
	学習指導過程	1 カーリング女子日本代表チーム「ロコ・ソラーレ」について知っていることを話し合う。試合映像を見せる。 2 教材を読んで話し合う。 (1)新チームで6年間勝てなかったとき、本橋さんはどんなことを考えていたのでしょうか。 (2)本橋さんはどんな思いでリザーブ(控え)をしていたのでしょうか。また、なぜそれができたのでしょうか。 (3)チームの一員として、よりよいチームをつくるには何が大切なのでしょう。 3 教師の話聞く。		
	他の教育活動との関連	部活動、学活「学級組織をつくろう」	指導方法の工夫	映像資料の活用 小グループでの話し合い
	◎円滑な接続のための留意事項	◎自らの所属する集団の目的や意義を理解し、集団の在り方について多面的・多角的に考えられるようにする。		
備考				
32	主題名	内容項目	教材名	出典
	未来の世界を創るために	A 真理の探究、創造	ゲームから広がる可能性	学研教育みらい
	ねらい	自由な発想で新しい考えや方法を生み出し、積極的に新しい分野を切り開こうと探究し、創造しようとする心情を育てる。		
	主題構成の理由	探究心をもって開発に励む主人公の姿を通して、よりよい未来を創造する大切さを感じさせたい。		
	学習指導過程	1 私たちの暮らしを支える便利なものについて話し合う。 2 教材を読んで話し合う。 (1)どうして岸田さんは「ゲームにはいろいろな可能性があるはず」と考えたのでしょうか。 (2)岸田さんの探究心を支えたものは何でしょう。 (3)岸田さんにとって新しい技術の開発が与えてくれるものはどんなことでしょう。 (4)岸田さんのように新たな可能性を考え、アイデアを出し合ってみましょう。 3 教師の話聞く。		
	他の教育活動との関連	プログラミング教育	指導方法の工夫	映像資料の活用 小グループでの話し合い
	◎円滑な接続のための留意事項	◎工夫して新しいものを創造し、探究し続けるために必要な知識や考え方が身に付けられるようにする。		
備考				
33	主題名	内容項目	教材名	出典
	未来の世界を創るために	A 真理の探究、創造	ゲームから広がる可能性	学研教育みらい
	ねらい	自由な発想で新しい考えや方法を生み出し、積極的に新しい分野を切り開こうと探究し、創造しようとする心情を育てる。		
	主題構成の理由	探究心をもって開発に励む主人公の姿を通して、よりよい未来を創造する大切さを感じさせたい。		
	学習指導過程	1 私たちの暮らしを支える便利なものについて話し合う。 2 教材を読んで話し合う。 (1)どうして岸田さんは「ゲームにはいろいろな可能性があるはず」と考えたのでしょうか。 (2)岸田さんの探究心を支えたものは何でしょう。 (3)岸田さんにとって新しい技術の開発が与えてくれるものはどんなことでしょう。 (4)岸田さんのように新たな可能性を考え、アイデアを出し合ってみましょう。 3 教師の話聞く。		
	他の教育活動との関連	プログラミング教育	指導方法の工夫	映像資料の活用 小グループでの話し合い
	◎円滑な接続のための留意事項	◎工夫して新しいものを創造し、探究し続けるために必要な知識や考え方が身に付けられるようにする。		
備考				

- 第1学年の重点目標
- ◎より高い目標を設定し、困難を乗り越えて着実にやり遂げる。
  - ◎多くの人々の善意に感謝し、思いやりの心をもって人と接する。
  - 法やさまりの意義を理解し、それらを守る。
  - 生命の尊さについて理解し、かけがえのない生命を尊重する。

3月	主題名	内容項目	教材名	出典	
	尊い命	D 生命の尊さ	捨て犬・未来	学研教育みらい	
	ねらい	生きていることの素晴らしさに気付き、生きとし生けるものの生命を大切にしようとする心情を育てる。			
	主題構成の理由	動物の殺処分に対する話を題材に、生きていることの大切さについて考えさせたい。			
	学習指導過程	1 飼い主に捨てられた犬を処分することを支持するかしないか、自分の考えを理由と共に話し合う。 2 教材を読んで話し合う。 (1)センターの人は、どうしてけがをした未来ではなく、ほかの犬を勧めたのでしょうか。 (2)麻里子さんは、「未来」と一緒に過ごしながら、里親が決まるまでの三か月間、何を思っていたのでしょうか。 (3)今西さんは会場に「未来」を入れ、被災地の生徒に何を伝えたかったのでしょうか。 (4)犬の処分の話を通して、命についてどう考えますか。 3 教師の話聞く。			
		他の教育活動との関連		指導方法の工夫	小グループでの話し合い
	◎円滑な接続のための留意事項	◎動物の命、人間の命の重さについて、社会で行われていることに目を向け、一つひとつの重みを理解させる。			
	備考				
	35	主題名	内容項目	教材名	出典
		人類の発展に貢献する	C 国際理解、国際親善	エルトゥールル号の遭難	学研教育みらい
ねらい		日本人としての誇りをもって、同じ人間として尊重しあい、世界の平和と人類の発展に貢献する実践意欲を高める。			
主題構成の理由		日本人もトルコ人も関係なく救助にあたった樫野の住民とトルコの方々を題材に、国際的視野に立って同じ人間として尊重し合おうとすることの大切さを考えさせたい。			
学習指導過程		1 さいたま市と姉妹都市交流のある都市について話し合う。 2 教材を読んで考える。 (1)なぜ現在も民話の紙芝居として、語り継がれているのか考えてみましょう。 (2)言葉も通じないトルコ人を樫野の人々が助けたのはなぜでしょう。 (3)樫野の人々と、日本人の救援を行ってくれたトルコ人の思いや姿から、どのようなことを感じましたか。 (4)現在の自分たちに樫野の人々やトルコの人々と同じような思いや願いがあるのか考えましょう。 3 教師の話聞く。			
		他の教育活動との関連	グローバル・スタディ科	指導方法の工夫	教材渡しの工夫(紙芝居)
◎円滑な接続のための留意事項		◎エルトゥールル号遭難の際に樫野の人々が示した献身的行為を題材に、国際的規模の相互扶助を実感させたい。			
備考					

令和5年度 特別支援学級8組年間指導計画(1)

さいたま市立岸中学校

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
行事	行事	入学式 始業式 発育測定 健康診断 避難訓練 新入生歓迎会 離任式	管弦楽教室 体育祭 8組校外学習	学校総合体育大会 生徒総会 修学旅行	終業式 三者面談	林間学校 始業式	文化祭 ビーチボールバレー 交流会	8組校外学習 つぼみの日 合唱コンクール ビーチボールバレー 交流会 長距離走大会	三者面談 ビーチボールバレー 交流会 彩光杯	終業式	始業式 競書会 8組校外学習 作品展	館岩自然の教室	3年生を送る会 卒業式 球技大会 修了式
	教科等												
各教科等を 合わせた指導	生活単元学習	入学・進級した思いを 発表しよう 1年間の行事を知ろう 校歌 感謝の気持ちを伝えよう	体育祭を成功させよう 楽しく音楽を鑑賞しよう 8組校外学習	8組校外学習 じゃがいも頒布 交流じゃがいも掘り 修学旅行 交流レクリエーションを 成功させよう	熱中症について知ろう 夏休みの計画を立てよう	林間学校 夏休みの思い出を 発表しよう 2学期の行事について知ろう	合唱コンクール 生活クラブの発表を 成功させよう ベルを演奏しよう	8組校外学習 交流レクリエーションを 成功させよう	彩光杯を成功させよう	風邪・インフルエンザの 予防について知ろう 調理を披露しよう	3学期の行事を知ろう 作品展を成功させよう 8組校外学習	お別れ会に向けて計画を 立てよう 8組校外学習 館岩自然の教室	1年間のまとめ進級・卒業に 向けて準備をしよう 8組お別れ会 卒業式の歌
	日常生活学習	*各教科・領域別・領域教科を併せた学習にて取り扱う学校生活全体を通して指導する。 身辺自立の確立…衣服の着脱、食事のマナー、荷物の整理整頓、清掃等を学び、社会自立の基盤を作る 社会性の向上…朝と帰りの会、生活ノート記入、係活動、集団遊び、あいさつ、約束・規則を守る等社会性に必要なルール・マナーを身につける											
	作業学習	<縫製> 運針の基本 ・針に糸を通す ・玉結び ・玉どめ ・並縫い ・作品作り ・刺繍(スウェーデン刺繍) <木工> 基本作業の習得 基本技能を使い簡単な木工作品の作成 <農作業> 畑作りから始めてイモ類・その他の栽培をする。 <工芸> クラフトテープを用いて、工芸作品を作る。						<被服> 運針の基本 ・針に糸を通す ・玉結び ・玉どめ ・作品、製品作り ・刺繍(スウェーデン刺繍) <木工> 基本作業の習得 基本技能を使い簡単な木工作品、製品の作成 <農作業> 畑作りから始めて根菜類・その他の栽培をする。 <工芸> クラフトテープを用いて、工芸作品を作る。					
教科別の指導	国語	自己紹介をしよう	いろいろな物語文 を読もう	硬筆 国語辞書を使って みよう	節句の説明を読もう ・暑中見舞い		いろいろな言葉	説明文を読もう		書き初め 百人一首を楽しもう	作品展の案内状 を書こう	節句の話を読もう ②	1年のまとめ
	数学	計算問題	お金の計算①	単位を知る	時計① 図形		大きな数	お金の計算②	時計② 図形	カレンダー	お金の計算③	表の読み方	まとめ
		・平仮名、カタカナ、簡単な漢字の読み書き ・文章の読み取り ・ことば、文字でのコミュニケーション ・日記、作文											
		・数字と具体物のマッチング(数と順序、数量) ・四則計算の学習											

令和5年度 特別支援学級8組年間指導計画(2)

さいたま市立岸中学校

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
教科別の指導	体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団行動 →</li> <li>・スポーツテスト</li> <li>・球技</li> <li>・準備体操、ストレッチ、補強運動、ランニング、なわとび</li> <li>・水泳</li> <li>・武道</li> <li>・ダンス</li> <li>・持久走</li> <li>・保健</li> <li>球技会の練習をしよう</li> </ul>												
	社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な地域について知ろう</li> <li>・自分たちの県を知ろう</li> <li>・公共施設の役割を知ろう</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>・産業や生活を支える事業について知ろう</li> <li>・日本の歴史について知ろう</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会生活のきまりを知ろう</li> <li>・外国の文化や特徴を知ろう</li> </ul>		
	理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人の体のつくりと運動を知ろう</li> <li>・植物の観察をしよう</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>・物質やエネルギーについて知ろう</li> <li>・天気の様子について知ろう</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>・太陽と月について知ろう</li> <li>・地球と自然について知ろう</li> </ul>		
	美術	切り絵、ちぎり絵の制作を通して作る楽しさを味わおう							切り絵、ちぎり絵の制作を通して表現する楽しさを味わおう				作品を鑑賞しよう	
	職業家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>〈職業〉</li> <li>・働くことの目的について知ろう</li> <li>・ローマ字入力をしよう</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>・職業生活に関する知識や技能を知ろう</li> <li>・文章入力ソフトや表作成ソフトを活用しよう</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>・職業に関する実践的な学習をしよう</li> <li>・情報機器を活用しよう</li> </ul>		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>〈家庭〉</li> <li>・家族と家庭生活について知ろう</li> <li>・調理の基礎を知ろう</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活の中の衣食住について知ろう</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費生活・環境について知ろう</li> </ul>		
自立活動	<p>* 各教科・領域別・領域教科を併せた学習にて取り扱う学校生活全体を通して指導する。日常生活に必要な知識を身に付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>〈健康の保持〉 生活のリズムや生活習慣の形成に関わる内容…うがい、手洗い等適切な方法を身に付ける。</li> <li>〈心理的な安定〉 情緒の安定に関する内容、状況の変化への適切な対応に関する内容…状況や日課の変化を事前に知らせ、落ち着いた生活ができるようにする。</li> <li>〈人間関係の形成〉 個別の指導、小集団の指導、自閉・情緒特別支援学級との合同授業、通常の学級との交流学習を個々の実態に合わせて取り入れ、基本的な行動及び友達との関わり方を学ぶ。</li> <li>〈環境の把握〉 認知や行動の手がかりとなる概念の形成に関する内容…空間・時間の概念を育てる。</li> <li>〈身体の動き〉 姿勢と運動・動作の基本的技能に関する内容…粗大な動き、微細な動きの向上を図る。</li> <li>〈コミュニケーション〉 コミュニケーションの基礎的能力に関する内容、言語の受容と表出に関する内容、言語の形成と活用に関する内容、コミュニケーション手段の選択と活用に関する内容、状況に応じたコミュニケーションに関する内容…カード、サイン、文字、話し言葉によるコミュニケーションスキルの向上を図る。</li> </ul>													
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>学級活動、交流及び共同学習、生徒会活動</li> <li>・学級作り</li> <li>・交流レクリエーション</li> <li>・合唱コンクール</li> <li>(係活動、給食、清掃、自己紹介)</li> <li>・体育祭</li> <li>・合同スポーツ大会</li> <li>・作品展</li> </ul>													
総合的な学習の時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年 学校の周りを調べよう</li> <li>2年 林間学校にむけて</li> <li>3年 修学旅行にむけて</li> <li>〈進路について学習〉</li> <li>・身近な仕事</li> <li>・自分の将来について</li> <li>・高校について</li> </ul>										<ul style="list-style-type: none"> <li>1年間の活動を振り返り、まとめよう</li> <li>成長の証の作成</li> </ul>			
道徳	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 学校生活全体を通して指導する。</li> <li>・自分自身に関すること</li> <li>・他の人とのかかわりに関すること</li> <li>・自然や崇高なもののかかわりに関すること</li> <li>・集団や社会とのかかわりに関すること</li> </ul>													

# 評価・評定

## 1. 教科の評定の方法

評価の観点ごとに、観点規準に照らして評価を行い、それらの評価を統合する絶対評価に基づいて評価値を定めています。

## 2. 学期ごとの観点別評価の判定について

観点別評価は、各教科で定めた評価方法（評価の材料）の成績を観点別に集計して、下の基準に照らし合わせてA・B・Cの評価を行います。

観点別評価の基準…観点別評価をつけるにあたっては、下記の基準に準じて評価します。

A（70%以上）、B（70%未満～30%以上）、C（30%未満）

**（注意）…上記の基準は参考値です。教科、単元、定期テスト等によって扱いが異なります。**

### 【社会科を例とした第1学年1学期の場合】

単元名	評価方法	評価の観点			
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
				自らの学習を調整しようとする側面	粘り強い取組を行おうとする側面
世界と日本の姿 (平常点)	発言		7/10		
	グループワーク			4/10	6/10
	ノート			5/10	
	レポート	8/10	6/10		7/10
	ワーク等提出物				10/10
	自己評価カード			5/10	
	小計	8/10	13/20	14/30	23/30
	観点別評価	A	B	B	A

思考・判断・表現では、  
発言の評価が10点満点で7点、レポート評価が10点満点で6点  
なので、合計20点満点の13点（65%）なのでBになります。

単元名	評価方法	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
				自らの学習を調整しようとする側面	粘り強い取組を行おうとする側面
		歴史へのとびら (平常点)	発言		7/10
グループワーク				4/10	7/10
ノート				5/10	
レポート	10/10		9/10		7/10
ワーク等提出物					10/10
自己評価カード				4/10	
小計	10/10		16/20	13/30	24/30
観点別評価	A		A	B	A

定期テスト①	テストの素点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
				自らの学習を調整しようとする側面	粘り強い取組を行おうとする側面
		78点	51/72	27/28	
	A	A			

定期テスト②	テストの素点	知識・技能	思考・判断・表現	自らの学習を調整し ようとする側面	粘り強い取組を行 おうとする側面
	65点	35/60	30/40		
		B	A		



	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
			自らの学習を調整し ようとする側面	粘り強い取組を 行おうとする側面
世界と日本の姿	A	B	B	A
歴史へのとびら	A	A	B	A
定期テスト③	A	A		
定期テスト④	B	A		
	<b>A</b>	<b>A</b>	<b>B</b>	

↑ この太枠が通知票に載る観点別評価

### (2) 音楽、美術、保健体育、技術・家庭の場合

- ・上記教科においては、観察、ワークシート、学習カード、作品などを用い、主体的に学習に取り組む態度、感受や表現の工夫・発想や構想の能力・思考判断・工夫と創造、技能、鑑賞能力・知識理解等で評価を行う。
- ・原則として定期テストを行う。(保健体育、技術・家庭は、原則毎学期、音楽、美術は年間1回) さらに、定期テストにかわるものとして、音楽においては実技テスト、美術においては作品、保健体育においては実技テスト、技術・家庭においては作品及び小テストやレポート等の内容を評価対象とする。

### 3. 学期の評定

【社会科を例として】

岸中太郎	評価の観点		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
観点別評価	<b>A</b>	<b>A</b>	<b>B</b>

・学期の観点別評価をA (3点)、B (2点)、C (1点) として計算する ※9点満点

・例の場合 A (3点) + A (3点) + B (2点) → 合計点…8点 **評定は4**

観点別学習状況の評価結果の合計点	9	8	7・6・5	4	3
評定	5または4	4	3	2	2または1

### 4. 学年の評価・評定

年間で学習した内容を積み上げて評価・評定を出します。